

令和4年度

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

〔18歳以上の区民の方が対象〕

〔未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象〕

【報告書】

令和5年2月

大田区

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	4
4	報告書の見方について	5
5	標本誤差について	5
II	18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～	7
1	回答者の属性について	9
2	各種認知度について	16
(1)	「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	16
(2)	「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度	18
(3)	「ヘルプカード」の認知度	20
(4)	「エセナおおた」の認知度	22
(5)	「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度	24
(6)	「成年後見制度」の認知度	26
(7)	「ゆいっつ（大田区青少年交流センター）」の認知度	28
(8)	「ゆいっつ（大田区青少年交流センター）」で利用したい施設	30
(9)	「大田区DV相談ダイヤル」の認知度	31
(10)	「大田区立消費者生活センター」の認知度	33
(11)	「障害者差別解消法」の認知度	35
(12)	「社会的包摂」の認知度	37
3	生涯学習について	39
(1)	最近1年間の生涯学習の有無	39
(2)	最近1年間で行った生涯学習	41
(3)	生涯学習の活動場所	43
(4)	オンラインによる生涯学習の有無	45
(5)	生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていること	46
(6)	生涯学習の状況	49
(7)	今後行いたい生涯学習	50
4	スポーツ・運動について	57
(1)	この1年間に実施したスポーツ・運動	57
(2)	この1年間のスポーツ・運動の活動頻度	60
(3)	運動をしなかった理由	62
5	文化・芸術について	64
(1)	来訪者が区の文化に接する機会	64
6	普段の生活について	66
(1)	普段の生活の状況	66

7	地域活動について	72
	(1) 近所の方への手助けとしてできること	72
8	健康づくりについて	75
	(1) 「はねびょん健康ポイント」の認知度	75
9	喫煙について	77
	(1) 喫煙状況	77
	(2) 喫煙の際に気をつけていること	79
	(3) 受動喫煙を経験した場所	80
	(4) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組	83
10	医療について	86
	(1) かかりつけの医療機関	86
	(2) 「在宅医療」の認知度	88
11	災害時の対応について	90
	(1) 災害時の緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度	90
12	教育について	92
	(1) 教育の充実に向けて、大田区が重点的に取り組むべきこと	92
13	結婚について	95
	(1) 婚姻状況	95
	(2) 結婚に対する考え方	97
	(3) 子どもの人数	99
14	食品ロス・フードドライブについて	105
	(1) 「食品ロス」を減らすための取組	105
	(2) 「フードドライブ」への提供意向	108
	(3) 提供したいと思わない理由	110
15	地球環境について	112
	(1) 家庭で実施している環境配慮行動	112
	(2) 地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいこと	115
16	行政経営について	118
	(1) 公民連携を推進していくべきか	118
	(2) 持続可能な自治体経営を進めるため、力をいれていくべきこと	120
	(3) 基金の確保及び運用をしていくべきか	123
Ⅲ	18歳以上の区民の方が対象 ～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～	125
1	回答者の属性について	127
2	商店街について	134
	(1) 普段の買い物で利用する業態及び理由	134
	(2) 買い物をする時間帯	137
	(3) 商店街への印象	139
	(4) 商店街に必要なだと思う施設等	141
	(5) 「今後もずっと残ってほしい」と思う個人商店の有無	144

3	キャッシュレスについて	146
	(1) キャッシュレスでの支払い	146
	(2) キャッシュレスの支払いで利用している手段	148
	(3) キャッシュレスで支払いをする理由	150
	(4) キャッシュレスで支払いをしない理由	152
	(5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段	154
4	まちづくりについて	156
	(1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況	156
	(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況	158
	(3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況	160
	(4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況	162
	(5) 生活環境の満足度	164
	(6) 身近な場所で水や緑に親しめる感覚	168
5	公共交通機関について	170
	(1) 公共交通機関の環境	170
	(2) 大田区内の公共交通網への満足度	172
	(3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策	174
	(4) 駅周辺のまちづくりによる地域の魅力向上及び活性化への期待度	177
6	空港臨海部について	179
	(1) 空港臨海部へのアクセス	179
	(2) 空港臨海部の魅力度	181
7	羽田空港跡地について	183
	(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ	183
	(2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度	185
	(3) 羽田イノベーションシティ・HICityの取組へ期待すること	187
	(4) 「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度	190
	(5) 整備される公園でいたいこと	192
	(6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況	194
	(7) 「ソラムナード羽田緑地」でいたいこと	196
8	公園について	198
	(1) 公園の利用状況	198
	(2) 公園の利用頻度	200
	(3) 公園を利用している主な時間帯	202
	(4) 公園のトイレの利用状況	204
	(5) 公園の利用目的	206
	(6) 利用したいと思う公園	208
	(7) 大田区の公園行政に期待すること	210
9	図書館について	212
	(1) 図書館等の利用頻度	212

(2) 図書館で主に利用する機能・サービス	214
(3) 図書館を利用しない理由	216
(4) 図書館に期待する機能・サービス	218
10 相談窓口について	220
(1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示	220
11 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	222
(1) 「バリアフリー」の認知度	222
(2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度	224
12 災害時の避難等について	226
(1) 「大田区防災アプリ」の認知度	226
(2) 「大田区防災アプリ」を認知したきっかけ	228
13 耐震改修について	230
(1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況	230
(2) 耐震改修を行っていない理由	232
IV 未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象 ～ 居場所・自転車の利用についてなど ～	235
1 回答者の属性について	237
2 居場所について	243
(1) 「中高生ひろば」の認知度	243
(2) 「中高生ひろば」の利用状況及び利用意向	245
(3) 中高生世代の時に利用したい施設	247
3 家庭生活について	250
(1) コロナ禍での家事や育児の負担感	250
(2) 子育てに関する相談先の有無	252
(3) 「子ども家庭支援センター」の認知度	254
(4) 子ども家庭支援センターでの子どもからの相談受付の認知度	256
(5) 子ども家庭支援センターの事業で知っていること	258
(6) 子育て家庭や親子に対する支援の意向	260
4 災害時の避難等について	262
(1) 災害時の避難先の決定状況	262
(2) 災害時の避難先	264
(3) 「マイ・タイムライン」の認知度	266
(4) 「マイ・タイムライン」の作成方法	268
(5) 災害から自身を守るための取組	269
(6) 防災に関する情報の収集方法	271
(7) 参加したいと思う防災訓練の形式	273
5 自転車の利用について	275
(1) 「コミュニティサイクル」の認知度	275
(2) コミュニティサイクルの利用状況	277
(3) コミュニティサイクルを利用したことがない理由	279

(4) 自転車の利用状況	281
(5) 自転車の施錠状況	283
(6) 自転車を施錠しないときの状況.....	285
(7) 区営駐輪場で不便に感じていること.....	286
(8) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況.....	288
(9) 守れていないと思う交通ルール.....	290
(10) 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度.....	293
(11) 自転車の運転マナーを知る機会.....	295
(12) 損害賠償保険への加入状況	297
(13) 損害賠償保険に加入していない理由.....	299
(14) 通勤・通学の移動手段	300
6 子どもの学習について	302
(1) 将来への希望をもちながらの学びや成長.....	302
V 資料編 ～ 使用した調査票 ～	305

I 調査の概要

1 調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査の内容

18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～	
(1) 回答者の属性について	(9) 喫煙について
(2) 各種認知度について	(10) 医療について
(3) 生涯学習について	(11) 災害時の対応について
(4) スポーツ・運動について	(12) 教育について
(5) 文化・芸術について	(13) 結婚について
(6) 普段の生活について	(14) 食品ロス・フードドライブについて
(7) 地域活動について	(15) 地球環境について
(8) 健康づくりについて	(16) 行政経営について
18歳以上の区民の方が対象 ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～	
(1) 回答者の属性について	(8) 公園について
(2) 商店街について	(9) 図書館について
(3) キャッシュレスについて	(10) 相談窓口について
(4) まちづくりについて	(11) バリアフリー・ユニバーサルデザインについて
(5) 公共交通機関について	(12) 災害時の避難等について
(6) 空港臨海部について	(13) 耐震改修について
(7) 羽田空港跡地について	
未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象 ～居場所・自転車の利用についてなど～	
(1) 回答者の属性について	(4) 災害時の避難等について
(2) 居場所について	(5) 自転車の利用について
(3) 家庭生活について	(6) 子どもの学習について

3 調査の設計

調査地域	大田区全域
調査対象	[18歳以上の区民の方が対象] 大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む） [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] 大田区内に居住する満12歳以上の男女個人（外国人を含む） 大田区内に居住する満12歳以下の方の保護者の方（外国人を含む）
標本数	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：2,000人 [18歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：2,000人 [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～居場所・自転車の利用についてなど～：2,000人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配布は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和4年11月10日～令和4年12月6日
有効回収数	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：780件 (郵送547件+電子申請233件) [18歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：792件 (郵送562件+電子申請230件) [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～居場所・自転車の利用についてなど～：772件 (郵送464件+電子申請308件)
有効回収率	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：39.0% [18歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：39.6% [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～居場所・自転車の利用についてなど～：38.6%

4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) 年代別は、18歳以上の区民の方が対象では男女ともに「18～19歳」の回答者数が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象では男女ともに「19～20歳」の回答者数が少数であるため、「19～29歳」とまとめて集計及び掲載している。
- (6) n=30未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (7) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。

5 標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N : 母集団の大きさ
n : 回答者数
p : 回答の比率 (%)

【各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度95%で算出している）】

回答の比率 (p) 回答者数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.8%	± 3.0%	± 3.1%
792	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
780	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
772	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.5%	± 3.5%
500	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%

早見表の見方

たとえば、今回の「18歳以上の区民の方が対象～暮らし・保健・環境の分野など～」の回答者数(780人)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民(区内在住の18歳以上の方)のこの質問に対する回答は、46.5%～53.5%の間にあると考えられる。

Ⅱ 18 歳以上の区民の方が対象

～ 暮らし・保健・環境の分野など ～

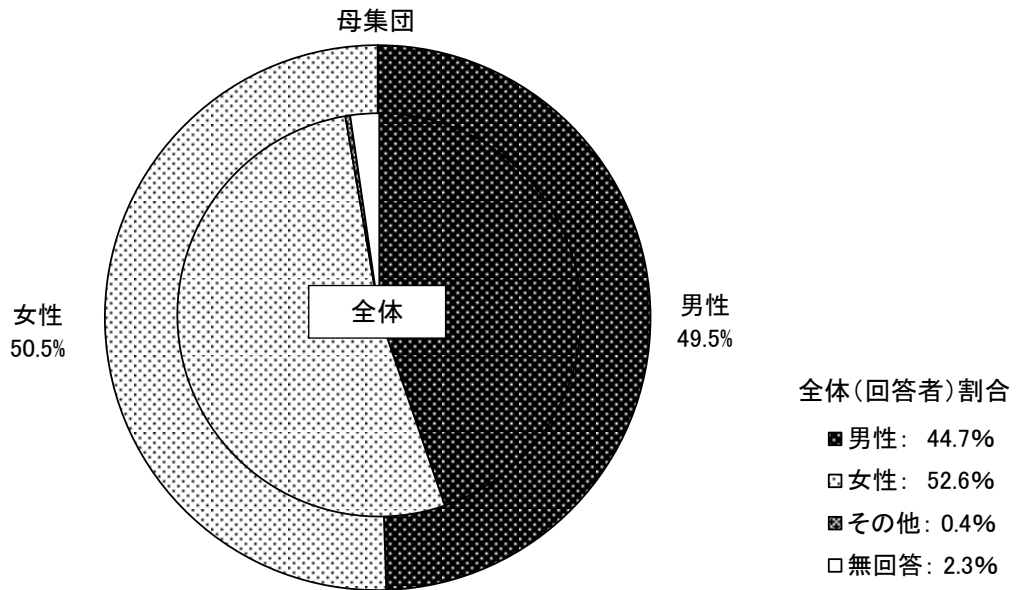
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=636, 231) 令和 5 年 1 月 1 日現在

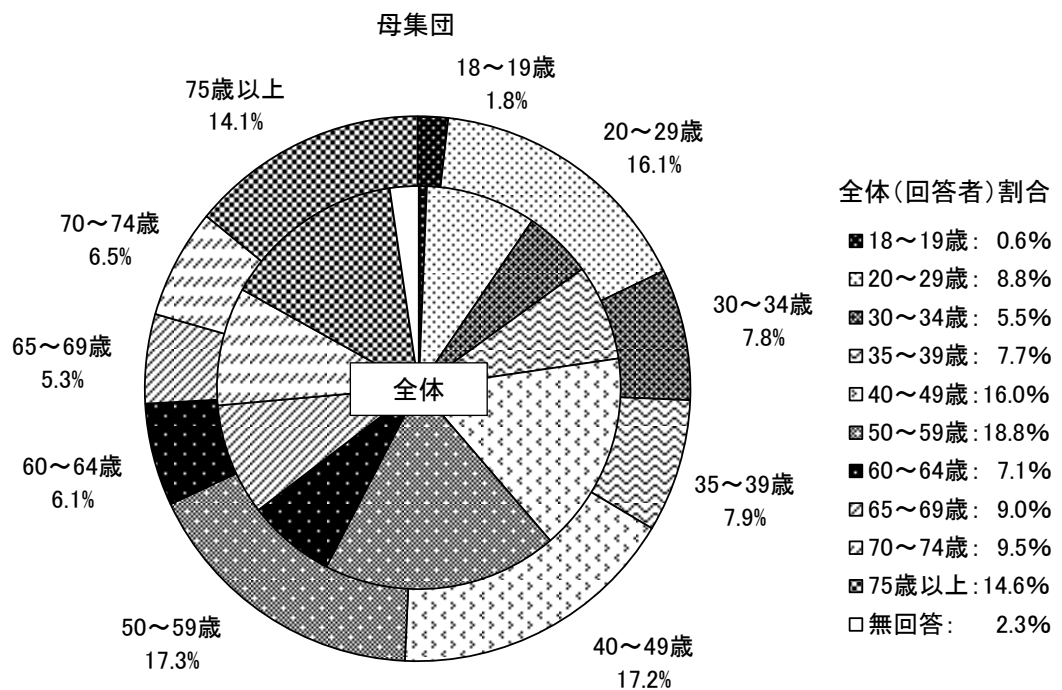
全 体：有効回収数 (n=780)

全体 n=780



(2) 年齢

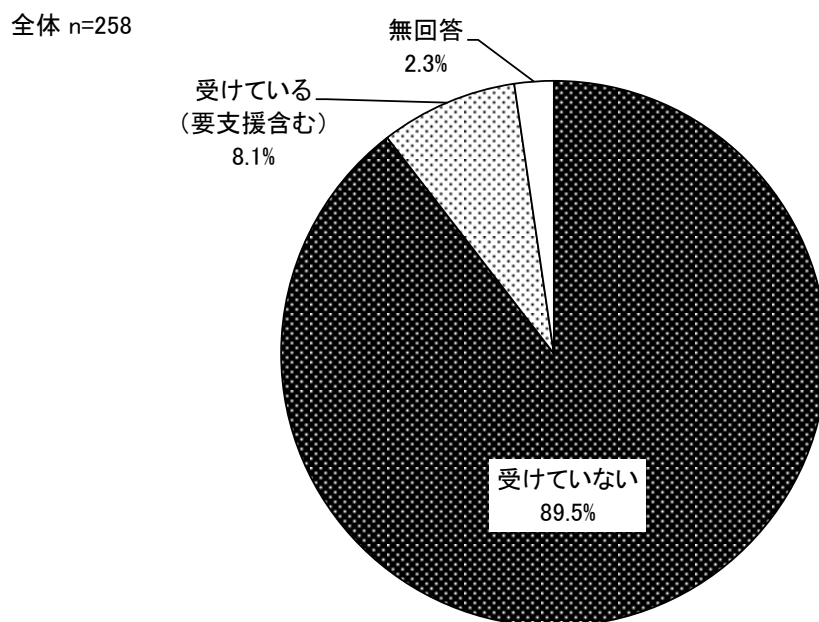
全体 n=780



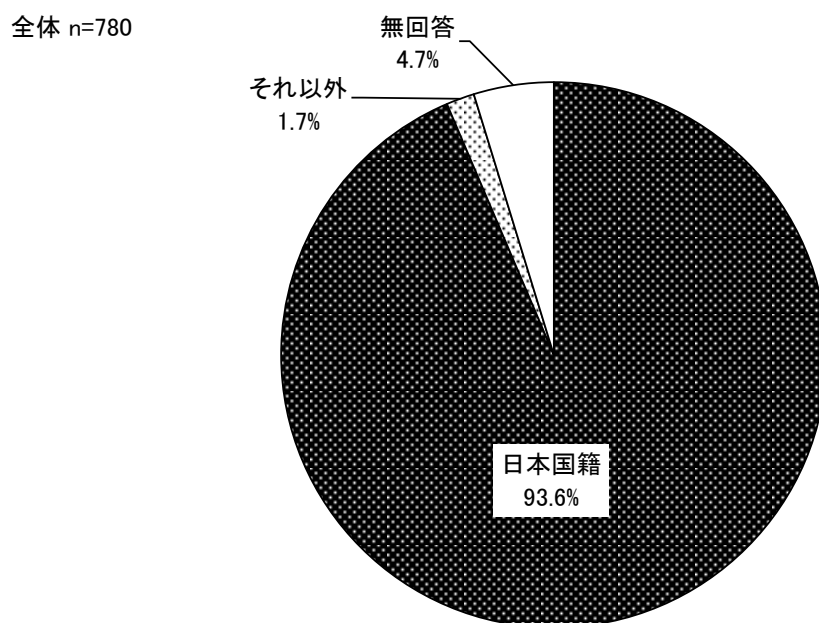
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 5 年 1 月 1 日現在

(3) 要介護認定の状況

【65歳以上の方】



(4) 国籍

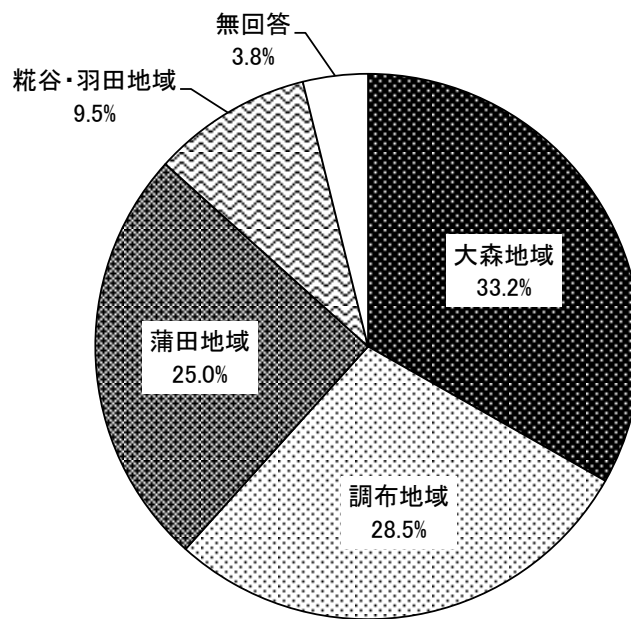


■ 日本国籍以外

	中国	韓国	フィリピン	台湾	ネパール	シンガポール	ドイツ	無回答
人数	2	2	2	1	1	1	1	3

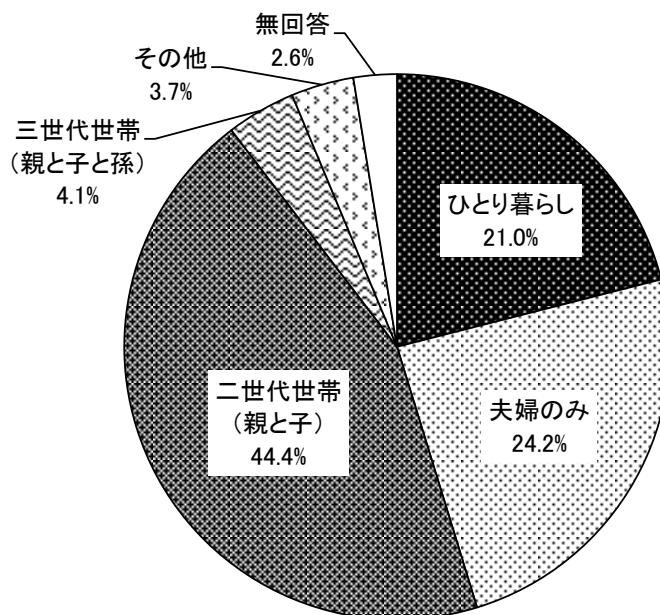
(5) 居住地域

全体 n=780

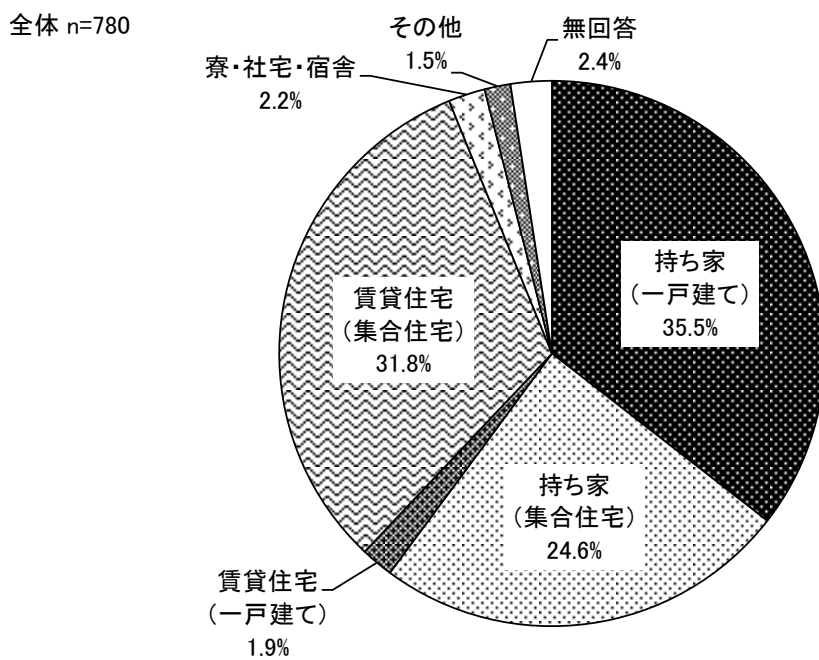


(6) 家族構成

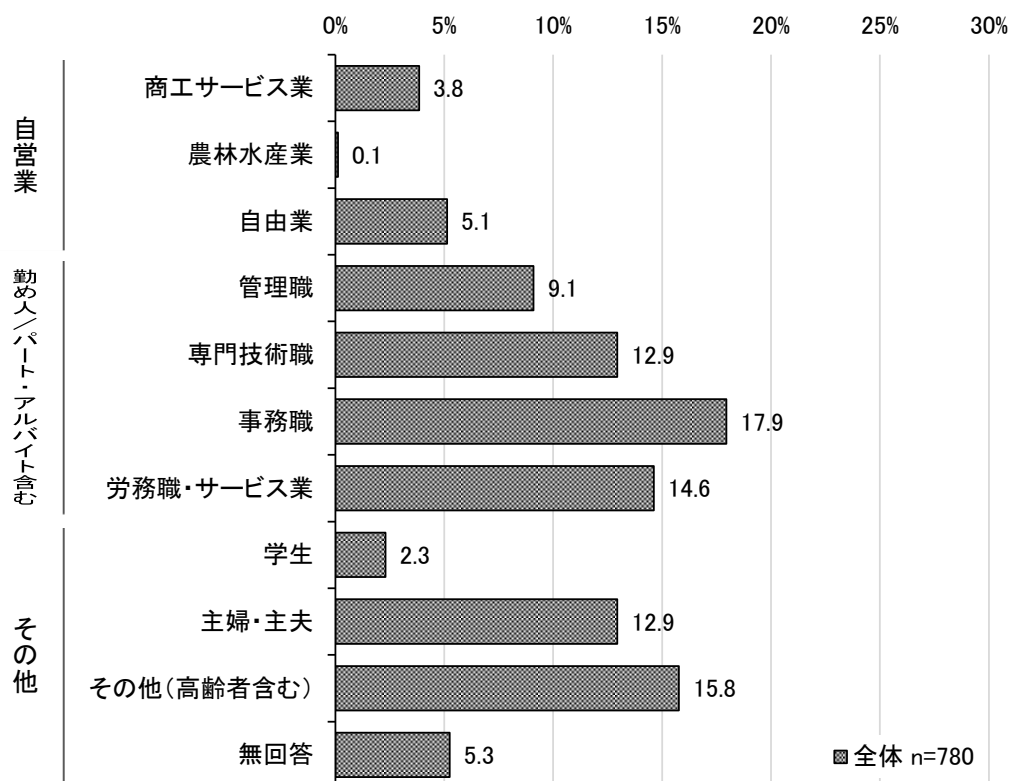
全体 n=780



(7) 住まいの種類

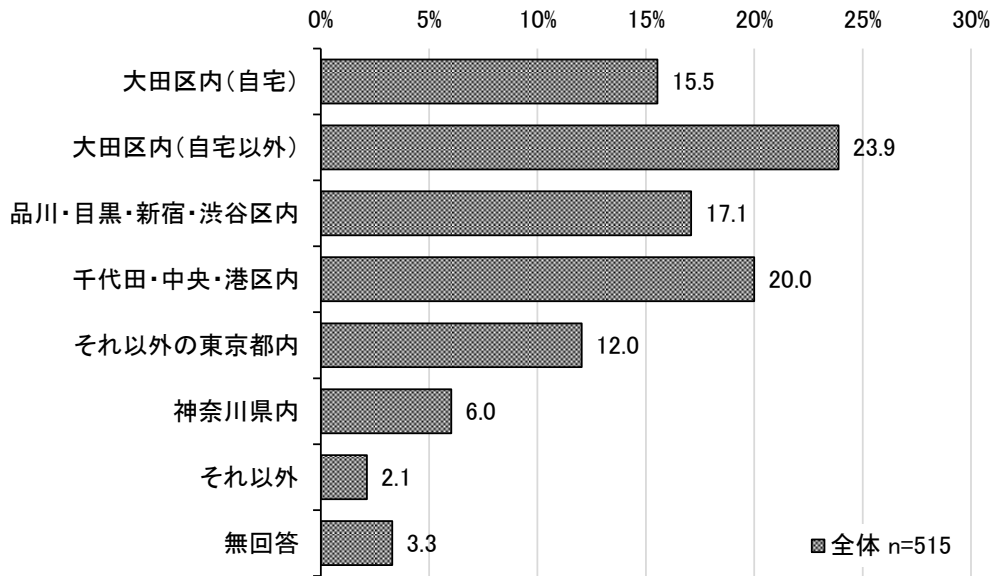


(8) 職業

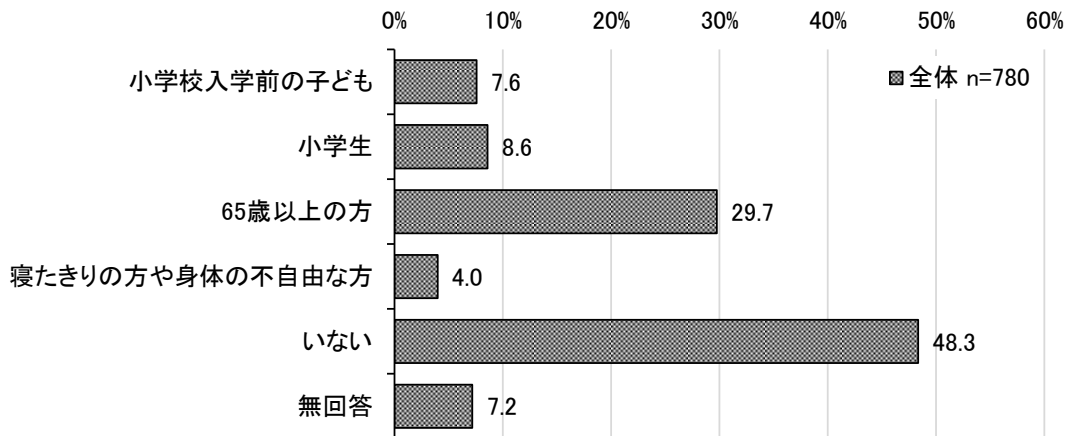


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

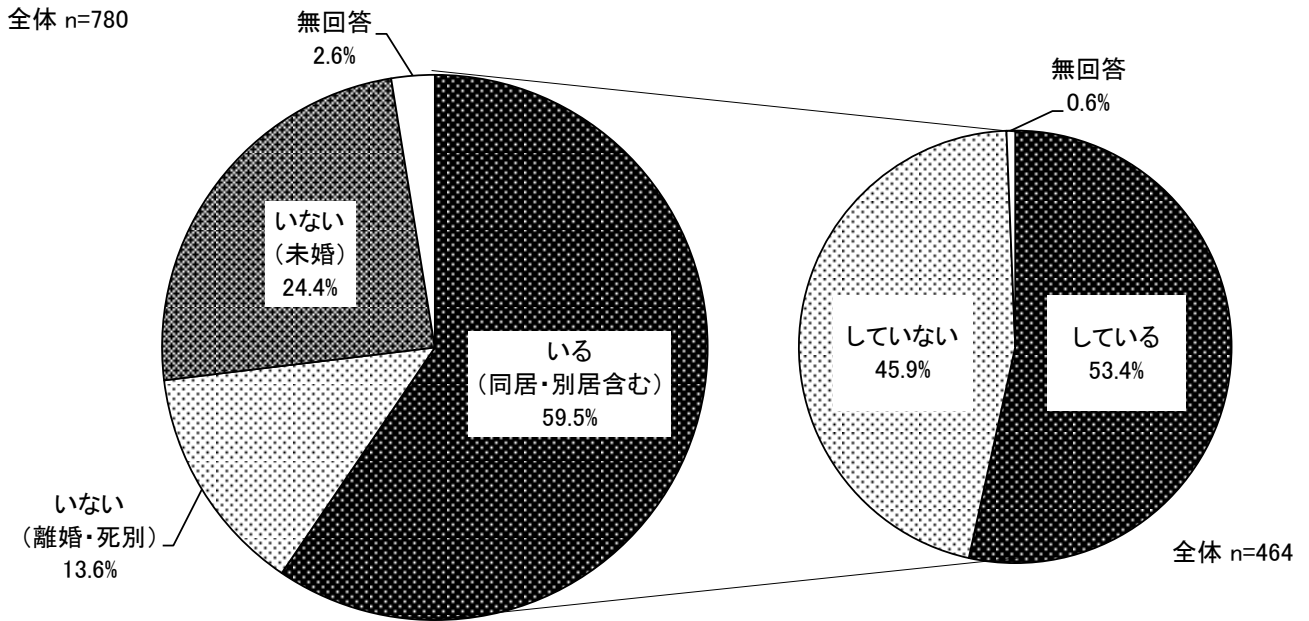


(10) 同居家族

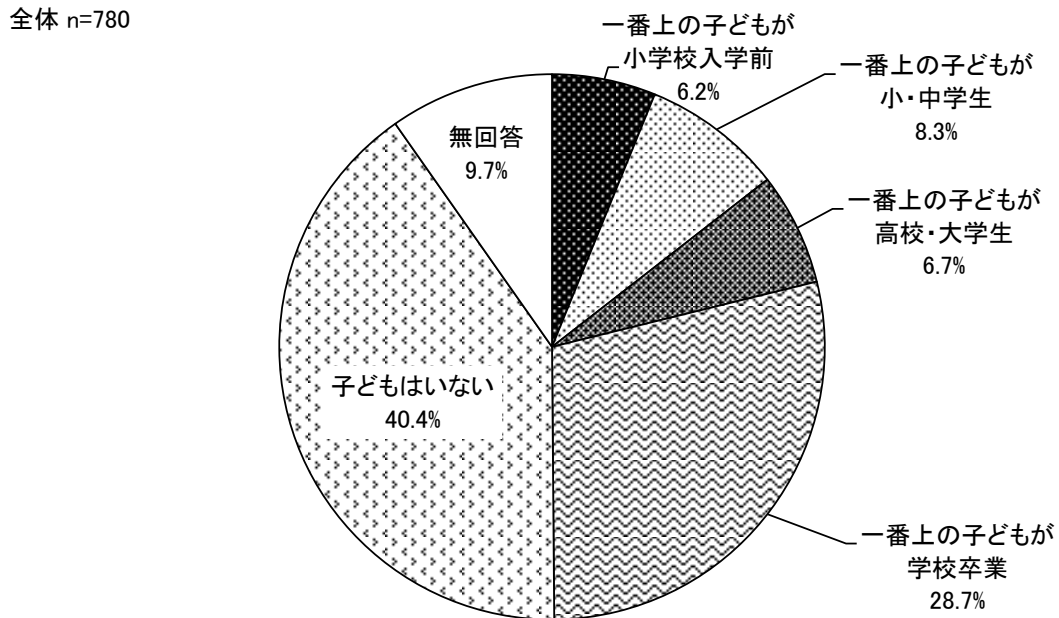


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

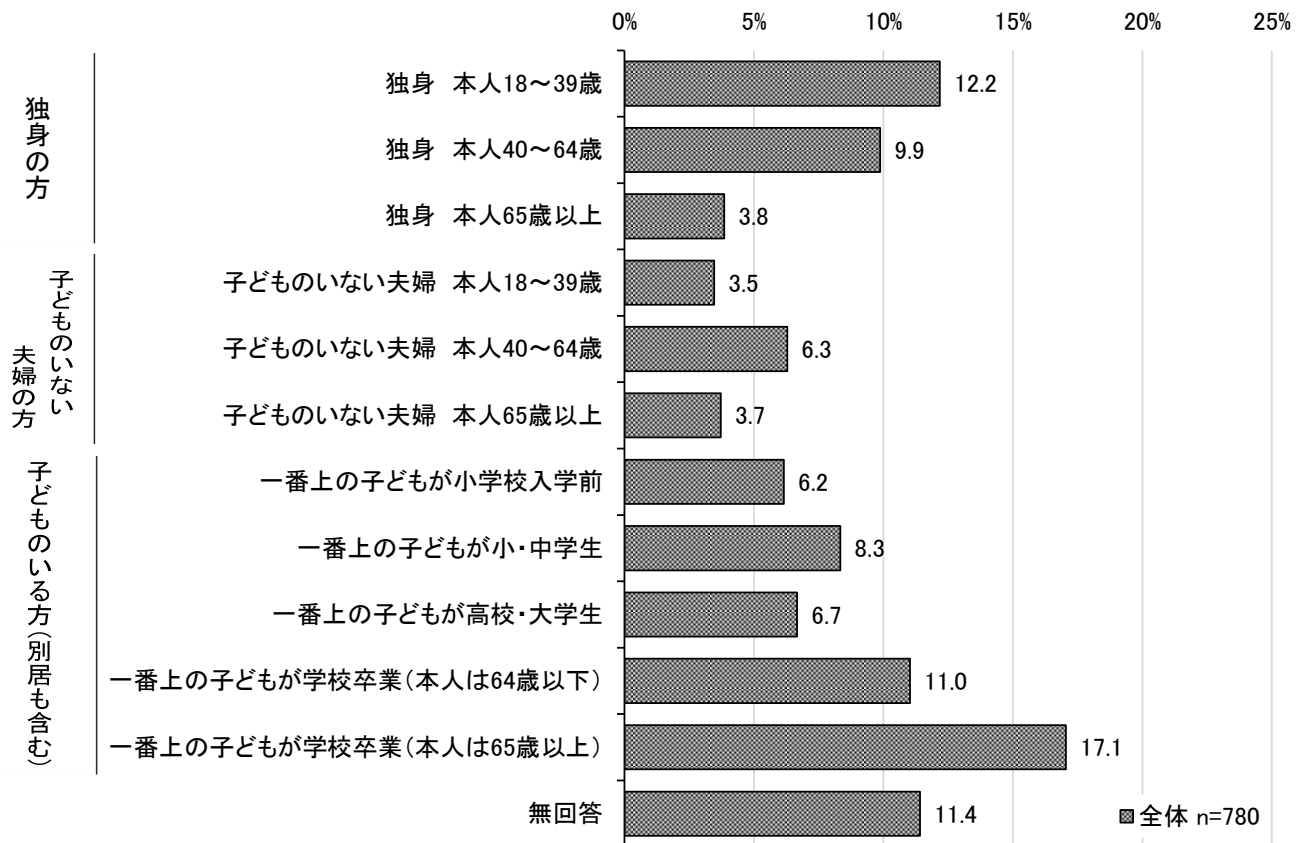
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



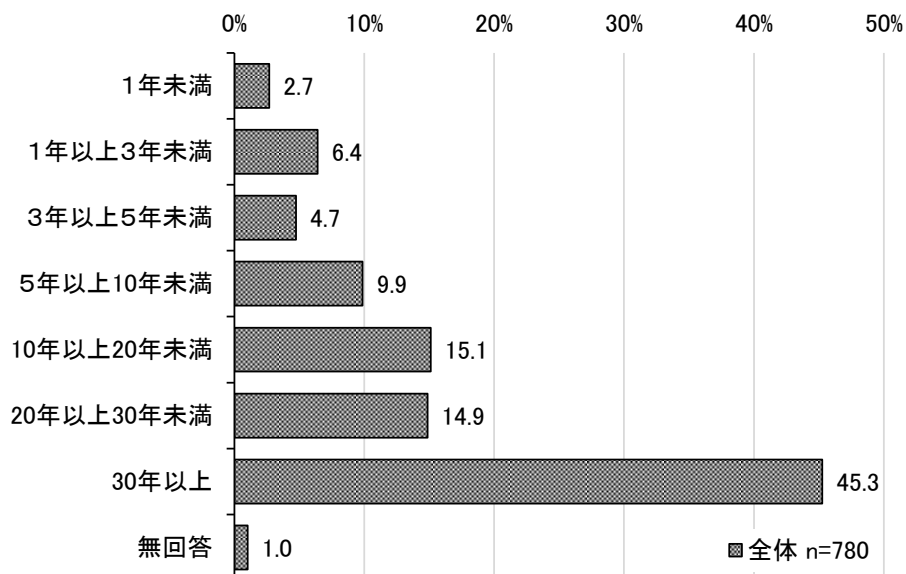
(13) 子どもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



2 各種認知度について

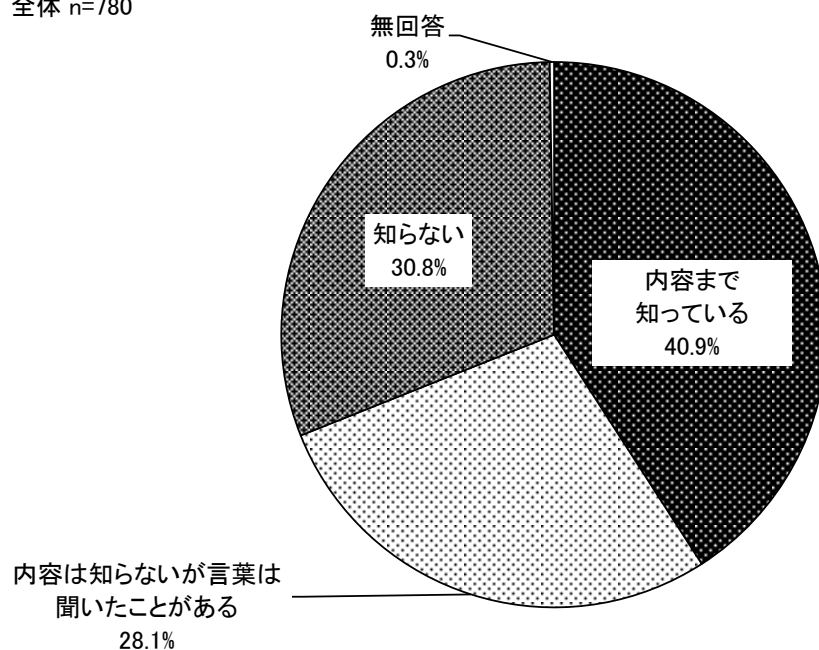
(1) 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

◇「内容まで知っている」は約4割となっている

問1 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、あなたはこの言葉を知っていますか。(1つのみ)

“ワーク・ライフ・バランス”の認知度については、「内容まで知っている」が40.9%で最も高く、次いで「知らない」が30.8%、「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が28.1%となっている。

全体 n=780

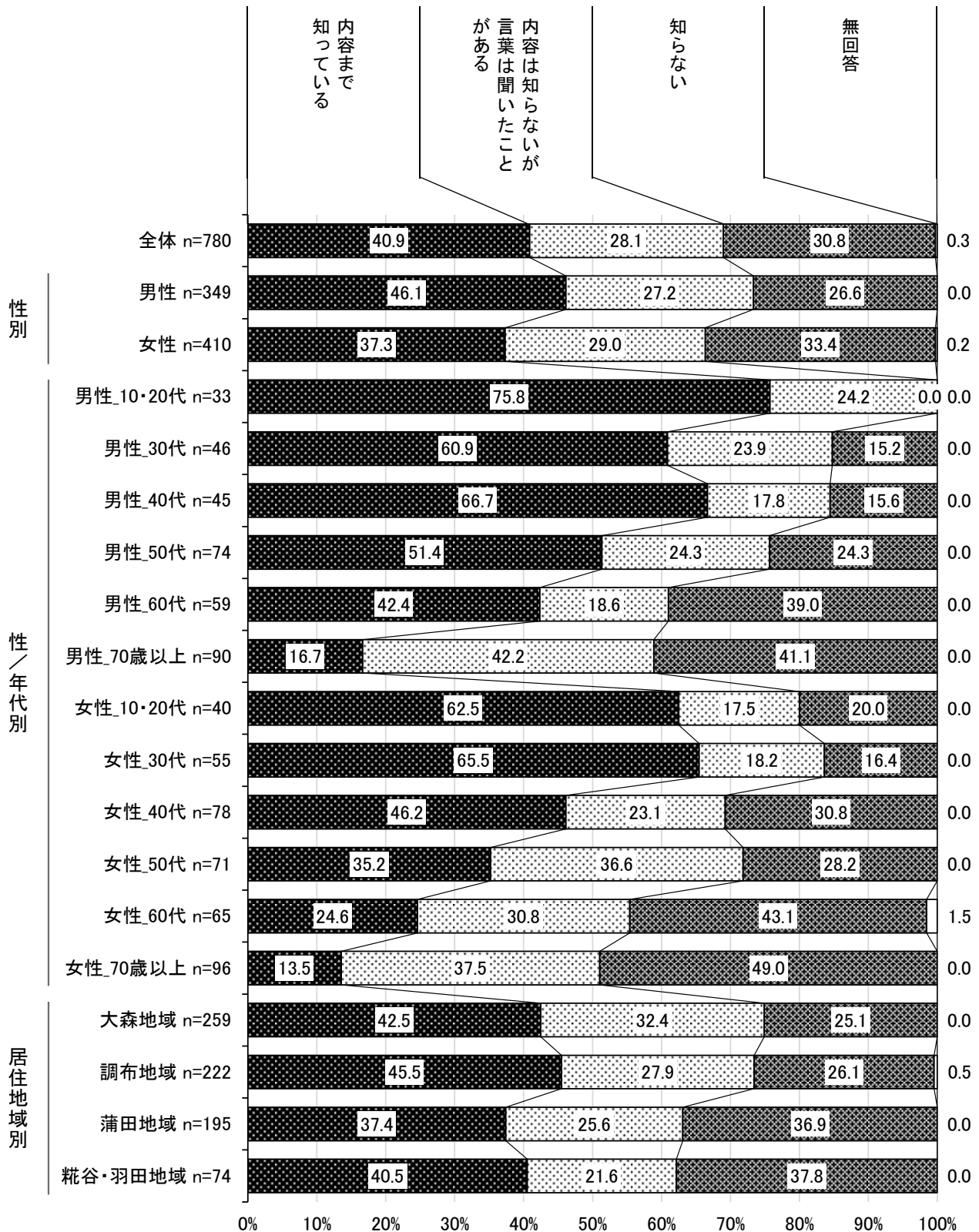


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「内容まで知っている」は男性が46.1%、女性が37.3%と、男性が8.8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「内容まで知っている」は男性では10・20代が7割半ば、30代、40代が6割台となっている。女性では10・20代、30代で6割台となっている。

居住地域別で見ると、「内容まで知っている」は調布地域で4割半ばと高くなっている。

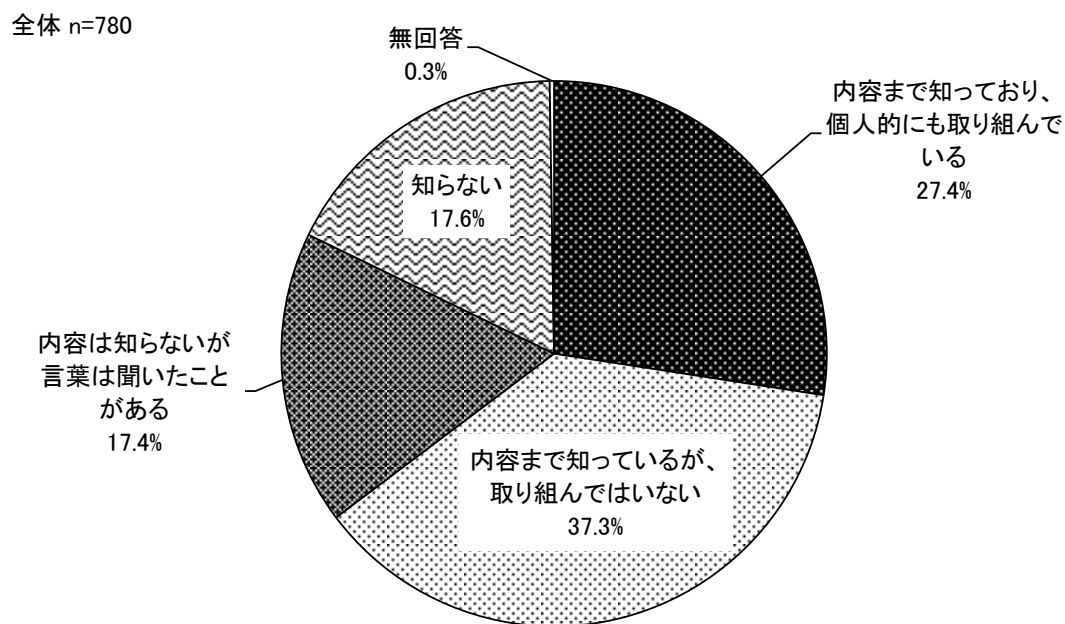


(2)「SDGs (持続可能な開発目標)」の認知度

◇「内容まで知っており、個人的にも取り組んでいる」は2割後半となっている

問2 「SDGs (持続可能な開発目標)」を知っていますか。(1つのみ)

“SDGs (持続可能な開発目標)”の認知度については、「内容まで知っているが、取り組んではない」が37.3%で最も高く、次いで「内容まで知っており、個人的にも取り組んでいる」が27.4%、「知らない」が17.6%となっている。

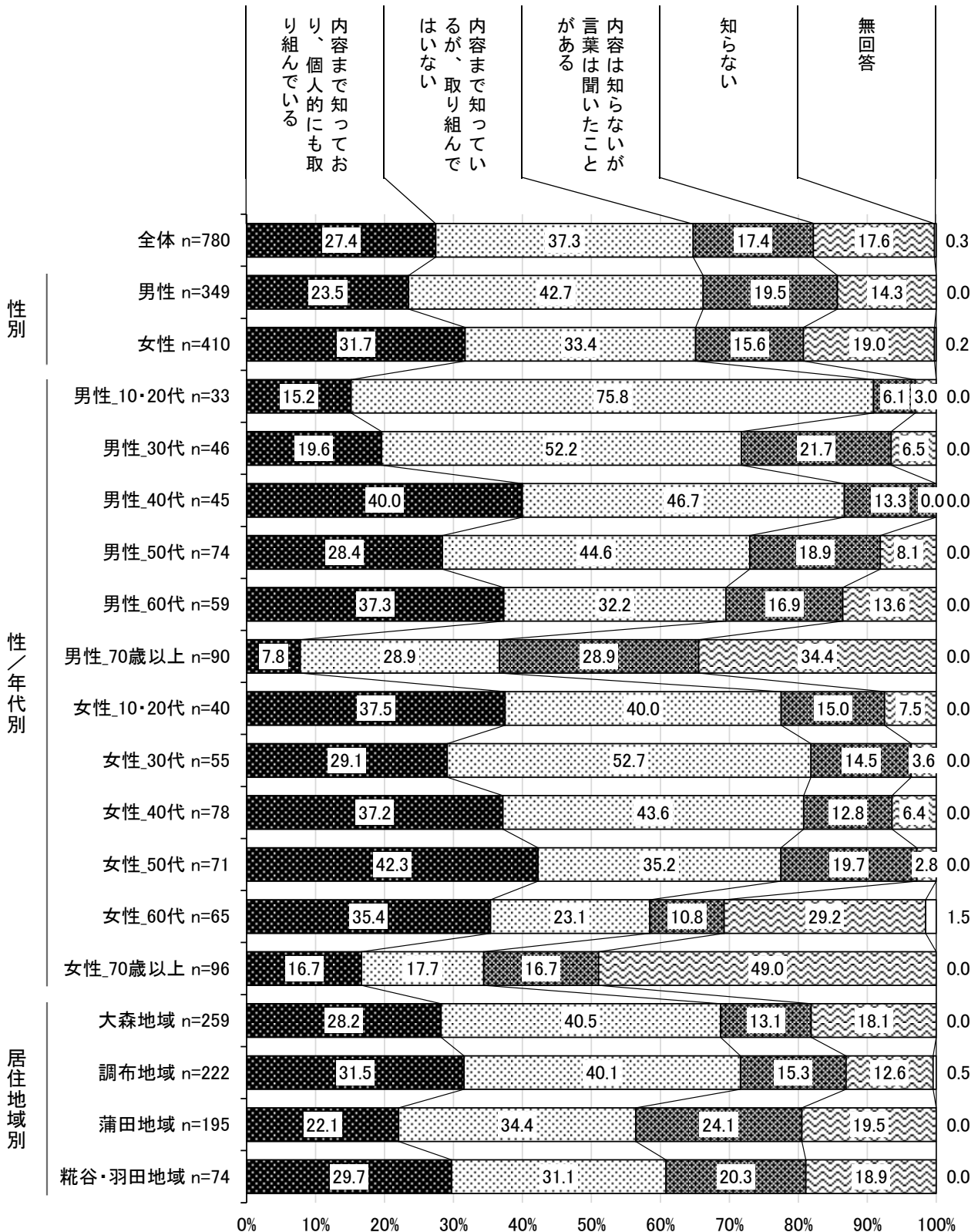


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「内容まで知っており、個人的にも取り組んでいる」は男性が23.5%、女性が31.7%と、女性が8.2ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「内容まで知っており、個人的にも取り組んでいる」は男性では40代が4割、60代が3割後半となっている。女性では50代で4割前半となっている。

居住地域別で見ると、「内容まで知っており、個人的にも取り組んでいる」は調布地域で3割前半と高くなっている。



(3) 「ヘルプカード」の認知度

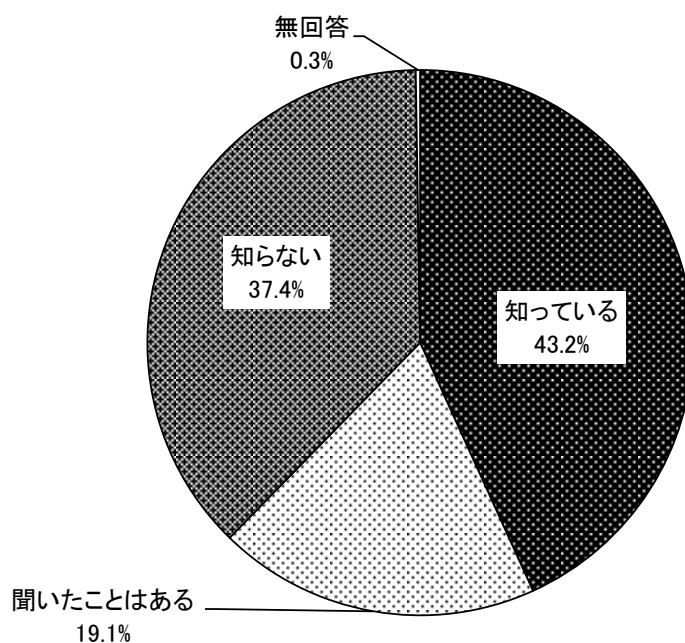
◇「知っている」は4割前半となっている

問3 「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（1つのみ）

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード（大田区が作成）。

“ヘルプカード”の認知度については、「知っている」が43.2%で最も高く、次いで「知らない」が37.4%、「聞いたことはある」が19.1%となっている。

全体 n=780

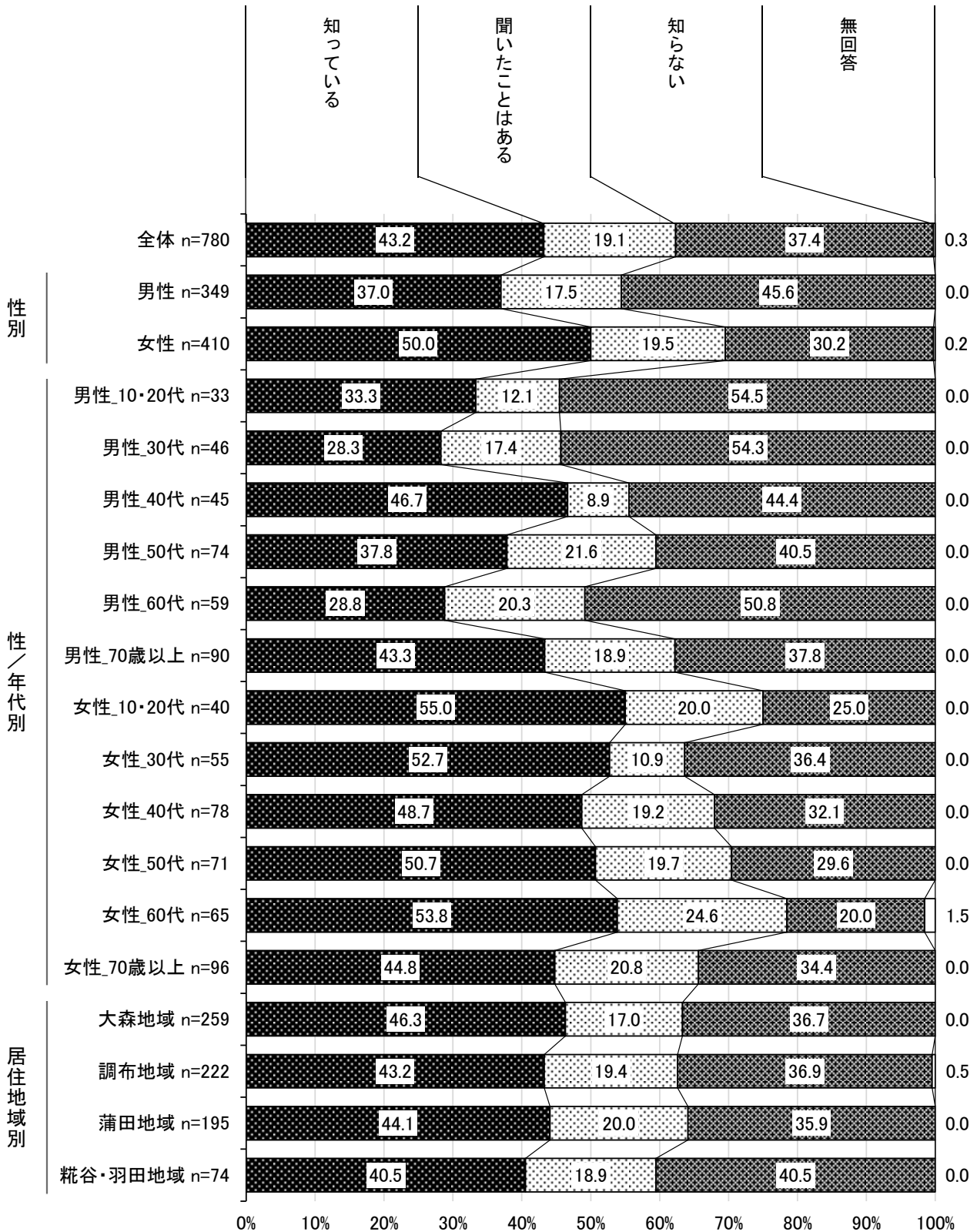


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が37.0%、女性が50.0%と、女性が13.0ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「知っている」は男性では40代で4割後半、女性では10代・20代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は大森地域で4割後半と高くなっている。



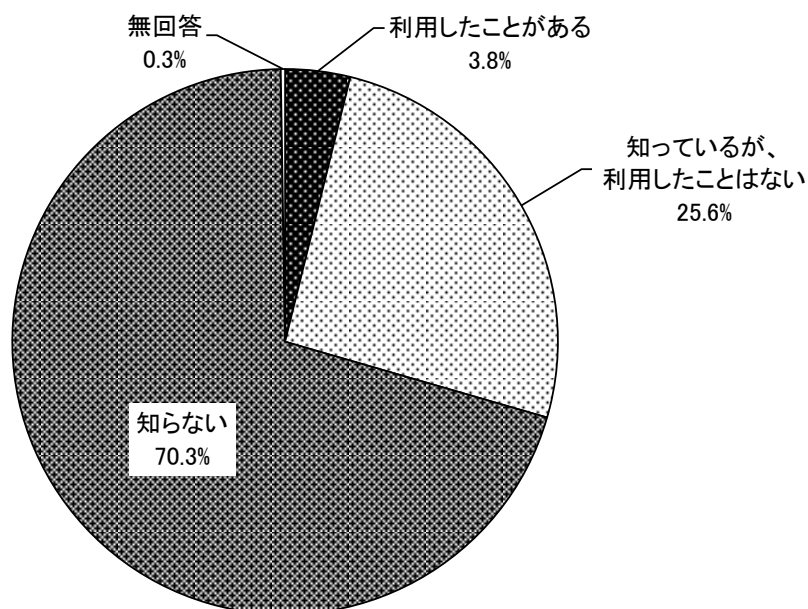
(4)「エセナおおた」の認知度

◇《知っている》(「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値)は約3割となっている

問4 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施しています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を知っていますか。(1つのみ)

“エセナおおた”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が29.4%である一方で、「知らない」が70.3%と、「知らない」が40.9ポイント上回っている。

全体 n=780

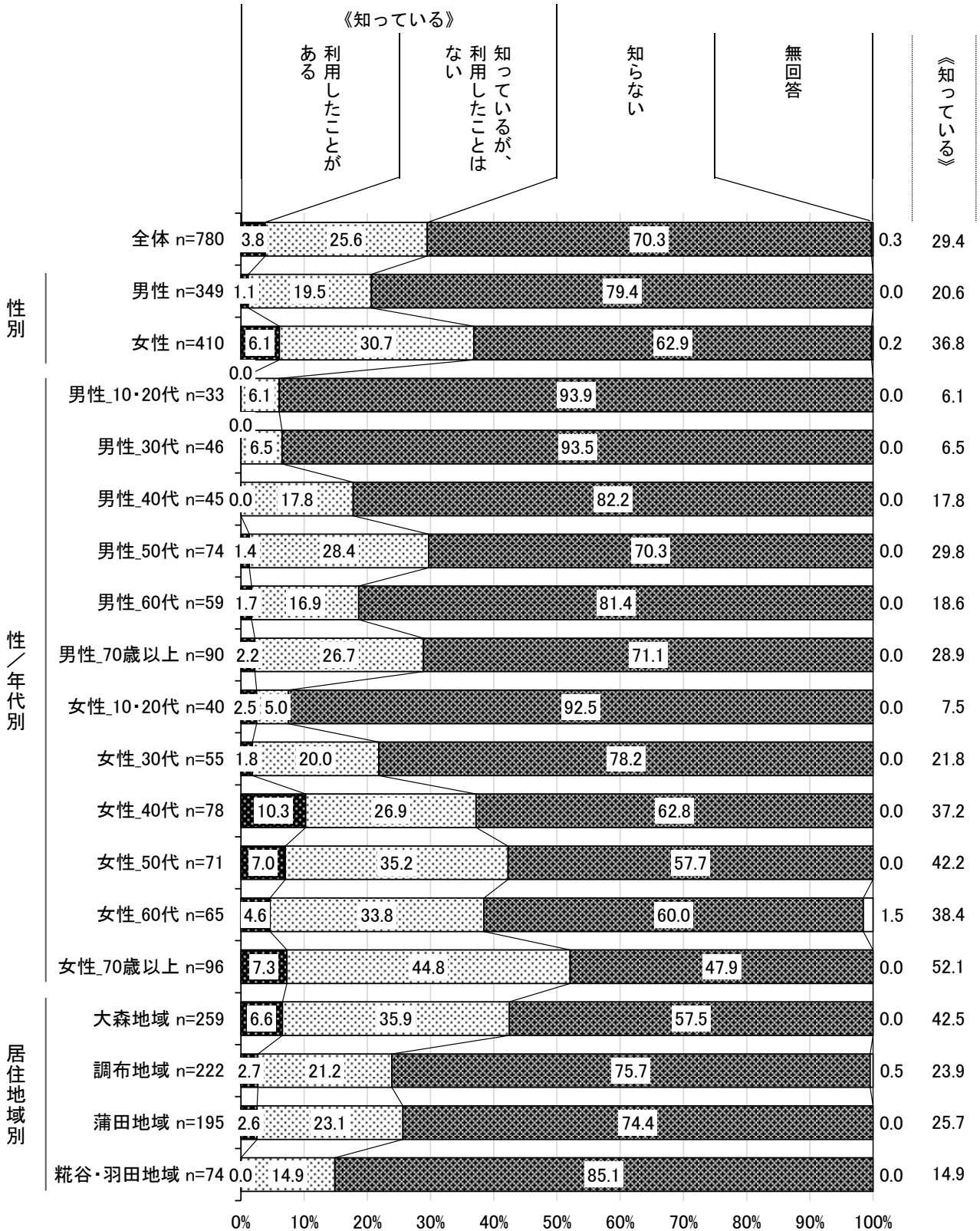


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が20.6%、女性が36.8%と、女性が16.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では50代で約3割、女性では70歳以上で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域で4割前半と高くなっている。



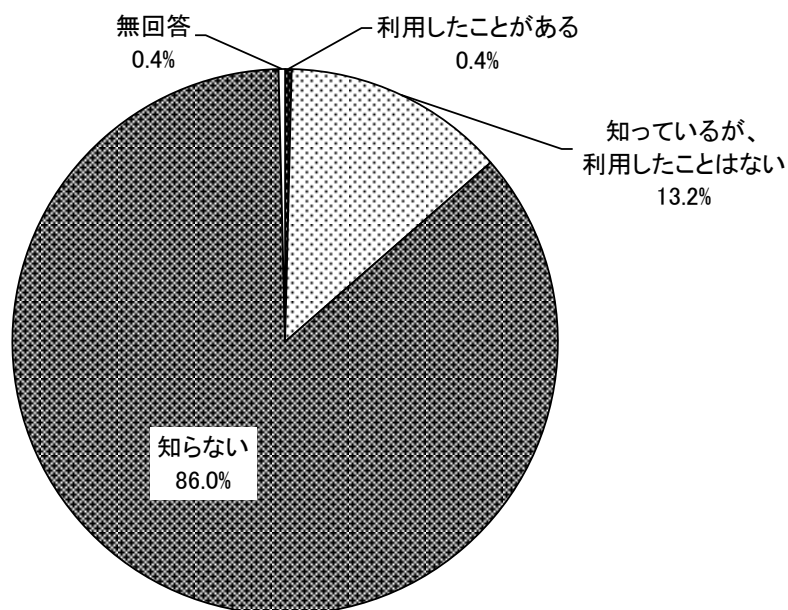
(5) 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度

◇ 《知っている》（「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値）は1割前半となっている

問5 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。（1つのみ）

“女性のためのたんぽぽ相談”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が13.6%である一方で、「知らない」が86.0%と、「知らない」が72.4ポイント上回っている。

全体 n=780

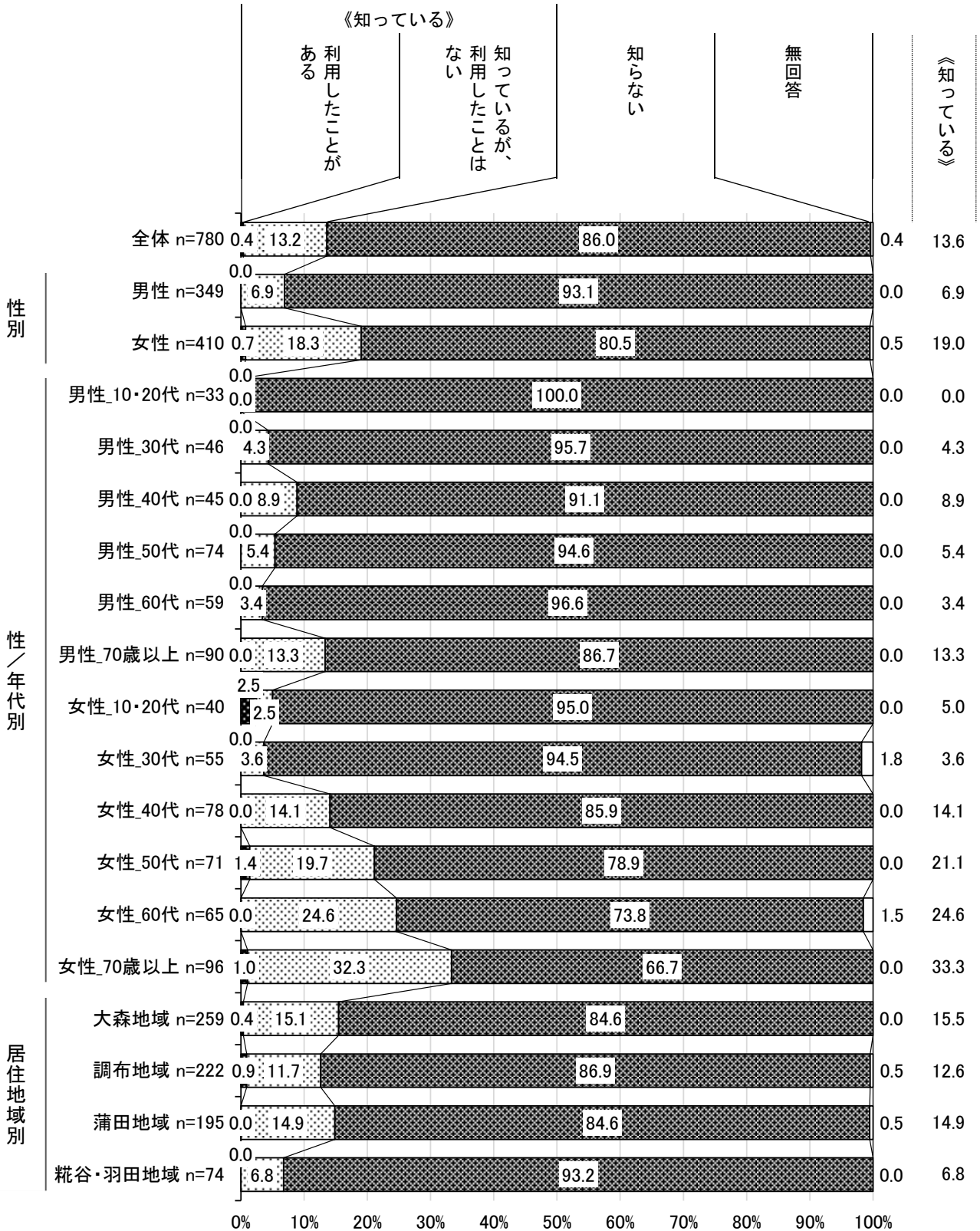


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が6.9%、女性が19.0%と、女性が12.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では70歳以上で1割前半、女性では70歳以上で3割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域、調布地域、蒲田地域で1割台となっている。



(6) 「成年後見制度」の認知度

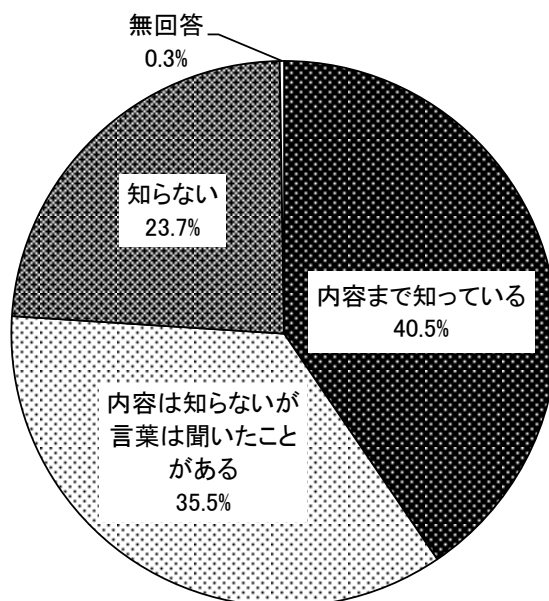
◇「内容まで知っている」は約4割となっている

問6 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障がい・精神障がいなどによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、
法的に支援する制度。

“成年後見制度”の認知度については、「内容まで知っている」が40.5%で最も高く、次いで「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が35.5%、「知らない」が23.7%となっている。

全体 n=780

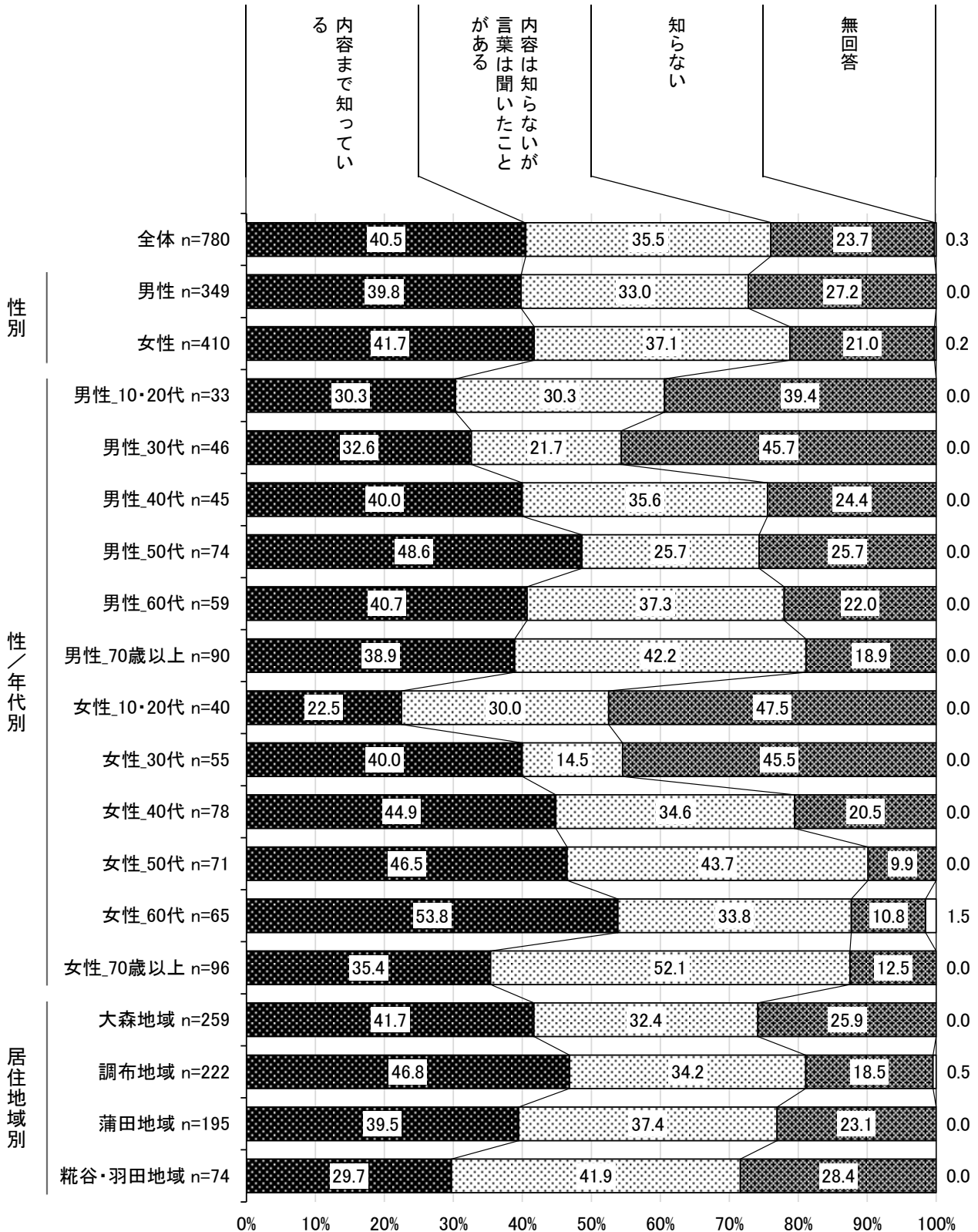


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「内容まで知っている」は男性が39.8%、女性が41.7%と、女性が1.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「内容まで知っている」は男性では50代で4割後半、女性では60代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「内容まで知っている」は調布地域で4割後半と高くなっている。



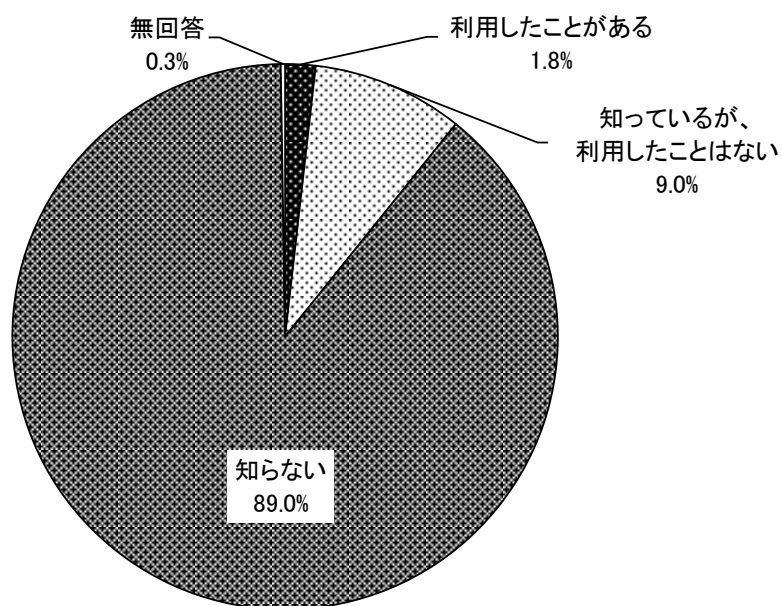
(7) 「ゆいっつ (大田区青少年交流センター)」の認知度

◇ 《知っている》(「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値)は約1割となっている

問7 「ゆいっつ (大田区青少年交流センター)」を知っていますか。(1つのみ)

“ゆいっつ (大田区青少年交流センター)”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が10.8%である一方で、「知らない」が89.0%と、「知らない」が78.2ポイント上回っている。

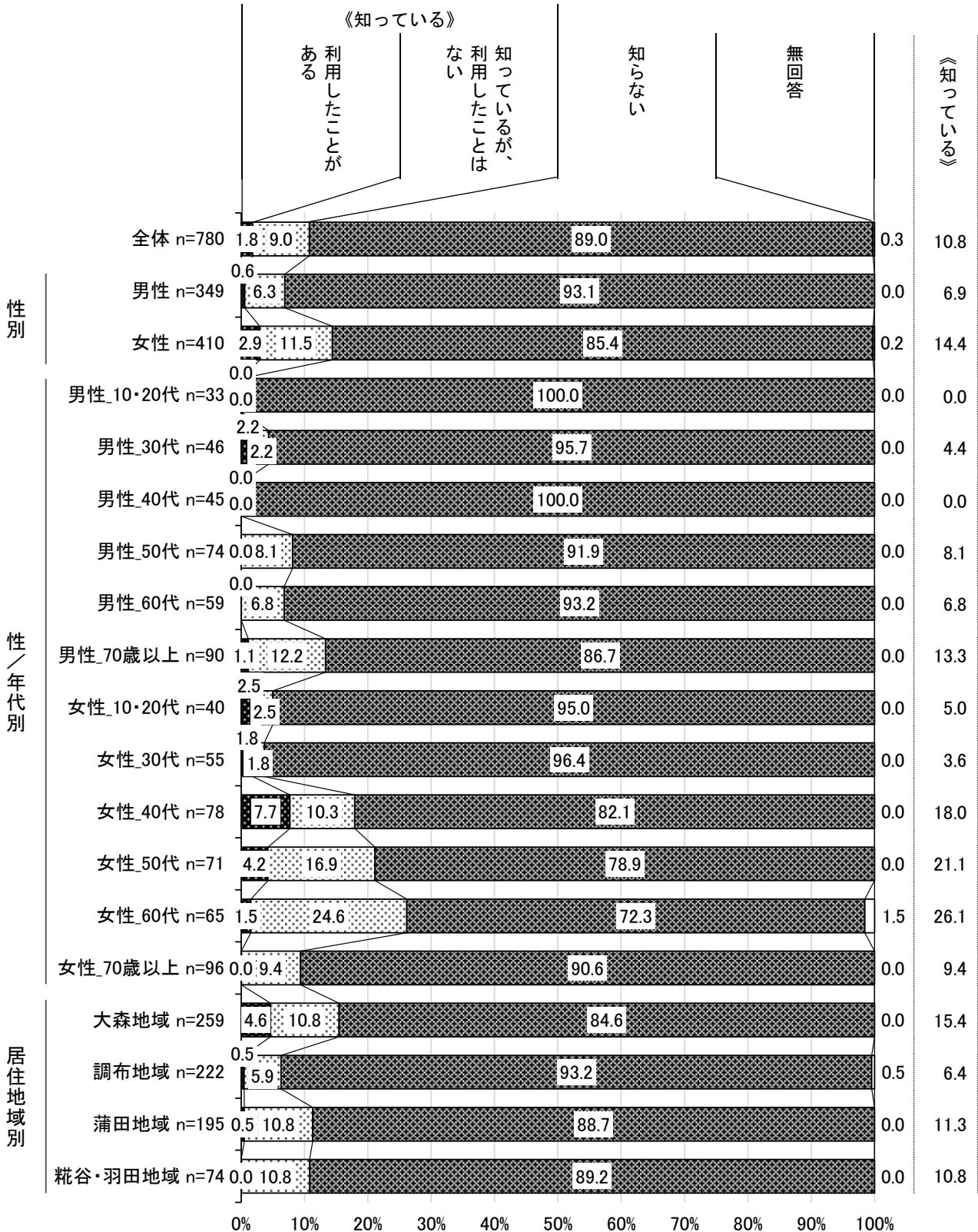
全体 n=780



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が6.9%、女性が14.4%と、女性が7.5ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《知っている》は男性では70歳以上で1割前半、女性では60代で2割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域で1割半ばと高くなっている。



(8)「ゆいつつ(大田区青少年交流センター)」で利用したい施設

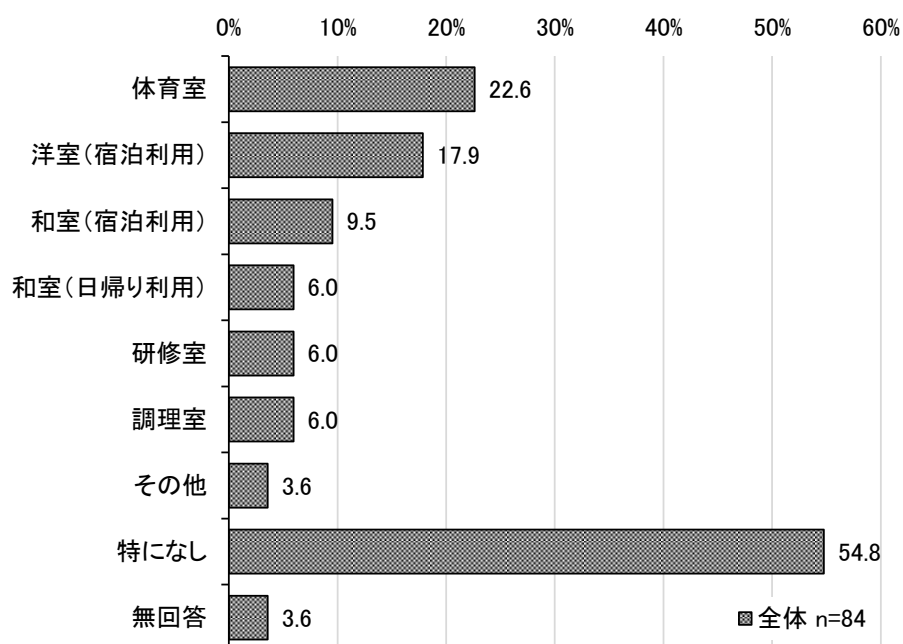
◇「体育室」が2割前半で最も高くなっている

【問7で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」と回答した方に伺います。】

問7-1 今後、「ゆいつつ(大田区青少年交流センター)」で利用したい施設はありますか。
(いくつでも)

ゆいつつ(大田区青少年交流センター)で利用したい施設については、「体育室」が22.6%で最も高く、次いで「洋室(宿泊利用)」が17.9%、「和室(宿泊利用)」が9.5%となっている。

なお、「特になし」は54.8%となっている。



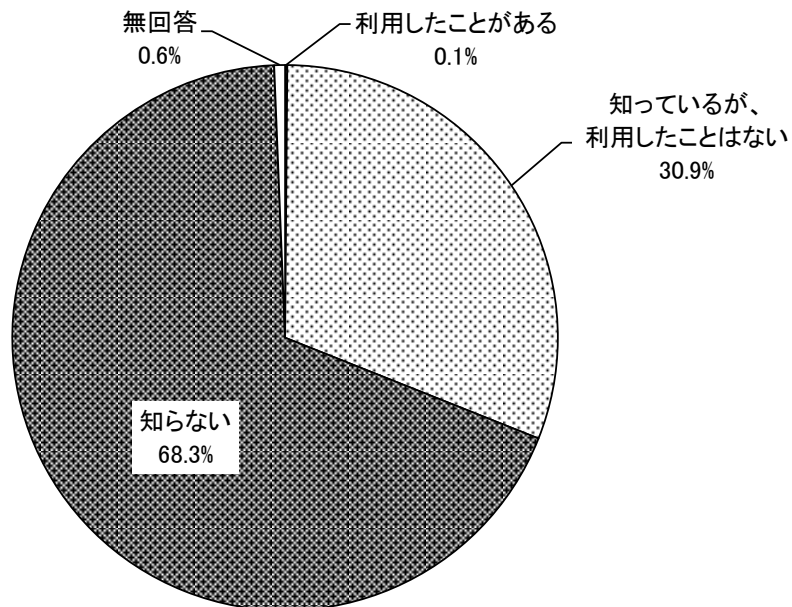
(9) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

◇ 《知っている》（「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値）は約3割となっている

問8 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）に関する相談を受け付けていることを知っていますか。
(1つのみ)

“大田区DV相談ダイヤル”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が31.0%である一方で、「知らない」が68.3%と、「知らない」が37.3ポイント上回っている。

全体 n=780

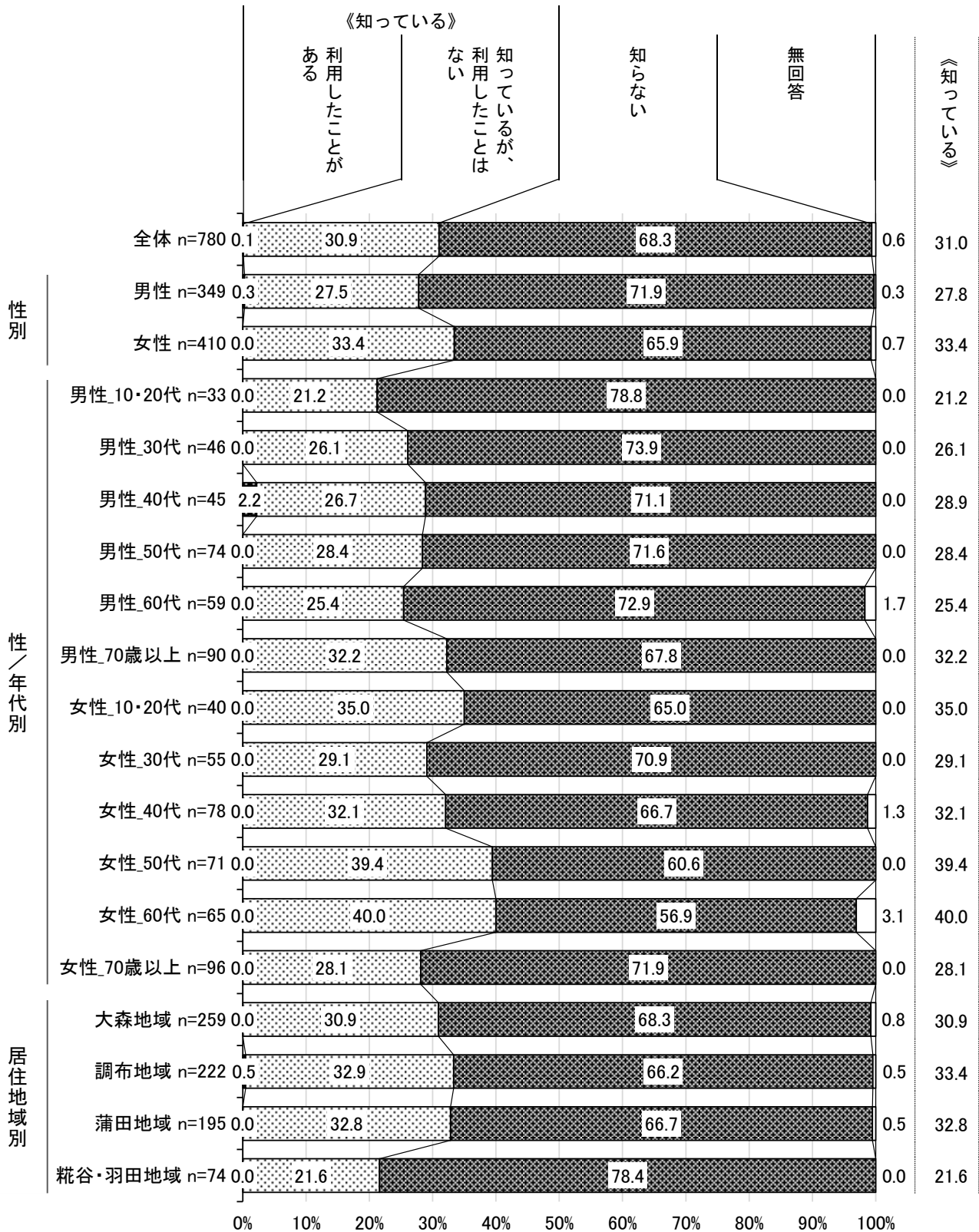


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が27.8%、女性が33.4%と、女性が5.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では70歳以上で3割前半、女性では50代、60代で約4割と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域、調布地域、蒲田地域で3割台となっている。



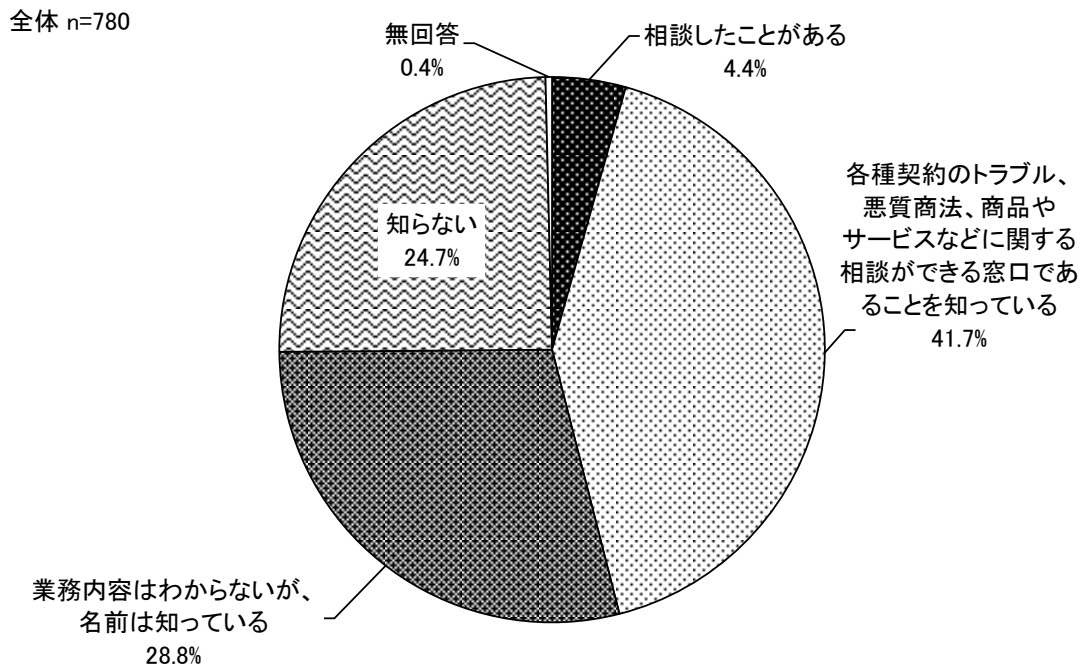
(10) 「大田区立消費者生活センター」の認知度

◇「相談したことがある」は1割未満となっている

問9 「大田区立消費者生活センター」を知っていますか。(1つのみ)

“大田区立消費者生活センター”の認知度については、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が41.7%で最も高く、次いで「業務内容はわからないが、名前は知っている」が28.8%、「知らない」が24.7%となっている。

なお、「相談したことがある」は4.4%となっている。

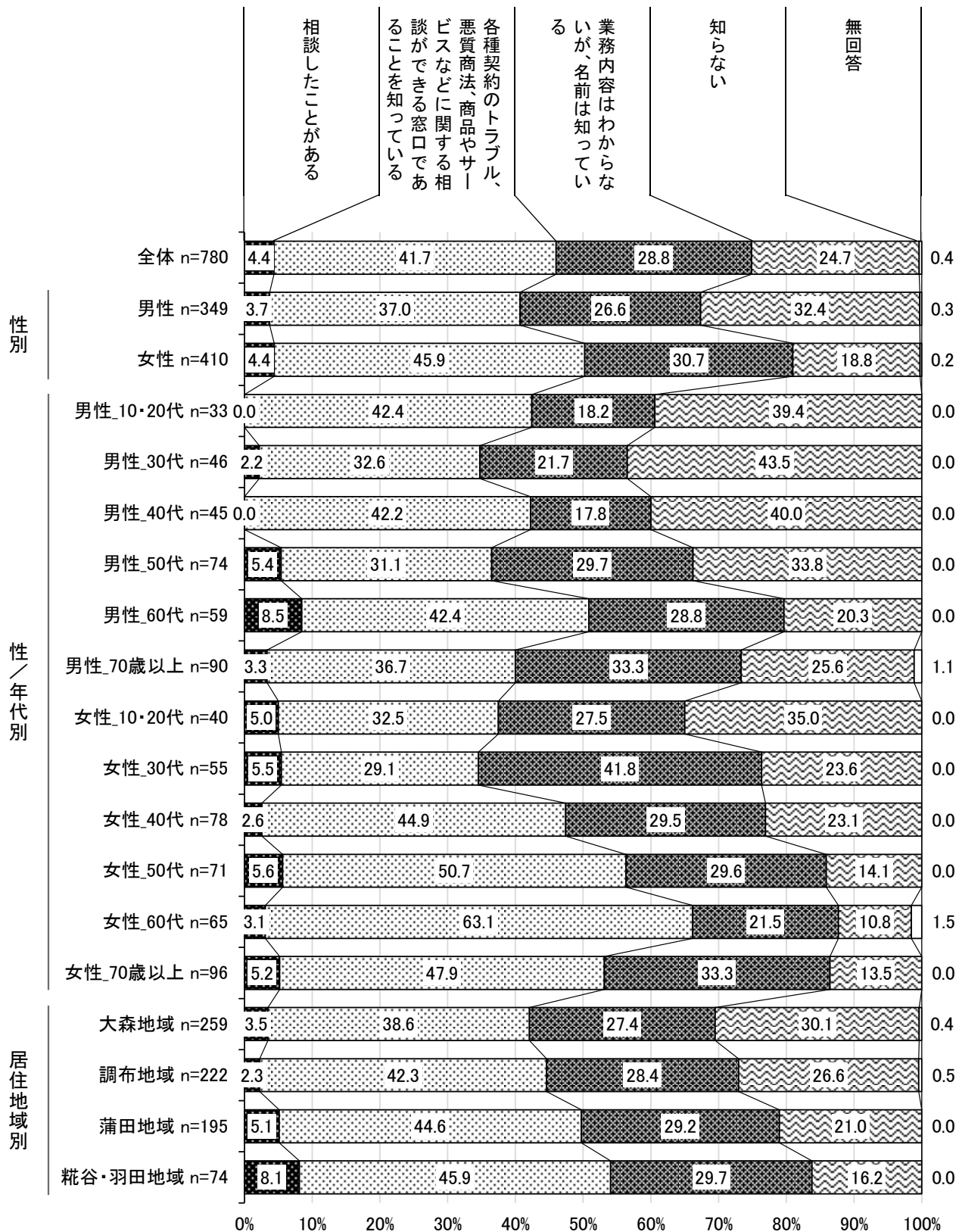


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「相談したことがある」に大きな差はみられないものの、「知らない」では男性が32.4%、女性が18.8%と、男性が13.6ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「相談したことがある」は男性60代で1割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「相談したことがある」は糞谷・羽田地域で1割弱と高くなっている。



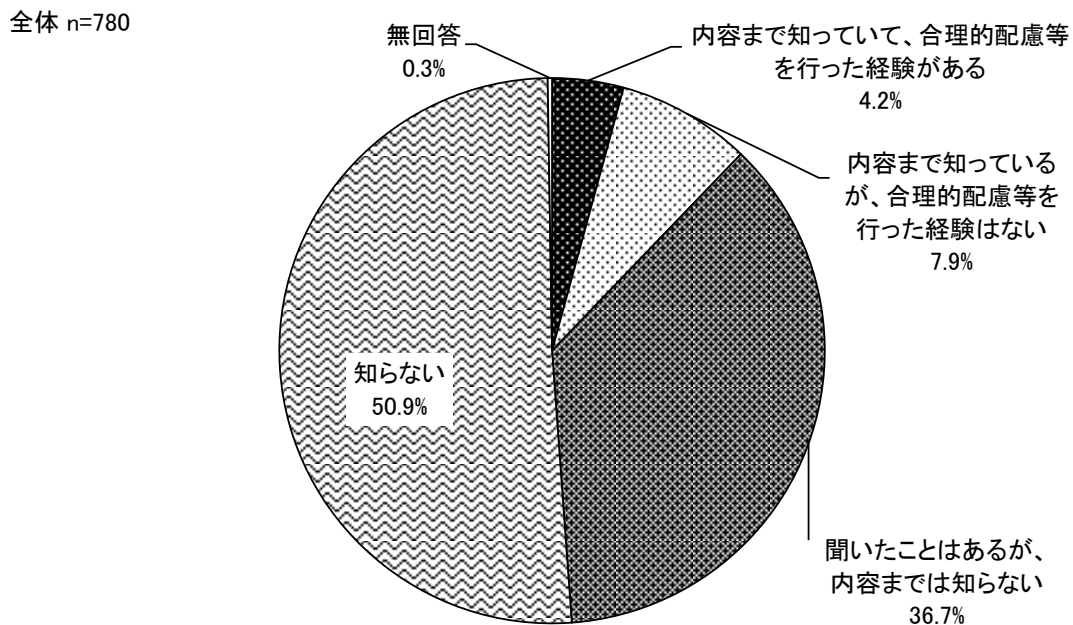
(11) 「障害者差別解消法」の認知度

◇「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は1割未満となっている

問 10 障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行されました。この法律を知っていますか。(1つのみ)

“障害者差別解消法”の認知度については、「知らない」が50.9%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が36.7%、「内容まで知っているが、合理的配慮等を行った経験はない」が7.9%となっている。

なお、「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は4.2%となっている。

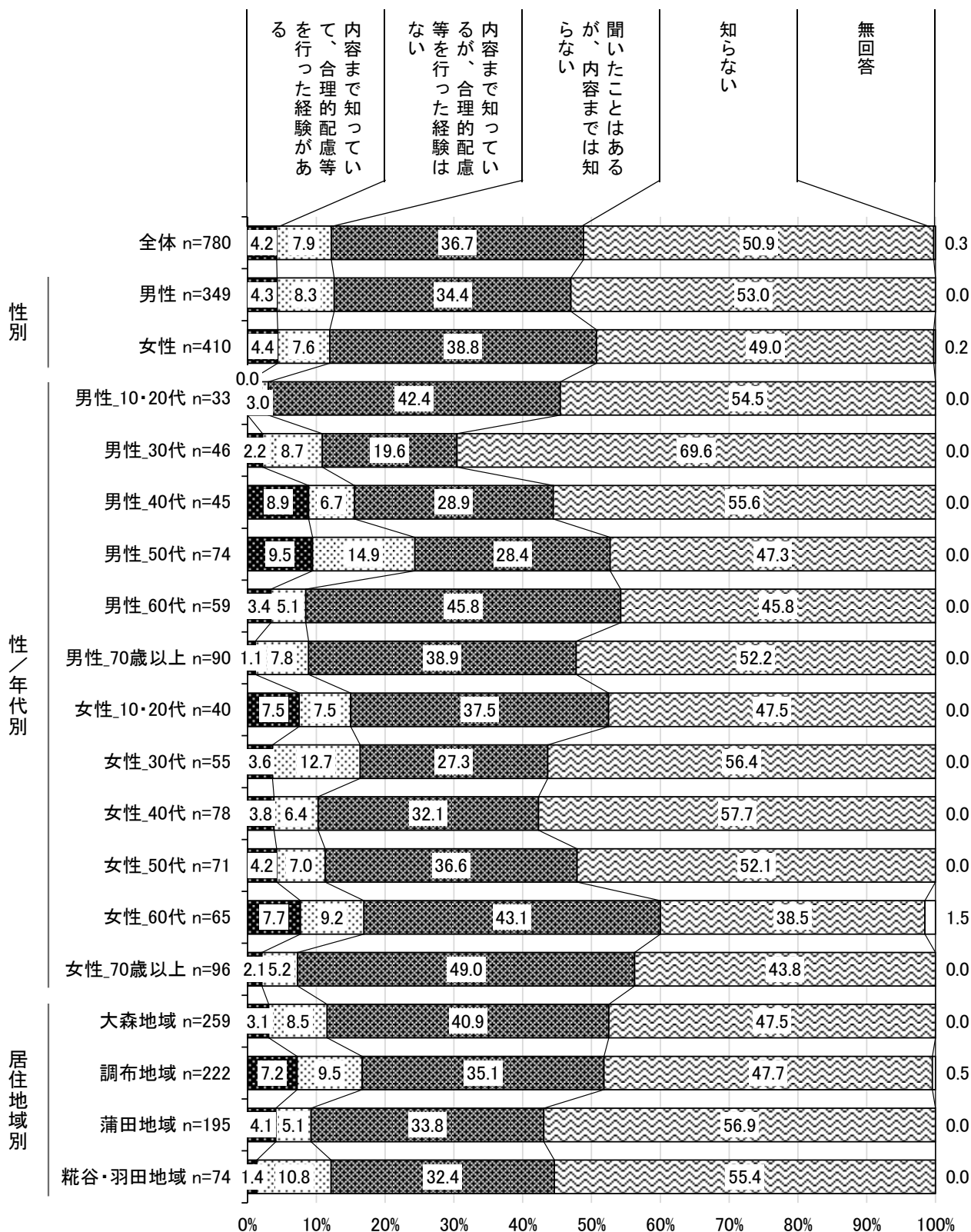


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は男性では40代、50代で約1割、女性では10・20代、60代で1割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は調布地域で1割弱と高くなっている。



(12) 「社会的包摂」の認知度

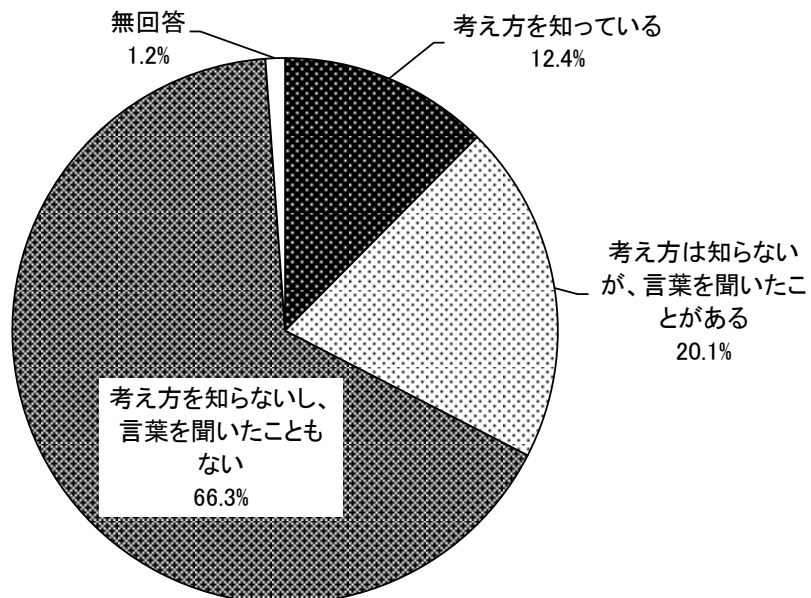
◇「考え方を知っている」は1割前半となっている

問 11 大田区では、子どもたちを誰一人取り残さないよう、子どもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべての子どもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。

「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

“社会的包摂”の認知度については、「考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない」が66.3%で最も高く、次いで「考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある」が20.1%、「考え方を知っている」が12.4%となっている。

全体 n=780

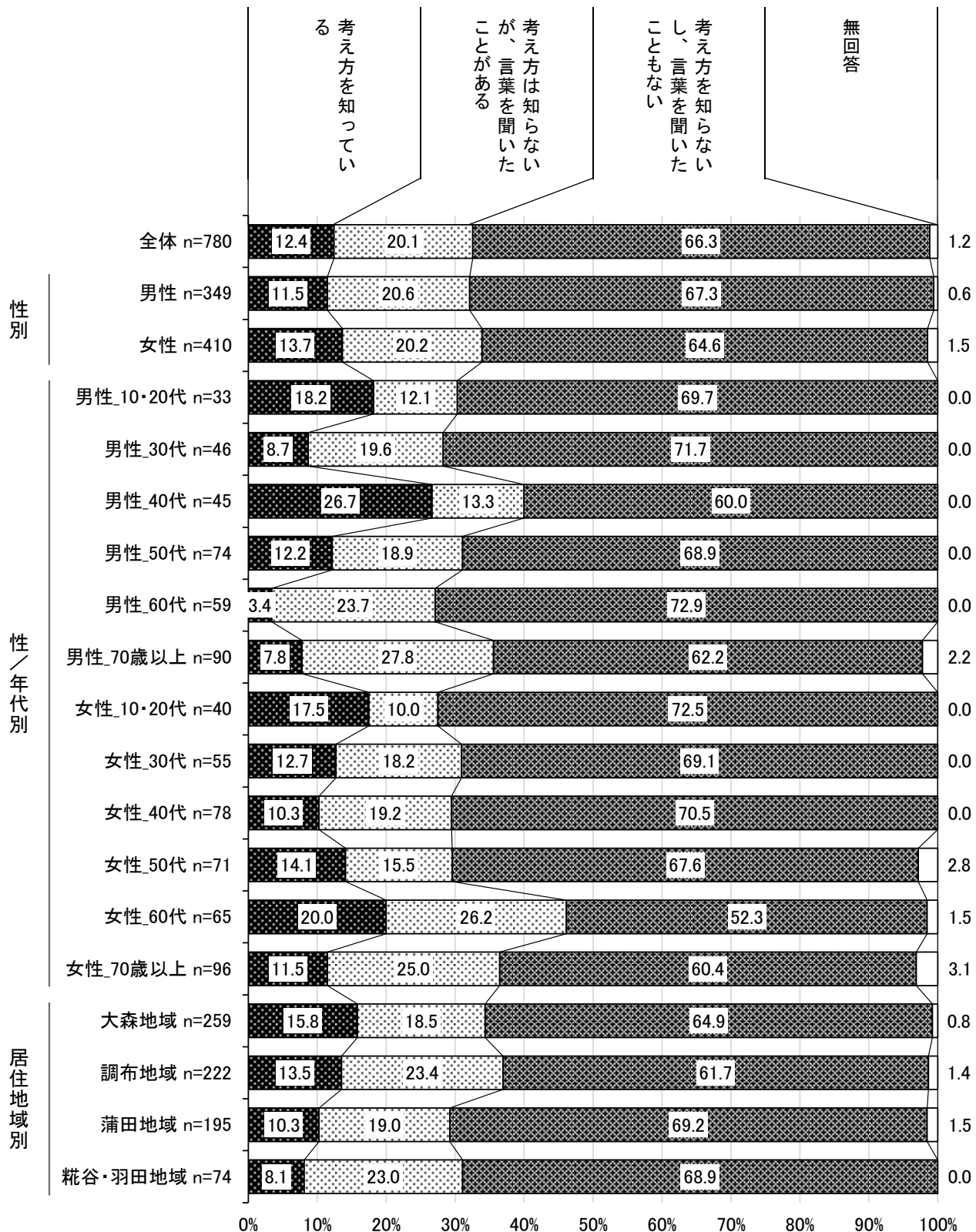


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「考え方を知っている」は男性では40代で2割後半、女性では60代で2割と高くなっている。

居住地域別でみると、「考え方を知っている」は大森地域で1割半ばと高くなっている。



3 生涯学習について

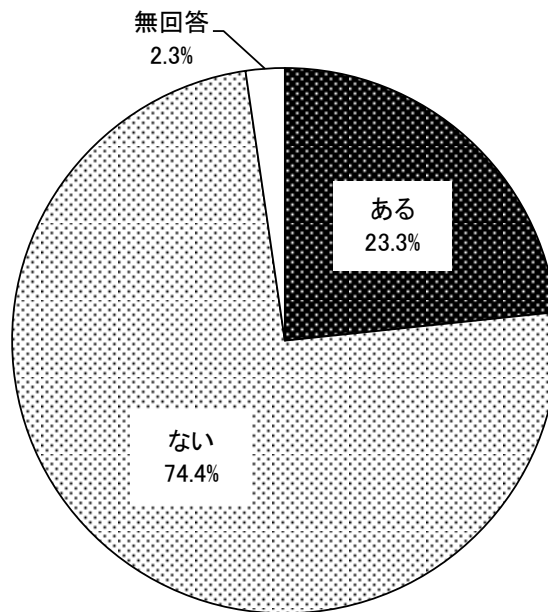
(1) 最近1年間の生涯学習の有無

◇「ある」は2割前半となっている

問 12 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が23.3%、「ない」が74.4%と、「ない」が51.1ポイント上回っている。

全体 n=780

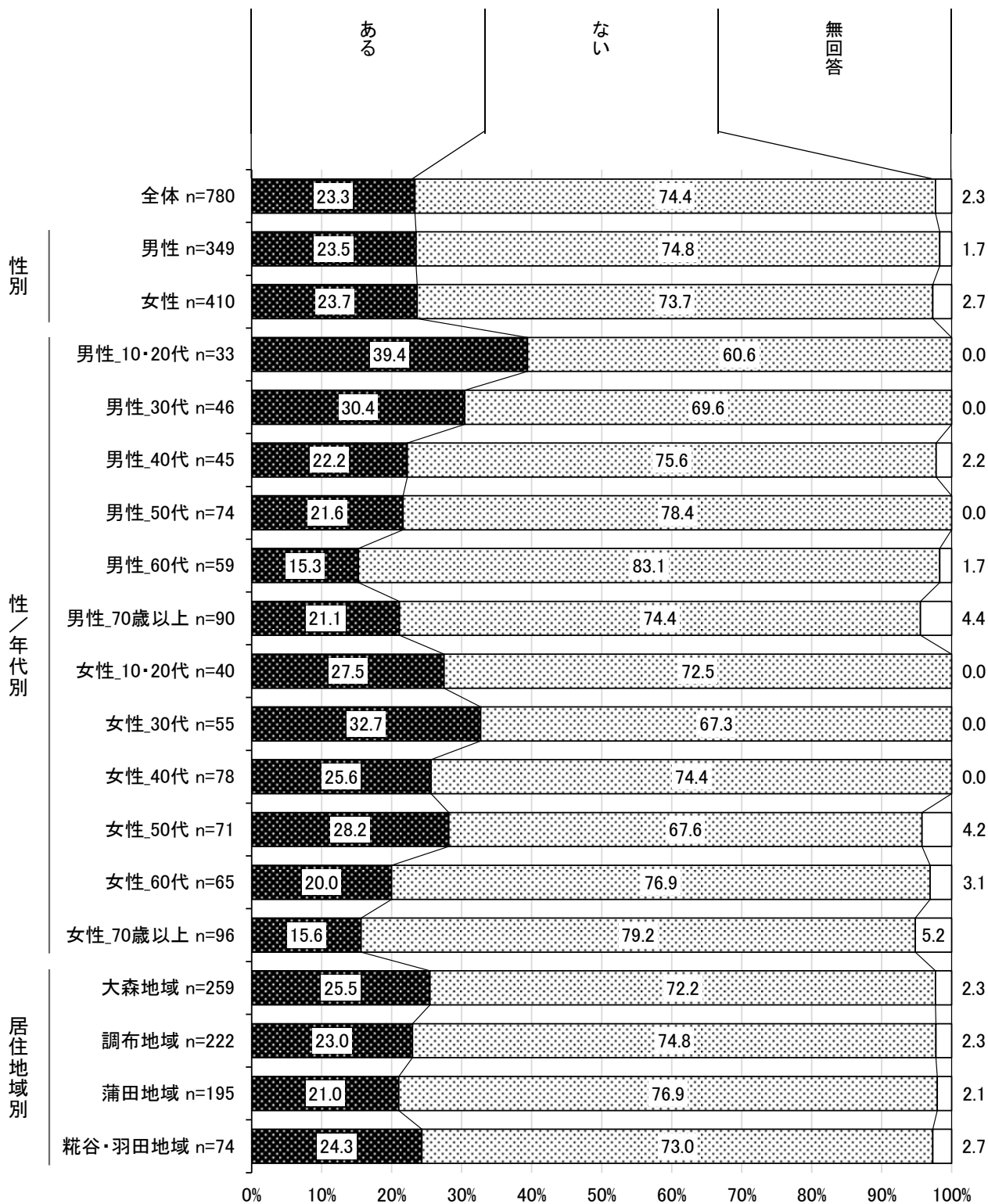


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「ある」は男性では10・20代で約4割、女性では30代で3割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は大森地域、糶谷・羽田地域で2割半ばと高くなっている。



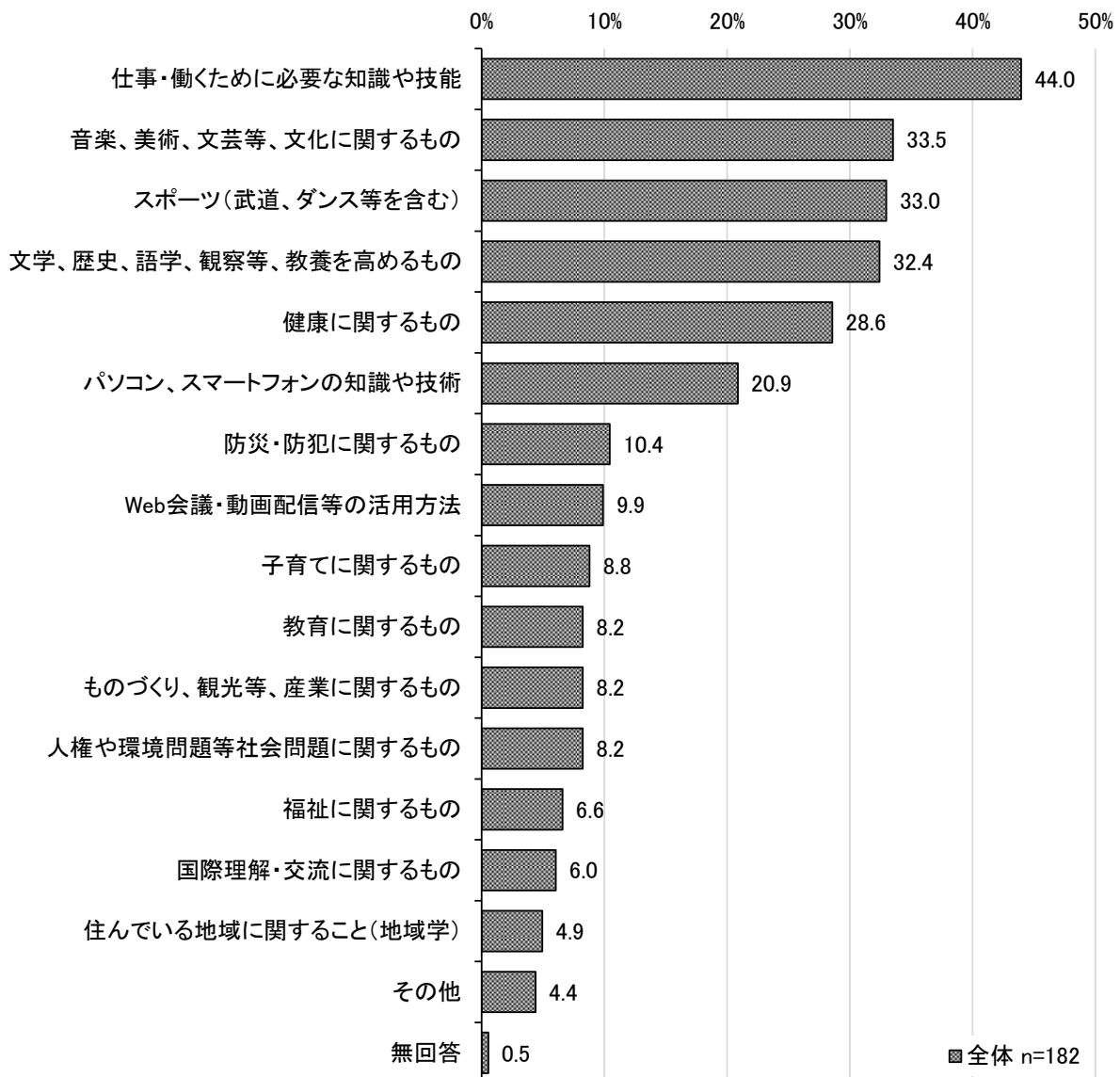
(2) 最近1年間で行った生涯学習

◇「仕事・働くために必要な知識や技能」が4割前半で最も高くなっている

【問12で「ある」と回答した方に伺います。】

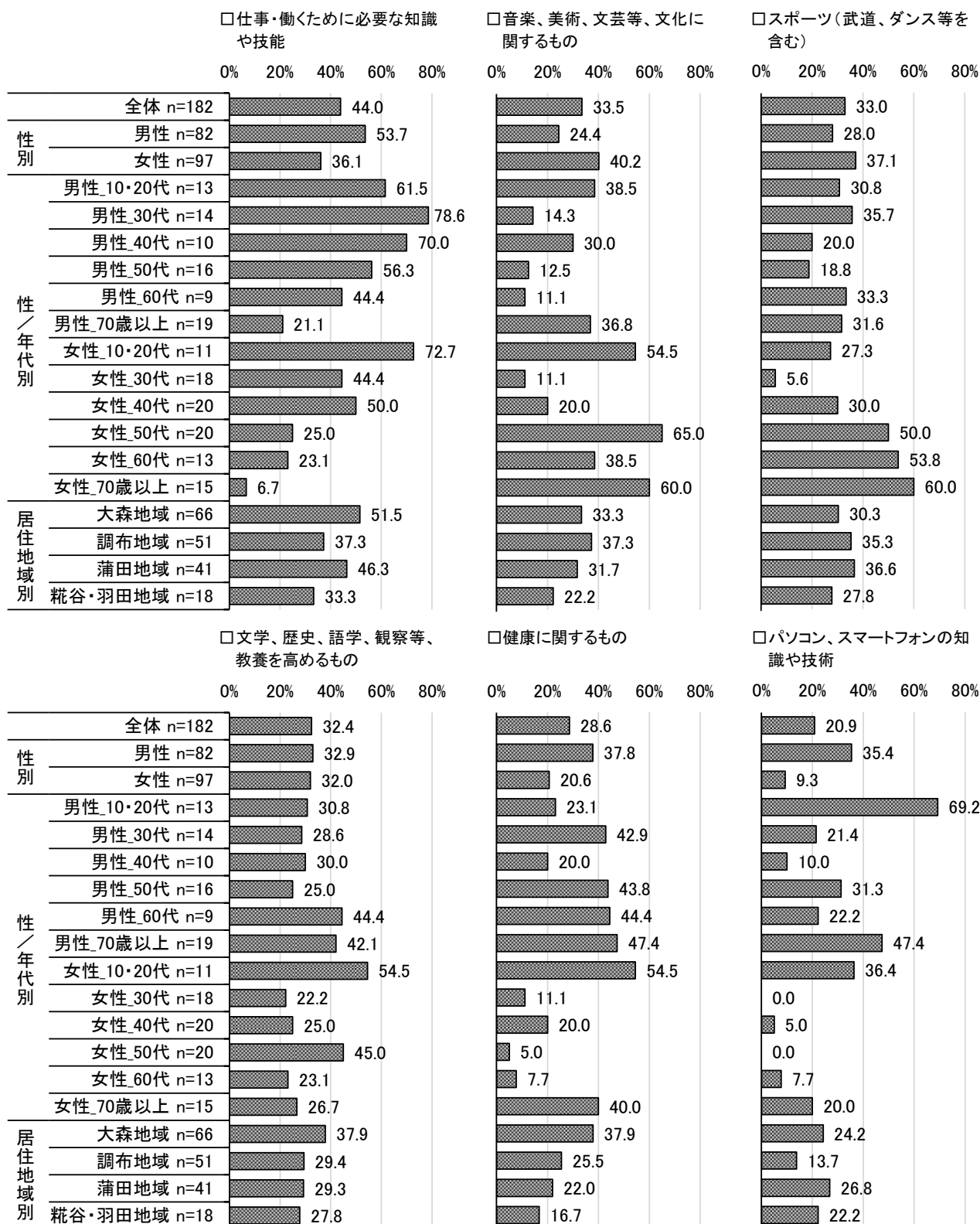
問12-1 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。(いくつでも)

最近1年間で行った生涯学習については、「仕事・働くために必要な知識や技能」が44.0%で最も高く、次いで「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が33.5%、「スポーツ(武道、ダンス等を含む)」が33.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「仕事・働くために必要な知識や技能」が最も高く、女性では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が最も高くなっている。「仕事・働くために必要な知識や技能」は男性が53.7%、女性が36.1%と、男性が17.6ポイント上回っている。



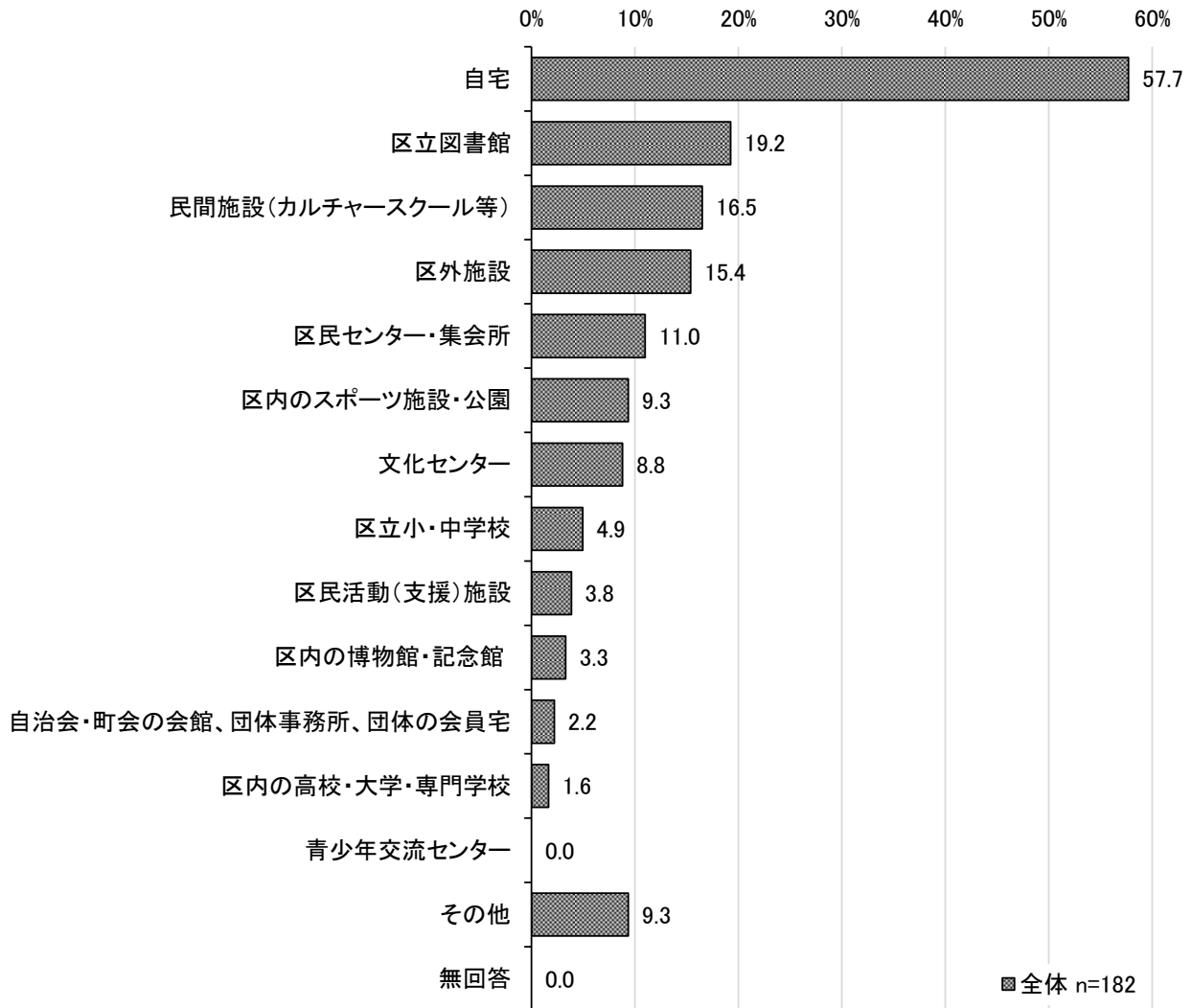
(3) 生涯学習の活動場所

◇「自宅」が5割後半で最も高くなっている

【問12で「ある」と回答した方に伺います。】

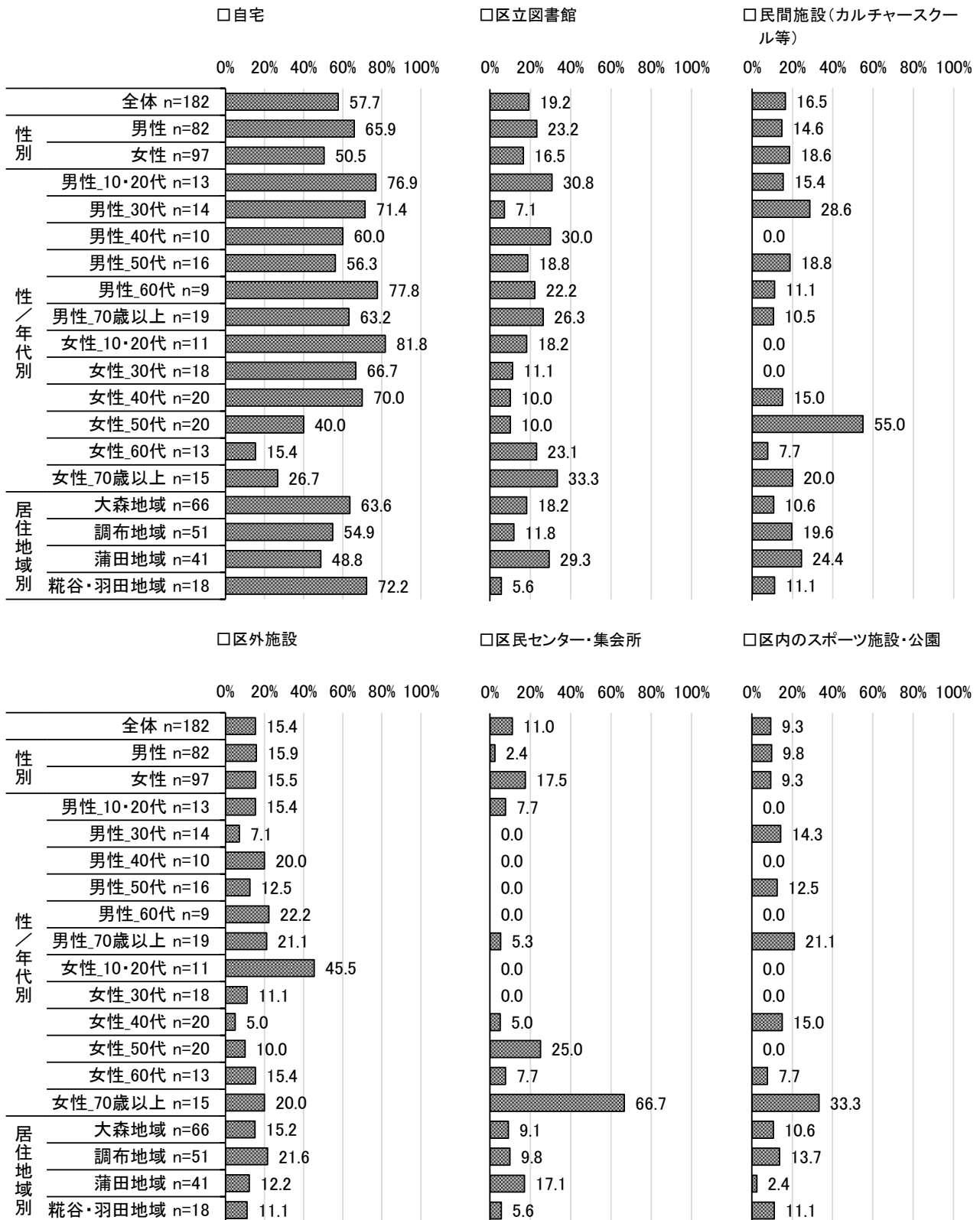
問12-2 あなたが生涯学習を行っている場所はどこですか。(いくつでも)

生涯学習の活動場所については、「自宅」が57.7%で最も高く、次いで「区立図書館」が19.2%、「民間施設(カルチャースクール等)」が16.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、「自宅」は男性が65.9%、女性が50.5%と、男性が15.4ポイント上回っている。



(4) オンラインによる生涯学習の有無

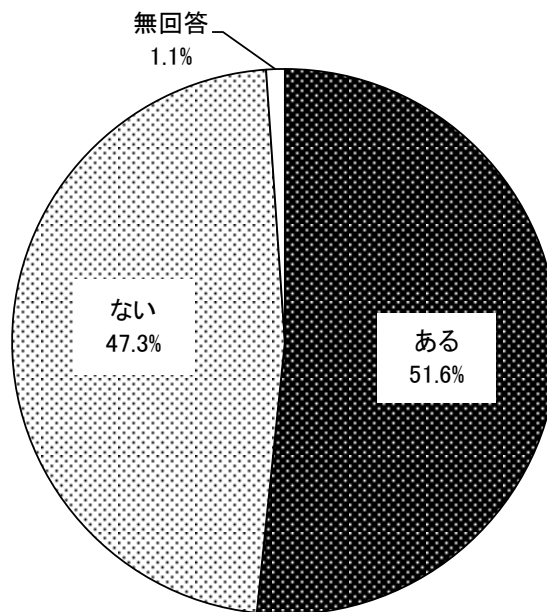
◇「ある」は5割前半となっている

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-3 あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

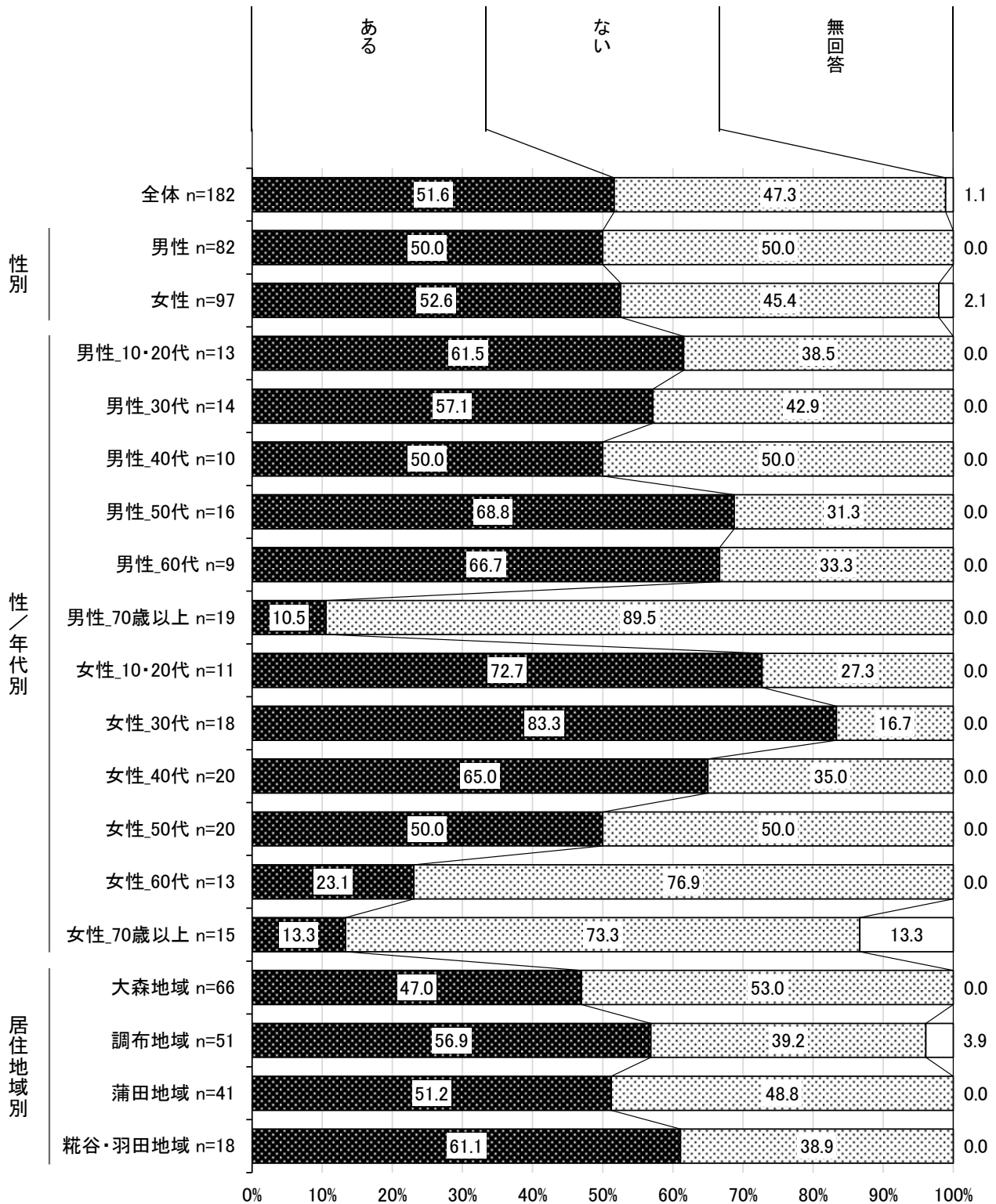
オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が51.6%、「ない」が47.3%と、「ある」が4.3ポイント上回っている。

全体 n=182



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ある」に大きな差はみられないものの、「ない」では男性が50.0%、女性が45.4%と、男性が4.6ポイント上回っている。



(5) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていること

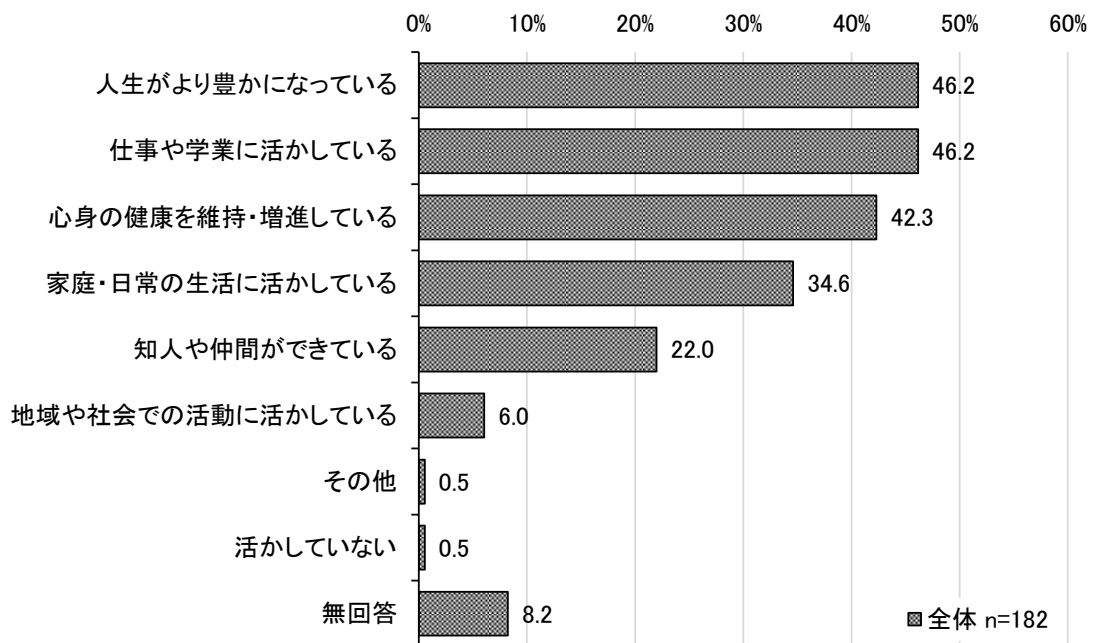
◇「人生がより豊かになっている」、「仕事や学業に活かしている」が4割後半で最も高くなっている

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-4 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(いくつでも)

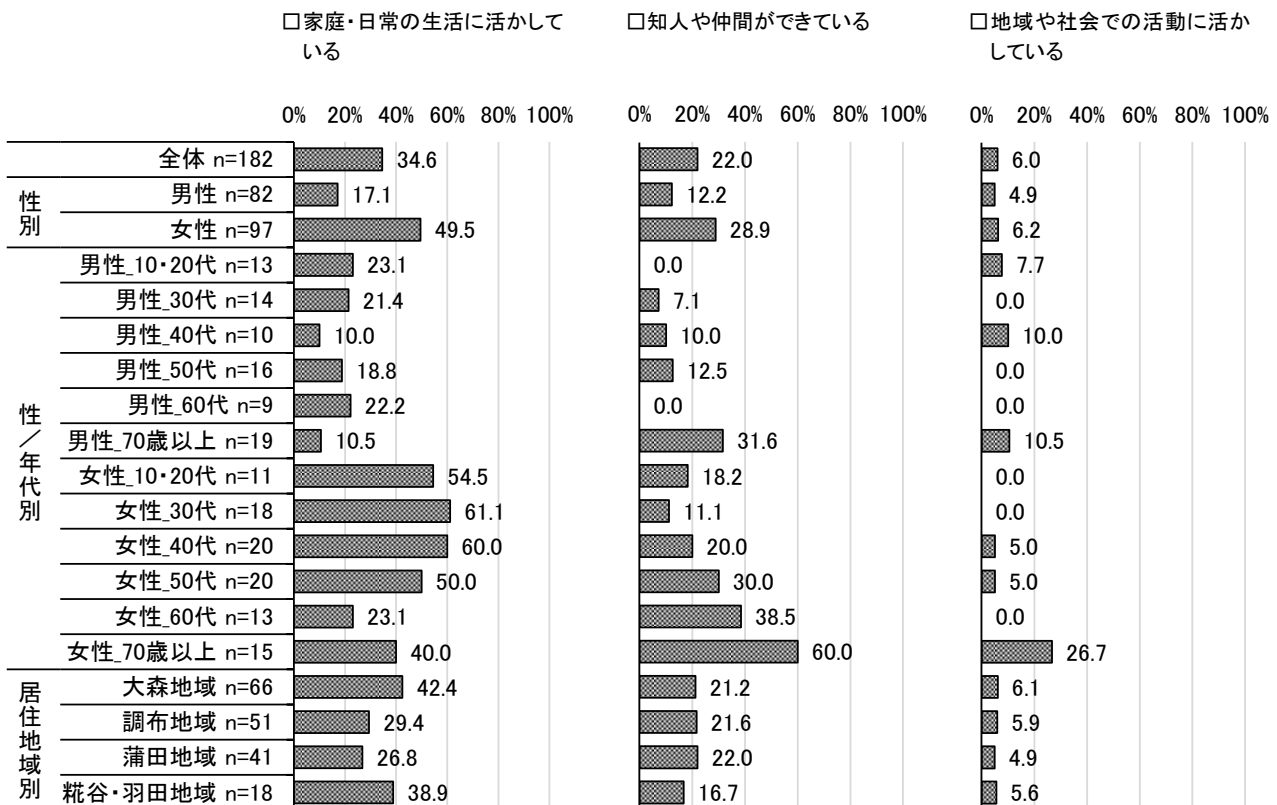
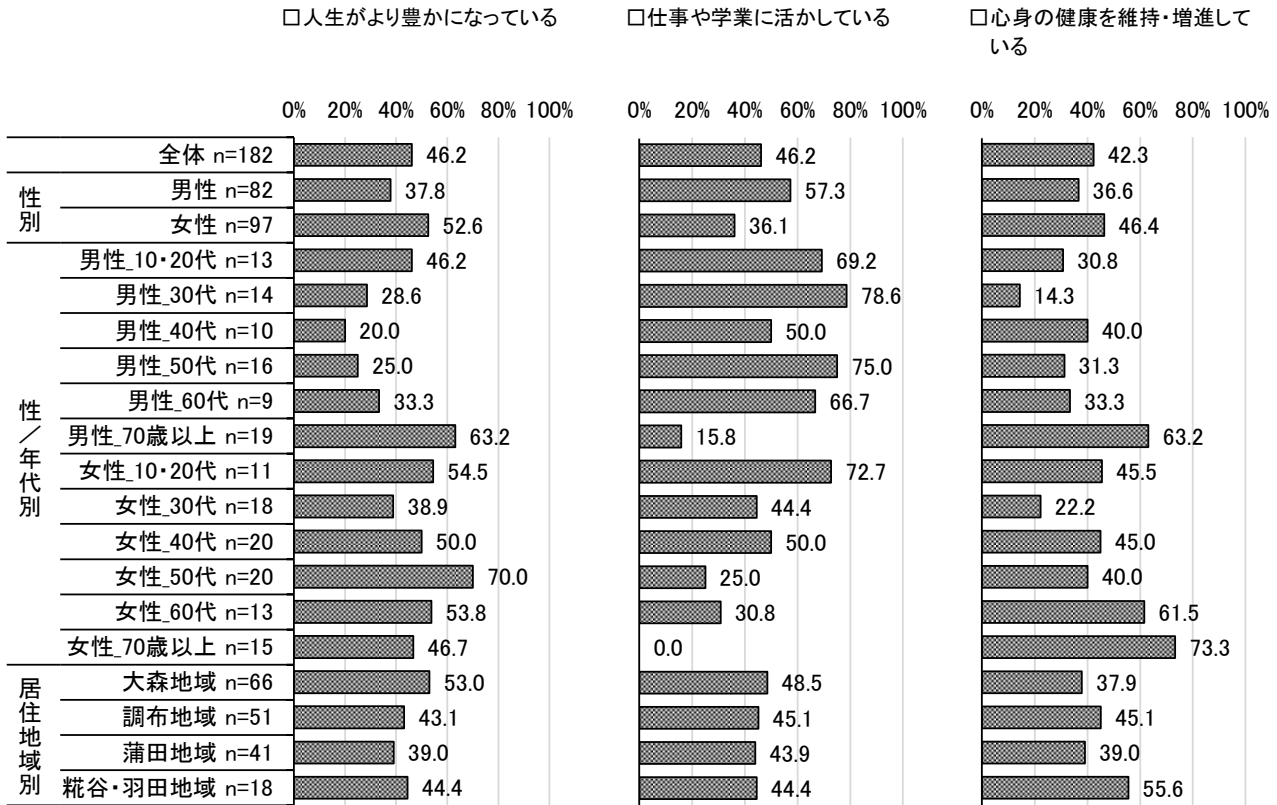
生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていることについては、「人生がより豊かになっている」、「仕事や学業に活かしている」がともに 46.2%で最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進している」が 42.3%、「家庭・日常の生活に活かしている」が 34.6%となっている。

なお、「活かしていない」は 0.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「仕事や学業に活かしている」が最も高く、女性では「人生がより豊かになっている」が最も高くなっている。「人生がより豊かになっている」は男性が37.8%、女性が52.6%と、女性が14.8ポイント上回っている。「仕事や学業に活かしている」は男性が57.3%、女性が36.1%と、男性が21.2ポイント上回っている。



(6) 生涯学習の状況

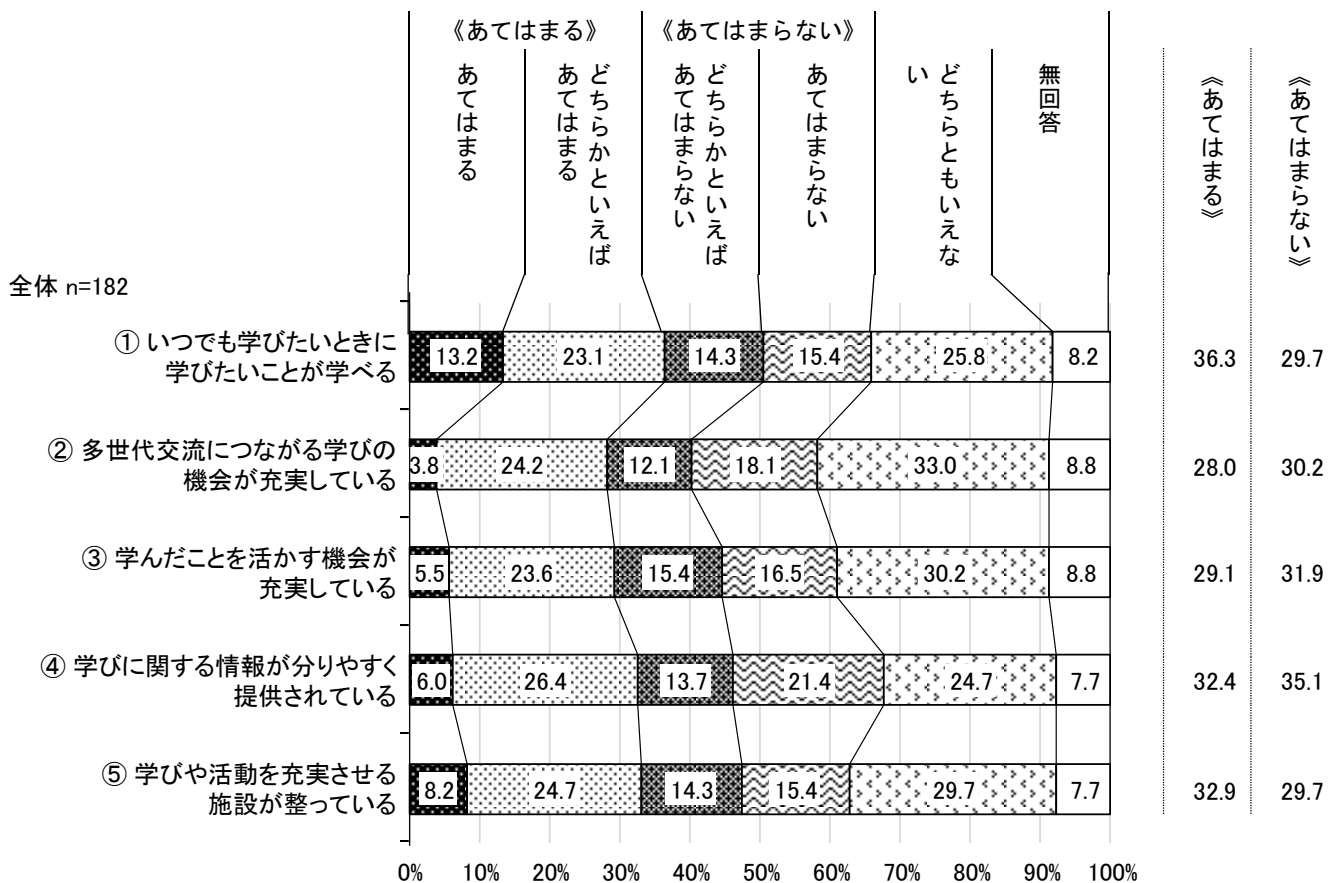
◇ 《あてはまる》(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は『①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる』が3割後半で最も高くなっている

【問 12で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-5 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

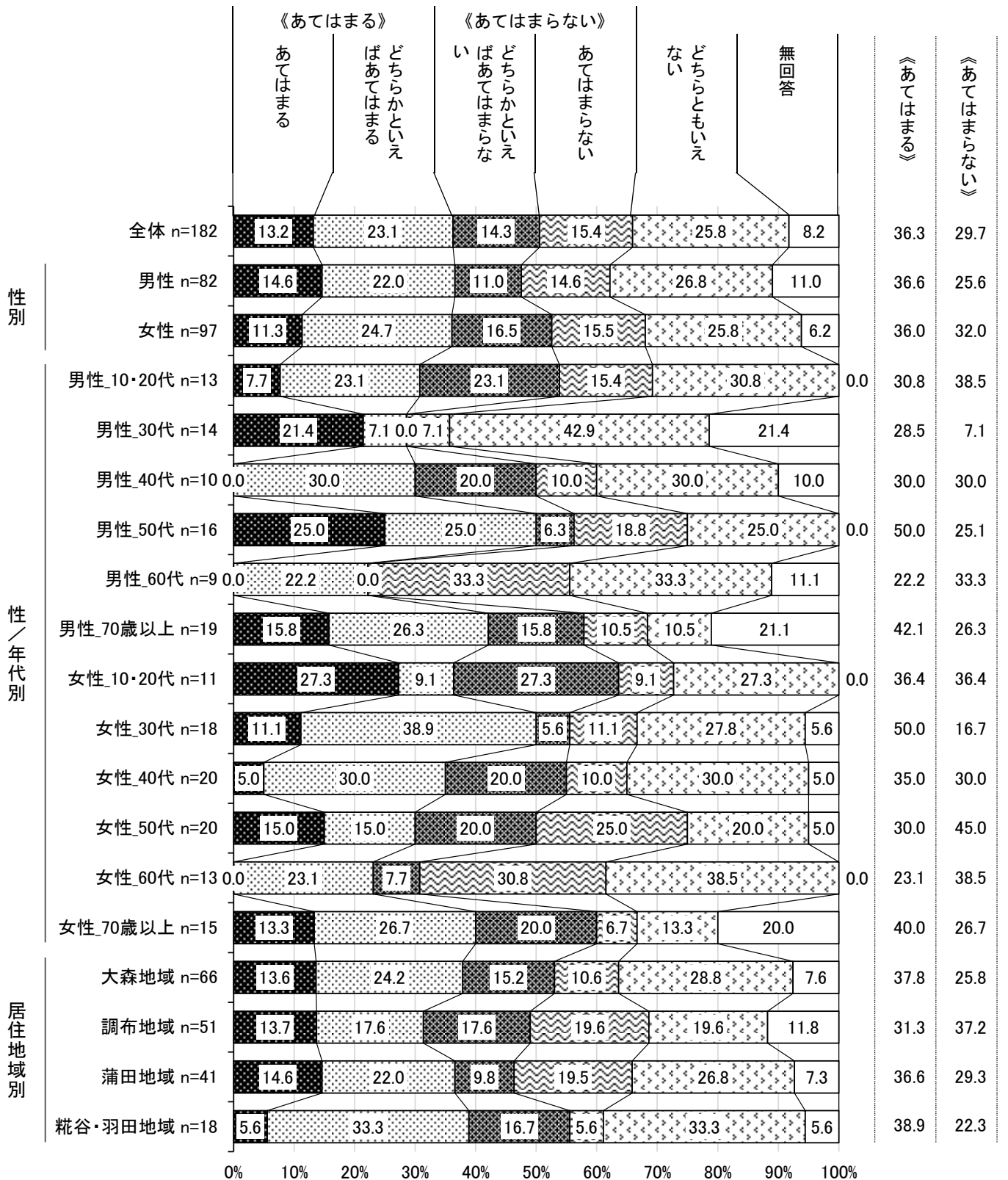
※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

生涯学習の状況については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は『①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる』が36.3%で最も高く、次いで『⑤学びや活動を充実させる施設が整っている』が32.9%、『④学びに関する情報が分りやすく提供されている』が32.4%となっている。



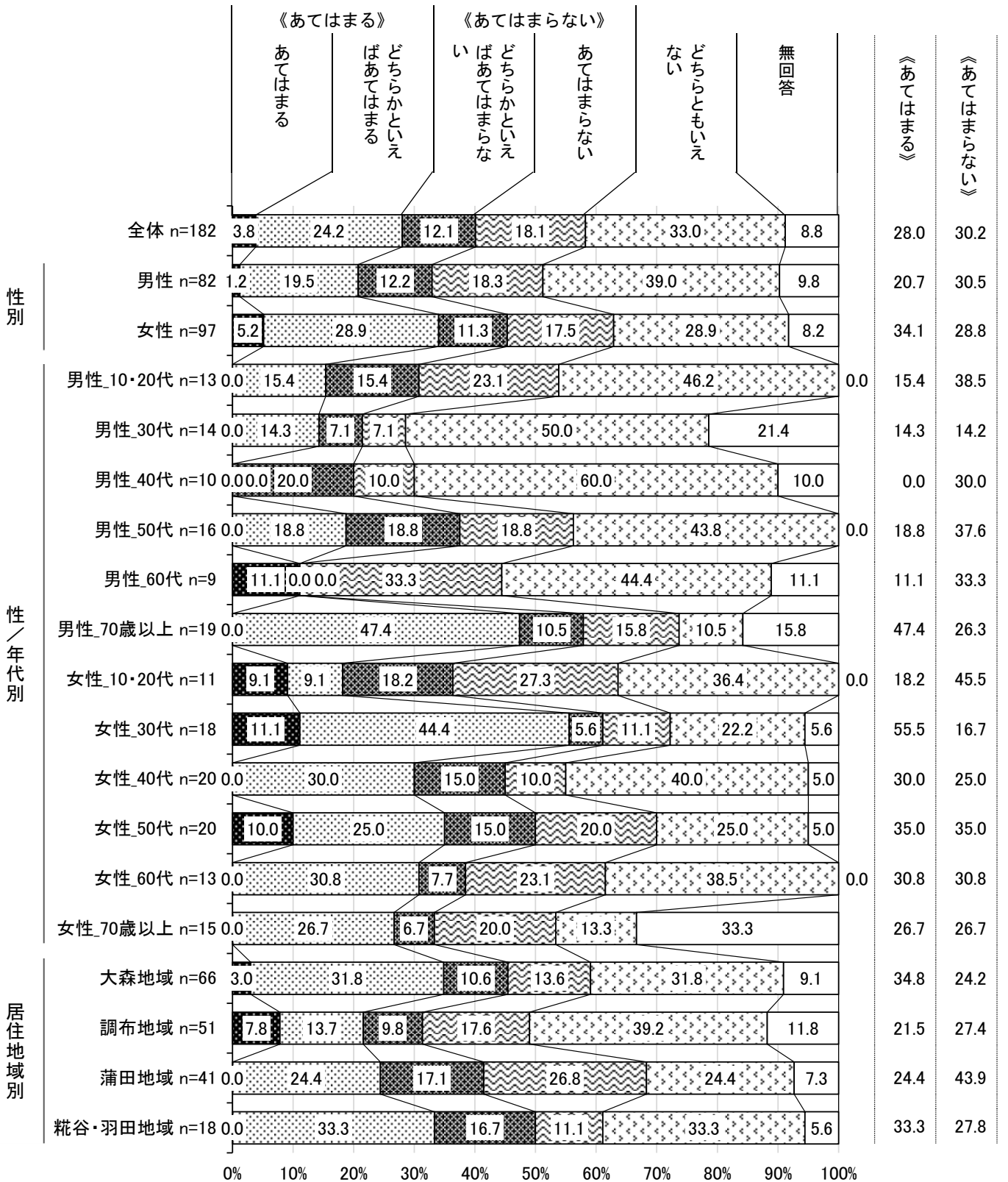
■性別・性／年代別・居住地域別_①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる

性別でみると、《あてはまる》に大きな差はみられないものの、《あてはまらない》では男性が25.6%、女性が32.0%と、女性が6.4ポイント上回っている。



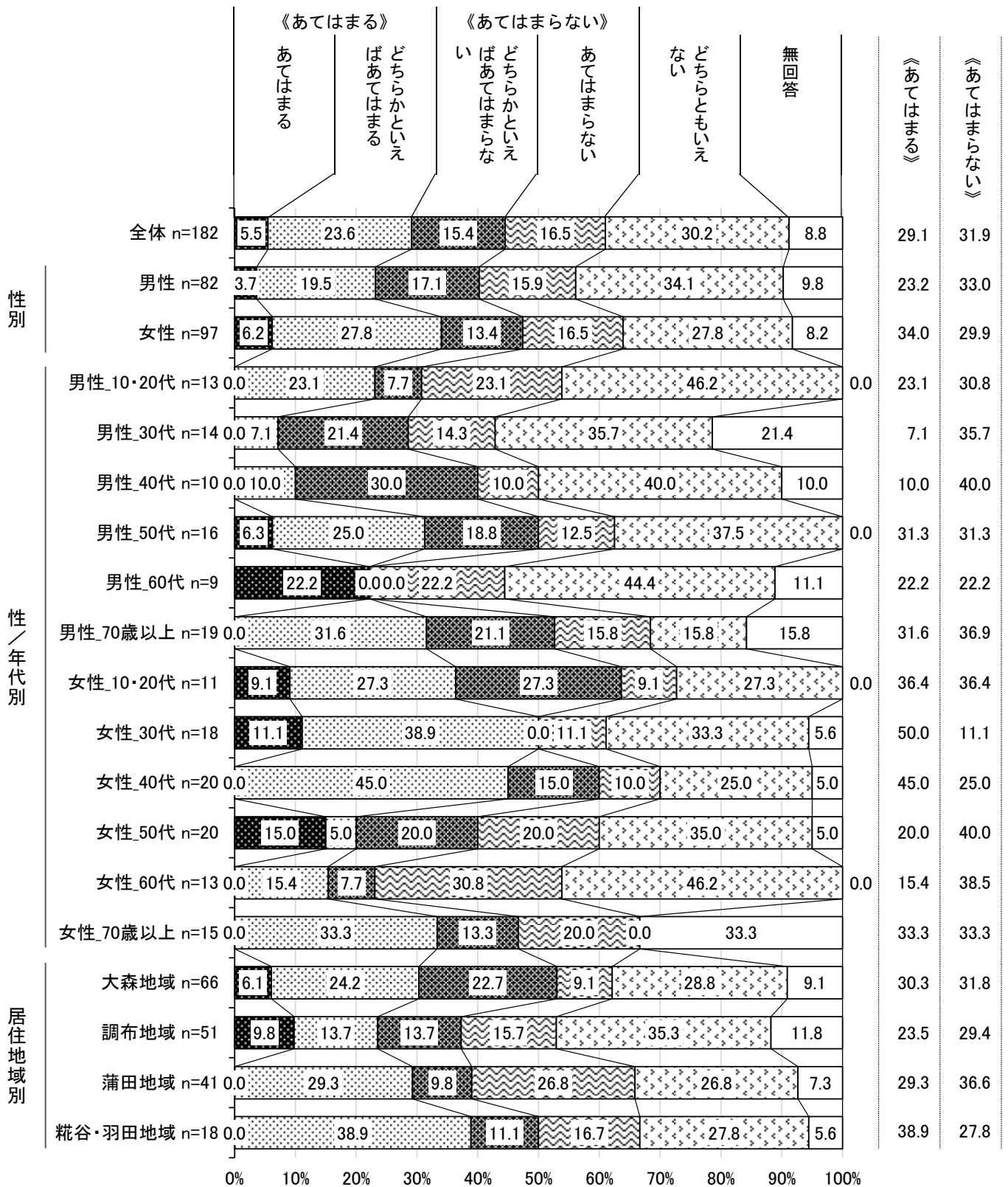
■性別・性／年代別・居住地域別_②多世代交流につながる学びの機会が充実している

性別でみると、《あてはまる》は男性が20.7%、女性が34.1%と、女性が13.4ポイント上回っている。



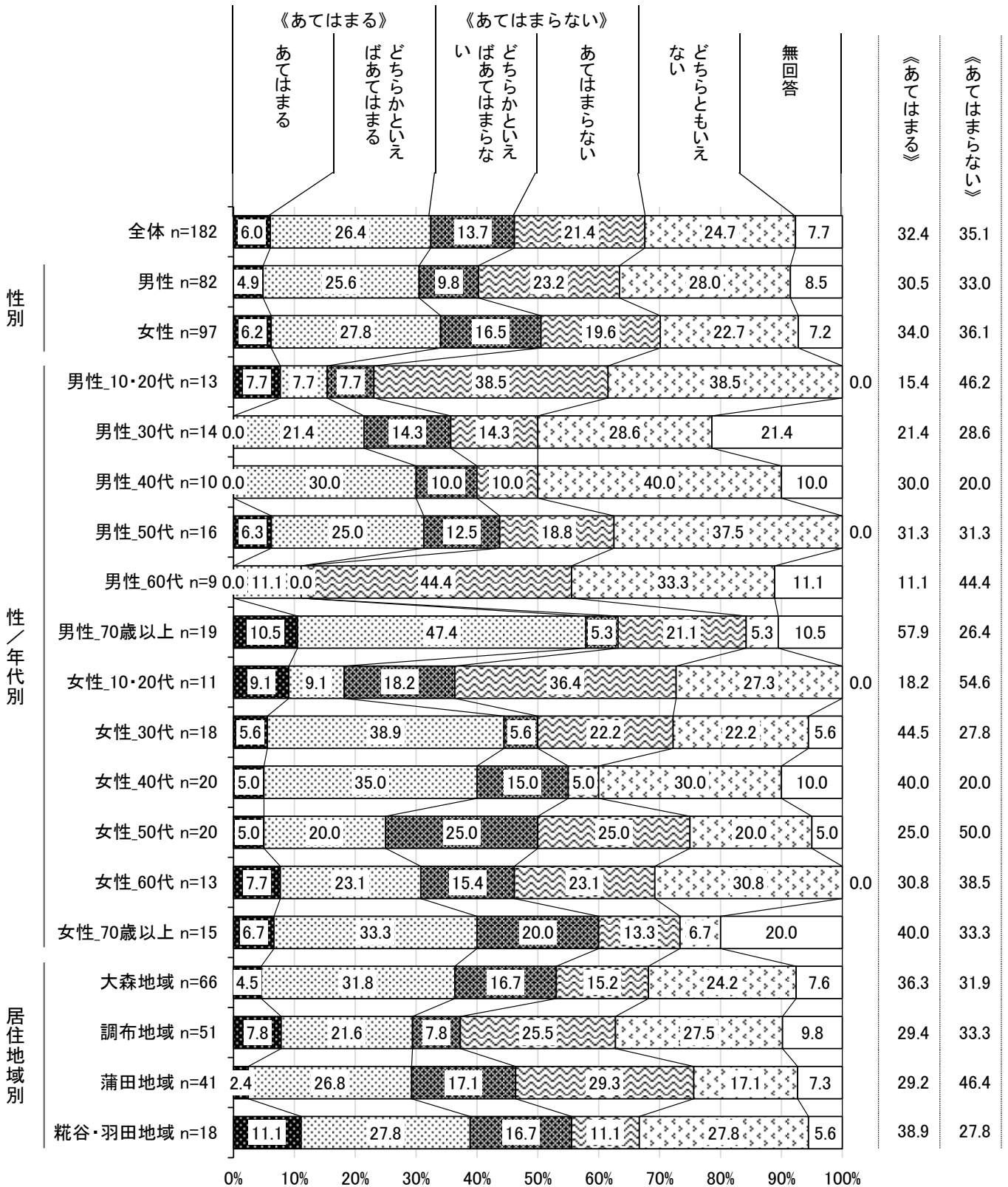
■性別・性／年代別・居住地域別_③学んだことを活かす機会が充実している

性別でみると、《あてはまる》は男性が23.2%、女性が34.0%と、女性が10.8ポイント上回っている。



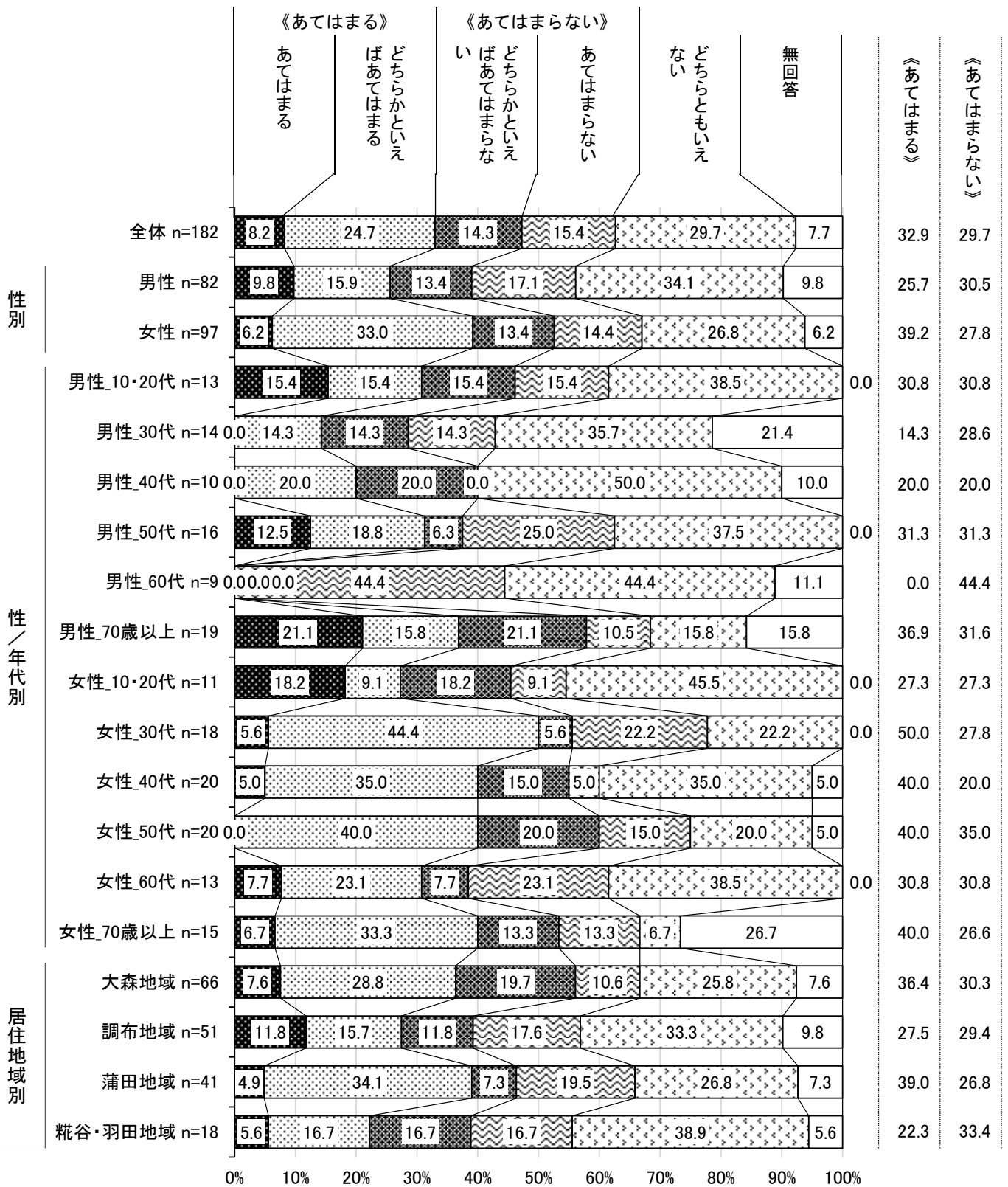
■性別・性／年代別・居住地域別_④学びに関する情報が分りやすく提供されている

性別でみると、《あてはまる》は男性が30.5%、女性が34.0%と、女性が3.5ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別_⑤学びや活動を充実させる施設が整っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が25.7%、女性が39.2%と、女性が13.5ポイント上回っている。

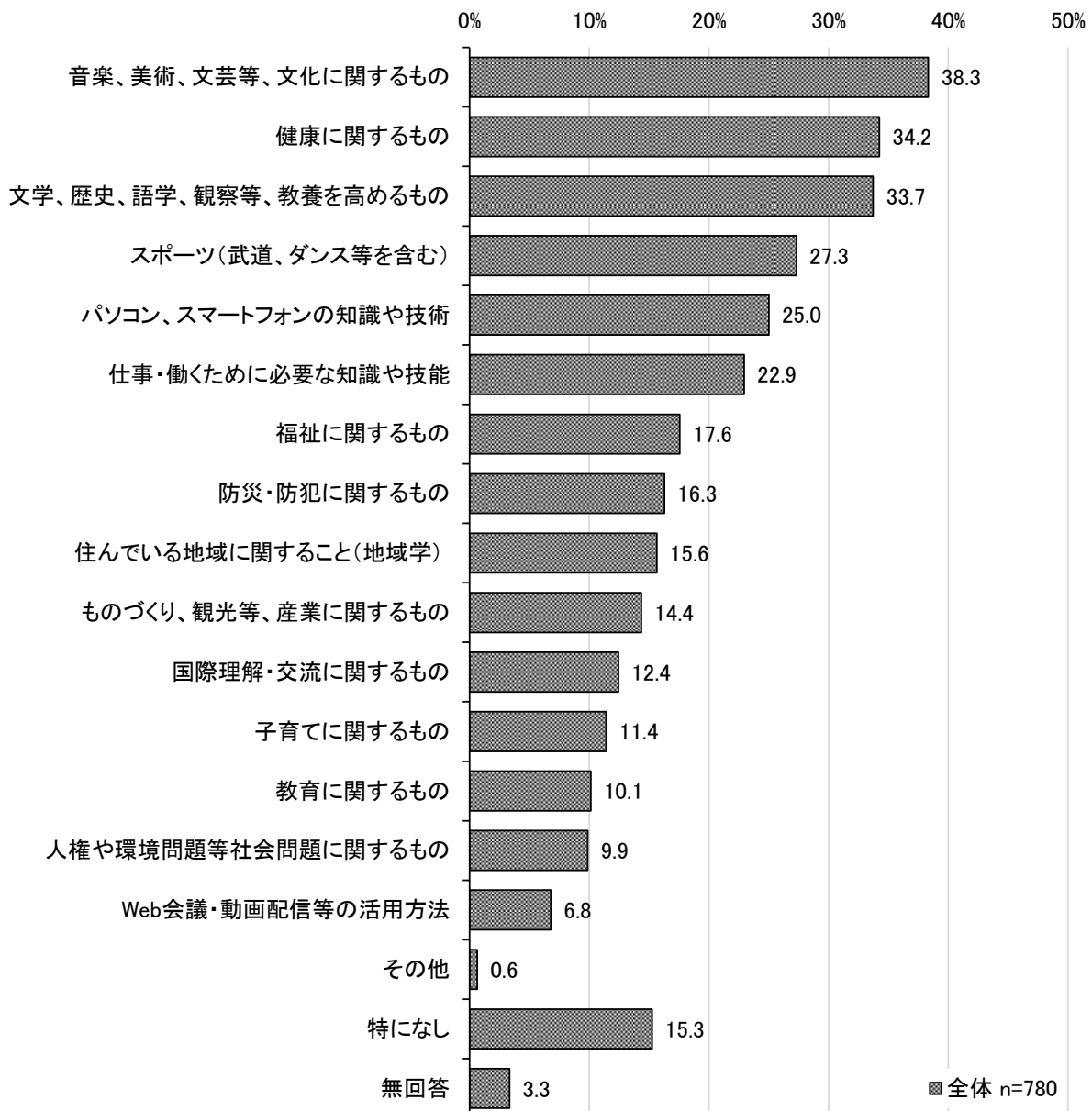


(7) 今後行いたい生涯学習

◇「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が3割後半で最も高くなっている

問 13 今後、行いたい生涯学習は何ですか。(いくつでも)

今後行いたい生涯学習については、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が38.3%で最も高く、次いで「健康に関するもの」が34.2%、「文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの」が33.7%となっている。

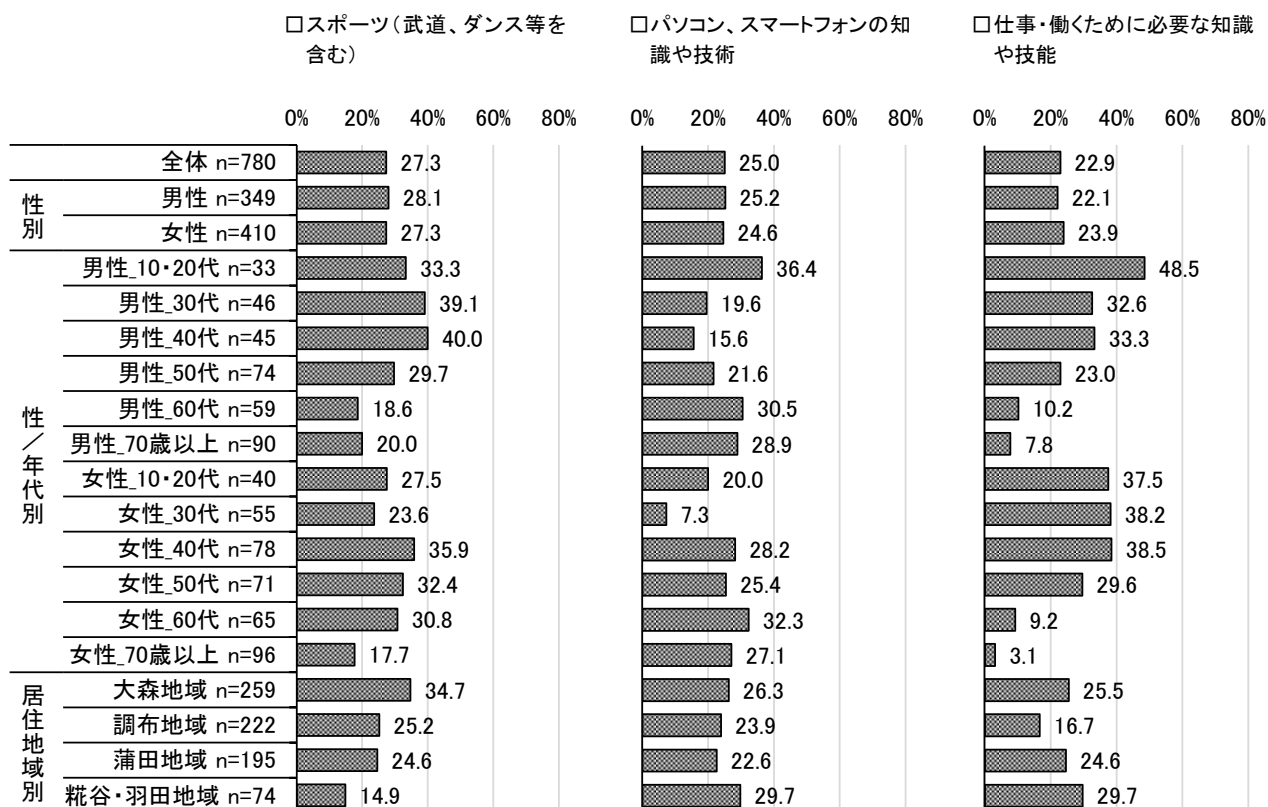
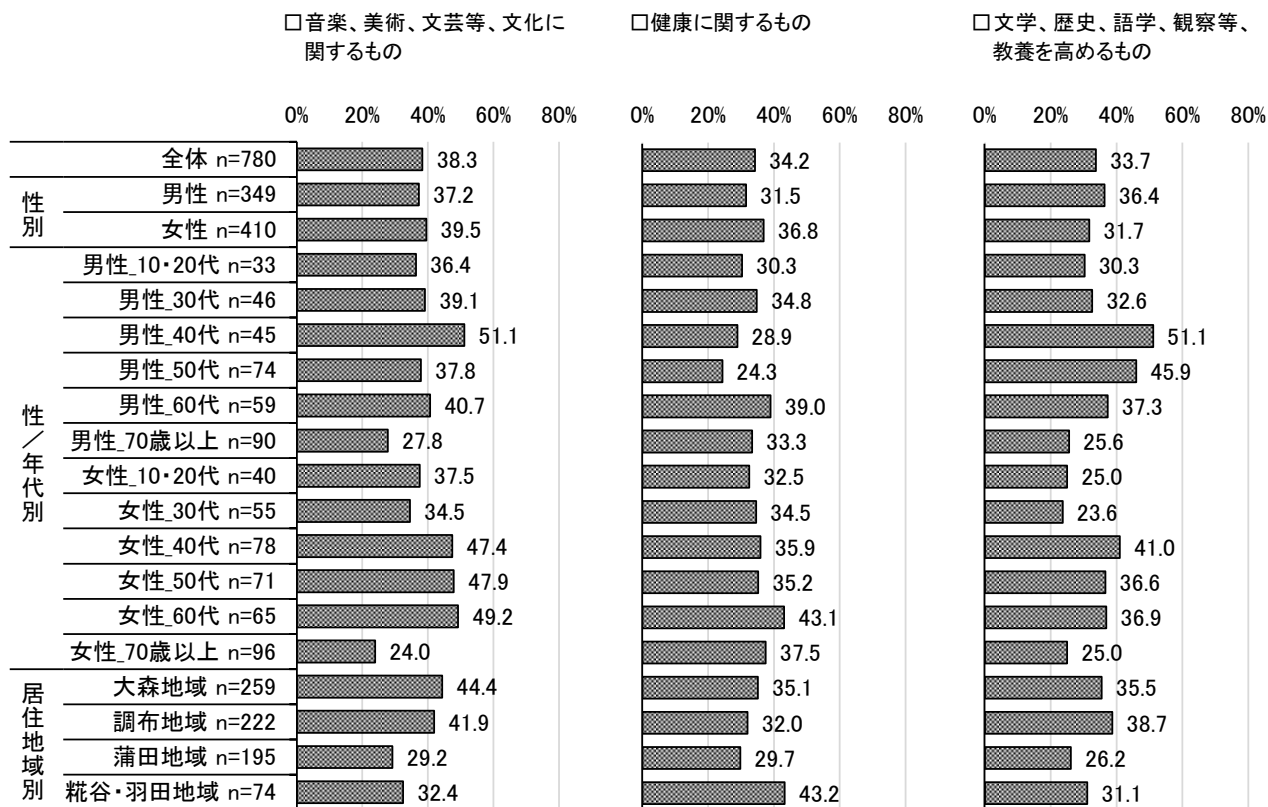


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」は男性では40代で5割前半と高くなっている。男性10・20代では「仕事・働くために必要な知識や技能」が4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が、蒲田地域、糀谷・羽田地域では「健康に関するもの」が最も高くなっている。



4 スポーツ・運動について

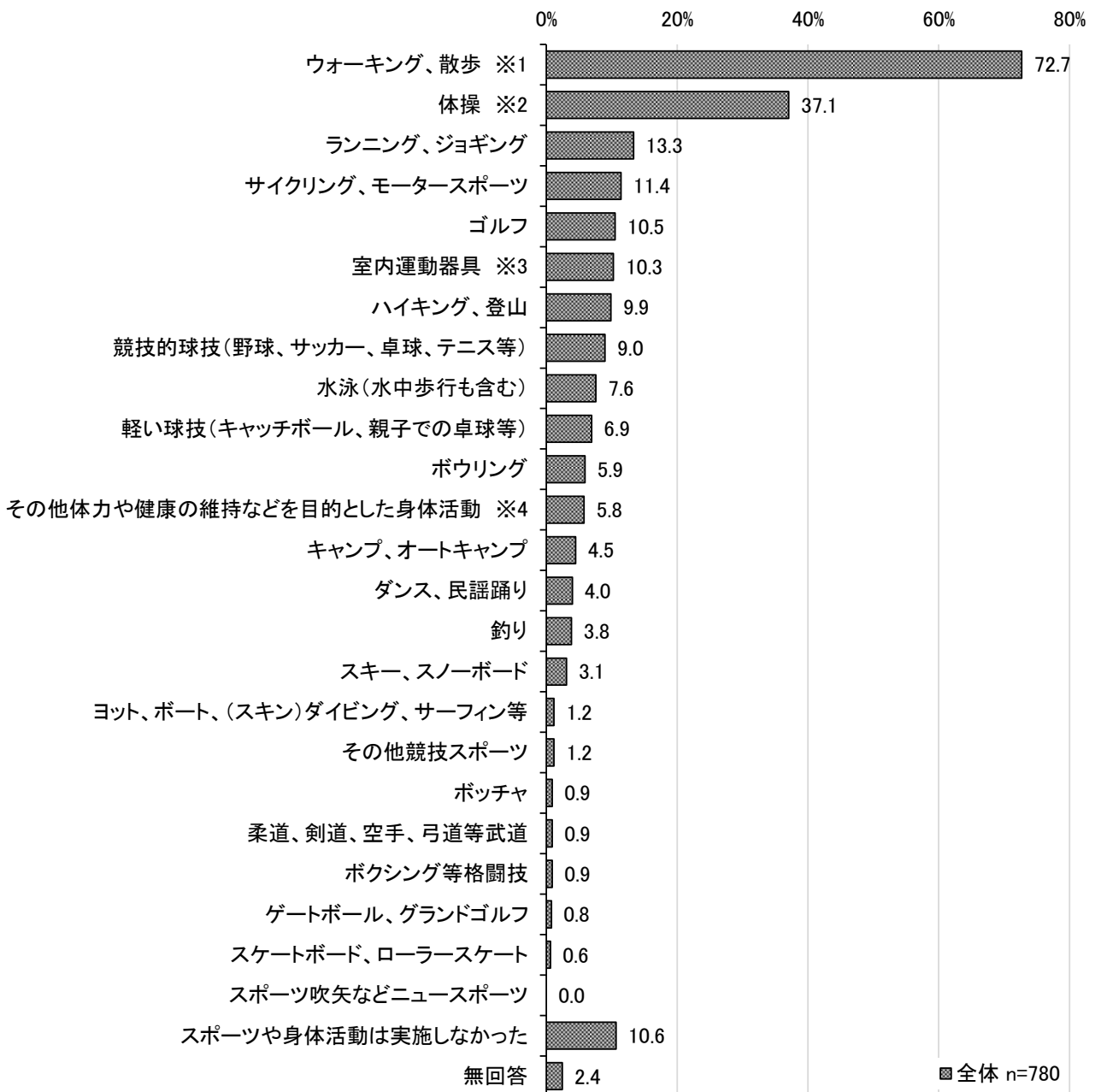
(1) この1年間に実施したスポーツ・運動

◇「ウォーキング、散歩」が7割前半で最も高くなっている

問 14 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべてお選びください。(いくつでも)

この1年間に実施したスポーツ・運動については、「ウォーキング、散歩」が72.7%で最も高く、次いで「体操」が37.1%、「ランニング、ジョギング」が13.3%となっている。

なお、「スポーツや身体活動は実施しなかった」は10.6%となっている。



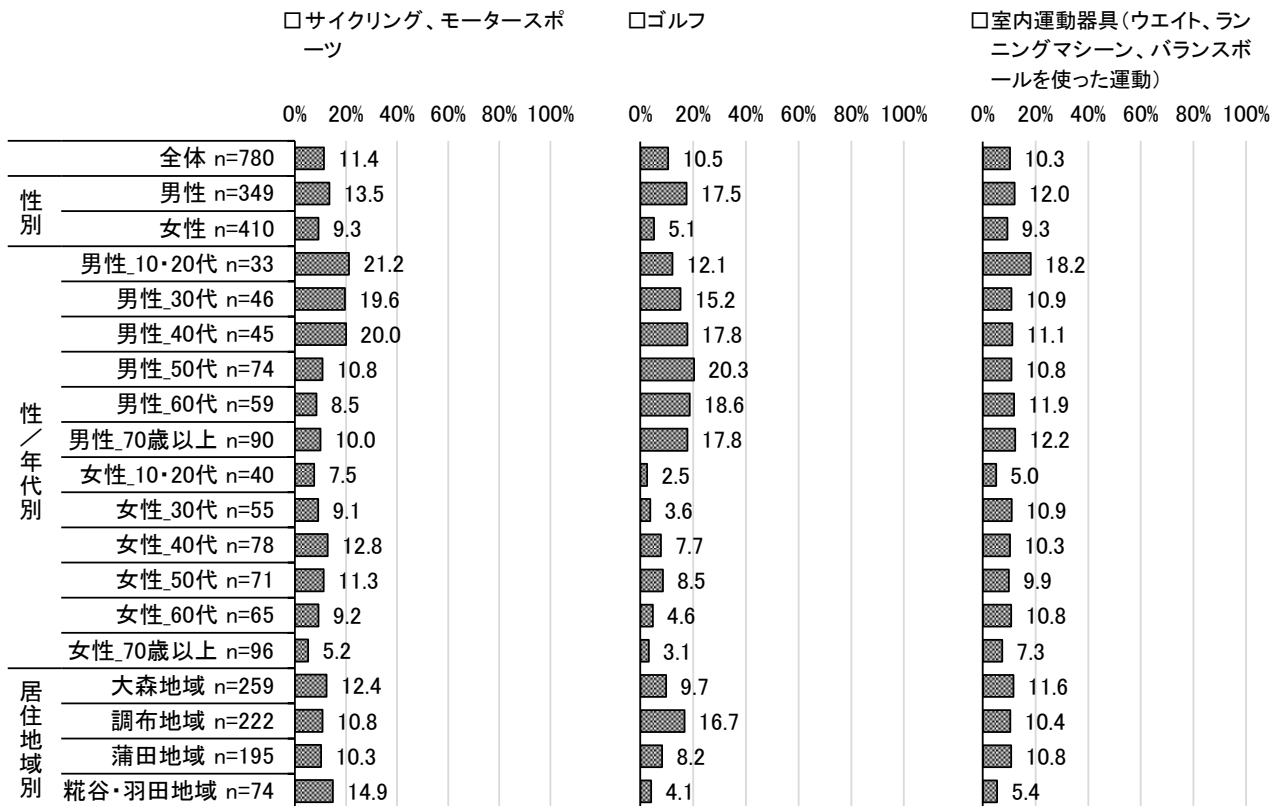
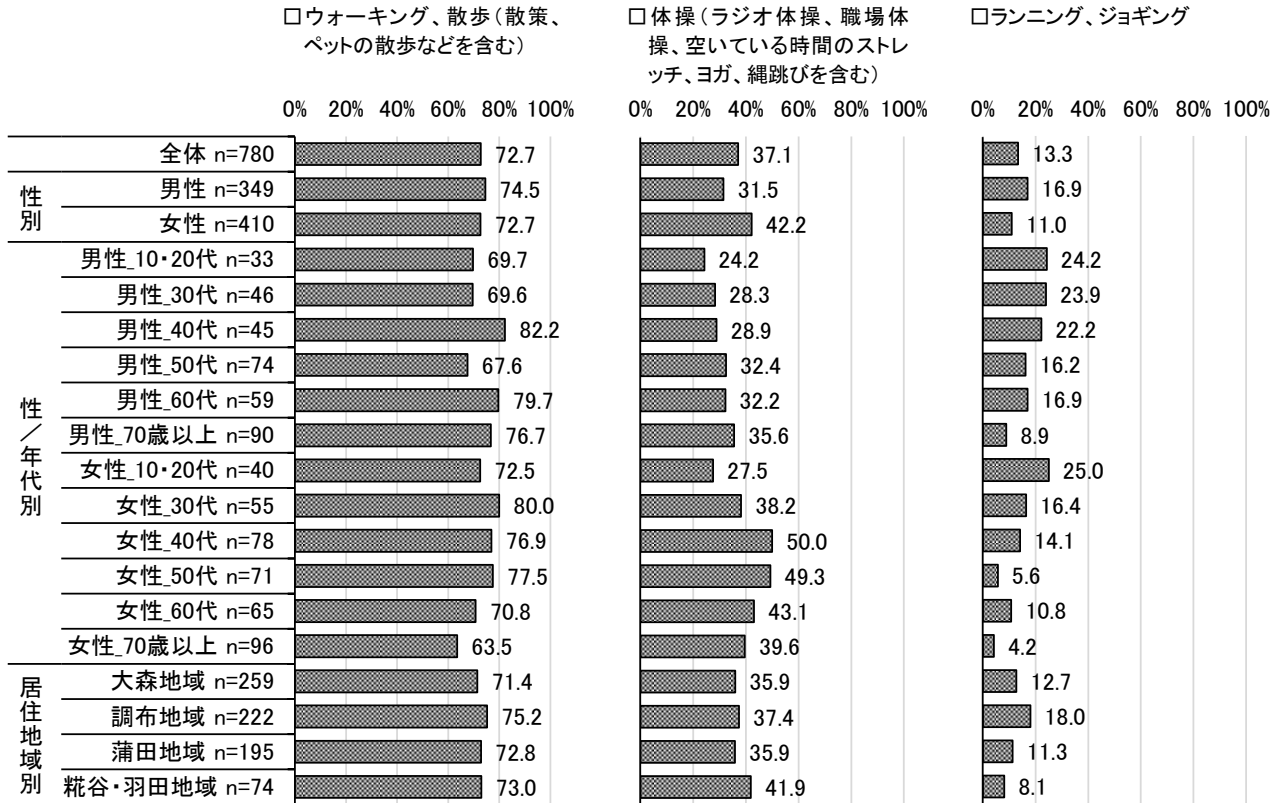
※1 ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)

※2 体操(ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む)

※3 室内運動器具(ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動)

※4 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動

■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。「体操」は男性が31.5%、女性が42.2%と、女性が10.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、すべての年代で「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性では40代で8割前半、女性では30代で8割と高くなっている。「体操」は女性40代、女性50代で約5割と高くなっている。「ランニング、ジョギング」は男性、女性ともに10・20代で2割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「ウォーキング、散歩」が7割台となっている。

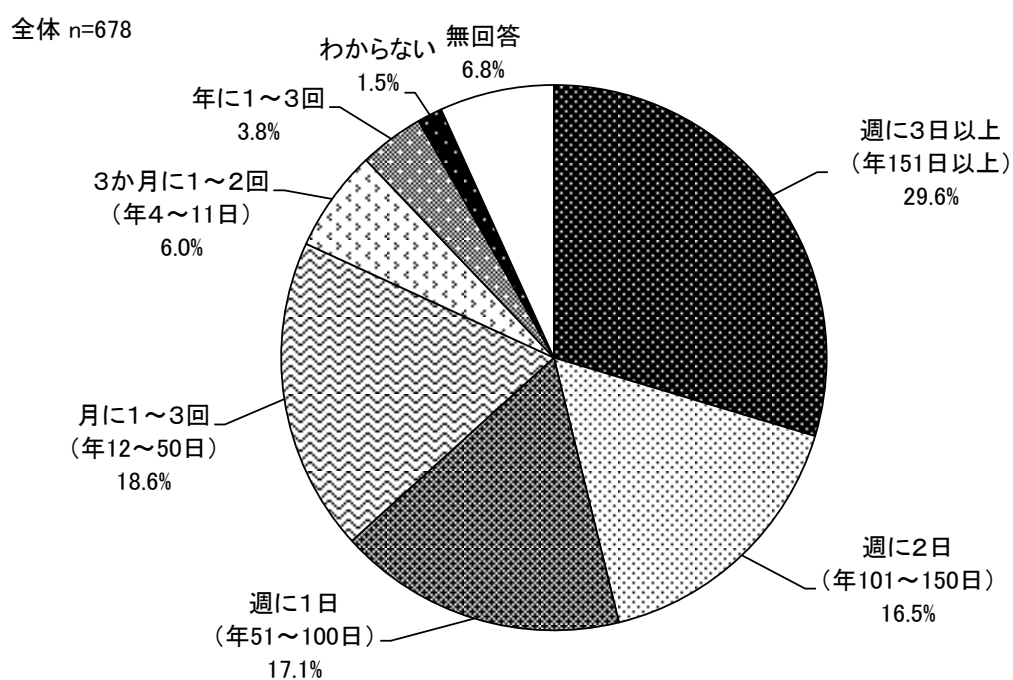
(2) この1年間のスポーツ・運動の活動頻度

◇「週に3日以上（年151日以上）」が約3割で最も高くなっている

【問14で「スポーツや身体活動は実施しなかった」「以外」を回答した方に伺います。】

問14-1 この1年間にスポーツ・運動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。（週での換算日数）（1つのみ）

この1年間のスポーツ・運動の活動頻度については、「週に3日以上（年151日以上）」が29.6%で最も高く、次いで「月に1～3回（年12～50日）」が18.6%、「週に1日（年51～100日）」が17.1%となっている。

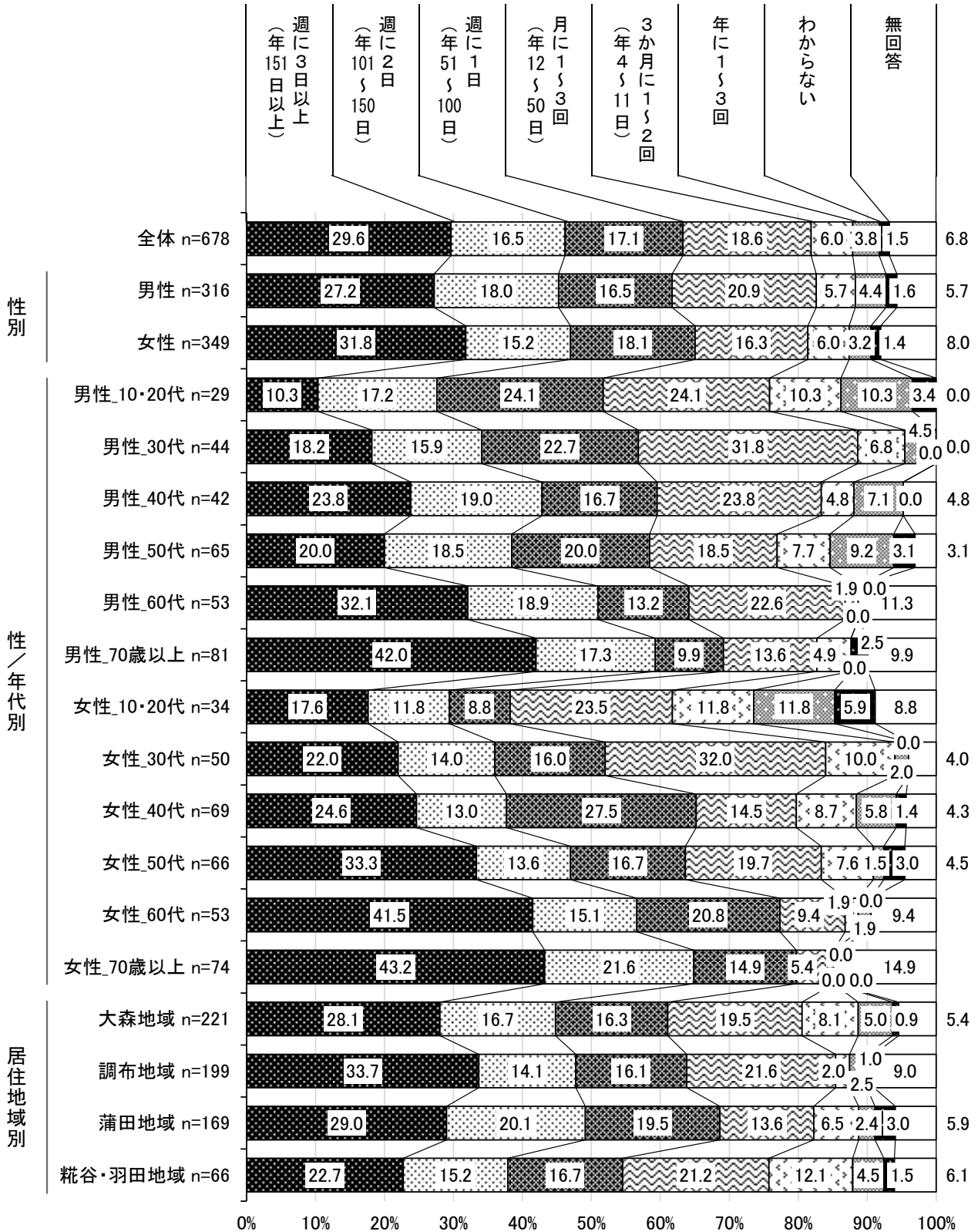


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」は男性では70歳以上で4割前半、女性では60代、70歳以上で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」は調布地域で3割前半と高くなっている。



(3) 運動をしなかった理由

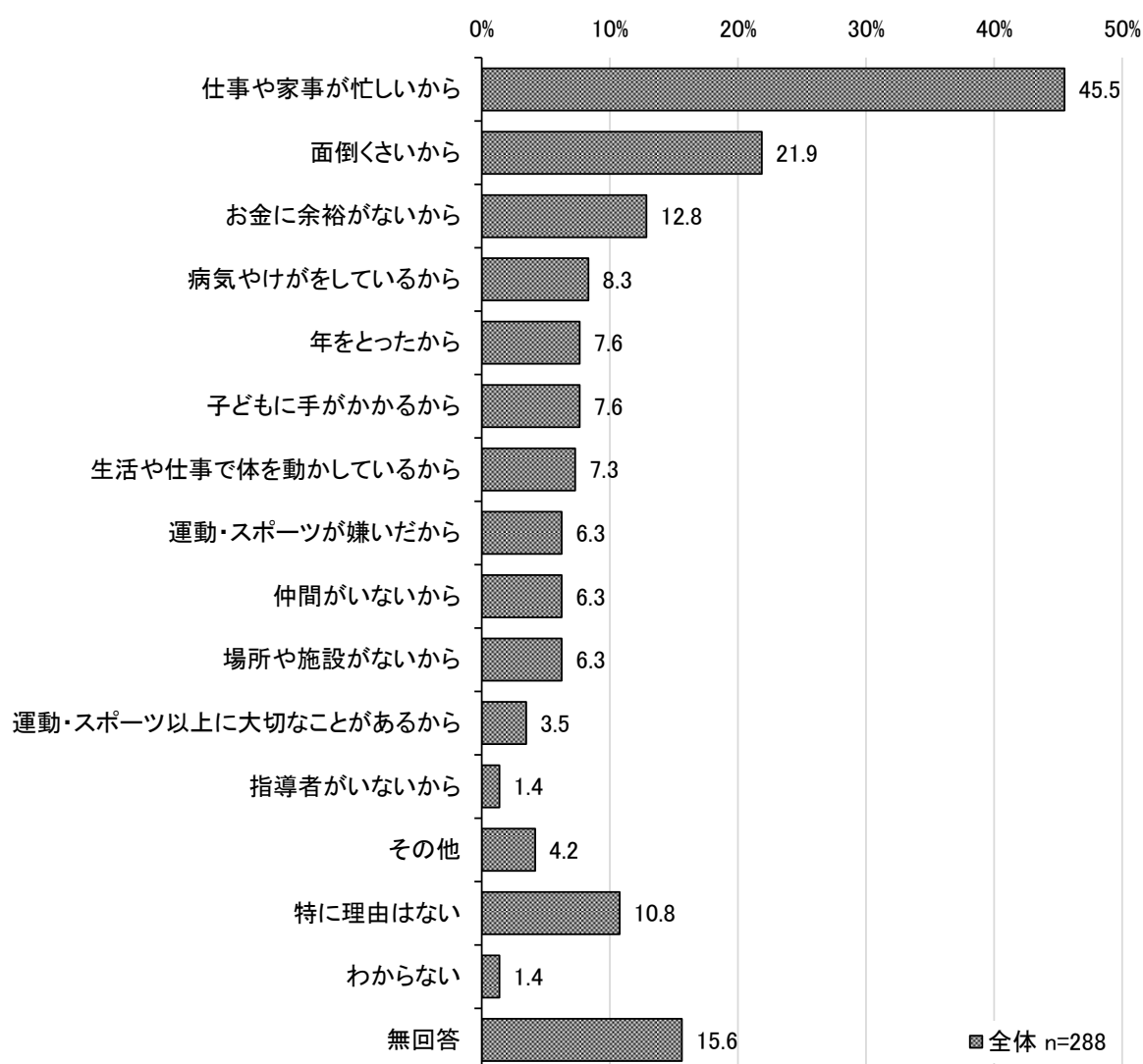
◇「仕事や家事が忙しいから」が4割半ばで最も高くなっている

【問 14 で「スポーツや身体活動は実施しなかった」、問 14-1 で“週に1日以上実施していない”と回答した方に伺います。】

問 14-2 直近1年間に運動をしなかった、または、週に1日以上実施できなかった理由は何ですか。(いくつでも)

運動をしなかった理由については、「仕事や家事が忙しいから」が45.5%で最も高く、次いで「面倒くさいから」が21.9%、「お金の余裕がないから」が12.8%となっている。

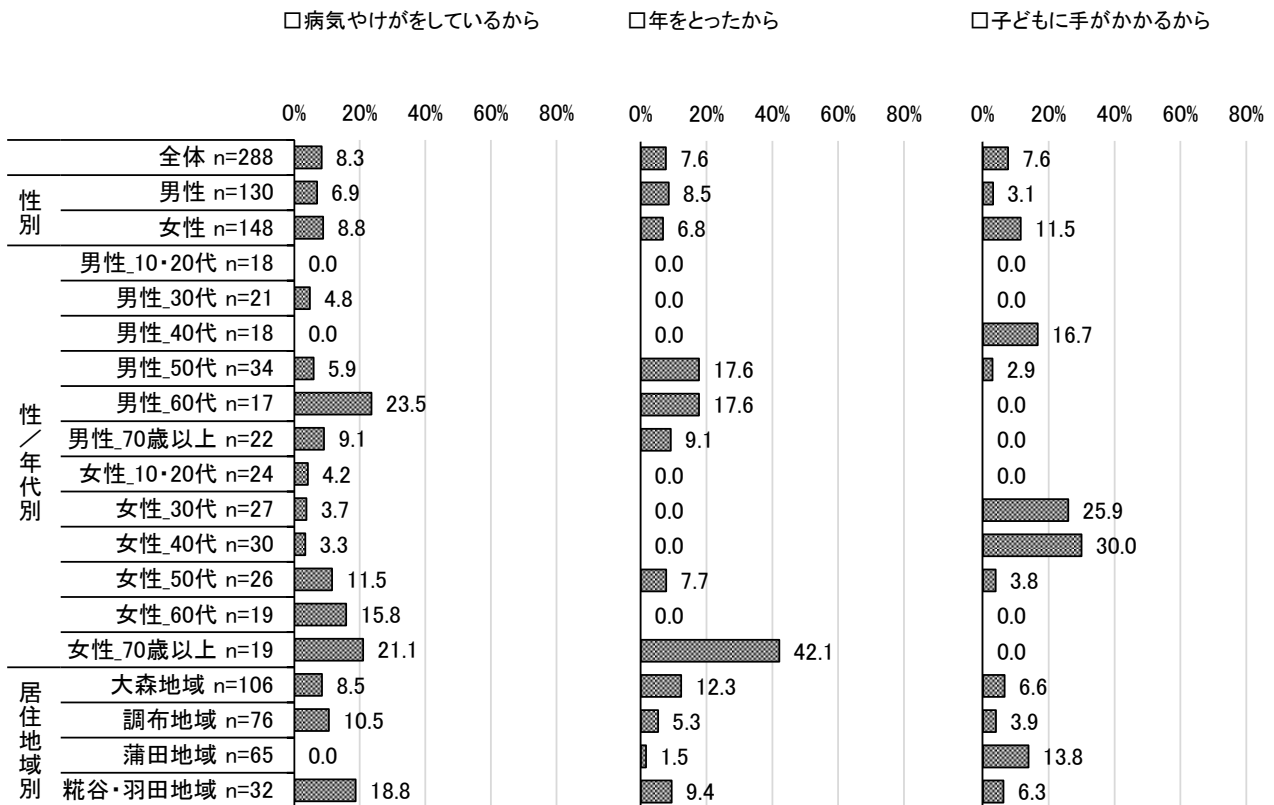
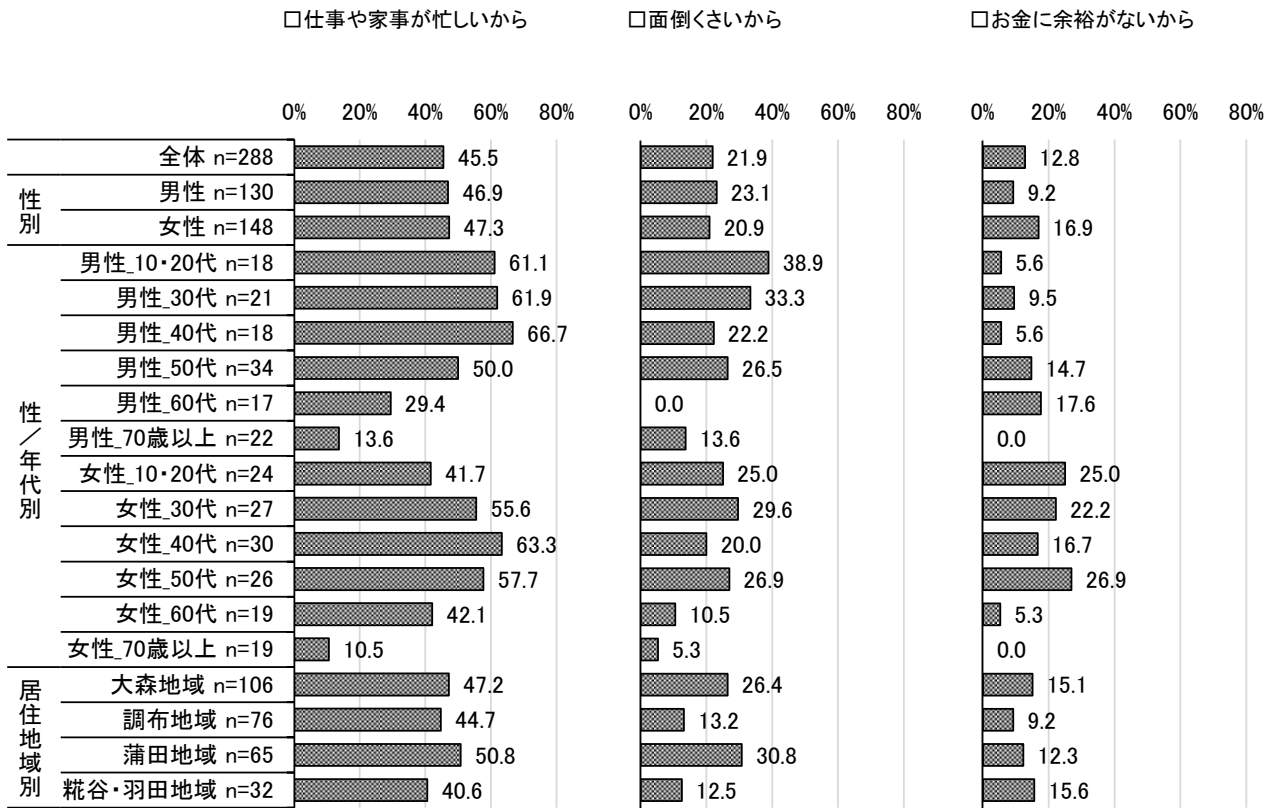
なお、「特に理由はない」は10.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「仕事や家事が忙しいから」が最も高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「仕事や家事が忙しいから」が最も高く、蒲田地域で約5割となっている。



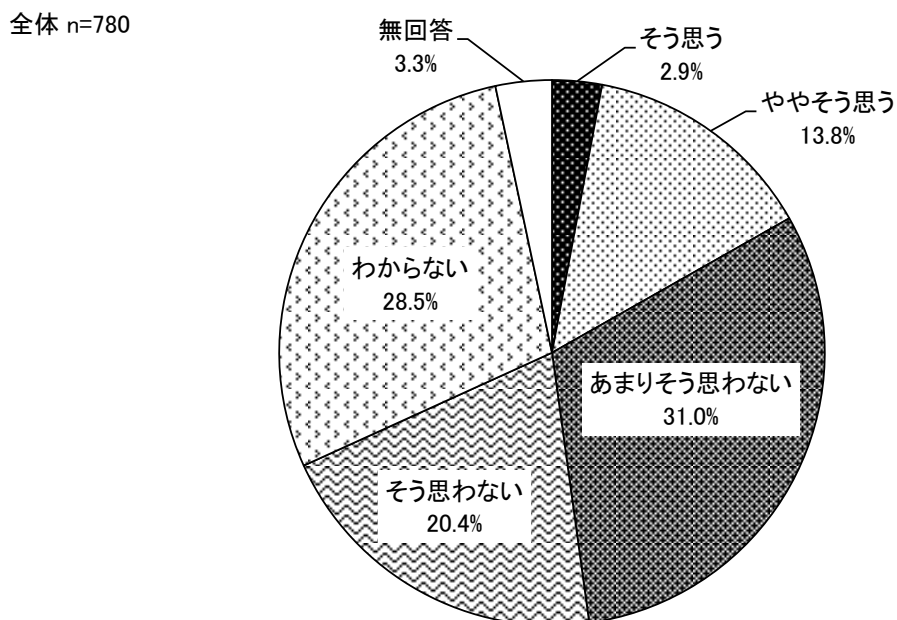
5 文化・芸術について

(1) 来訪者が区の文化に接する機会

◇《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は1割後半となっている

問 15 他の都市から訪れた人にとって、区の文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会は多いと思いますか。(1つのみ)

来訪者が区の文化に接する機会については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が16.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が51.4%と、《思わない》が34.7ポイント上回っている。

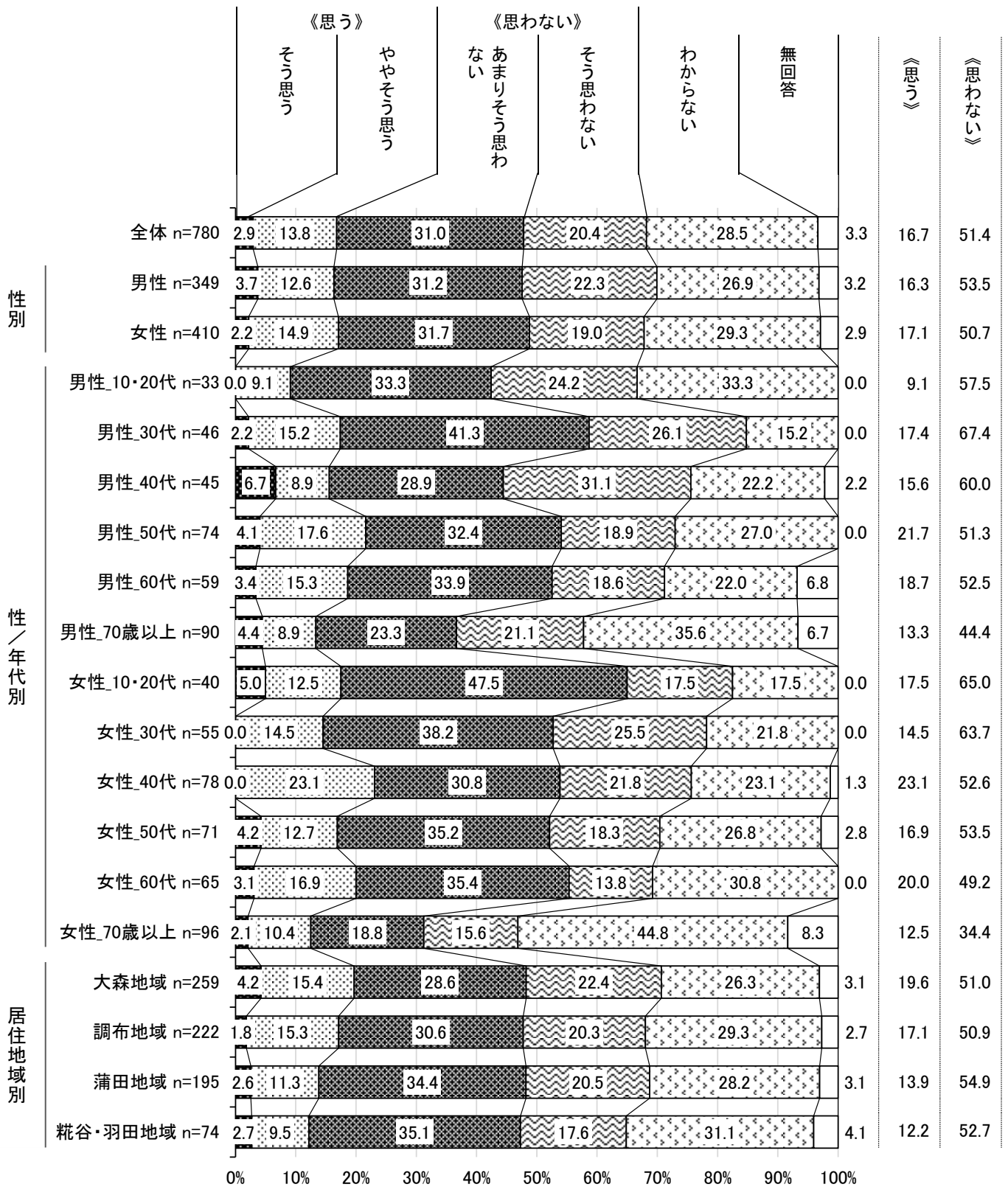


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《思う》は男性では50代、女性では40代で2割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は大森地域で約2割と高くなっている。



6 普段の生活について

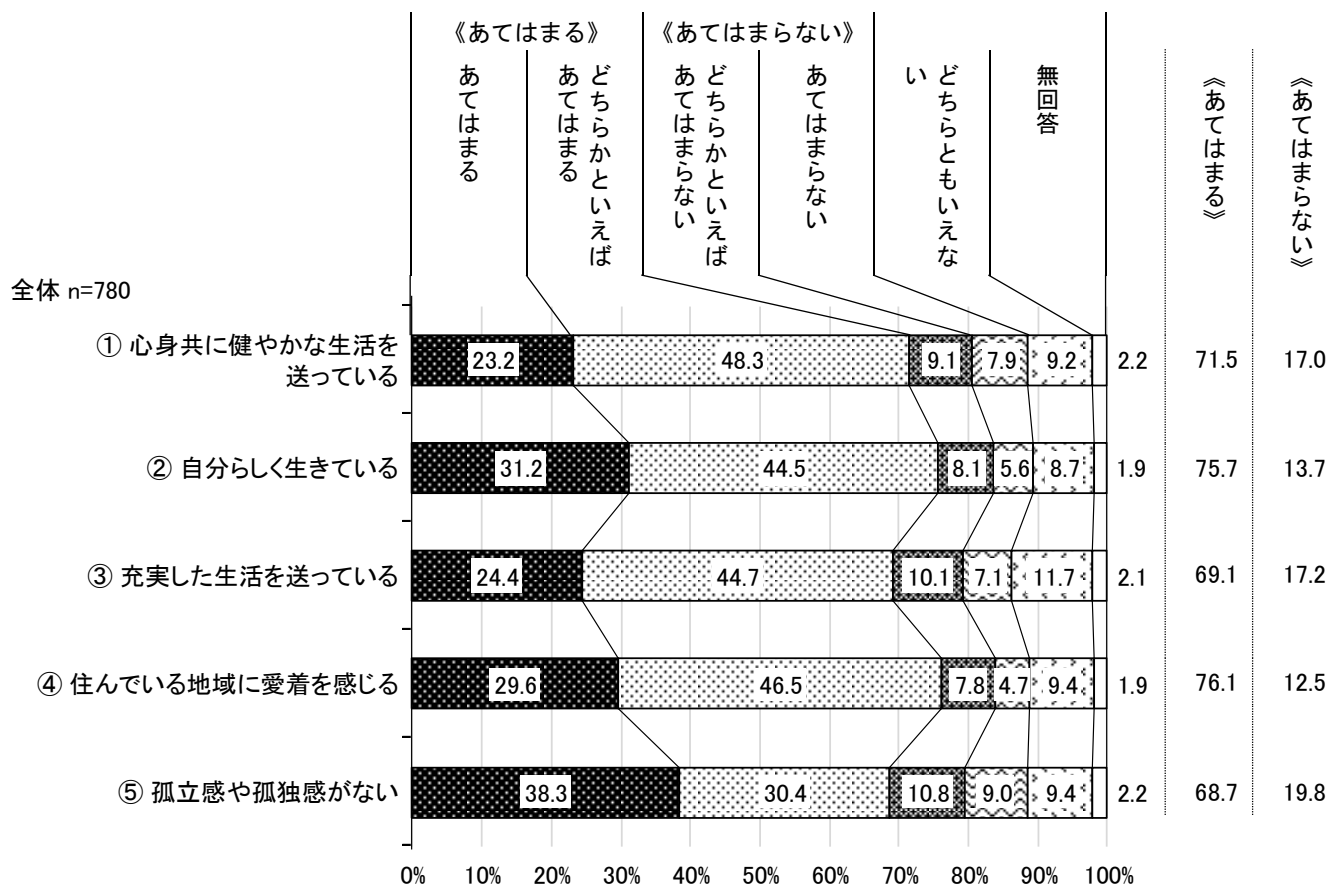
(1) 普段の生活の状況

◇ 《あてはまる》(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は『④住んでいる地域に愛着を感じる』が7割後半で最も高くなっている

問 16 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

普段の生活の状況については、『④住んでいる地域に愛着を感じる』における「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》が76.1%で最も高く、次いで『②自分らしく生きている』が75.7%、『①心身共に健やかな生活を送っている』が71.5%となっている。

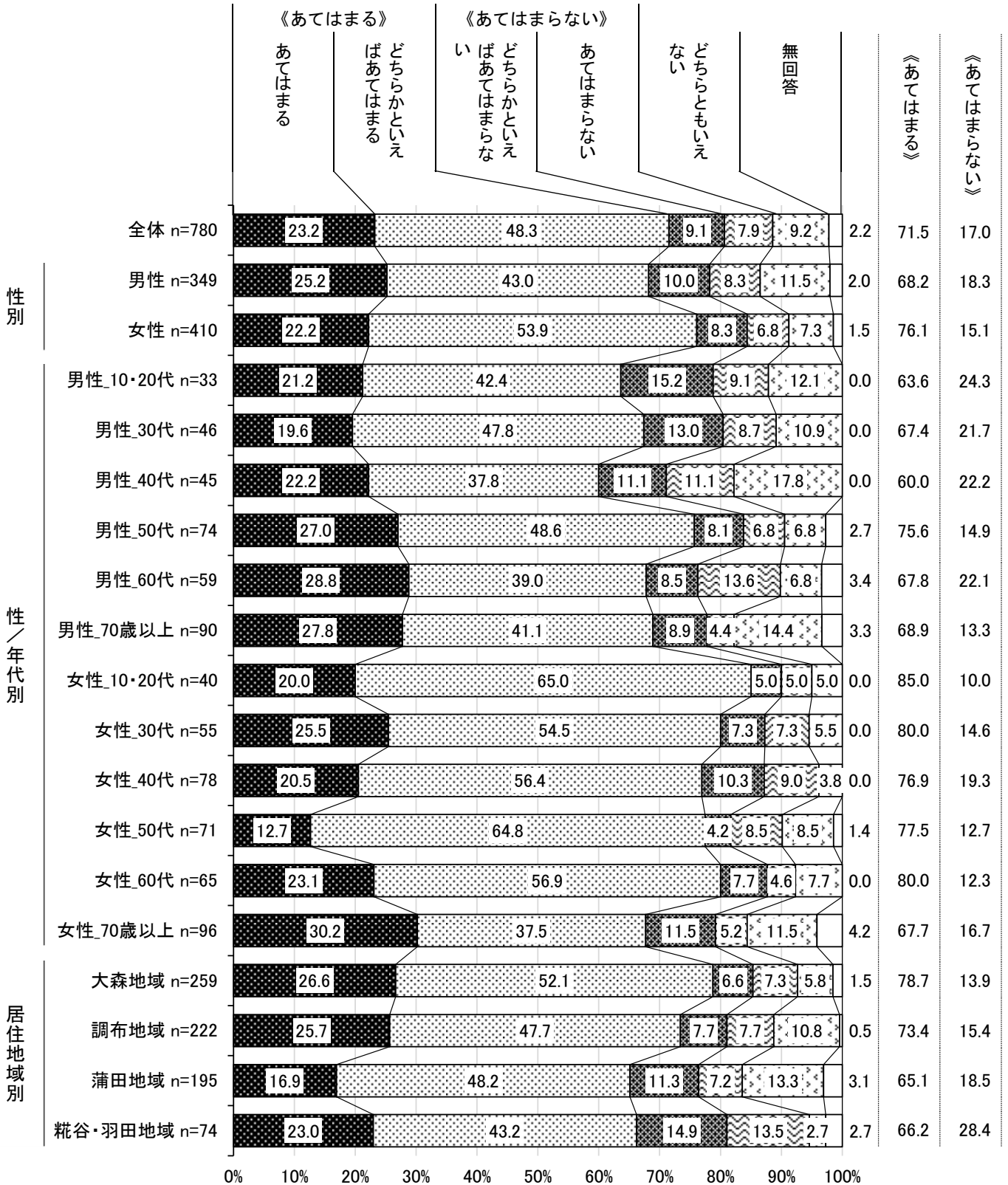


■性別・性／年代別・居住地域別_①心身共に健やかな生活を送っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が68.2%、女性が76.1%と、女性が7.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では50代で7割半ば、女性では10・20代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は大森地域で7割後半と高くなっている。

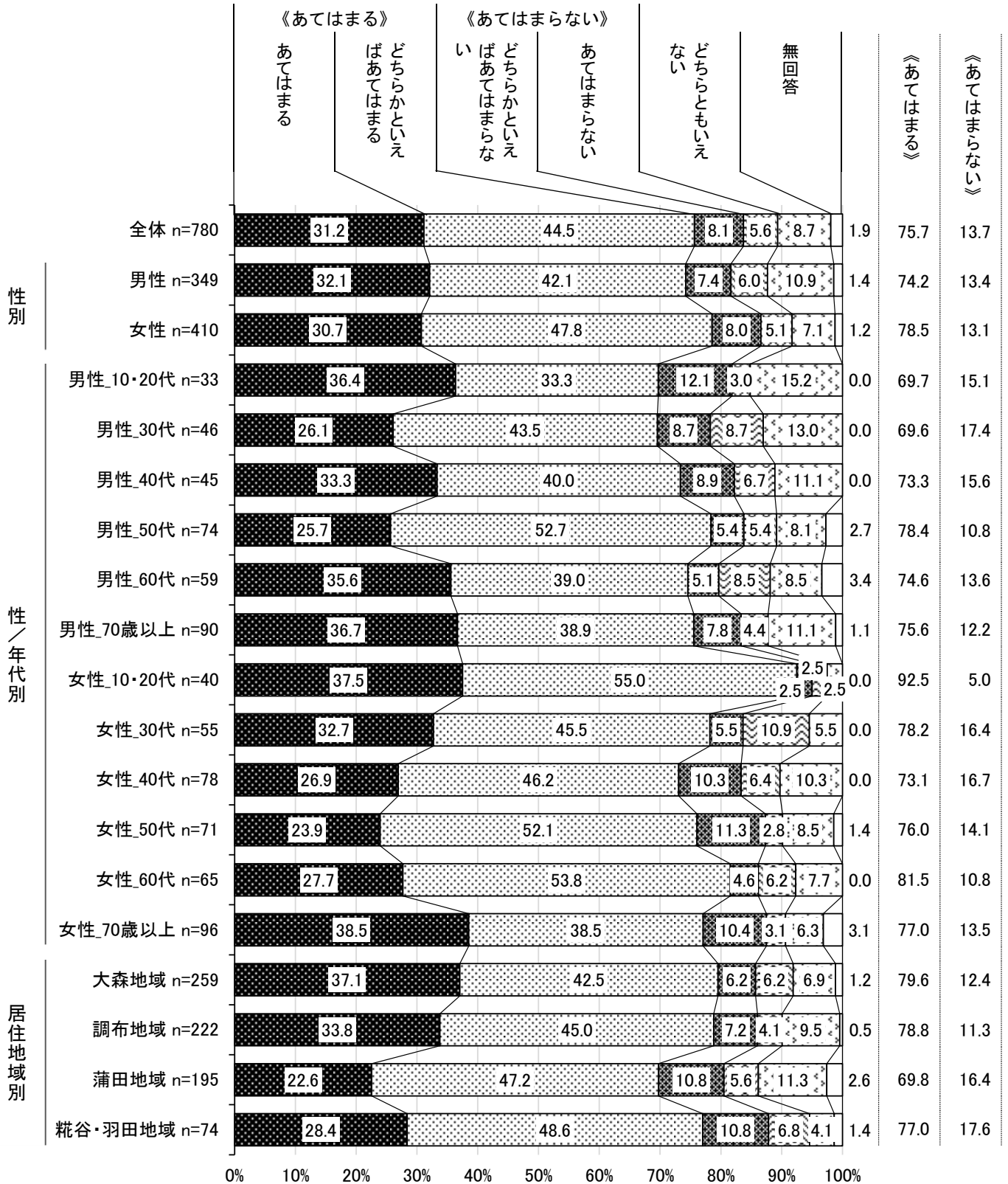


■性別・性/年代別・居住地域別_②自分らしく生きている

性別でみると、《あてはまる》は男性が74.2%、女性が78.5%と、女性が4.3ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《あてはまる》は男性では50代で7割後半、女性では10・20代で9割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は大森地域で約8割と高くなっている。

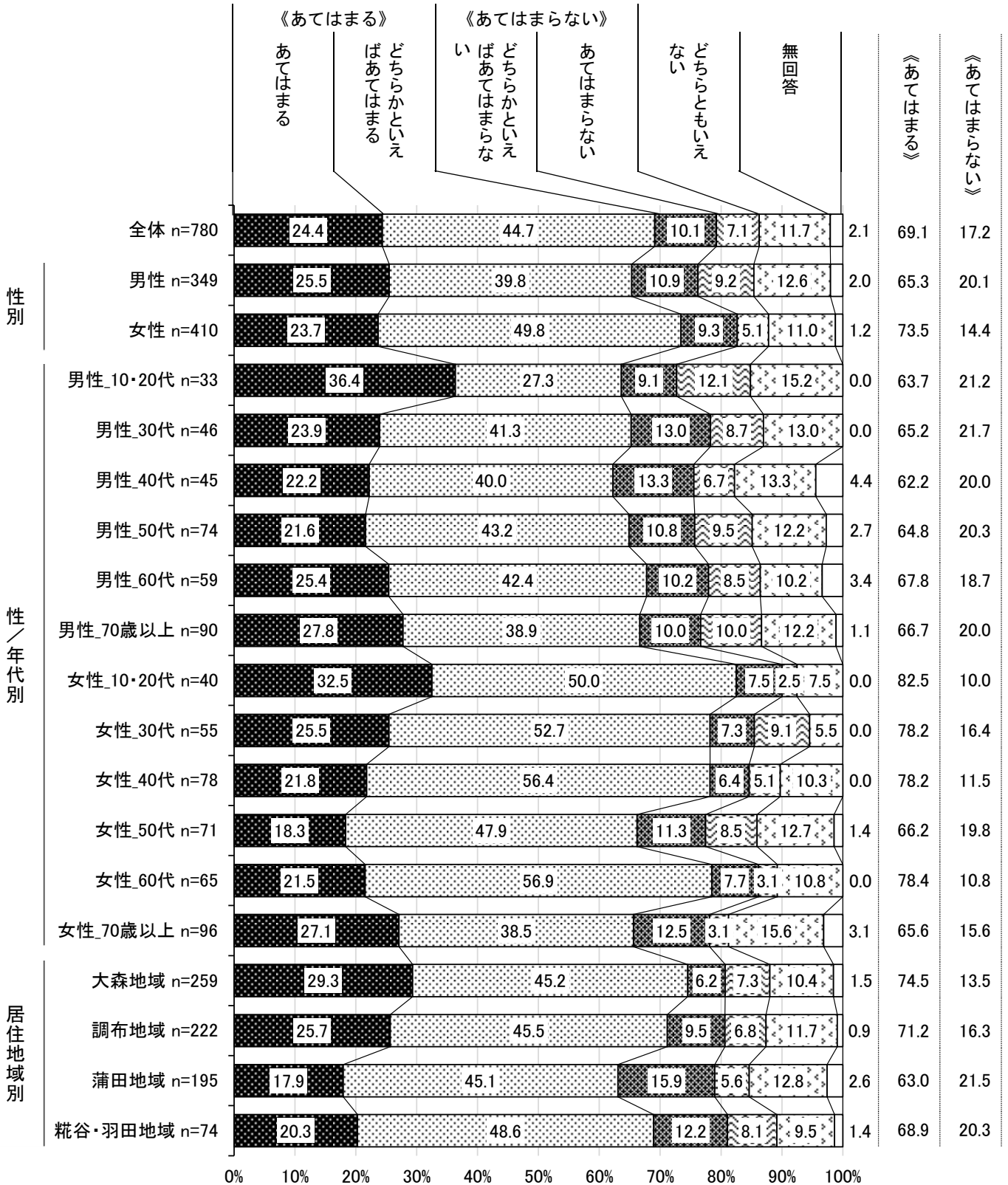


■性別・性／年代別・居住地域別_③充実した生活を送っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が65.3%、女性が73.5%と、女性が8.2ポイント上回っている。

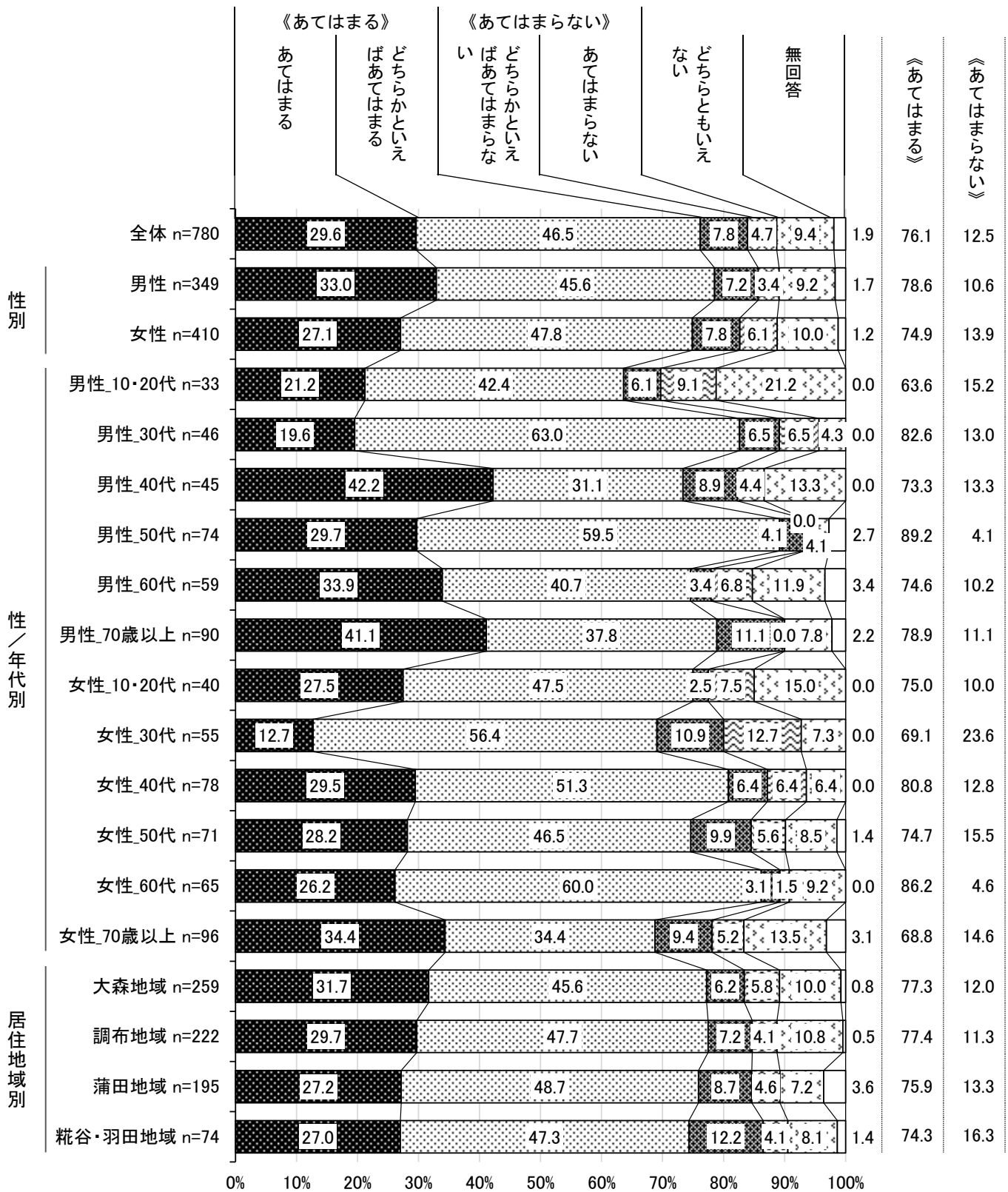
性／年代別でみると、《あてはまる》は男性ではすべての年代で6割台となっている。女性では10・20代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は大森地域で7割半ばと高くなっている。



■性別・性／年代別・居住地域別_④住んでいる地域に愛着を感じる

性別でみると、《あてはまる》は男性が78.6%、女性が74.9%と、男性が3.7ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では50代、女性では60代で8割後半と高くなっている。
 居住地域別でみると、すべての地域で《あてはまる》が7割台となっている。

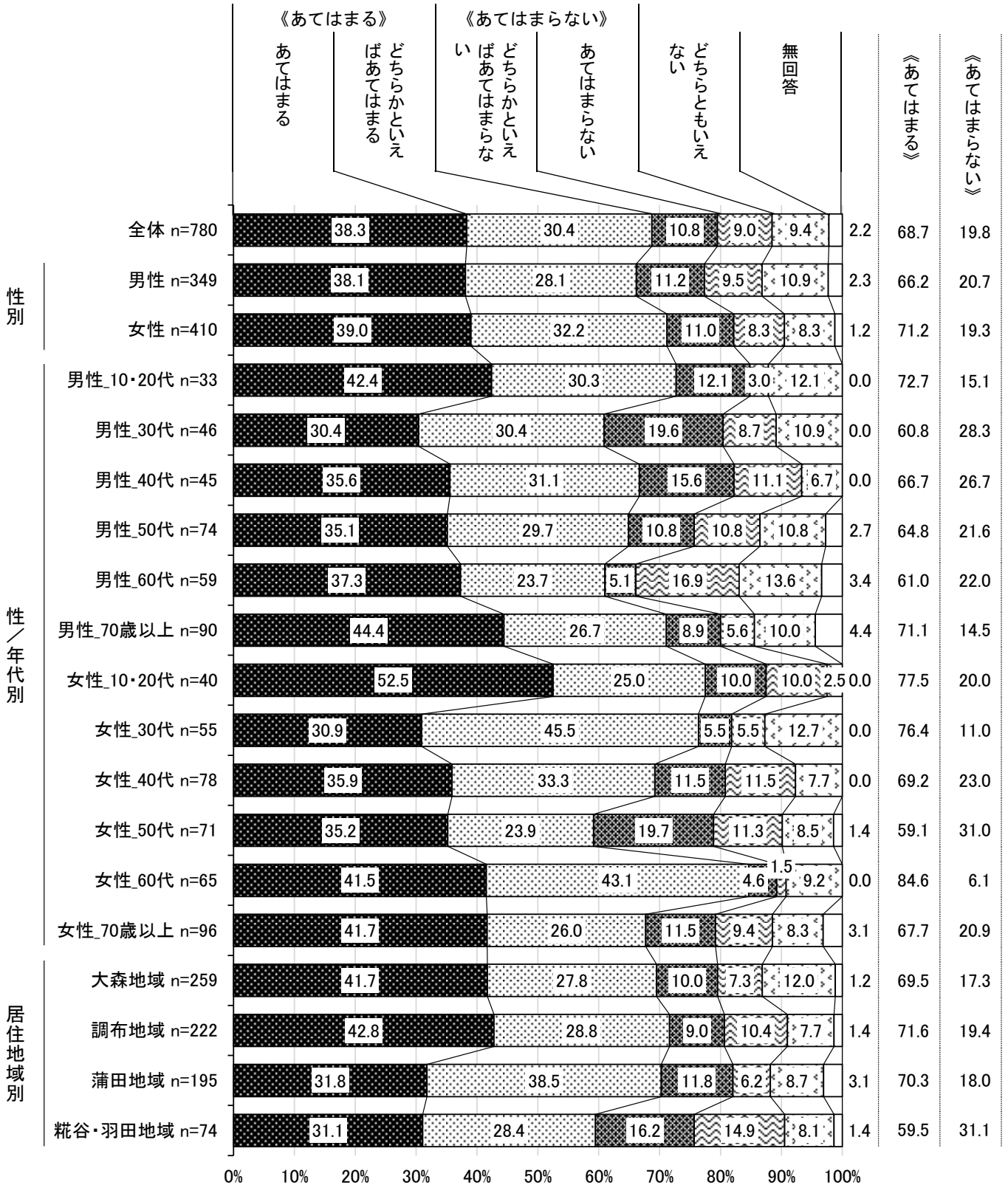


■性別・性／年代別・居住地域別_⑤孤立感や孤独感がない

性別でみると、《あてはまる》は男性が66.2%、女性が71.2%と、女性が5.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性では10・20代、70歳以上で7割前半、女性では60代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で7割前半と高くなっている。



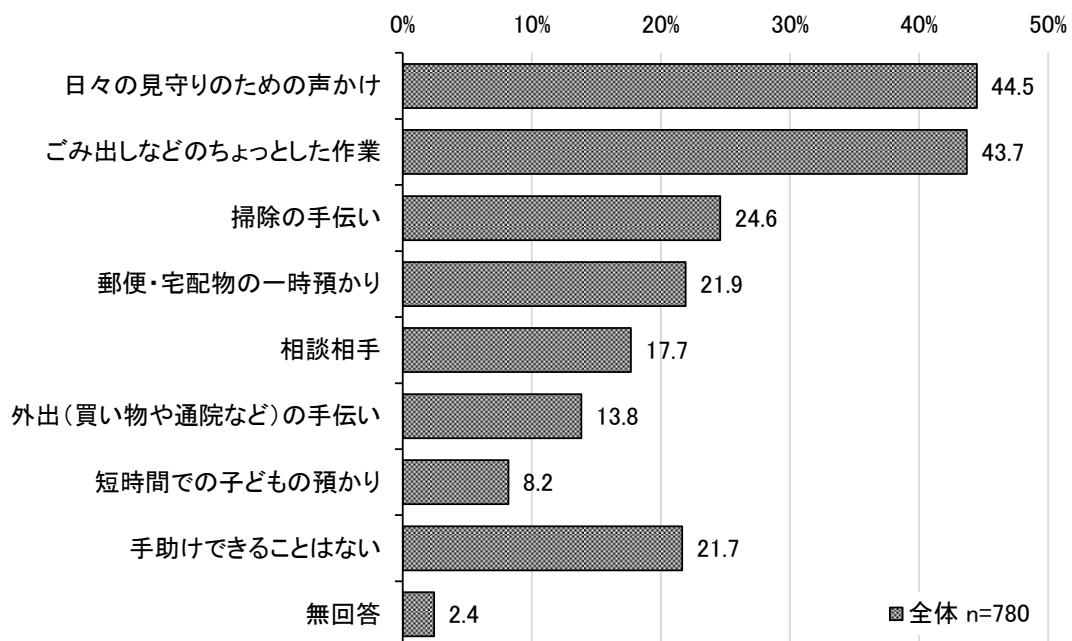
7 地域活動について

(1) 近所の方への手助けとしてできること

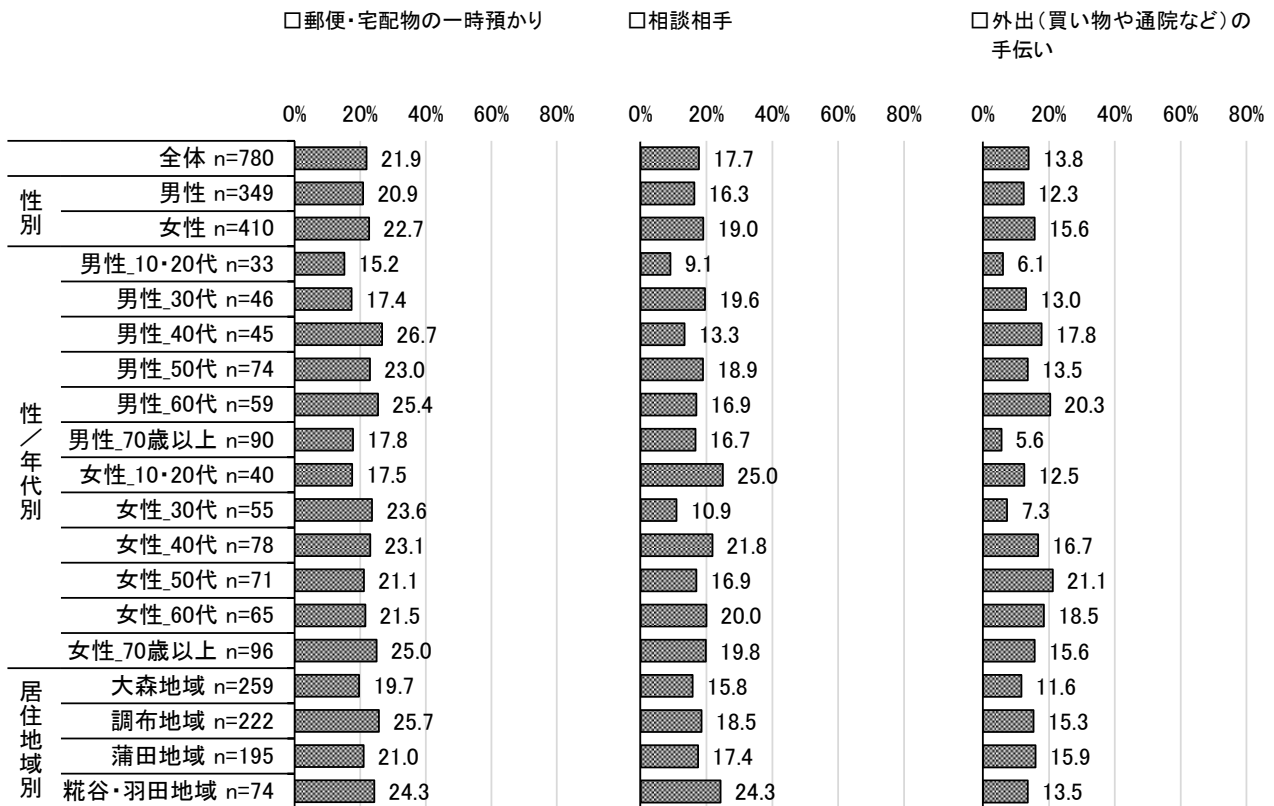
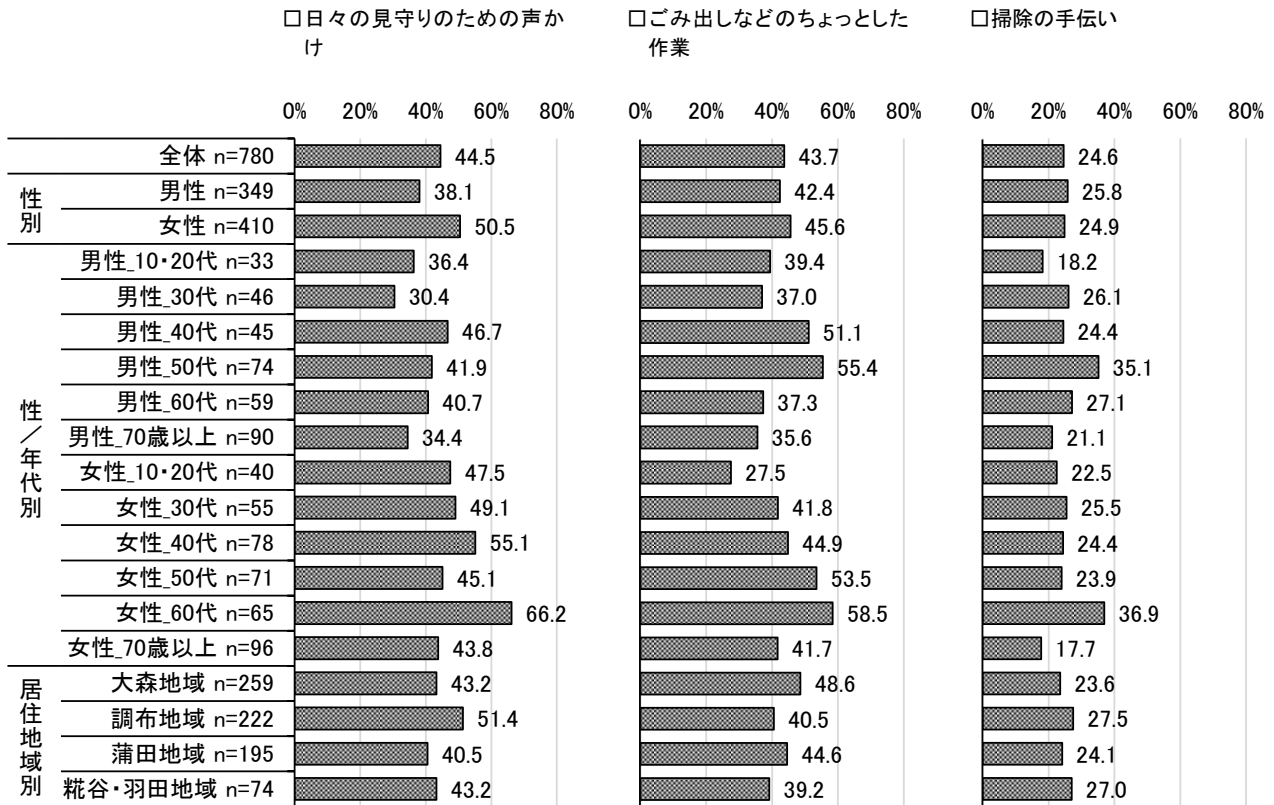
◇「日々の見守りのための声かけ」が4割半ばで最も高くなっている

問 17 あなたが近所の方への手助けとして、できると思うことを教えてください。(いくつでも)

近所の方への手助けとしてできることについては、「日々の見守りのための声かけ」が44.5%で最も高く、次いで「ごみ出しなどのちょっとした作業」が43.7%、「掃除の手伝い」が24.6%となっている。
 なお、「手助けできることはない」は21.7%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別でみると、男性では「ごみ出しなどのちょっとした作業」が最も高く、女性では「日々の見守りのための声かけ」が最も高くなっている。「日々の見守りのための声かけ」は男性が38.1%、女性が50.5%と、女性が12.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「日々の見守りのための声かけ」はすべての年代で女性が男性を上回っている。「ごみ出しなどのちょっとした作業」は男性40代、男性50代、女性50代、女性60代で5割台と高くなっている。「掃除の手伝い」は男性50代、女性60代で3割台と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、蒲田地域では「ごみ出しなどのちょっとした作業」が、調布地域、糀谷・羽田地域では「日々の見守りのための声かけ」が最も高くなっている。

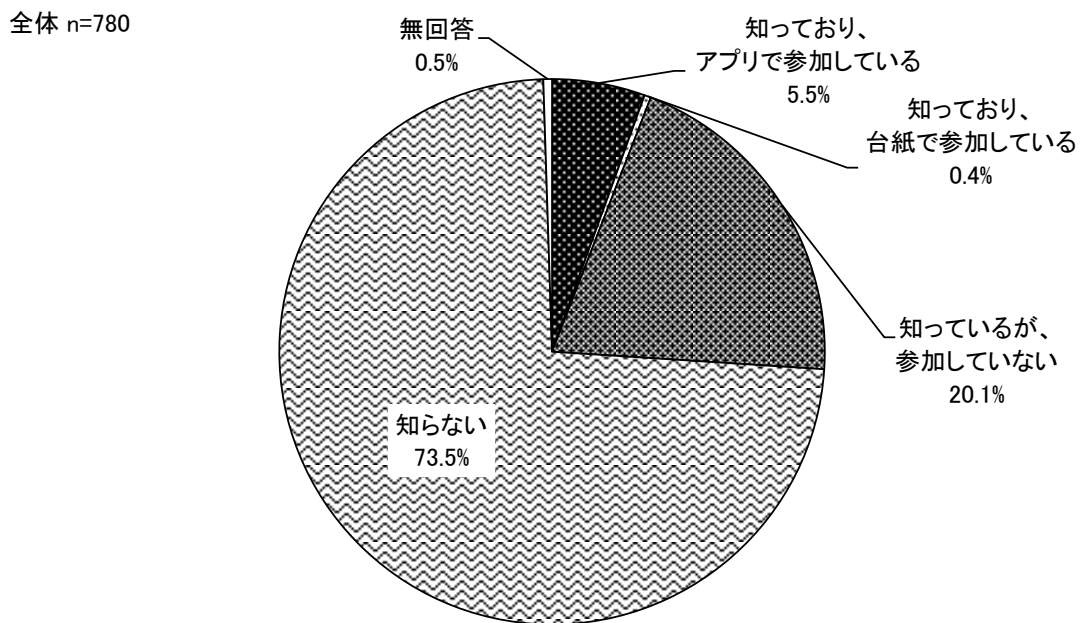
8 健康づくりについて

(1) 「はねびよん健康ポイント」の認知度

◇《知っている》(「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値)は2割半ばとなっている

**問 18 大田区の健康づくりポイント事業「はねびよん健康ポイント」を知っていますか。
(1つのみ)**

“はねびよん健康ポイント”の認知度については、「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値《知っている》が26.0%である一方で、「知らない」は73.5%と、「知らない」が47.5ポイント上回っている。

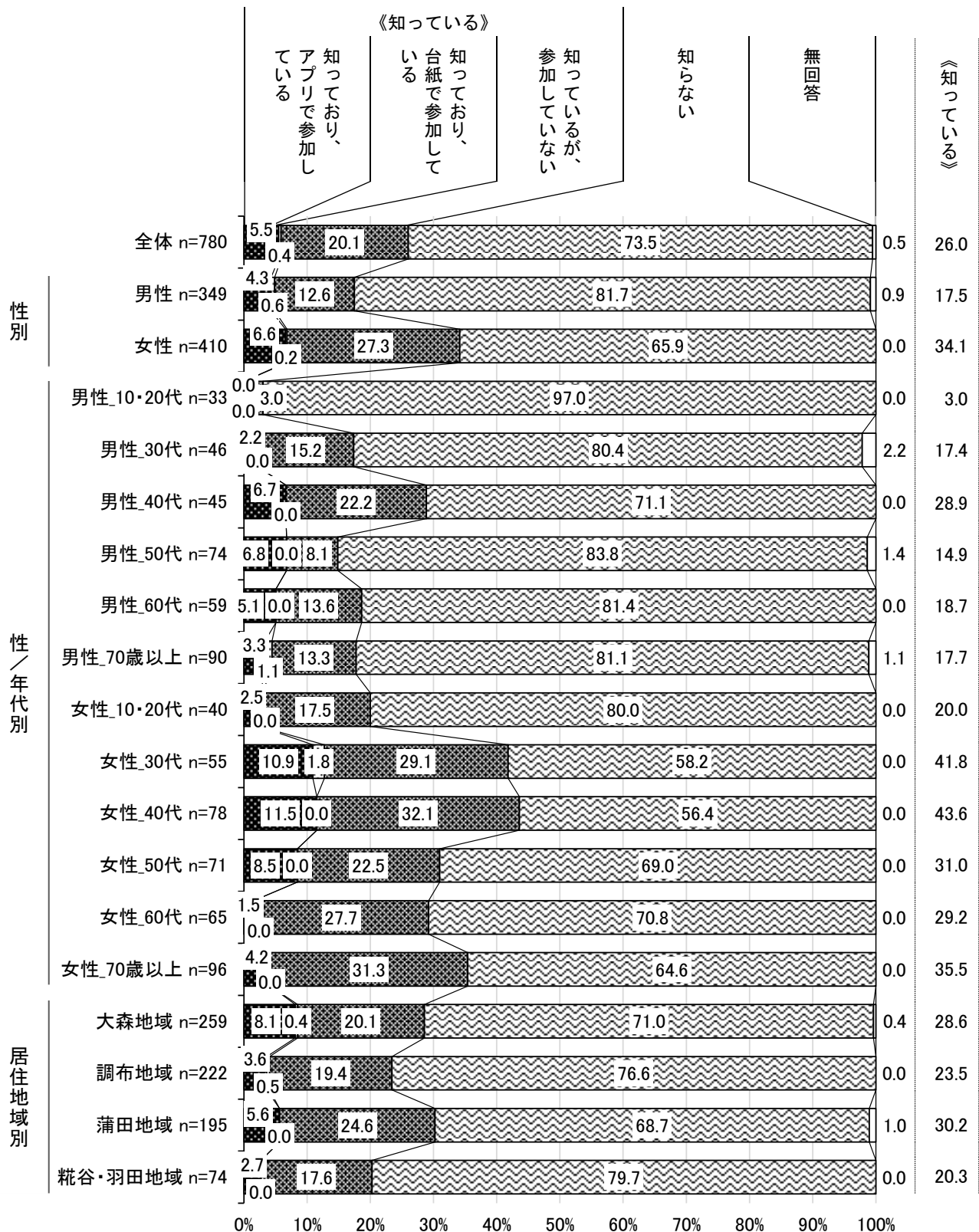


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が17.5%、女性が34.1%と、女性が16.6ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《知っている》は男性では40代で2割後半、女性では30代、40代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は蒲田地域で約3割と高くなっている。



9 喫煙について

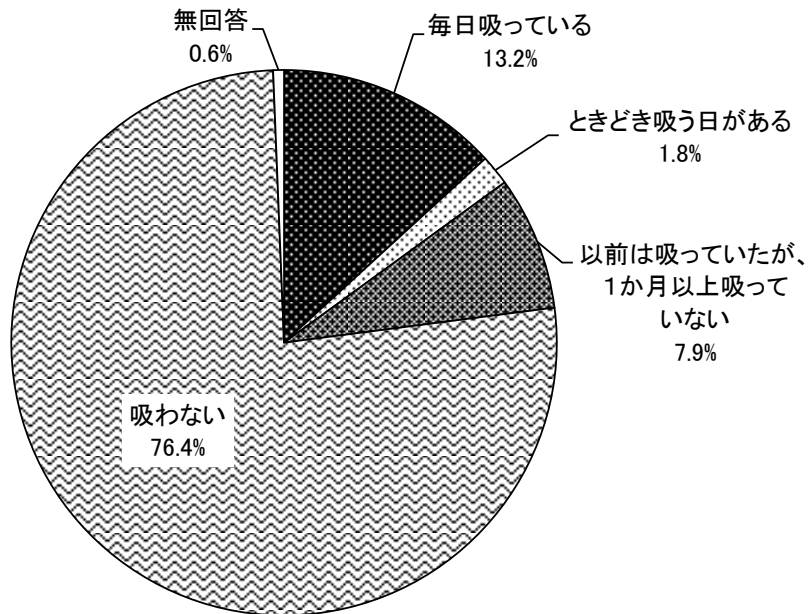
(1) 喫煙状況

◇「毎日吸っている」は1割前半となっている

問 19 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)

喫煙状況については、「吸わない」が76.4%で最も高く、次いで「毎日吸っている」が13.2%、「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」が7.9%となっている。

全体 n=780

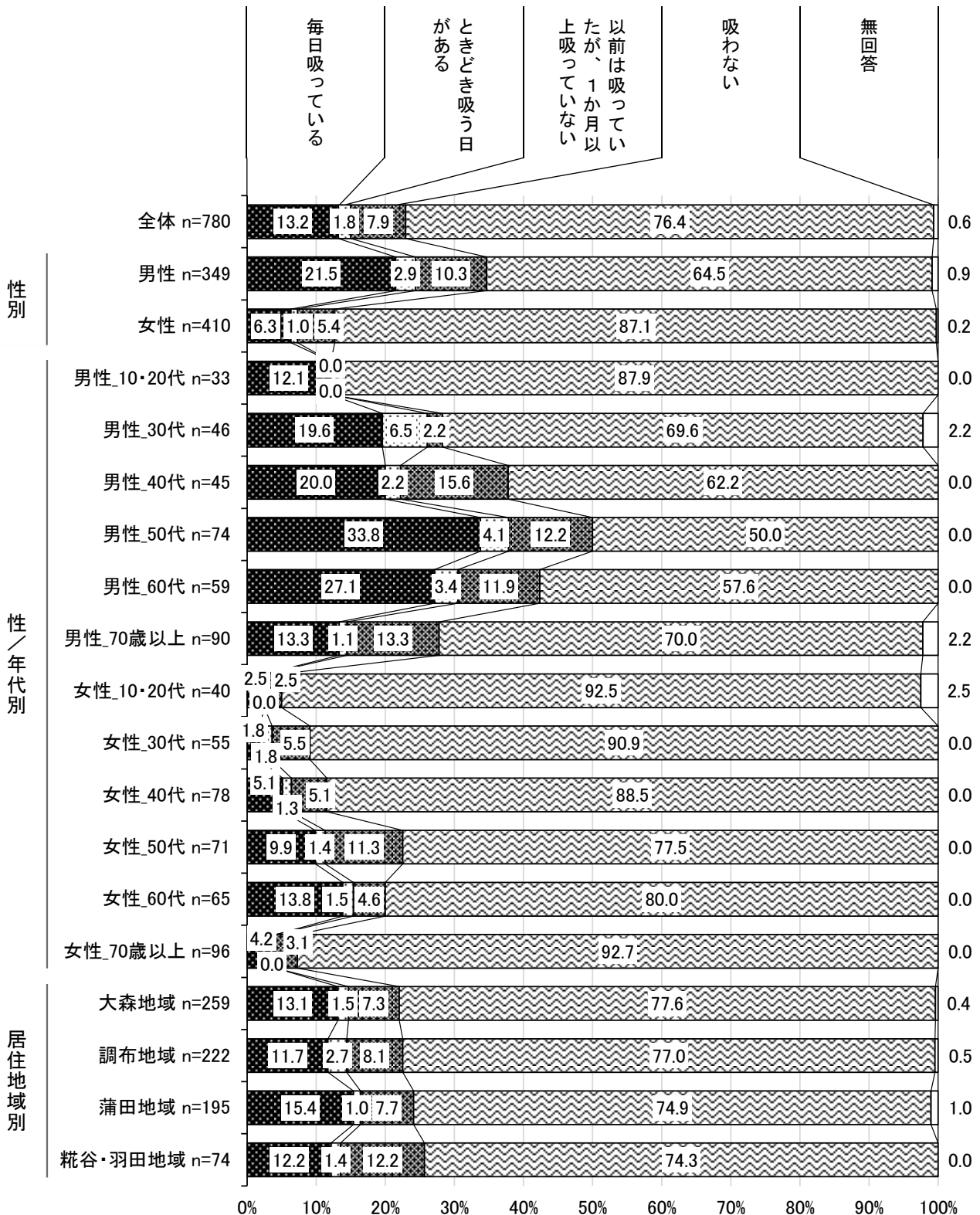


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「毎日吸っている」は男性が21.5%、女性が6.3%と、男性が15.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「毎日吸っている」は男性では50代で3割前半、女性では60代で1割前半と高くなっており、すべての年代で男性が女性を上回っている。

居住地域別でみると、「毎日吸っている」は蒲田地域で1割半ばと高くなっている。



(2) 喫煙の際に気をつけていること

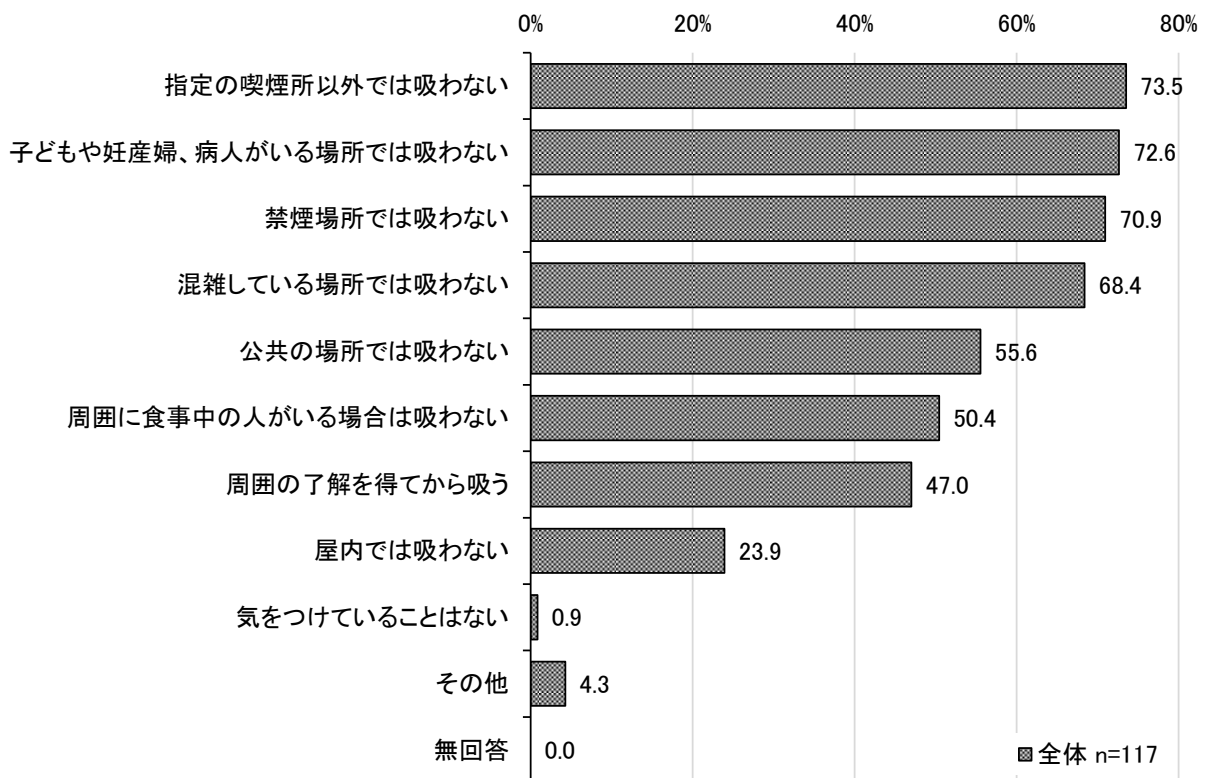
◇「指定の喫煙所以外では吸わない」が7割前半で最も高くなっている

【問 19 で「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」と回答した方に伺います。】

問 19-1 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(いくつでも)

喫煙の際に気をつけていることについては、「指定の喫煙所以外では吸わない」が73.5%で最も高く、次いで「子どもや妊産婦、病人がいる場所では吸わない」が72.6%、「禁煙場所では吸わない」が70.9%となっている。

なお、「気をつけていることはない」は0.9%となっている。



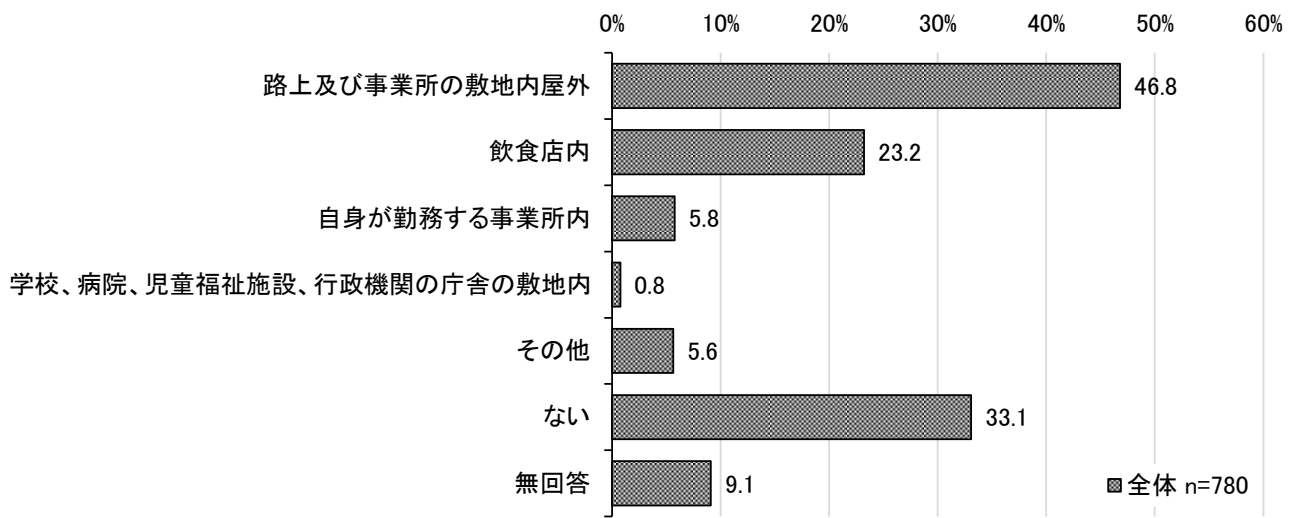
(3) 受動喫煙を経験した場所

◇「路上及び事業所の敷地内屋外」が4割後半で最も高くなっている

問 20 1年以内に、受動喫煙を経験された場所があれば教えてください。(いくつでも)

受動喫煙を経験した場所については、「路上及び事業所の敷地内屋外」が46.8%で最も高く、次いで「飲食店内」が23.2%、「自身が勤務する事業所内」が5.8%となっている。

なお、「ない」は33.1%となっている。

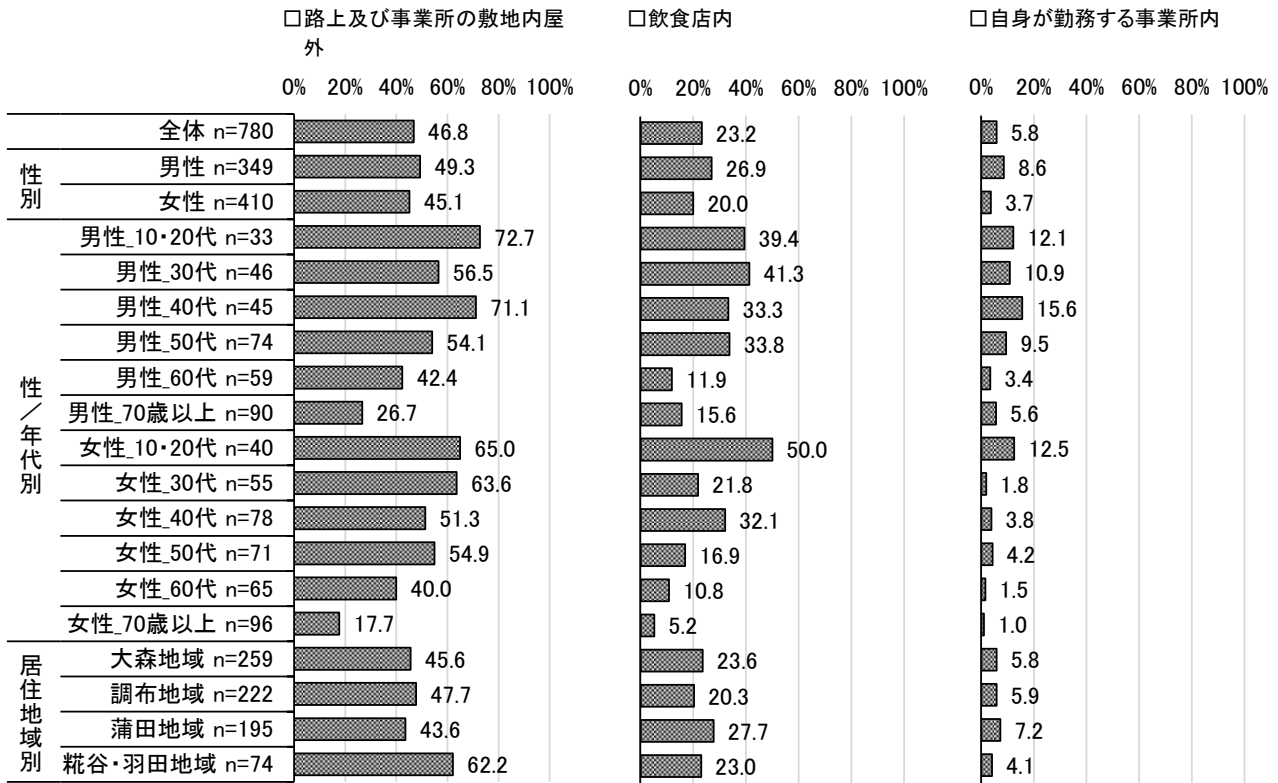


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「路上及び事業所の敷地内屋外」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「路上及び事業所の敷地内屋外」は男性10・20代、男性40代で7割台、女性10・20代、女性30代で6割台となっている。「飲食店内」は女性10・20代で5割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「路上及び事業所の敷地内屋外」が最も高く、糀谷・羽田地域で6割前半となっている。



□学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎の敷地内

0% 20% 40% 60% 80% 100%



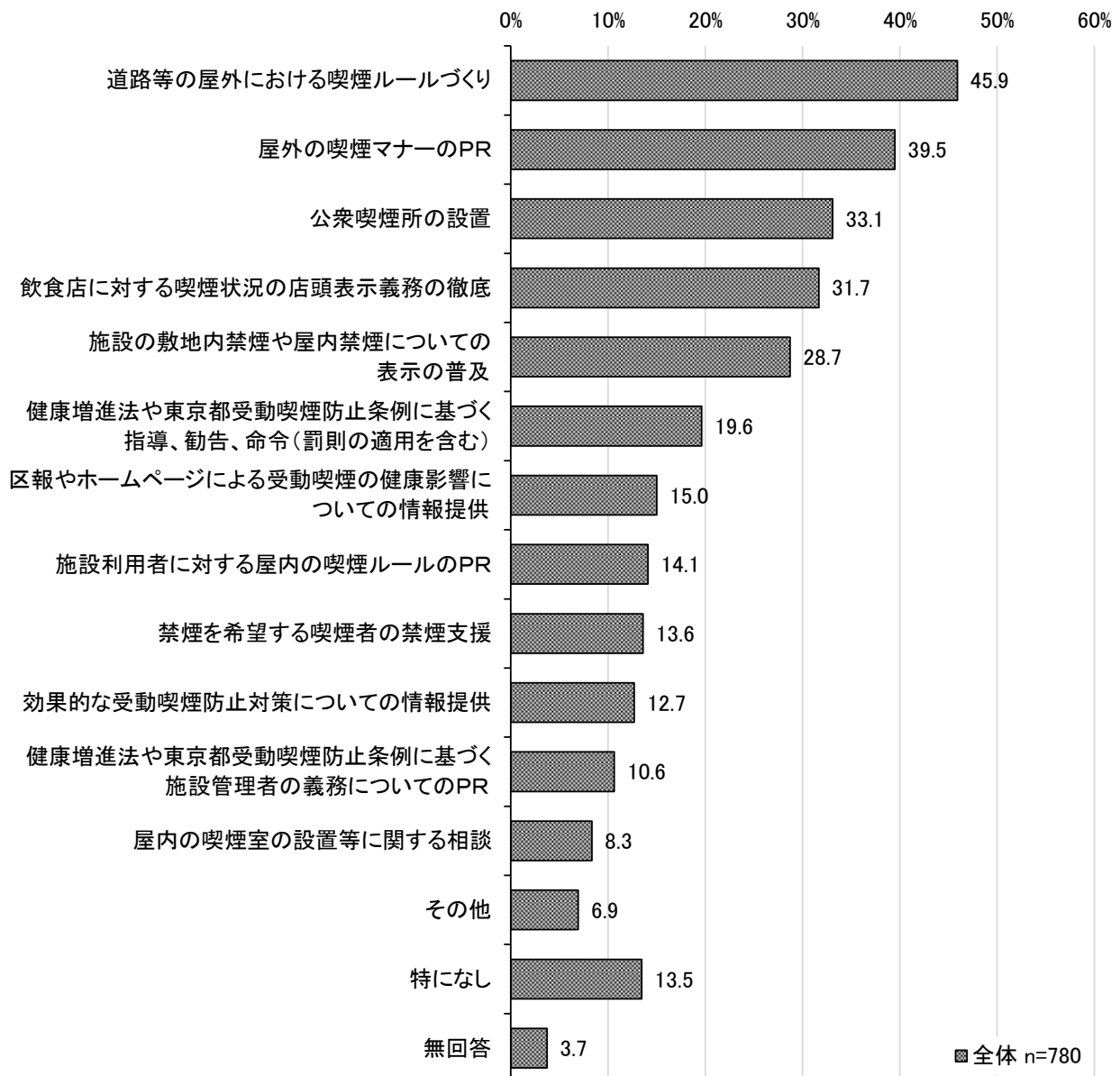
(4) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組

◇「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が4割半ばで最も高くなっている

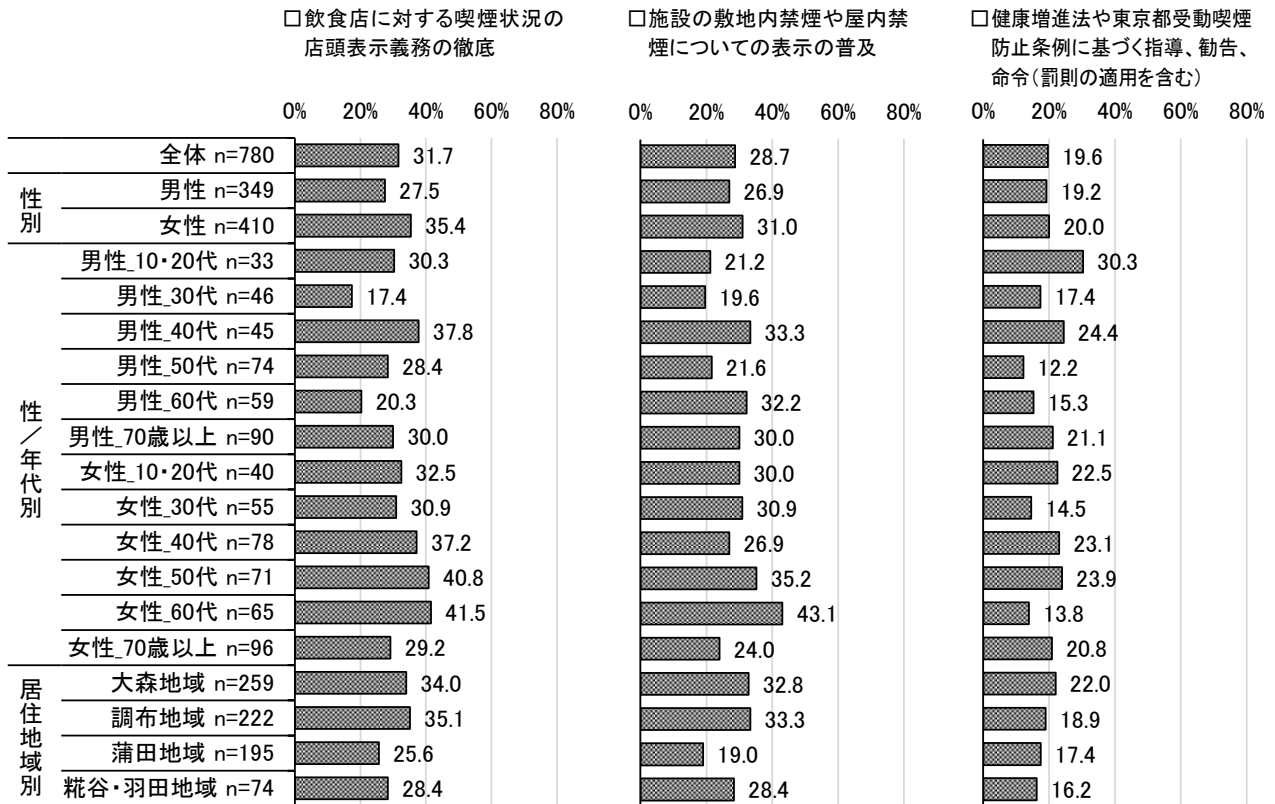
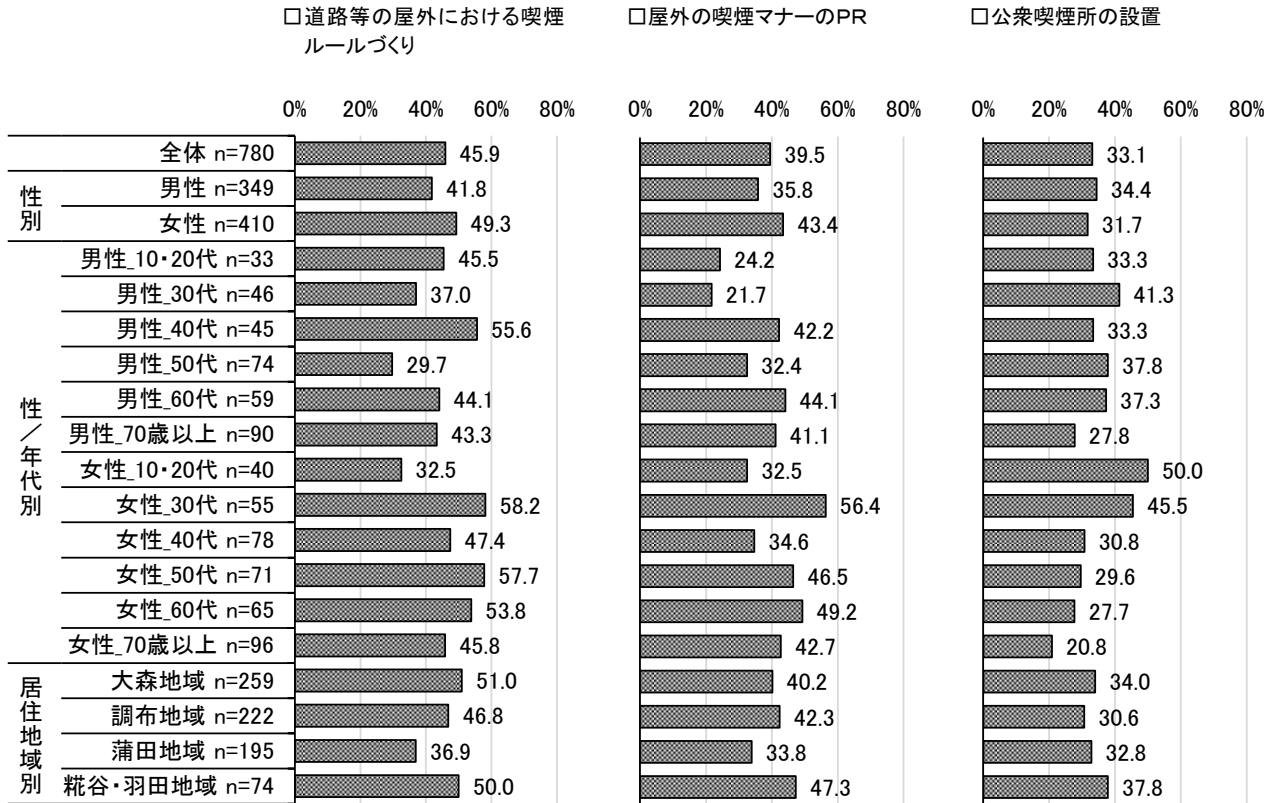
問 21 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(いくつでも)

大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組については、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が45.9%で最も高く、次いで「屋外の喫煙マナーのPR」が39.5%、「公衆喫煙所の設置」が33.1%となっている。

なお、「特になし」は13.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が最も高く、男性が41.8%、女性が49.3%と、女性が7.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」は男性では40代で5割半ば、女性では30代、50代で5割後半と高くなっている。「屋外の喫煙マナーのPR」は女性30代で5割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が最も高く、大森地域、糀谷・羽田地域で約5割となっている。

10 医療について

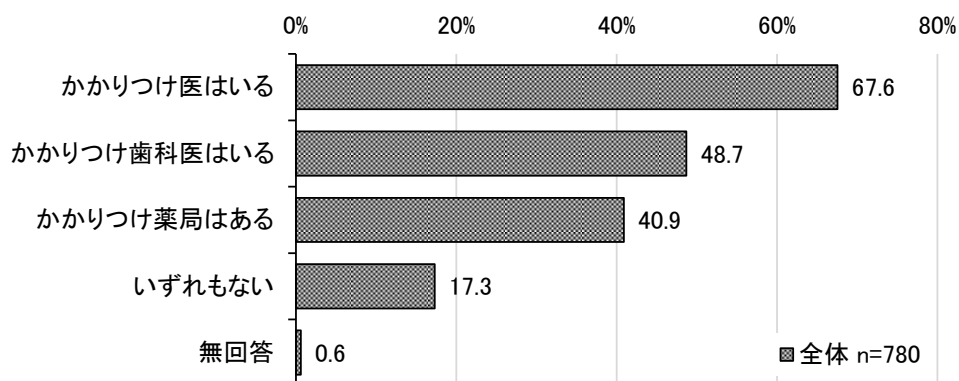
(1) かかりつけの医療機関

◇「かかりつけ医はいる」は6割後半となっている

問 22 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(いくつでも)

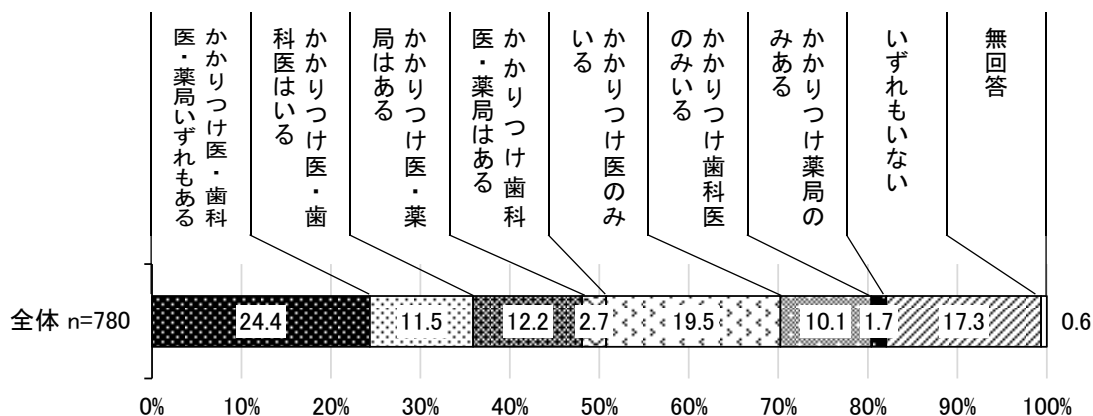
かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医はいる」が67.6%で最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいる」が48.7%、「かかりつけ薬局はある」が40.9%となっている。

なお、「いずれもない」は17.3%となっている。



■ かかりつけの医療機関の状況

かかりつけの医療機関の状況については、「かかりつけ医・歯科医・薬局いずれもある」が24.4%、「かかりつけ医のみいる」が19.5%となっている。

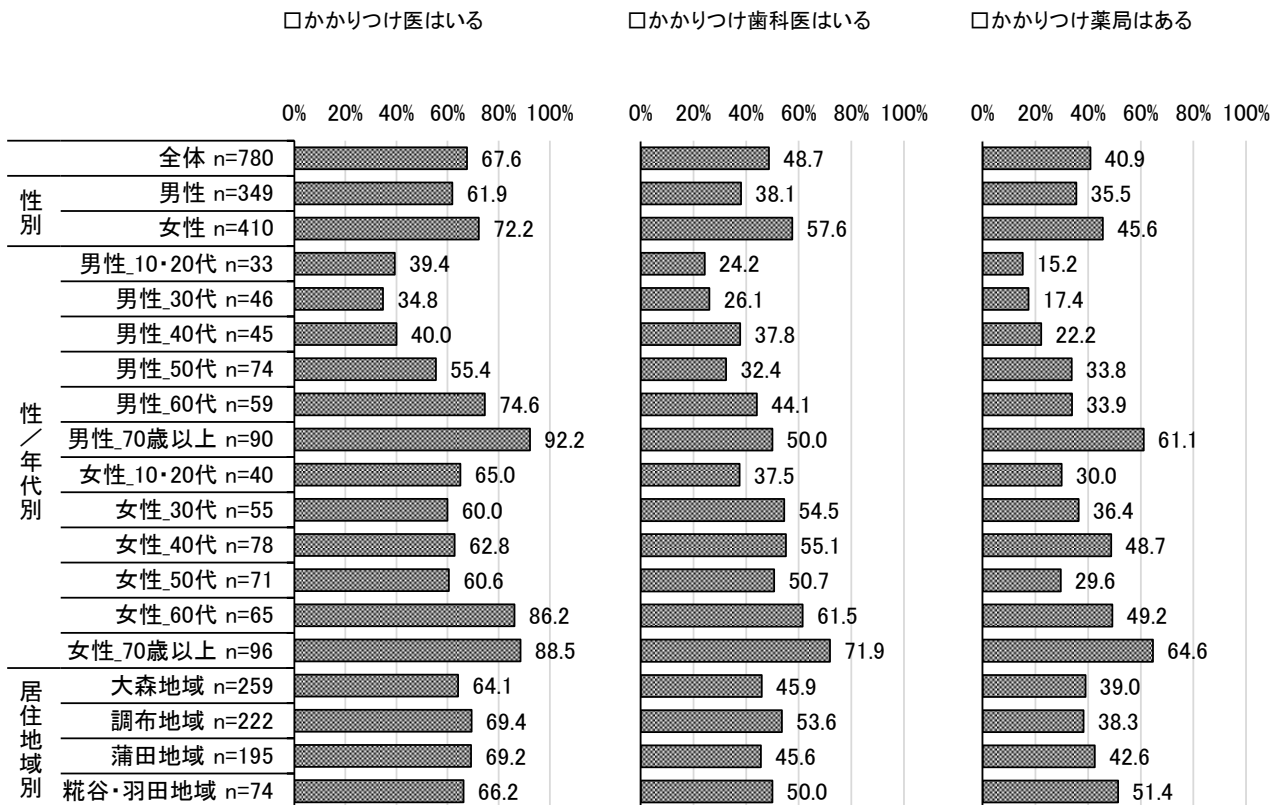


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性が61.9%、女性が72.2%と、女性が10.3ポイント上回っている。「かかりつけ歯科医はいる」は男性が38.1%、女性が57.6%と、女性が19.5ポイント上回っている。「かかりつけ薬局はある」は男性が35.5%、女性が45.6%と、女性が10.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性では70歳以上で9割前半、女性では60代、70歳以上で8割後半と高くなっている。「かかりつけ歯科医はいる」は男性では70歳以上で5割、女性では70歳以上で7割前半と高くなっている。「かかりつけ薬局はある」は男性では70歳以上で6割前半、女性では70歳以上で6割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「かかりつけ医はいる」が6割台となっている。



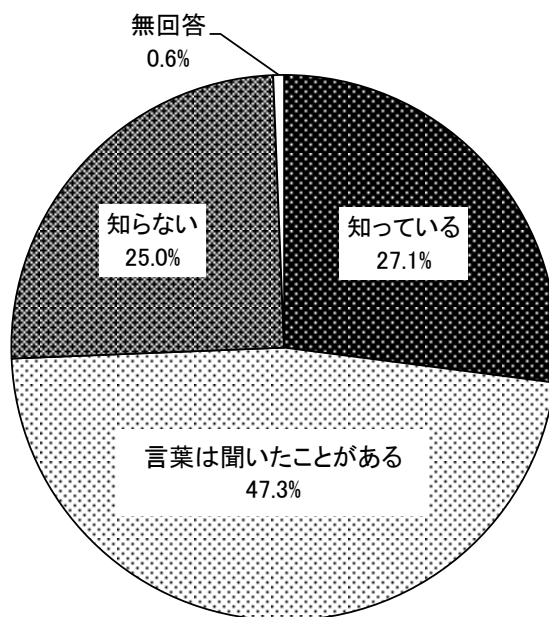
(2) 「在宅医療」の認知度

◇「知っている」は2割後半となっている

問 23 在宅医療の制度や仕組みについて知っていますか。(1つのみ)

“在宅医療”の認知度については、「言葉は聞いたことがある」が47.3%で最も高く、次いで「知っている」が27.1%、「知らない」が25.0%となっている。

全体 n=780

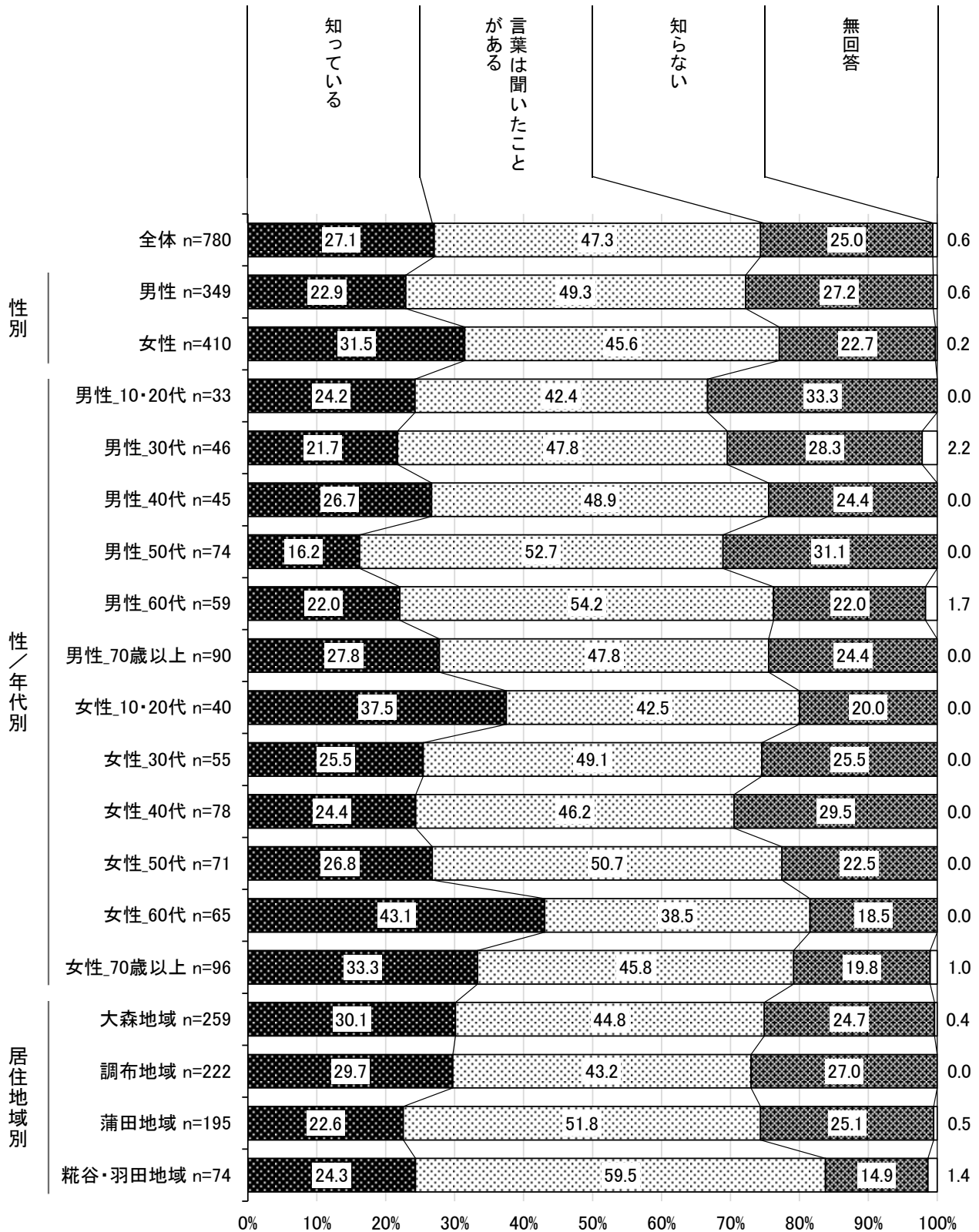


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が22.9%、女性が31.5%と、女性が8.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では50代を除いて2割台となっている。女性では60代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は大森地域、調布地域で約3割と高くなっている。



11 災害時の対応について

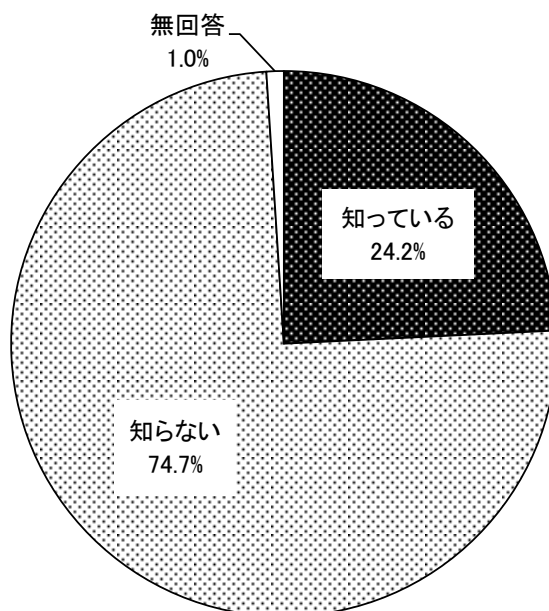
(1) 災害時の緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度

◇「知っている」は2割半ばとなっている

問 24 区内で震度6弱以上の地震が発生した場合、地域のクリニックや診療所は休診となり、災害発生後から概ね72時間、病院や学校の近接地に緊急医療救護所・軽症者救護所が開設されることを知っていますか。(1つのみ)

災害時の緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度については、「知っている」が24.2%、「知らない」が74.7%と、「知らない」が50.5ポイント上回っている。

全体 n=780

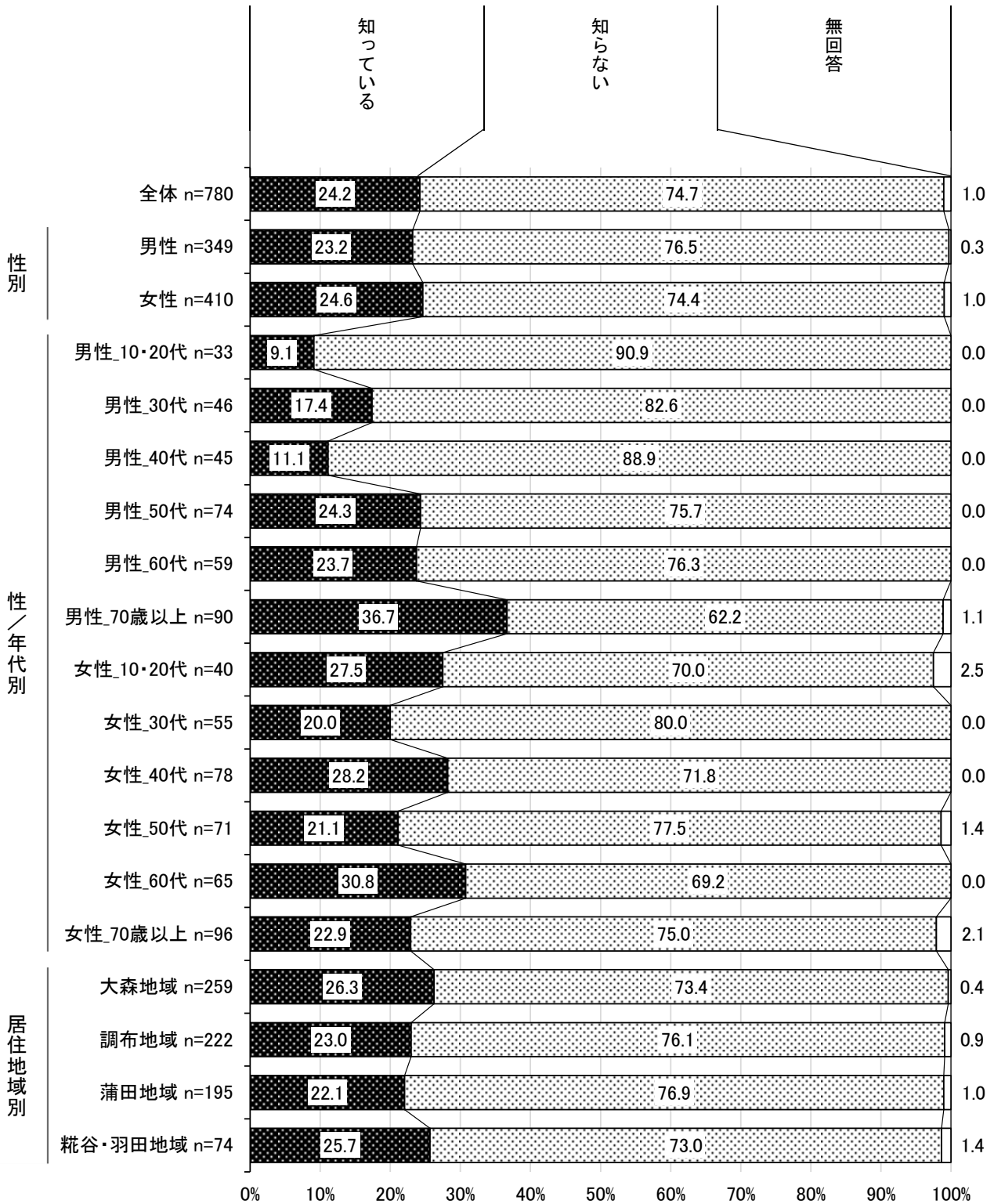


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「知っている」は男性では70歳以上で3割後半、女性では60代で約3割と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「知っている」は2割台となっている。



12 教育について

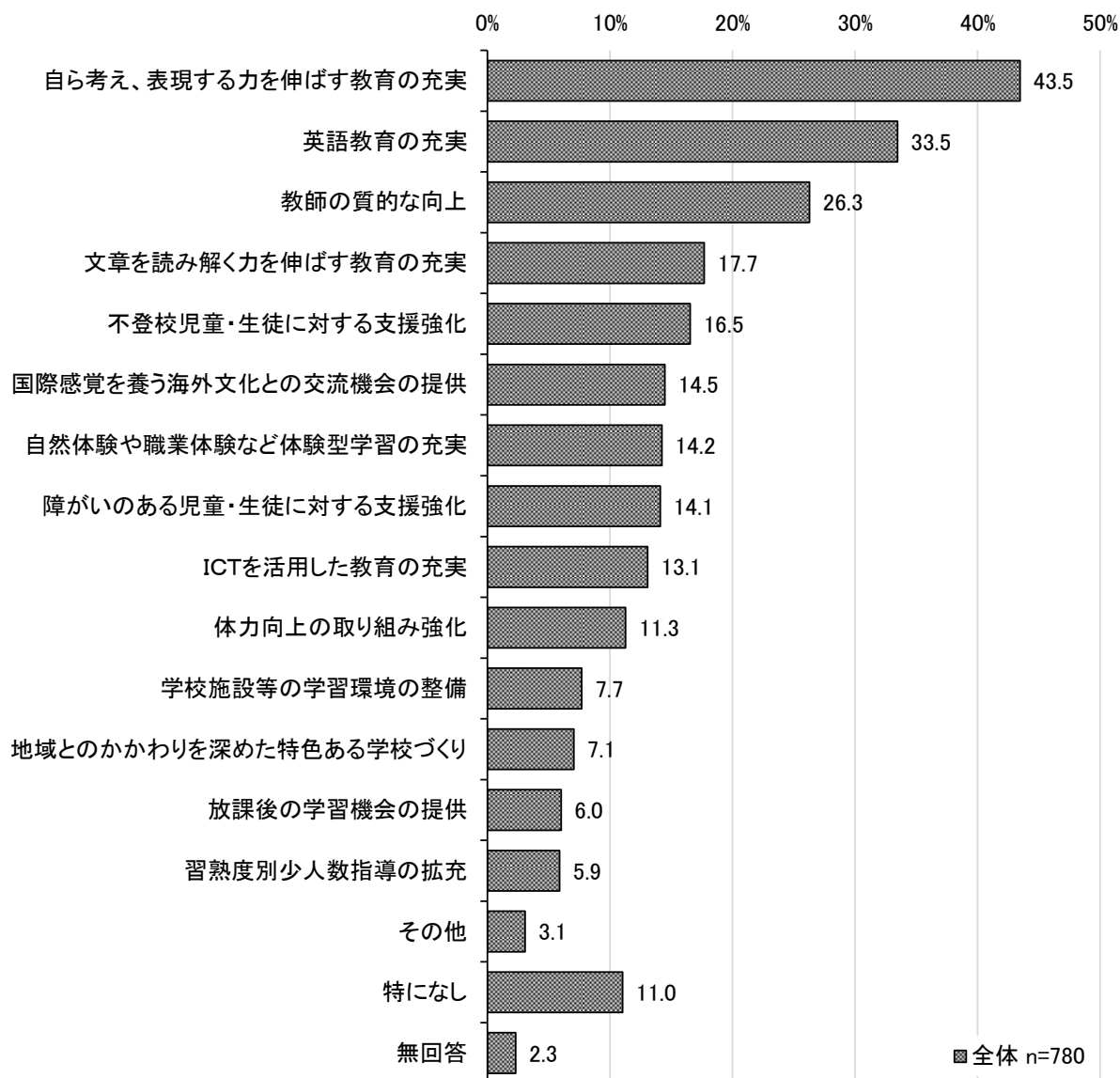
(1) 教育の充実に向けて、大田区が重点的に取り組むべきこと

◇「自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実」が4割前半で最も高くなっている

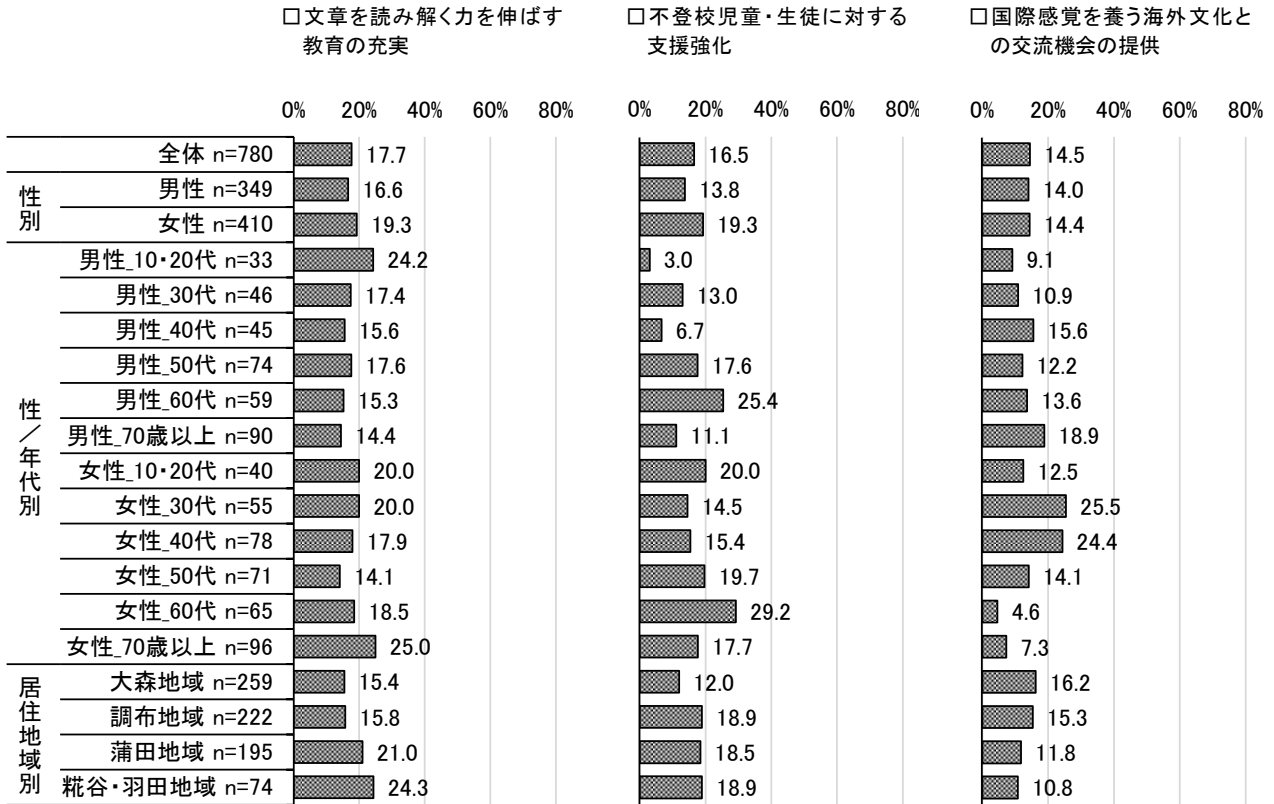
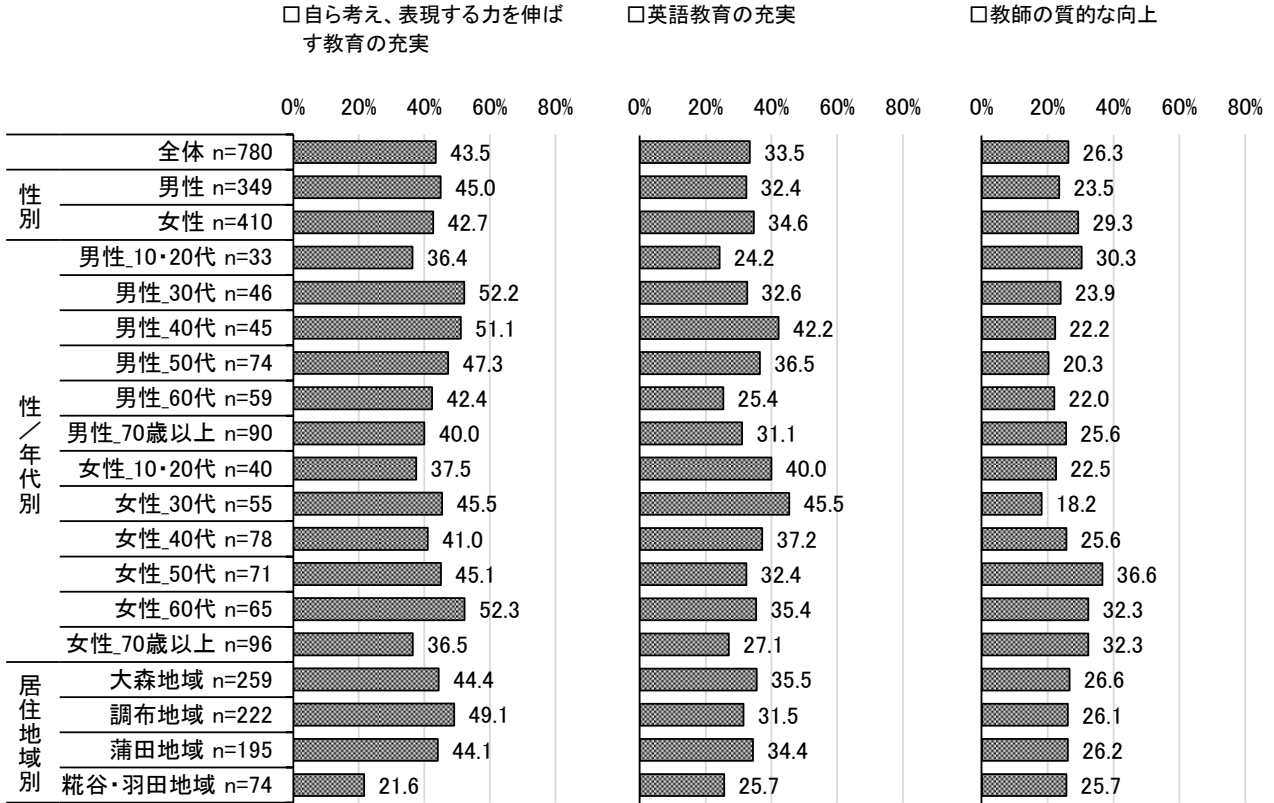
問 25 「教育の充実」に向けて、大田区はどのような課題に対して重点的に取り組むべきだと思いますか。(3つまで)

教育の充実に向けて、大田区が重点的に取り組むべきことについては、「自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実」が43.5%で最も高く、次いで「英語教育の充実」が33.5%、「教師の質的な向上」が26.3%となっている。

なお、「特になし」は11.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別でみると、男性、女性ともに「自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実」は男性30代、男性40代、女性60代で5割前半となっている。「英語教育の充実」は男性では40代で4割前半、女性では30代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実」が、糀谷・羽田地域では「英語教育の充実」、「教師の質的な向上」がともに最も高くなっている。

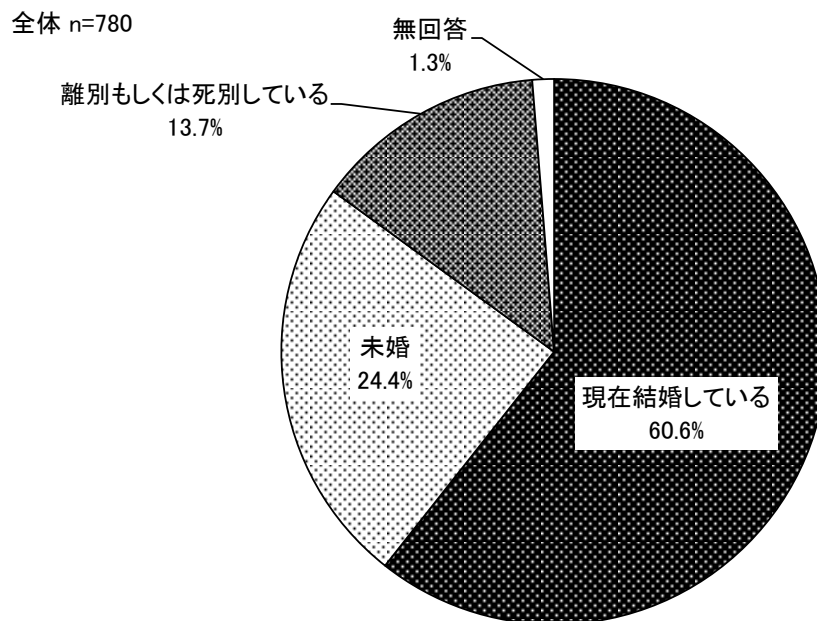
13 結婚について

(1) 婚姻状況

◇「現在結婚している」は約6割となっている

問 26 あなたの婚姻状況を教えてください。(1つのみ)

婚姻状況については、「現在結婚している」が60.6%で最も高く、次いで「未婚」が24.4%、「離別もしくは死別している」が13.7%となっている。

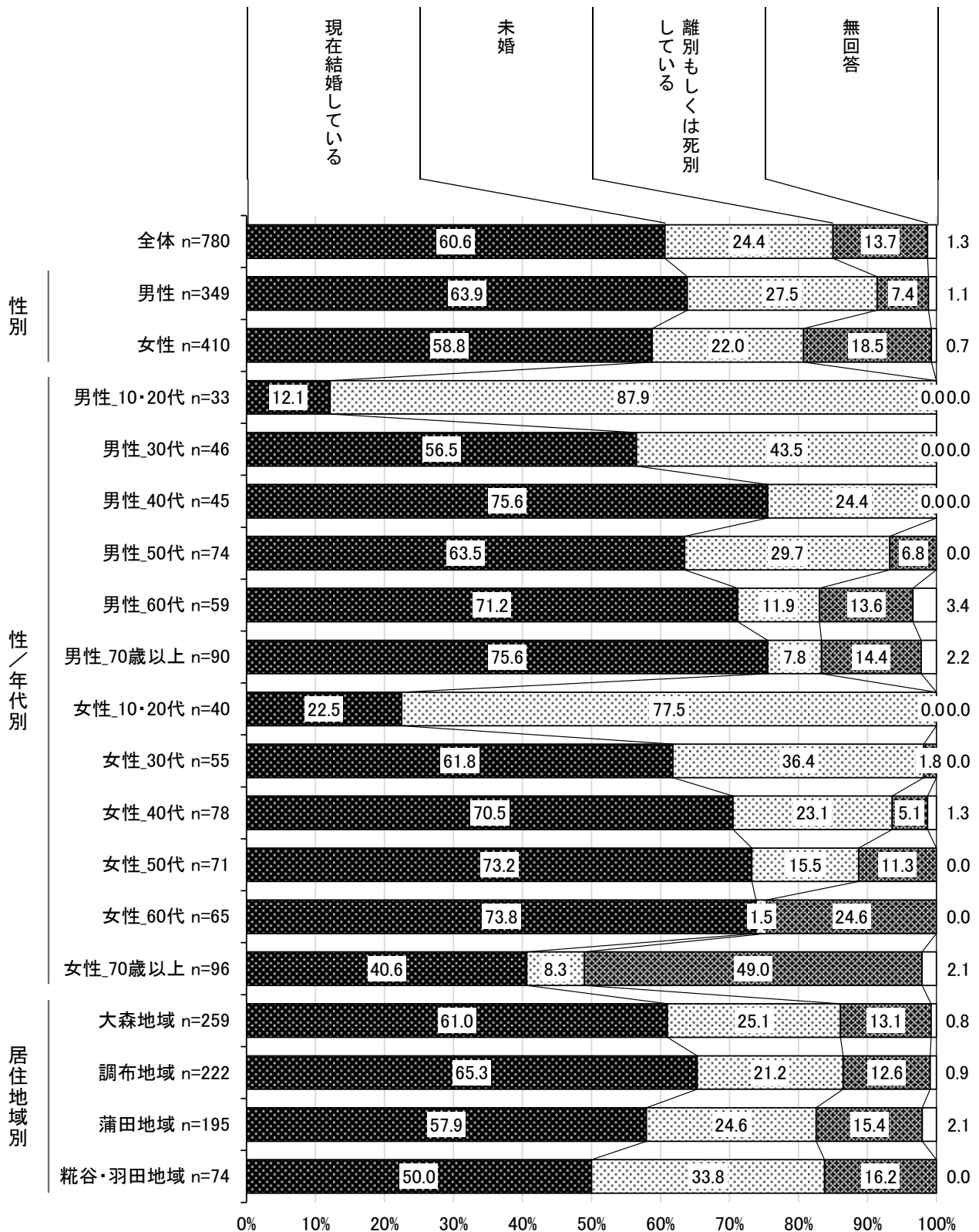


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「現在結婚している」は男性が63.9%、女性が58.8%と、男性が5.1ポイント上回っている。「離別もしくは死別している」は男性が7.4%、女性が18.5%と、女性が11.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「現在結婚している」は男性40代、男性60代、男性70歳以上、女性40代から女性60代で7割台となっている。

居住地域別でみると、「現在結婚している」は調布地域で6割半ばと高くなっている。



(2) 結婚に対する考え方

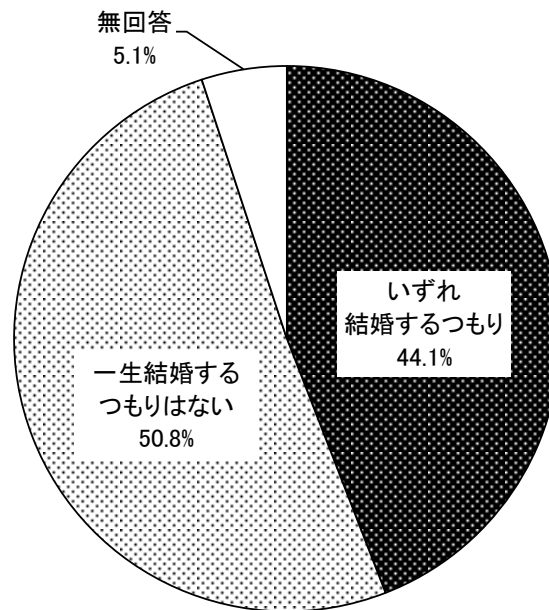
◇「いずれ結婚するつもり」は4割半ばとなっている

【問 26 で「未婚」「離別もしくは死別している」と回答した方に伺います。】

問 26-1 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えを教えてください。
(1つのみ)

結婚に対する考え方については、「いずれ結婚するつもり」が44.1%、「一生結婚するつもりはない」が50.8%と、「一生結婚するつもりはない」が6.7ポイント上回っている。

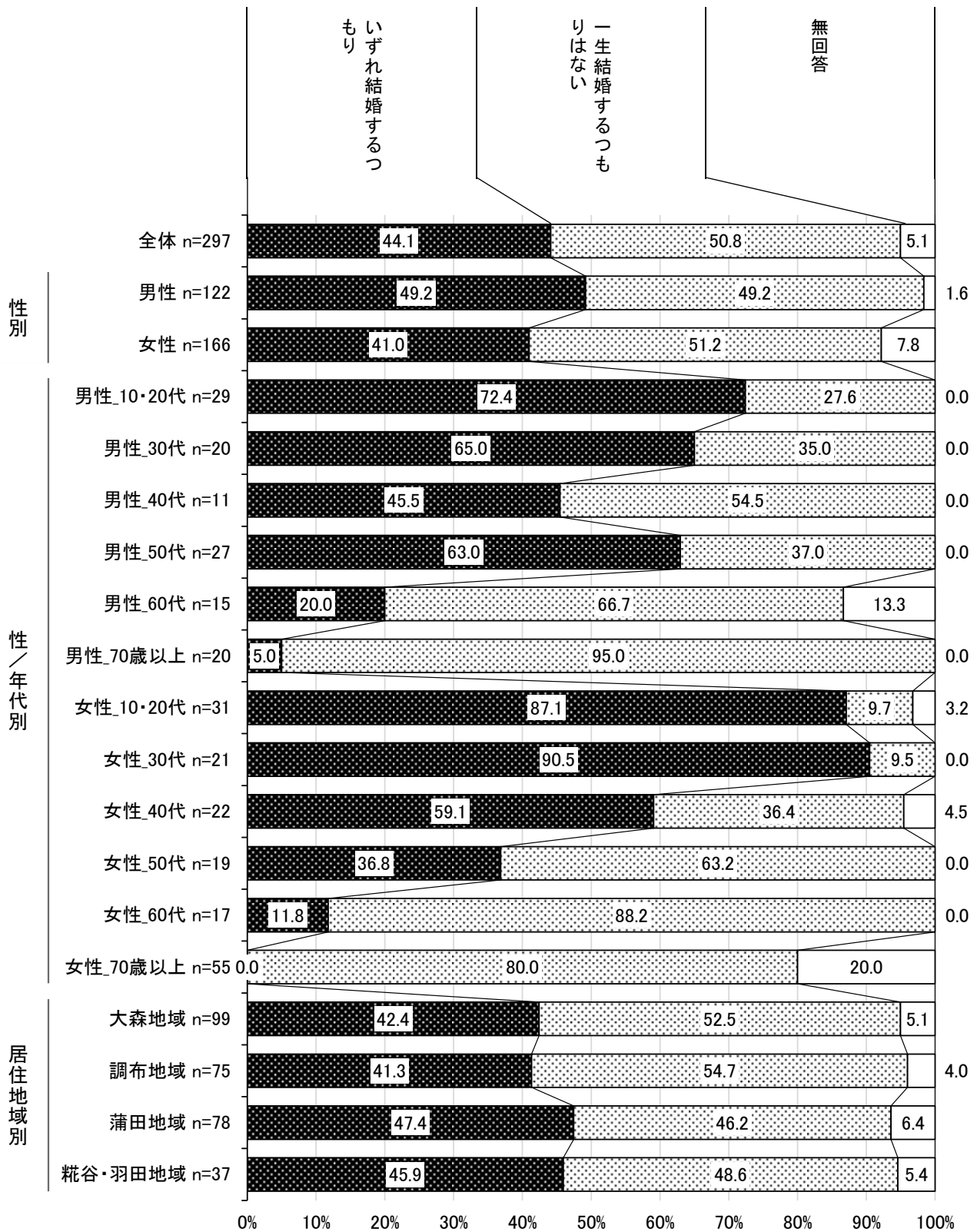
全体 n=297



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「いずれ結婚するつもり」は男性が49.2%、女性が41.0%と、男性が8.2ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「いずれ結婚するつもり」は蒲田地域で4割後半と高くなっている。



(3) 子どもの人数

問 26-2 問 26 で「現在結婚している」と回答した方は①と②についてお答えいただき、問 26-1 で「いずれ結婚するつもり」と回答した方は③についてお答えください。
(それぞれ1つのみ)

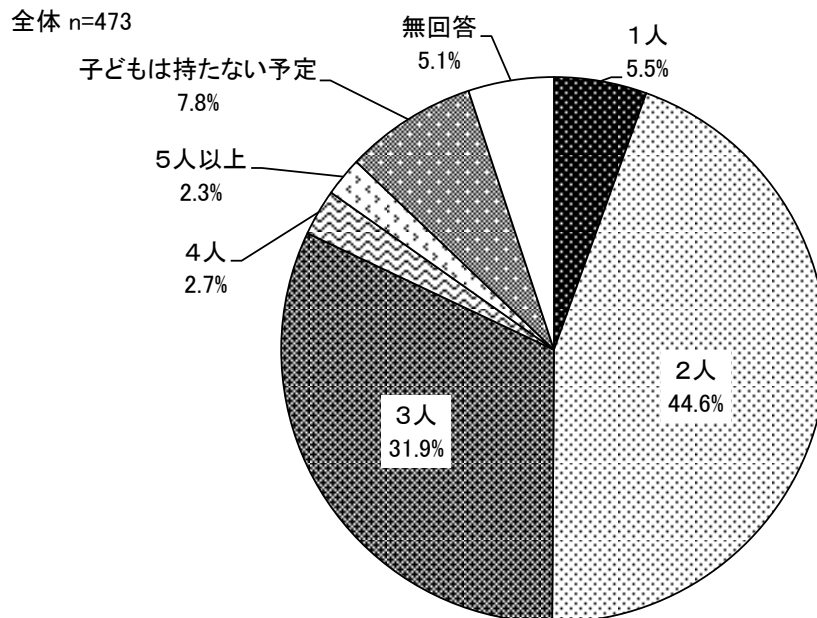
【問 26 で「現在結婚している」と回答した方に伺います。】

①理想的な子どもの数は何人ですか。

◇「2人」が4割半ばで最も高くなっている

理想的な子どもの数については、「2人」が 44.6%で最も高く、次いで「3人」が 31.9%、「1人」が 5.5%となっている。

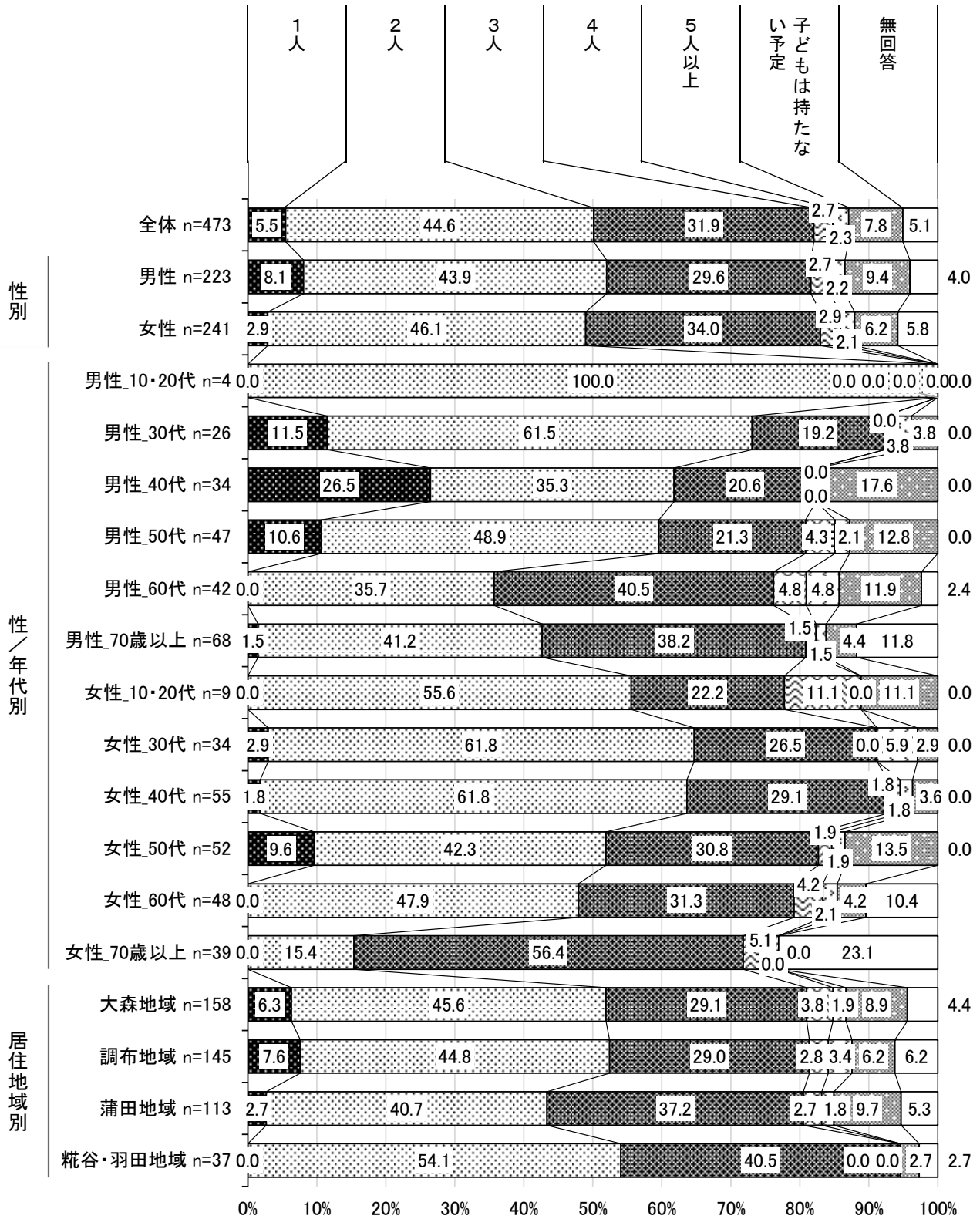
なお、「子どもは持たない予定」は 7.8%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「2人」が最も高くなっている。

居住地域別でみると、「2人」は糞谷・羽田地域で5割半ばと高くなっている。



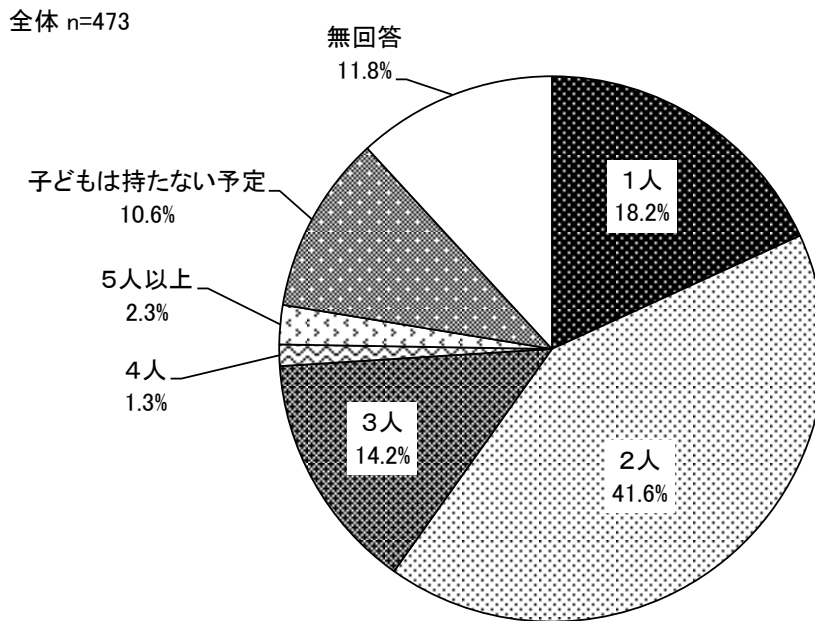
【問 26 で「現在結婚している」と回答した方に伺います。】

②全部で何人の子どもの持ちつもりですか。

◇「2人」が4割前半で最も高くなっている

全部で何人の子どもの持ちかについては、「2人」が41.6%で最も高く、次いで「1人」が18.2%、「3人」が14.2%となっている。

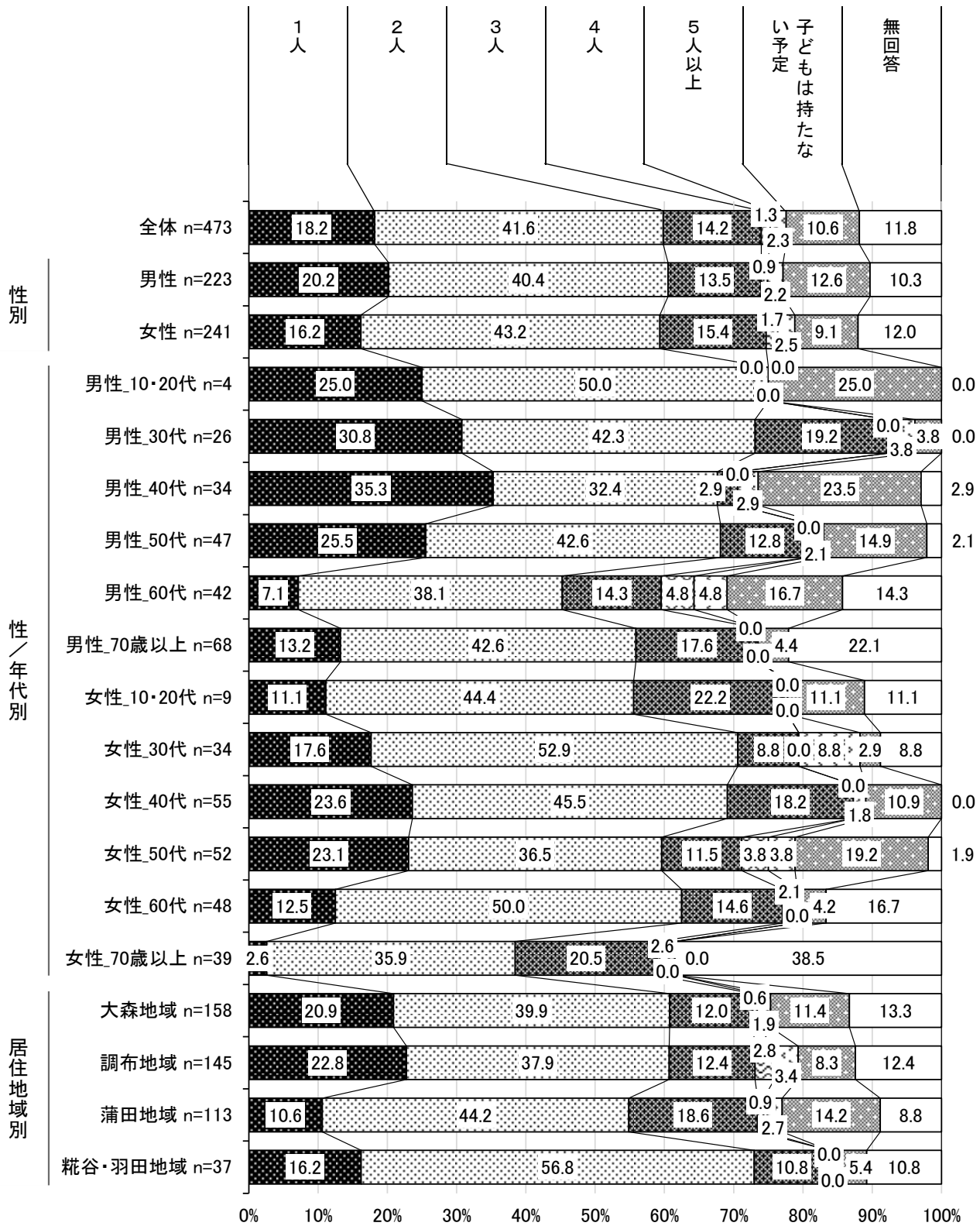
なお、「子どもは持たない予定」は10.6%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「2人」が最も高くなっている。

居住地域別でみると、「2人」は糞谷・羽田地域で5割後半と高くなっている。



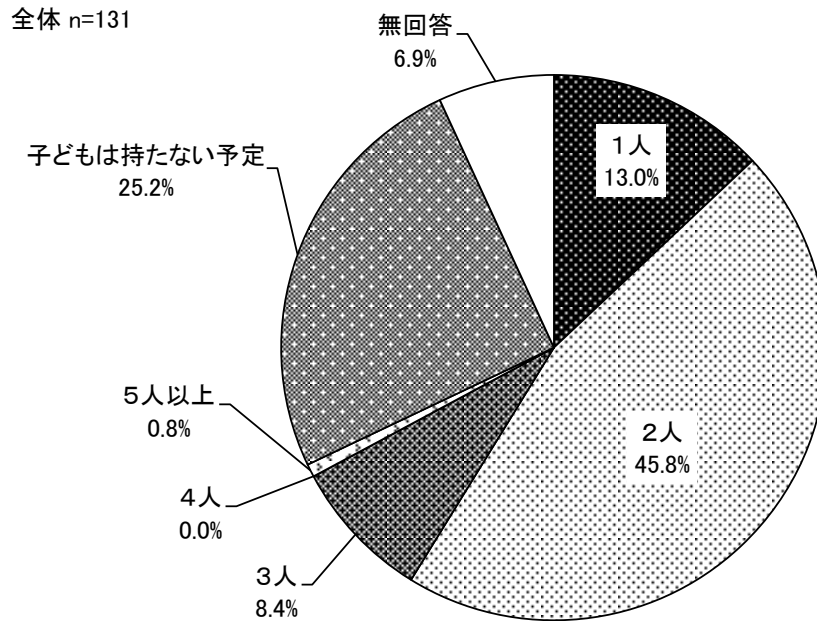
【問 26-1で「いずれ結婚するつもり」と回答した方に伺います。】

③今後結婚した場合、子どもは何人くらいほしいですか。

◇「2人」が4割半ばで最も高くなっている

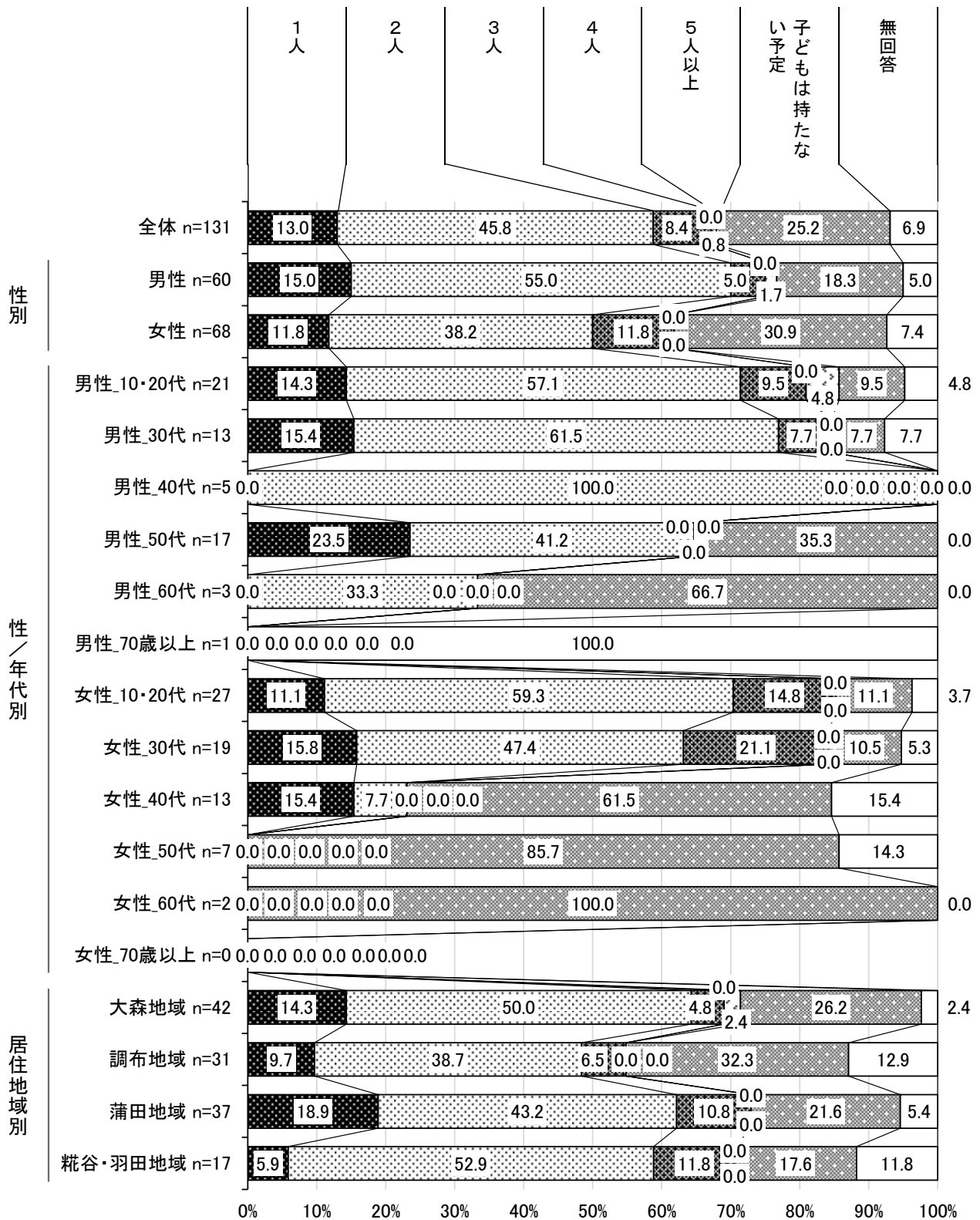
今後結婚した場合、何人の子どもがほしいかについては、「2人」が45.8%で最も高く、次いで「1人」が13.0%、「3人」が8.4%となっている。

なお、「子どもは持たない予定」は25.2%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「2人」が最も高くなっている。



14 食品ロス・フードドライブについて

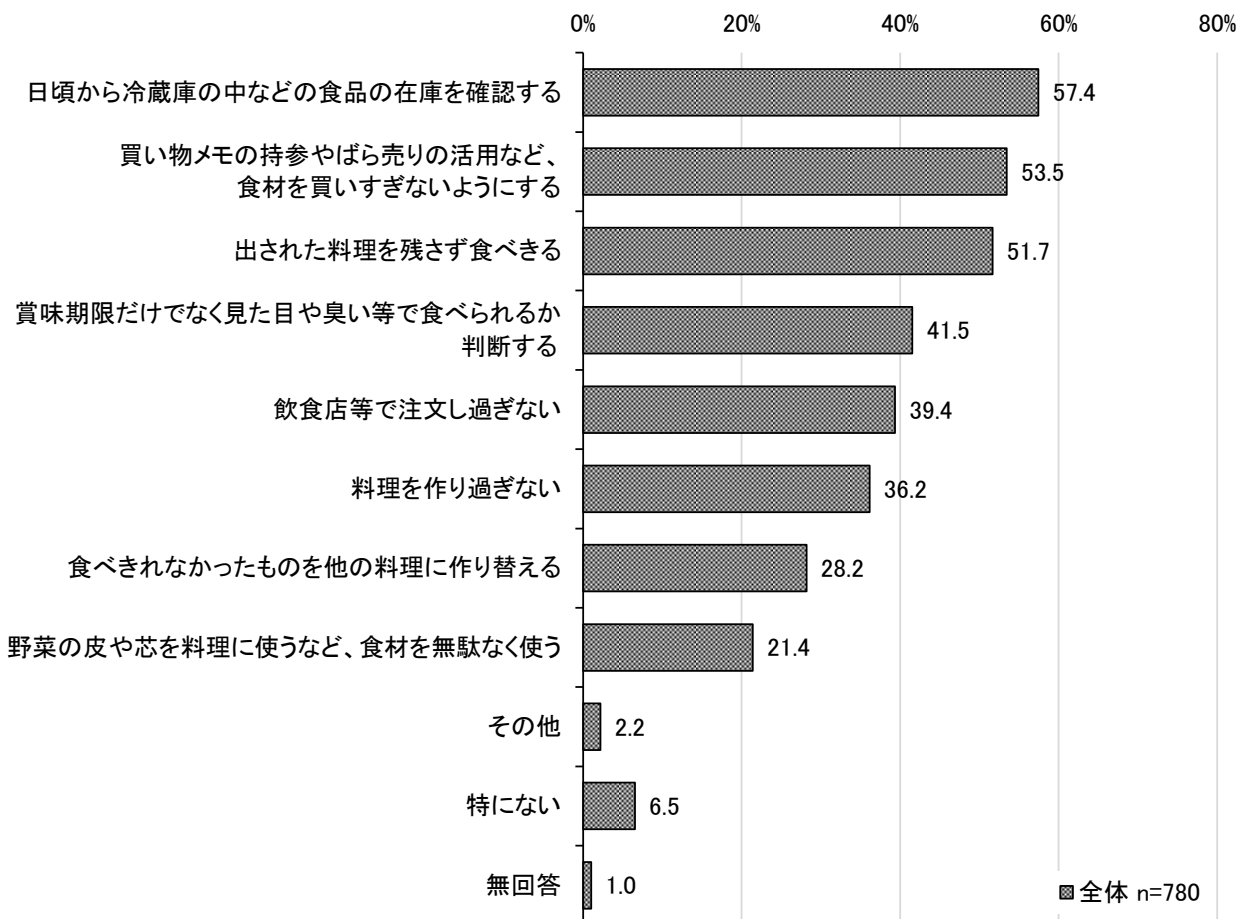
(1) 「食品ロス」を減らすための取組

◇「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が5割後半で最も高くなっている

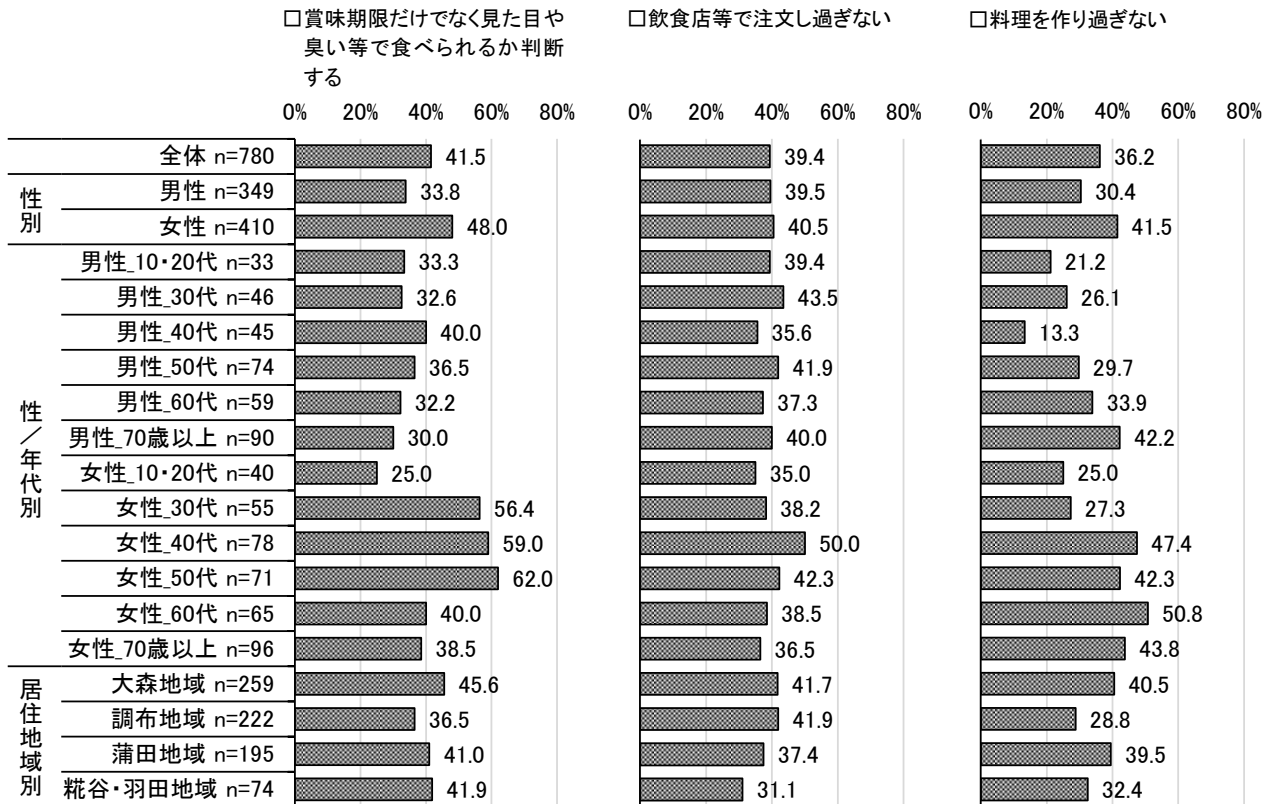
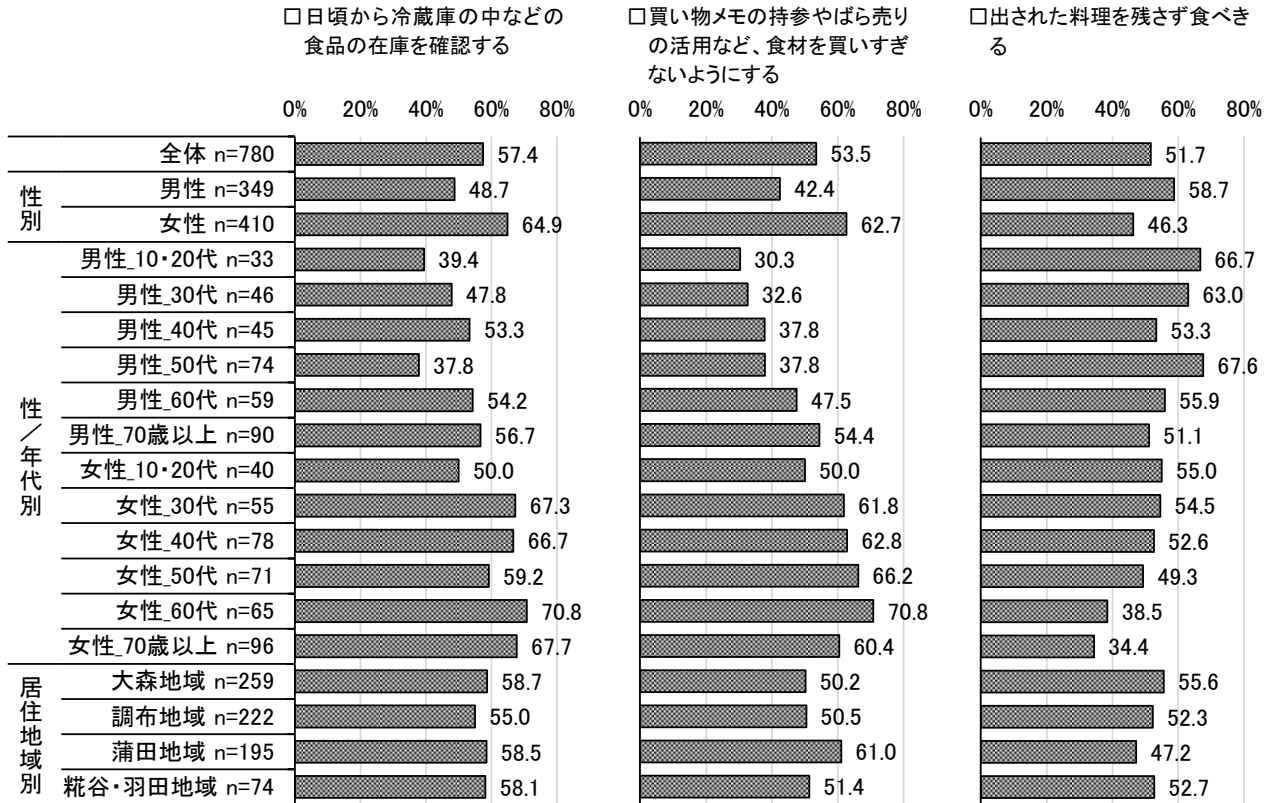
**問 27 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(いくつでも)**

食品ロスを減らすための取組については、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が57.4%で最も高く、次いで「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が53.5%、「出された料理を残さず食べきる」が51.7%となっている。

なお、「特にない」は6.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別でみると、男性では「出された料理を残さず食べきる」が最も高く、女性では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が最も高くなっている。「出された料理を残さず食べきる」は男性が58.7%、女性が46.3%と、男性が12.4ポイント上回っている。「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は男性が48.7%、女性が64.9%と、女性が16.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、女性60代では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」がともに約7割と高くなっている。「賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する」は女性50代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が、蒲田地域では「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が最も高くなっている。

(2) 「フードドライブ」への提供意向

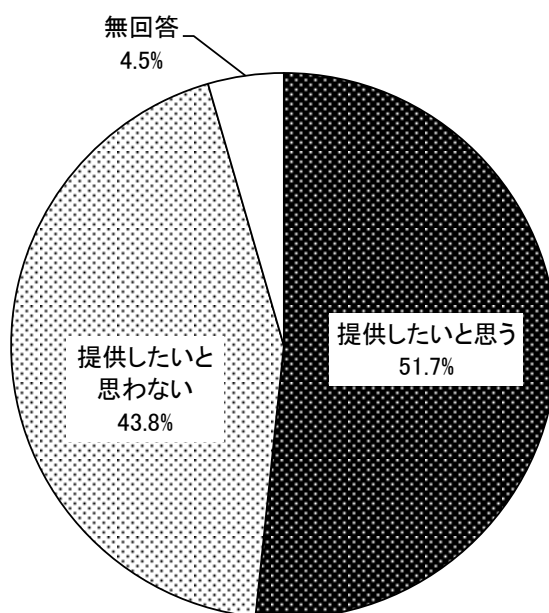
◇「提供したいと思う」は5割前半となっている

問 28 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。

あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。(1つのみ)

フードドライブへの提供意向については、「提供したいと思う」が51.7%、「提供したいと思わない」が43.8%と、「提供したいと思う」が7.9ポイント上回っている。

全体 n=780

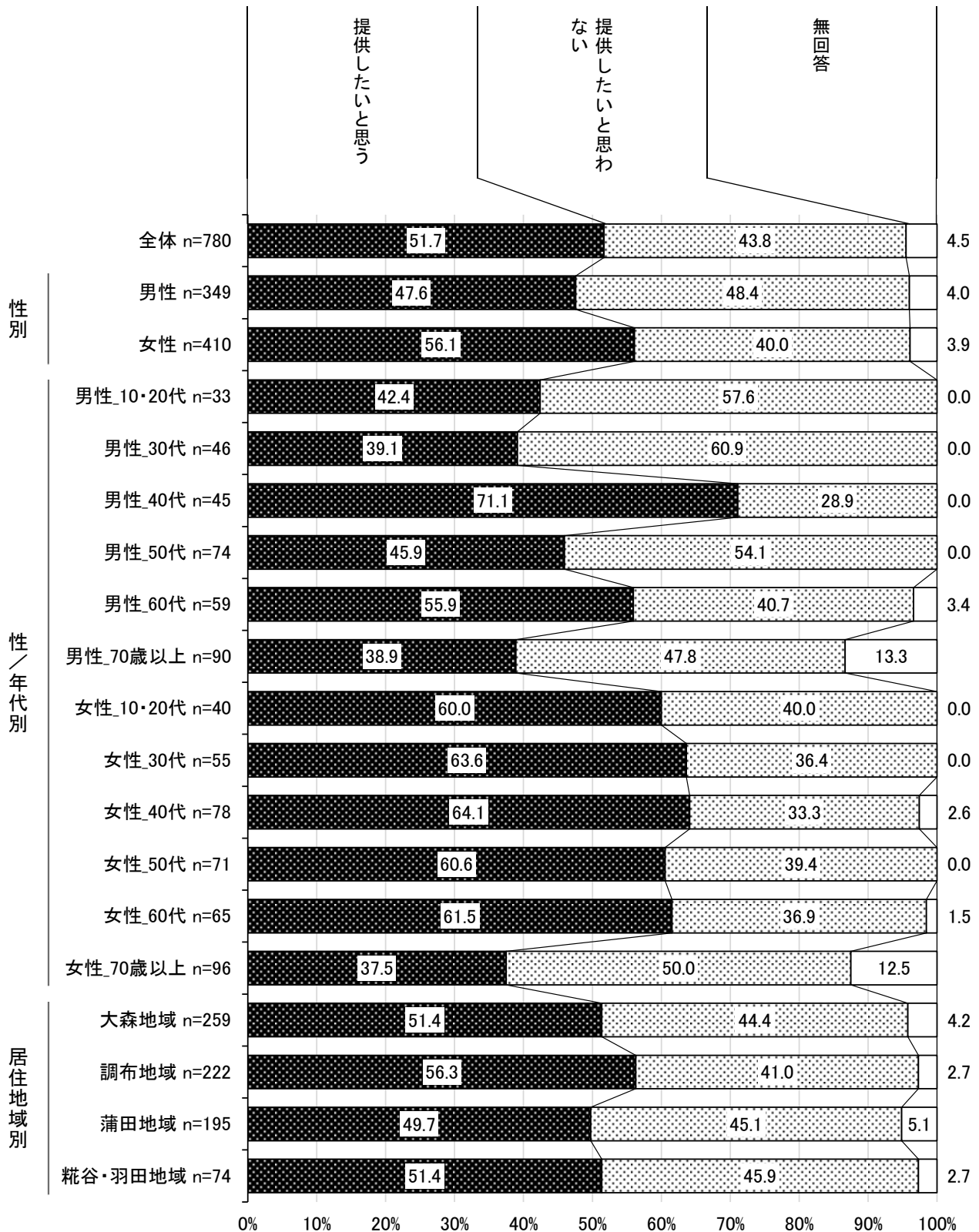


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「提供したいと思う」は男性が47.6%、女性が56.1%と、女性が8.5ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「提供したいと思う」は男性では40代で7割前半と高くなっている。女性では70歳以上を除いて6割台となっている。

居住地域別でみると、「提供したいと思う」は調布地域で5割後半と高くなっている。



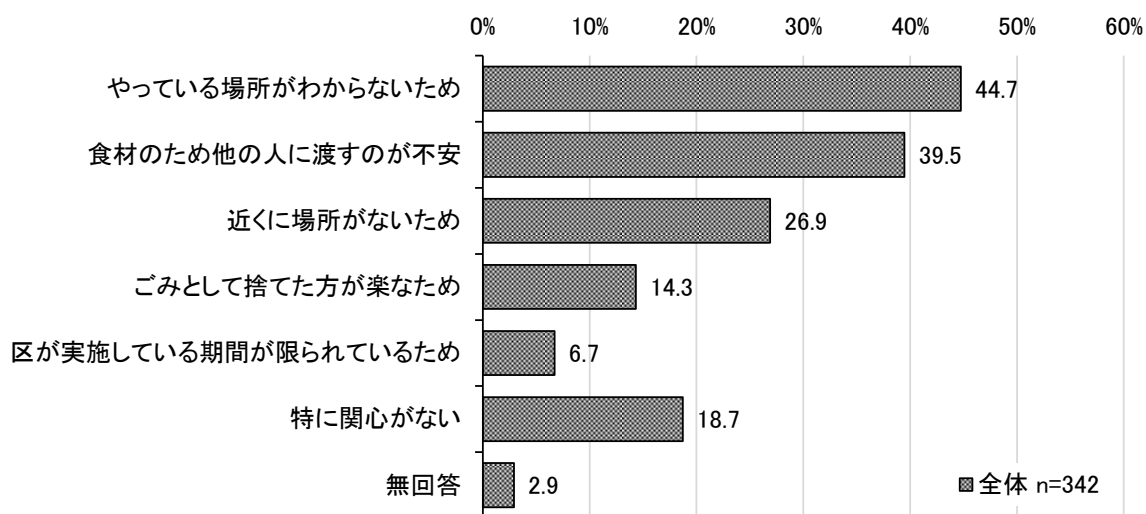
(3) 提供したいと思わない理由

◇「やっている場所がわからないため」が4割半ばで最も高くなっている

【問28で「提供したいと思わない」と回答した方に伺います。】

問28-1 提供したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

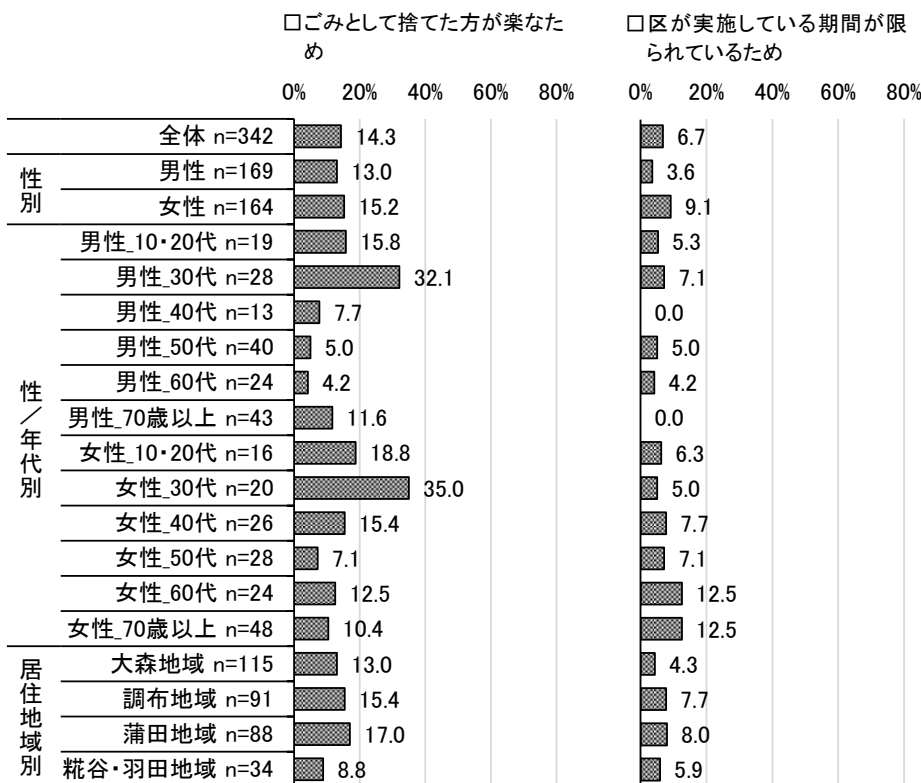
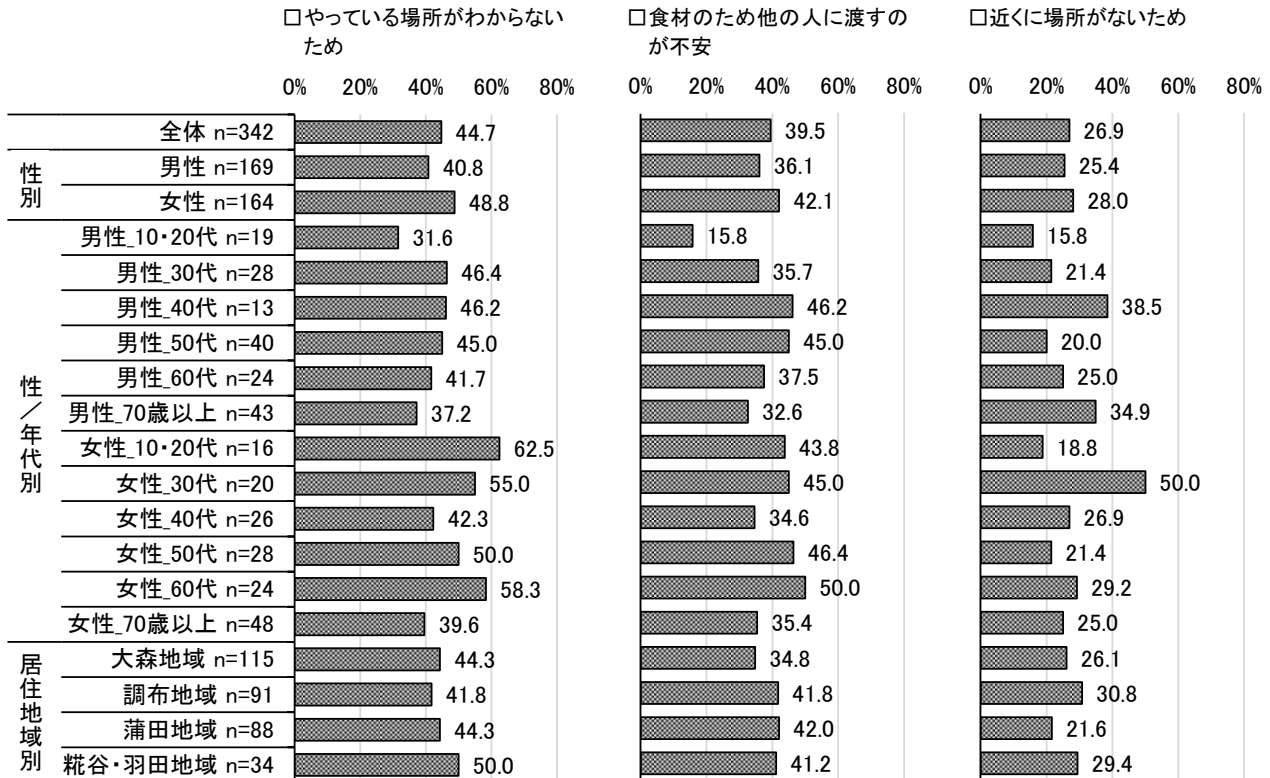
提供したいと思わない理由については、「やっている場所がわからないため」が44.7%で最も高く、次いで「食材のため他の人に渡すのが不安」が39.5%、「近くに場所がないため」が26.9%となっている。なお、「特に関心がない」は18.7%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「やっている場所がわからないため」が最も高く、男性が40.8%、女性が48.8%と、女性が8.0ポイント上回っている。

居住地域別でみると、すべての地域で「やっている場所がわからないため」が最も高く、調布地域では「食材のため他の人に渡すのが不安」も最も高くなっている。



15 地球環境について

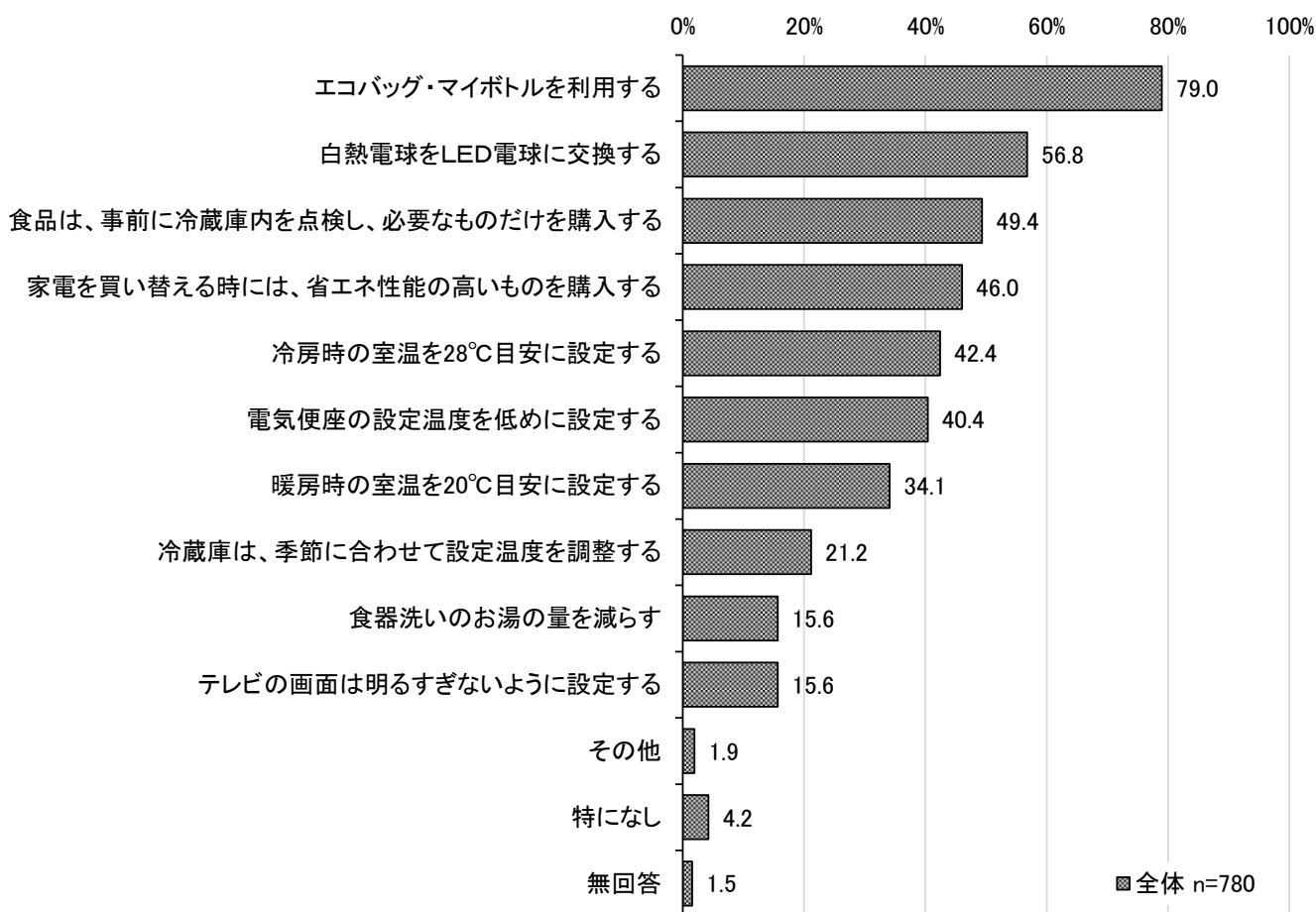
(1) 家庭で実施している環境配慮行動

◇「エコバッグ・マイボトルを利用する」が7割後半で最も高くなっている

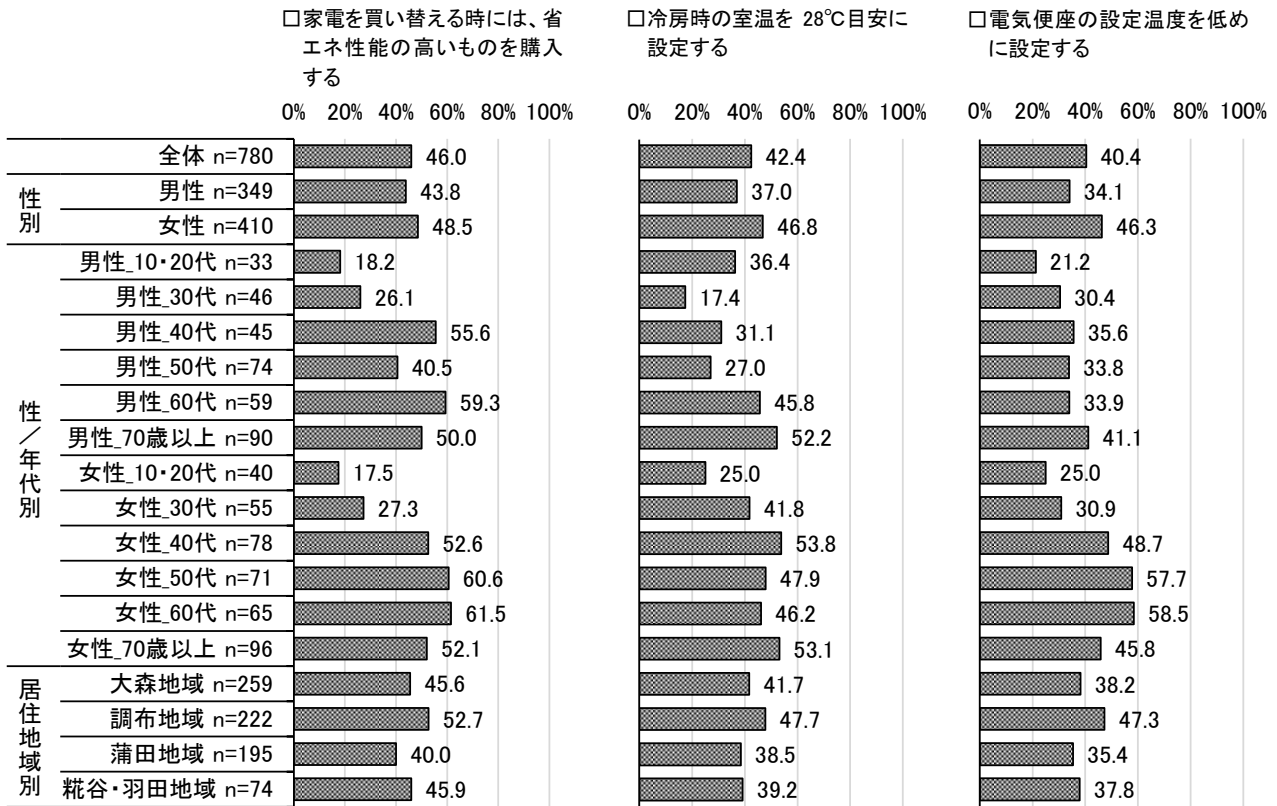
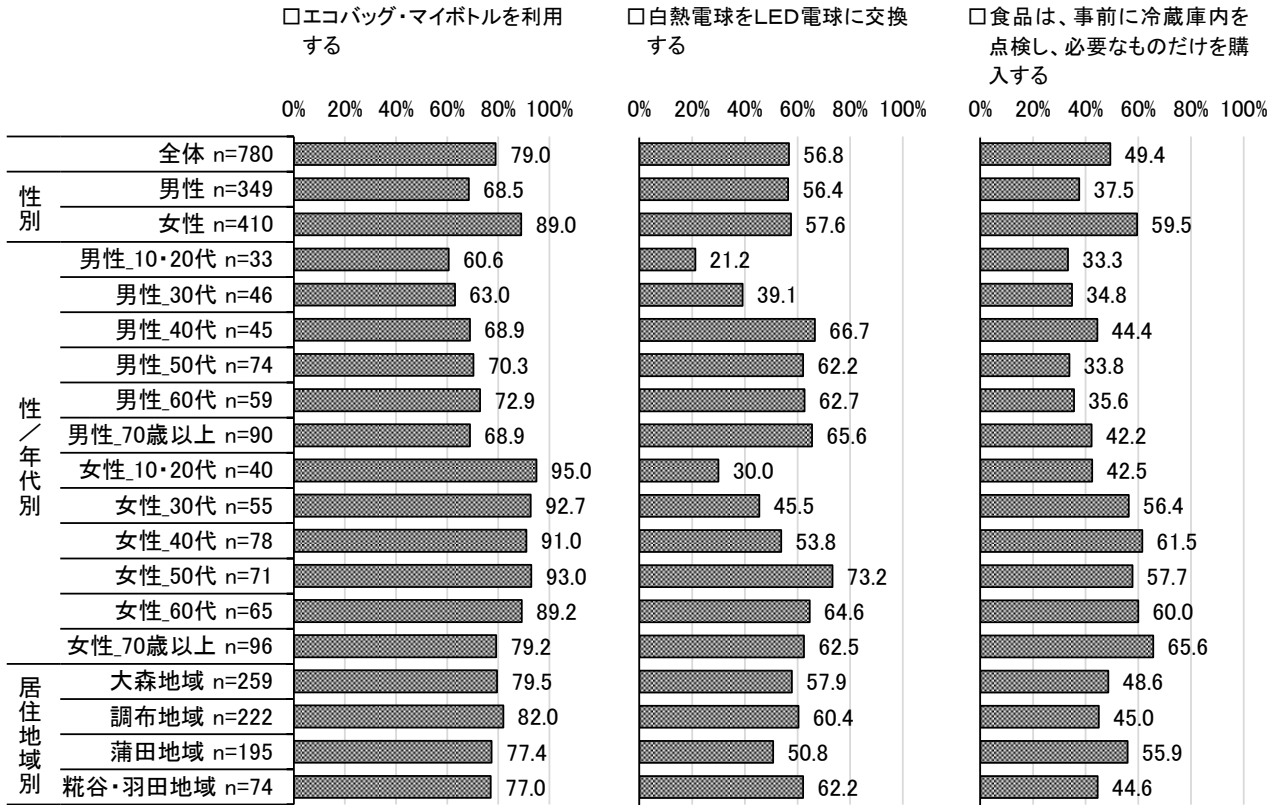
**問 29 あなたのご家庭で実践している省エネなどの環境配慮行動を教えてください。
(いくつでも)**

家庭で実施している環境配慮行動については、「エコバッグ・マイボトルを利用する」が79.0%で最も高く、次いで「白熱電球をLED電球に交換する」が56.8%、「食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する」が49.4%となっている。

なお、「特になし」は4.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「エコバッグ・マイボトルを利用する」が最も高く、男性が68.5%、女性が89.0%と、女性が20.5ポイント上回っている。「食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する」は男性が37.5%、女性が59.5%と、女性が22.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「エコバッグ・マイボトルを利用する」は女性10・20代から女性50代では9割台と高くなっている。「白熱電球をLED電球に交換する」は女性50代で7割前半と高くなっている。「食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する」は女性70歳以上で6割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「エコバッグ・マイボトルを利用する」が最も高く、調布地域で8割前半となっている。

(2) 地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいこと

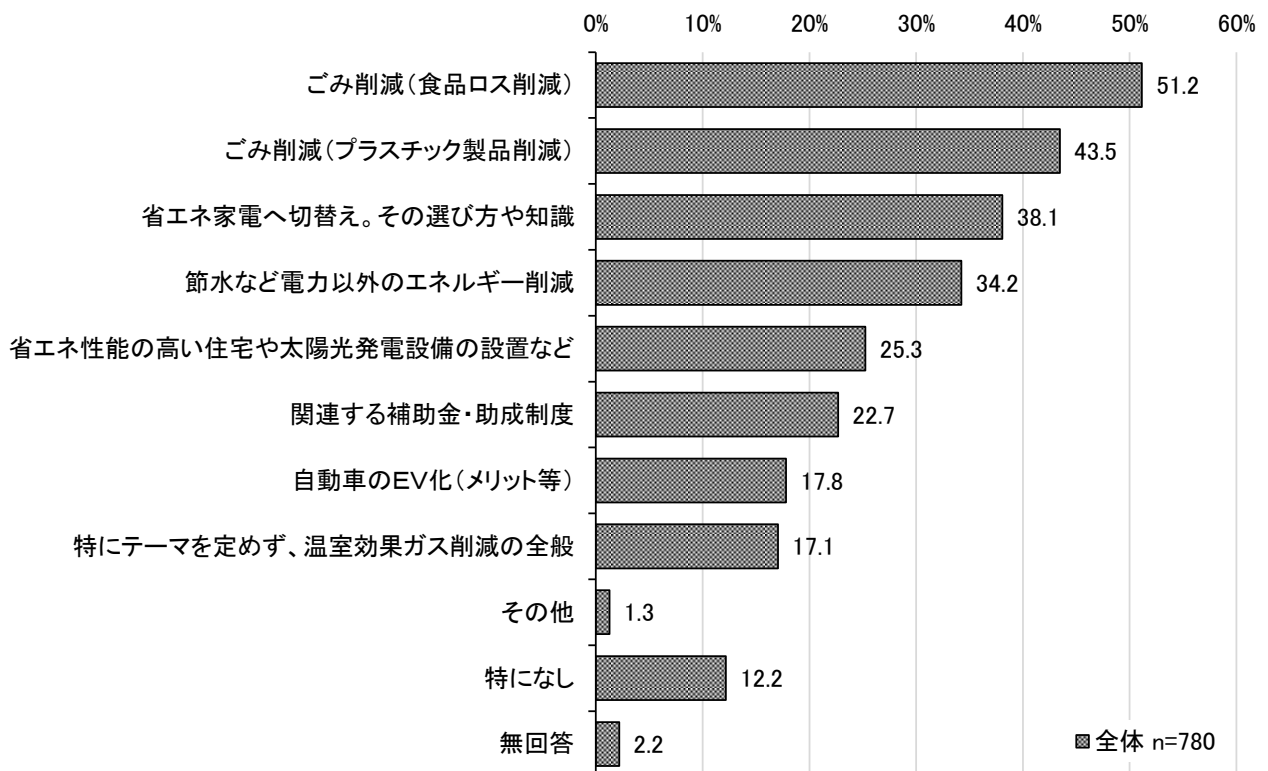
◇「ごみ削減（食品ロス削減）」が5割前半で最も高くなっている

問 30 地球温暖化防止のためには、温室効果ガス削減が有効となります。

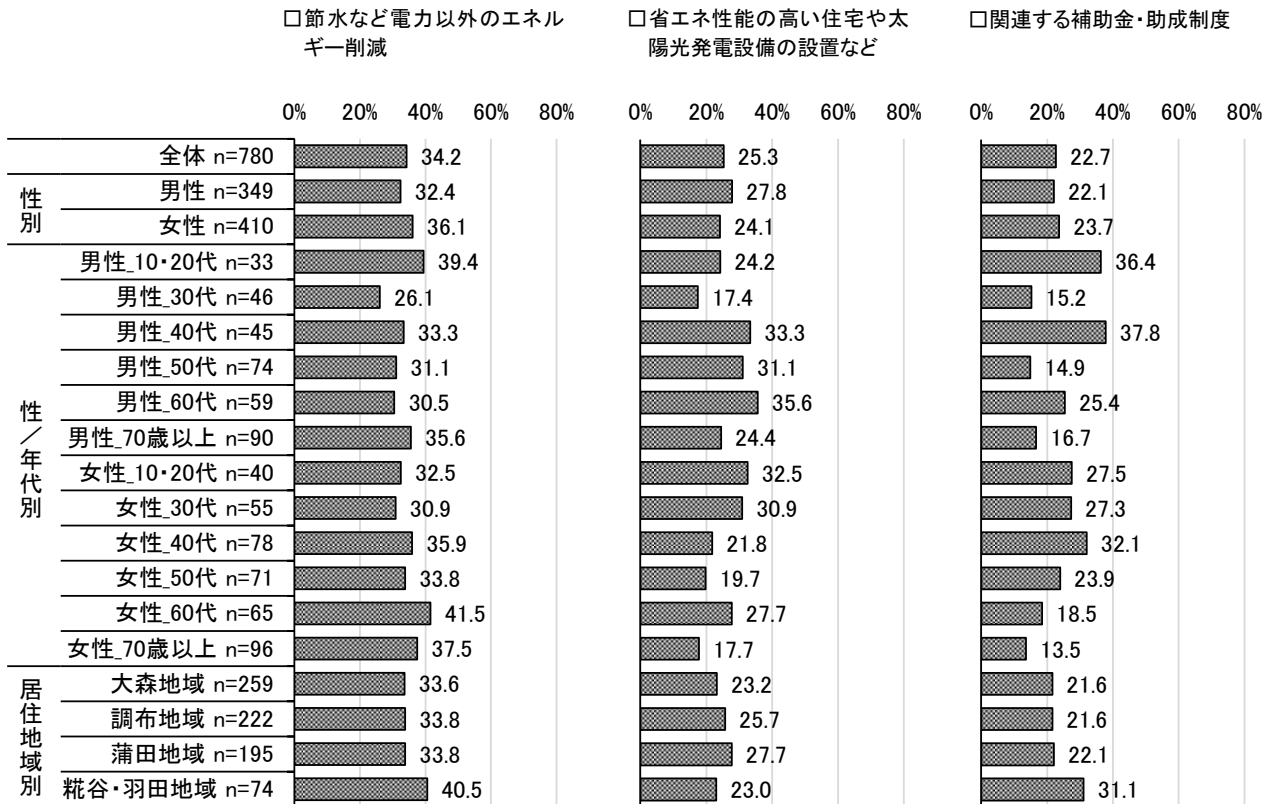
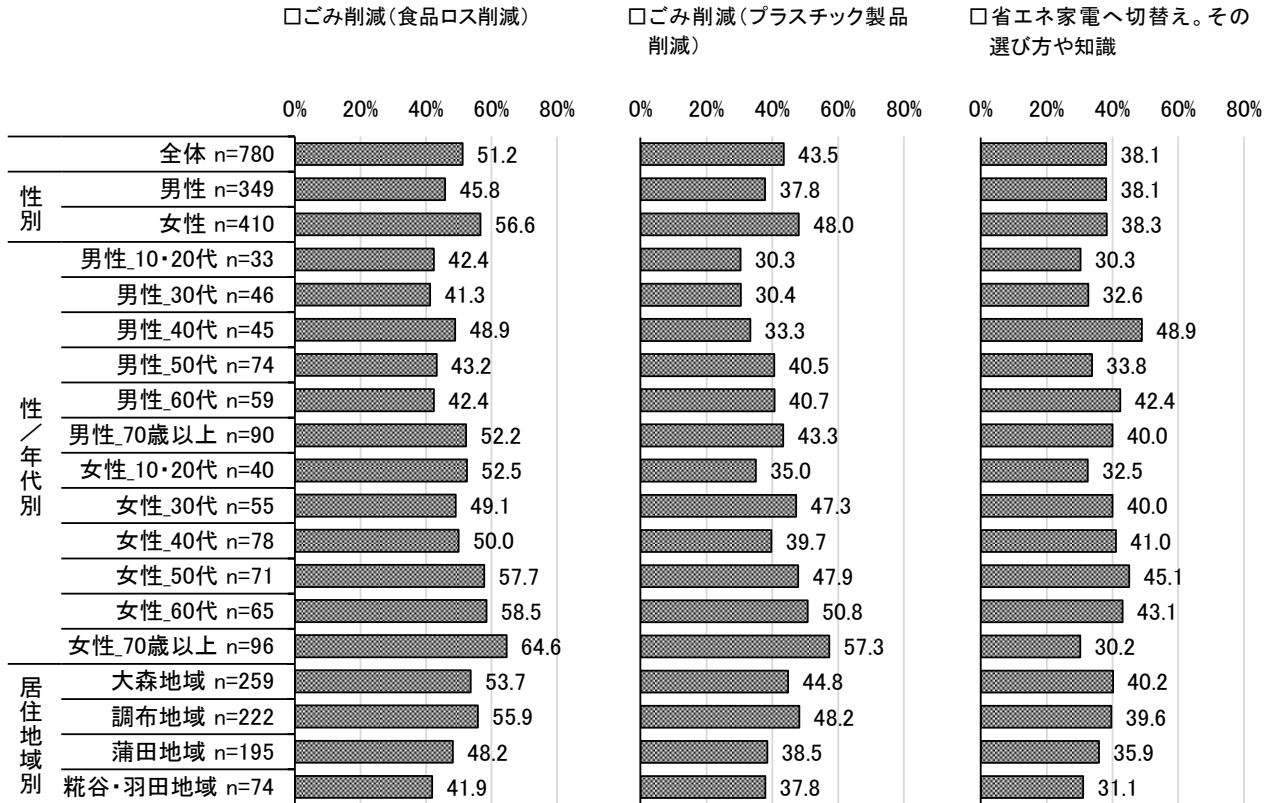
関心のある実践行動や、学んでみたいと思われる内容を教えてください。（いくつでも）

地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいことについては、「ごみ削減（食品ロス削減）」が51.2%で最も高く、次いで「ごみ削減（プラスチック製品削減）」が43.5%、「省エネ家電へ切替え。その選び方や知識」が38.1%となっている。

なお、「特になし」は12.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別で見ると、男性、女性ともに「ごみ削減（食品ロス削減）」が最も高く、男性が45.8%、女性が56.6%と、女性が10.8ポイント上回っている。「ごみ削減（プラスチック製品削減）」は男性が37.8%、女性が48.0%と、女性が10.2ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「ごみ削減（食品ロス削減）」は女性70歳以上で6割半ばと高くなっている。「ごみ削減（プラスチック製品削減）」は女性70歳以上で5割後半と高くなっている。「省エネ家電へ切替え。その選び方や知識」は男性40代で4割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「ごみ削減（食品ロス削減）」が最も高く、調布地域で5割半ばとなっている。

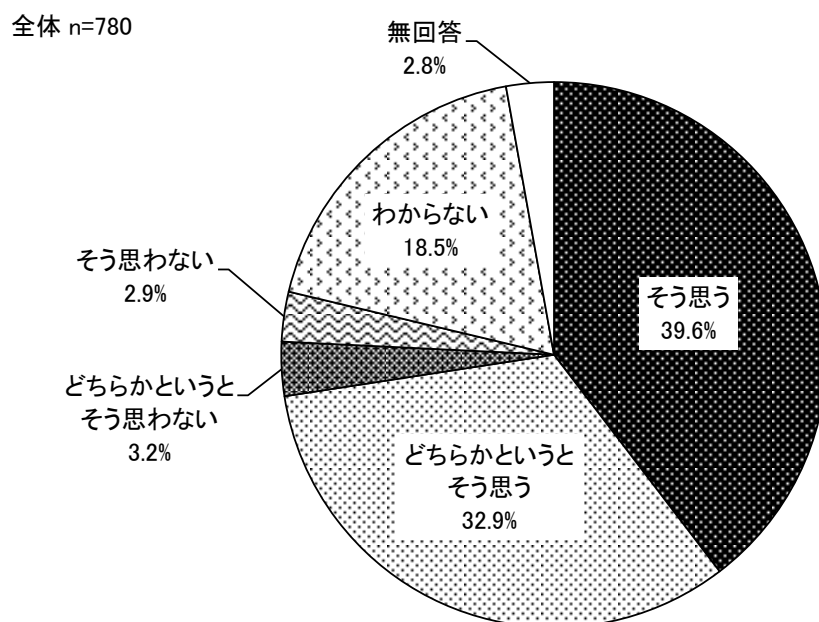
16 行政経営について

(1) 公民連携を推進していくべきか

◇ 《思う》（「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計値）は7割前半となっている

問 31 区は、公の持つ強み（地域におけるネットワーク力や広報力など）と民間企業等の持つ強み（独自のノウハウやスピード感など）を掛けあわせ、地域課題の解決などにつなげていく公民連携を進めています。公民連携の手法をより積極的に進めていくべきだと思いますか。（1つのみ）

公民連携を推進していくべきかについては、「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計値《思う》が72.5%である一方で、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が6.1%と、《思う》が66.4ポイント上回っている。

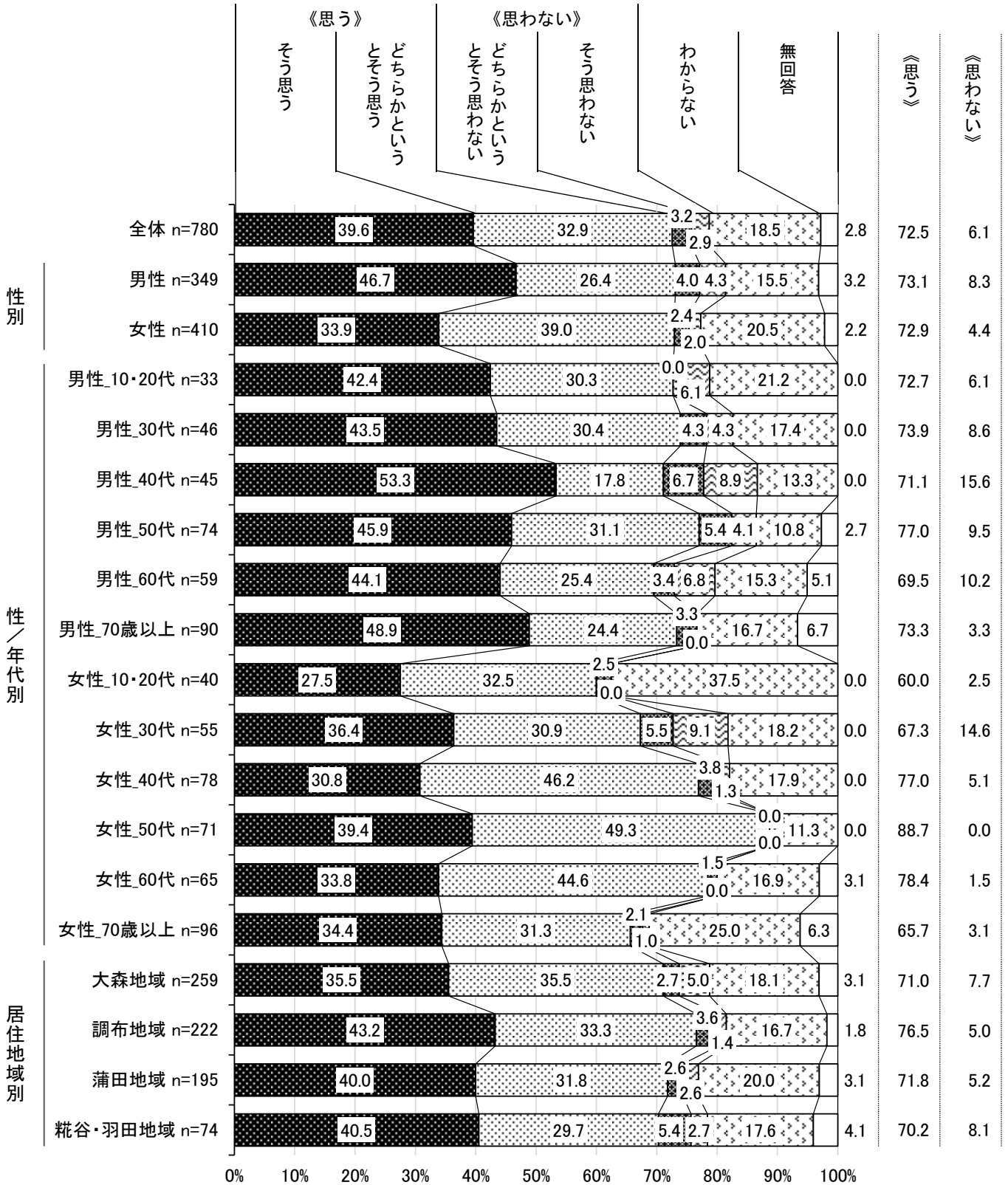


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《思う》は男性では50代で7割後半、女性では50代で8割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《思う》が7割台となっている。



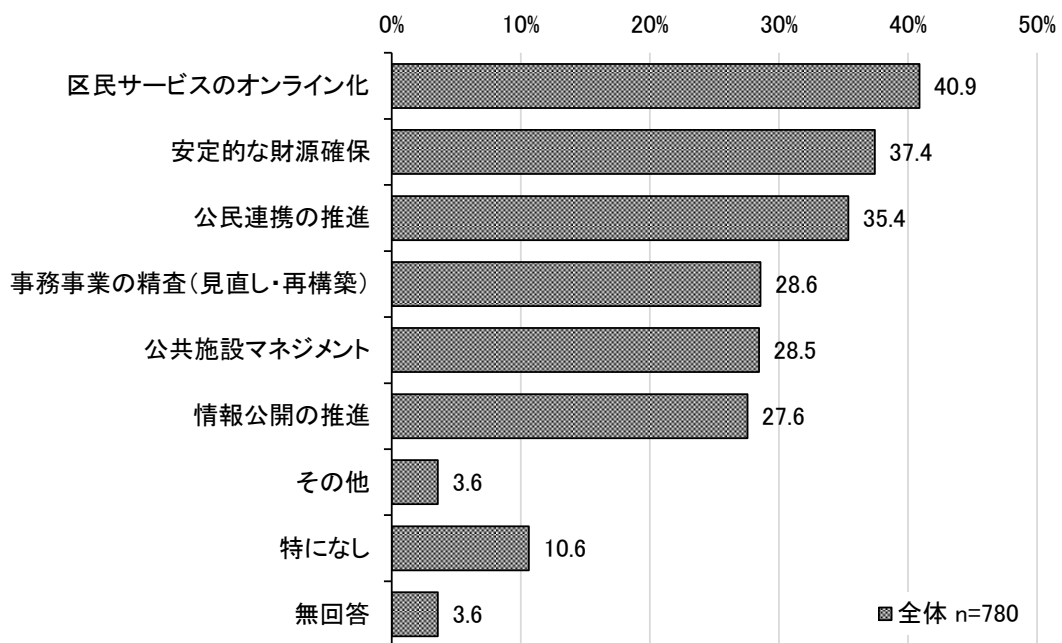
(2) 持続可能な自治体経営を進めるため、力をいれていくべきこと

◇「区民サービスのオンライン化」が約4割で最も高くなっている

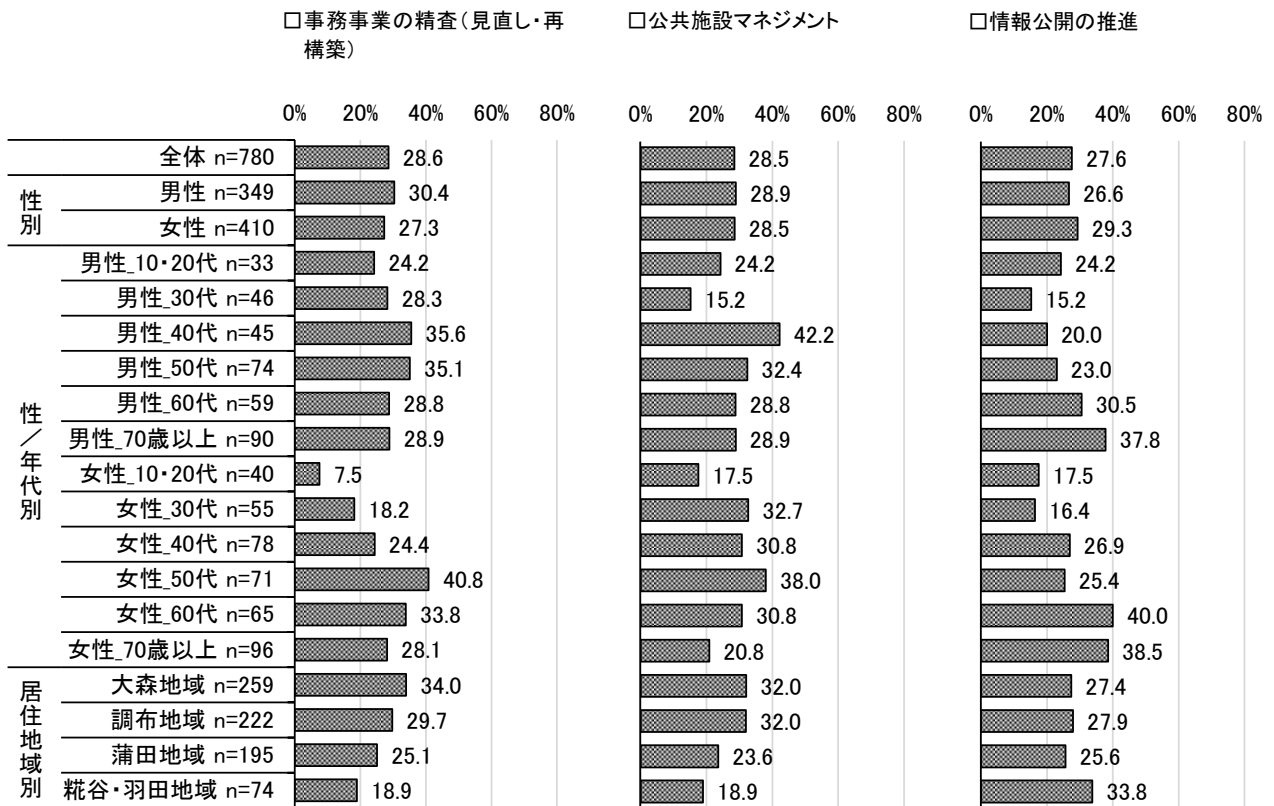
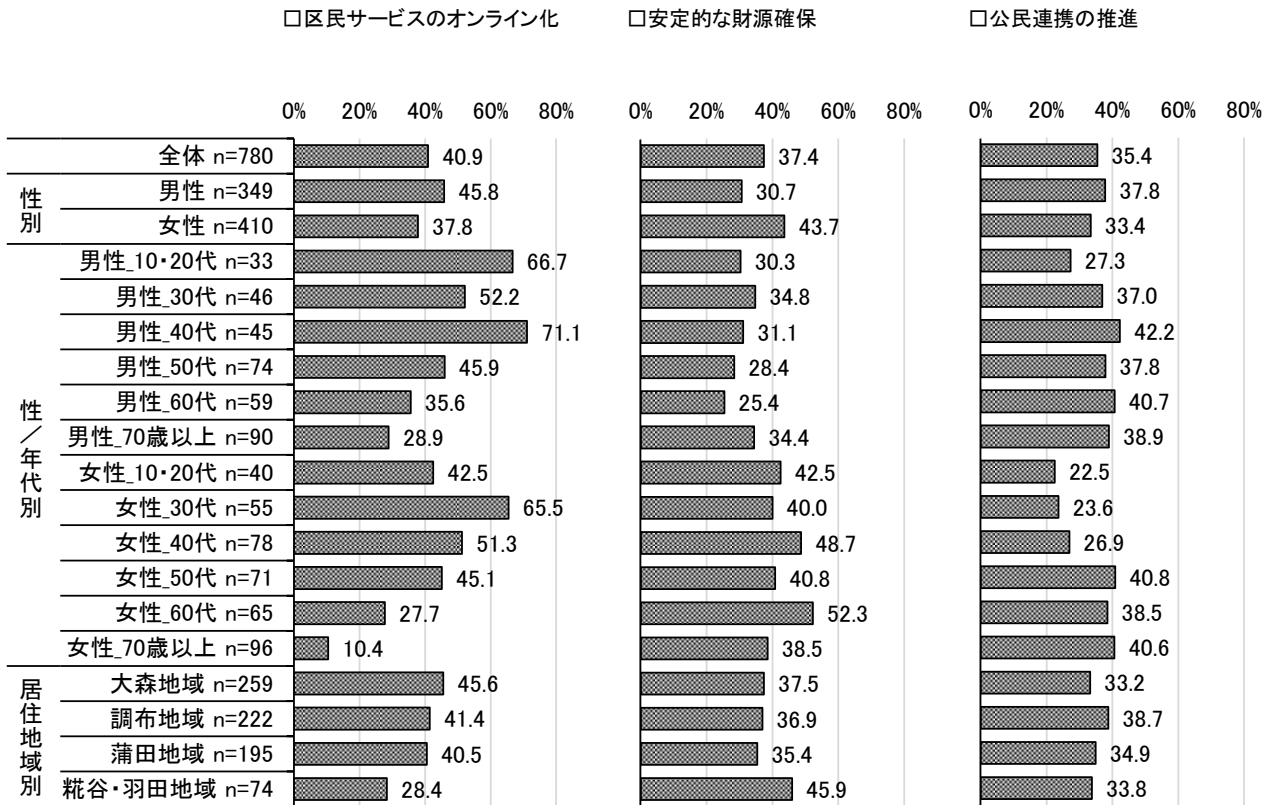
**問 32 区は質の高い区民サービスを提供する、持続可能な自治体経営を進めています。
あなたが、今後さらに力をいれていくべきだと思うことは何ですか。(いくつでも)**

持続可能な自治体経営を進めるため、力をいれていくべきことについては、「区民サービスのオンライン化」が40.9%で最も高く、次いで「安定的な財源確保」が37.4%、「公民連携の推進」が35.4%となっている。

なお、「特になし」は10.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性では「区民サービスのオンライン化」が最も高く、女性では「安定的な財源確保」が最も高くなっている。「区民サービスのオンライン化」は男性が45.8%、女性が37.8%と、男性が8.0ポイント上回っている。「安定的な財源確保」は男性が30.7%、女性が43.7%と、女性が13.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「区民サービスのオンライン化」は男性40代で7割前半と高くなっている。「安定的な財源確保」は女性60代で5割前半と高くなっている。「事務事業の精査（見直し・再構築）」は女性50代で約4割と高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「区民サービスのオンライン化」が、糀谷・羽田地域では「安定的な財源確保」が最も高くなっている。

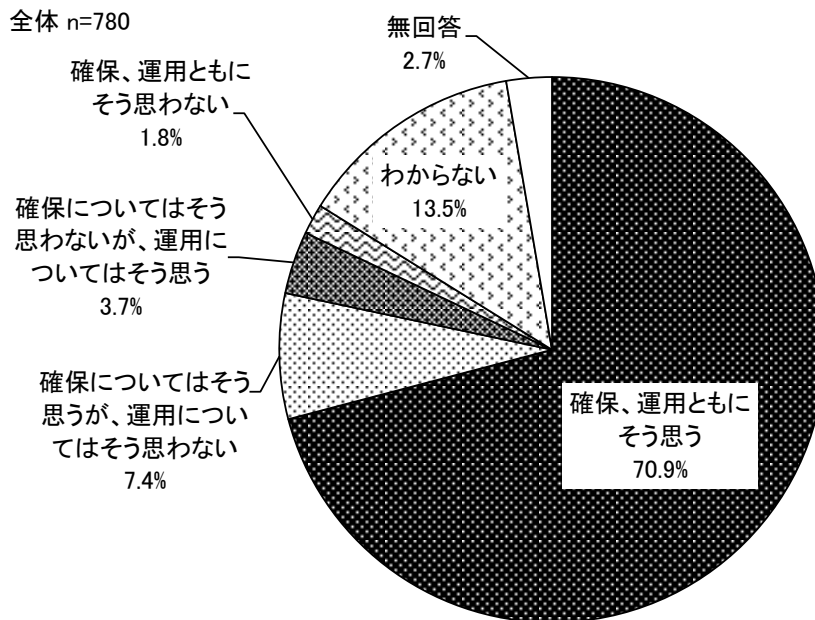
(3) 基金の確保及び運用をしていくべきか

◇「確保、運用ともにそう思う」が約7割で最も高くなっている

問 33 区は、税金が落ち込んだ時への備えや公共施設の更新、防災、福祉、子育て等の行政需要に対応するため、計画的に基金（貯金）を積み立て、活用しています。また、必要な事業が行われるまで、安全に資金運用し、区民福祉に還元できる財源をできる限り増やすよう努めています。

今後も将来に備え、基金（貯金）を確保、運用していくべきだと思いますか。（1つのみ）

基金の確保及び運用をしていくべきかについては、「確保、運用ともにそう思う」が70.9%で最も高く、次いで「わからない」が13.5%、「確保についてはそう思うが、運用についてはそう思わない」が7.4%となっている。

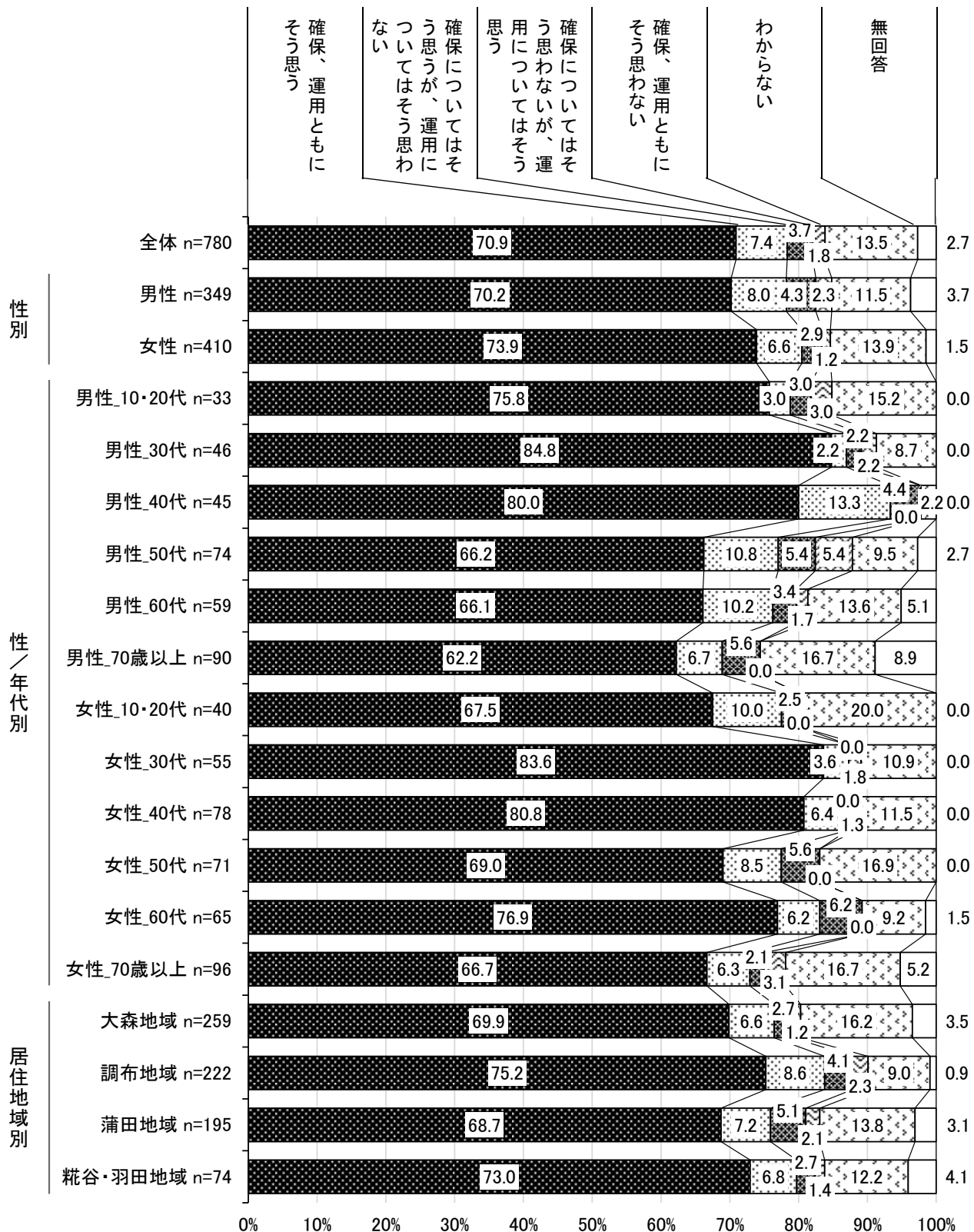


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「確保、運用ともにそう思う」は男性では30代で8割半ば、女性では30代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「確保、運用ともにそう思う」は調布地域で7割半ばと高くなっている。



Ⅲ 18歳以上の区民の方が対象
～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～

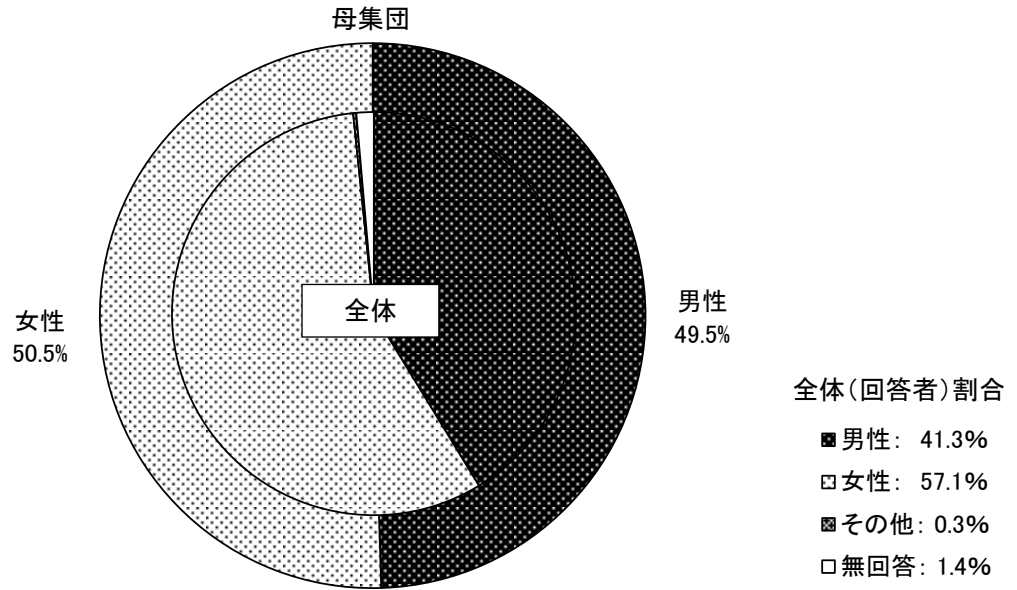
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=636, 231) 令和 5 年 1 月 1 日現在

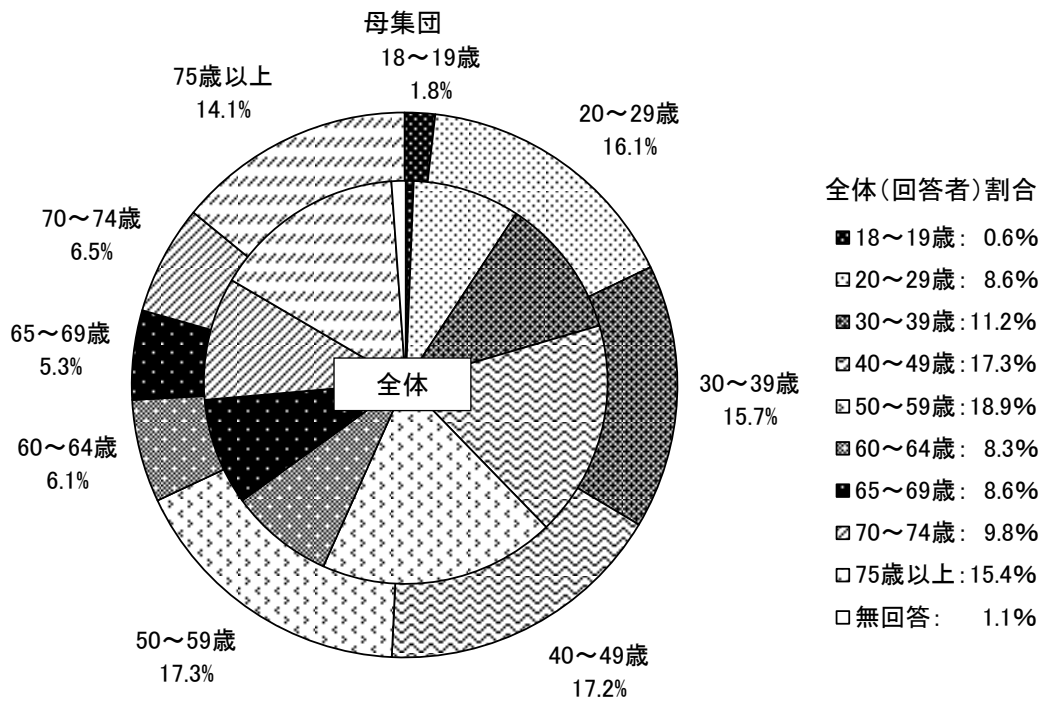
全 体：有効回収数 (n=792)

全体 n=792



(2) 年齢

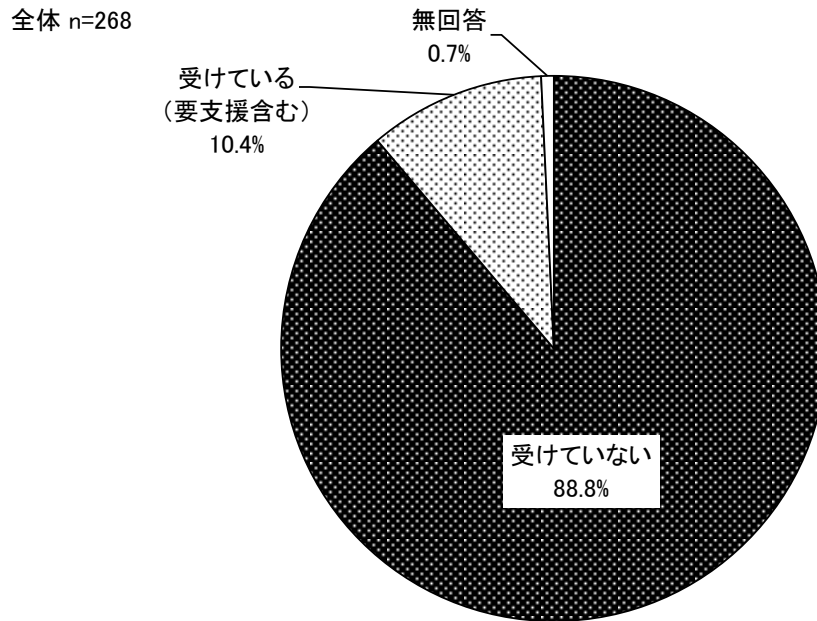
全体 n=792



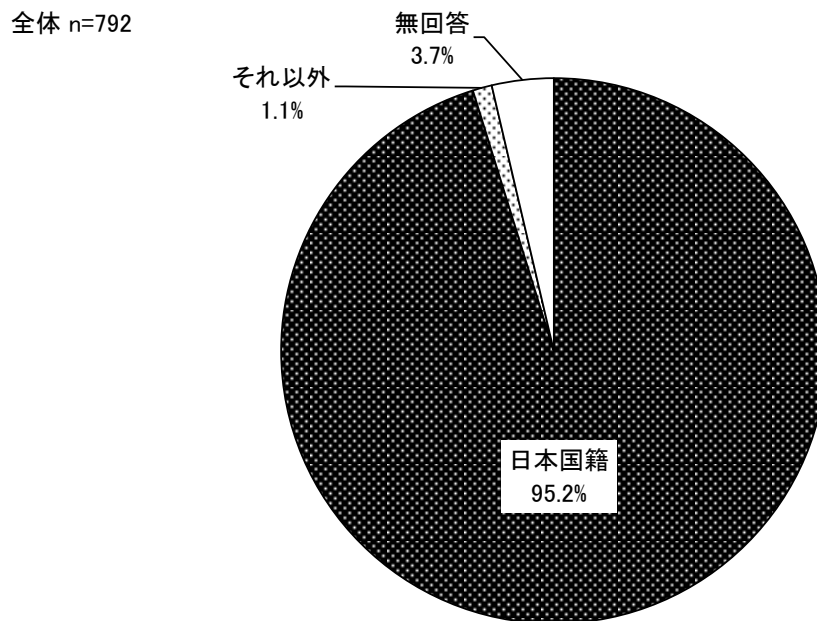
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人＋外国人）令和 5 年 1 月 1 日現在

(3) 要介護認定の状況

【65歳以上の方】



(4) 国籍

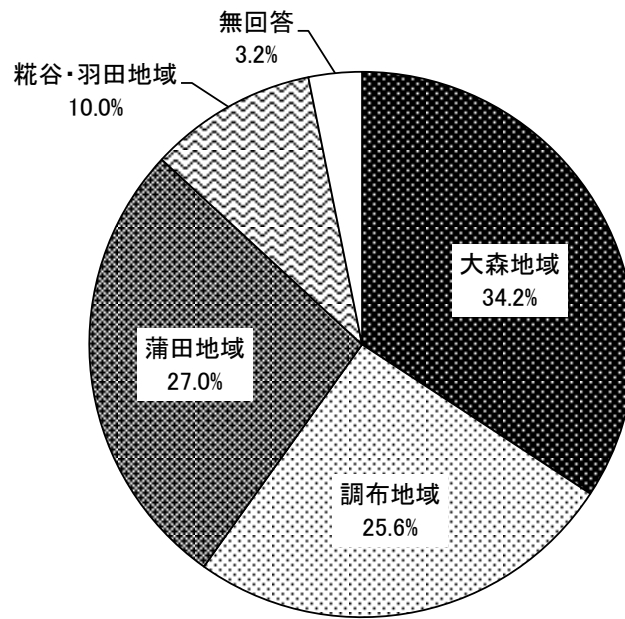


■ 日本国籍以外

	アメリカ	中国	韓国	台湾	タイ	パラグアイ	無回答
人数	2	1	1	1	1	1	2

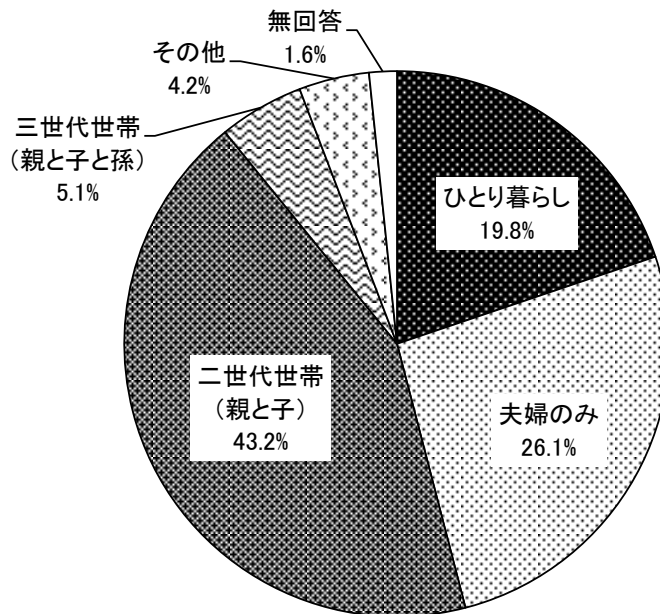
(5) 居住地域

全体 n=792

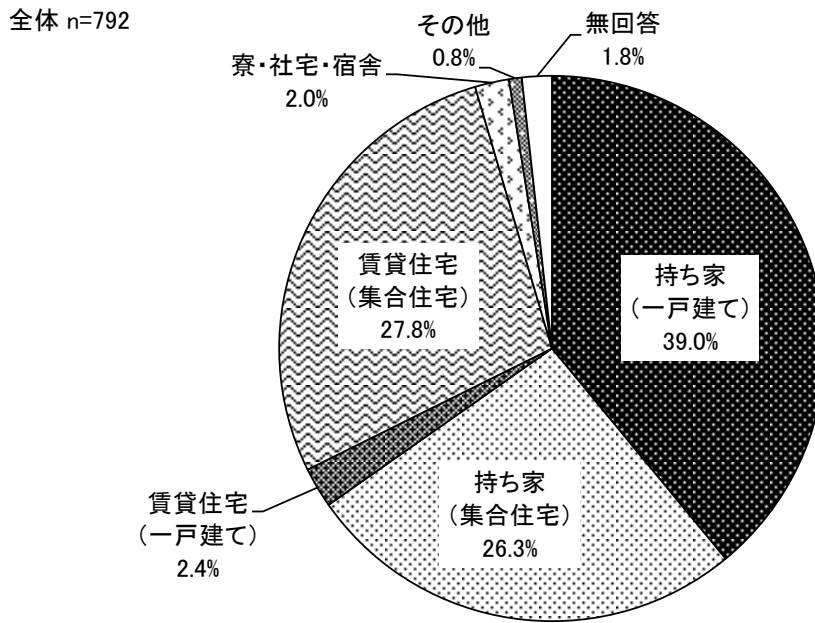


(6) 家族構成

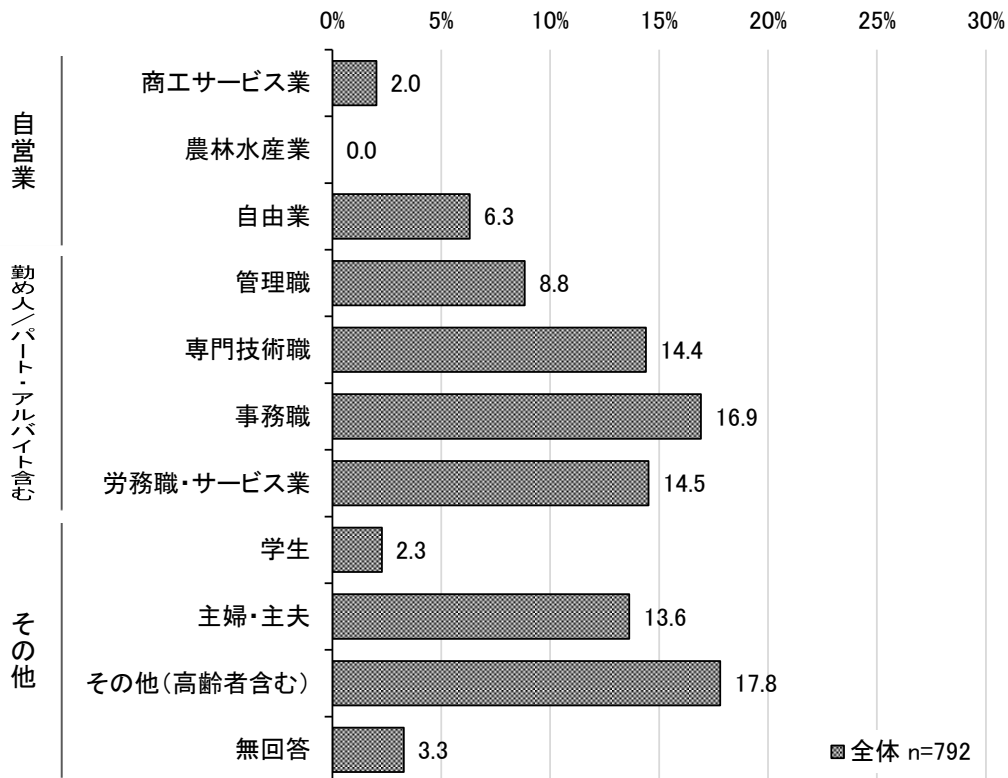
全体 n=792



(7) 住まいの種類

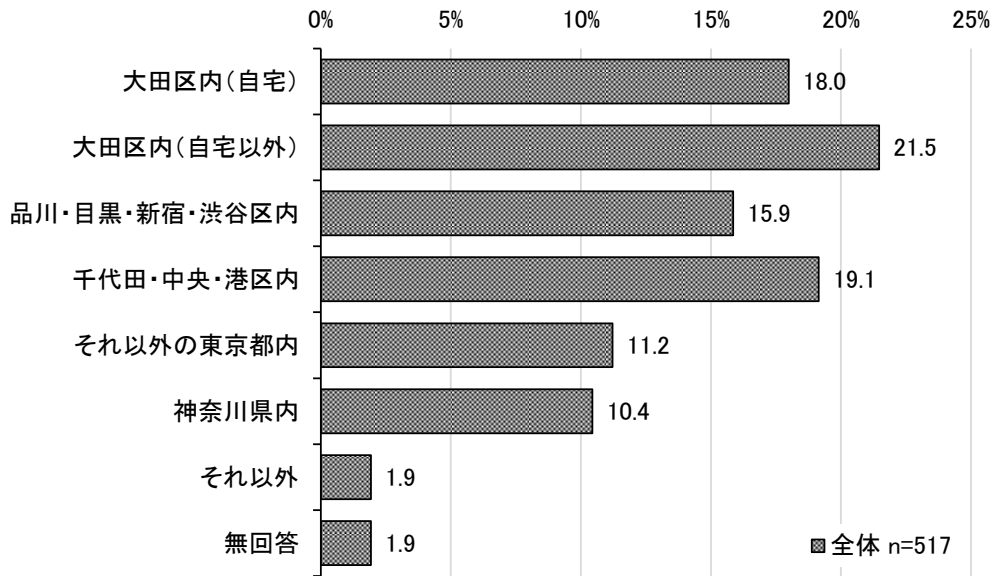


(8) 職業

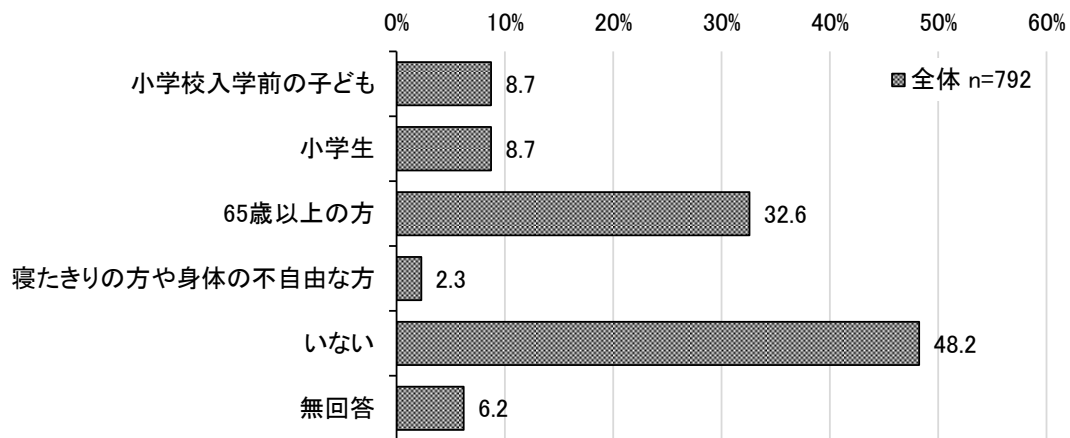


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

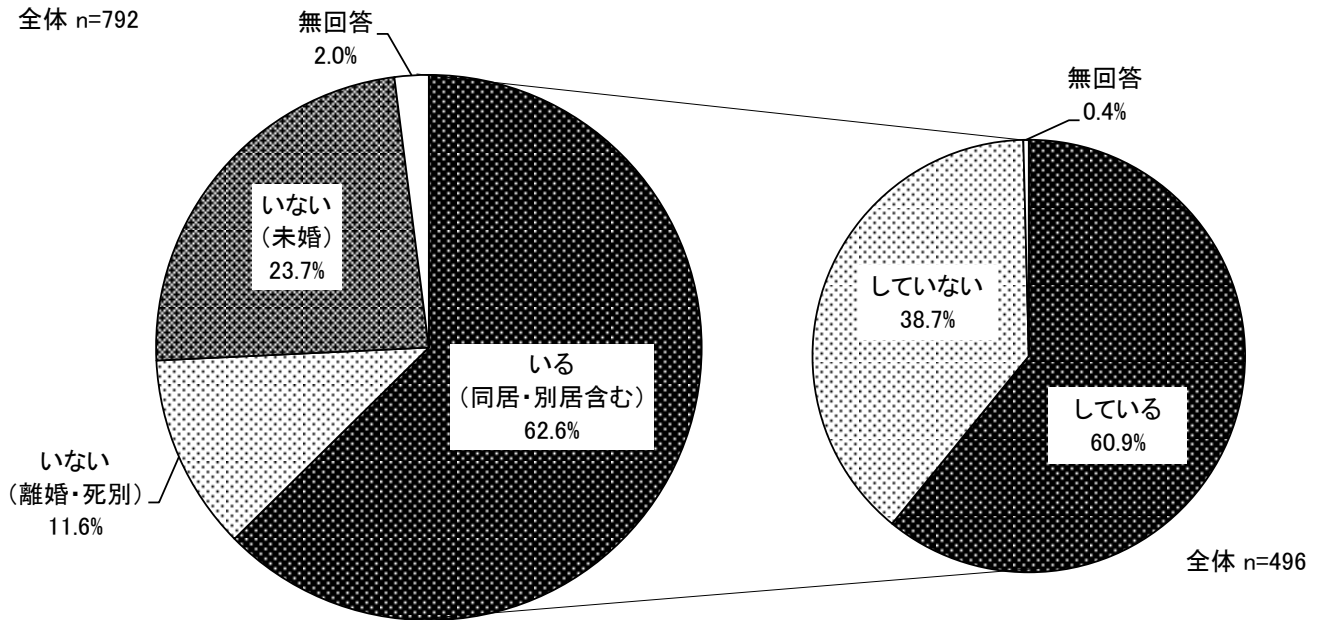


(10) 同居家族

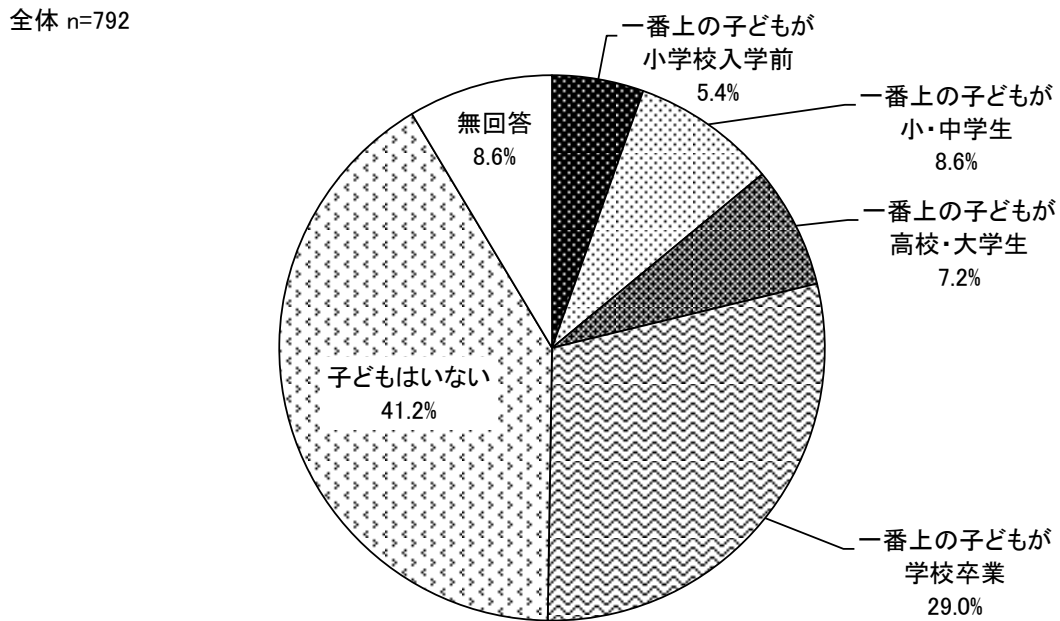


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

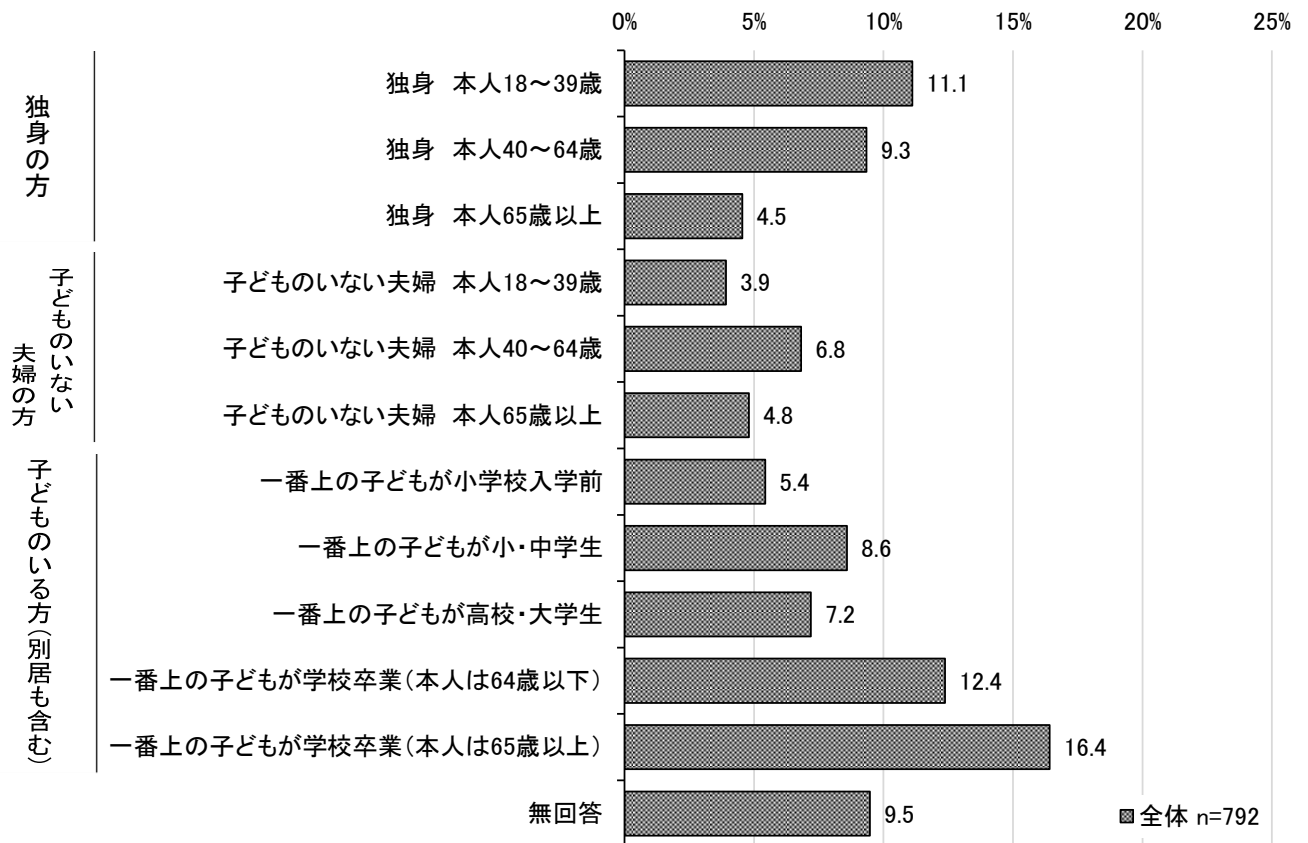
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



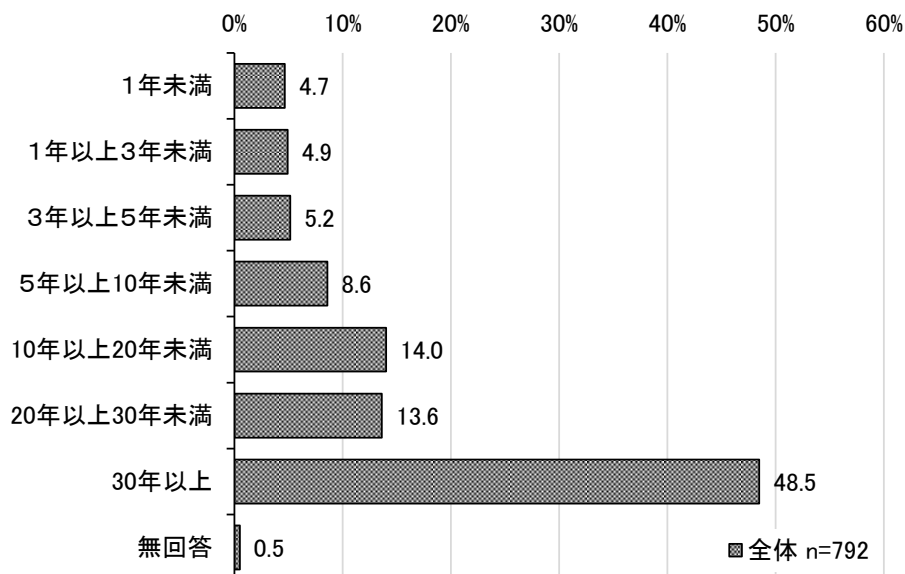
(13) 子どもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



2 商店街について

(1) 普段の買い物で利用する業態及び理由

◇食料品、日用雑貨：近所のスーパーマーケットを利用する割合が高い

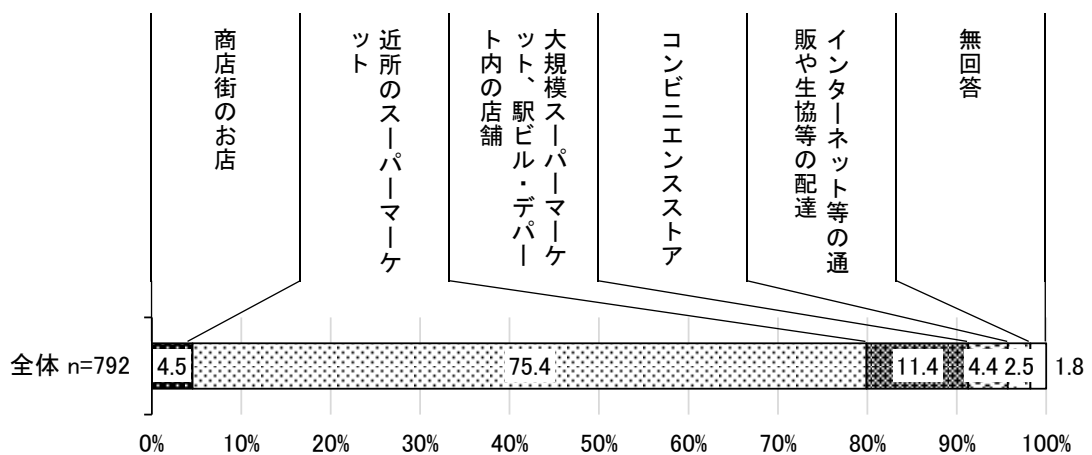
◇衣類：大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗を利用する割合が高い

問1 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。

項目ごとに最も多く利用する「①業態」と、「②その理由」を、選択肢の中からそれぞれ1つを選んで、四角の中に数字とアルファベットを記入してください。(それぞれ1つのみ)

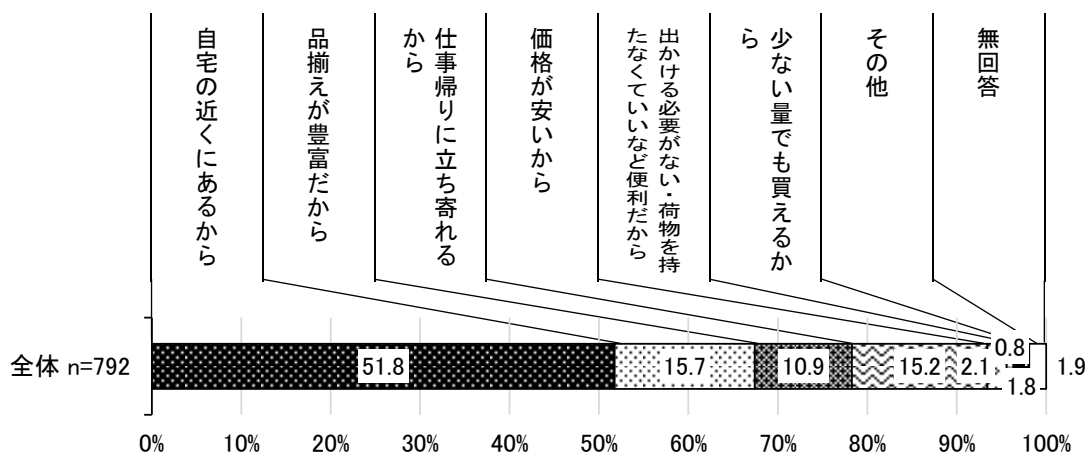
■食料品【業態】

食料品を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が75.4%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が11.4%、「商店街のお店」が4.5%となっている。



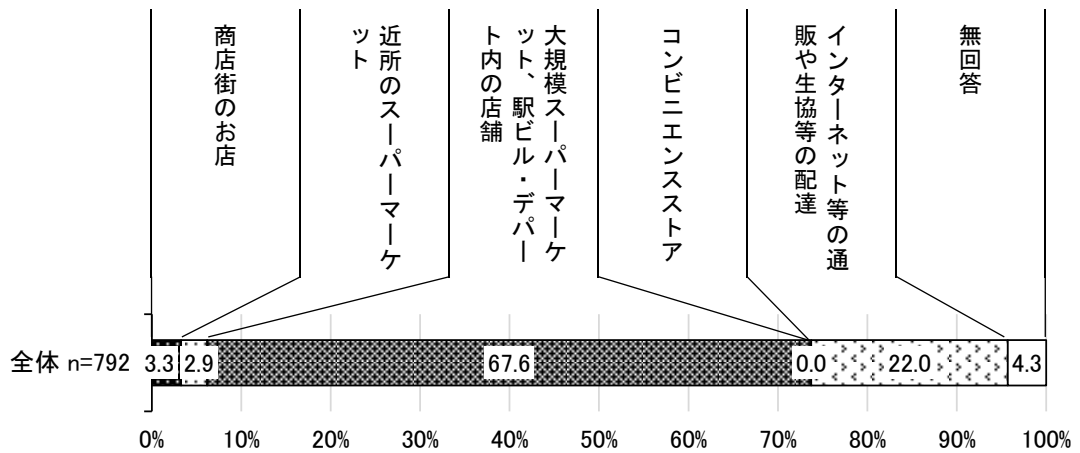
■食料品【理由】

食料品を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が51.8%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が15.7%、「価格が安いから」が15.2%となっている。



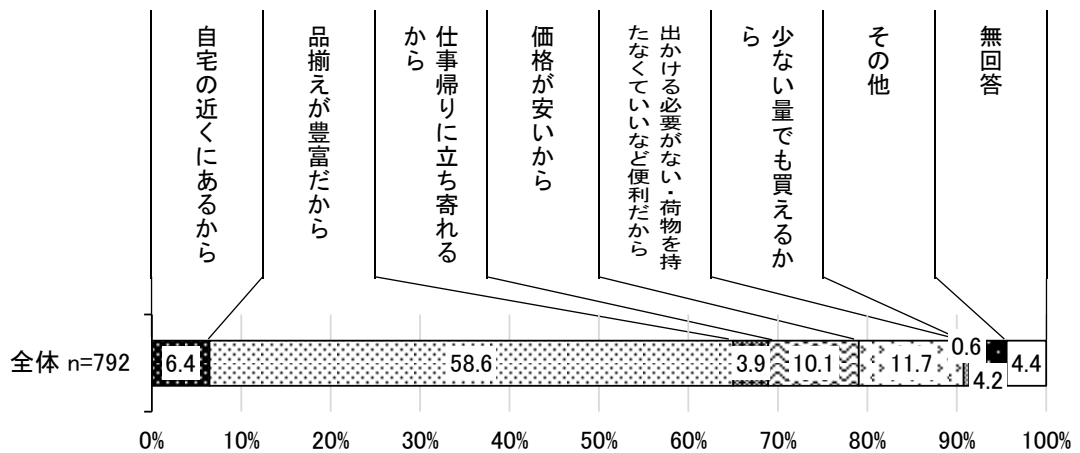
■衣類【業態】

衣類を購入するお店の業態については、「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が67.6%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」が22.0%、「商店街のお店」が3.3%となっている。



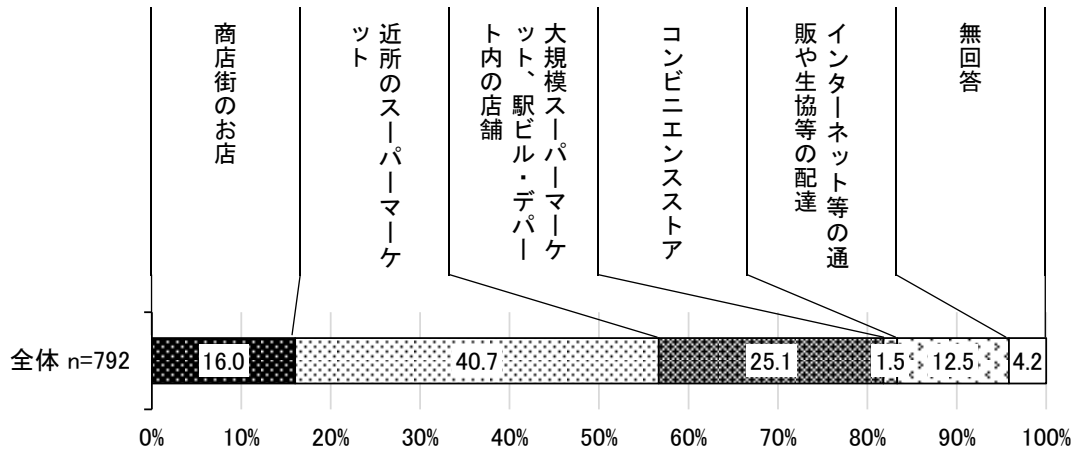
■衣類【理由】

衣類を購入するお店を選ぶ理由については、「品揃えが豊富だから」が58.6%で最も高く、次いで「出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから」が11.7%、「価格が安いから」が10.1%となっている。



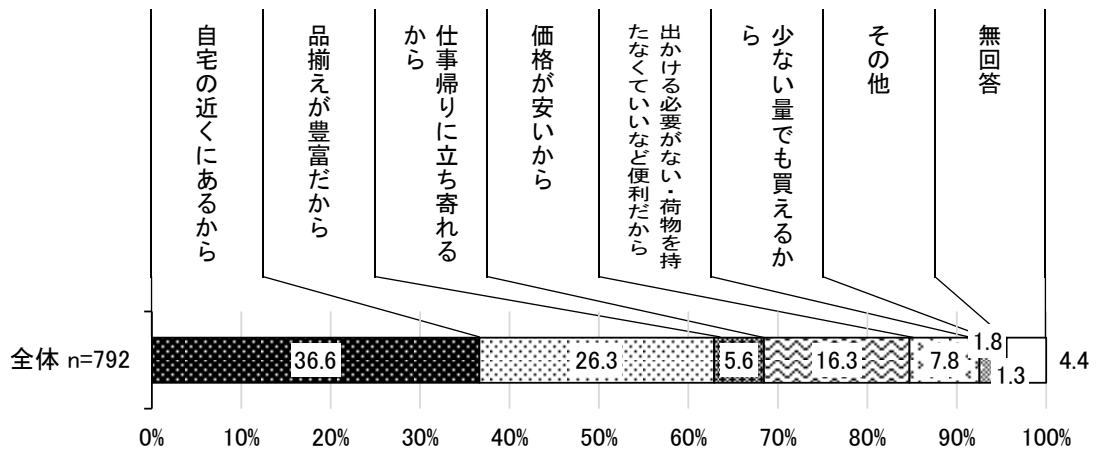
■ 日用雑貨【業態】

日用雑貨を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が40.7%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が25.1%、「商店街のお店」が16.0%となっている。



■ 日用雑貨【理由】

日用雑貨を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が36.6%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が26.3%、「価格が安いから」が16.3%となっている。

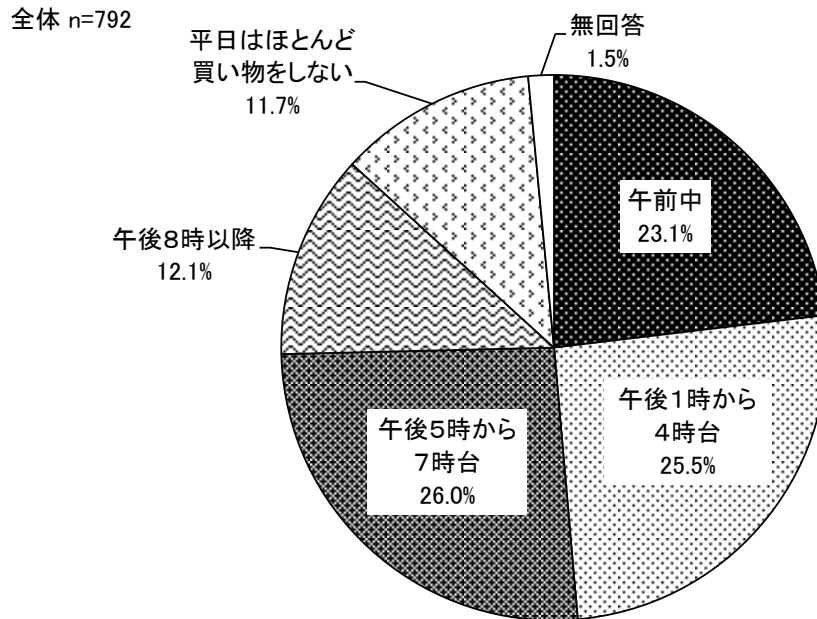


(2) 買い物をする時間帯

◇「午後5時から7時台」が2割半ばで最も高くなっている

問2 平日に食料品や日用品の買い物をする主な時間帯はどれですか。(1つのみ)

買い物をする時間帯については、「午後5時から7時台」が26.0%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」が25.5%、「午前中」が23.1%となっている。

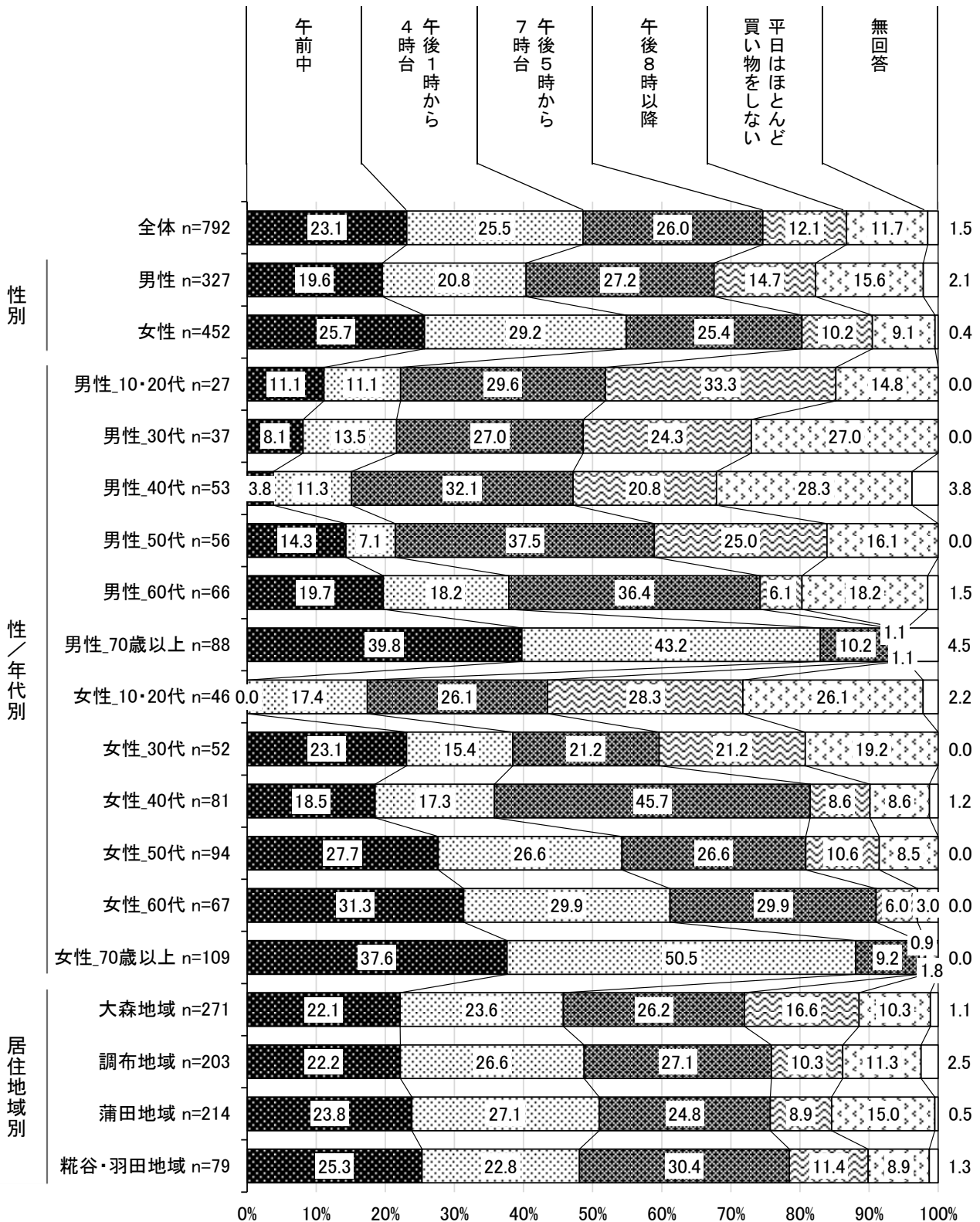


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「午前中」は男性が19.6%、女性が25.7%と、女性が6.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、男性、女性ともに「午前中」は年代が上がるにつれて増加傾向であり、男性70歳以上が約4割、女性70歳以上が3割後半となっている。一方で、「午後8時以降」は年代が下がるにつれて増加傾向であり、男性30代では2割半ば、女性10・20代では2割後半となっている。

居住地域別でみると、「午後5時から7時台」は糀谷・羽田地域で約3割と高くなっている。



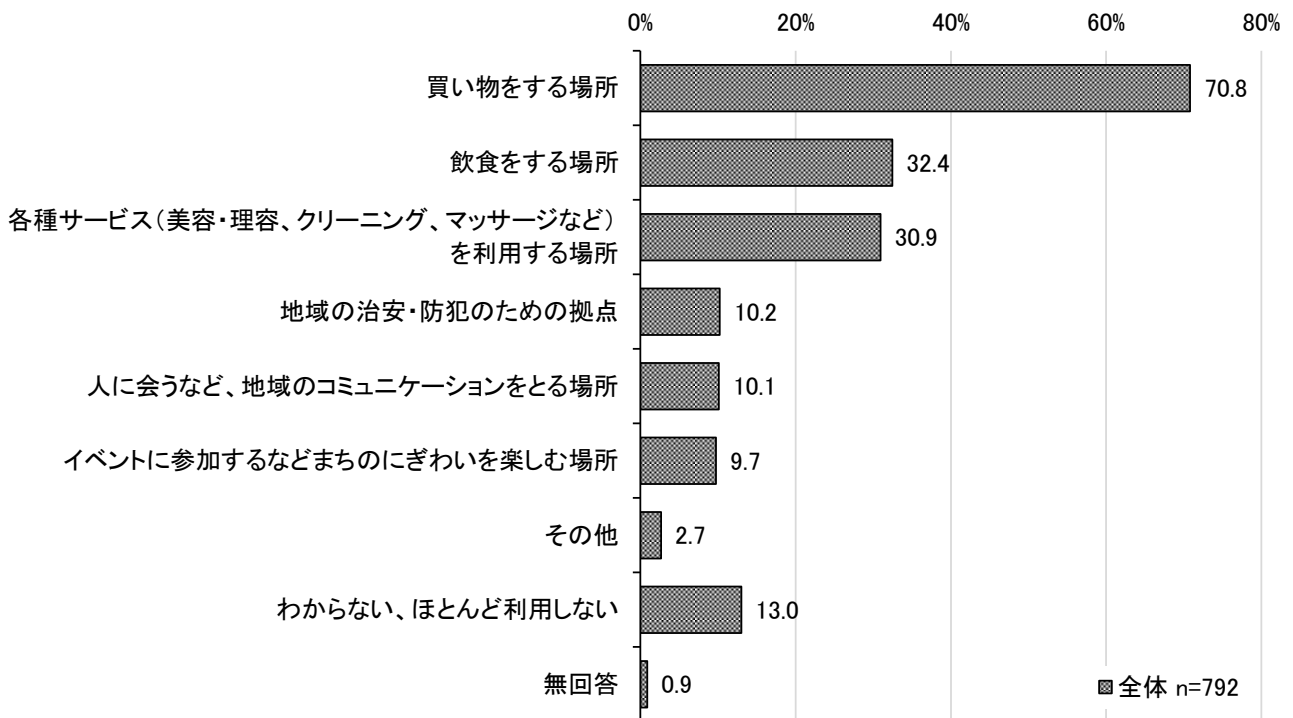
(3) 商店街への印象

◇「買い物をする場所」が約7割で最も高くなっている

問3 あなたにとって、商店街はどのような場所ですか。(いくつでも)

商店街への印象については、「買い物をする場所」が70.8%で最も高く、次いで「飲食をする場所」が32.4%、「各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所」が30.9%となっている。

なお、「わからない、ほとんど利用しない」は13.0%となっている。

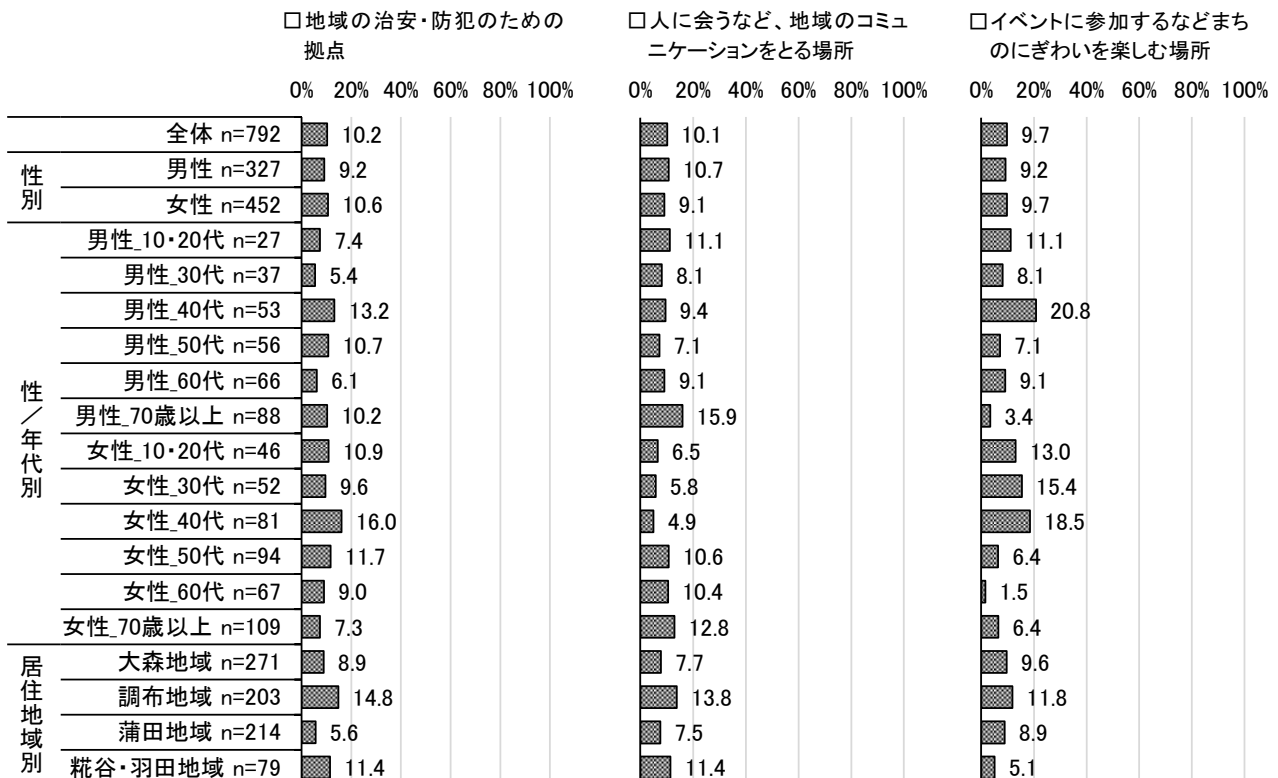
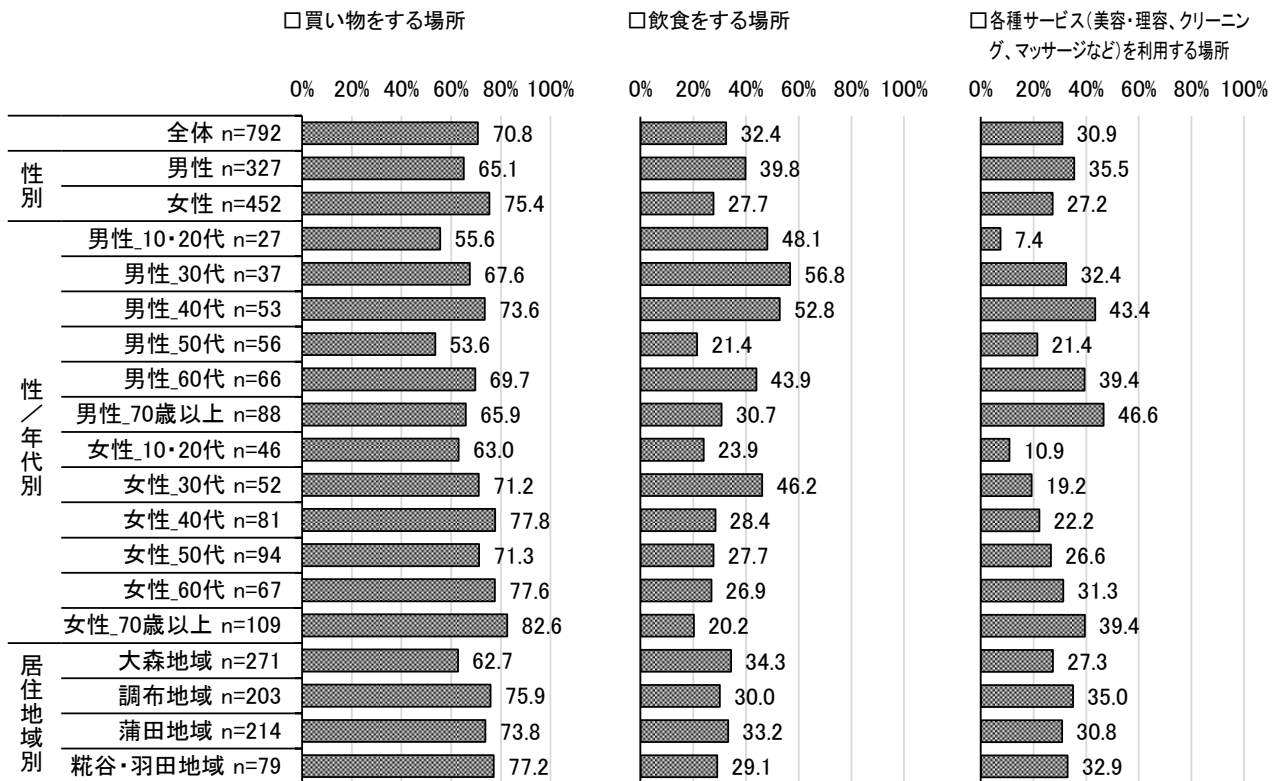


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「買い物をする場所」が最も高く、男性が65.1%、女性が75.4%と、女性が10.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、すべての年代で「買い物をする場所」が最も高くなっている。「飲食をする場所」は男性30代で5割後半と高くなっている。「各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所」は男性40代、男性70歳以上で4割台と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「買い物をする場所」が最も高く、糀谷・羽田地域で7割後半となっている。



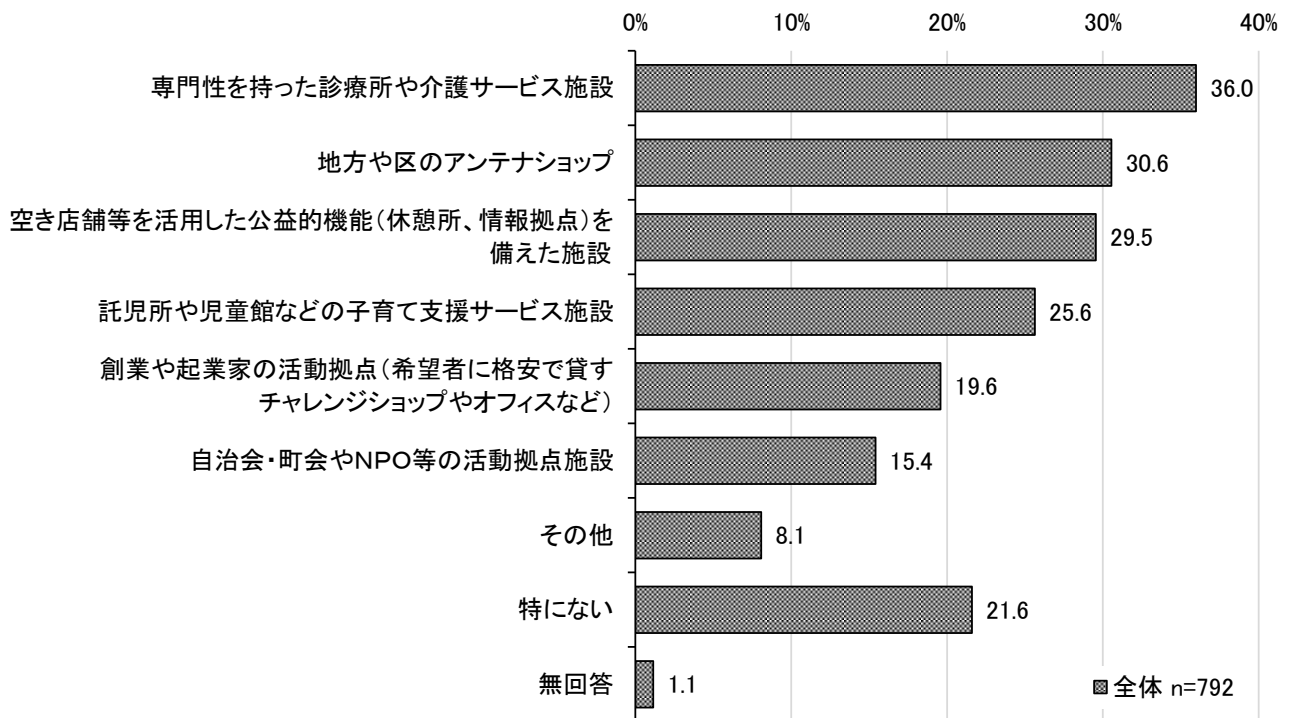
(4) 商店街に必要だと思う施設等

◇「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が3割半ばで最も高くなっている

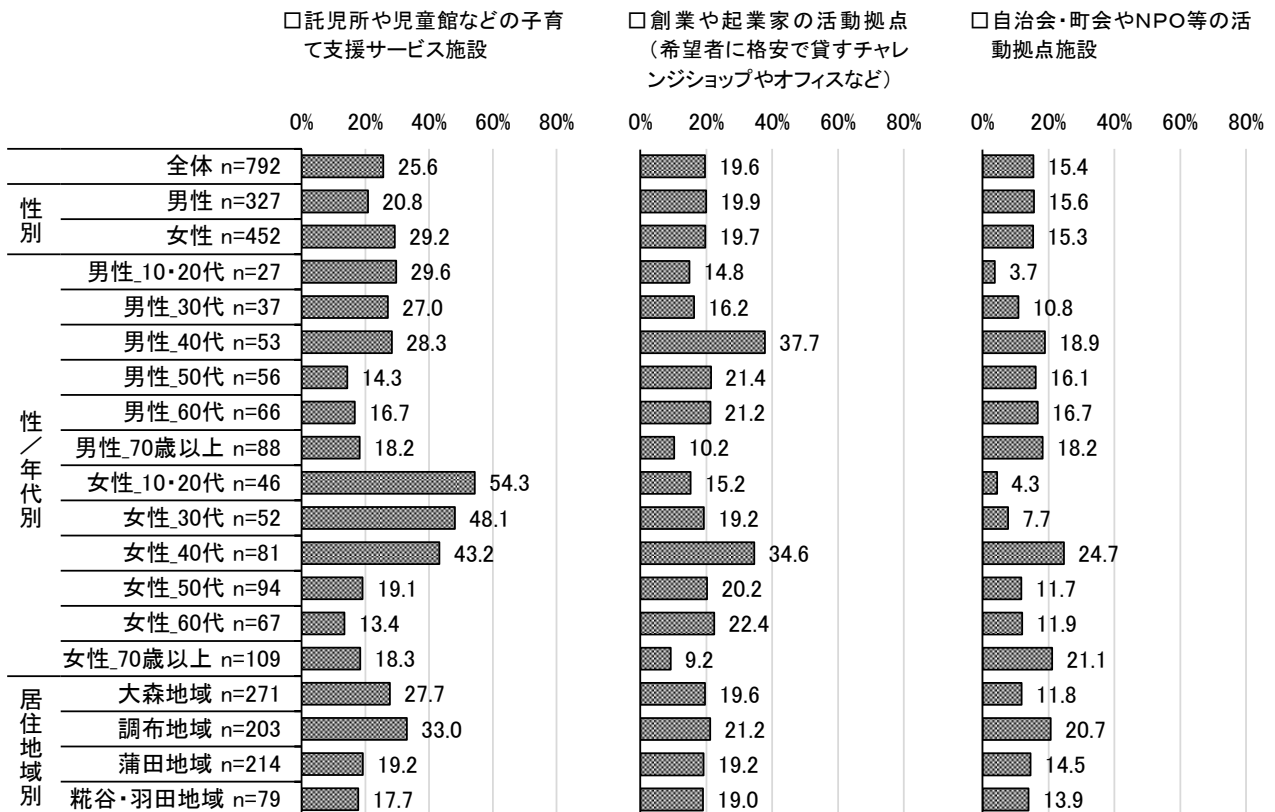
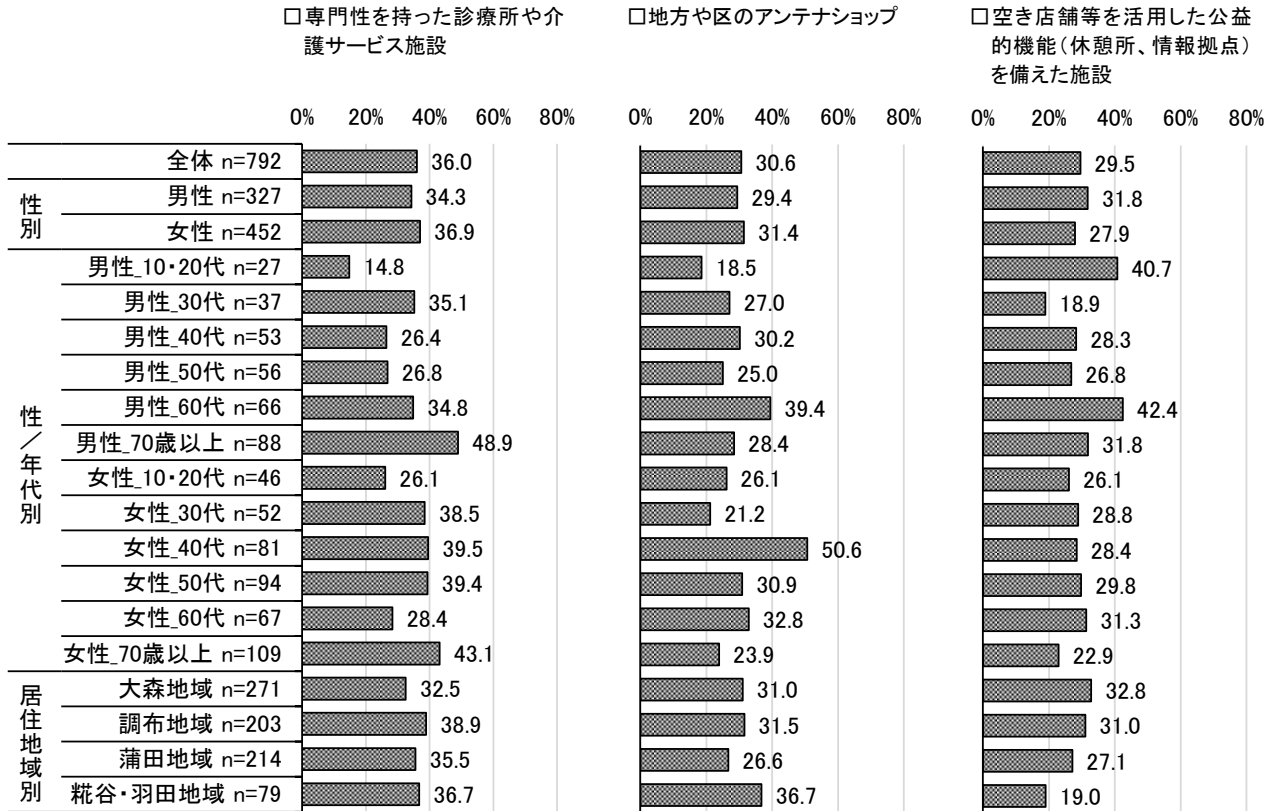
問4 あなたが商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(いくつでも)

商店街に必要だと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が36.0%で最も高く、次いで「地方や区のアンテナショップ」が30.6%、「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が29.5%となっている。

なお、「特にない」は21.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性、女性ともに「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」は男性では70歳以上で4割後半、女性では70歳以上で4割前半と高くなっている。「地方や区のアンテナショップ」は女性40代で約5割と高くなっている。「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」は女性10・20代で5割半ば、女性30代、女性40代で4割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域では「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が、調布地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。なお、糀谷・羽田地域では「地方や区のアンテナショップ」も最も高くなっている。

(5) 「今後もずっと残ってほしい」と思う個人商店の有無

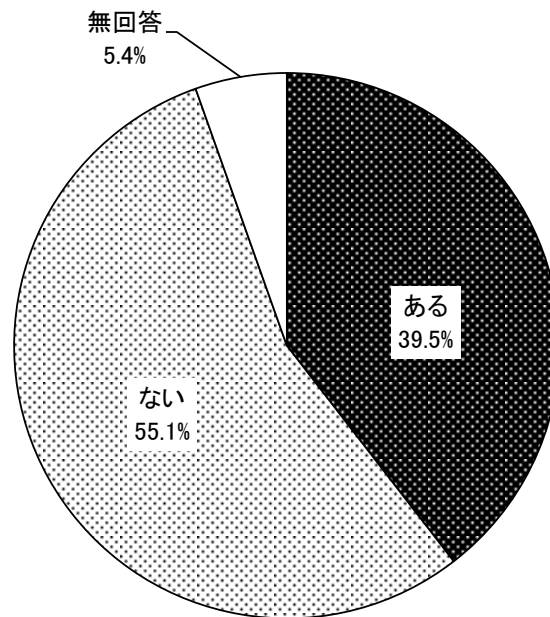
◇ 「ある」は約4割となっている

**問5 お住まいの近くにある個人商店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。
(1つのみ)**

※ 「ある」と回答した方は、店名、場所、業種をご記入ください。

今後もずっと残ってほしいと思う個人商店の有無については、「ある」が39.5%、「ない」が55.1%と、「ない」が15.6ポイント上回っている。

全体 n=792

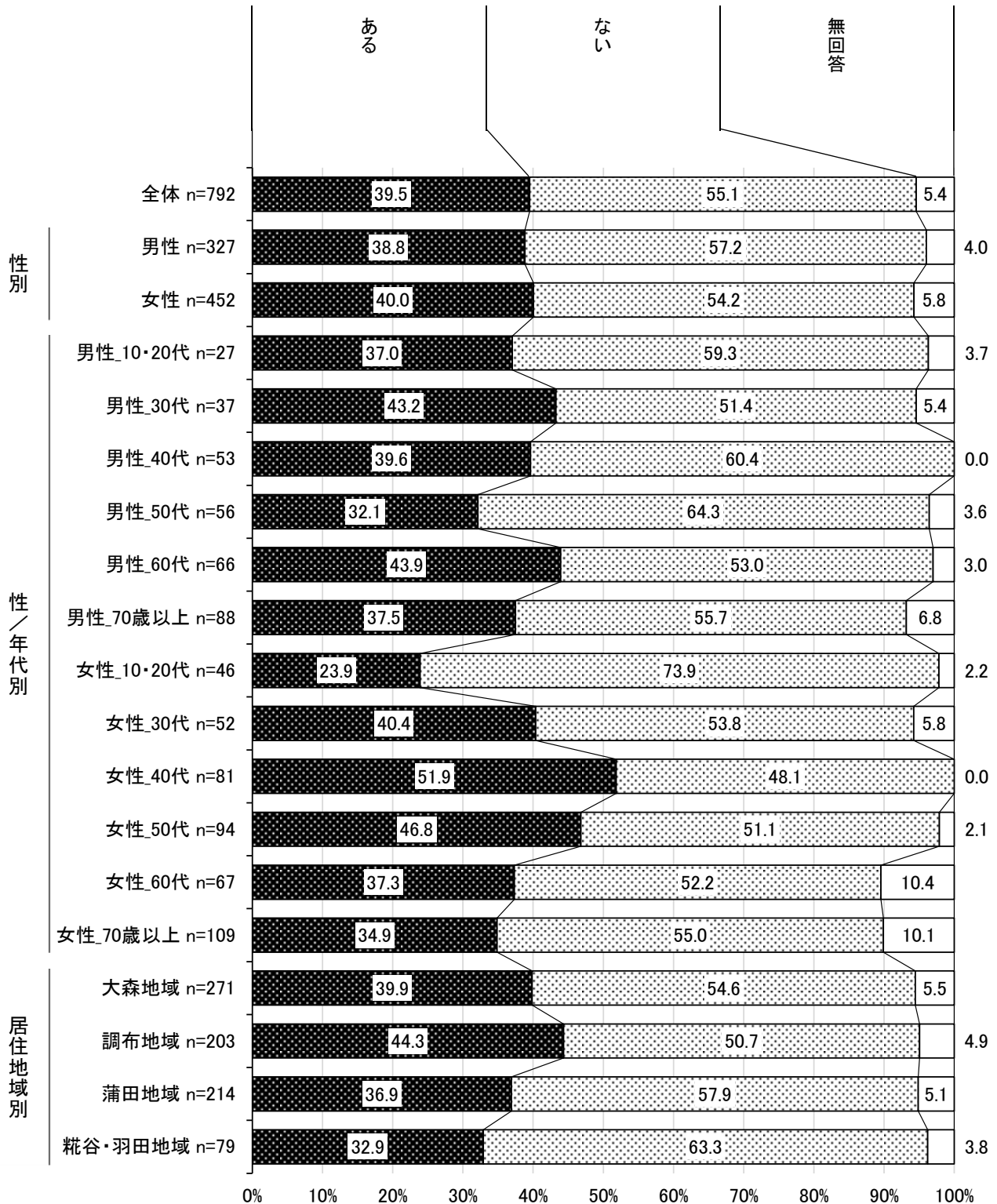


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「ある」は男性では30代、60代で4割前半、女性では40代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は調布地域で4割半ばと高くなっている。



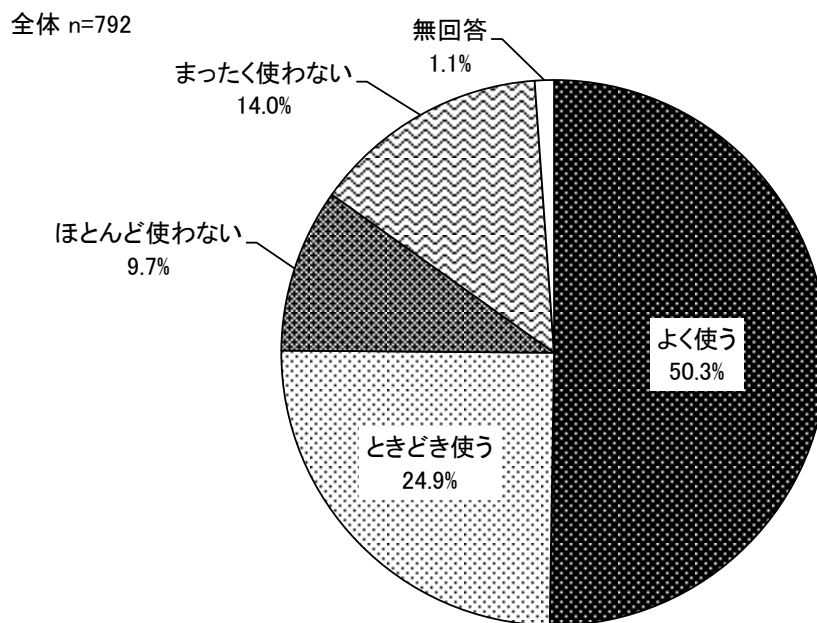
3 キャッシュレスについて

(1) キャッシュレスでの支払い

◇「よく使う」は約5割となっている

問6 あなたは普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（1つのみ）

キャッシュレスでの支払いについては、「よく使う」が50.3%で最も高く、次いで「ときどき使う」が24.9%、「まったく使わない」が14.0%となっている。

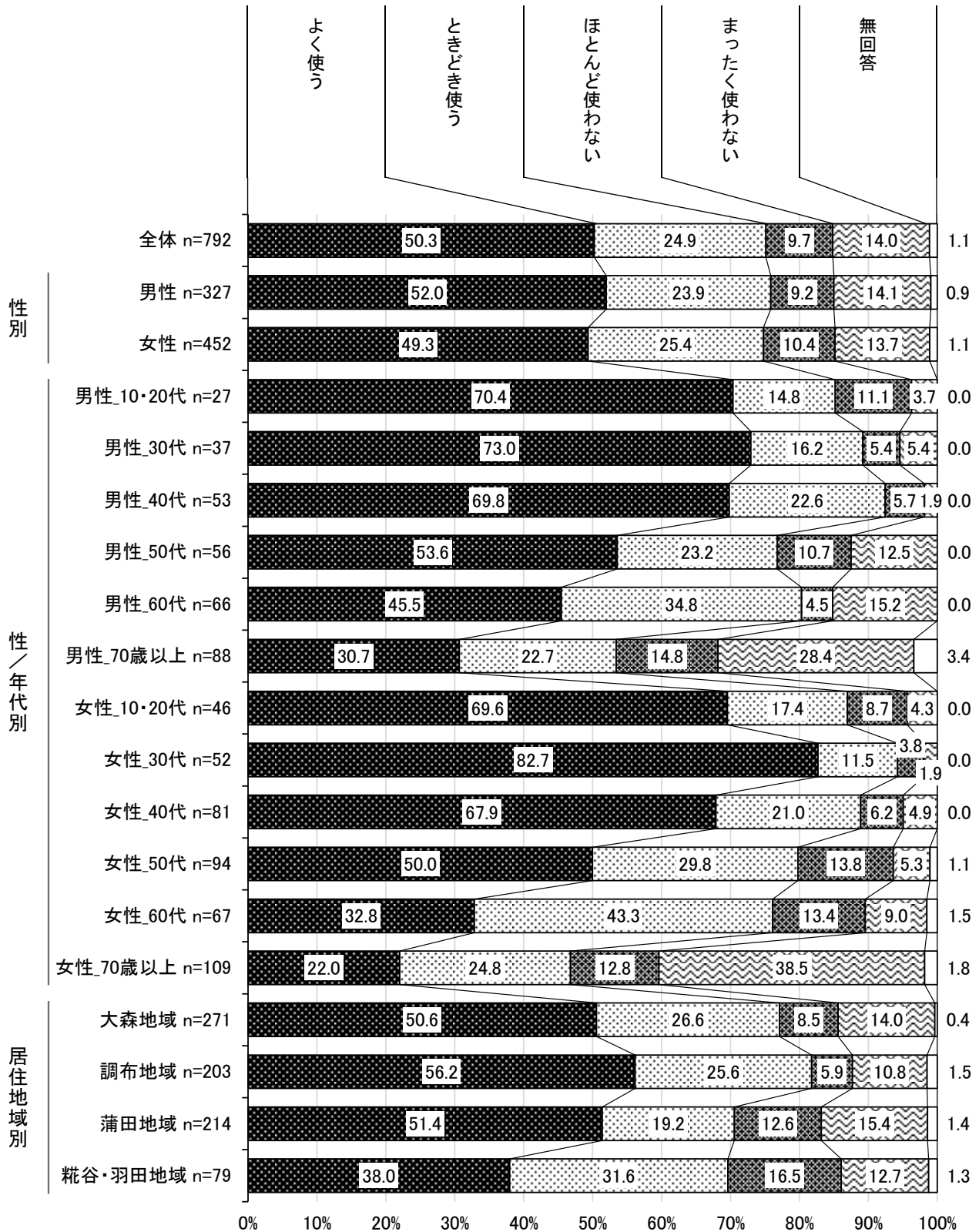


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「よく使う」は男性では30代で7割前半、女性では30代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「よく使う」は調布地域で5割後半と高くなっている。



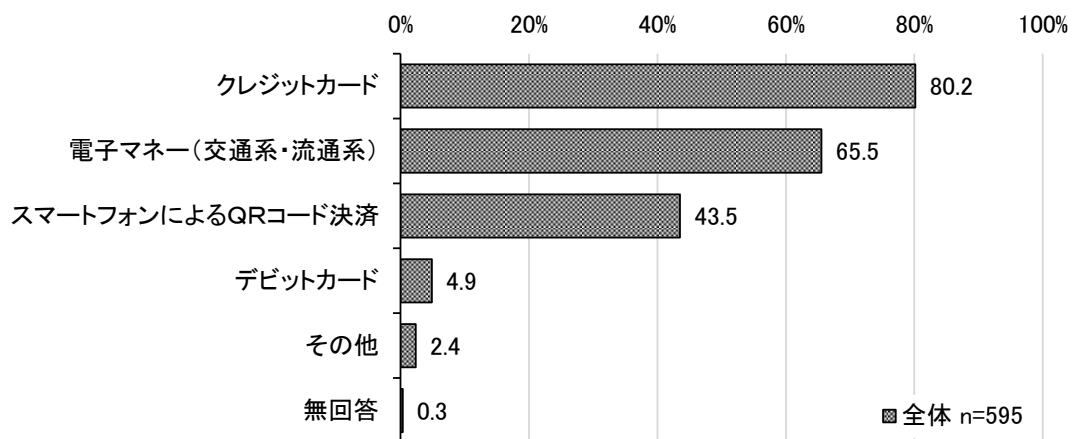
(2) キャッシュレスの支払いで利用している手段

◇「クレジットカード」が約8割で最も高くなっている

【問6で「よく使う」「ときどき使う」と回答した方に伺います。】

問6-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が80.2%で最も高く、次いで「電子マネー(交通系・流通系)」が65.5%、「スマートフォンによるQRコード決済」が43.5%となっている。

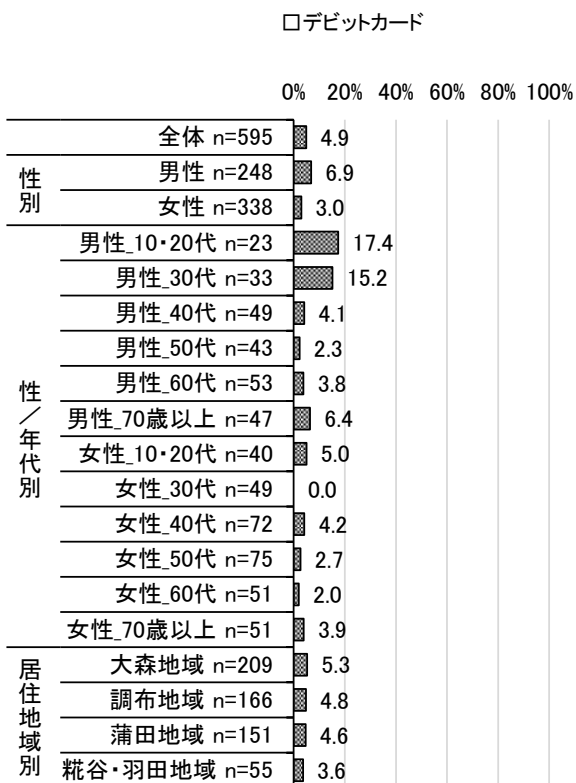
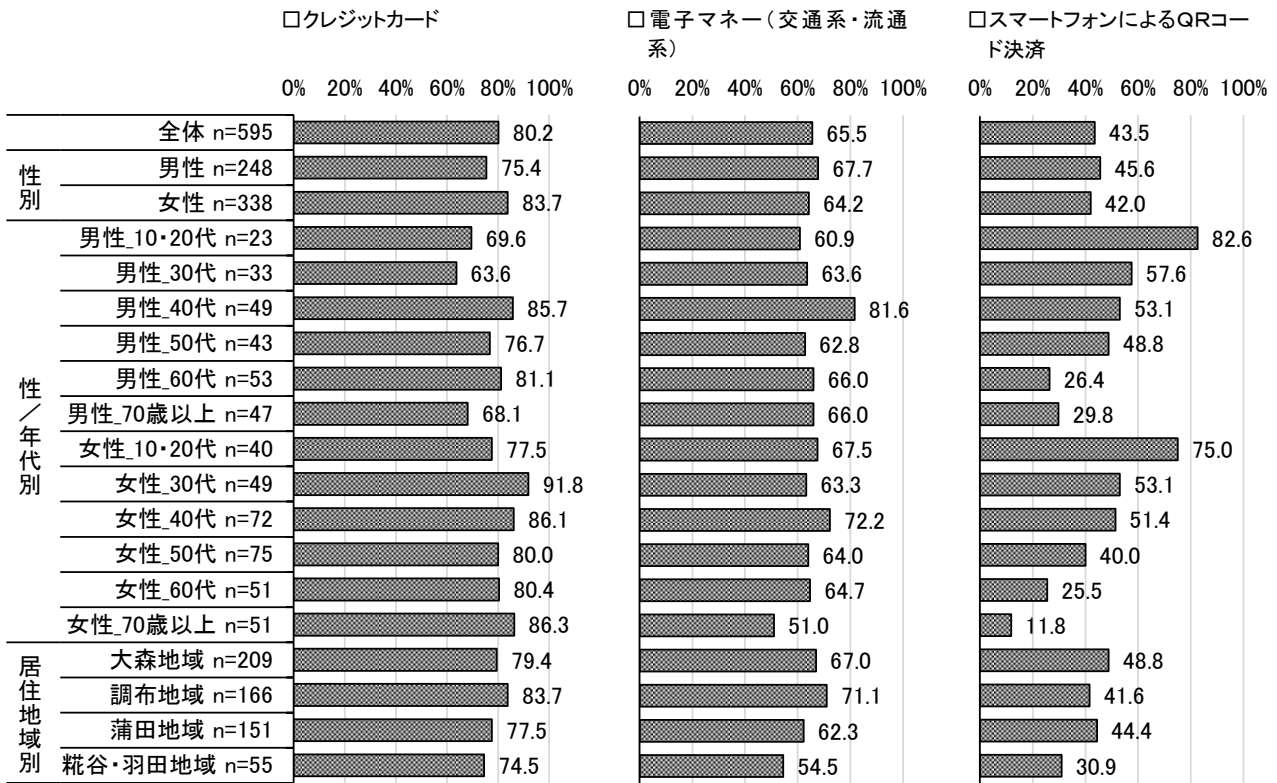


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高く、男性が75.4%、女性が83.7%と、女性が8.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は女性30代で9割前半と高くなっている。「スマートフォンによるQRコード決済」は男性、女性ともに年代が下がるにつれて増加傾向がみられる。

居住地域別でみると、すべての地域で「クレジットカード」が最も高く、調布地域で8割前半となっている。



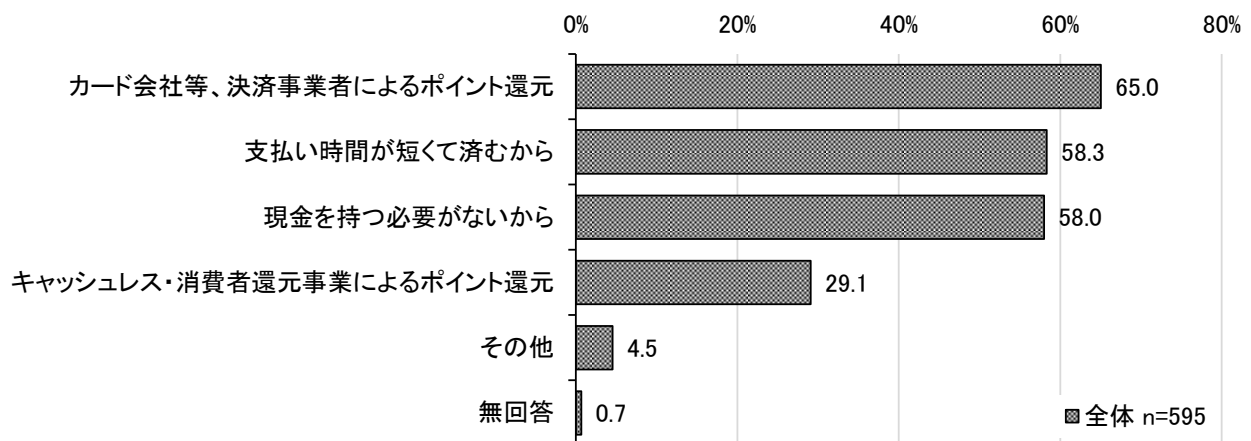
(3) キャッシュレスで支払いをする理由

◇「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が6割半ばで最も高くなっている

【問6で「よく使う」「ときどき使う」と回答した方に伺います。】

問6-2 キャッシュレス支払いを使用する理由は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスで支払いをする理由については、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が65.0%で最も高く、次いで「支払い時間が短くて済むから」が58.3%、「現金を持つ必要がないから」が58.0%となっている。

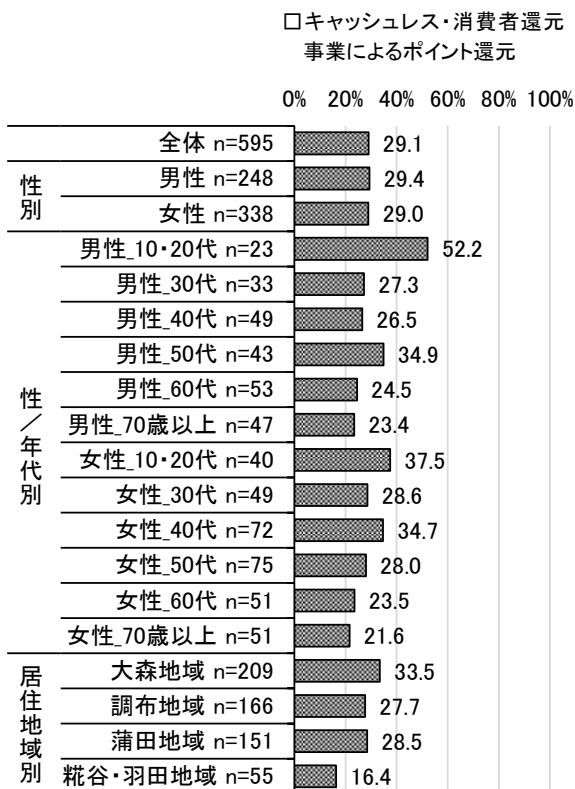
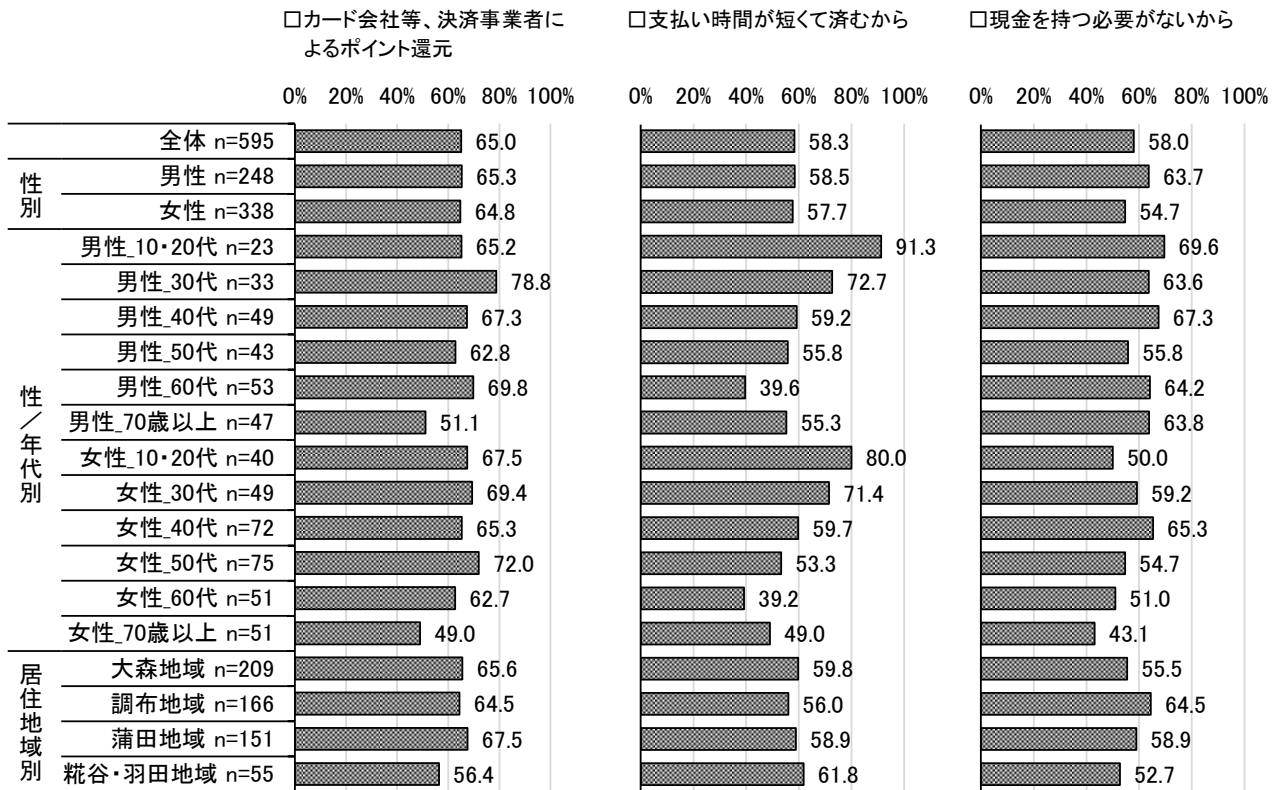


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」は男性では30代で7割後半、女性では50代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」は大森地域、調布地域、蒲田地域で6割台となっている。



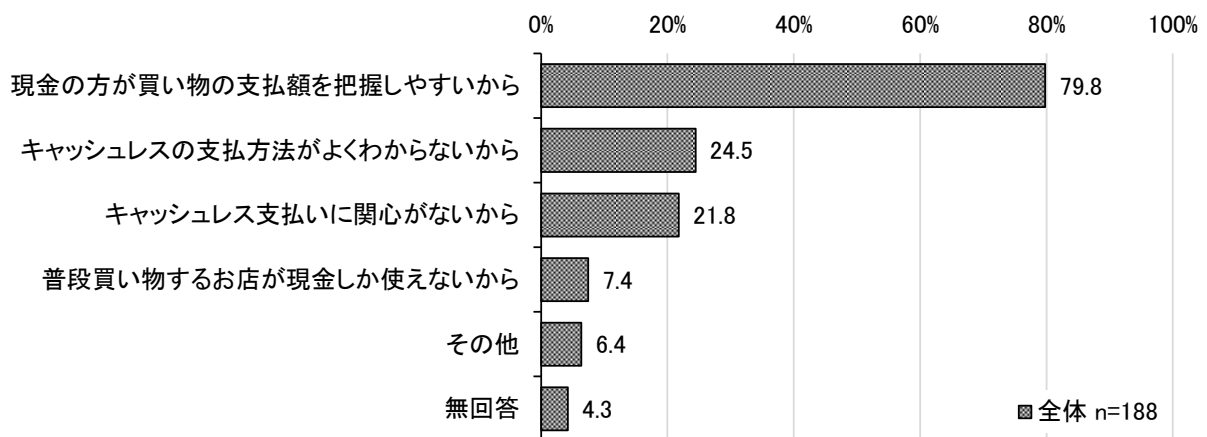
(4) キャッシュレスで支払いをしない理由

◇「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が約8割で最も高くなっている

【問6で「ほとんど使わない」「まったく使わない」と回答した方に伺います。】

問6-3 キャッシュレス支払いを使用しない(あまり使用しない)理由は何ですか。(いくつでも)

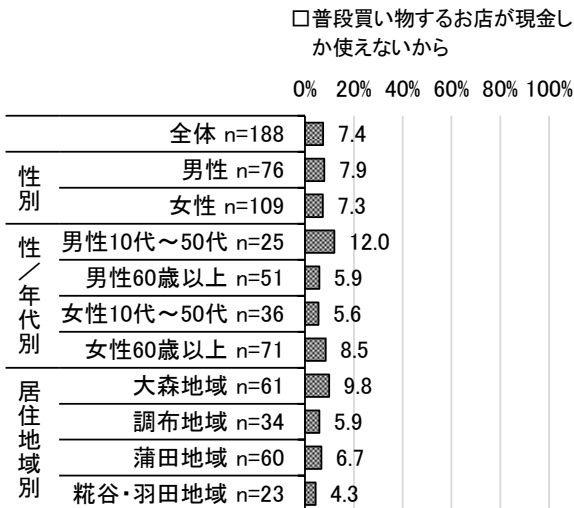
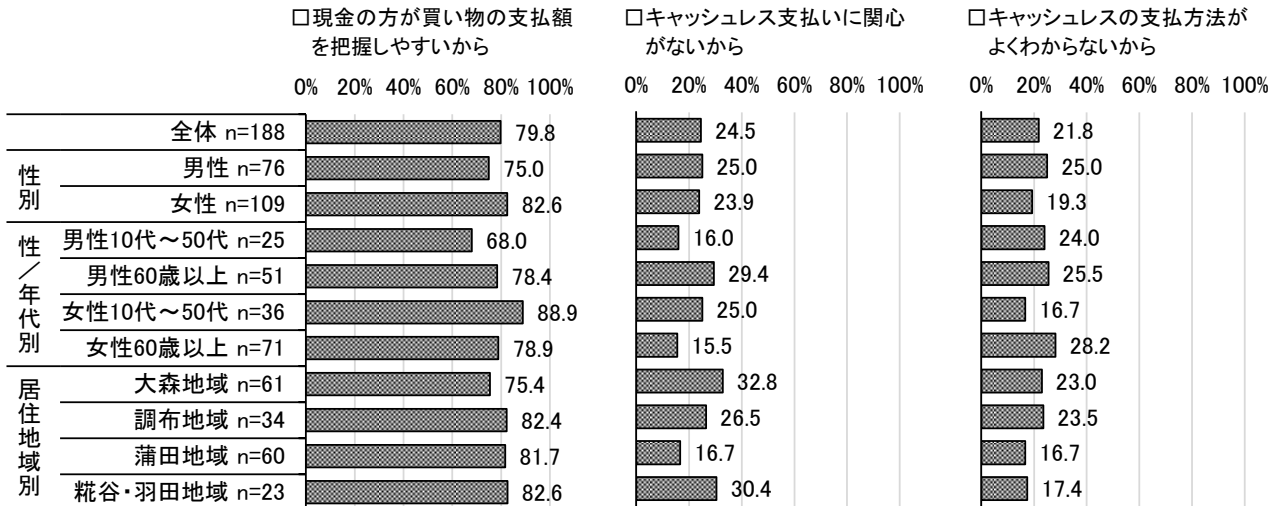
キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が79.8%で最も高く、次いで「キャッシュレスの支払方法がよくわからないから」が24.5%、「キャッシュレス支払いに関心がないから」が21.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は男性が75.0%、女性が82.6%と、女性が7.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は女性10代～50代で8割後半となっている。



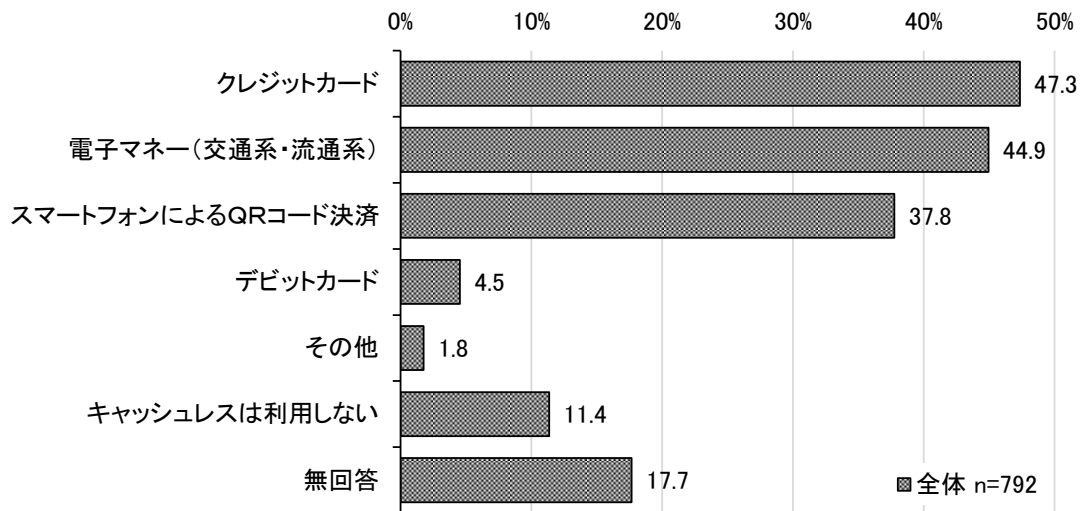
(5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段

◇「クレジットカード」が4割後半で最も高くなっている

問7 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段については、「クレジットカード」が47.3%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が44.9%、「スマートフォンによるQRコード決済」が37.8%となっている。

なお、「キャッシュレスは利用しない」は11.4%となっている。

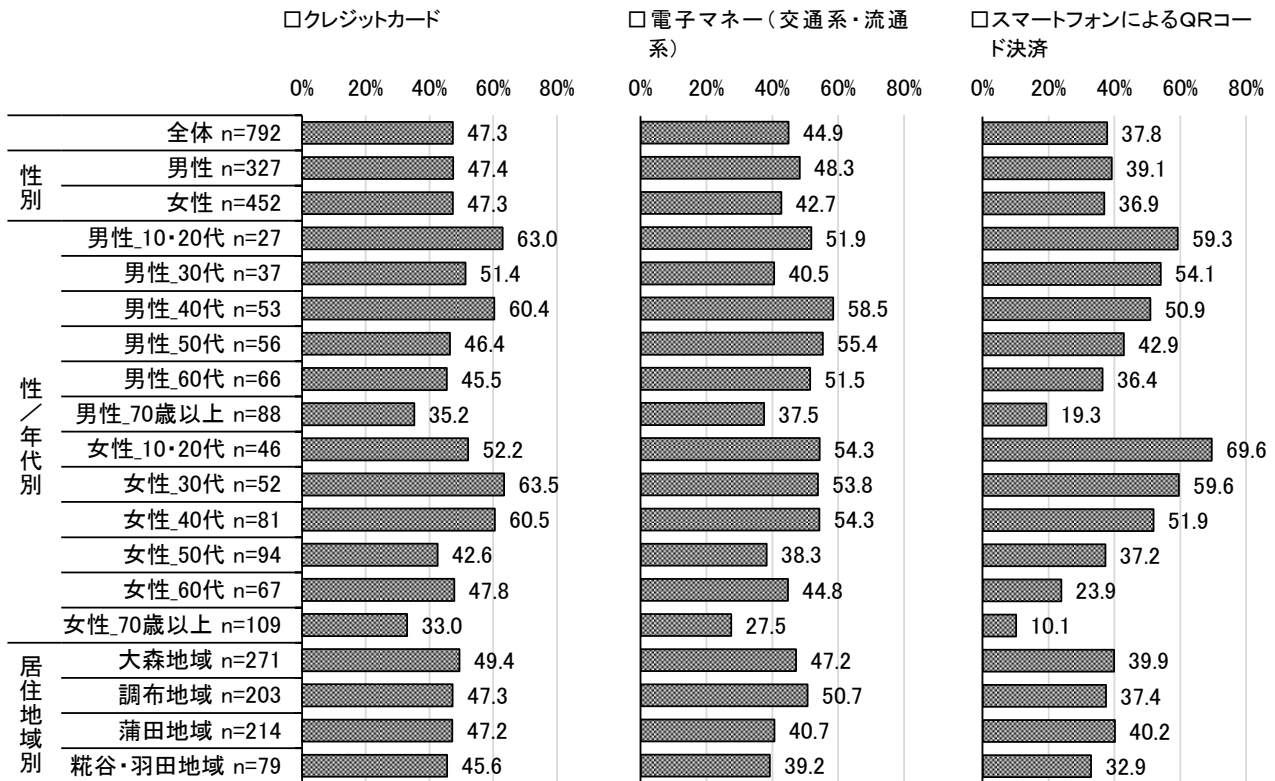


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「電子マネー（交通系・流通系）」が最も高く、女性では「クレジットカード」が最も高くなっている。「電子マネー（交通系・流通系）」は男性が48.3%、女性が42.7%と、男性が5.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は男性40代、女性30代、女性40代で6割台となっている。「スマートフォンによるQRコード決済」は年代が下がるにつれて増加傾向がみられる。

居住地域別でみると、すべての地域で「クレジットカード」は4割台となっている。



4 まちづくりについて

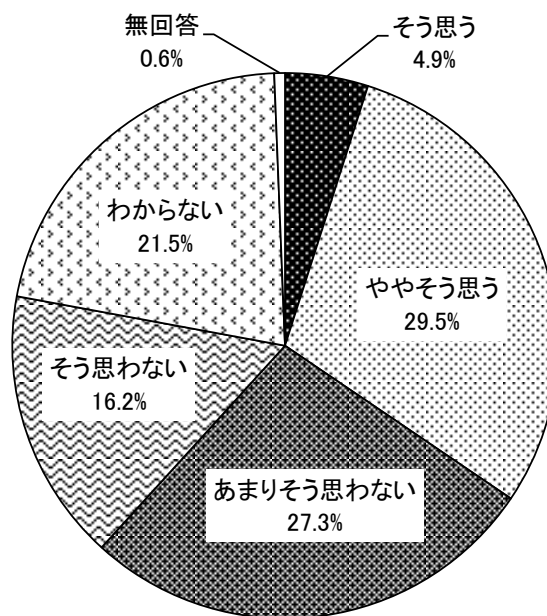
(1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は3割半ばとなっている

問8 大田区では、活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が34.4%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が43.5%と、《思わない》が9.1ポイント上回っている。

全体 n=792

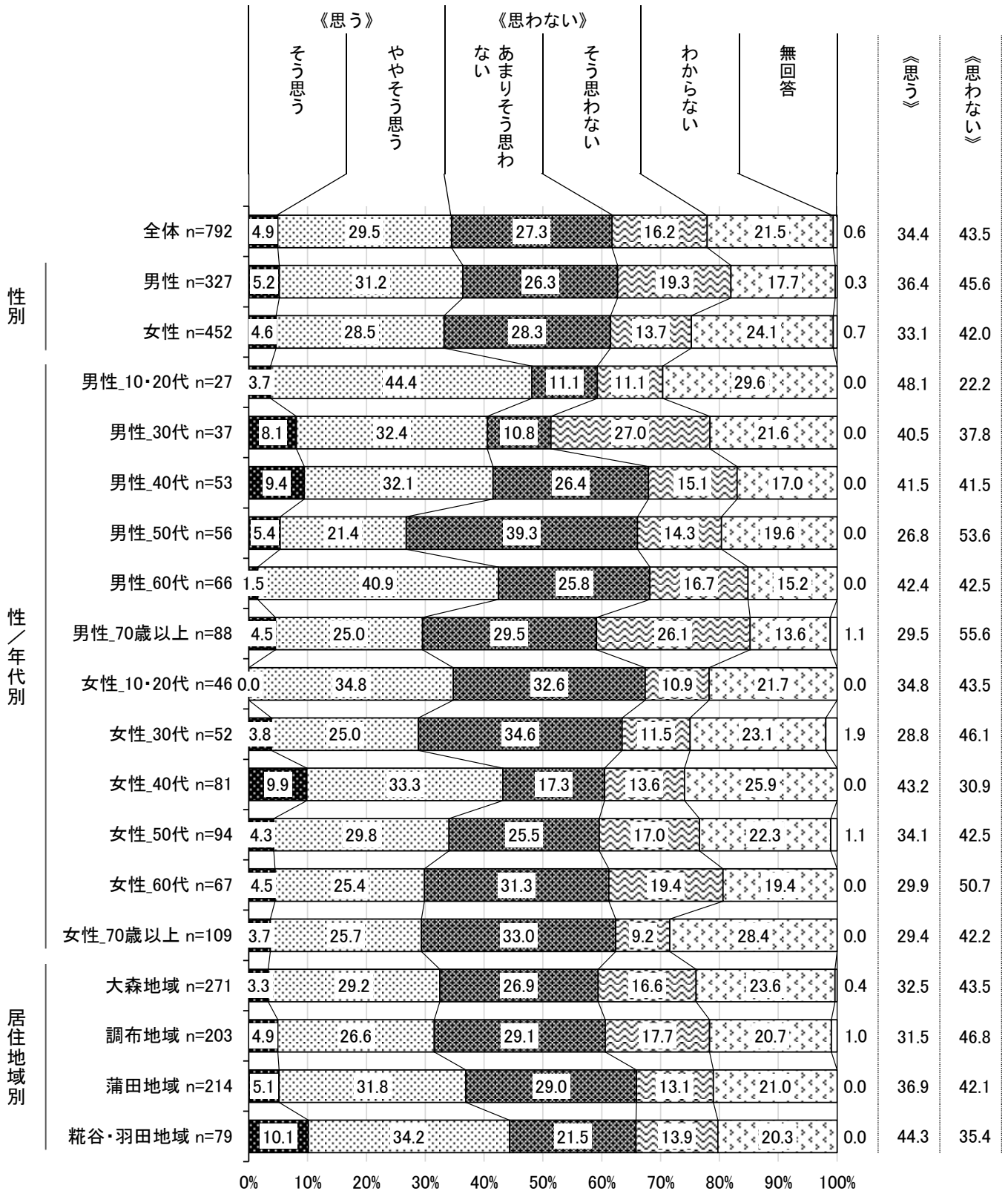


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《思う》は男性では40代、60代で4割前半、女性では40代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は糀谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。

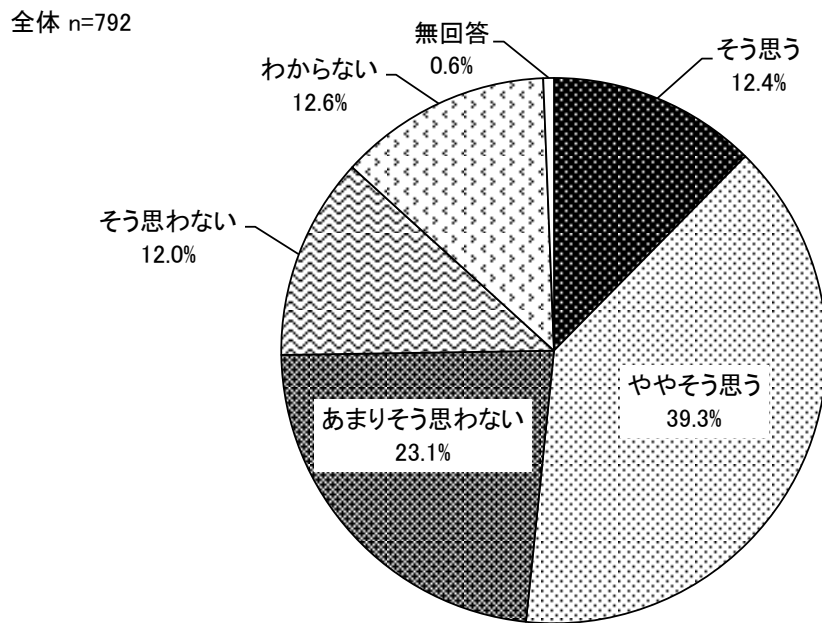


(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は5割前半となっている

問9 大田区では、暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が51.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が35.1%と、《思う》が16.6ポイント上回っている。

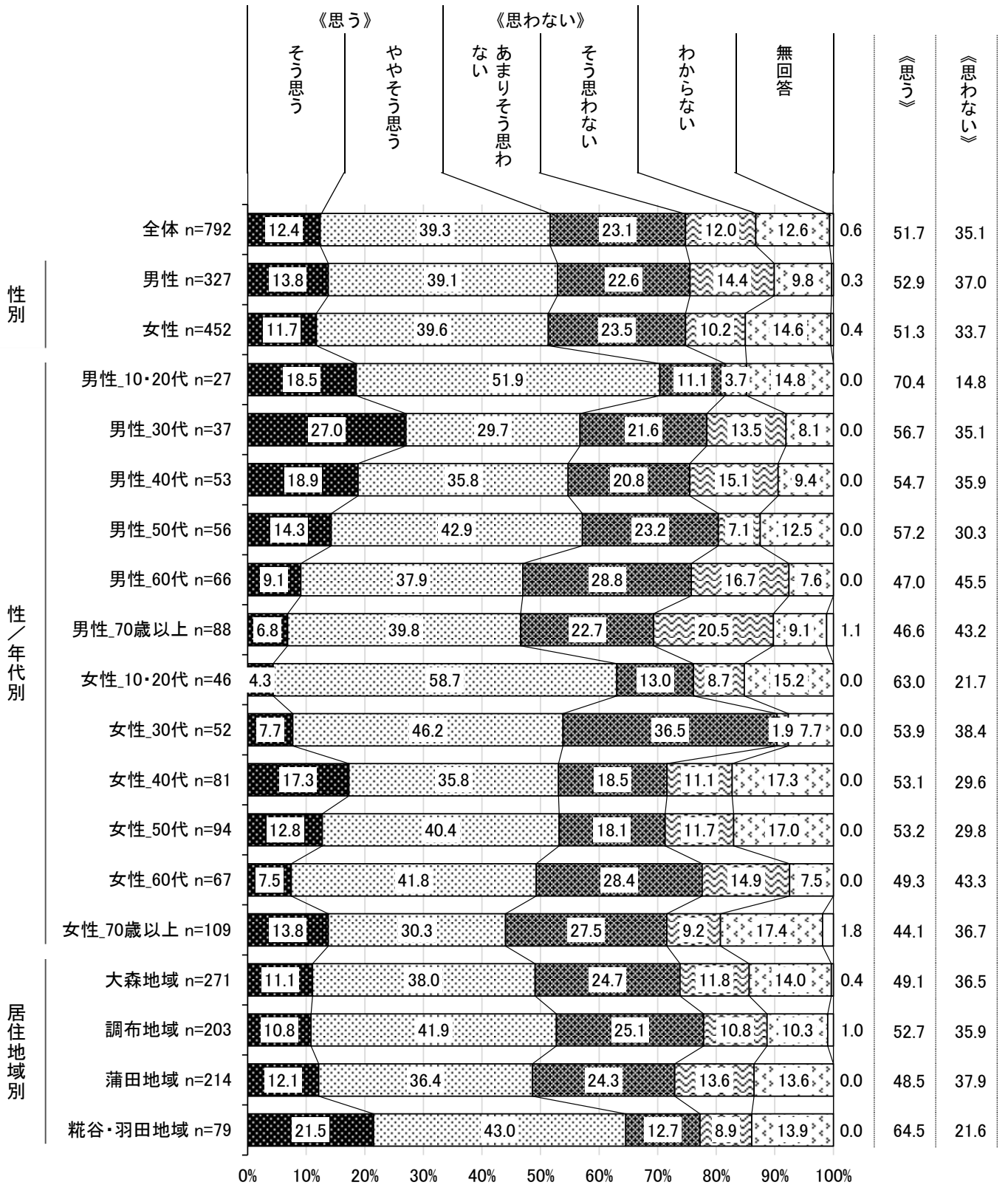


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《思う》は男性では30代、50代で5割後半、女性では10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は糀谷・羽田地域で6割半ばと高くなっている。

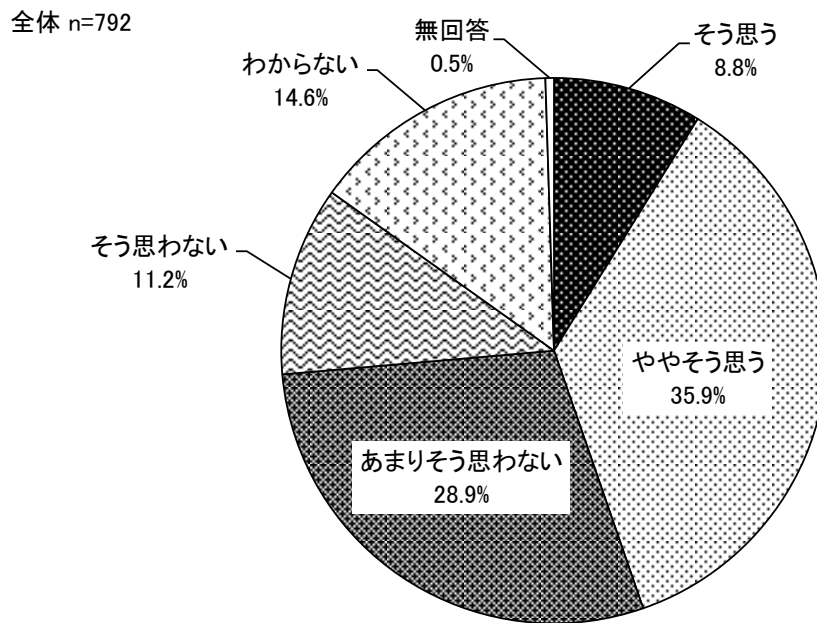


(3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は4割半ばとなっている

問 10 大田区では、安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が44.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.1%と、《思う》が4.6ポイント上回っている。

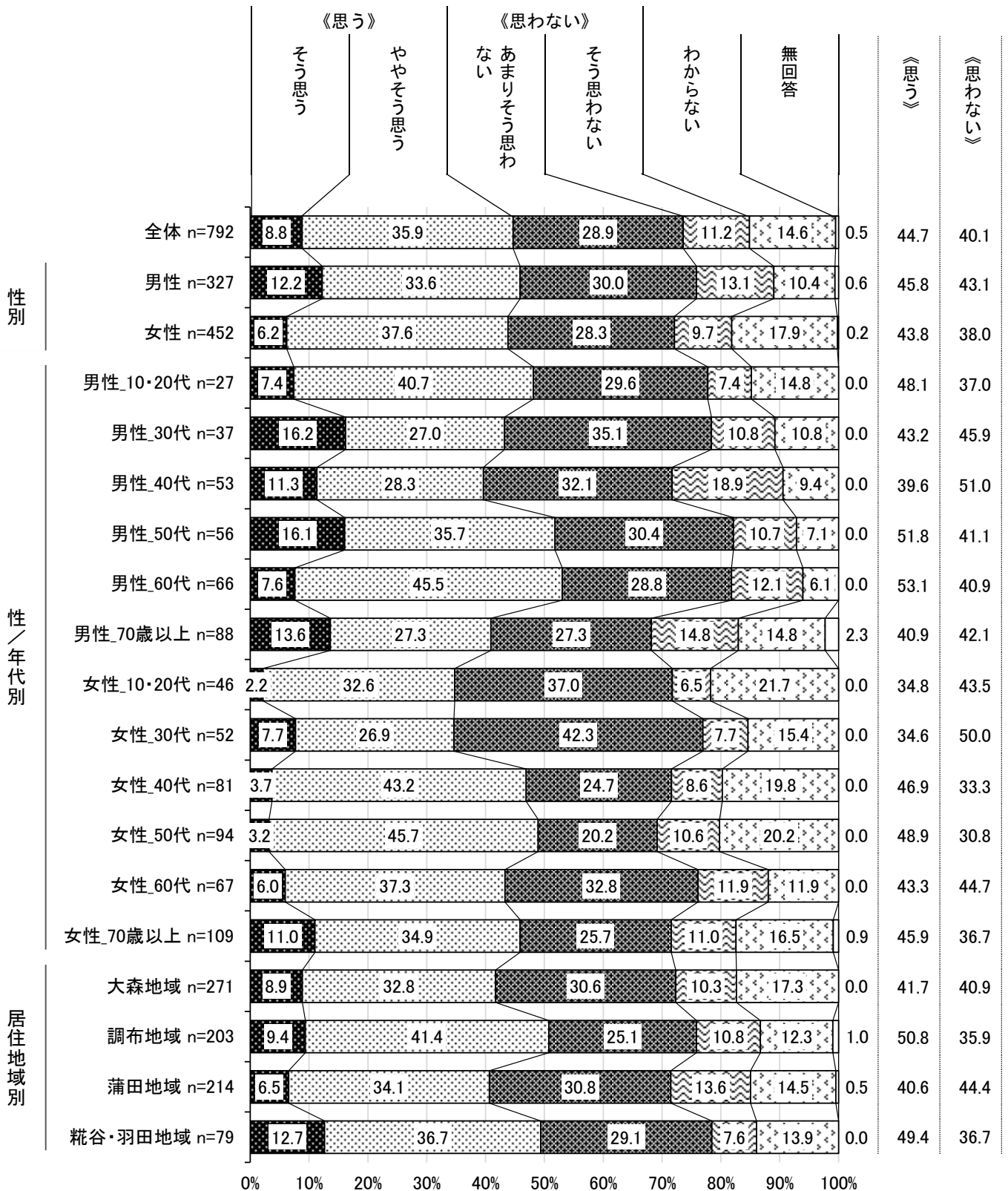


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が43.1%、女性が38.0%と、男性が5.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《思う》は男性では60代で5割前半、女性では40代、50代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域、糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。

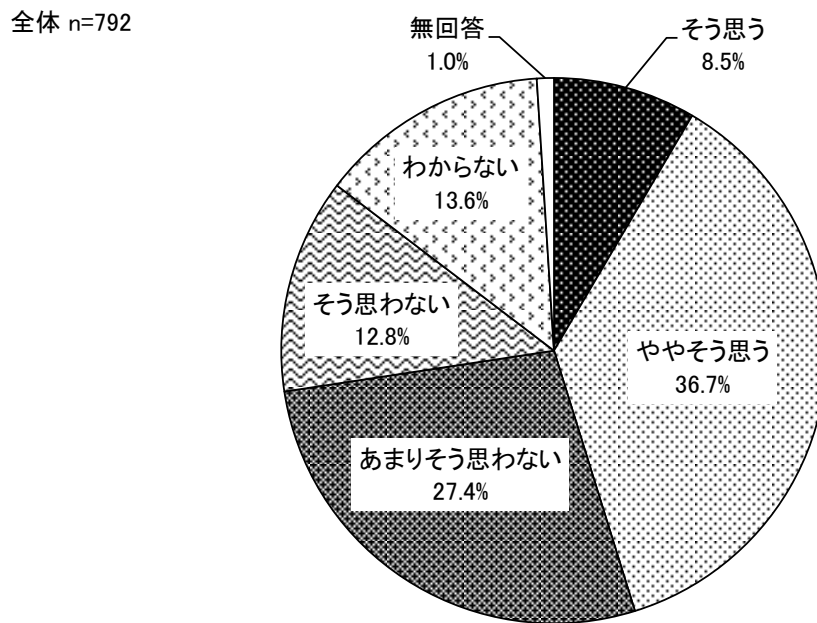


(4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「思う」、「やや思う」の合計値)は4割半ばとなっている

問 11 大田区では、環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「思う」、「やや思う」の合計値《思う》が45.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.2%と、《思う》が5.0ポイント上回っている。

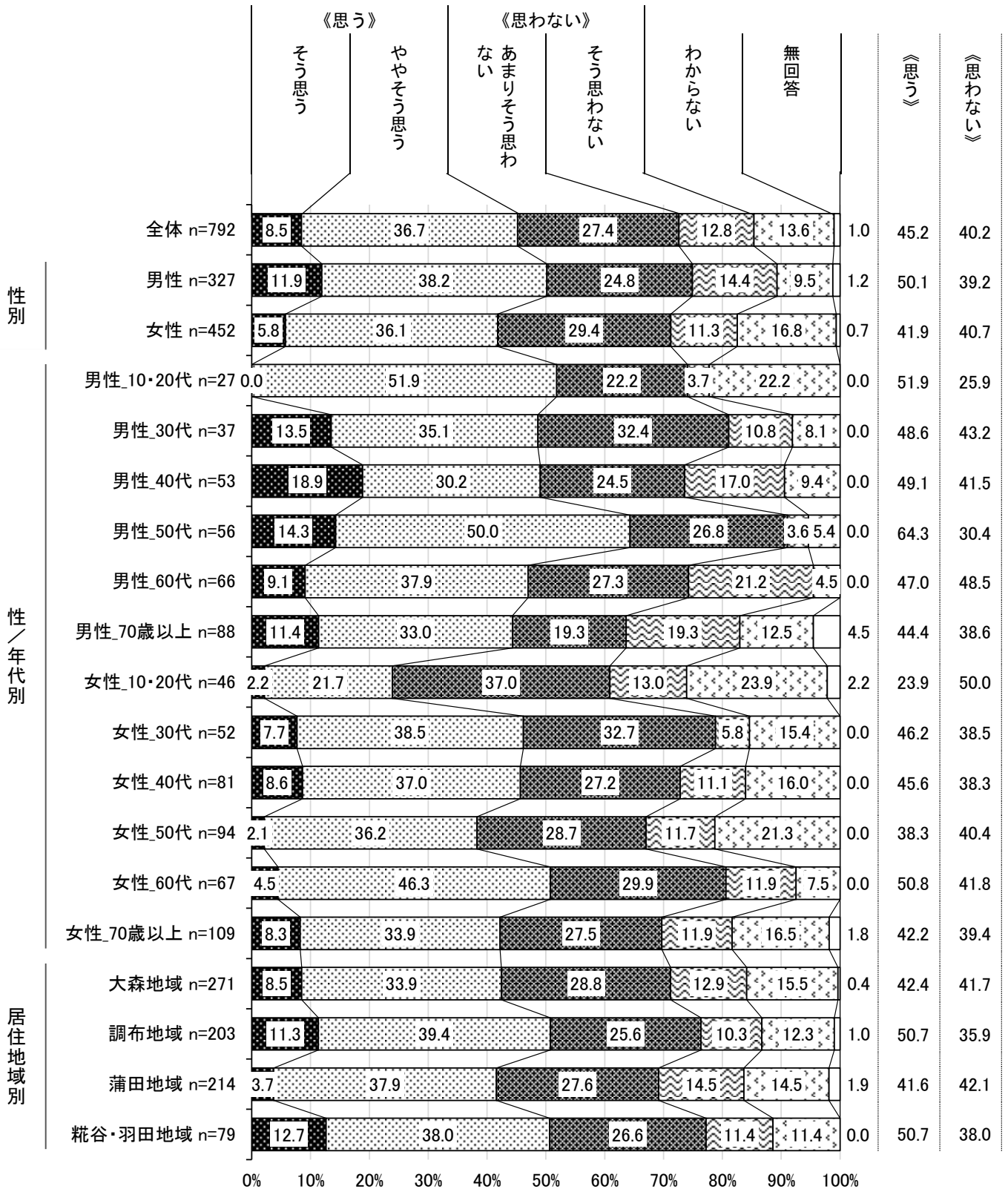


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《思う》は男性では50代で6割半ば、女性では60代で約5割と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域・糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。

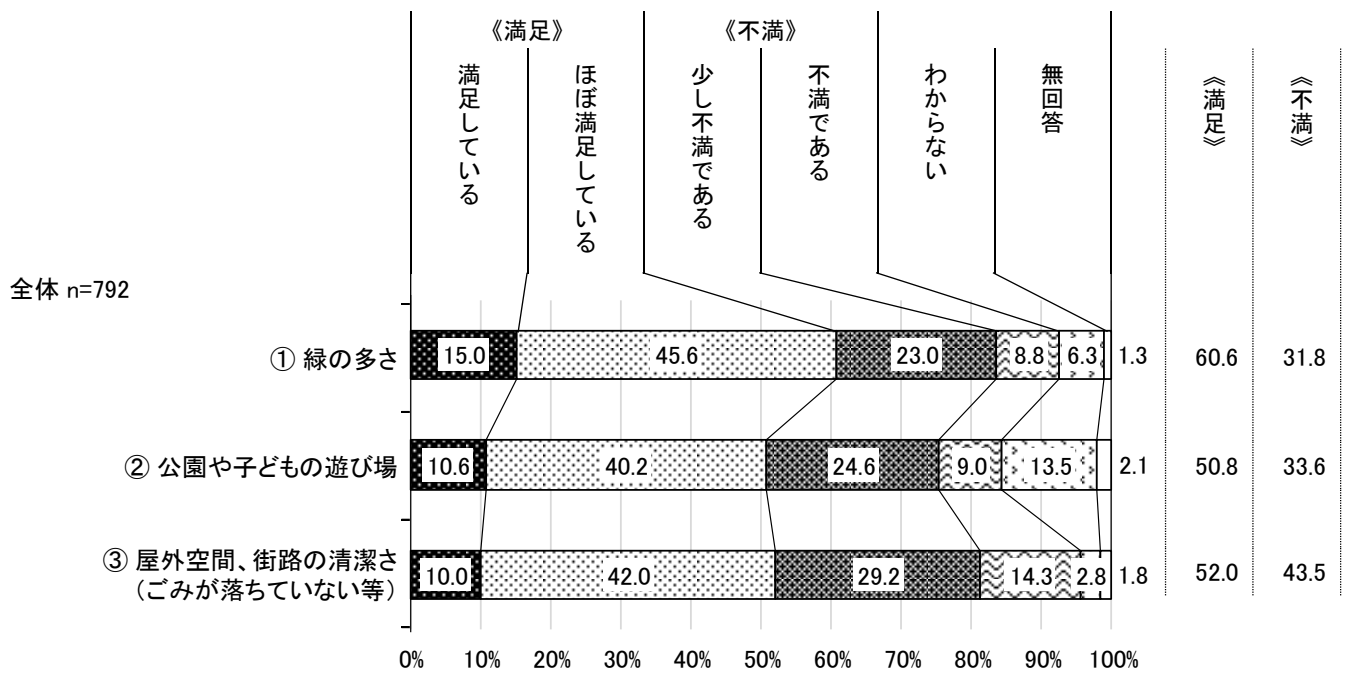


(5) 生活環境の満足度

◇ 《満足》（「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値）は『①緑の多さ』が約6割で最も高くなっている

問 12 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。
 ※「1」～「3」のそれぞれに回答してください。（それぞれ1つのみ）

生活環境の満足度については、「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足》は『①緑の多さ』が60.6%で最も高く、次いで『③屋外空間、街路の清潔さ（ごみが落ちていない等）』が52.0%、『②公園や子どもの遊び場』が50.8%となっている。

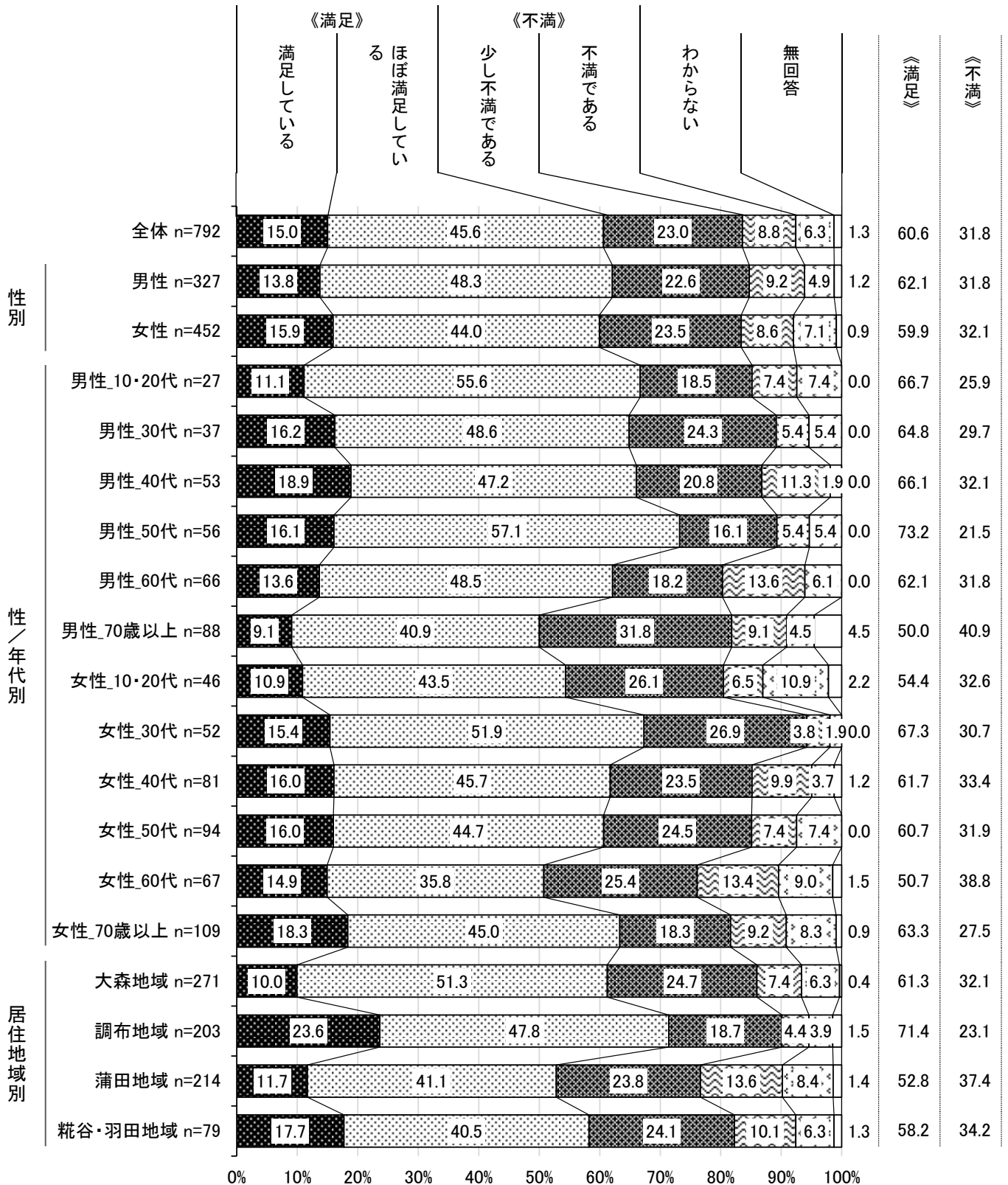


■性別・性／年代別・居住地域別_①緑の多さ

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足》は男性では50代で7割前半、女性では30代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足》は調布地域で7割前半と高くなっている。

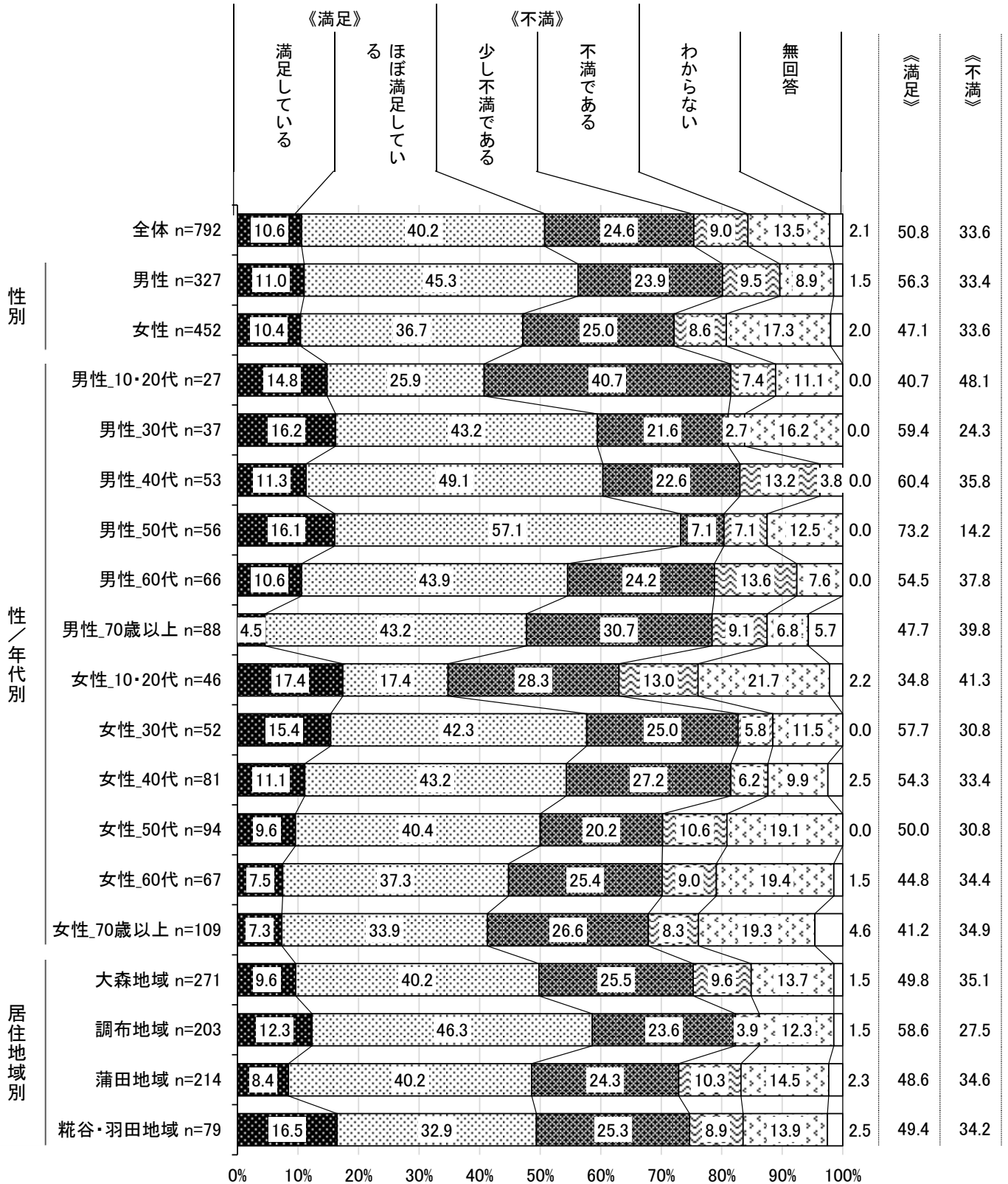


■性別・性/年代別・居住地域別_②公園や子どもの遊び場

性別でみると、《満足》は男性が56.3%、女性が47.1%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《満足》は男性では50代で7割前半、女性では30代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足》は調布地域で5割後半と高くなっている。

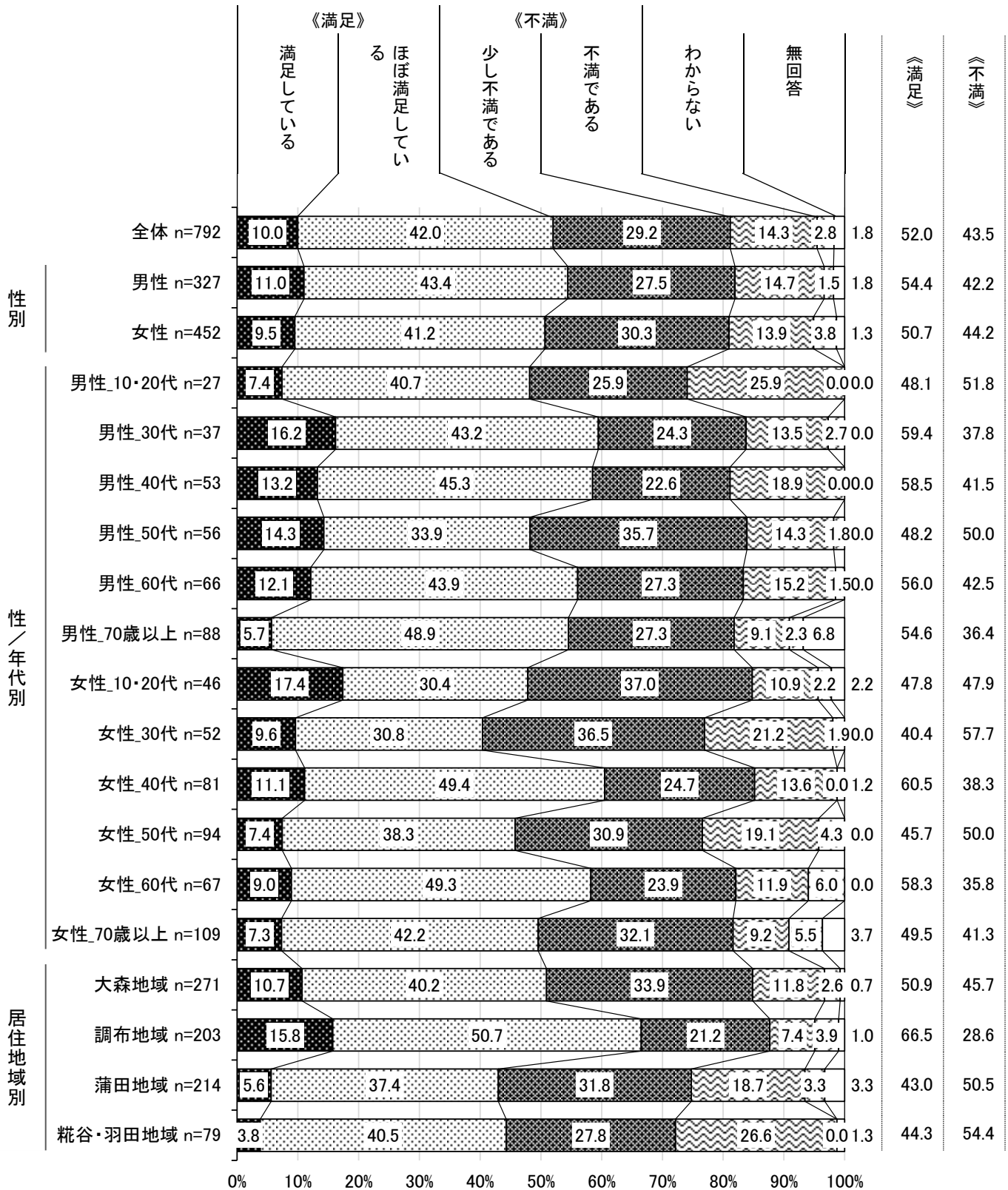


■性別・性／年代別・居住地域別_③屋外空間、街路の清潔さ（ごみが落ちていない等）

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足》は男性では30代で約6割、女性では40代で約6割と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足》は調布地域で6割後半と高くなっている。

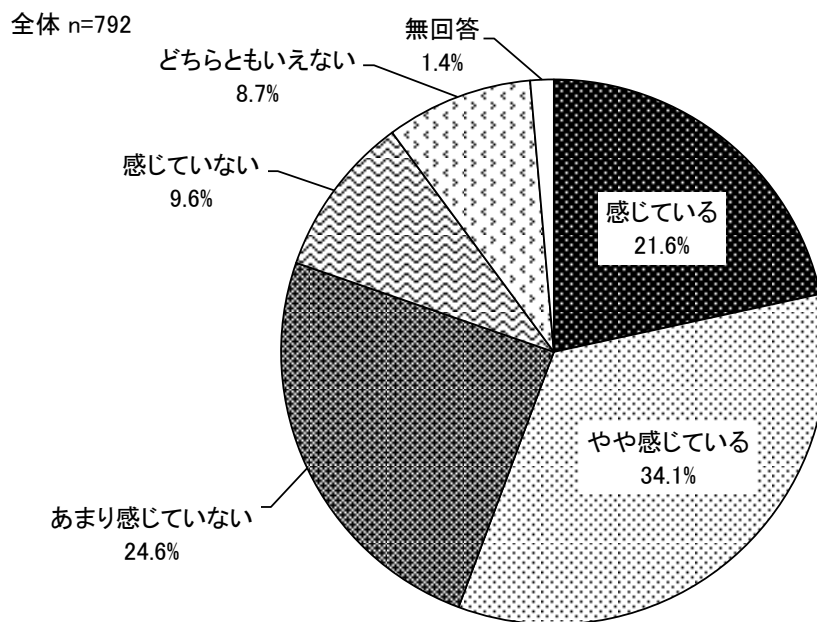


(6) 身近な場所で水や緑に親しめる感覚

◇ 《感じる》(「感じている」、「やや感じている」の合計値)は5割半ばとなっている

問 13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

身近な場所で水や緑に親しめる感覚については、「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じる》が55.7%である一方で、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じない》が34.2%と、《感じる》が21.5ポイント上回っている。

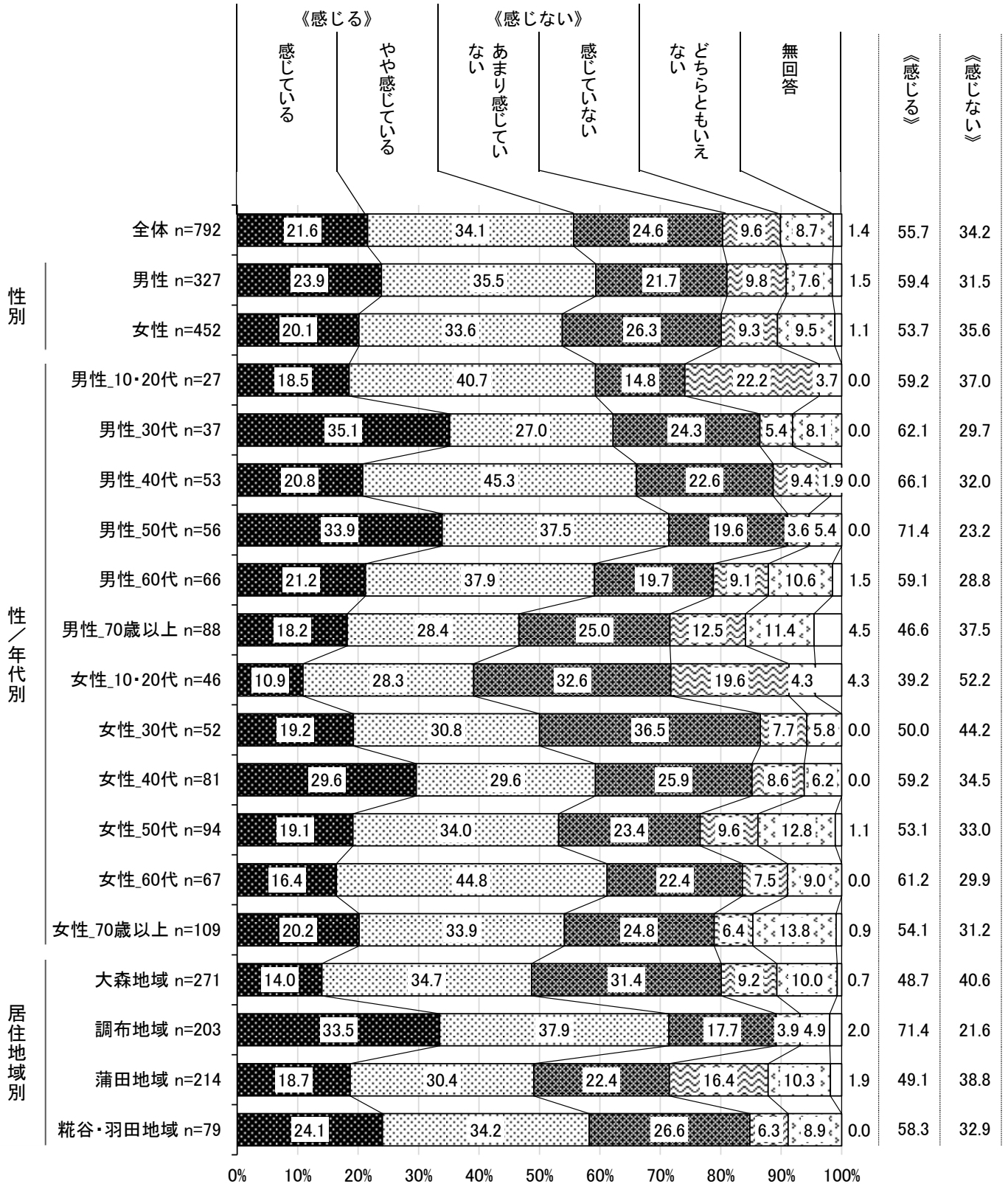


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が59.4%、女性が53.7%と、男性が5.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性では50代で7割前半、女性では60代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は調布地域で7割前半と高くなっている。



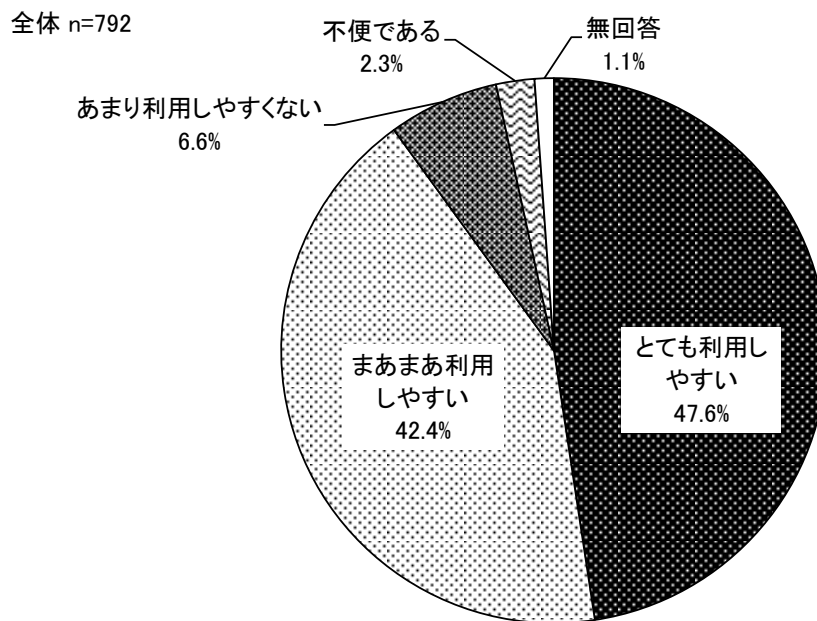
5 公共交通機関について

(1) 公共交通機関の環境

◇「とても利用しやすい」は4割後半となっている

問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通機関の環境については、「とても利用しやすい」が47.6%で最も高く、次いで「まあまあ利用しやすい」が42.4%、「あまり利用しやすすくない」が6.6%となっている。

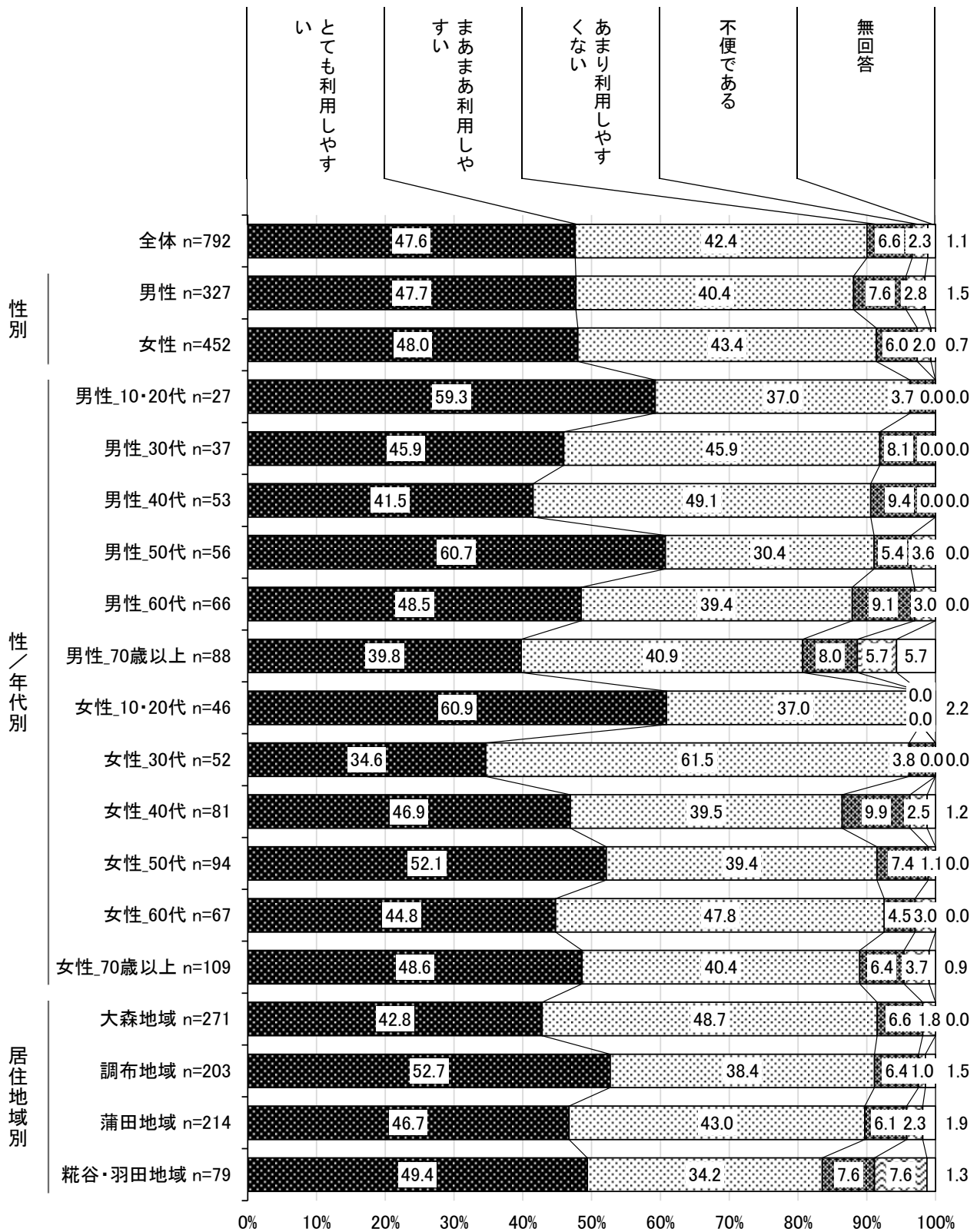


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「とても利用しやすい」は男性 50 代、女性 10・20 代で約 6 割となっている。

居住地域別でみると、「とても利用しやすい」は調布地域で 5 割前半と高くなっている。

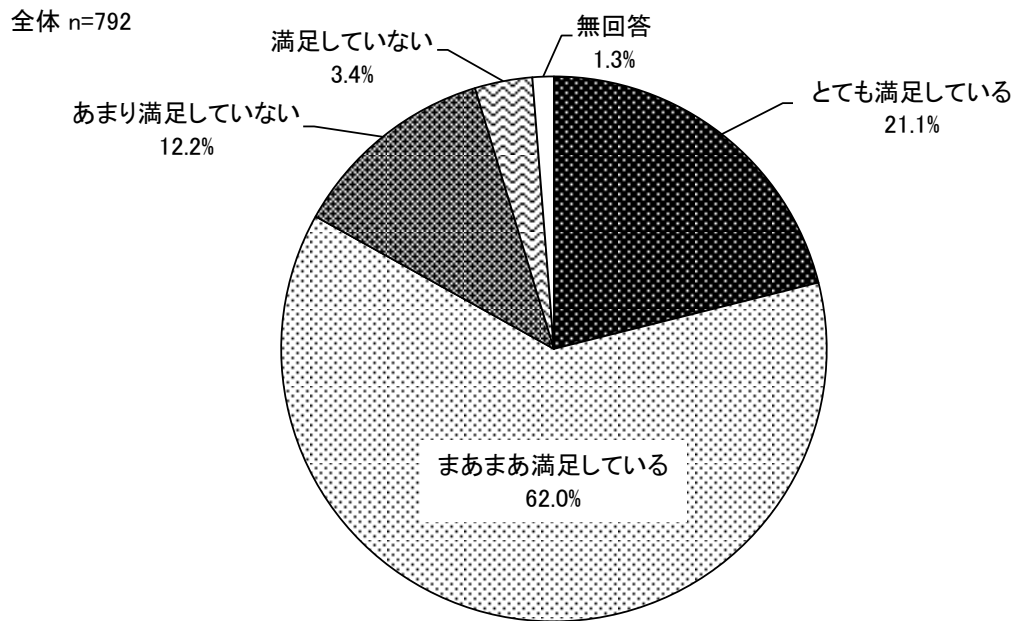


(2) 大田区内の公共交通網への満足度

◇「とても満足している」は2割前半となっている

問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が83.1%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が15.6%と、《満足している》が67.5ポイント上回っている。

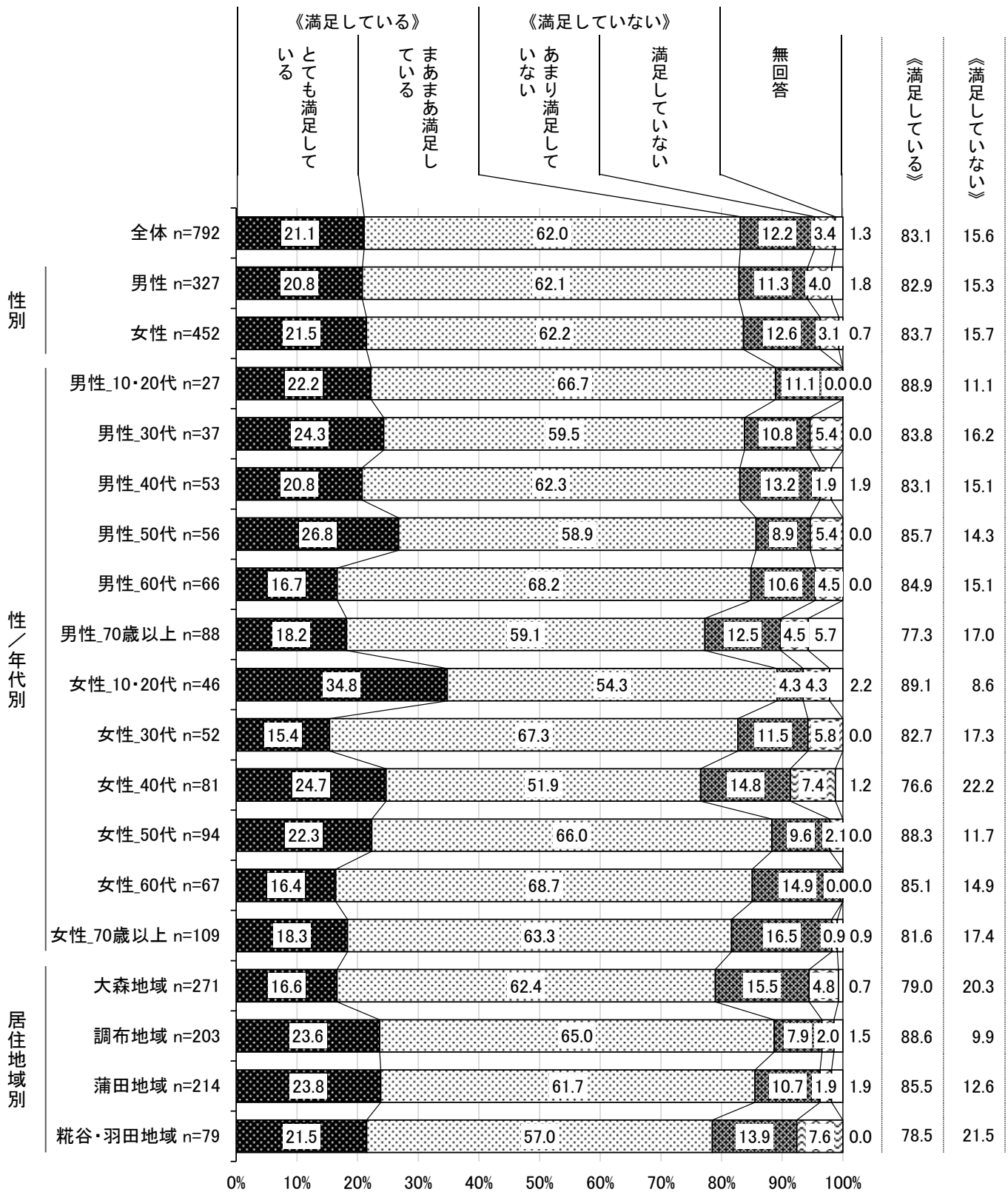


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性70歳以上、女性40代を除き8割台となっている。

居住地域別でみると、《満足している》は調布地域で8割後半と高くなっている。



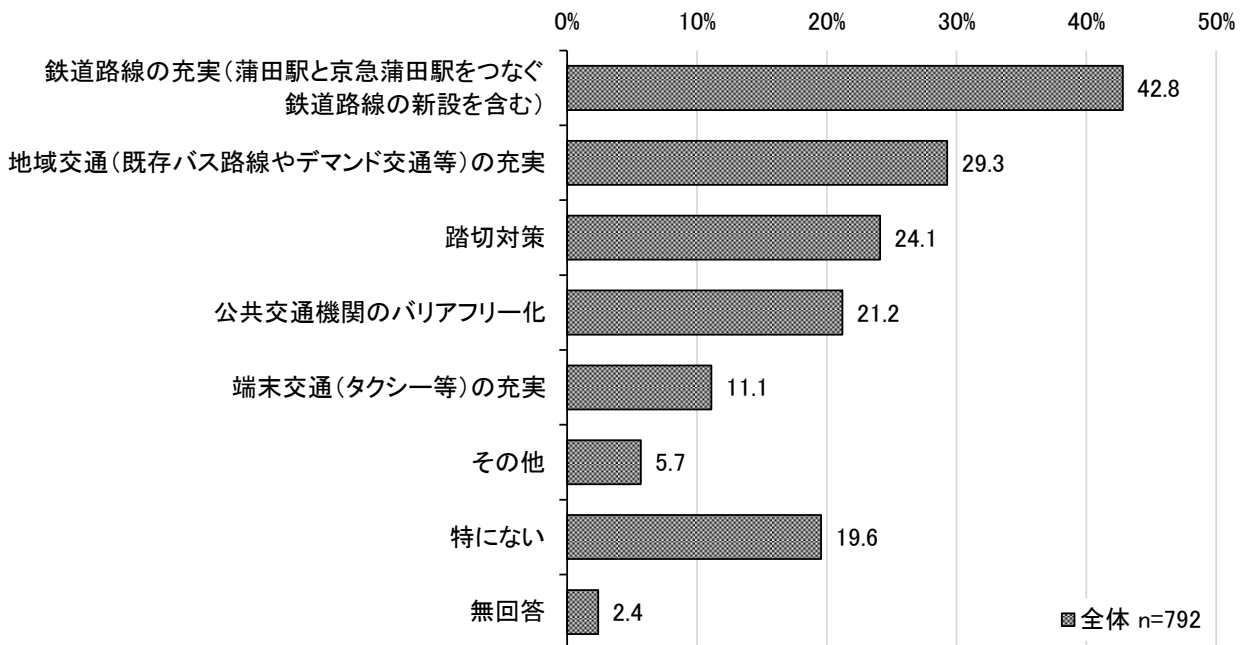
(3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策

◇「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が4割前半で最も高くなっている

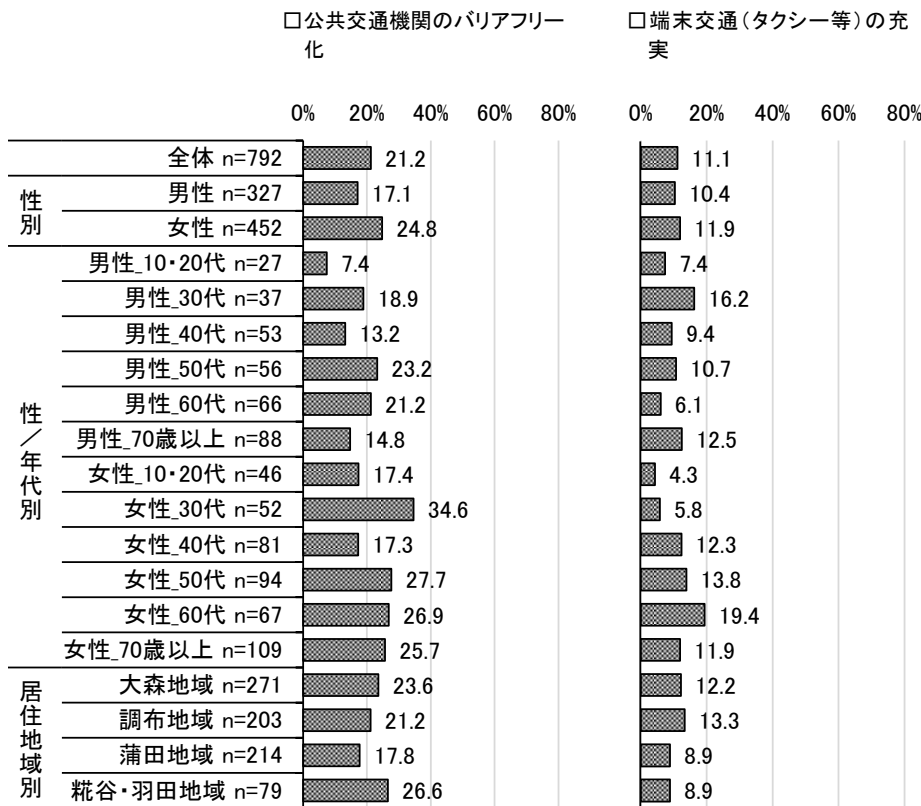
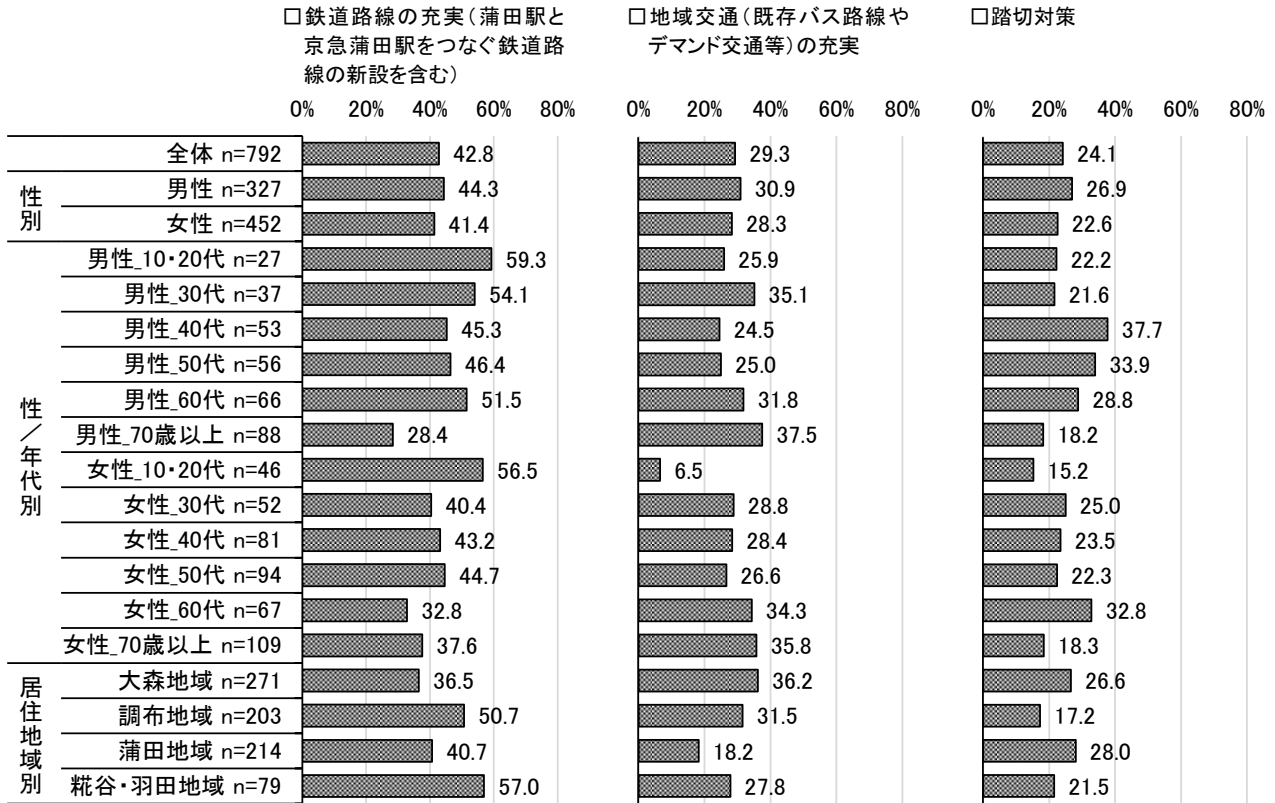
問 16 アfterコロナにおいて、大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものがありますか。（いくつでも）

早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が42.8%で最も高く、次いで「地域交通（既存バス路線やデマンド交通等）の充実」が29.3%、「踏切対策」が24.1%となっている。

なお、「特にない」は19.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性、女性ともに「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性30代、男性60代、女性10・20代で5割台となっている。「踏切対策」は男性40代で3割後半と高くなっている。「公共交通機関のバリアフリー化」は女性30代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高く、糀谷・羽田地域で5割後半となっている。

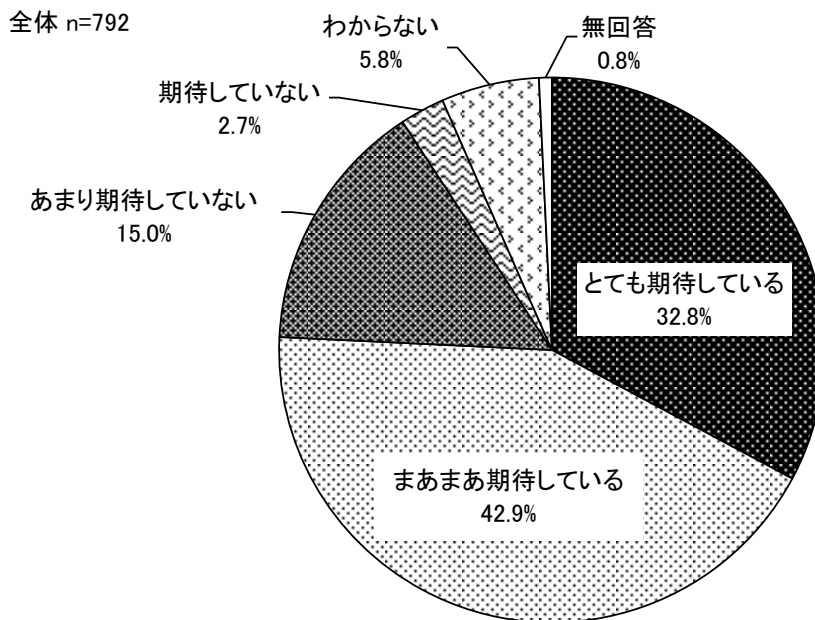
(4) 駅周辺のまちづくりによる地域の魅力向上及び活性化への期待度

◇《期待している》(「とても期待している」、「まあまあ期待している」の合計値)は7割半ばとなっている

問 17 区は鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。

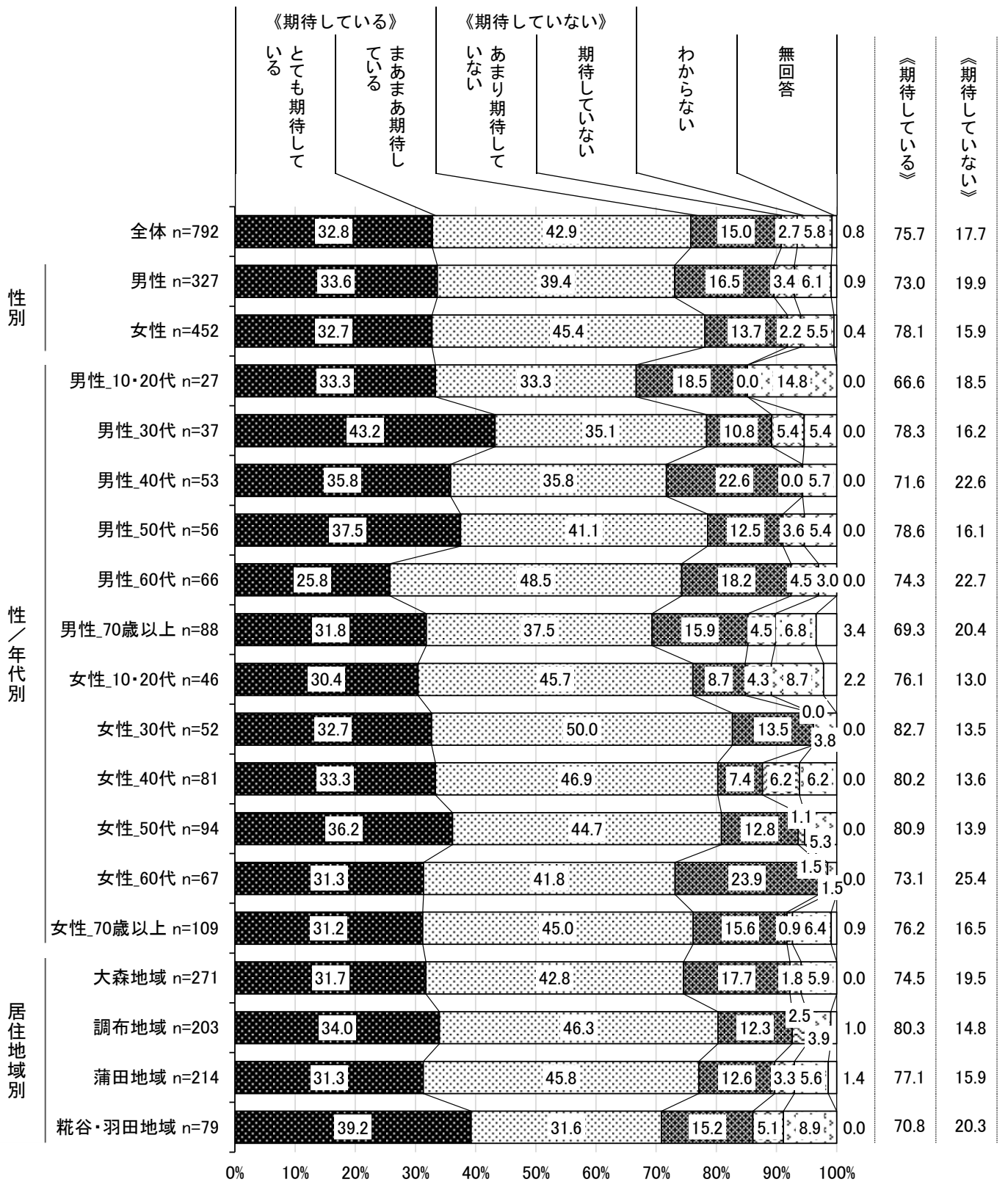
この取組による地域の魅力向上や活性化に期待していますか。(1つのみ)

駅周辺のまちづくりによる地域の魅力向上及び活性化への期待度については、「とても期待している」、「まあまあ期待している」の合計値《期待している》が75.7%である一方で、「あまり期待していない」、「期待していない」の合計値《期待していない》が17.7%と、《期待している》が58.0ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《期待している》は男性が73.0%、女性が78.1%と、女性が5.1ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《期待している》は女性30代で8割前半と高くなっている。
 居住地域別でみると、《期待している》は調布地域で約8割と高くなっている。



6 空港臨海部について

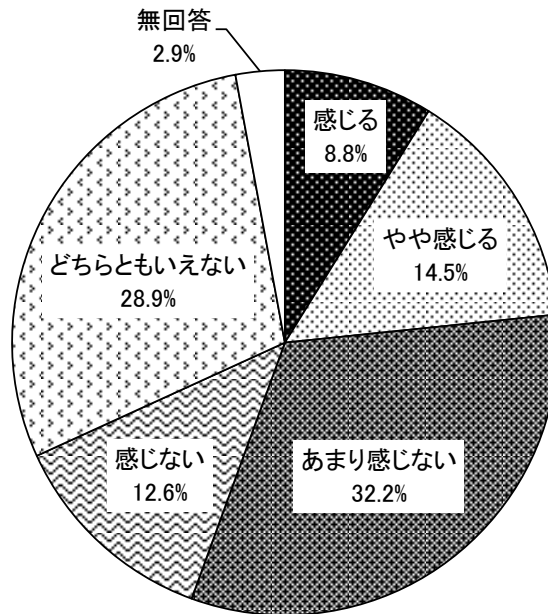
(1) 空港臨海部へのアクセス

◇ 《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）は2割前半となっている

問 18 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。（1つのみ）

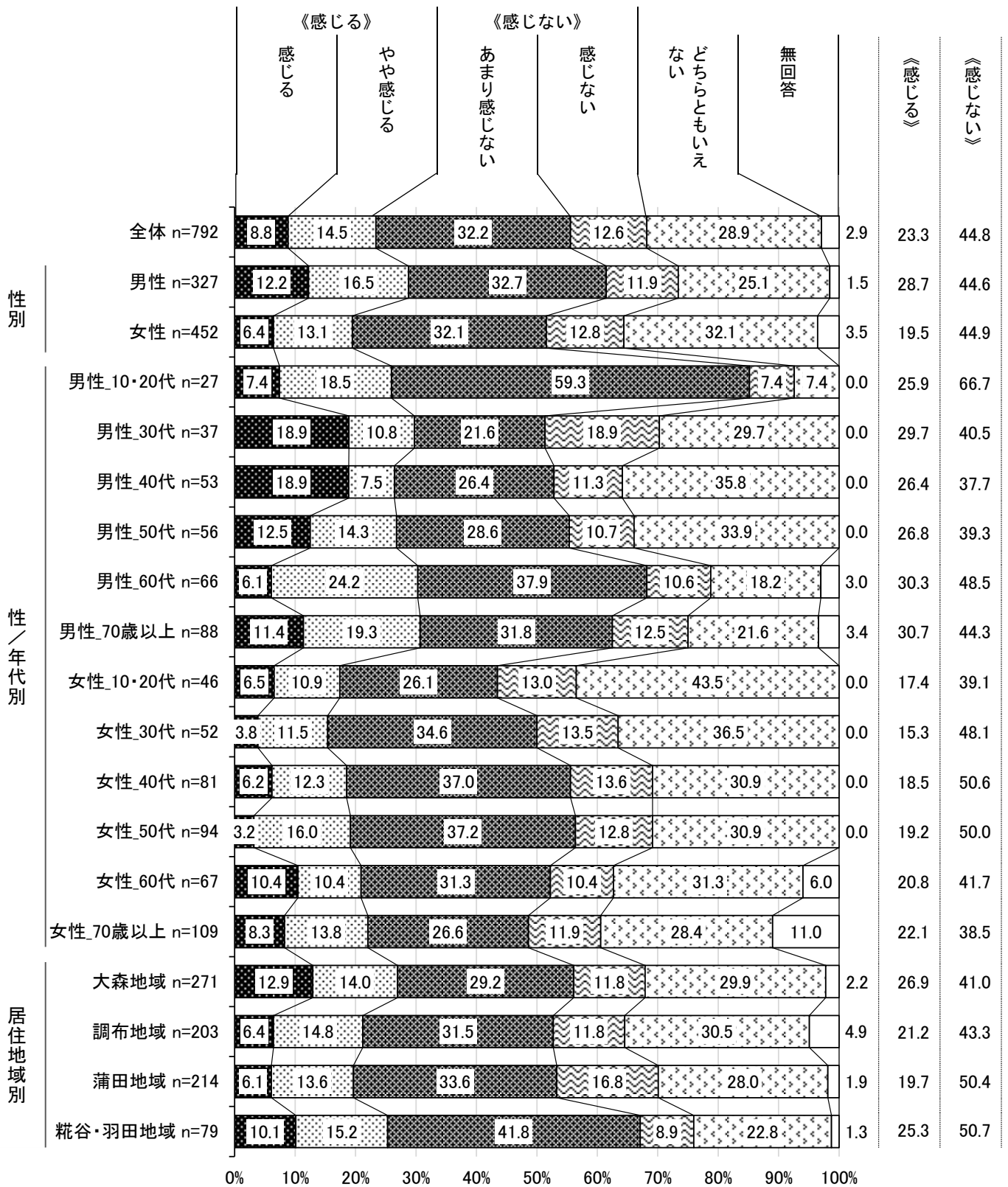
空港臨海部へアクセスしやすいと感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が23.3%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が44.8%と、《感じる》が21.5ポイント上回っている。

全体 n=792



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が28.7%、女性が19.5%と、男性が9.2ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《感じる》は男性60代、男性70歳以上で3割台となっている。
 居住地域別でみると、《感じる》は大森地域で2割後半と高くなっている。



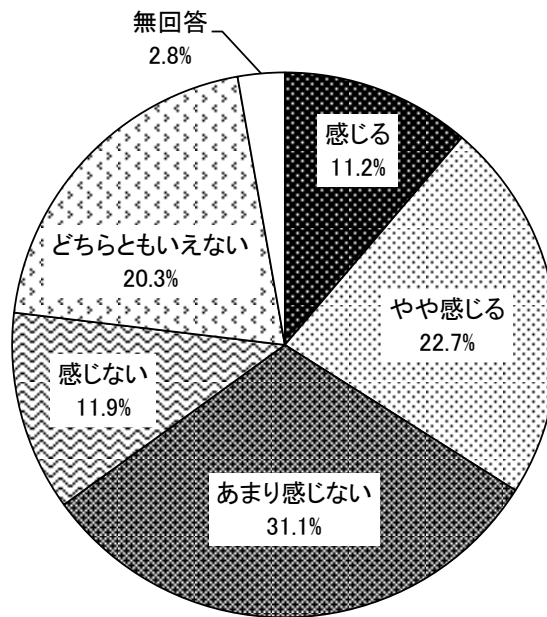
(2) 空港臨海部の魅力度

◇ 《感じる》(「感じる」、「やや感じる」の合計値)は3割前半となっている

問 19 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が33.9%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が43.0%と、《感じる》が9.1ポイント上回っている。

全体 n=792

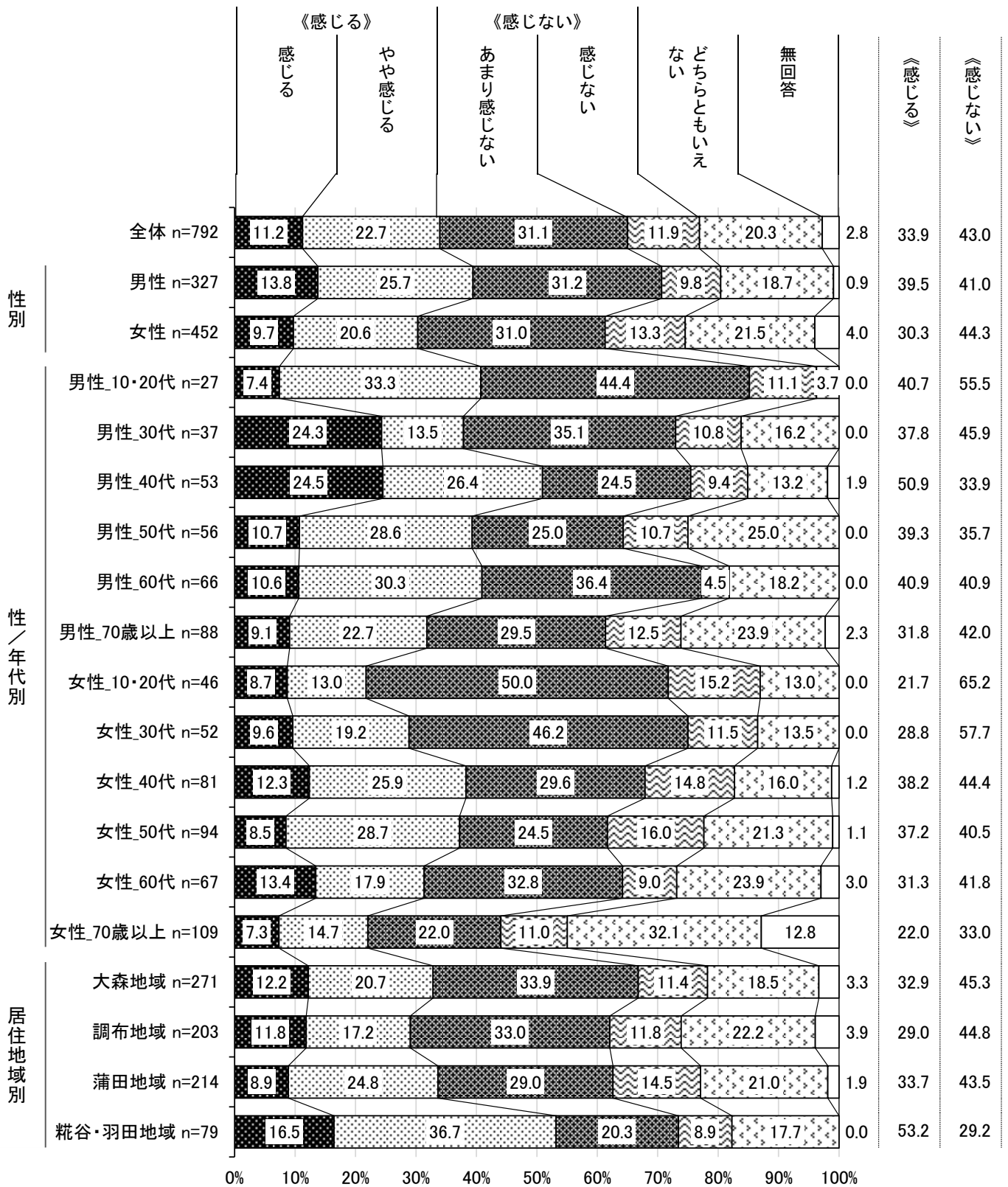


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が39.5%、女性が30.3%と、男性が9.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性40代で約5割と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



7 羽田空港跡地について

(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ

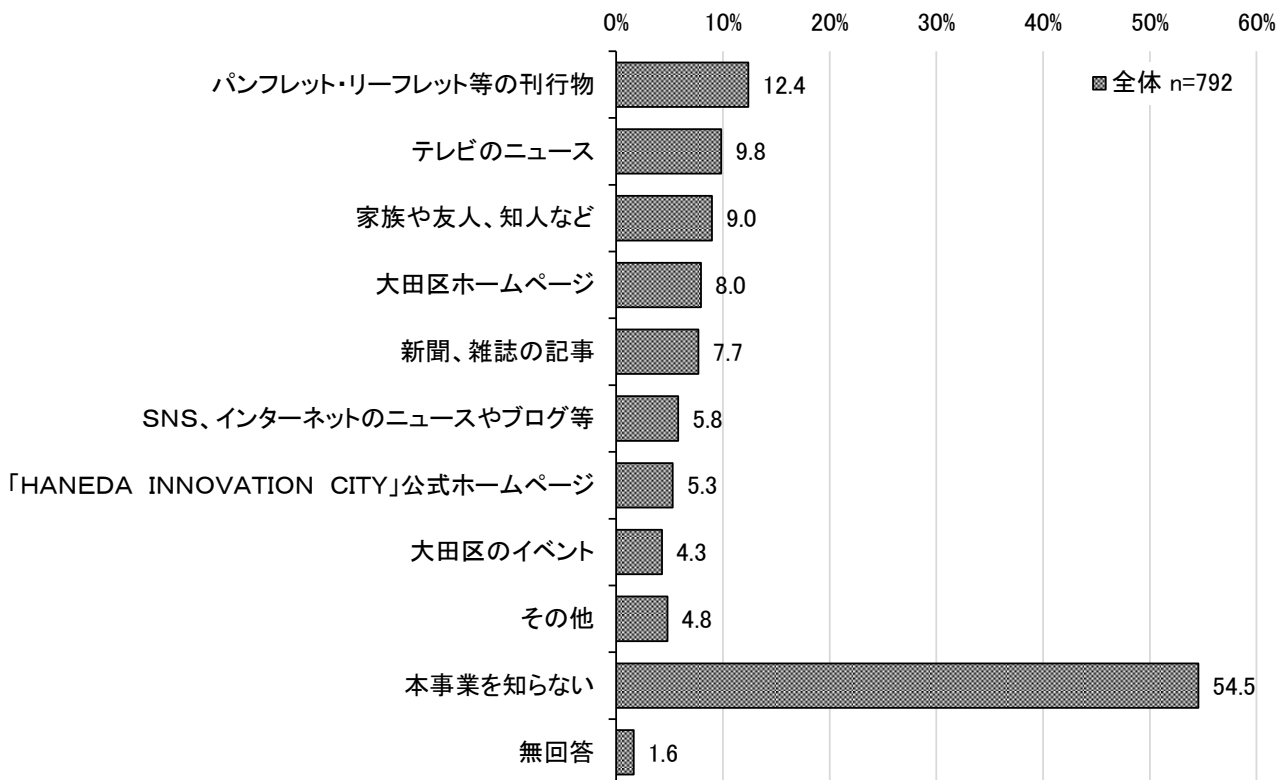
◇「本事業を知らない」が5割半ばとなっている

◇認知したきっかけは「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割前半で最も高くなっている

問 20 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(いくつでも)

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が12.4%で最も高く、次いで「テレビのニュース」が9.8%、「家族や友人、知人など」が9.0%となっている。

なお、「本事業を知らない」は54.5%となっている。

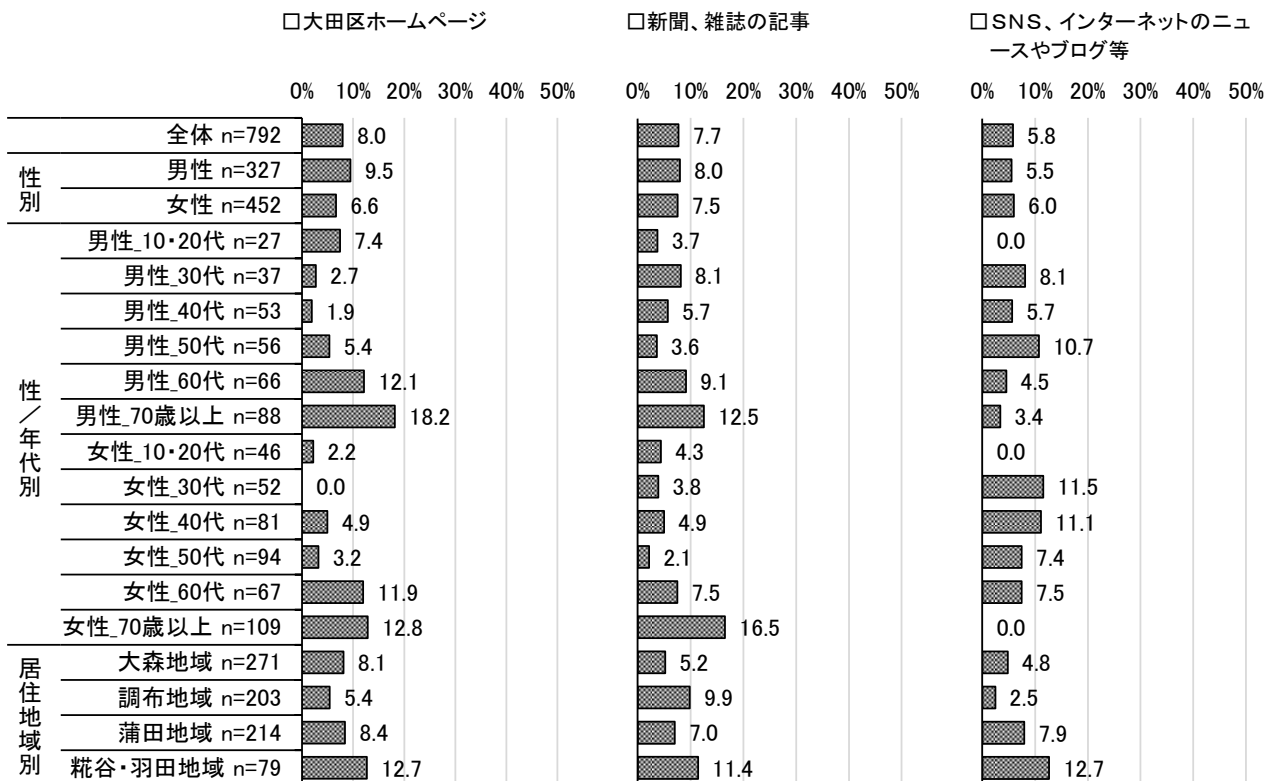
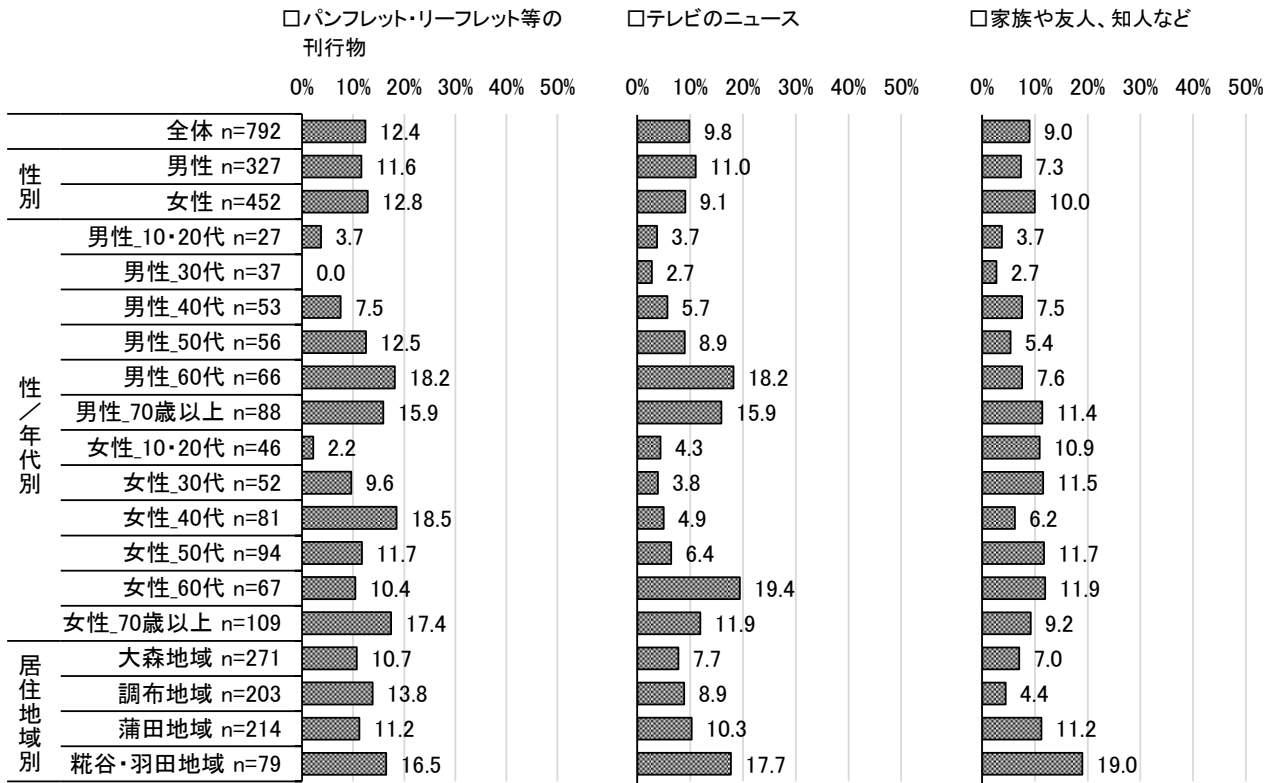


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」は男性では60代で1割後半、女性では40代で1割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割台となっている。「家族や友人、知人など」は糀谷・羽田地域で1割後半と高くなっている。



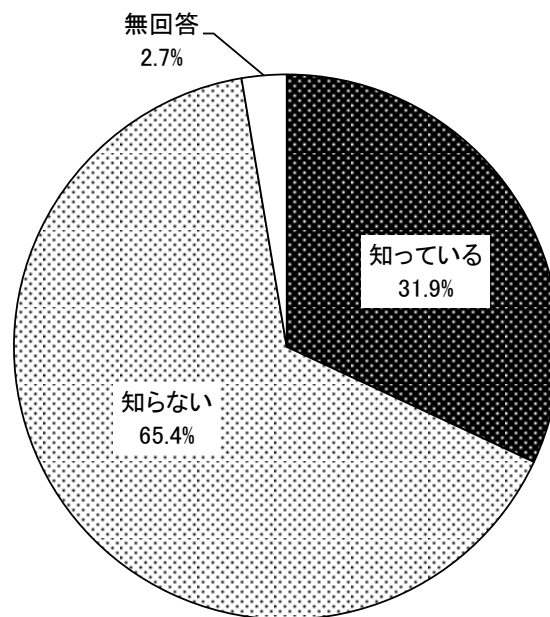
(2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

◇「知っている」は3割前半となっている

問 21 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」に開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。(1つのみ)

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が31.9%、「知らない」が65.4%と、「知らない」が33.5ポイント上回っている。

全体 n=792

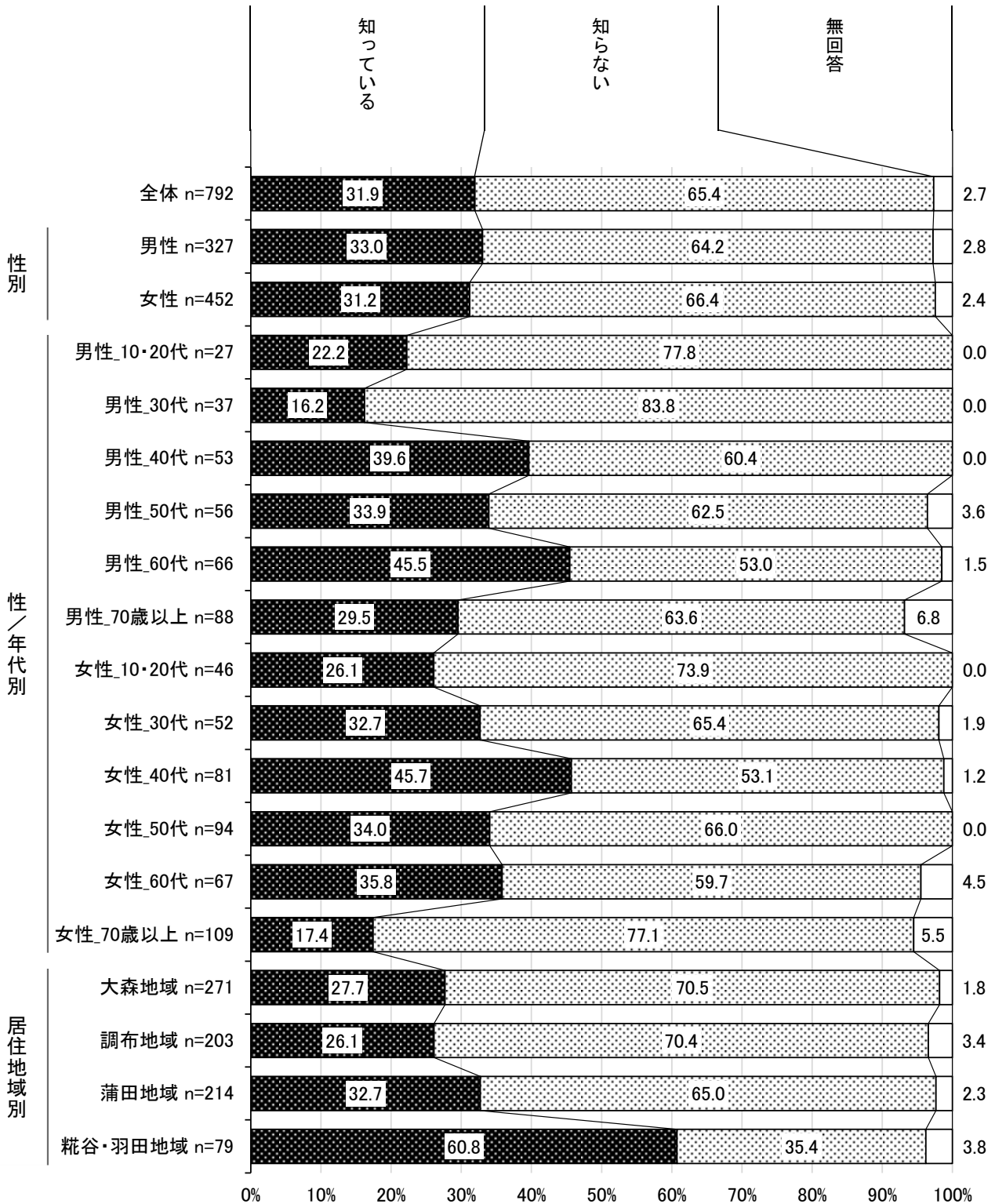


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では60代で4割半ば、女性では40代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糀谷・羽田地域で約6割と高くなっている。



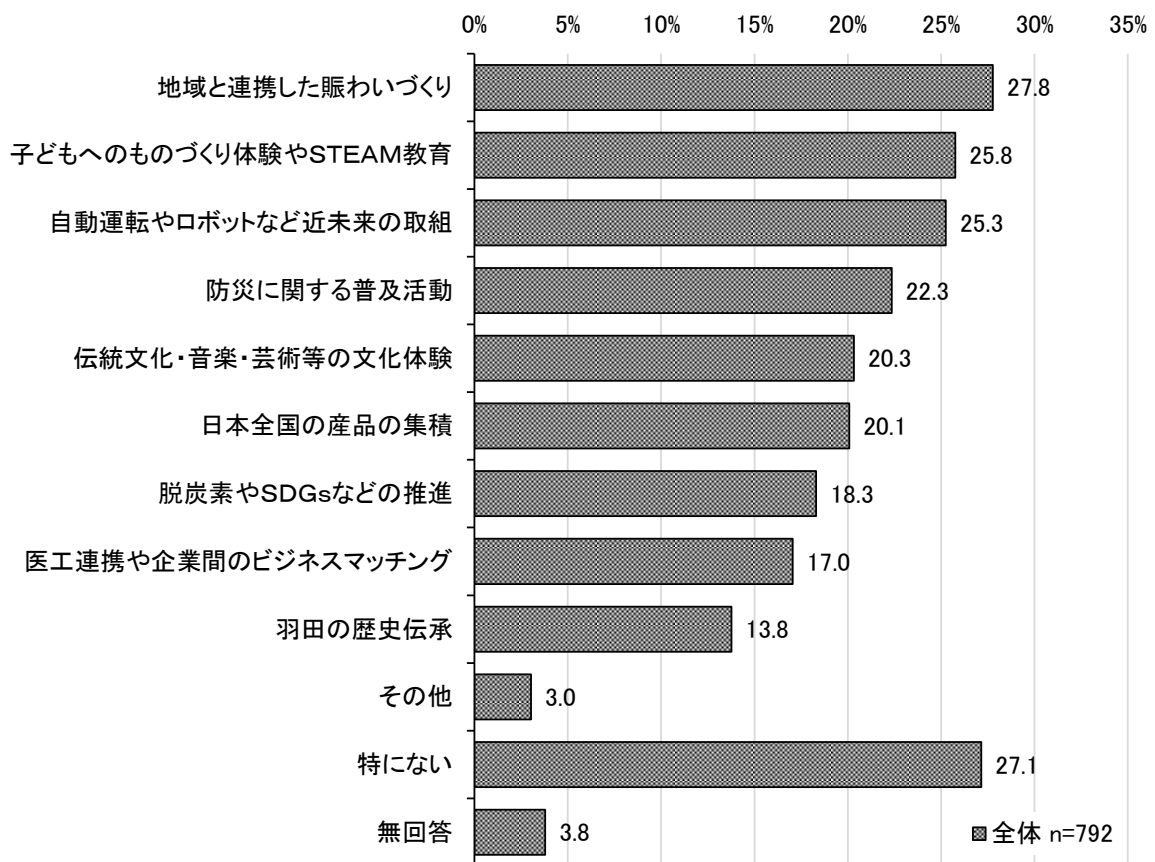
(3) 羽田イノベーションシティ・HICityの取組へ期待すること

◇「地域と連携した賑わいづくり」が2割後半で最も高くなっている

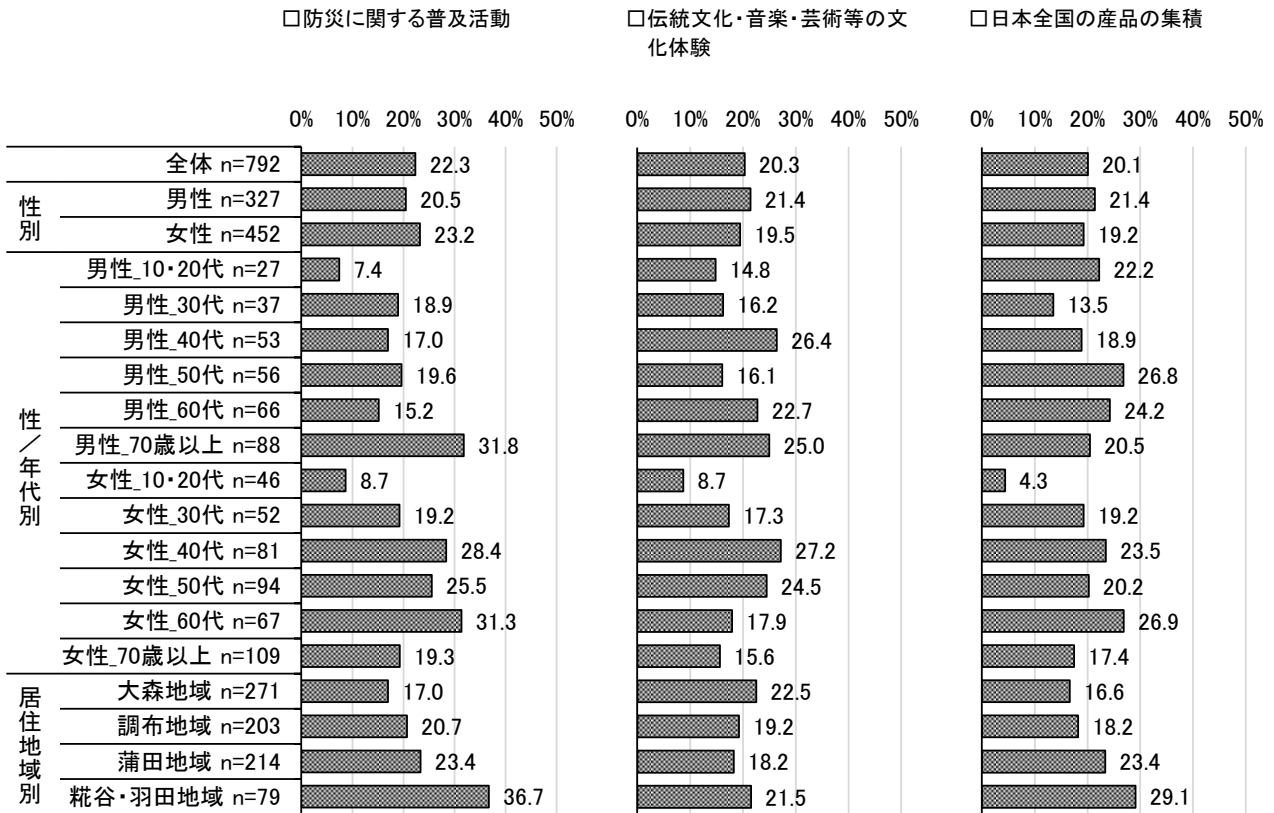
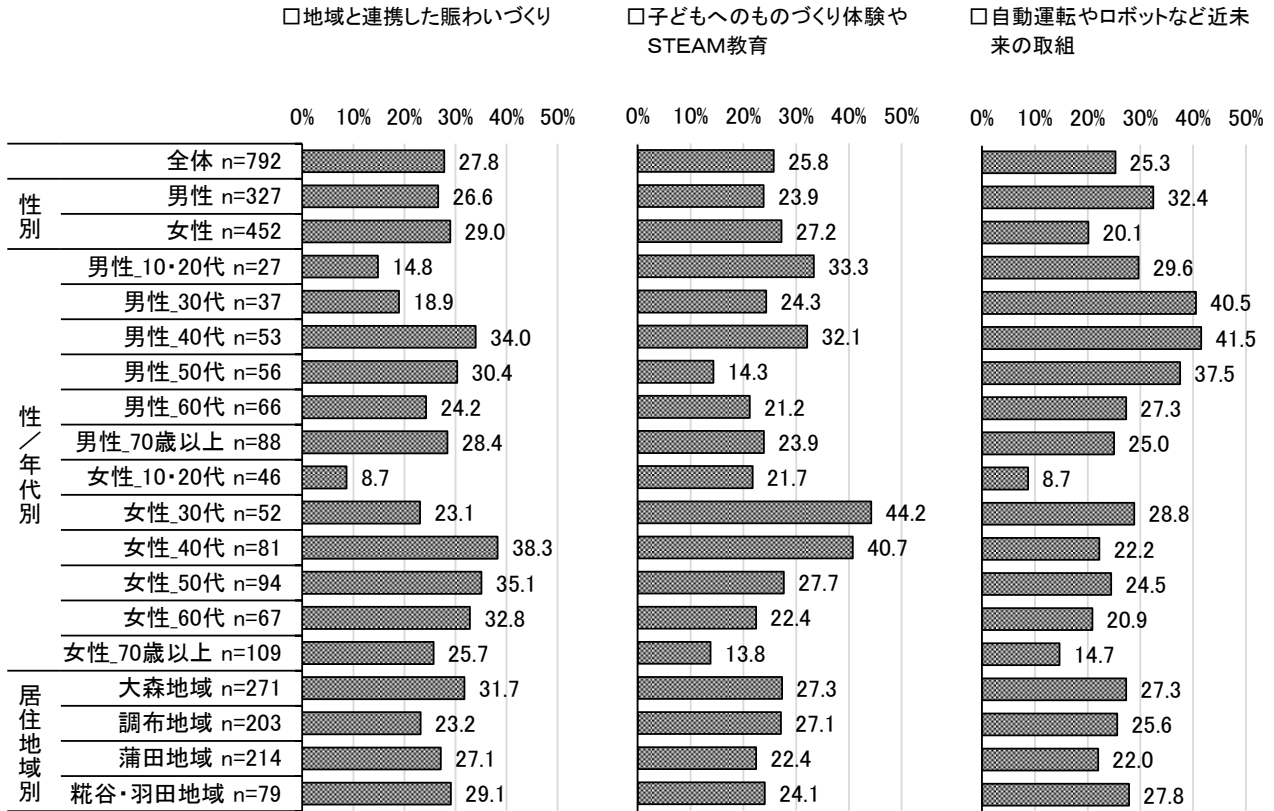
問 22 羽田イノベーションシティ・HICityの取組のうち、期待するものはありますか。 (いくつでも)

“羽田イノベーションシティ・HICity”の取組へ期待することについては、「地域と連携した賑わいづくり」が27.8%で最も高く、次いで「子どもへのものづくり体験やSTEAM教育」が25.8%、「自動運転やロボットなど近未来の取組」が25.3%となっている。

なお、「特にない」は27.1%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）



性別でみると、男性では「自動運転やロボットなど近未来の取組」が最も高く、女性では「地域と連携した賑わいづくり」が最も高くなっている。「自動運転やロボットなど近未来の取組」は男性が32.4%、女性が20.1%と、男性が12.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「地域と連携した賑わいづくり」は女性40代で3割後半と高くなっている。「子どもへのものづくり体験やSTEAM教育」は女性30代で4割半ばと高くなっている。「自動運転やロボットなど近未来の取組」は男性30代、男性40代で4割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「地域と連携した賑わいづくり」は大森地域で3割前半と高くなっている。「防災に関する普及活動」は糀谷・羽田地域で3割後半と高くなっている。

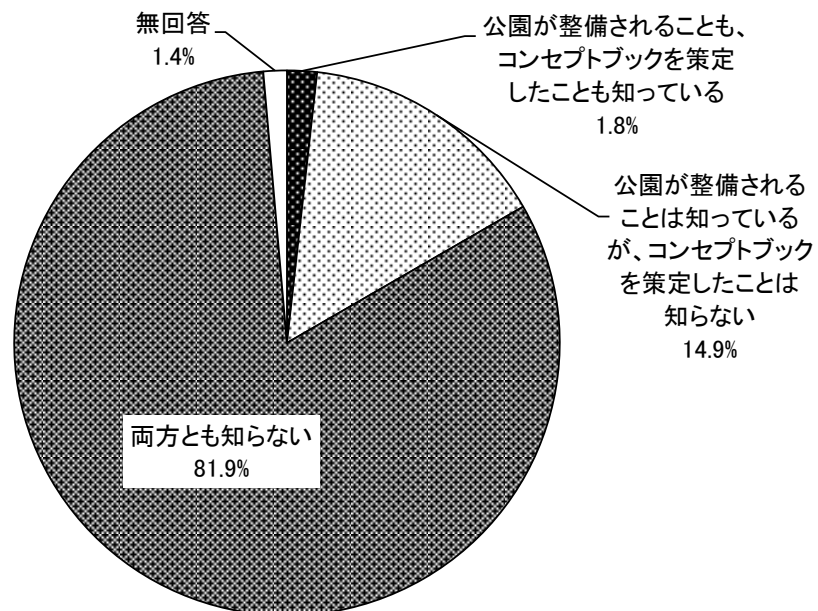
(4) 「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度

◇「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は1割未満となっている

問 23 羽田空港跡地第1ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。(1つのみ)

“羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック”の認知度については、「両方とも知らない」が81.9%で最も高く、次いで「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」が14.9%、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」が1.8%となっている。

全体 n=792

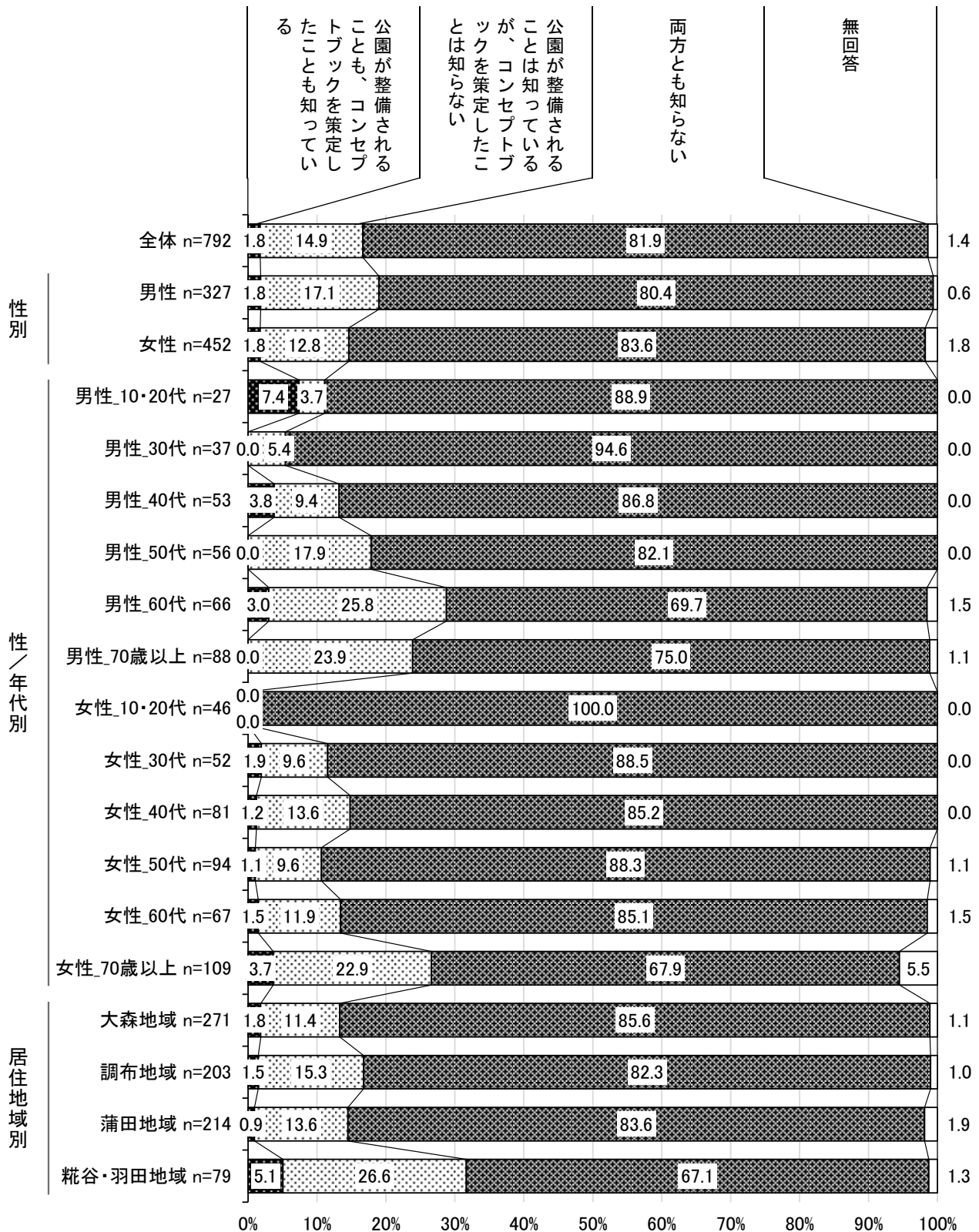


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」は男性60代、男性70歳以上、女性70歳以上で2割台となっている。

居住地域別でみると、「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」は糞谷・羽田地域で2割後半と高くなっている。

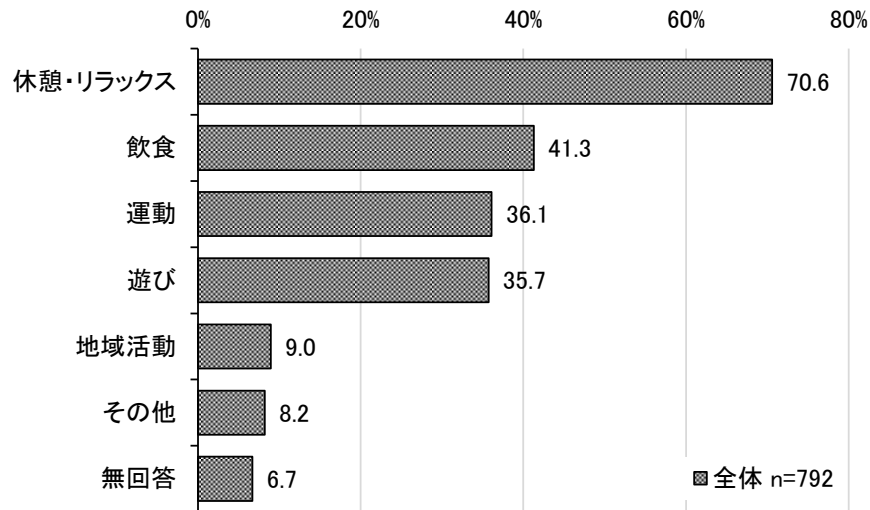


(5) 整備される公園でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が約7割で最も高くなっている

問 24 整備される予定の公園で、したいことはありますか。(いくつでも)

整備される公園でしたいことについては、「休憩・リラックス」が70.6%で最も高く、次いで「飲食」が41.3%、「運動」が36.1%となっている。

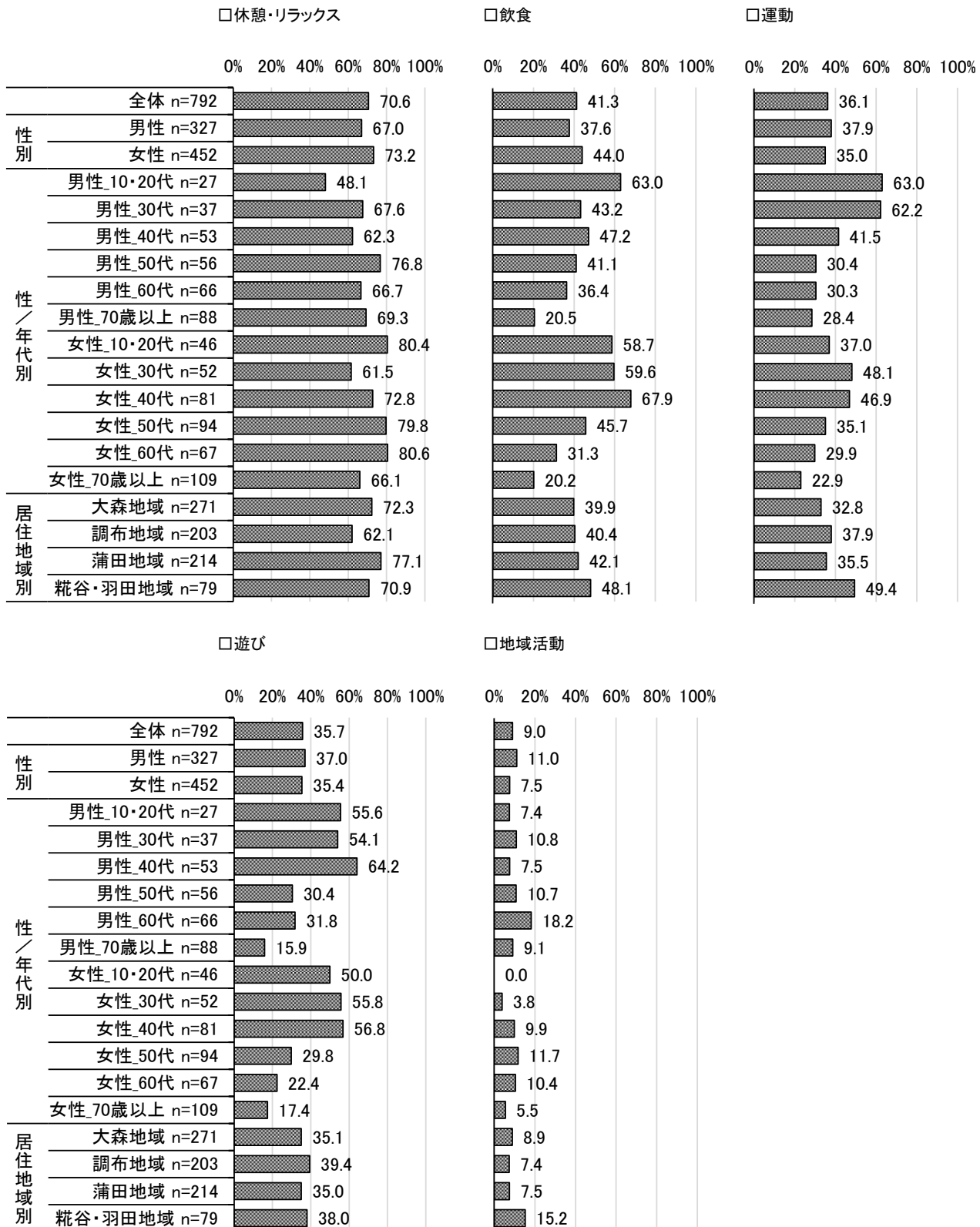


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「休憩・リラックス」は女性10・20代、女性50代、女性60代で約8割と高くなっている。「飲食」は女性40代で6割後半と高くなっている。「運動」は男性30代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、蒲田地域で7割後半となっている。

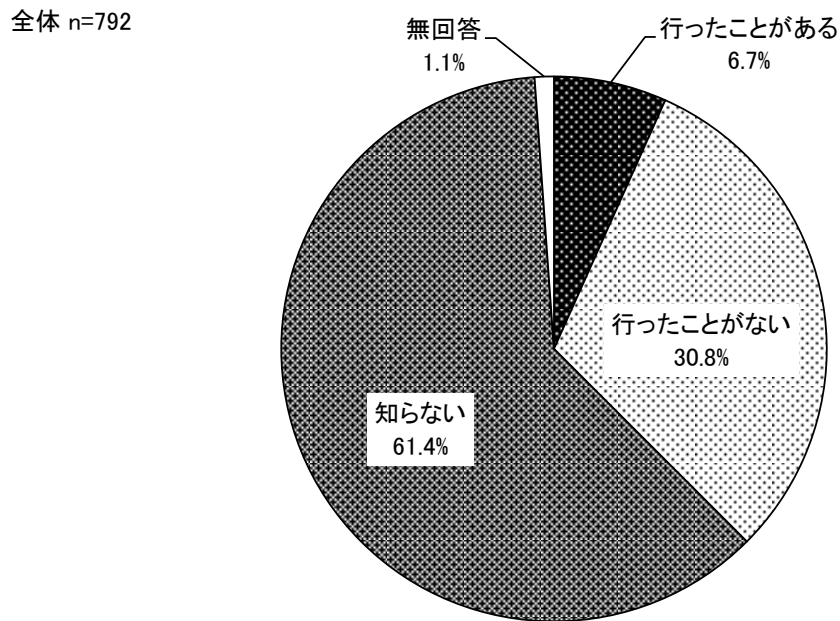


(6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況

◇「行ったことがある」は1割未満となっている

問 25 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に整備された「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）に行ったことはありますか。（1つのみ）

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が61.4%で最も高く、次いで「行ったことがない」が30.8%、「行ったことがある」が6.7%となっている。

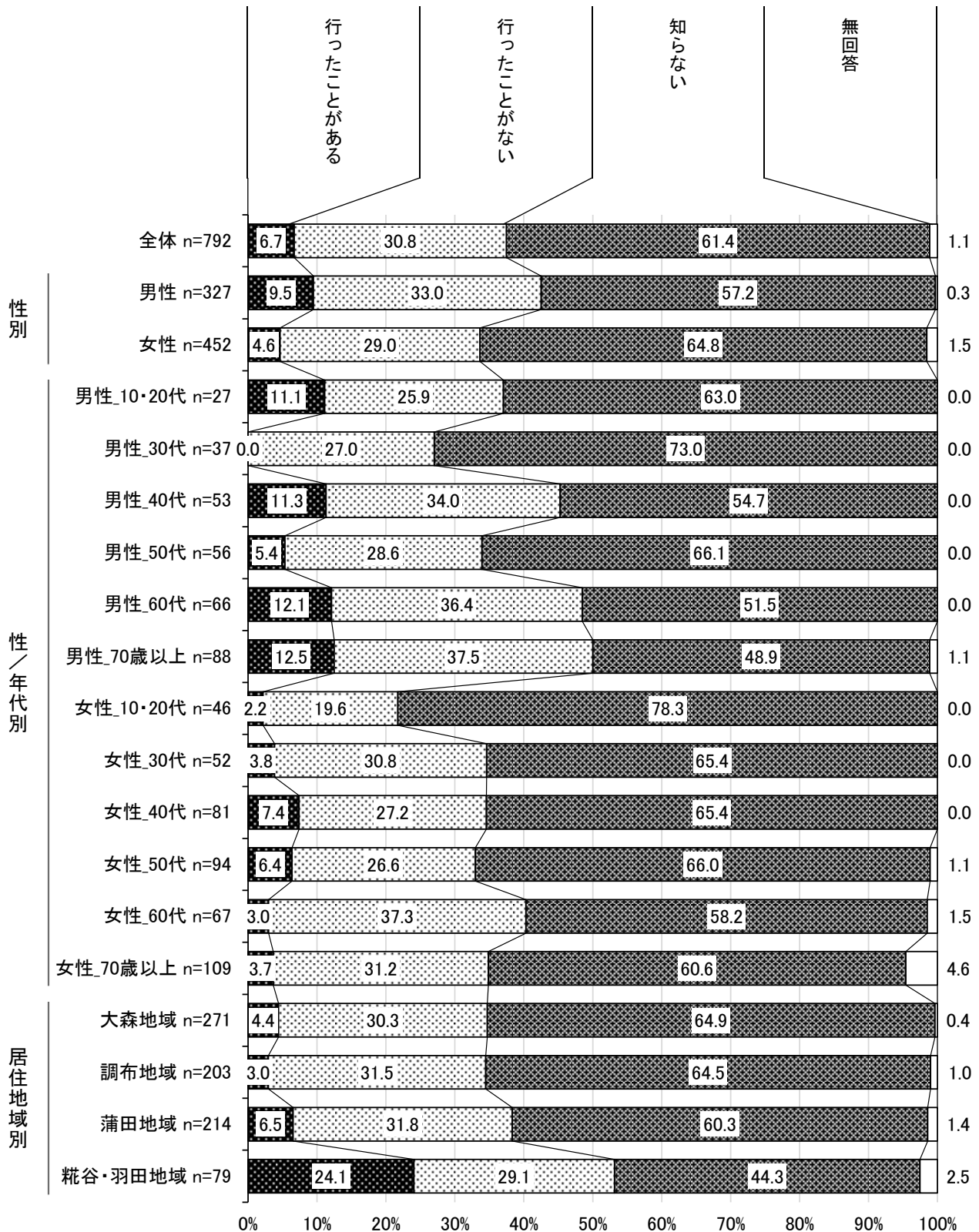


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「行ったことがある」に大きな差はみられないものの、「知らない」では男性が57.2%、女性が64.8%と、女性が7.6ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「行ったことがある」は男性40代、男性60代、男性70歳以上で1割台となっている。

居住地域別でみると、「行ったことがある」は糀谷・羽田地域で2割半ばと高くなっている。

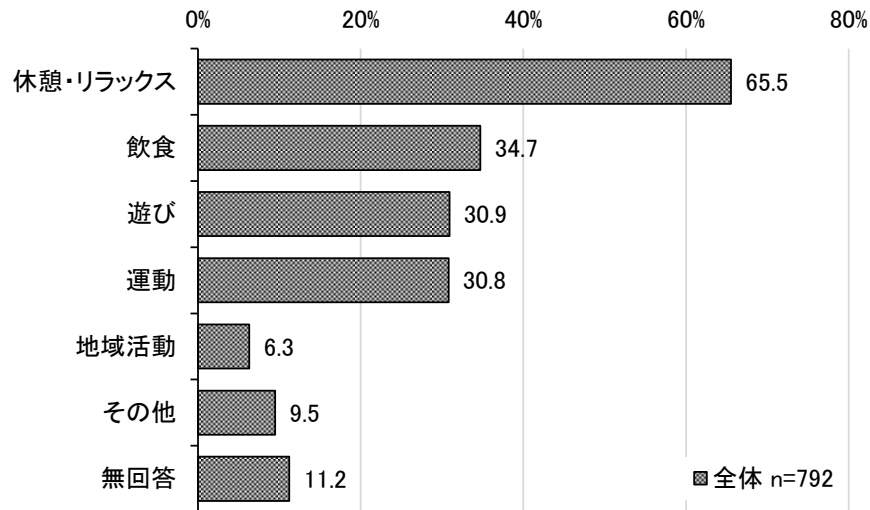


(7) 「ソラムナード羽田緑地」でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が6割半ばで最も高くなっている

問 26 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(いくつでも)

“ソラムナード羽田緑地”でしたいことについては、「休憩・リラックス」が65.5%で最も高く、次いで「飲食」が34.7%、「遊び」が30.9%となっている。

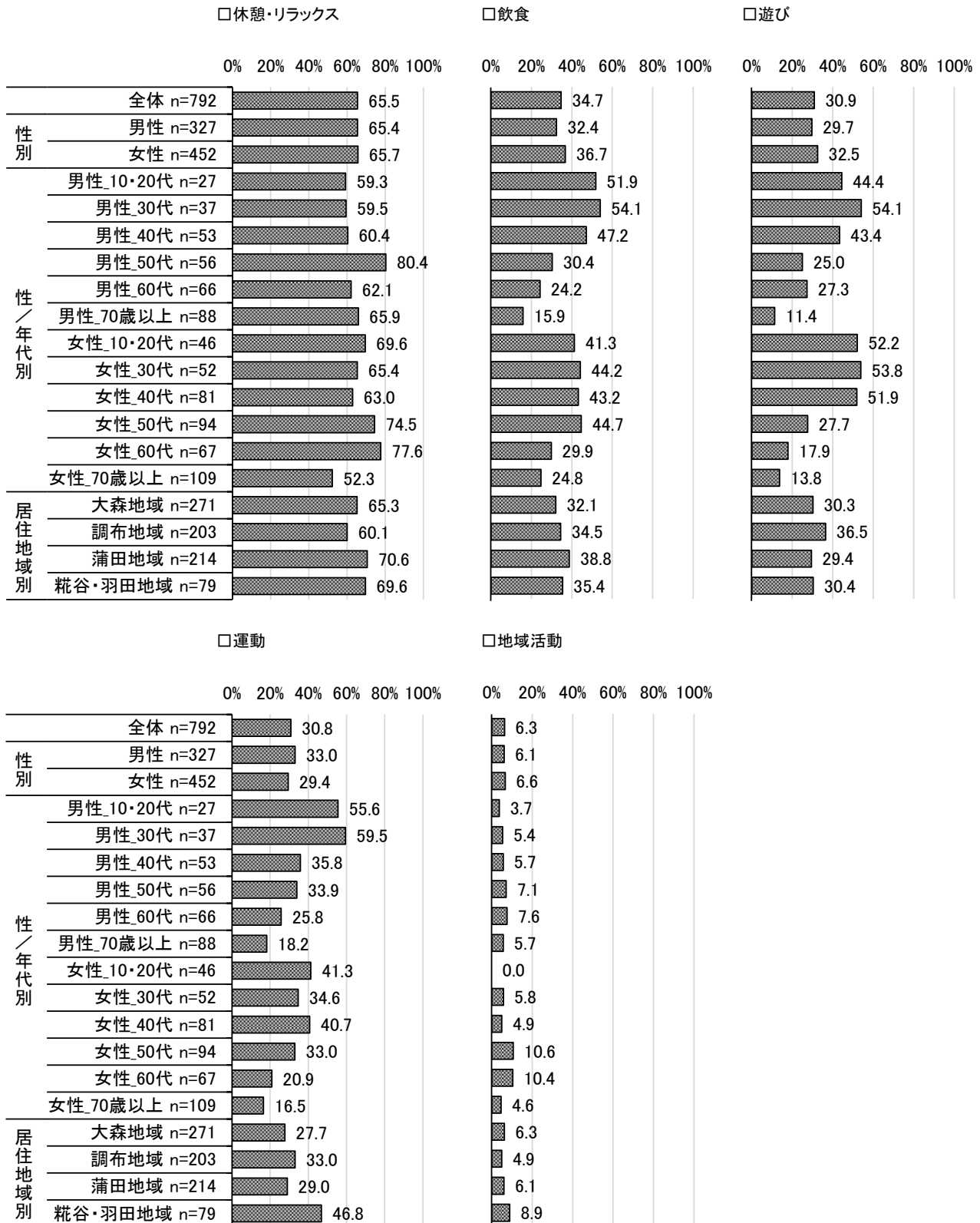


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「休憩・リラックス」は男性では50代で約8割、女性では60代で7割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、蒲田地域、糀谷・羽田地域で約7割となっている。



8 公園について

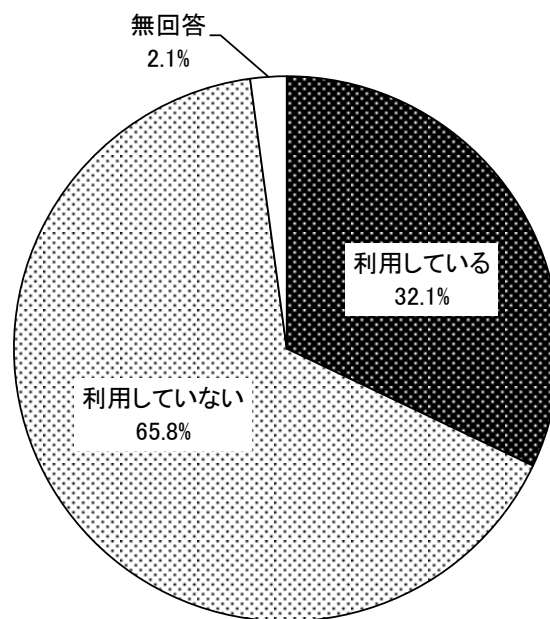
(1) 公園の利用状況

◇「利用している」は3割前半となっている

問 27 普段利用している公園がありますか。(1つのみ)
※利用している場合は、公園名をご記入ください。

公園の利用状況については、「利用している」が32.1%、「利用していない」が65.8%と、「利用していない」が33.7ポイント上回っている。

全体 n=792

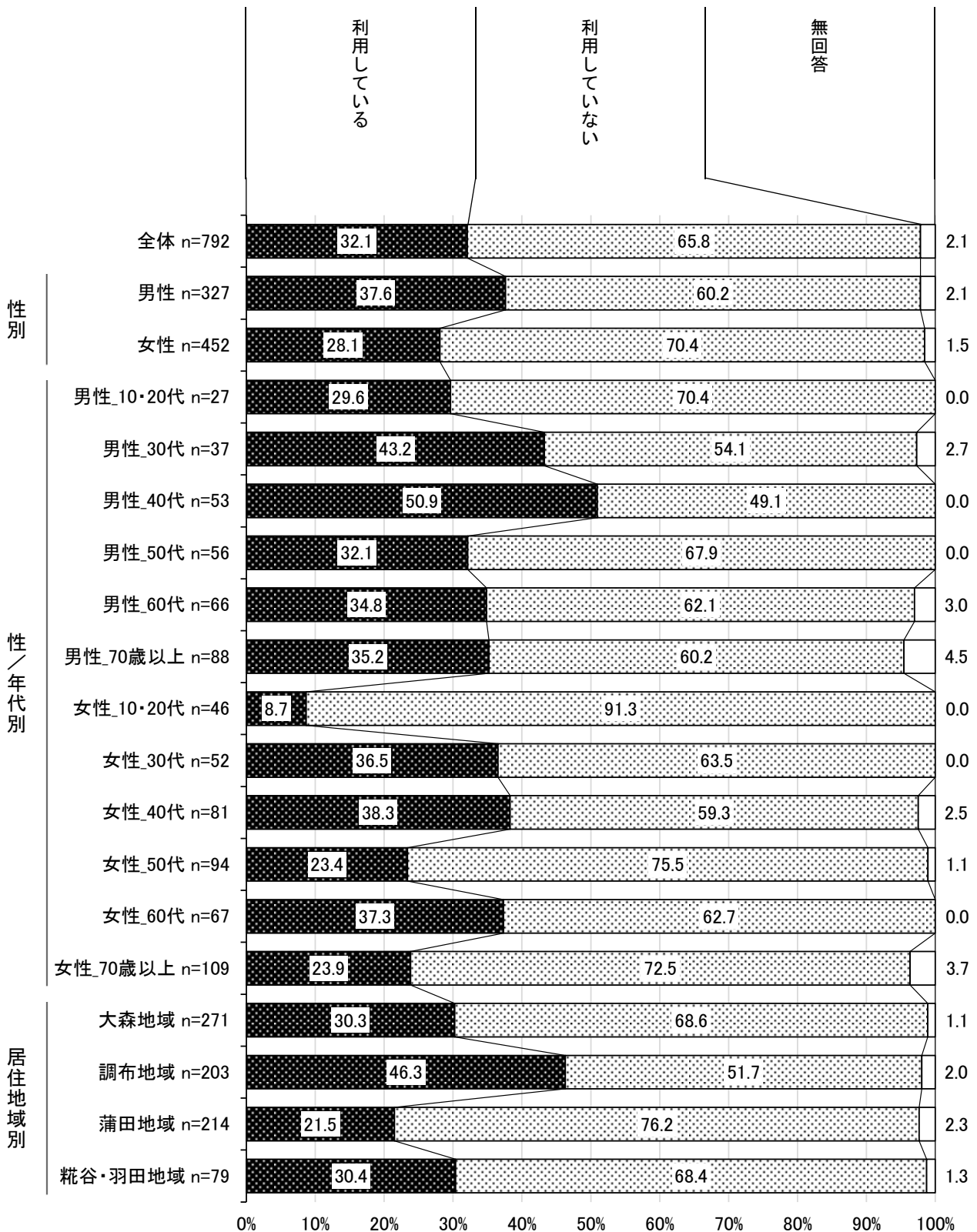


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「利用している」は男性が37.6%、女性が28.1%と、男性が9.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「利用している」は男性40代で約5割となっている。

居住地域別でみると、「利用している」は調布地域で4割後半と高くなっている。



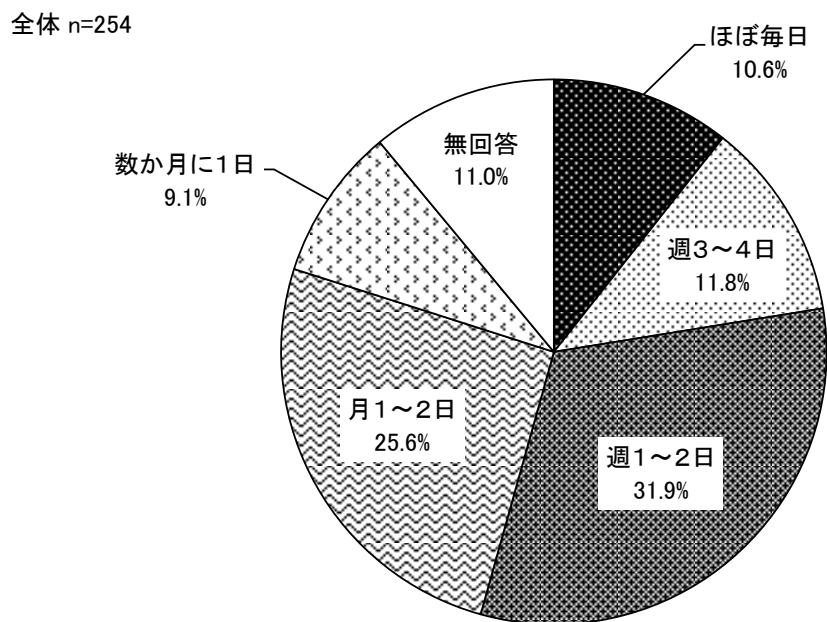
(2) 公園の利用頻度

◇「週1～2日」が3割前半で最も高くなっている

【問27で「利用している」と回答した方に伺います。】

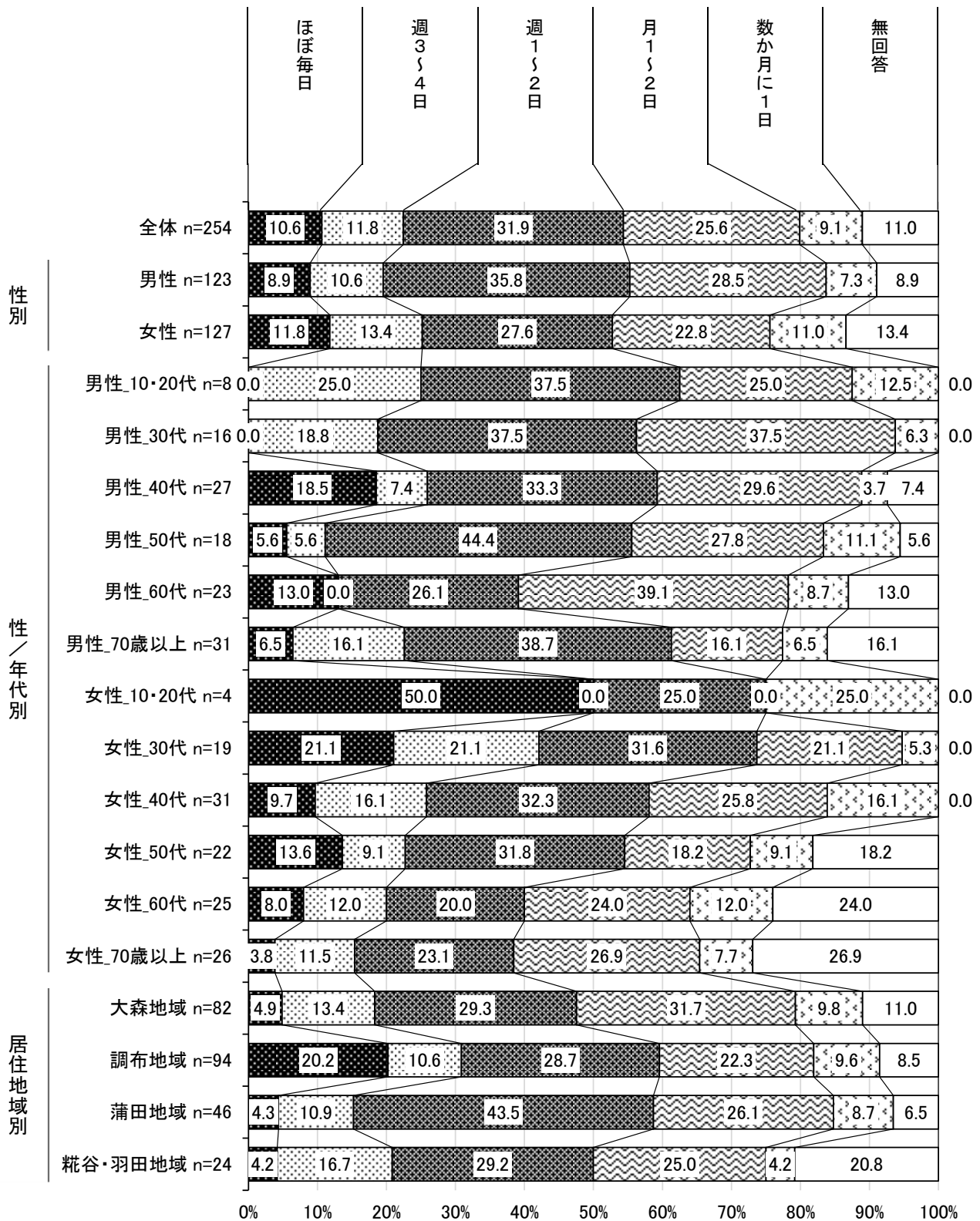
問27-1 公園の利用頻度はどのくらいですか。(1つのみ)

公園の利用頻度については、「週1～2日」が31.9%で最も高く、次いで「月1～2日」が25.6%、「週3～4日」が11.8%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「週1～2日」は男性が35.8%、女性が27.6%と、男性が8.2ポイント上回っている。



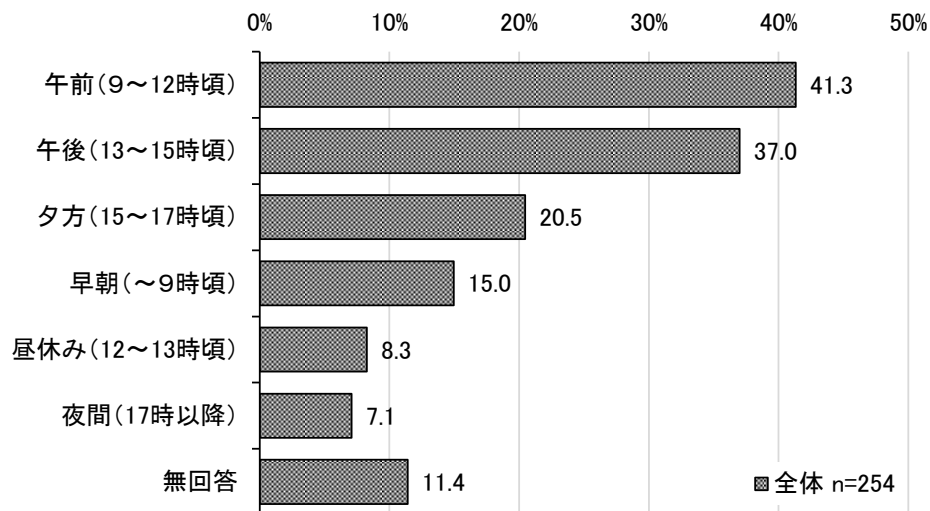
(3) 公園を利用している主な時間帯

◇「午前（9～12時頃）」が4割前半で最も高くなっている

【問 27で「利用している」と回答した方に伺います。】

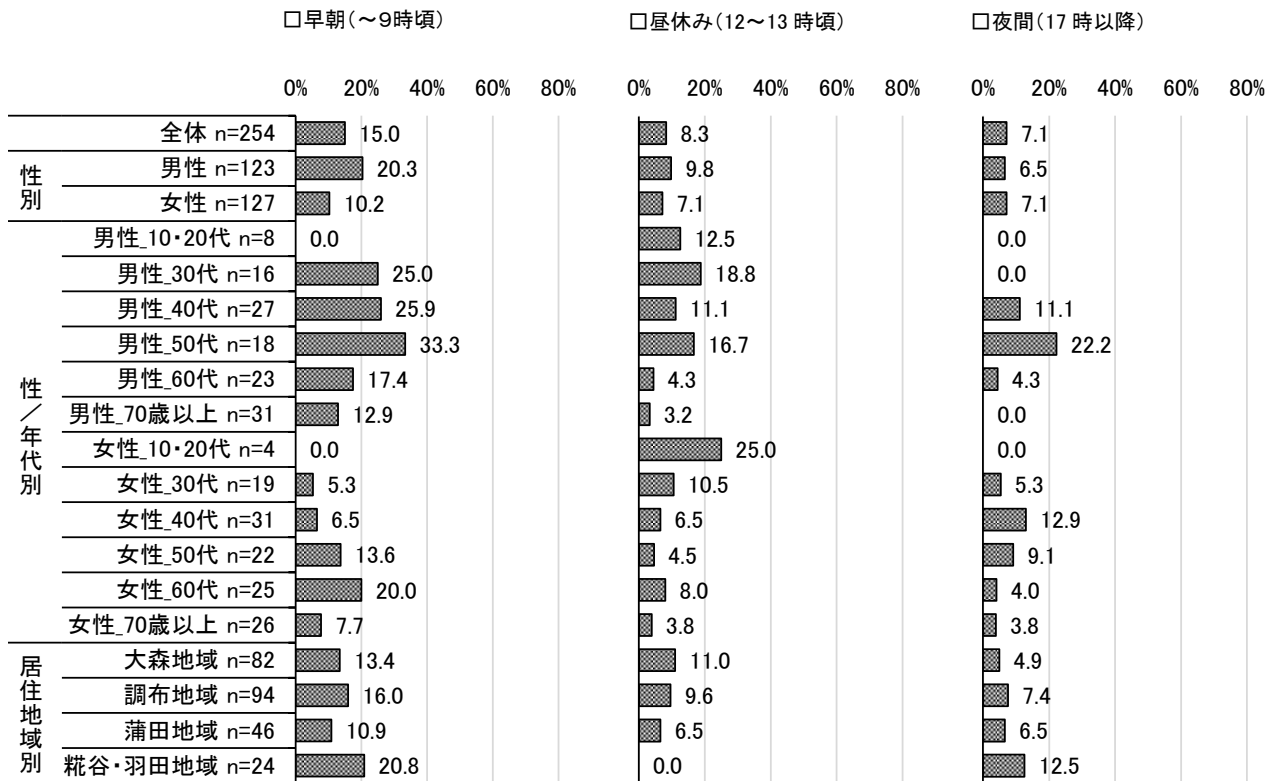
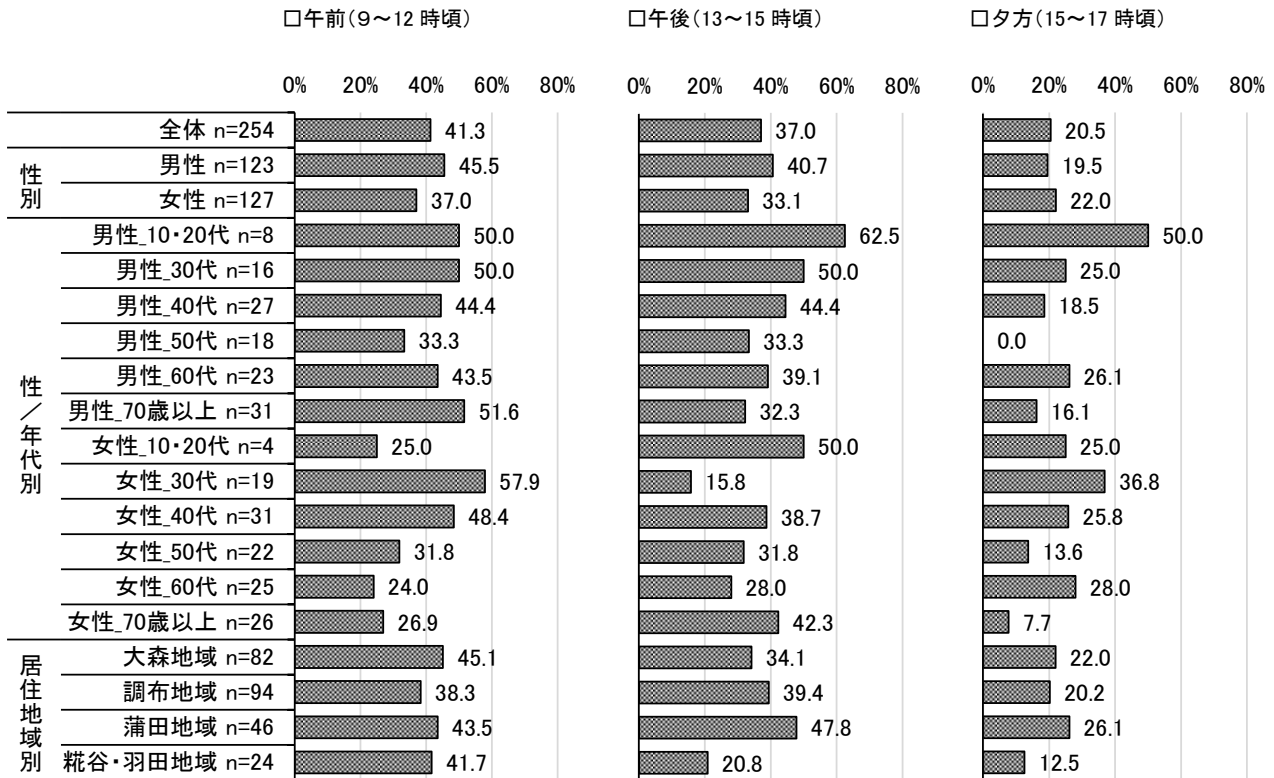
問 27-2 公園を利用する主な時間帯はいつですか。（2つまで）

公園を利用している主な時間帯については、「午前（9～12時頃）」が41.3%で最も高く、次いで「午後（13～15時頃）」が37.0%、「夕方（15～17時頃）」が20.5%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「午前（9～12時頃）」が最も高く、男性が45.5%、女性が37.0%と、男性が8.5ポイント上回っている。



(4) 公園のトイレの利用状況

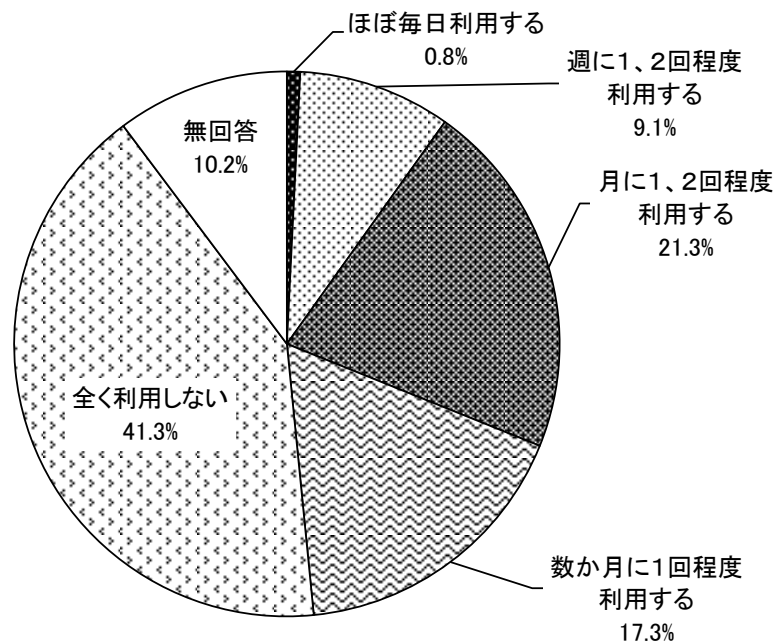
◇「月に1、2回程度利用する」が2割前半となっている

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

問 27-3 公園のトイレを利用していますか。(1つのみ)

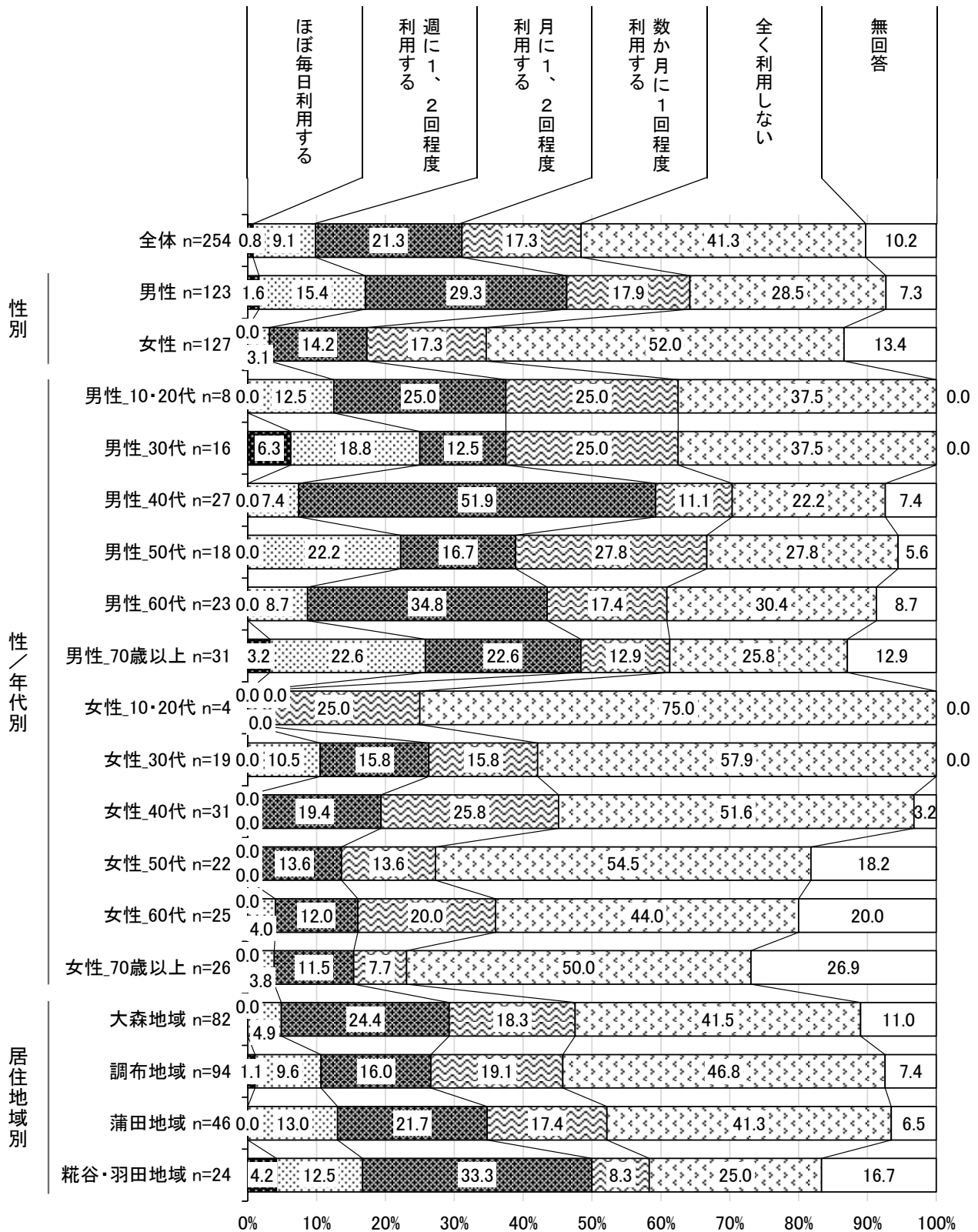
公園のトイレの利用状況については、「月に1、2回程度利用する」が21.3%で最も高く、次いで「数か月に1回程度利用する」が17.3%、「週に1、2回程度利用する」が9.1%となっている。
なお、「全く利用しない」は41.3%となっている。

全体 n=254



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「月に1、2回程度利用する」は男性が29.3%、女性が14.2%と、男性が15.1ポイント上回っている。



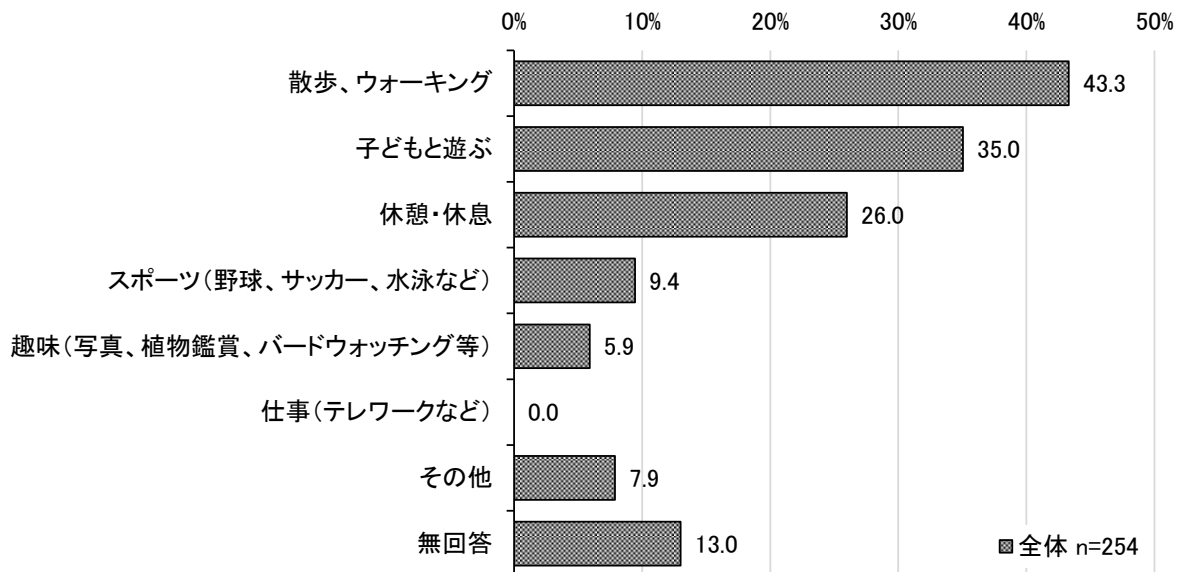
(5) 公園の利用目的

◇「散歩、ウォーキング」が4割前半で最も高くなっている

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

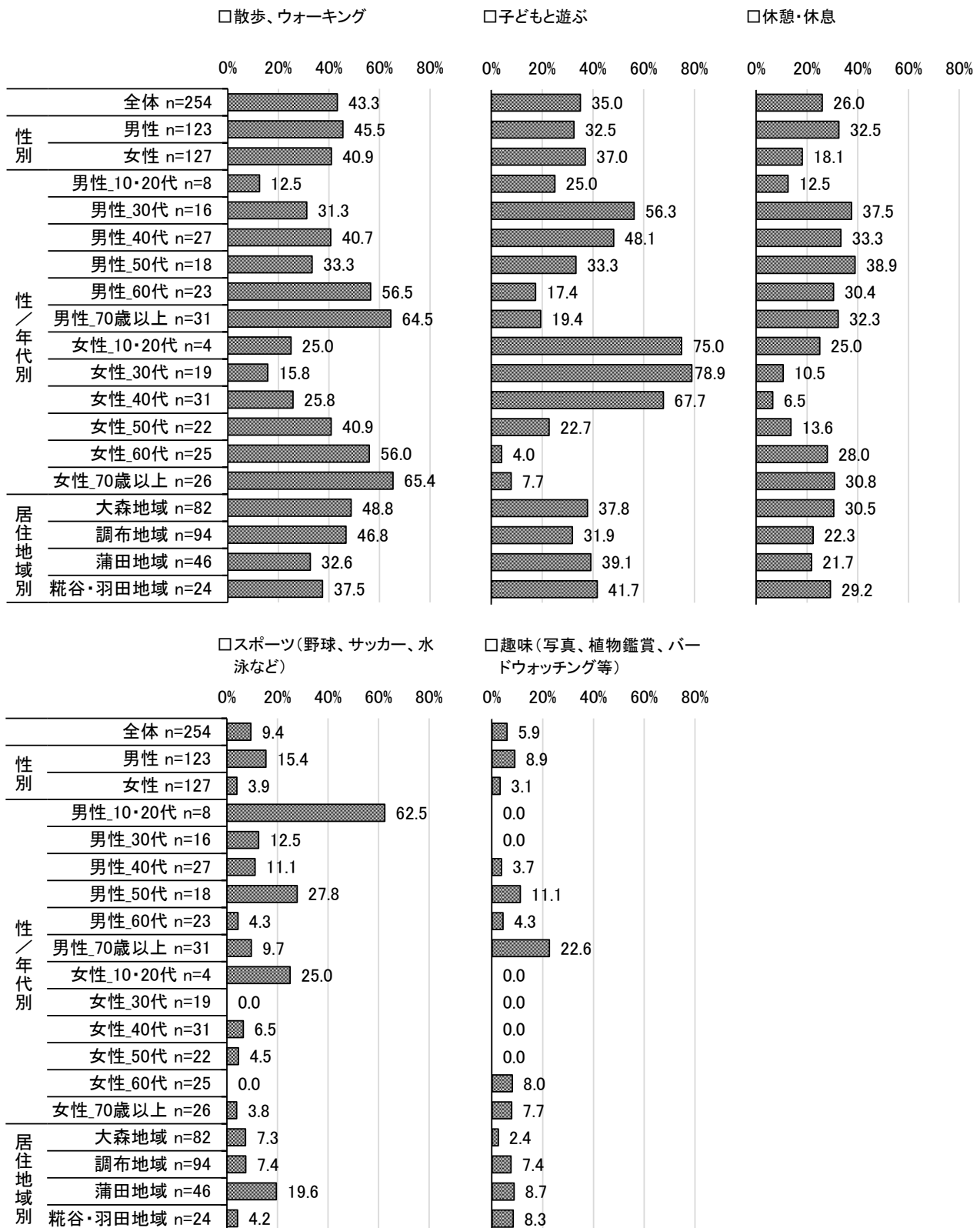
問 27-4 公園をどのような目的で利用していますか。(いくつでも)

公園の利用目的については、「散歩、ウォーキング」が 43.3%で最も高く、次いで「子どもと遊ぶ」が 35.0%、「休憩・休息」が 26.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「散歩、ウォーキング」が最も高く、男性が45.5%、女性が40.9%と、男性が4.6ポイント上回っている。「休憩・休息」は男性が32.5%、女性が18.1%と、男性が14.4ポイント上回っている。



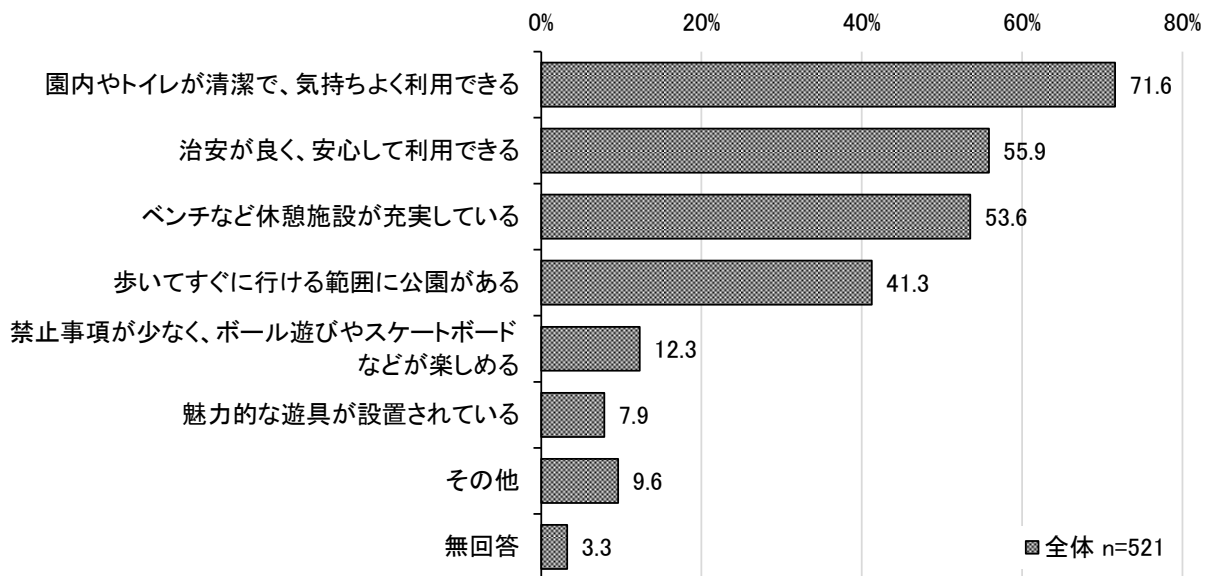
(6) 利用したいと思う公園

◇「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」が7割前半で最も高くなっている

【問 27 で「利用していない」と回答した方に伺います。】

問 27-5 どのような公園であれば利用したいと思えますか。(いくつでも)

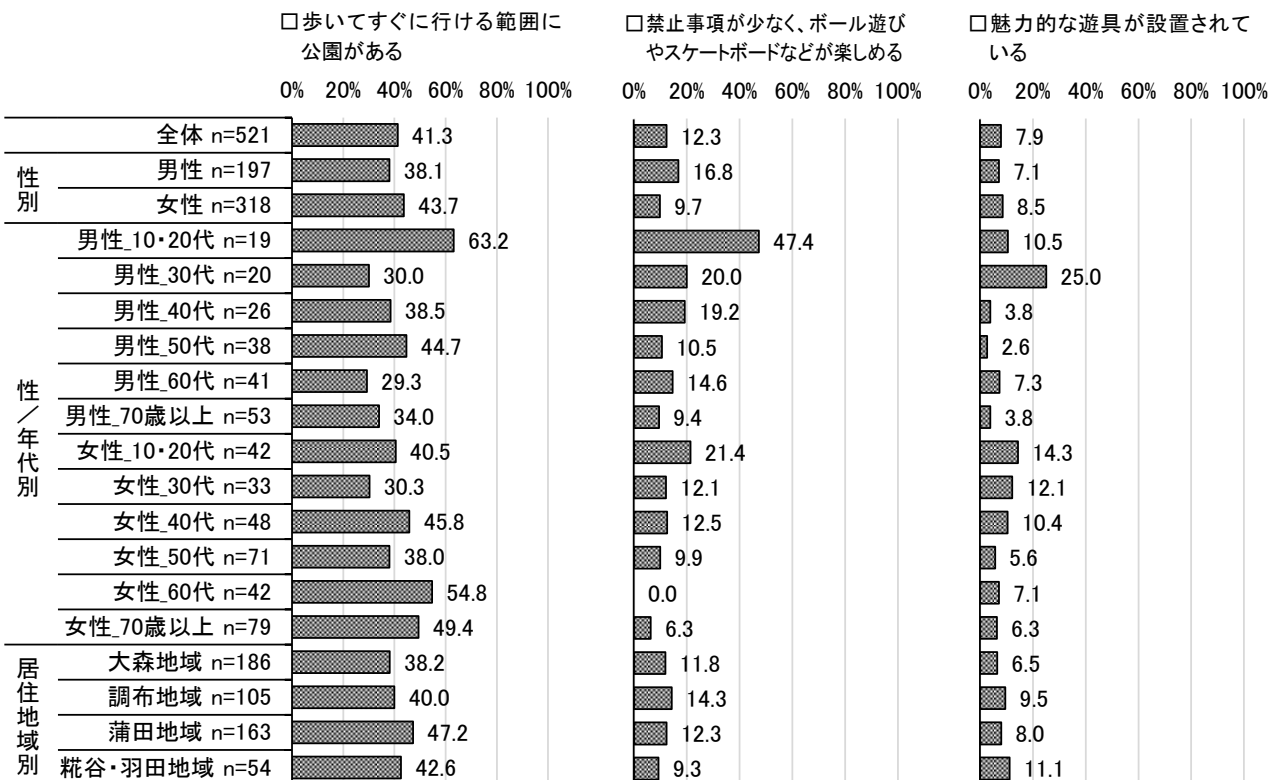
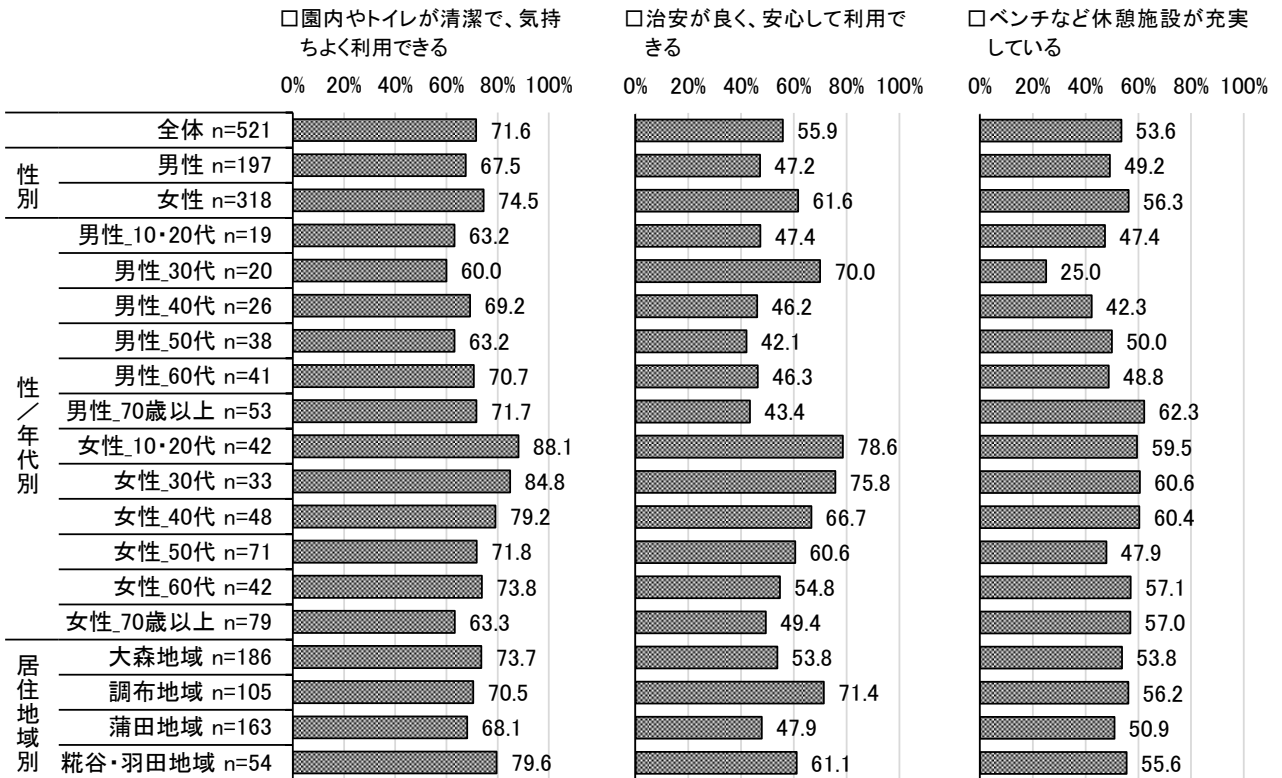
利用したいと思う公園については、「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」が71.6%で最も高く、次いで「治安が良く、安心して利用できる」が55.9%、「ベンチなど休憩施設が充実している」が53.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」が最も高く、男性が67.5%、女性が74.5%と、女性が7.0ポイント上回っている。「治安が良く、安心して利用できる」は男性が47.2%、女性が61.6%と、女性が14.4ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる」は糞谷・羽田地域で約8割と高くなっている。「治安が良く、安心して利用できる」は調布地域で7割前半と高くなっている。



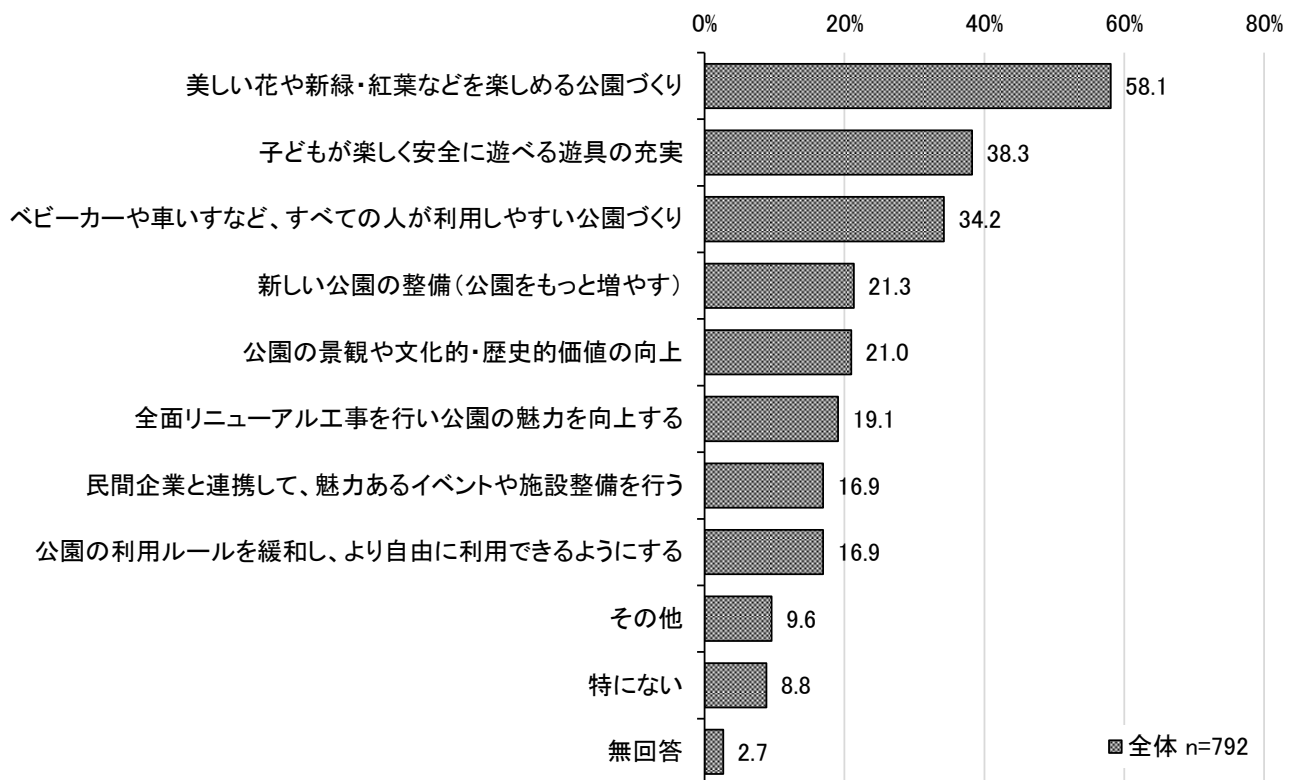
(7) 大田区の公園行政に期待すること

◇「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が5割後半で最も高くなっている

問 28 大田区の公園行政に期待することは何ですか。(いくつでも)

大田区の公園行政に期待することについては、「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が58.1%で最も高く、次いで「子どもが楽しく安全に遊べる遊具の充実」が38.3%、「ベビーカーや車いすなど、すべての人が利用しやすい公園づくり」が34.2%となっている。

なお、「特にない」は8.8%となっている。

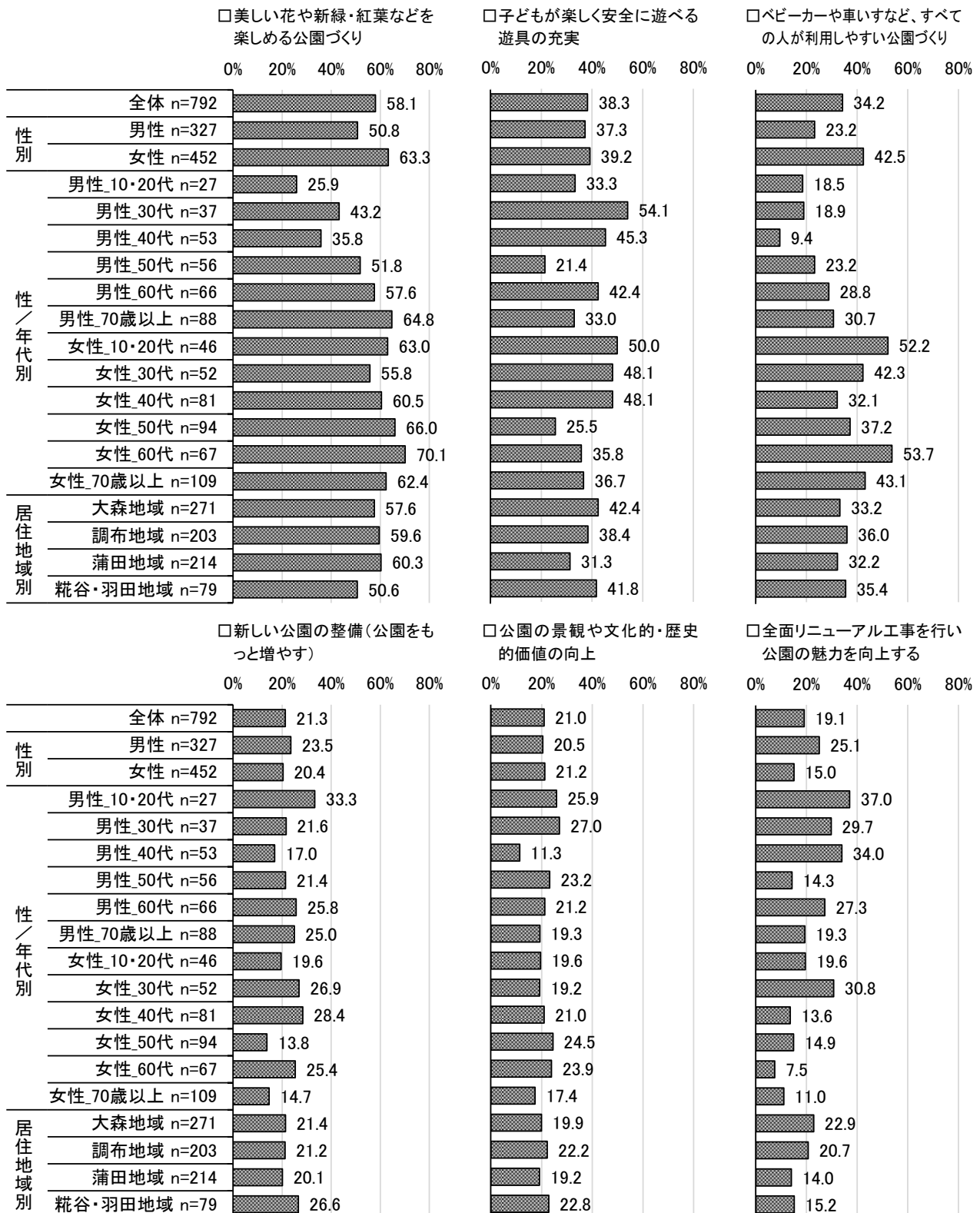


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が最も高く、男性が50.8%、女性が63.3%と、女性が12.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」は女性60代で約7割と高くなっている。「ベビーカーや車いすなど、すべての人が利用しやすい公園づくり」は女性10・20代、女性60代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり」が最も高く、調布地域、蒲田地域で約6割となっている。



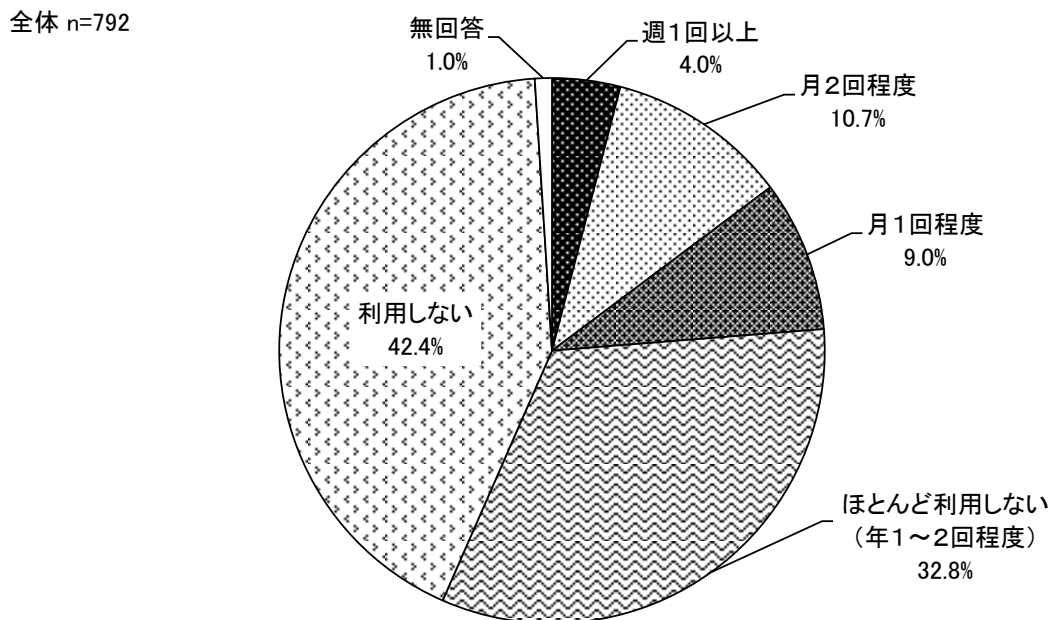
9 図書館について

(1) 図書館等の利用頻度

◇ 《利用している》（「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値）は2割前半となっている

**問 29 あなたは、大田区立図書館又は大田文化の森情報館をどのくらい利用していますか。
（1つのみ）**

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》が23.7%である一方で、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」、「利用しない」の合計値《利用しない》が75.2%と、《利用しない》が51.5ポイント上回っている。

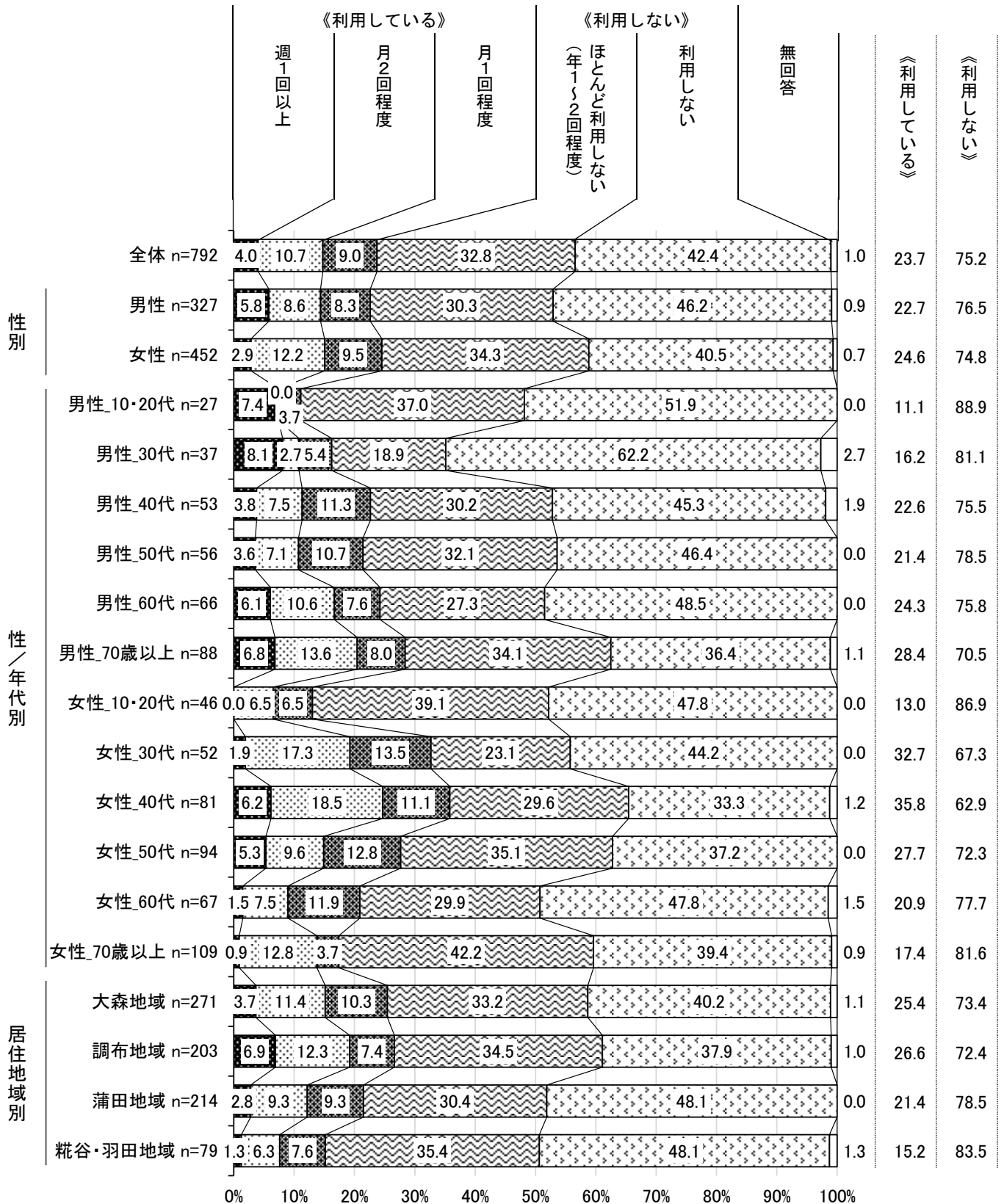


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《利用している》は男性では70歳以上で2割後半、女性では40代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《利用している》は調布地域で2割後半と高くなっている。



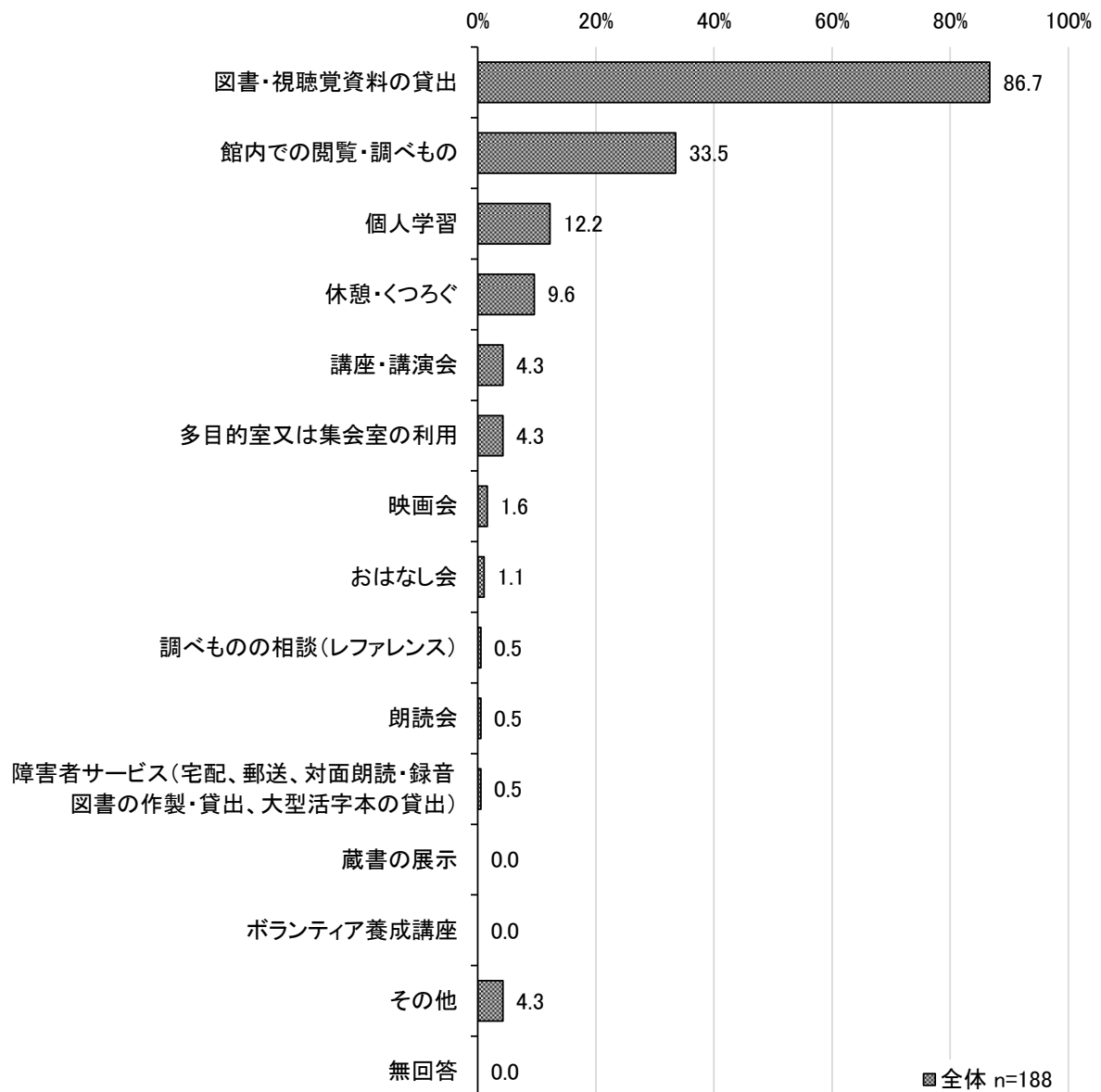
(2) 図書館で主に利用する機能・サービス

◇「図書・視聴覚資料の貸出」が8割後半で最も高くなっている

【問 29 で「週 1 回以上」「月 2 回程度」「月 1 回程度」と回答した方に伺います。】

問 29-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(いくつでも)

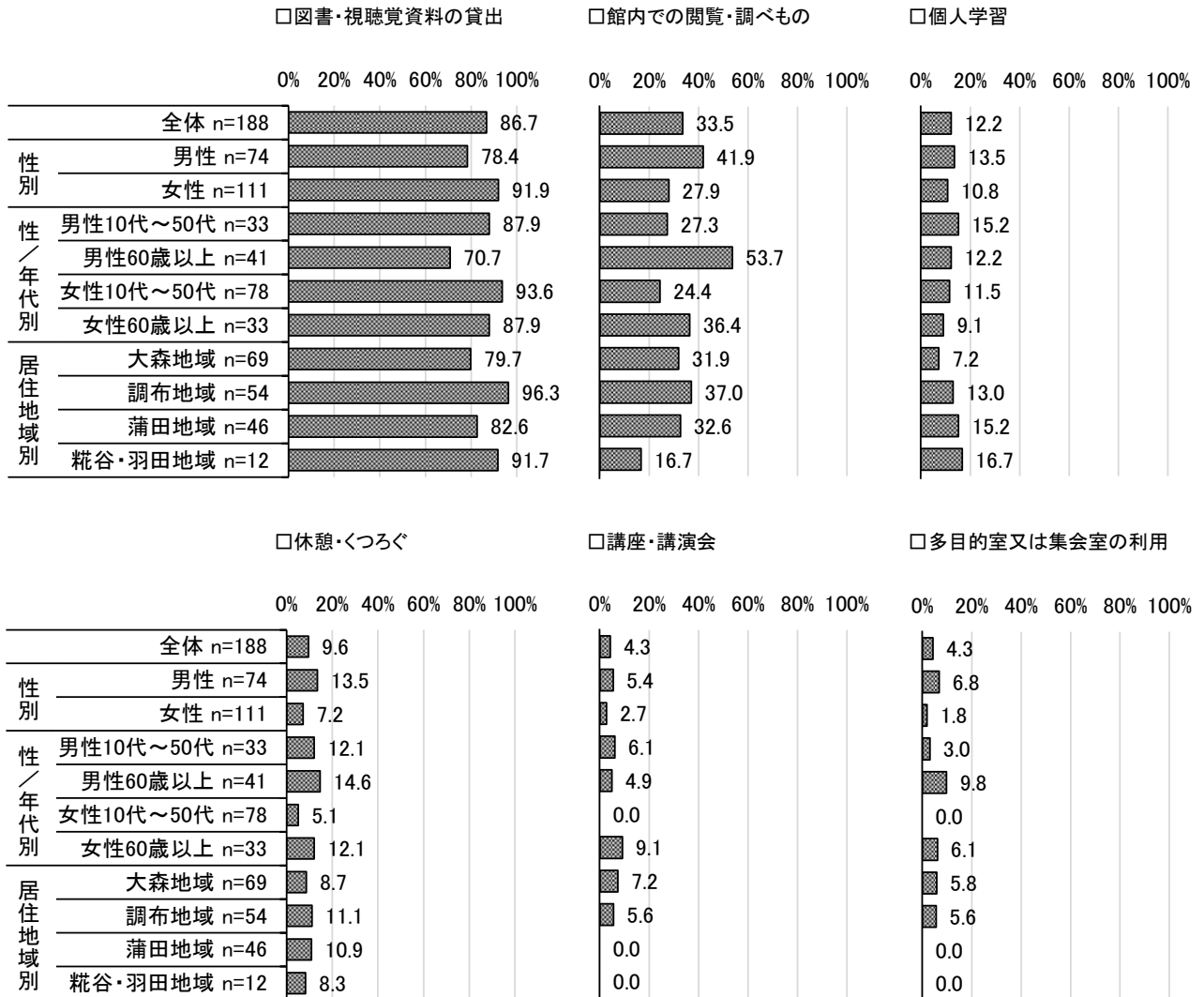
図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が 86.7%で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が 33.5%、「個人学習」が 12.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高く、男性が78.4%、女性が91.9%と、女性が13.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「図書・視聴覚資料の貸出」は女性10代～50代で9割前半と高くなっている。「館内での閲覧・調べもの」は男性60歳以上で5割前半と高くなっている。



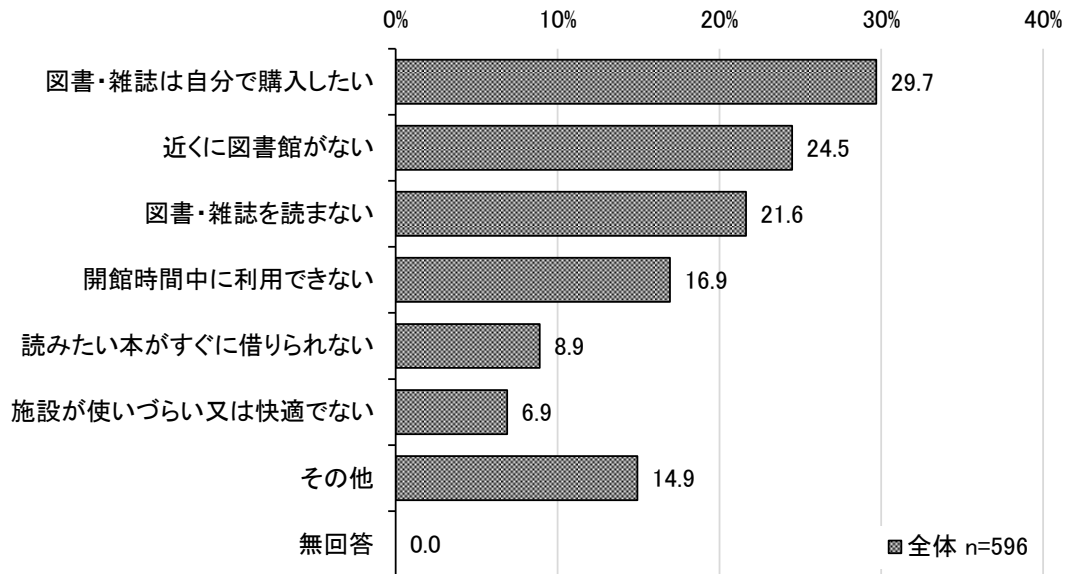
(3) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が約3割で最も高くなっている

【問 29 で「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」「利用しない」と回答した方に伺います。】

問 29-2 図書館を利用しない理由は何ですか。（いくつでも）

図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が29.7%で最も高く、次いで「近くに図書館がない」が24.5%、「図書・雑誌を読まない」が21.6%となっている。

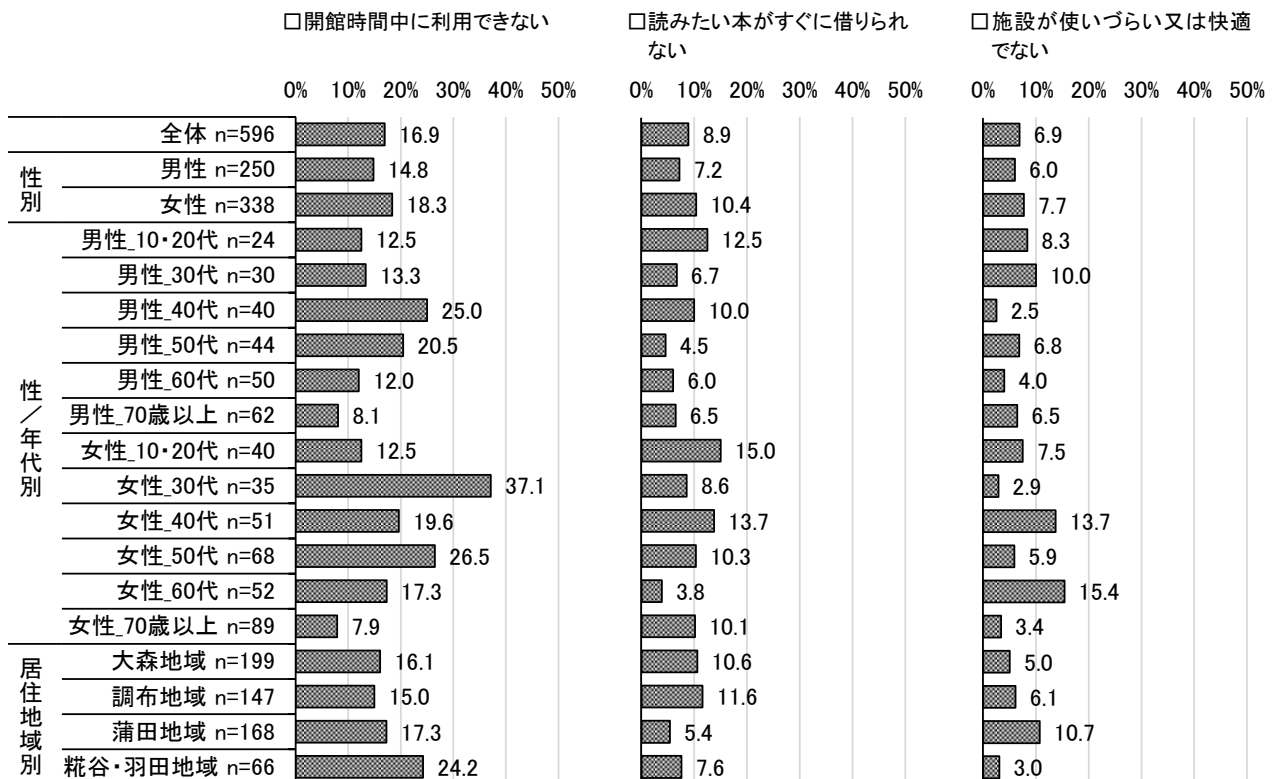
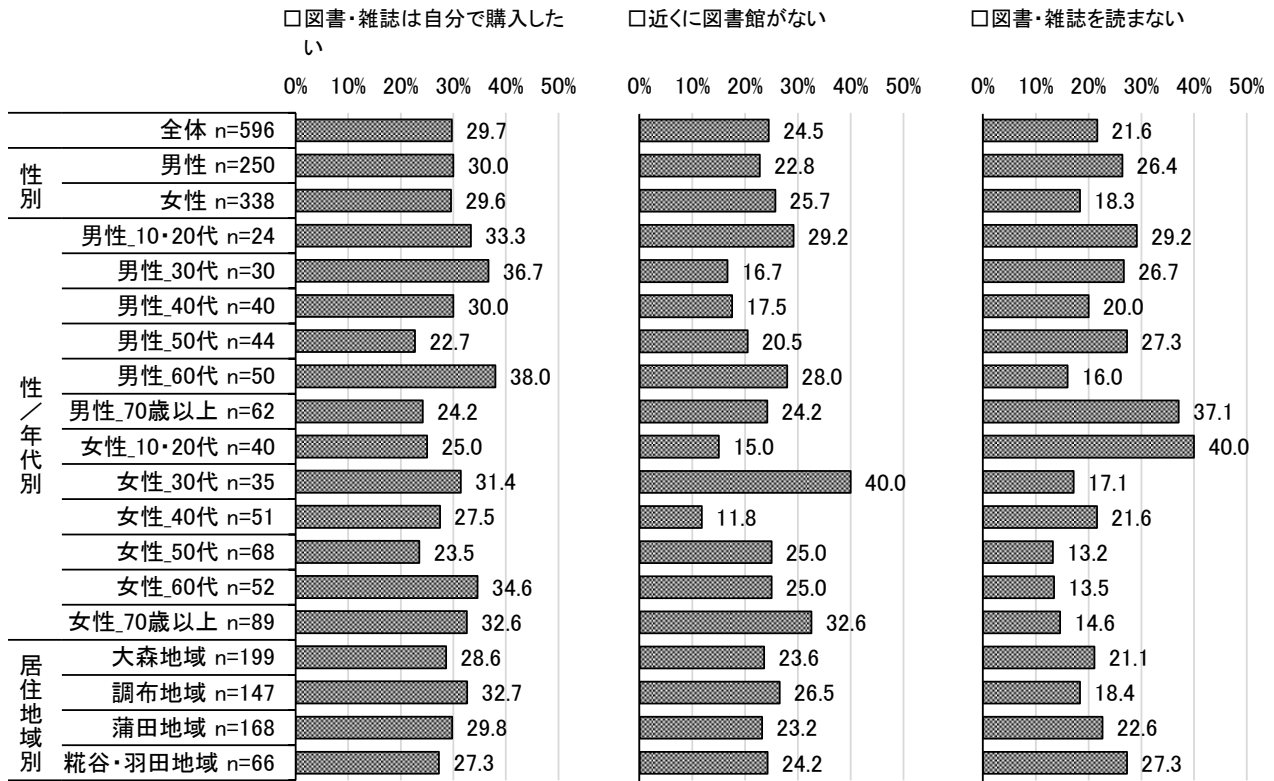


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「図書・雑誌は自分で購入したい」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は男性30代、男性60代で3割後半と高くなっている。「図書・雑誌を読まない」は男性70歳以上で3割後半、女性10・20代で4割と高くなっている。

居住地域別でみると、「図書・雑誌は自分で購入したい」は調布地域で3割前半と高くなっている。

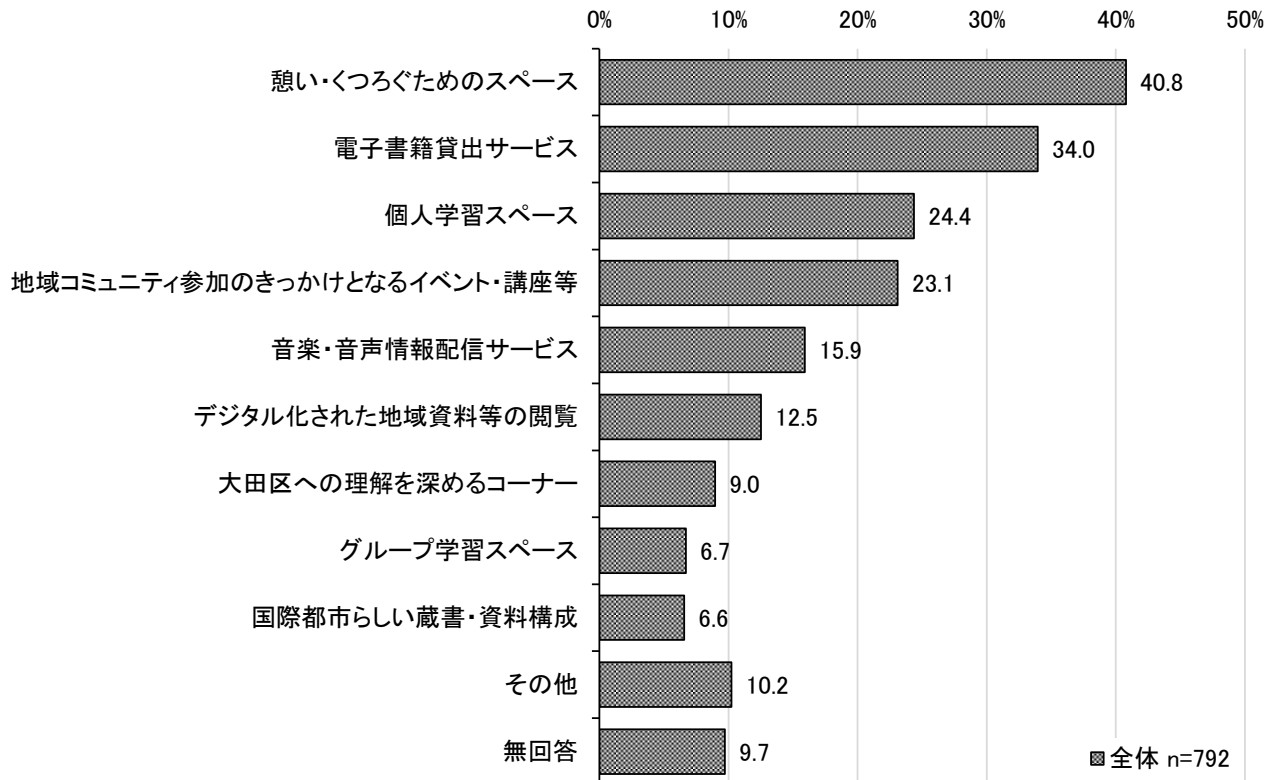


(4) 図書館に期待する機能・サービス

◇「憩い・くつろぐためのスペース」が約4割で最も高くなっている

問 30 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。(いくつでも)

図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が40.8%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が34.0%、「個人学習スペース」が24.4%となっている。

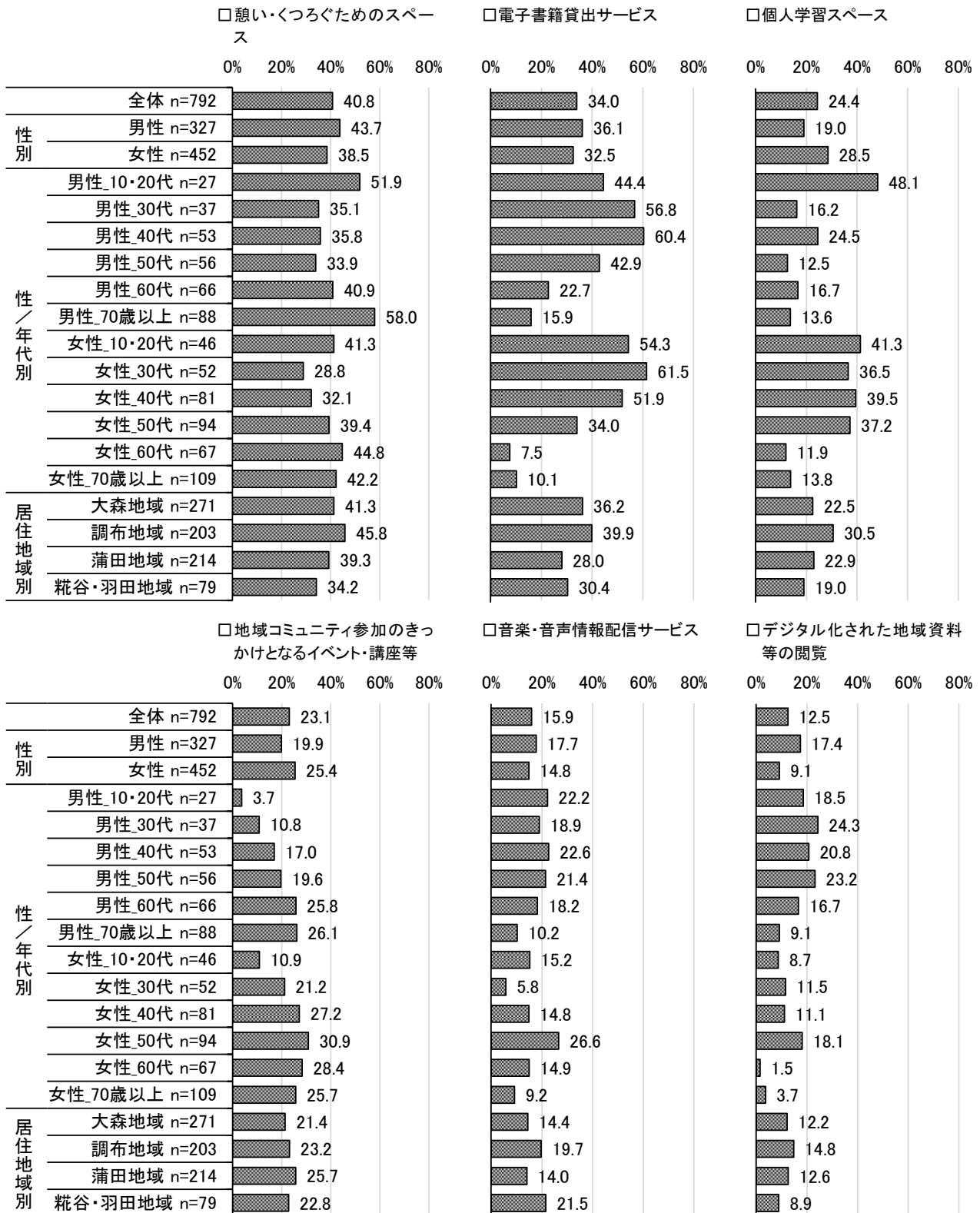


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「憩い・くつろぐためのスペース」が最も高く、男性が43.7%、女性が38.5%と、男性が5.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「憩い・くつろぐためのスペース」は男性70歳以上で5割後半と高くなっている。「電子書籍貸出サービス」は男性では40代で約6割、女性では30代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「憩い・くつろぐためのスペース」が最も高く、調布地域で4割半ばとなっている。



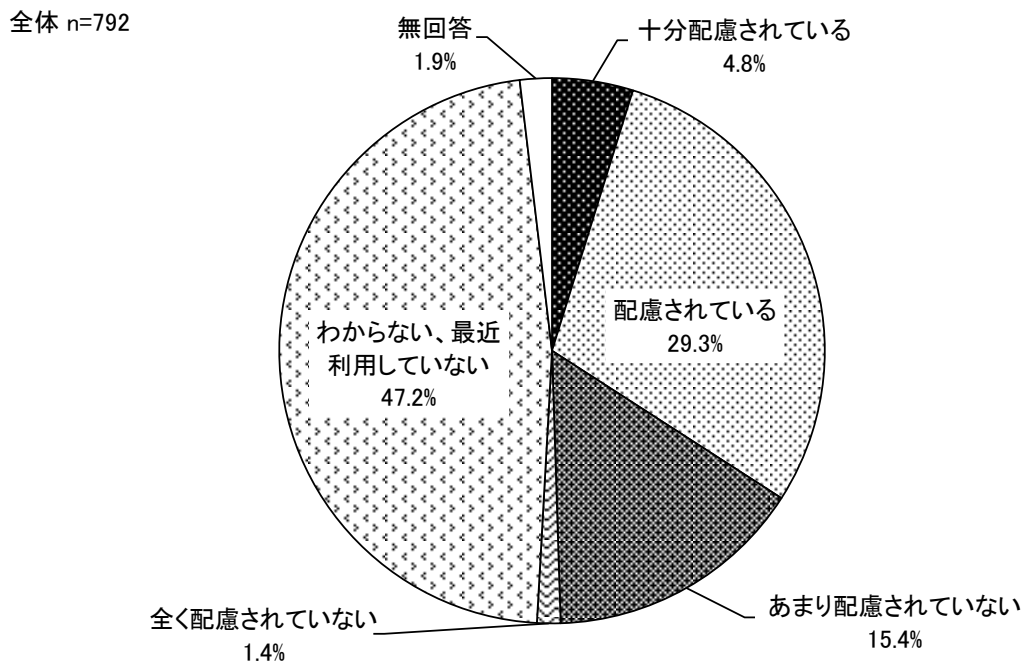
10 相談窓口について

(1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示

◇ 《配慮されている》（「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値）は3割半ばとなっている

問 31 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障がい者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）

大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示については、「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が34.1%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が16.8%と、《配慮されている》が17.3ポイント上回っている。

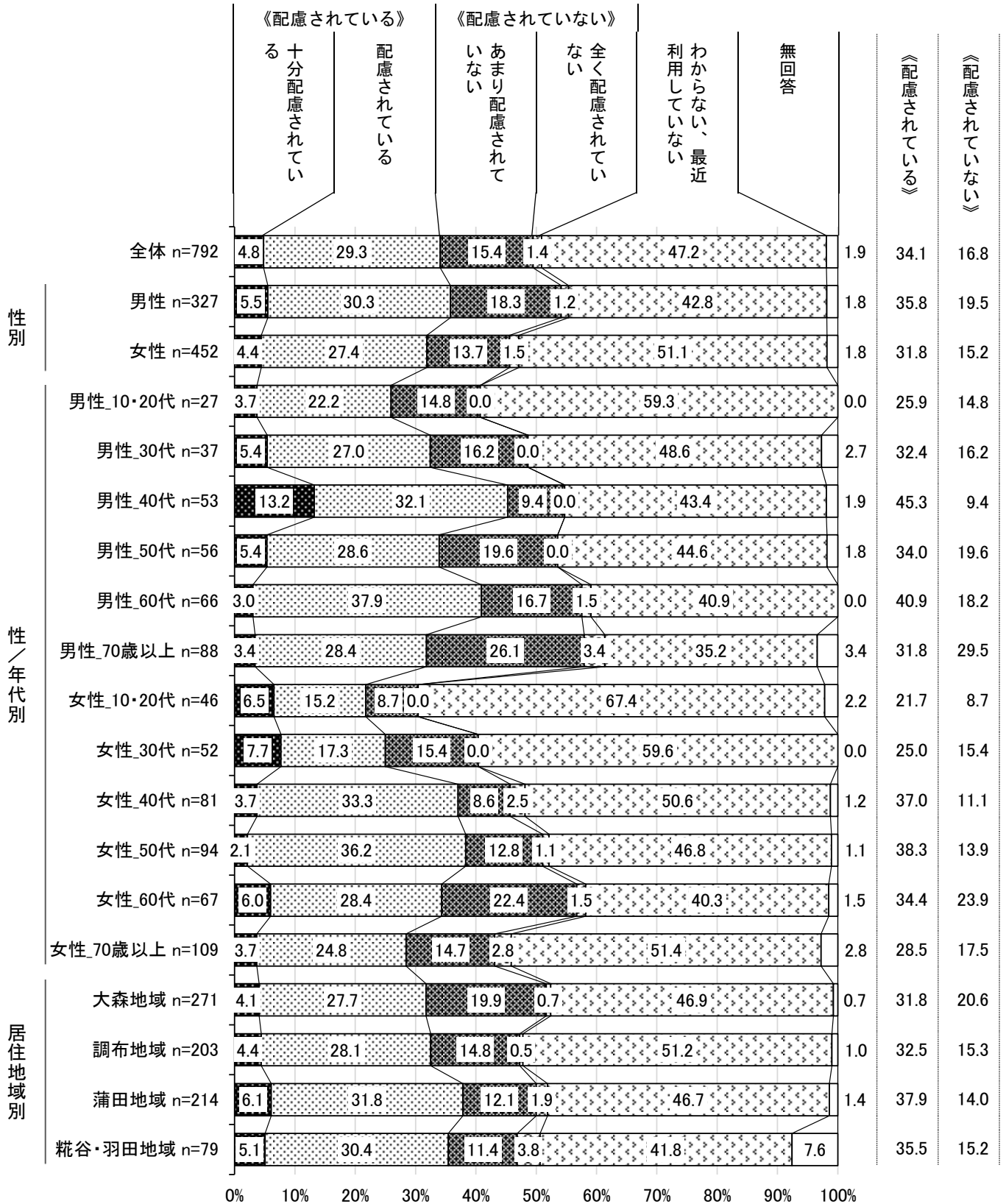


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《配慮されている》は男性が35.8%、女性が31.8%と、男性が4.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《配慮されている》は男性40代、男性60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《配慮されている》が3割台となっている。



11 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

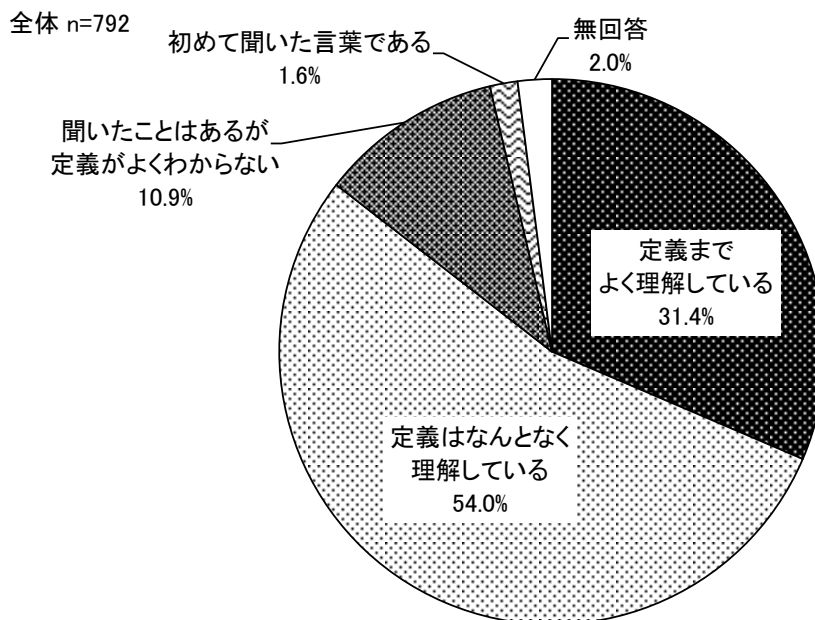
(1) 「バリアフリー」の認知度

◇ 《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は8割半ばとなっている

問 32 「バリアフリー」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方。

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が85.4%となっている。その内、「定義までよく理解している」は31.4%となっている。

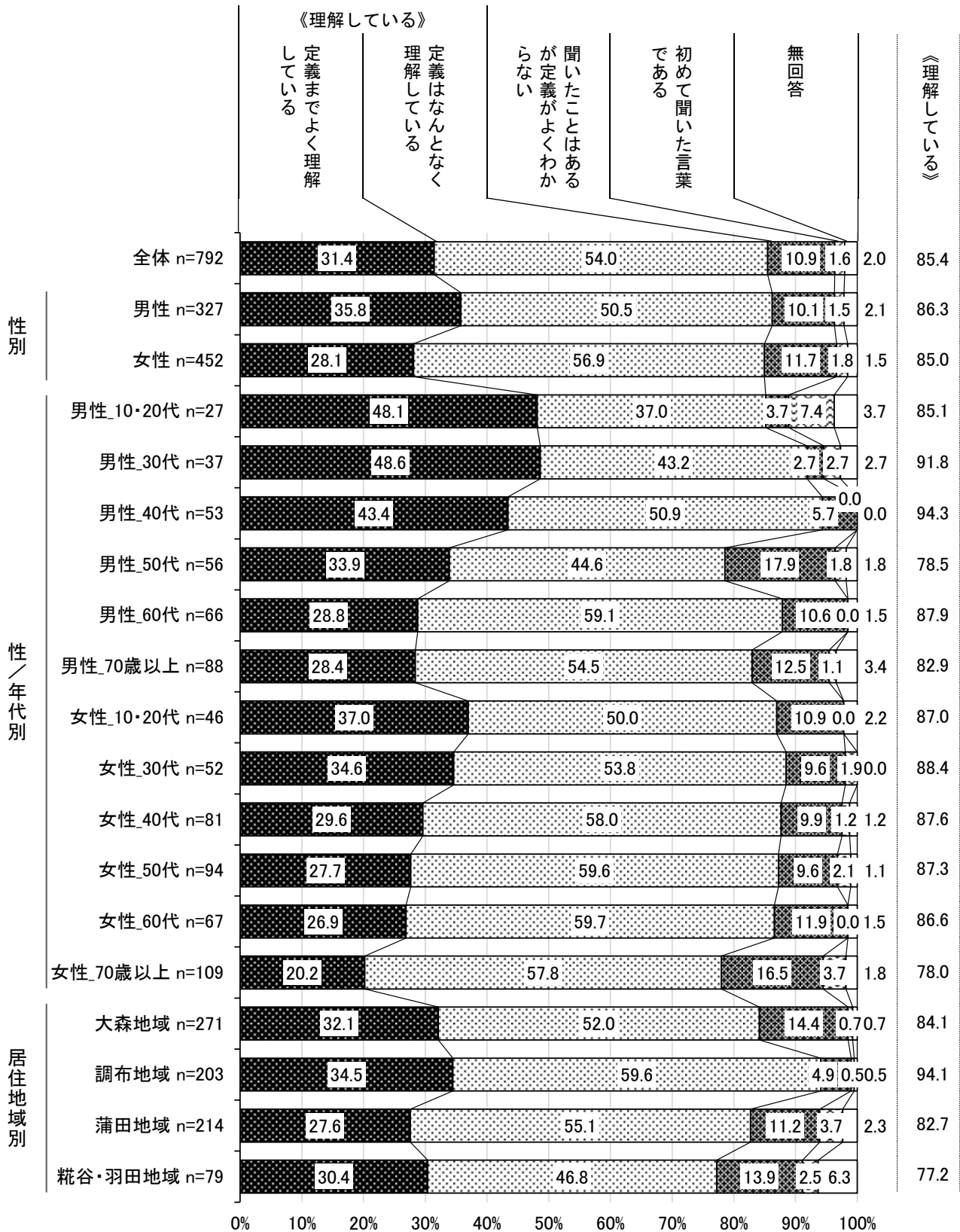


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性が35.8%、女性が28.1%と、男性が7.7ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《理解している》は男性30代、男性40代で9割台となっている。その内、「定義までよく理解している」は男性30代、男性40代で4割台と高くなっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で9割半ばと高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が3割半ばと高くなっている。



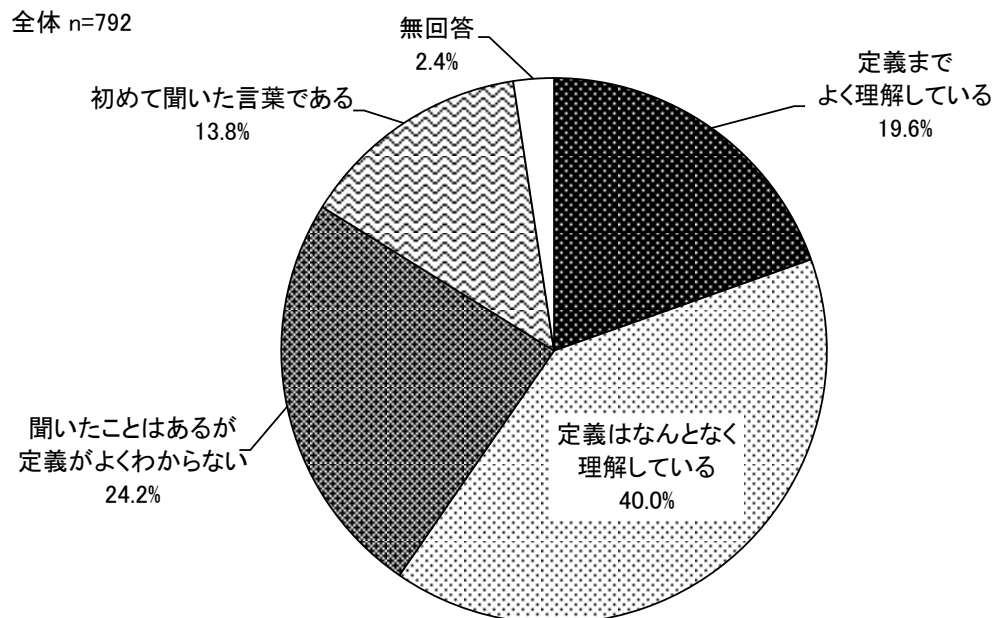
(2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇ 《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は約6割となっている

問 33 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方。

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が59.6%となっている。その内、「定義までよく理解している」は19.6%となっている。

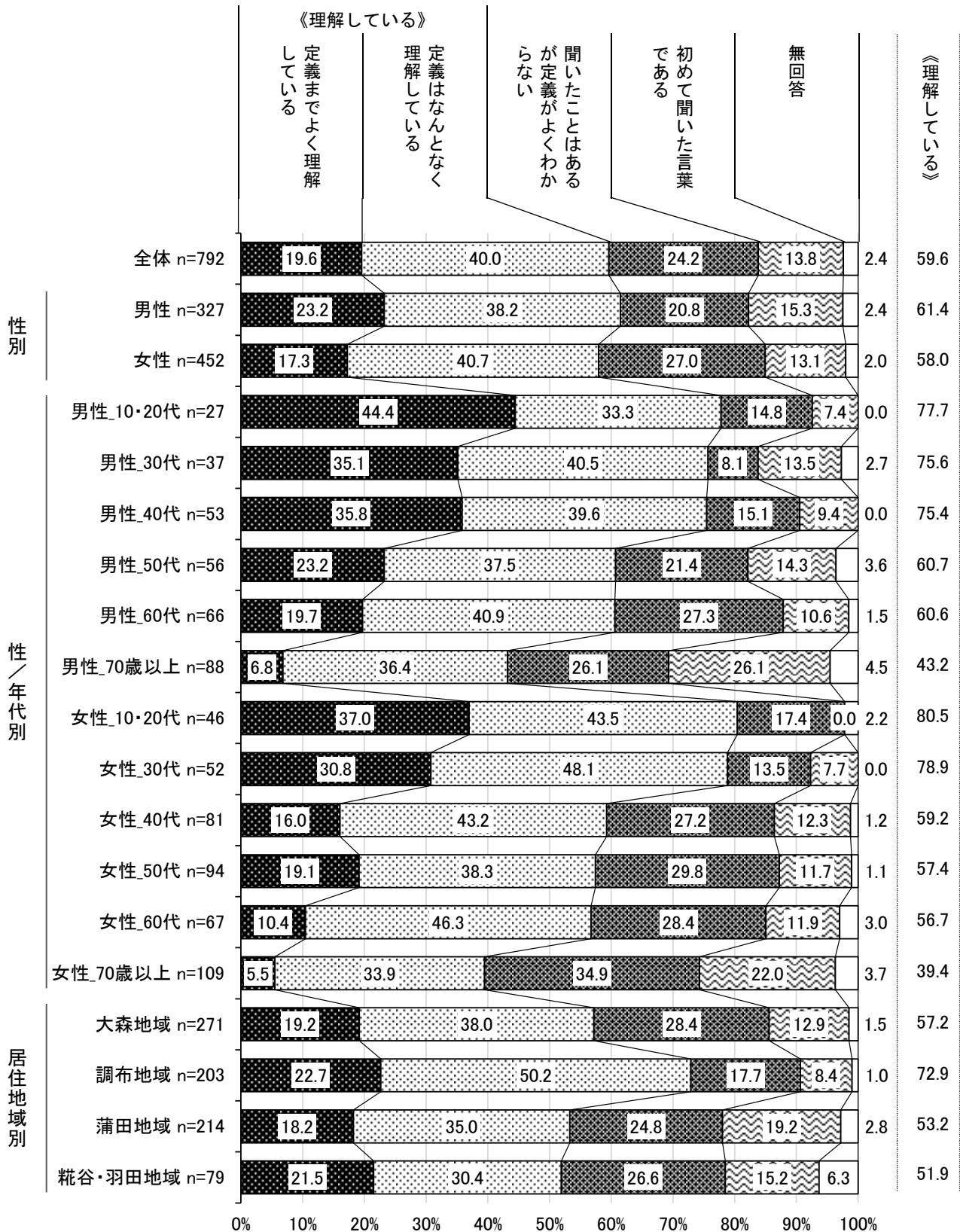


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性が23.2%、女性が17.3%と、男性が5.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《理解している》は女性10・20代で約8割と高くなっている。その内、「定義までよく理解している」は男性30代、男性40代、女性10・20代、女性30代で3割台となっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で7割前半と高く、「定義までよく理解している」でも調布地域が2割前半と高くなっている。



12 災害時の避難等について

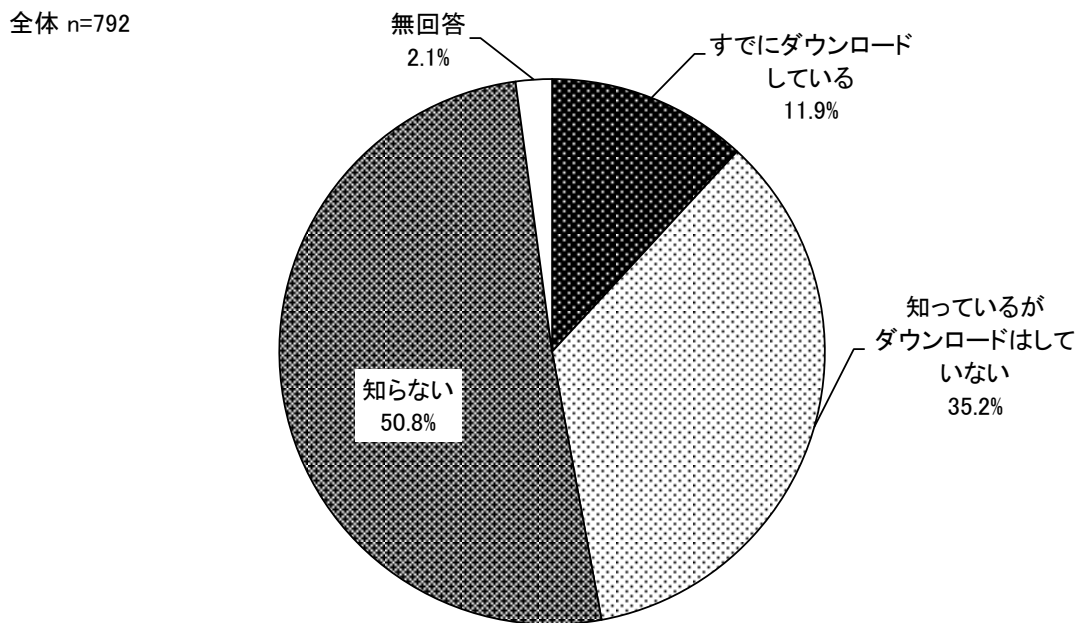
(1) 「大田区防災アプリ」の認知度

◇ 《ダウンロードしている・知っている》（「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値）は4割後半となっている

問 34 「大田区防災アプリ」を知っていますか。（1つのみ）

“大田区防災アプリ”の認知度については、「すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《ダウンロードしている・知っている》が47.1%となっている。その内、「すでにダウンロードしている」は11.9%となっている。

なお、「知らない」は50.8%となっている。

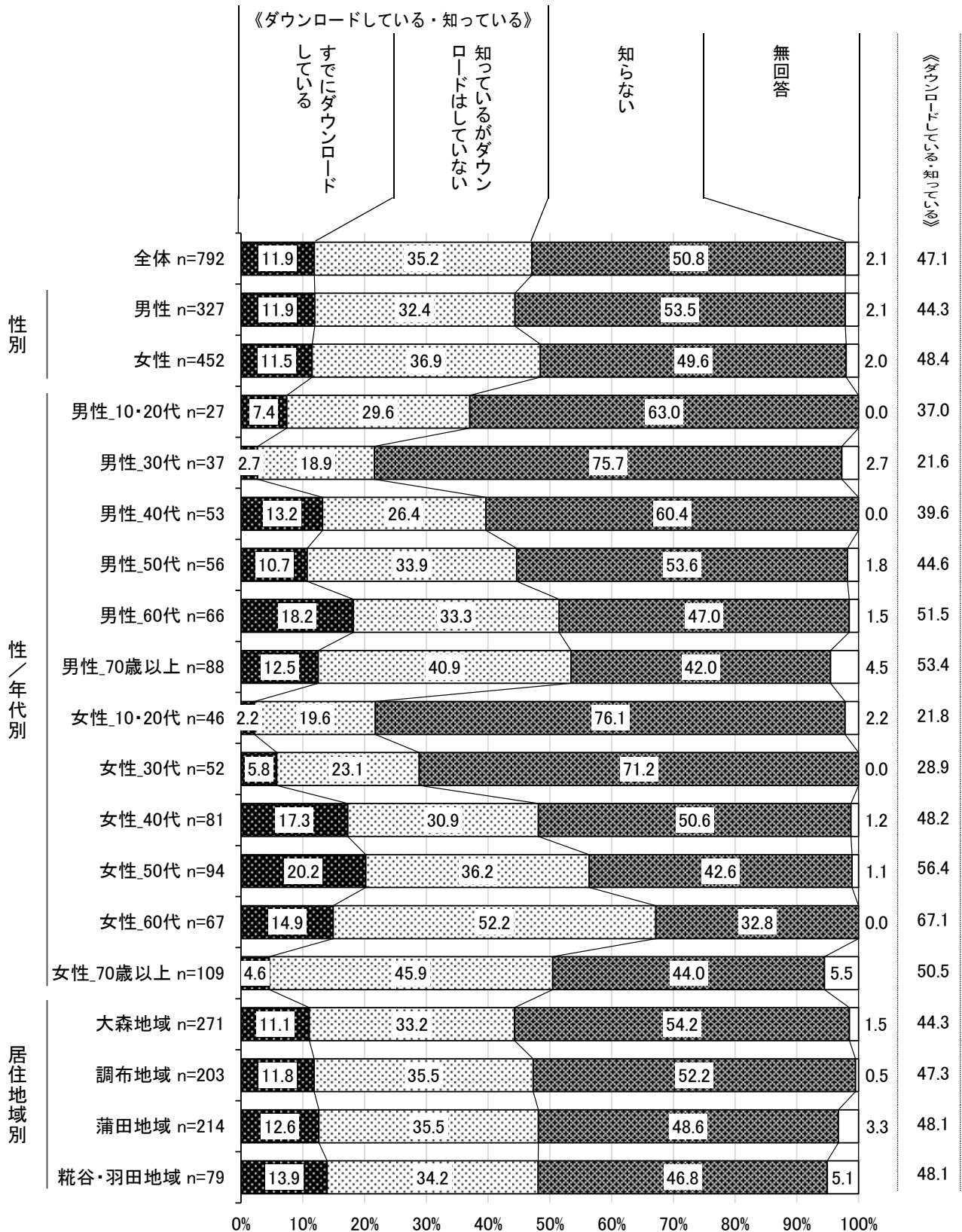


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《ダウンロードしている・知っている》は男性が44.3%、女性が48.4%と、女性が4.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《ダウンロードしている・知っている》は男性では60代、70歳以上で5割前半、女性では60代で6割後半と高くなっている。その内、「すでにダウンロードしている」は女性50代で約2割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《ダウンロードしている・知っている》は4割台となっている。



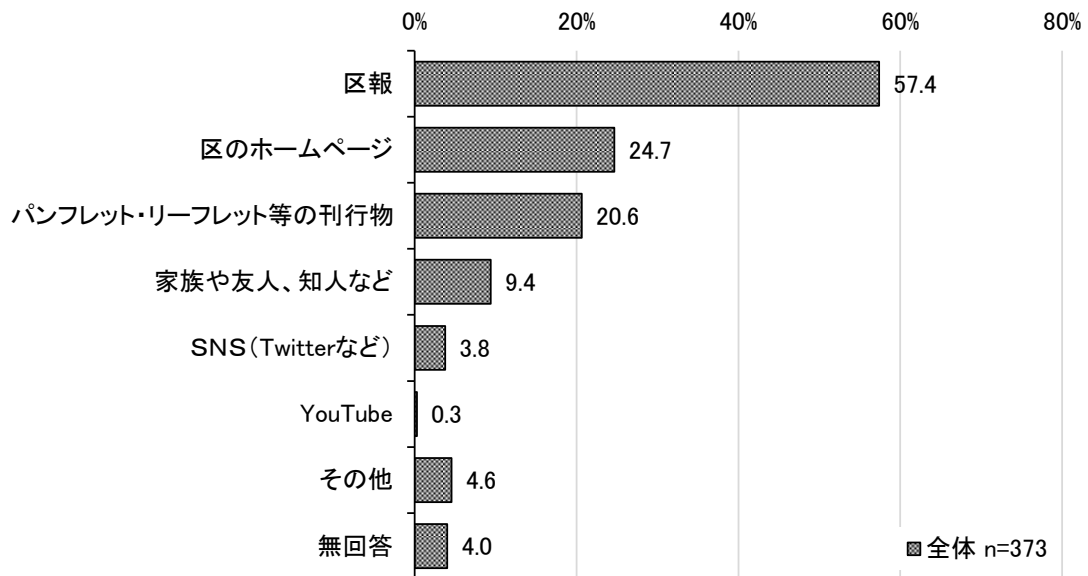
(2) 「大田区防災アプリ」を認知したきっかけ

◇「区報」が5割後半で最も高くなっている

【問 34 で「すでにダウンロードしている」「知っているがダウンロードはしていない」と回答した方に伺います。】

問 34-1 「大田区防災アプリ」をどこで知りましたか。(いくつでも)

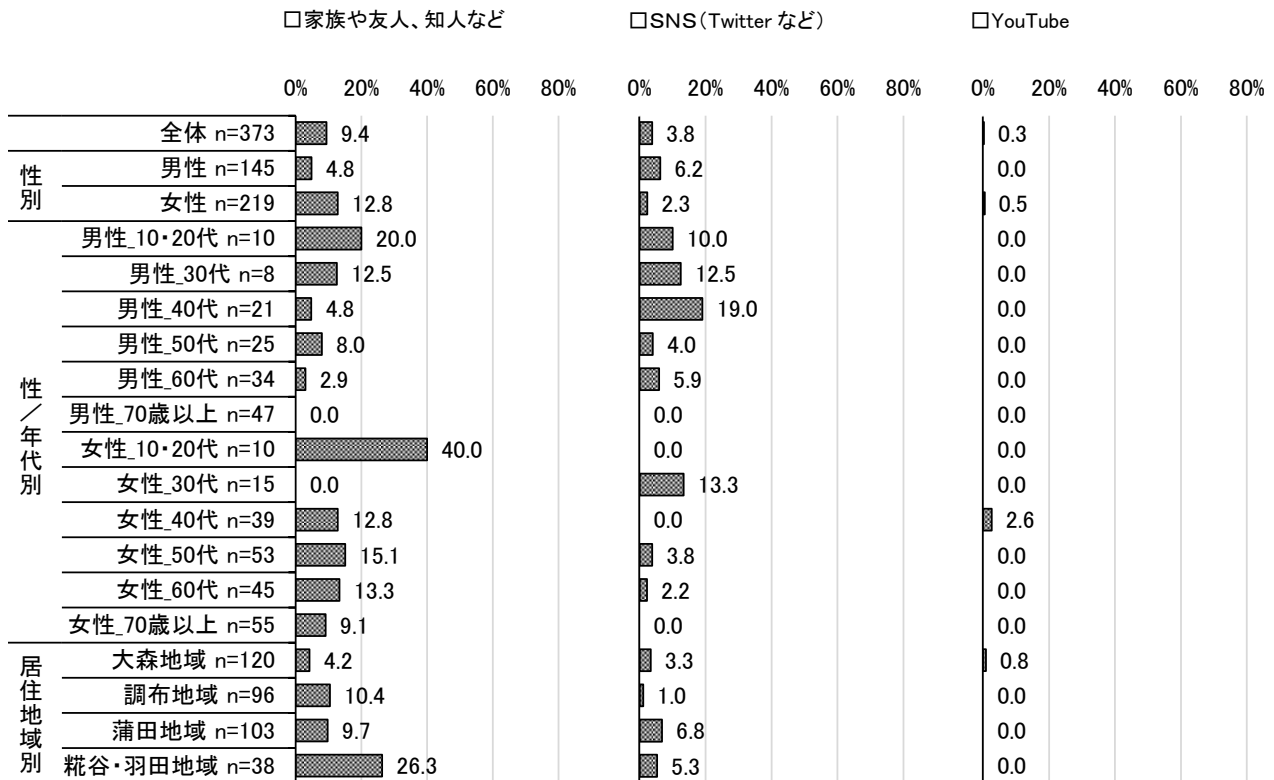
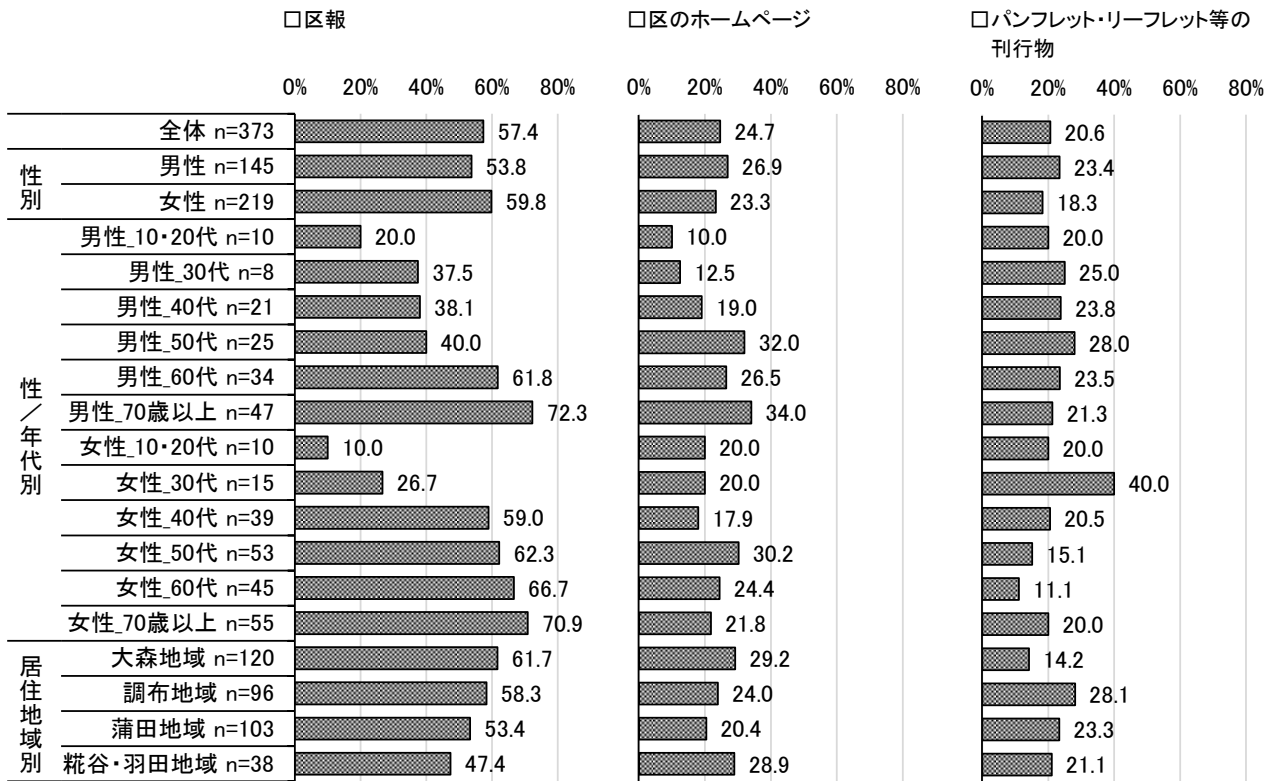
“大田区防災アプリ”を認知したきっかけについては、「区報」が57.4%で最も高く、次いで「区のホームページ」が24.7%、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が20.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「区報」が最も高く、男性が53.8%、女性が59.8%と、女性が6.0ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「区報」は大森地域で6割前半と高くなっている。



13 耐震改修について

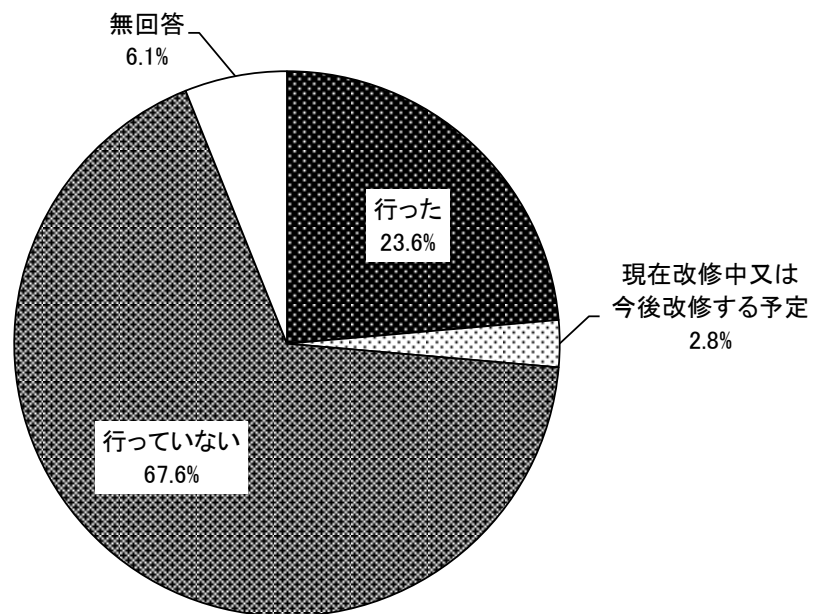
(1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況

◇「行った」が2割前半となっている

**問 35 あなたは、現在のお住まいや区内に所有している建物の耐震改修を行いましたか。
(1つのみ)**

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「行っていない」が67.6%で最も高く、次いで「行った」が23.6%、「現在改修中又は今後改修する予定」が2.8%となっている。

全体 n=792

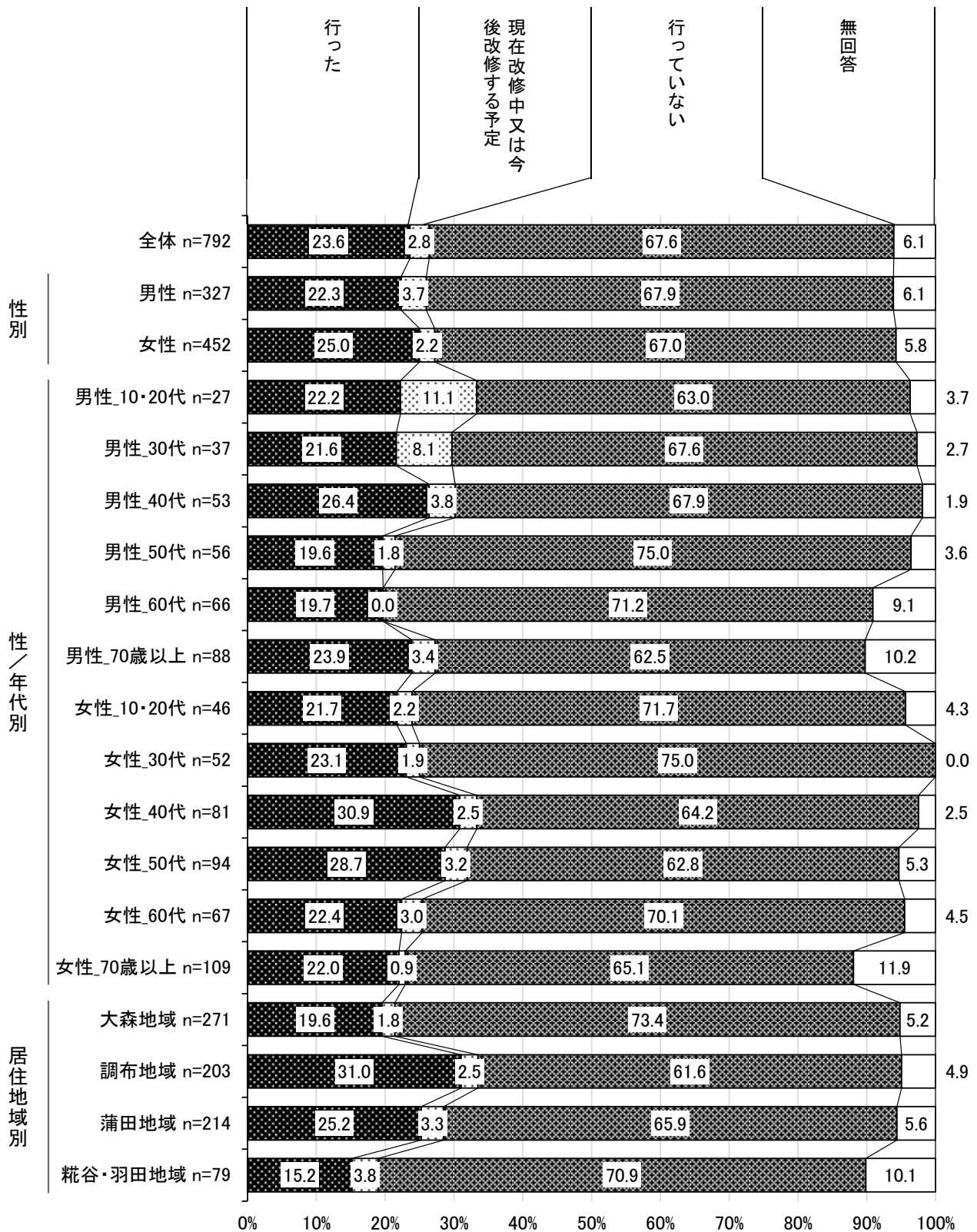


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「行った」は女性40代で約3割と高くなっている。

居住地域別でみると、「行った」は調布地域で約3割と高くなっている。



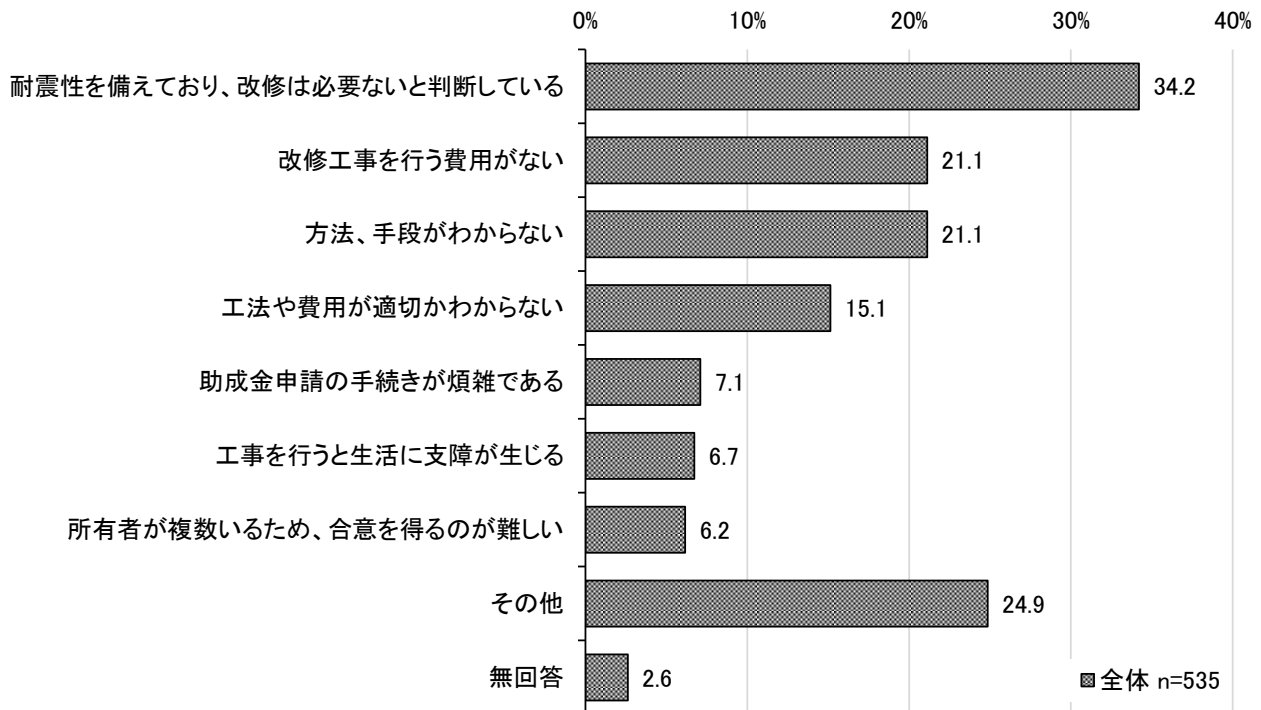
(2) 耐震改修を行っていない理由

◇「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が3割半ばで最も高くなっている

【問 35 で「行っていない」と回答した方に伺います。】

問 35-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

耐震改修を行っていない理由については、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が34.2%で最も高く、次いで「改修工事を行う費用がない」、「方法、手段がわからない」がともに21.1%、「工法や費用が適切かわからない」が15.1%となっている。

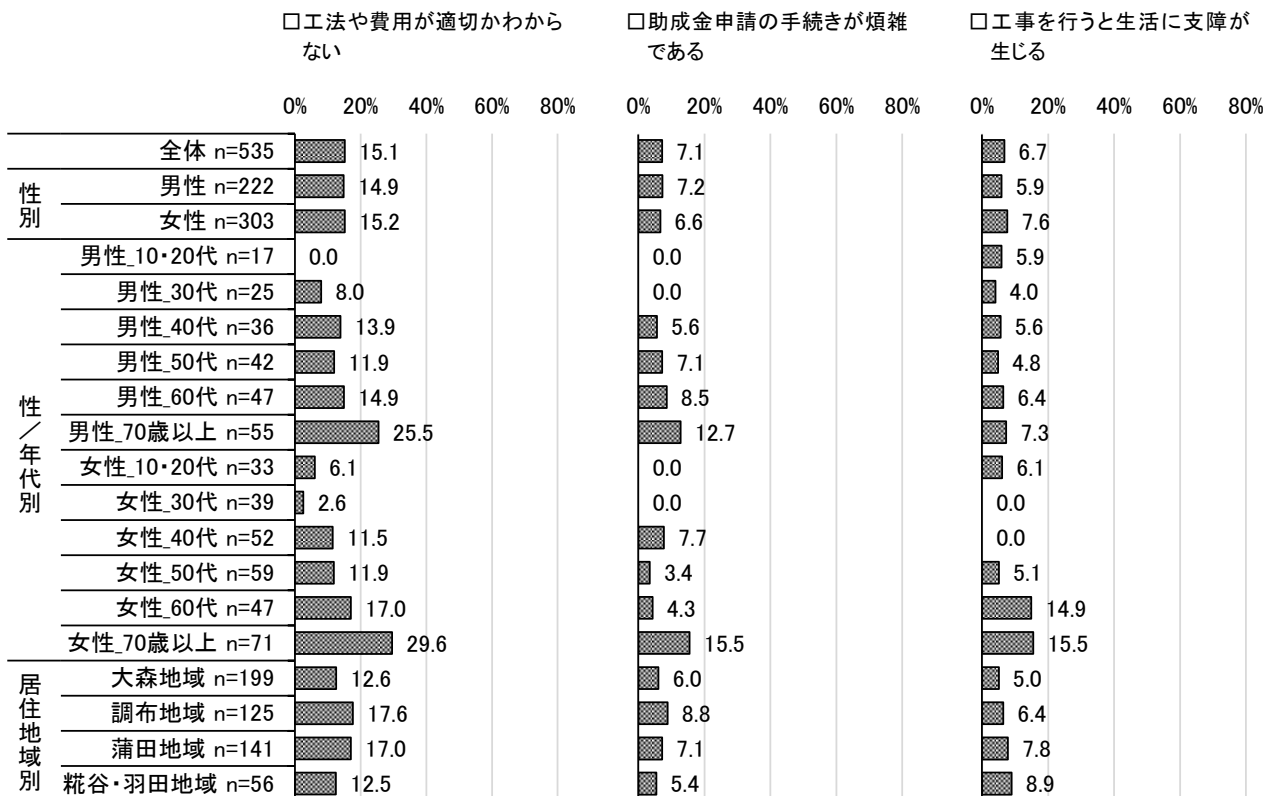
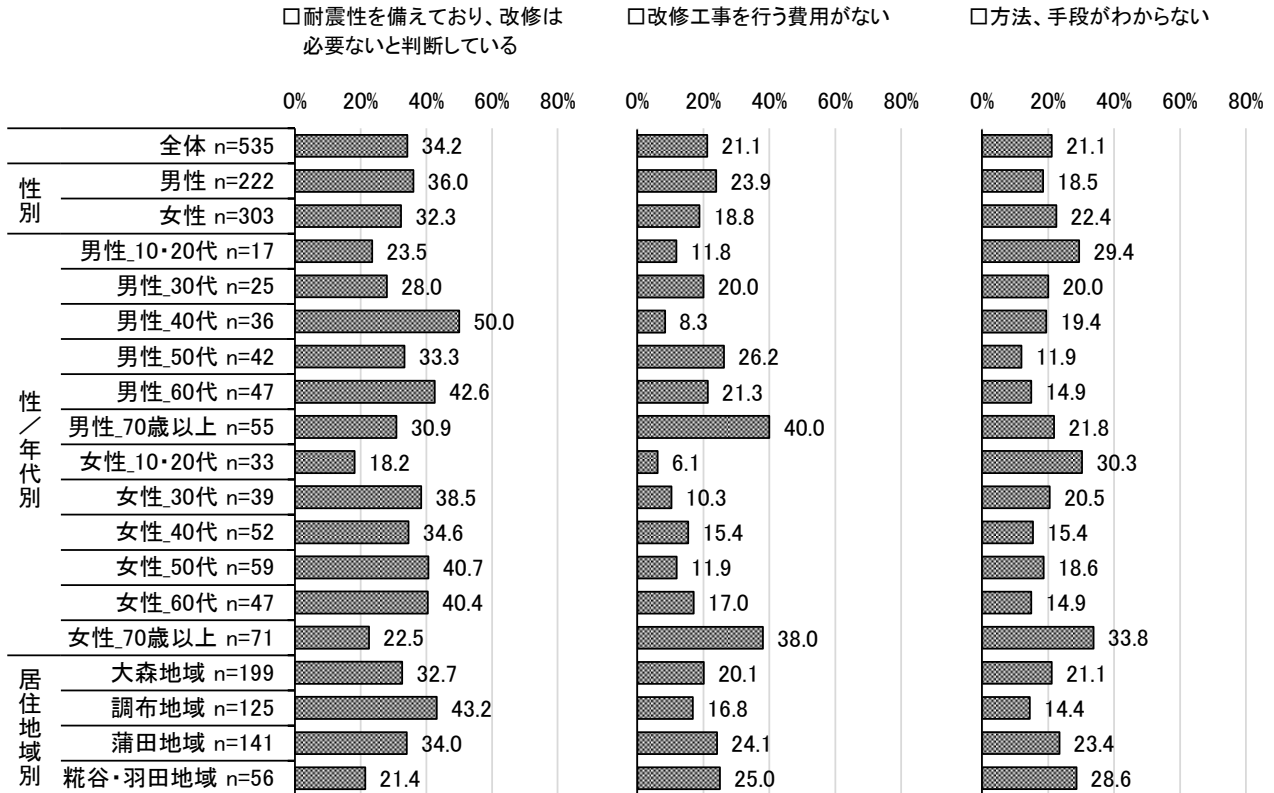


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は男性40代で5割、男性60代、女性50代、女性60代で4割台となっている。

居住地域別でみると、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は調布地域で4割前半と高くなっている。



IV 未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象
～ 居場所・自転車の利用についてなど ～

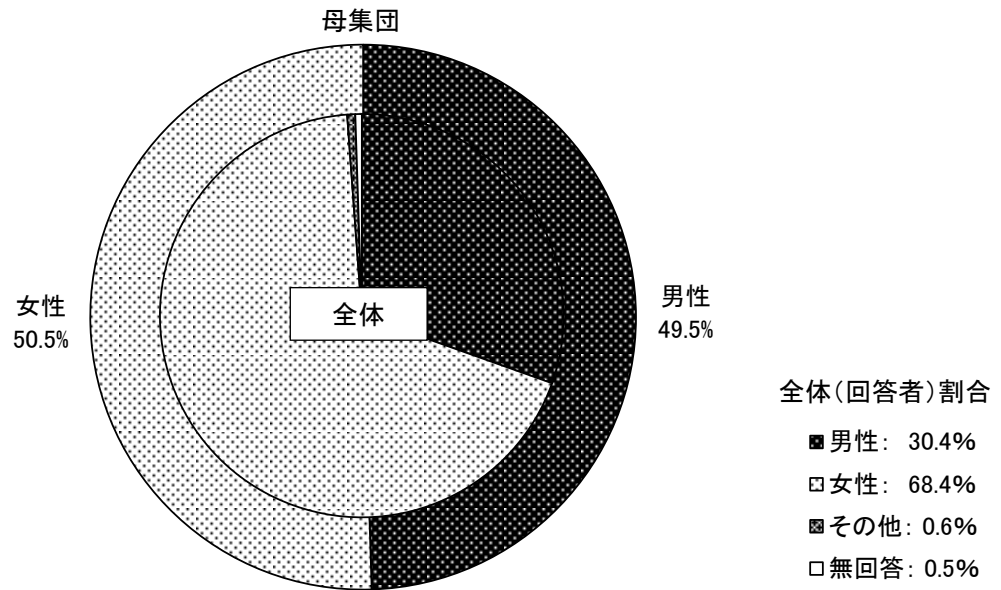
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 12 歳以上の人口 (n=667, 176) 令和 5 年 1 月 1 日現在

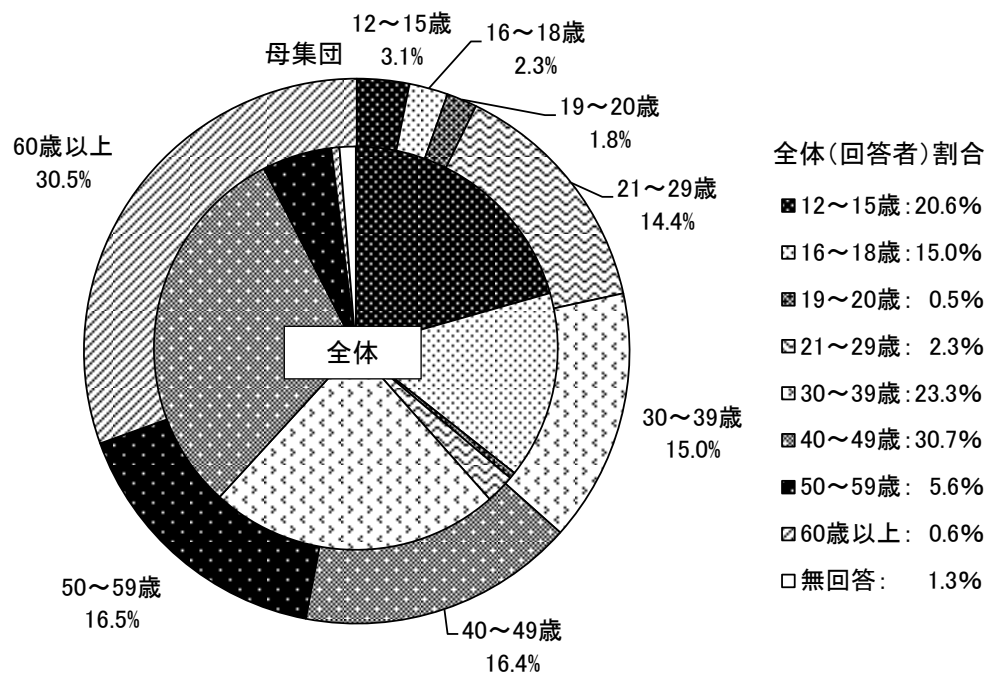
全 体：有効回収数 (n=772)

全体 n=772



(2) 年齢

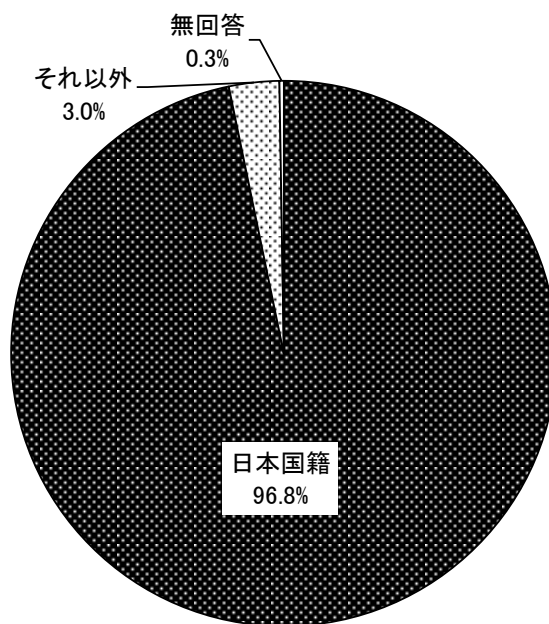
全体 n=772



【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 5 年 1 月 1 日現在

(3) 国籍

全体 n=772

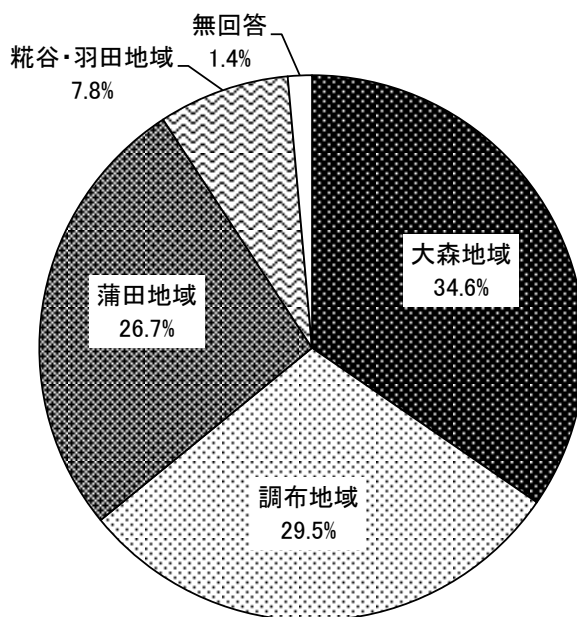


■ 日本国籍以外

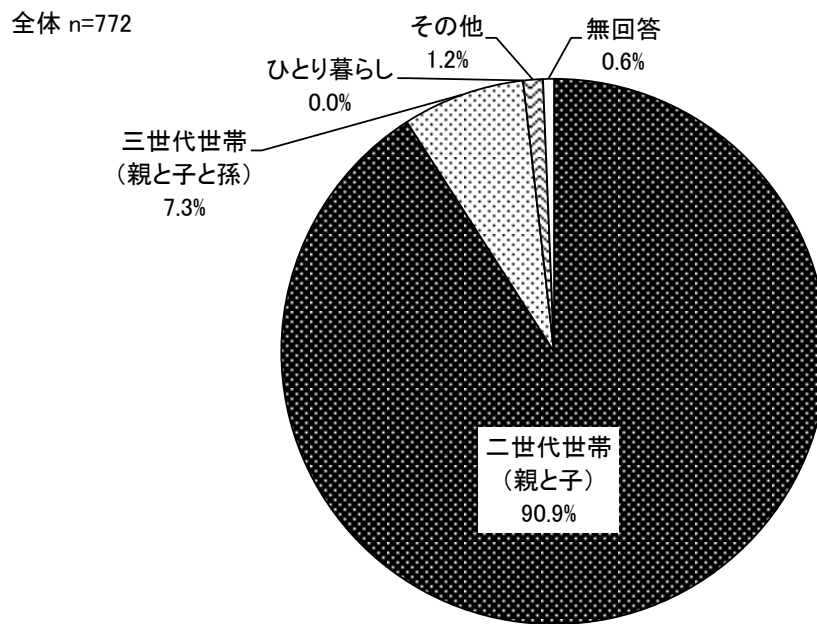
	中国	韓国	ベトナム	ネパール	フィリピン	タイ	無回答
人数	8	4	3	2	2	1	3

(4) 居住地域

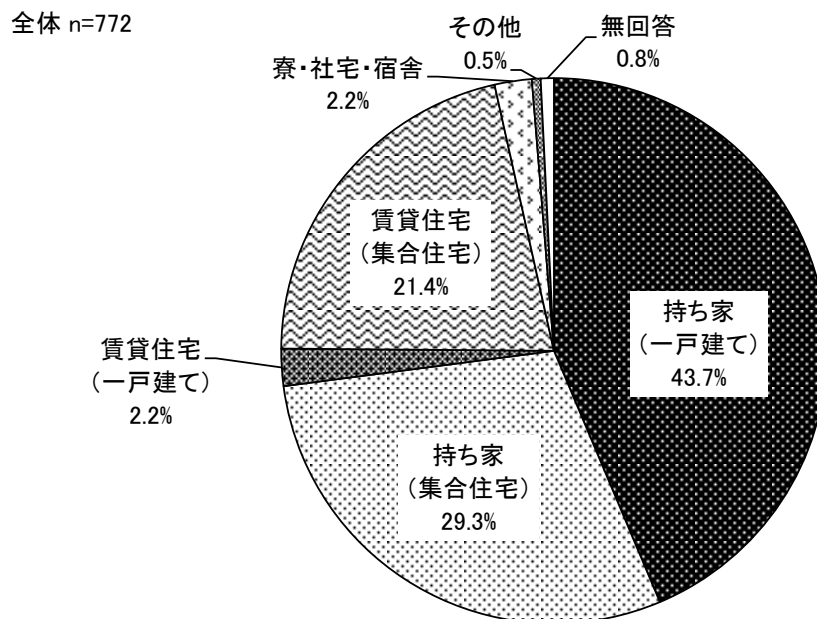
全体 n=772



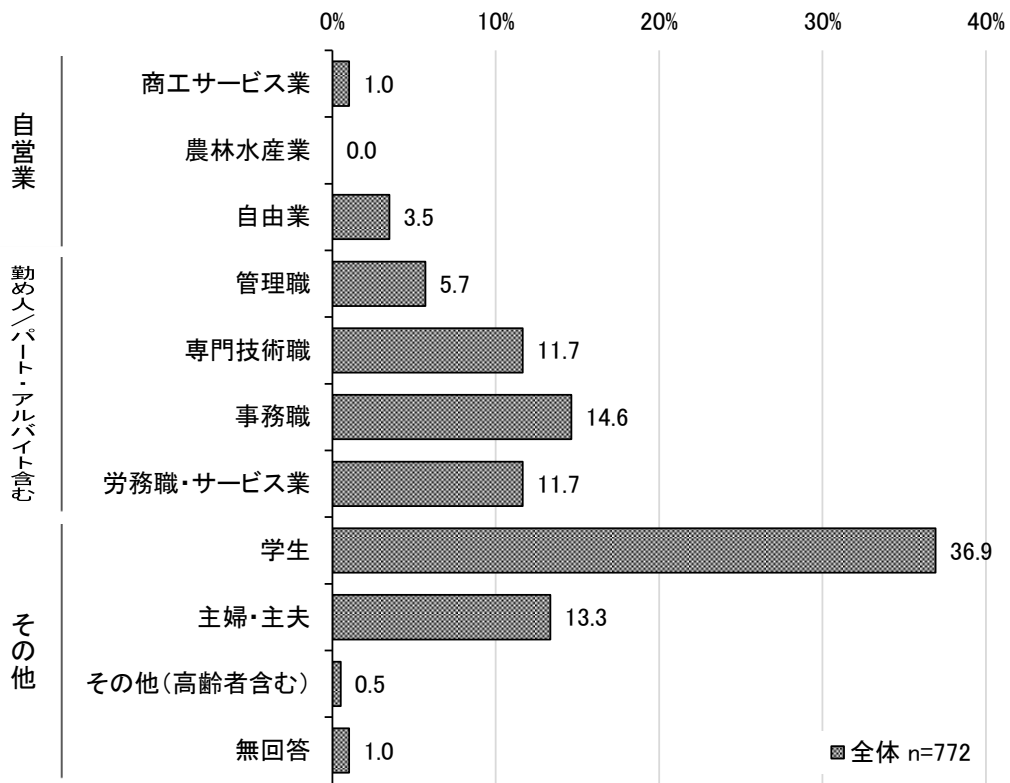
(5) 家族構成



(6) 住まいの種類

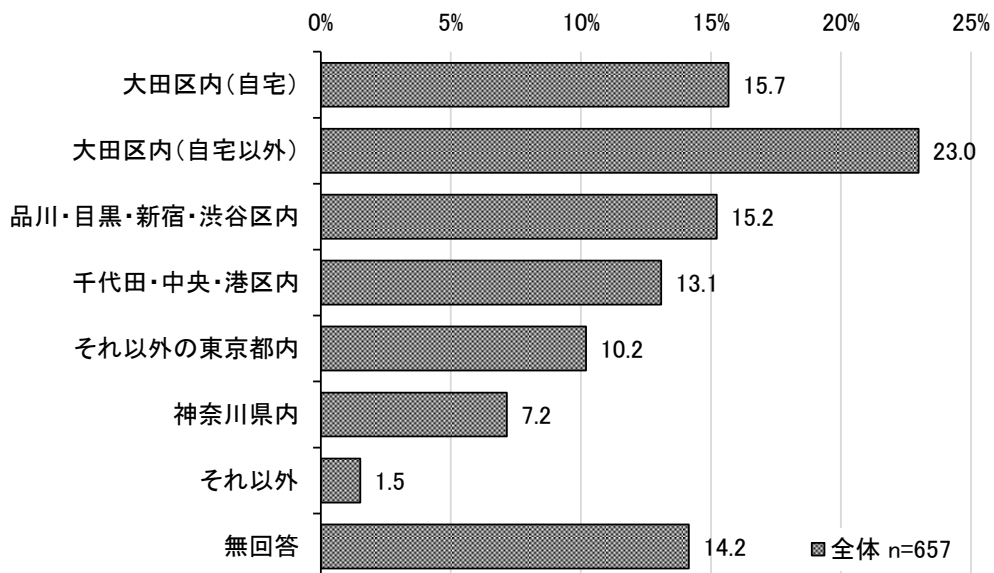


(7) 職業

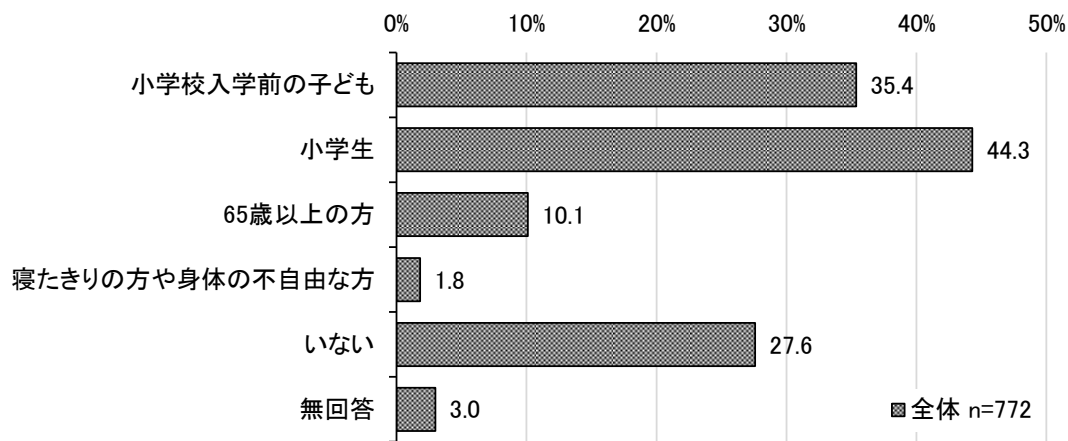


(8) 主な通勤・通学先

【(7) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

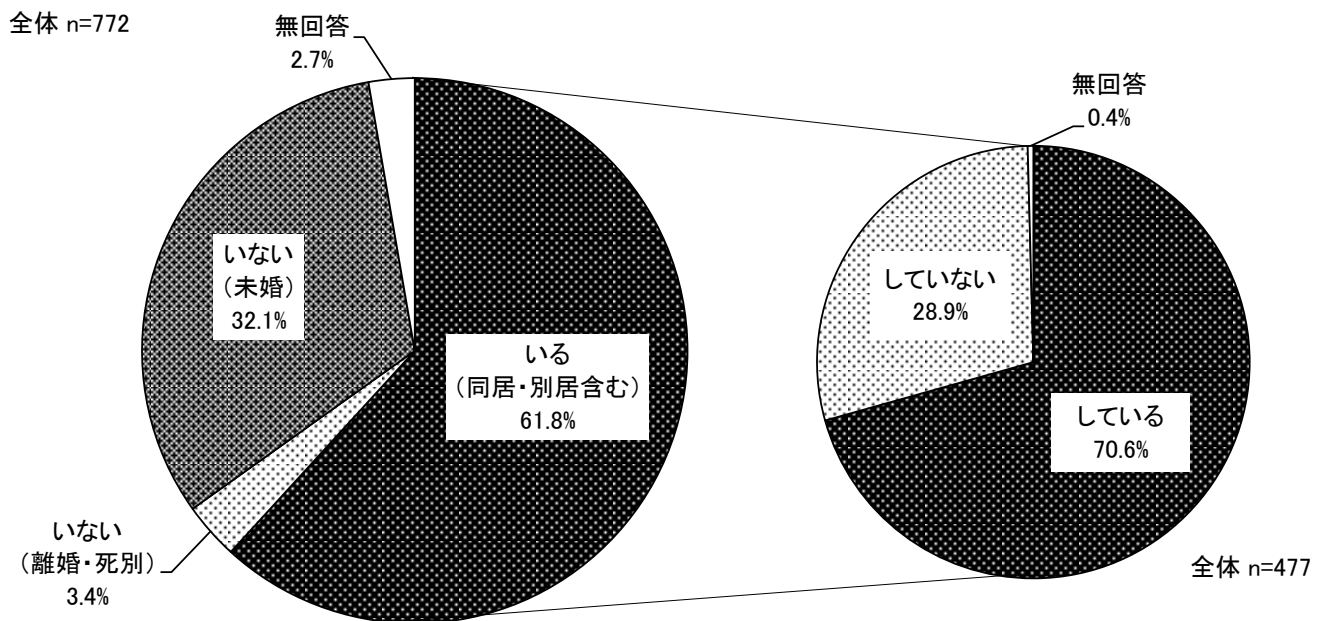


(9) 同居家族

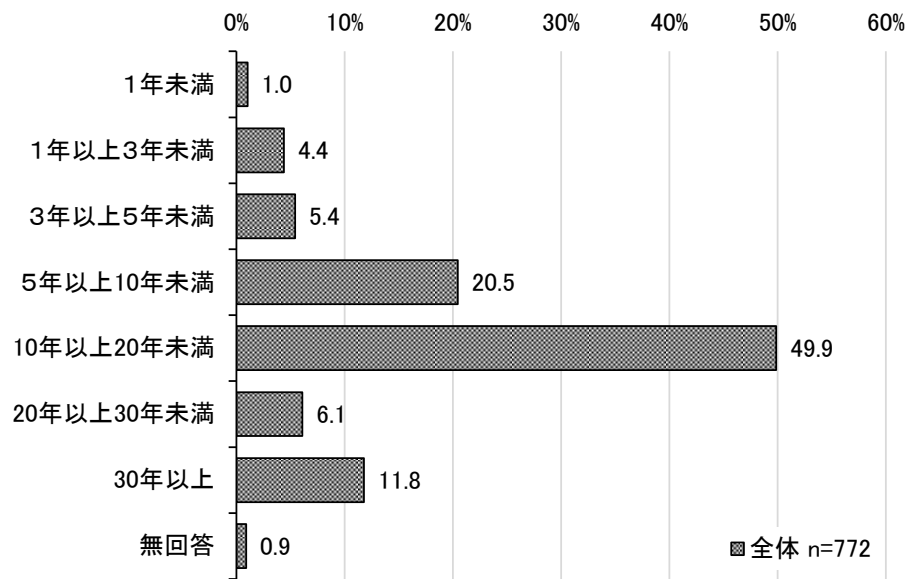


(10) 配偶者の有無及び (11) 共働きの状況

【(10) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



(12) 居住年数



2 居場所について

(1) 「中高生ひろば」の認知度

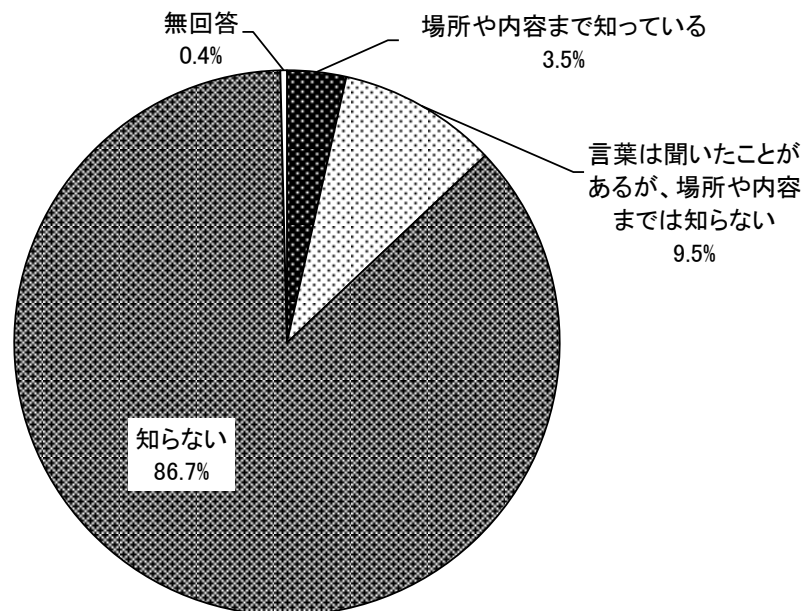
◇「場所や内容まで知っている」は1割未満となっている

問1 友達との交流、読書や学習、音楽スタジオによる文化活動など、各々が自由に過ごすことのできる中高生世代（12～18歳）の居場所として、「中高生ひろば」を羽田と蒲田の2か所で設置しています。

あなたは、この施設を知っていますか。（1つのみ）

“中高生ひろば”の認知度については、「知らない」が86.7%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、場所や内容までは知らない」が9.5%、「場所や内容まで知っている」が3.5%となっている。

全体 n=772

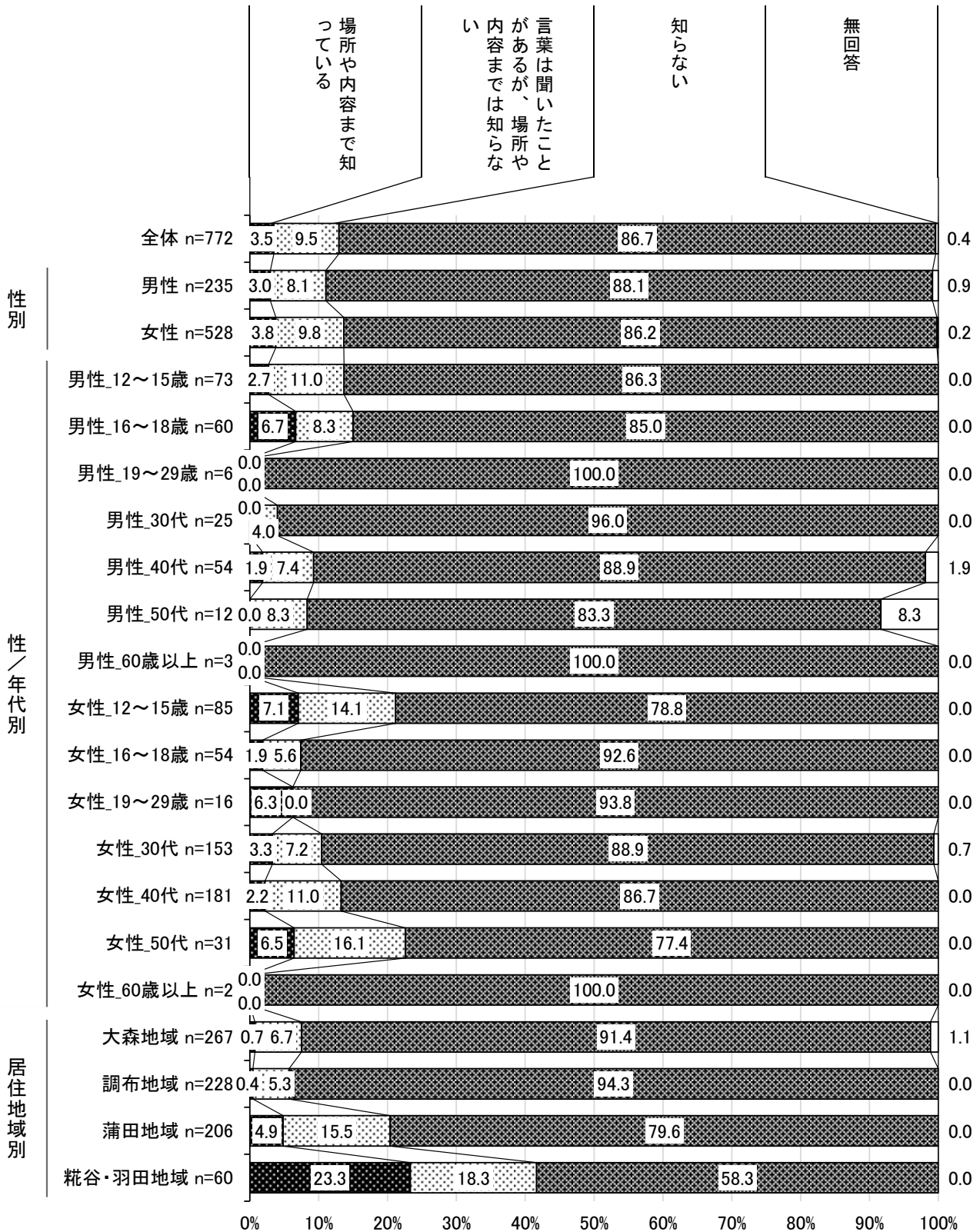


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「場所や内容まで知っている」は男性 16～18 歳、女性 12～15 歳、女性 50 代で 1 割弱となっている。

居住地域別でみると、「場所や内容まで知っている」は糞谷・羽田地域で 2 割前半と高くなっている。

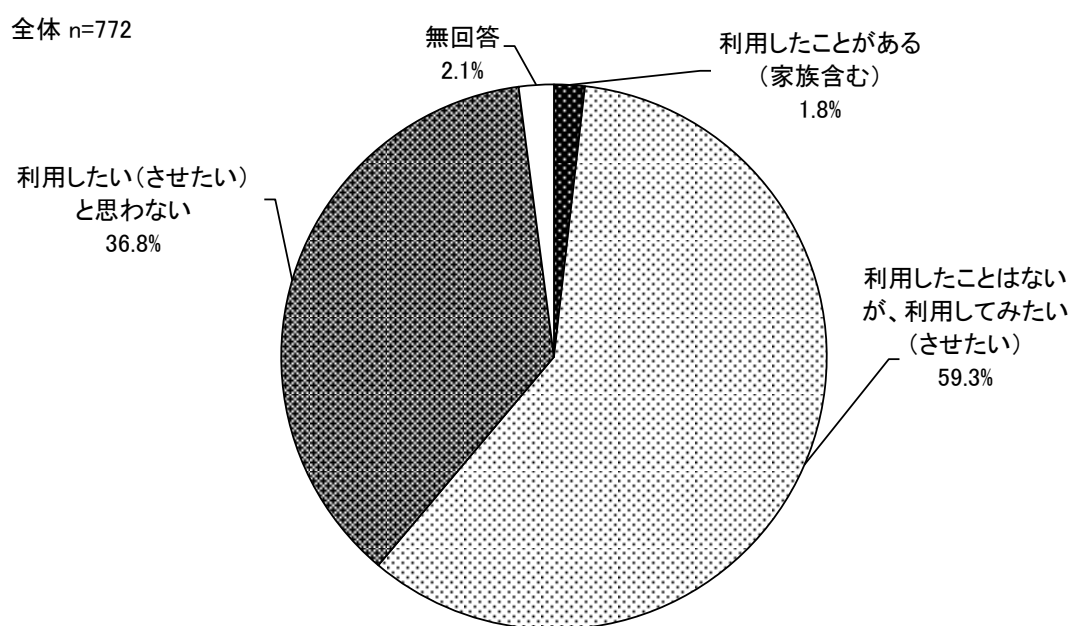


(2) 「中高生ひろば」の利用状況及び利用意向

◇「利用したことがある（家族含む）」は1割未満となっている

**問2 「中高生ひろば」を利用したこと（中高生世代のご家族が利用されたこと）はありますか。
また、自分の近くにあったら、利用したい（ご家族に利用させたい）と思いますか。
（1つのみ）**

“中高生ひろば”の利用状況及び利用意向については、「利用したことはないが、利用してみたい（させたい）」が59.3%で最も高く、次いで「利用したい（させたい）と思わない」が36.8%、「利用したことがある（家族含む）」が1.8%となっている。

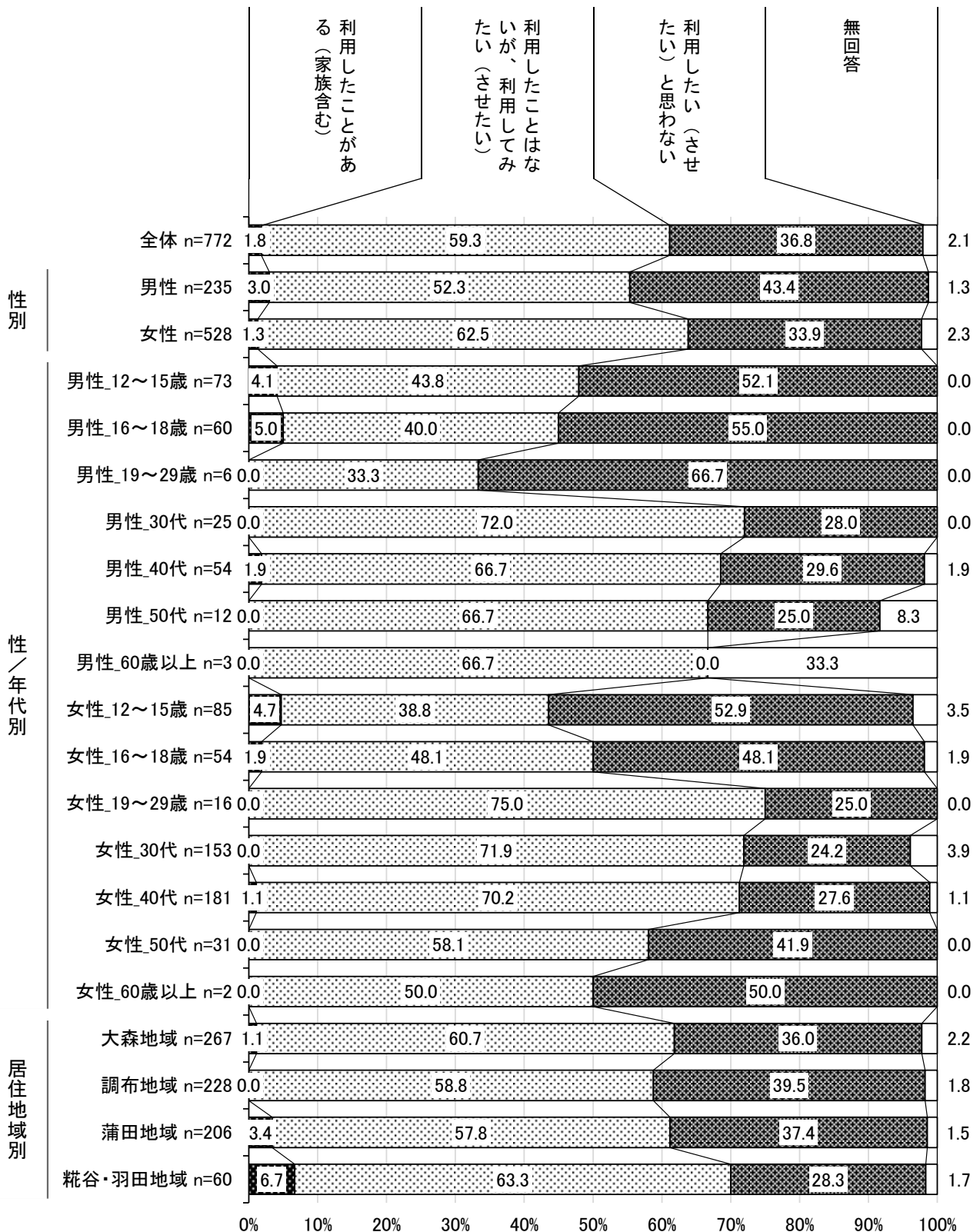


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「利用したことがある（家族含む）」に大きな差はみられないものの、「利用したことはないが、利用してみたい（させたい）」では男性が52.3%、女性が62.5%と、女性が10.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「利用したことがある（家族含む）」は男性12～15歳が4.1%、男性16～18歳が5.0%、女性12～15歳が4.7%となっている。

居住地域別でみると、「利用したことがある（家族含む）」は糞谷・羽田地域で1割弱となっている。

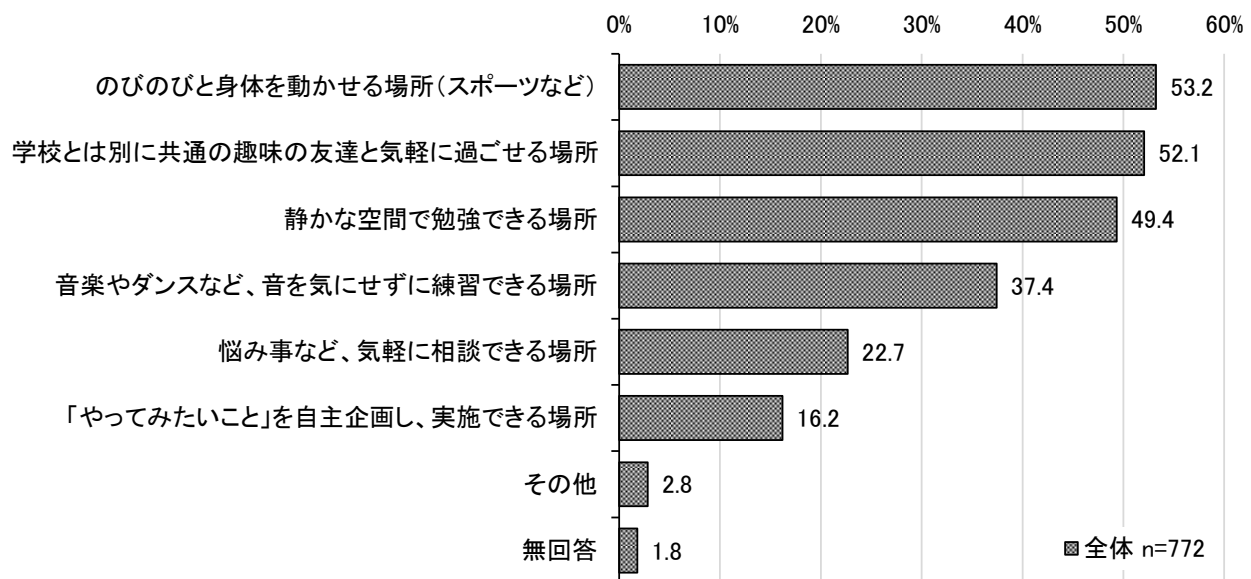


(3) 中高生世代の時に利用したい施設

◇「のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）」が5割前半で最も高くなっている

問3 中高生世代の時に、こんな施設があったら利用してみたい（利用してみたかった）と思うことを教えてください。（3つまで）

中高生世代の時に利用したい施設については、「のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）」が53.2%で最も高く、次いで「学校とは別に共通の趣味の友達と気軽に過ごせる場所」が52.1%、「静かな空間で勉強できる場所」が49.4%となっている。

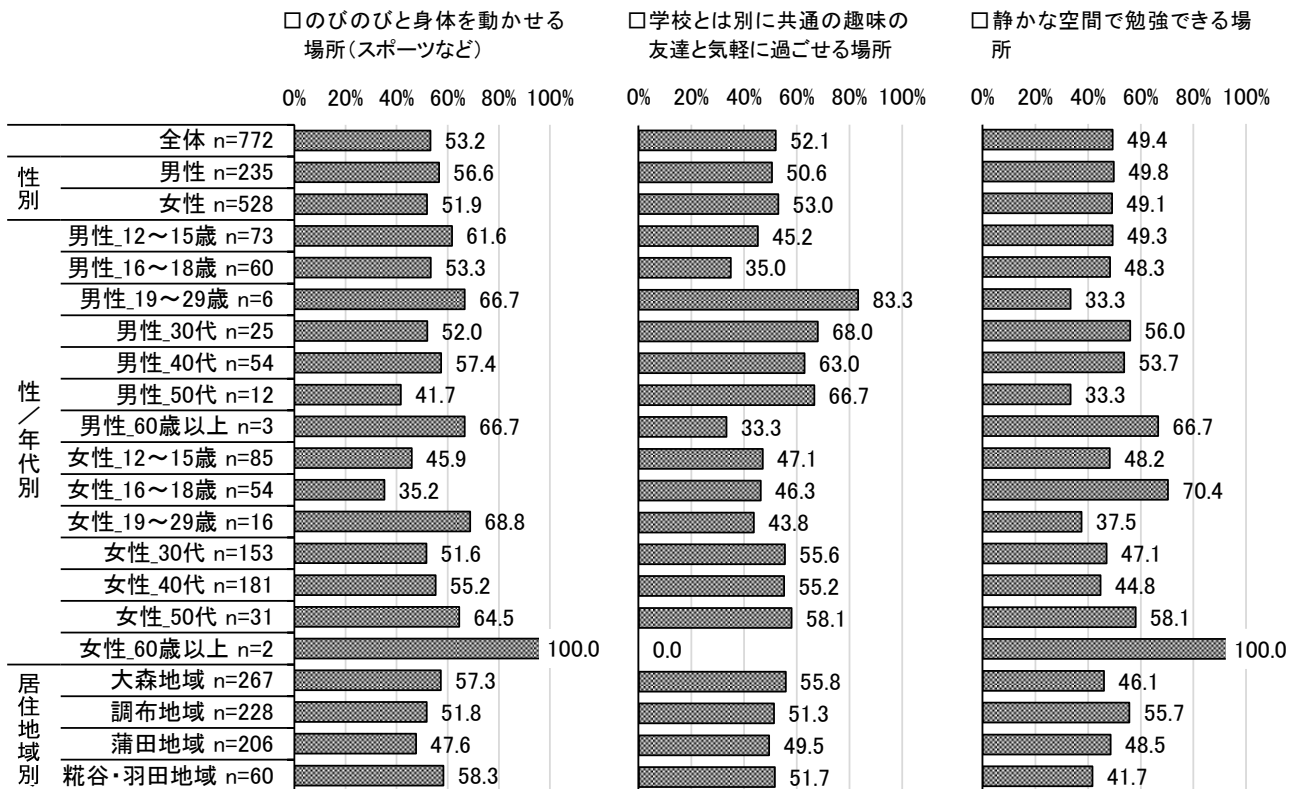


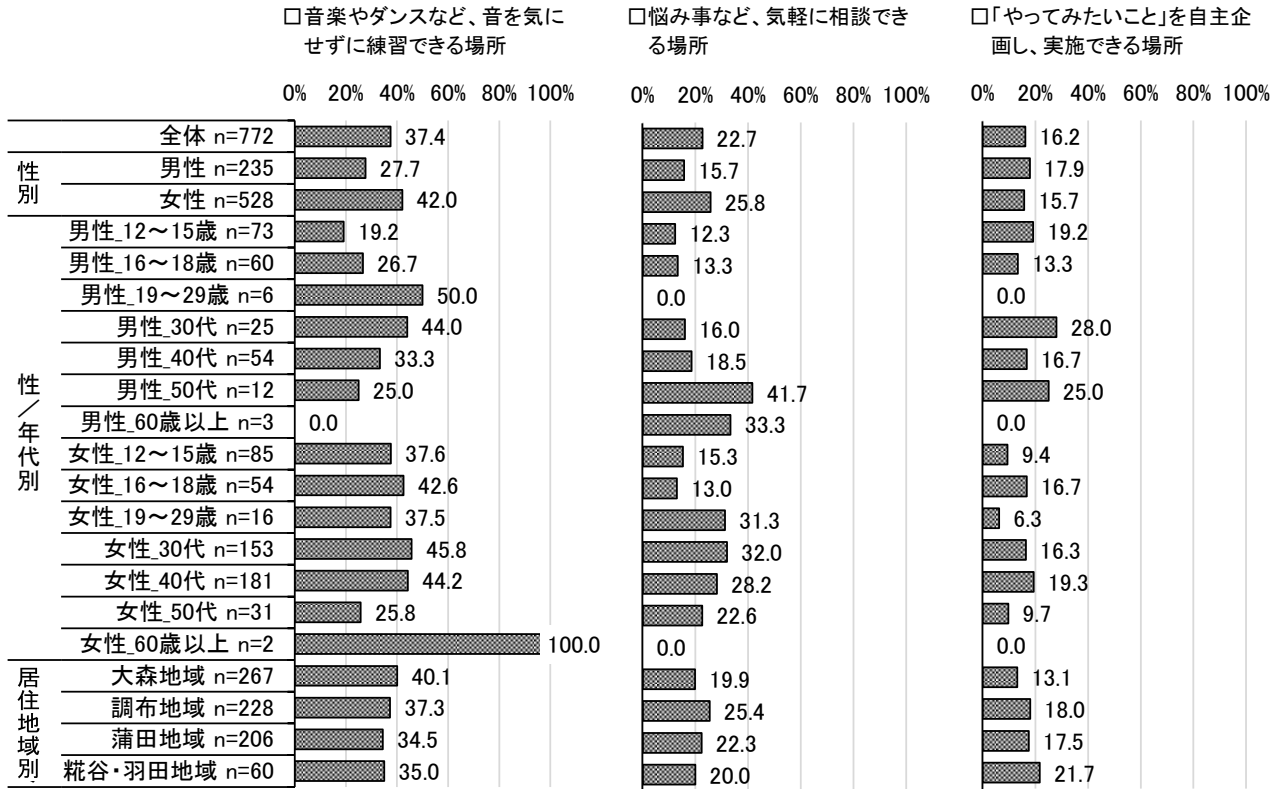
■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）」が最も高く、女性では「学校とは別に共通の趣味の友達と気軽に過ごせる場所」が最も高くなっている。「のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）」は男性 56.6%、女性が 51.9%と、男性が 4.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、男性 12～15 歳、男性 16～18 歳では「のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）」が、女性 12～15 歳、女性 16～18 歳では「静かな空間で勉強できる場所」が最も高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、糀谷・羽田地域では「のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）」が、調布地域では「静かな空間で勉強できる場所」が、蒲田地域では「学校とは別に共通の趣味の友達と気軽に過ごせる場所」が最も高くなっている。





3 家庭生活について

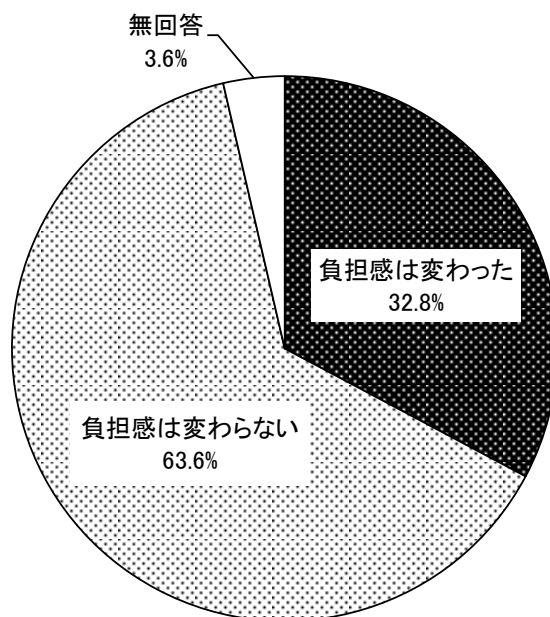
(1) コロナ禍での家事や育児の負担感

◇「負担感が変わった」は3割前半となっている

問4 コロナ禍で家事や育児の負担感は変わりましたか。(1つのみ)

コロナ禍での家事や育児の負担感については、「負担感が変わった」が32.8%、「負担感が変わらない」が63.6%と、「負担感が変わらない」が30.8ポイント上回っている。

全体 n=772

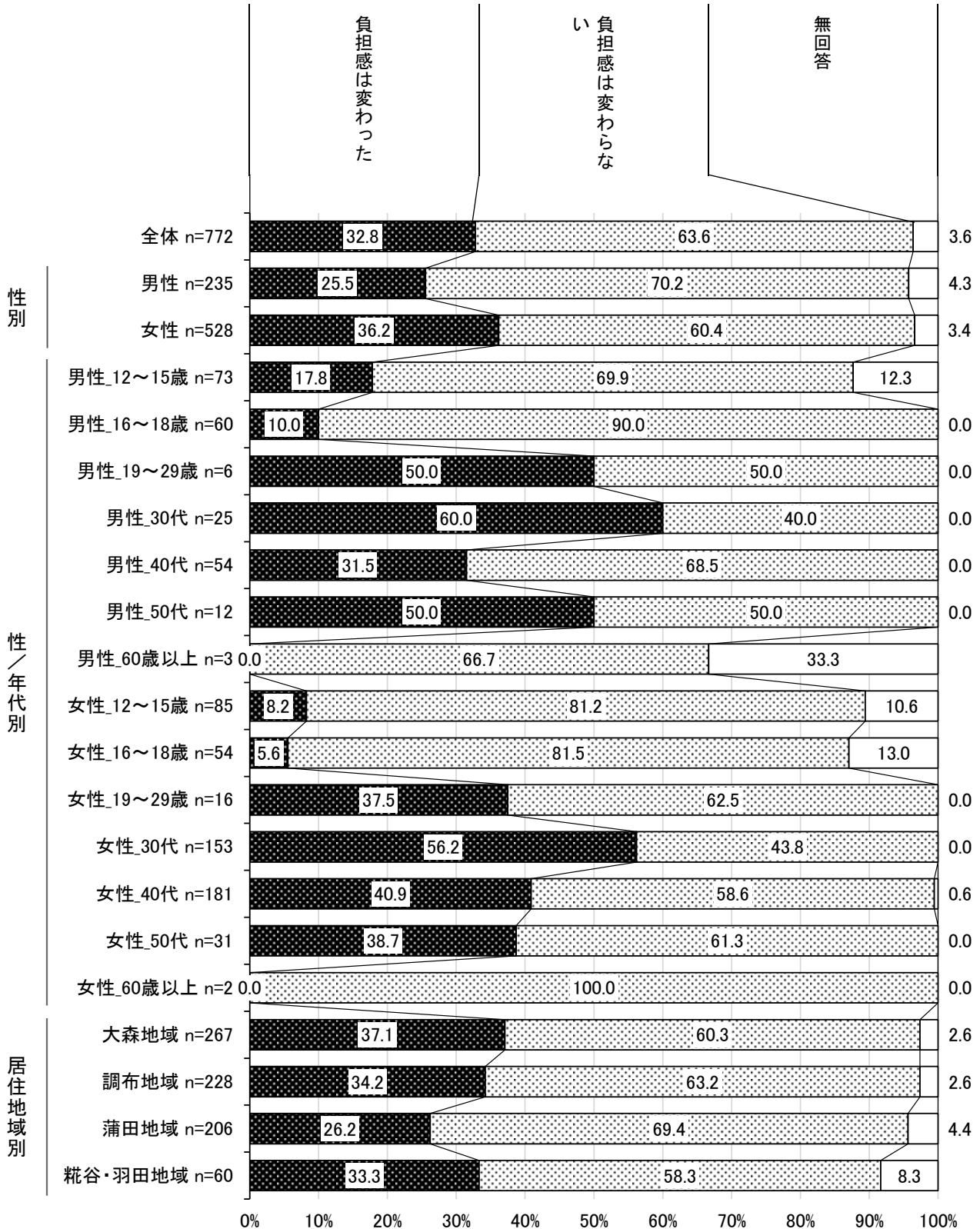


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「負担感が変わった」は男性が25.5%、女性が36.2%と、女性が10.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「負担感が変わった」は女性30代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「負担感が変わった」は大森地域で3割後半と高くなっている。



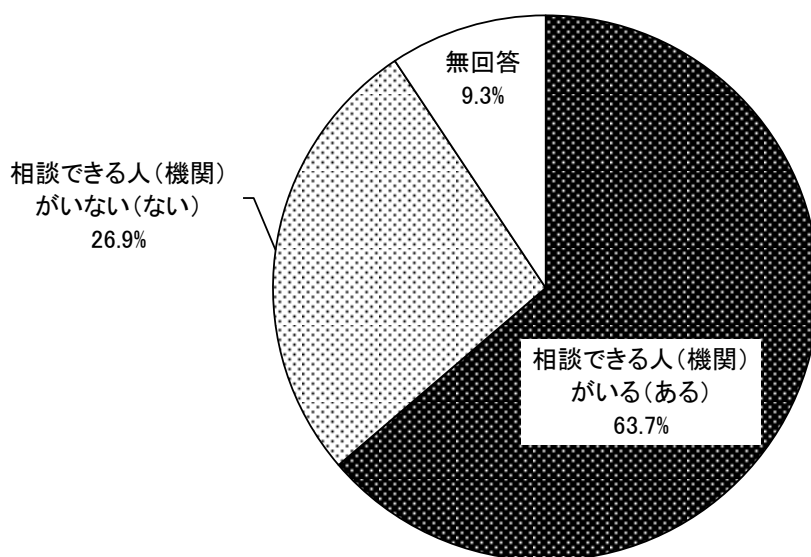
(2) 子育てに関する相談先の有無

◇「相談できる人（機関）がいる（ある）」は6割前半となっている

問5 子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。（1つのみ）

子育てに関する相談先の有無については、「相談できる人（機関）がいる（ある）」が63.7%、「相談できる人（機関）がない（ない）」が26.9%と、「相談できる人（機関）がいる（ある）」が36.8ポイント上回っている。

全体 n=772

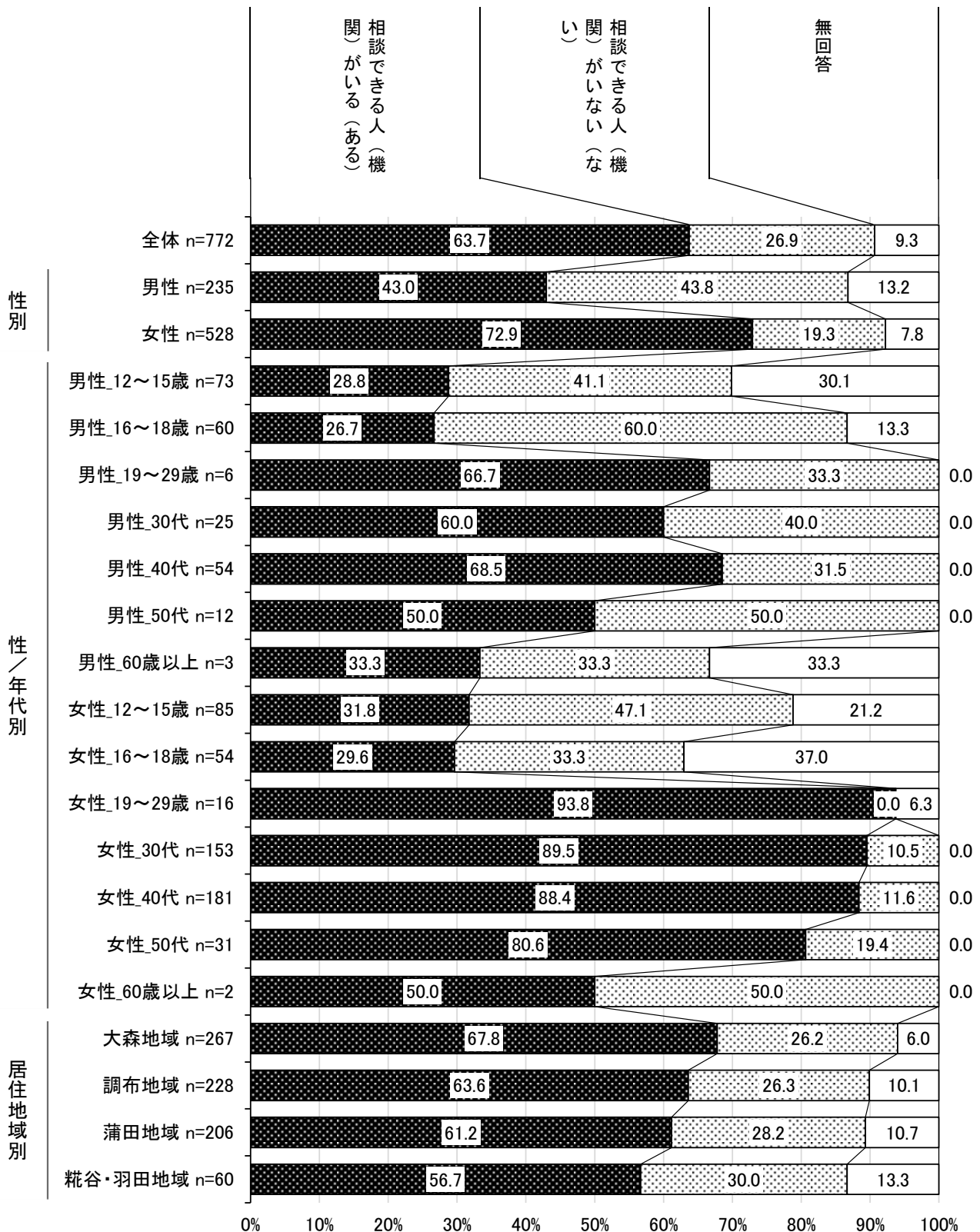


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「相談できる人（機関）がいる（ある）」は男性が43.0%、女性が72.9%と、女性が29.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「相談できる人（機関）がいる（ある）」は女性30代で約9割と高くなっている。

居住地域別でみると、「相談できる人（機関）がいる（ある）」は大森地域で6割後半と高くなっている。

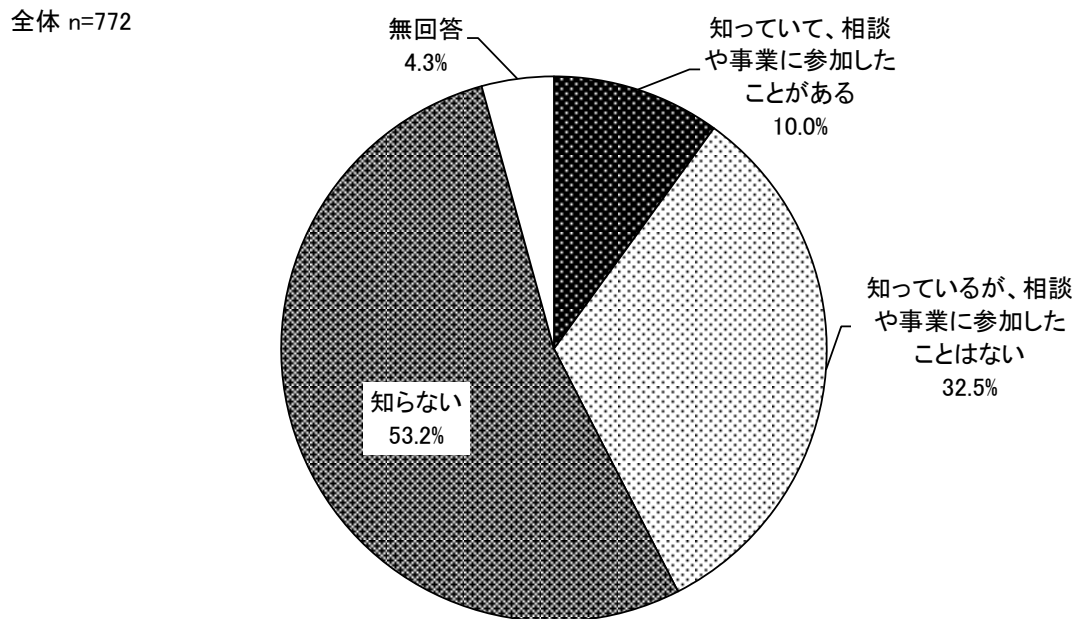


(3) 「子ども家庭支援センター」の認知度

◇《知っている》（「知っていて、相談や事業に参加したことがある」、「知っているが、相談や事業に参加したことはない」の合計値）は4割前半となっている

問6 あなたは、「子ども家庭支援センター」を知っていますか。（1つのみ）

“子ども家庭支援センター”の認知度については、「知っていて、相談や事業に参加したことがある」、「知っているが、相談や事業に参加したことはない」の合計値《知っている》が42.5%である一方で、「知らない」が53.2%と、「知らない」が10.7ポイント上回っている。

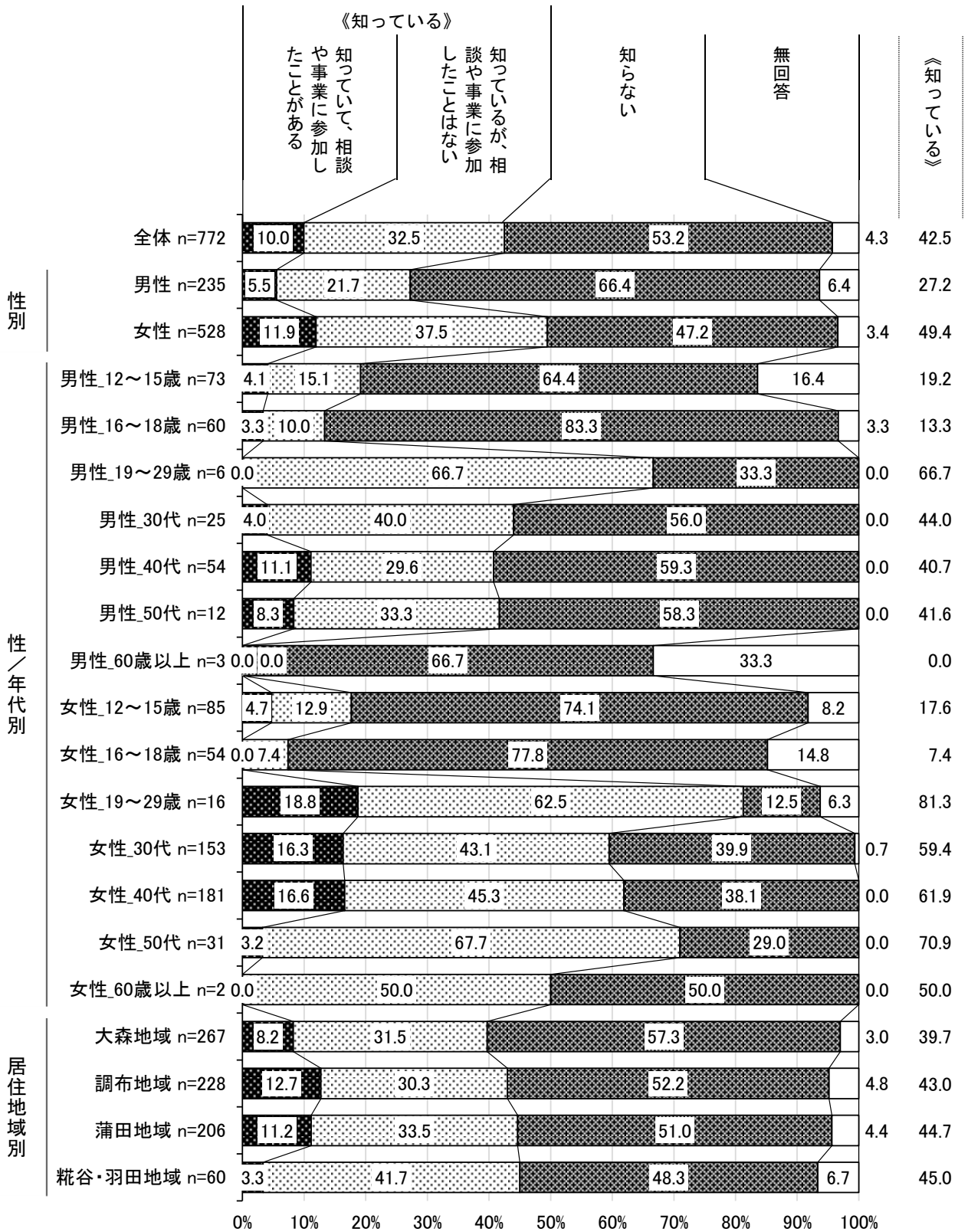


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が27.2%、女性が49.4%と、女性が22.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は女性50代で約7割と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は蒲田地域、糀谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



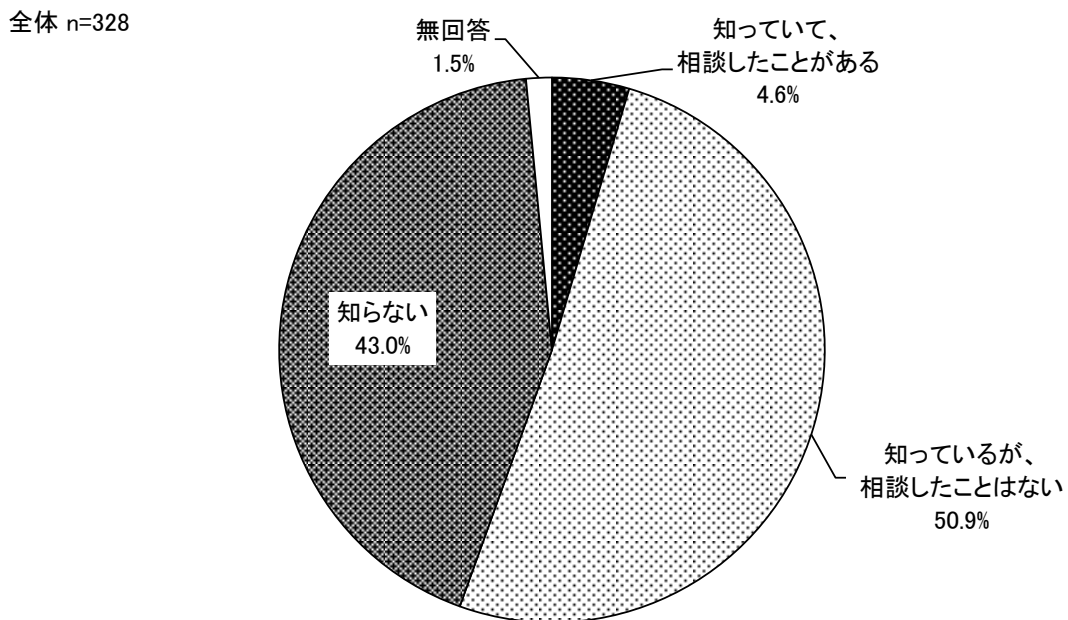
(4) 子ども家庭支援センターでの子どもからの相談受付の認知度

◇《知っている》(「知っている、相談したことがある」、「知っているが、相談したことはない」の合計値)は5割半ばとなっている

【問6で「知っている、相談や事業に参加したことがある」「知っているが、相談や事業に参加したことはない」と回答した方に伺います。】

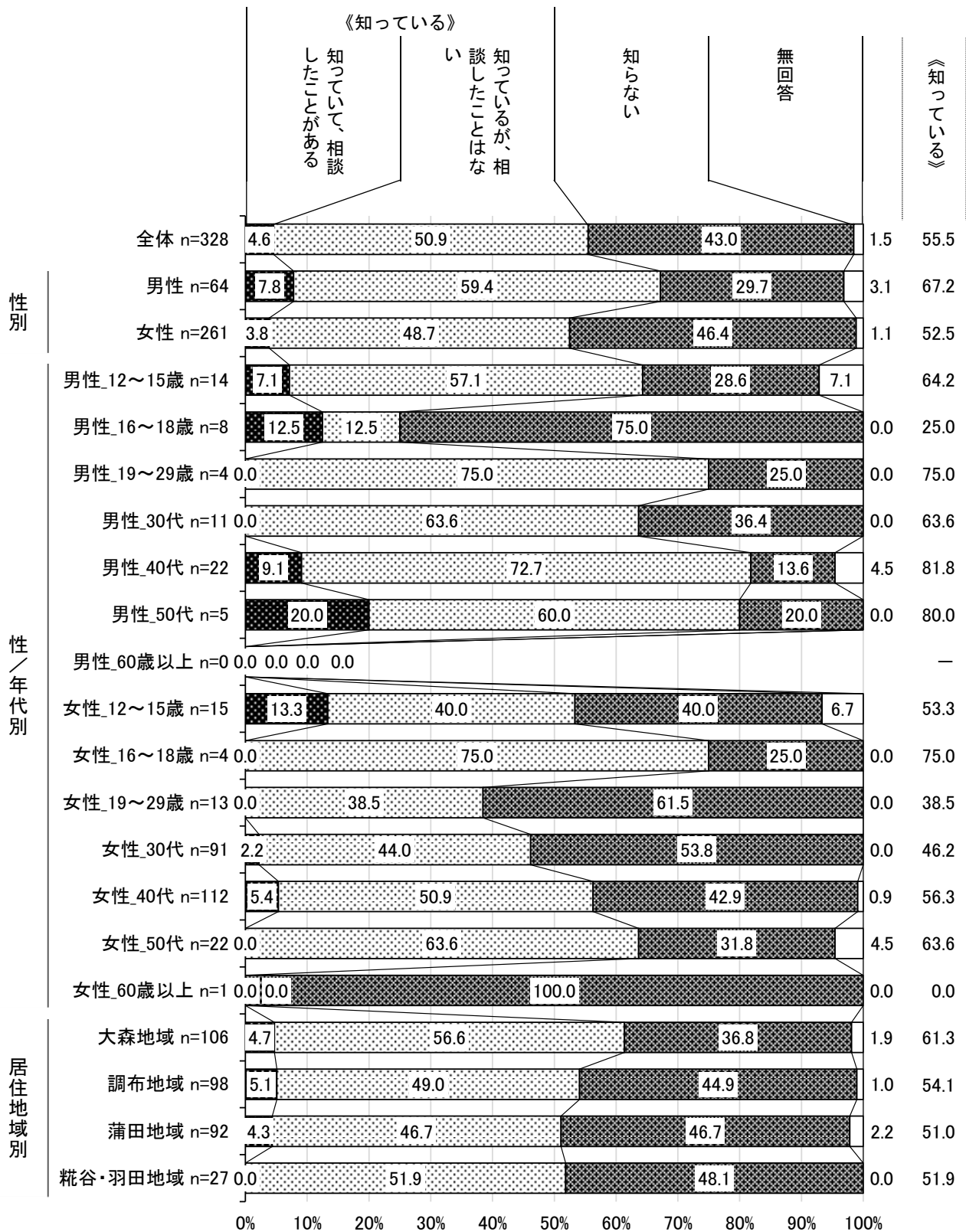
問6-1 子ども家庭支援センターでは、子どもからの相談も受けていることを知っていますか。 (1つのみ)

子ども家庭支援センターでの子どもからの相談受付の認知度については、「知っている、相談したことがある」、「知っているが、相談したことはない」の合計値《知っている》が55.5%である一方で、「知らない」が43.0%と、《知っている》が12.5ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が67.2%、女性が52.5%と、男性が14.7ポイント上回っている。



(5) 子ども家庭支援センターの事業で知っていること

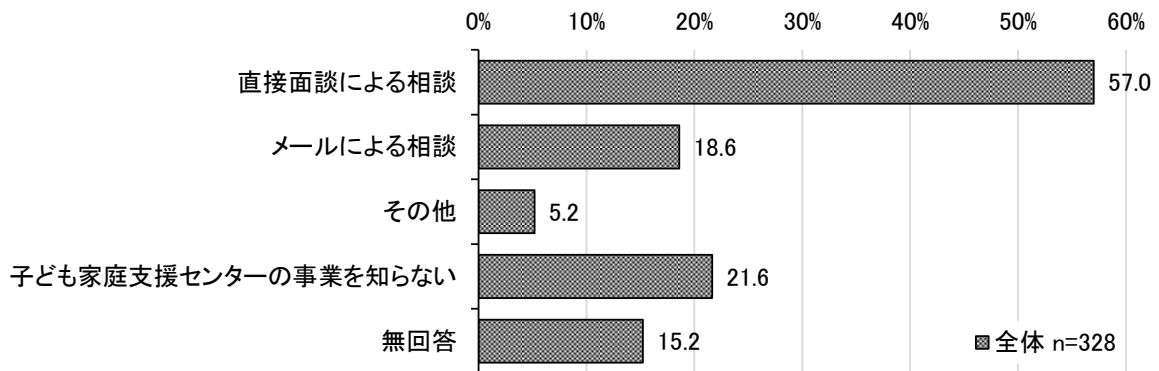
◇「直接面談による相談」が5割後半となっている

【問6で「知っていて、相談や事業に参加したことがある」「知っているが、相談や事業に参加したことはない」と回答した方に伺います。】

**問6-2 子ども家庭支援センターでは、さまざまな相談の実施や窓口の案内を行っています。
あなたが知っている子ども家庭支援センターの事業を教えてください。(いくつでも)**

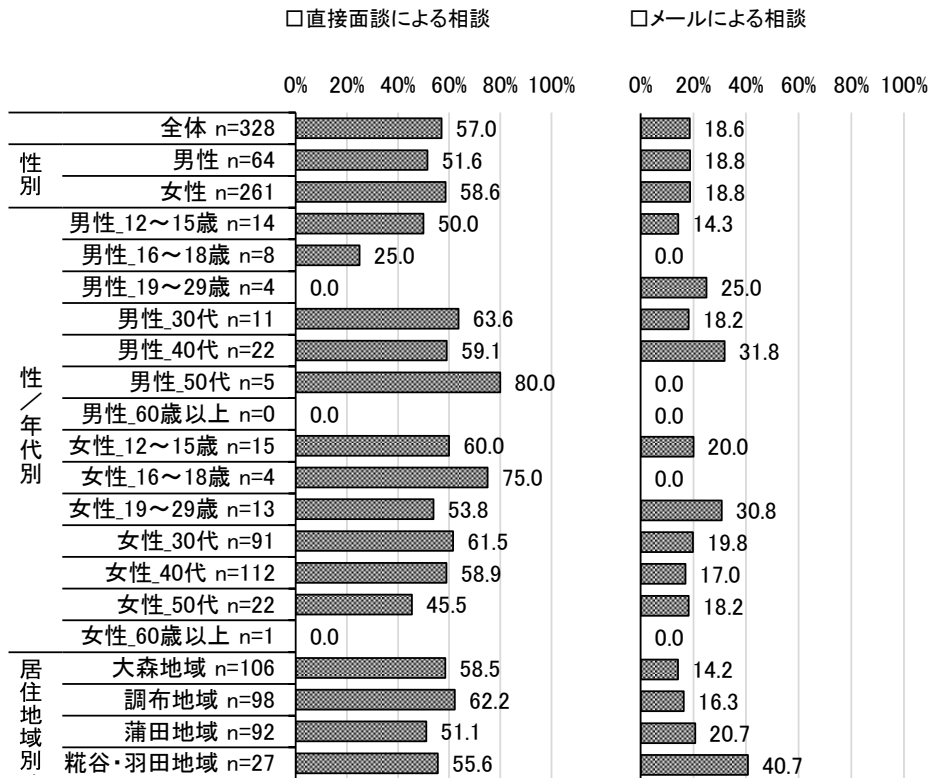
子ども家庭支援センターの事業で知っていることについては、「直接面談による相談」が57.0%で最も高く、次いで「メールによる相談」が18.6%となっている。

なお、「子ども家庭支援センターの事業を知らない」は21.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「直接面談による相談」は男性が51.6%、女性が58.6%と、女性が7.0ポイント上回っている。



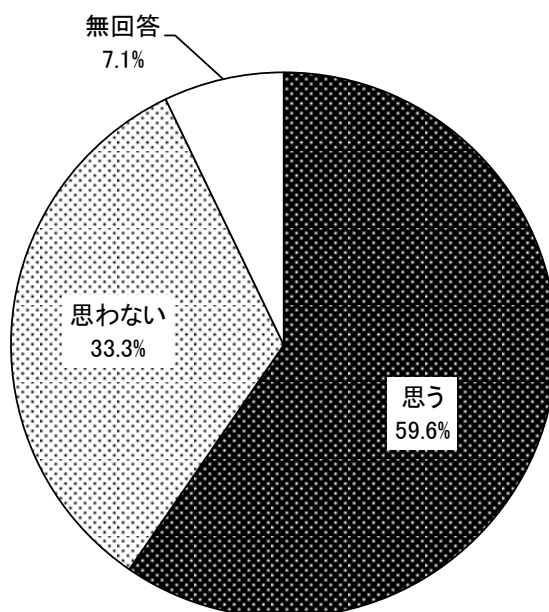
(6) 子育て家庭や親子に対する支援の意向

◇「思う」は約6割となっている

問7 機会があれば子育てする家庭や親子を支援したいと思いますか。(1つのみ)

子育て家庭や親子に対する支援の意向については、「思う」が59.6%、「思わない」が33.3%と、「思う」が26.3ポイント上回っている。

全体 n=772

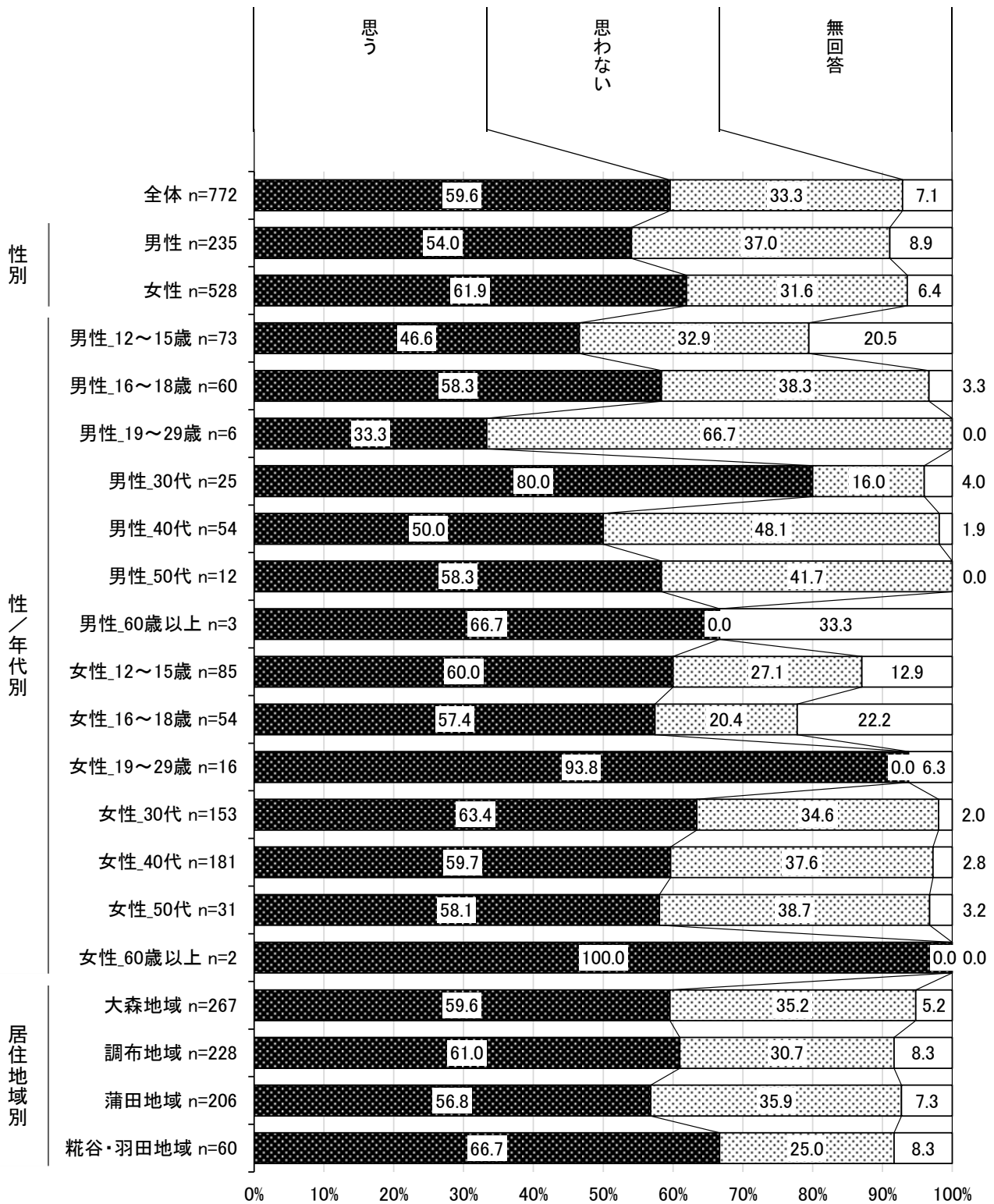


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「思う」は男性が54.0%、女性が61.9%と、女性が7.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「思う」は女性30代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「思う」は糞谷・羽田地域で6割後半と高くなっている。



4 災害時の避難等について

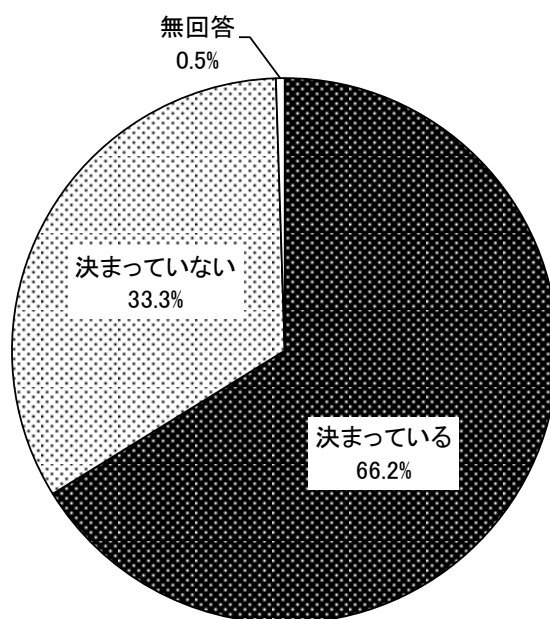
(1) 災害時の避難先の決定状況

◇「決まっている」は6割後半となっている

問8 災害時の避難先は決まっていますか。(1つのみ)

災害時の避難先の決定状況については、「決まっている」が66.2%、「決まっていない」が33.3%と、「決まっている」が32.9ポイント上回っている。

全体 n=772

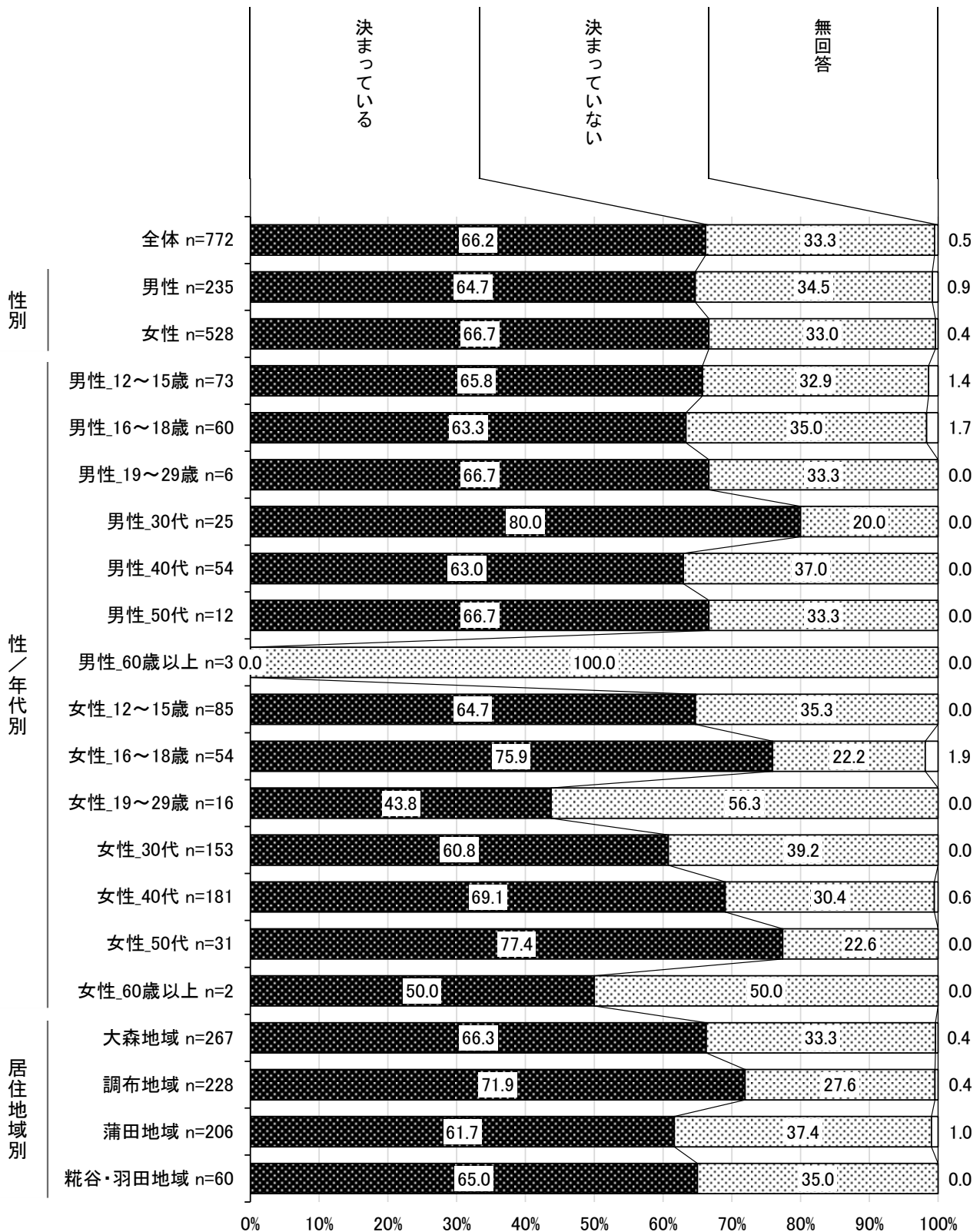


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「決まっている」は女性 50 代で 7 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「決まっている」は調布地域で 7 割前半と高くなっている。



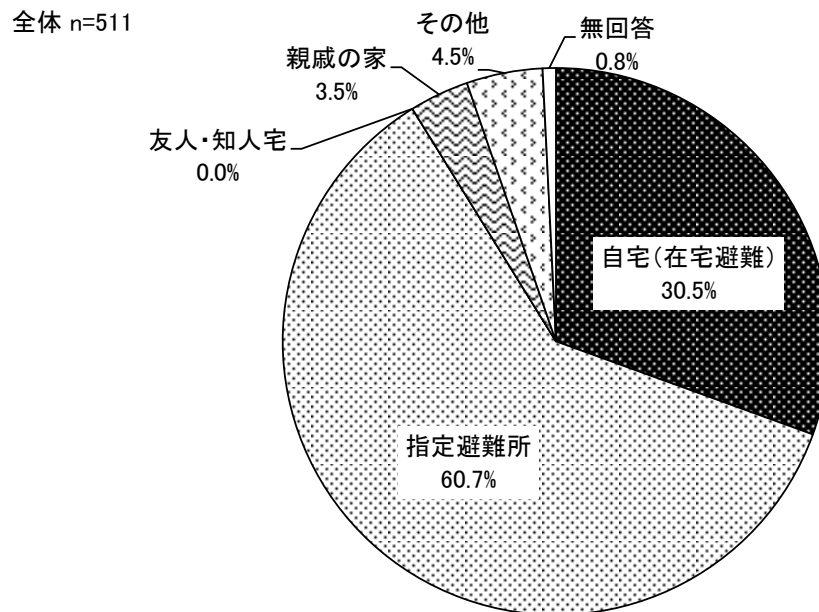
(2) 災害時の避難先

◇「指定避難所」が約6割となっている

【問8で「決まっている」と回答した方に伺います。】

問8-1 避難先はどこですか。(1つのみ)

災害時の避難先については、「指定避難所」が60.7%で最も高く、次いで「自宅(在宅避難)」が30.5%、「親戚の家」が3.5%となっている。

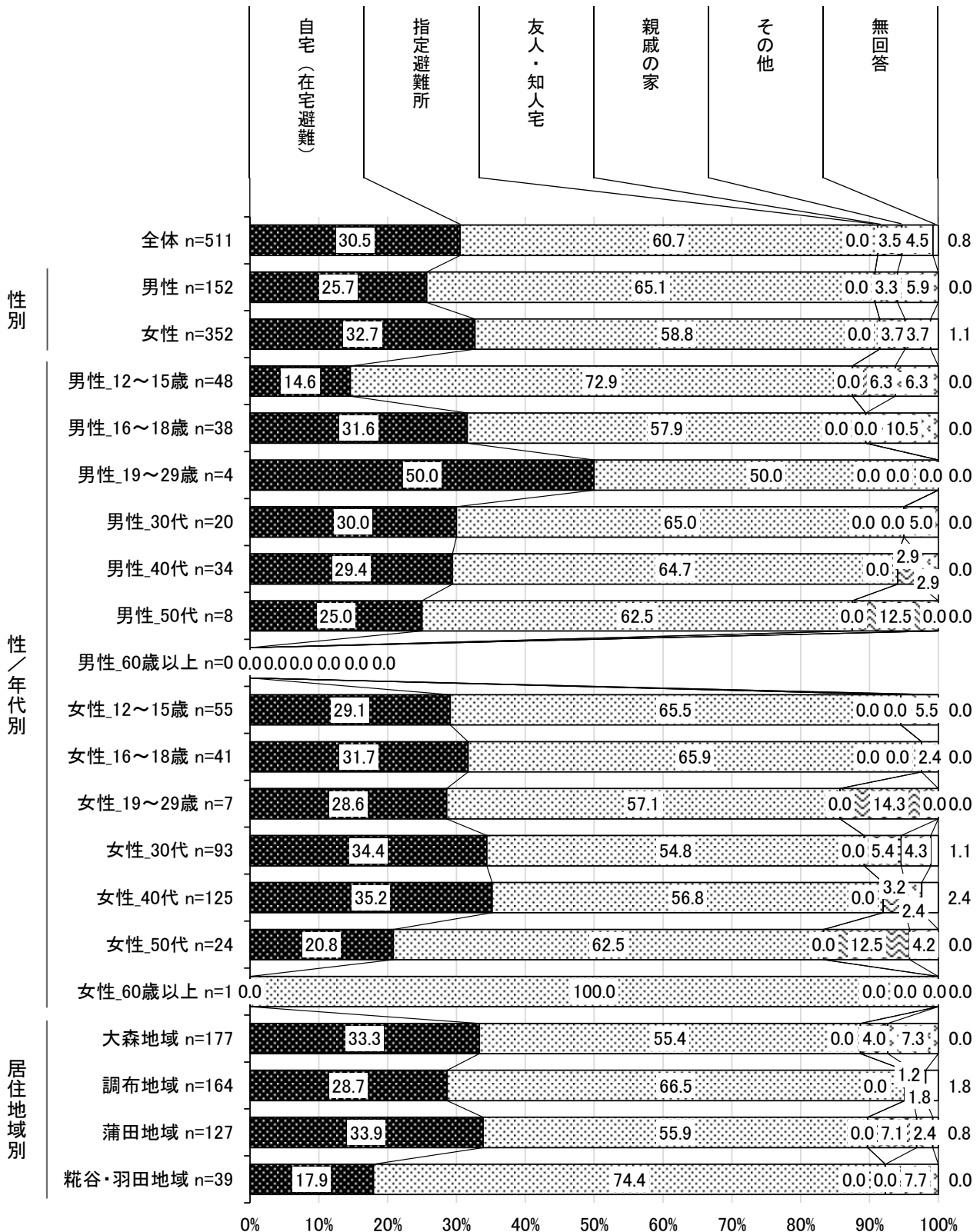


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「自宅（在宅避難）」は男性が25.7%、女性が32.7%と、女性が7.0ポイント上回っている。「指定避難所」は男性が65.1%、女性が58.8%と、男性が6.3ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「自宅（在宅避難）」は女性30代、女性40代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「自宅（在宅避難）」は大森地域、蒲田地域で3割前半と高くなっている。「指定避難所」は糀谷・羽田地域で7割半ばと高くなっている。



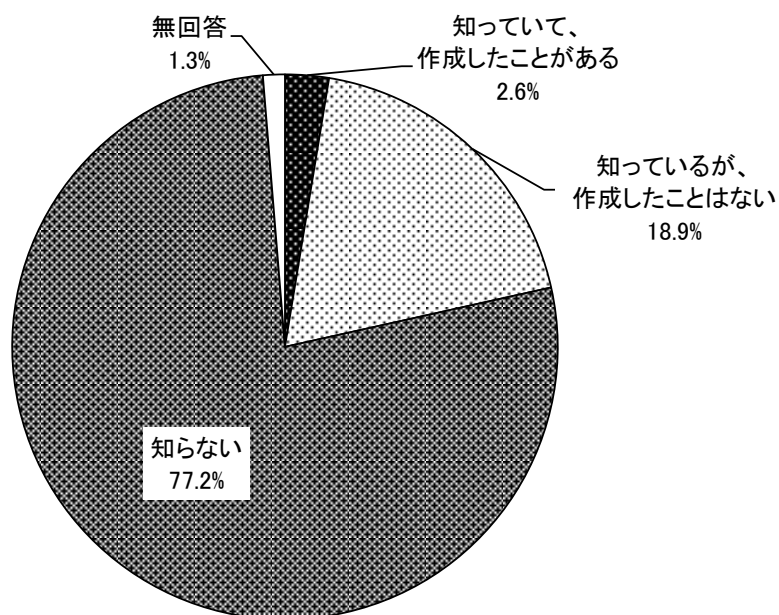
(3) 「マイ・タイムライン」の認知度

◇《知っている》(「知っていて、作成したことがある」、「知っているが、作成したことはない」の合計値)は2割前半となっている

問9 あなたは「マイ・タイムライン」を知っていますか。(1つのみ)

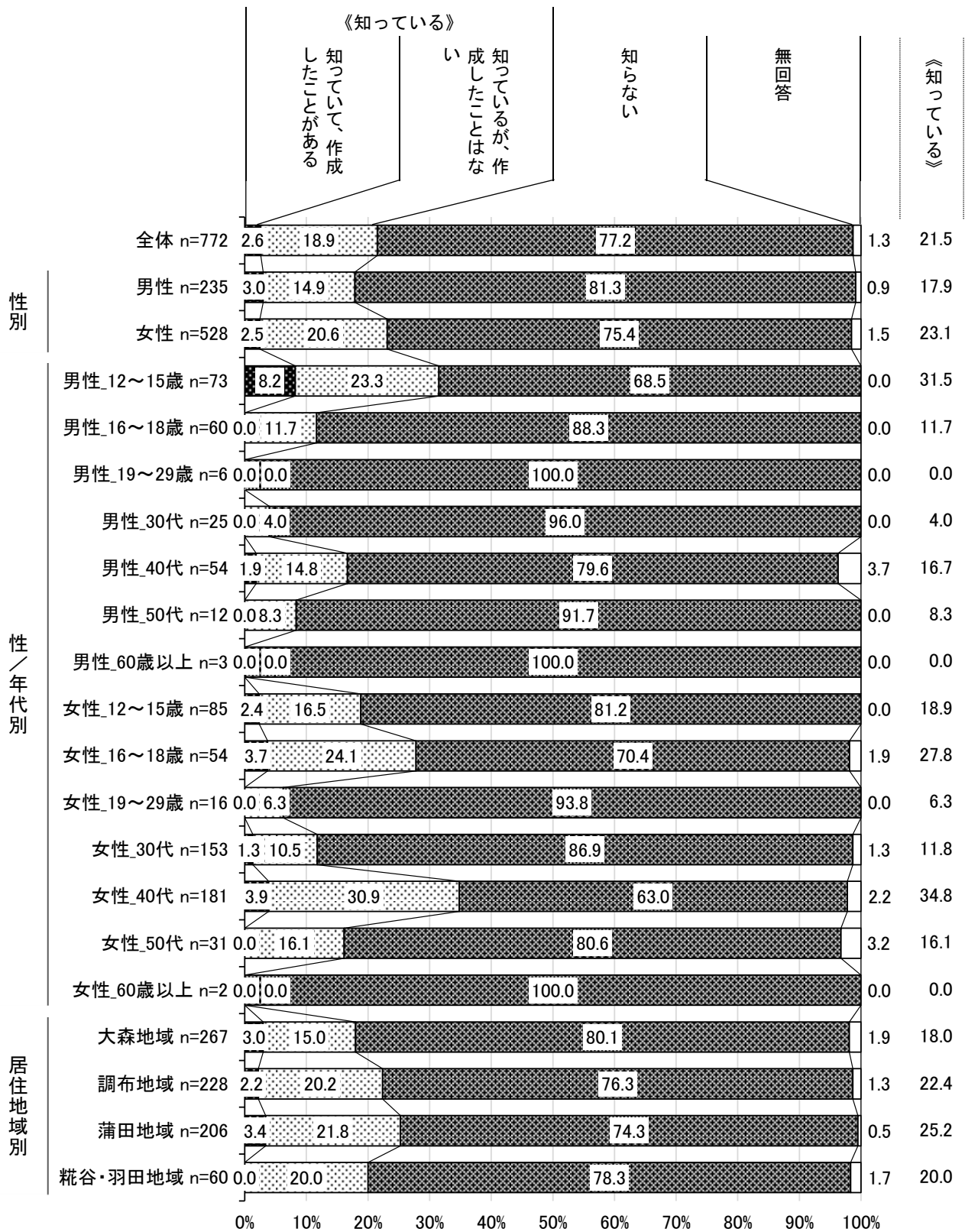
“マイ・タイムライン”の認知度については、「知っていて、作成したことがある」、「知っているが、作成したことはない」の合計値《知っている》が21.5%である一方で、「知らない」が77.2%と、「知らない」が55.7ポイント上回っている。

全体 n=772



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が17.9%、女性が23.1%と、女性が5.2ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《知っている》は女性40代で3割半ばと高くなっている。
 居住地域別でみると、《知っている》は蒲田地域で2割半ばと高くなっている。



(4) 「マイ・タイムライン」の作成方法

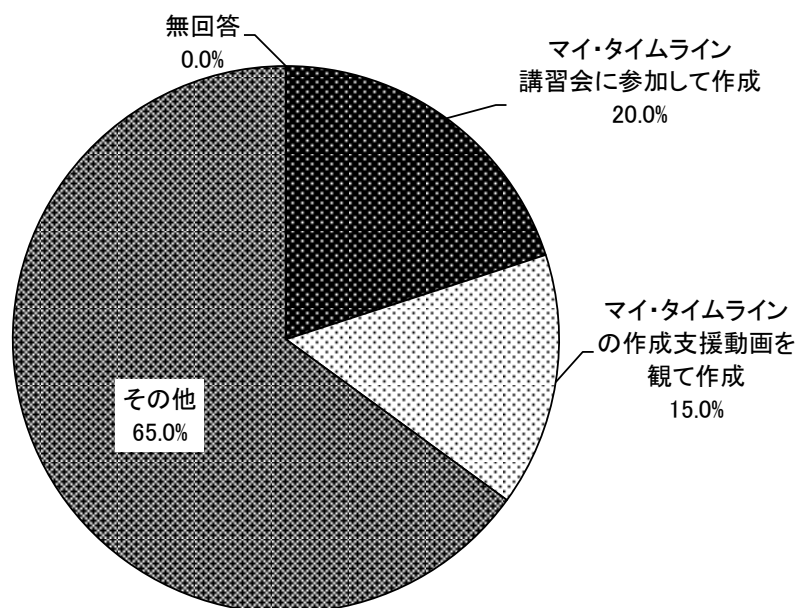
◇「マイ・タイムライン講習会に参加して作成」が2割となっている

【問9で「知っていて、作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問9-1 どのように作成しましたか。(1つのみ)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「マイ・タイムライン講習会に参加して作成」が20.0%で最も高く、次いで「マイ・タイムラインの作成支援動画を観て作成」が15.0%となっている。

全体 n=20



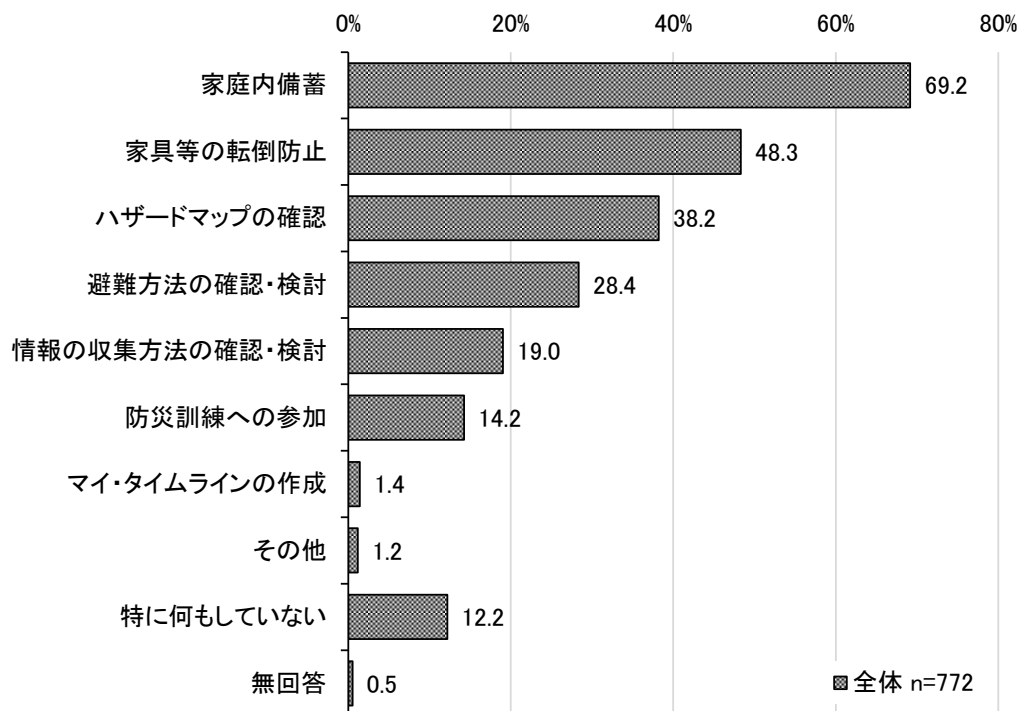
(5) 災害から自身を守るための取組

◇「家庭内備蓄」が約7割で最も高くなっている

問 10 災害から自身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(いくつでも)

災害から自身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が69.2%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が48.3%、「ハザードマップの確認」が38.2%となっている。

なお、「特に何もしていない」は12.2%となっている。

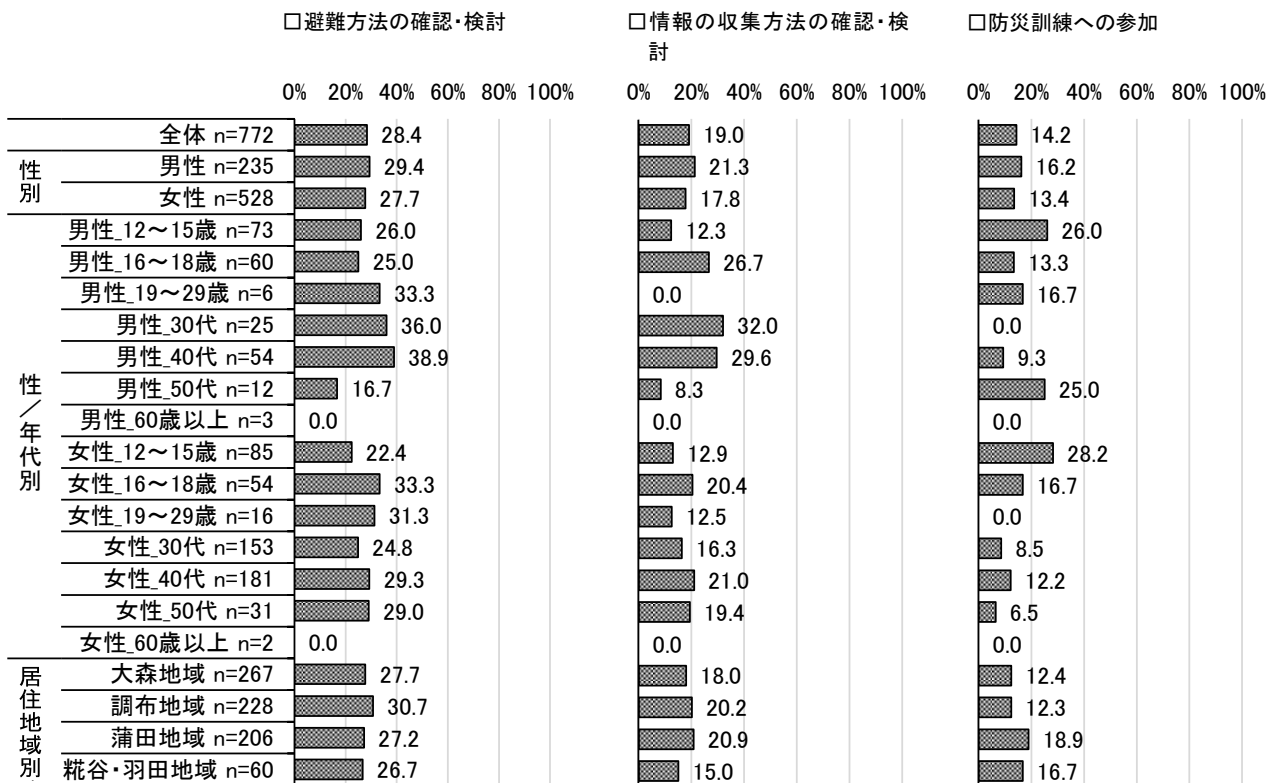
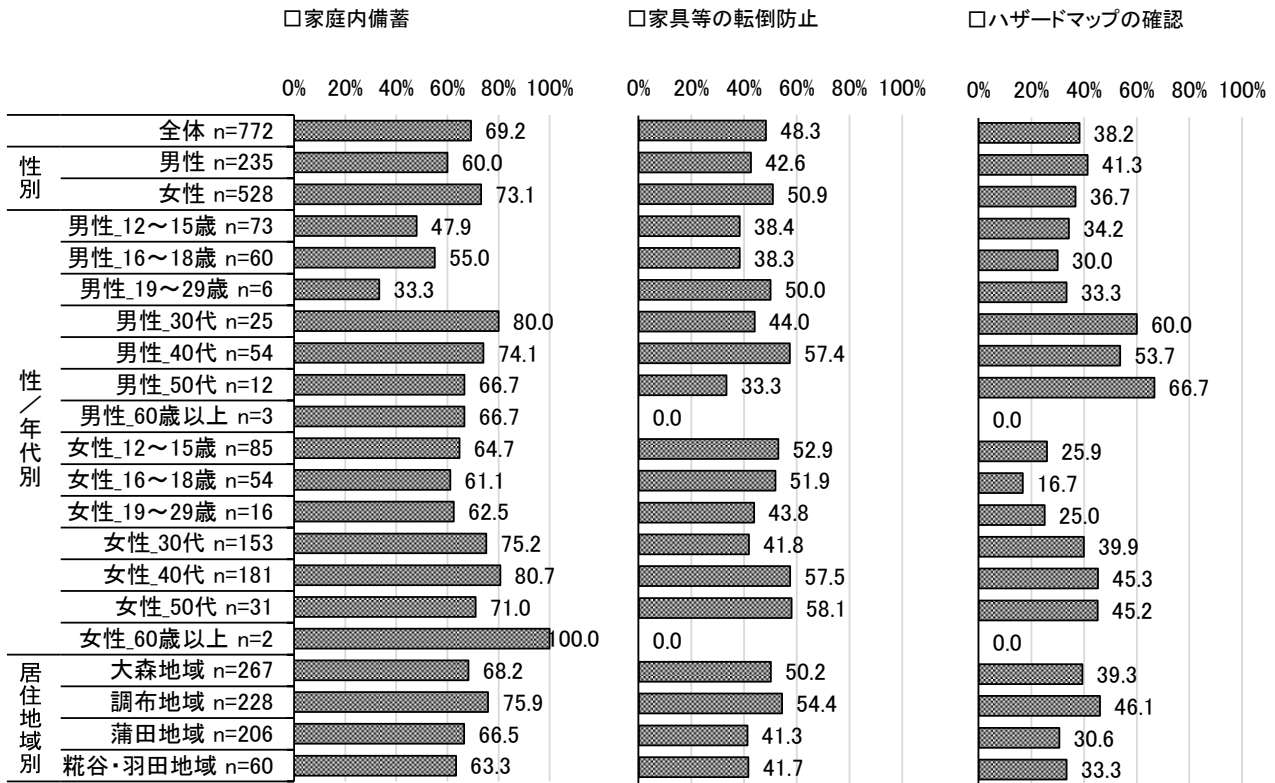


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「家庭内備蓄」が最も高く、男性が60.0%、女性が73.1%と、女性が13.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「家庭内備蓄」は女性40代で約8割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「家庭内備蓄」が最も高く、調布地域で7割半ばとなっている。

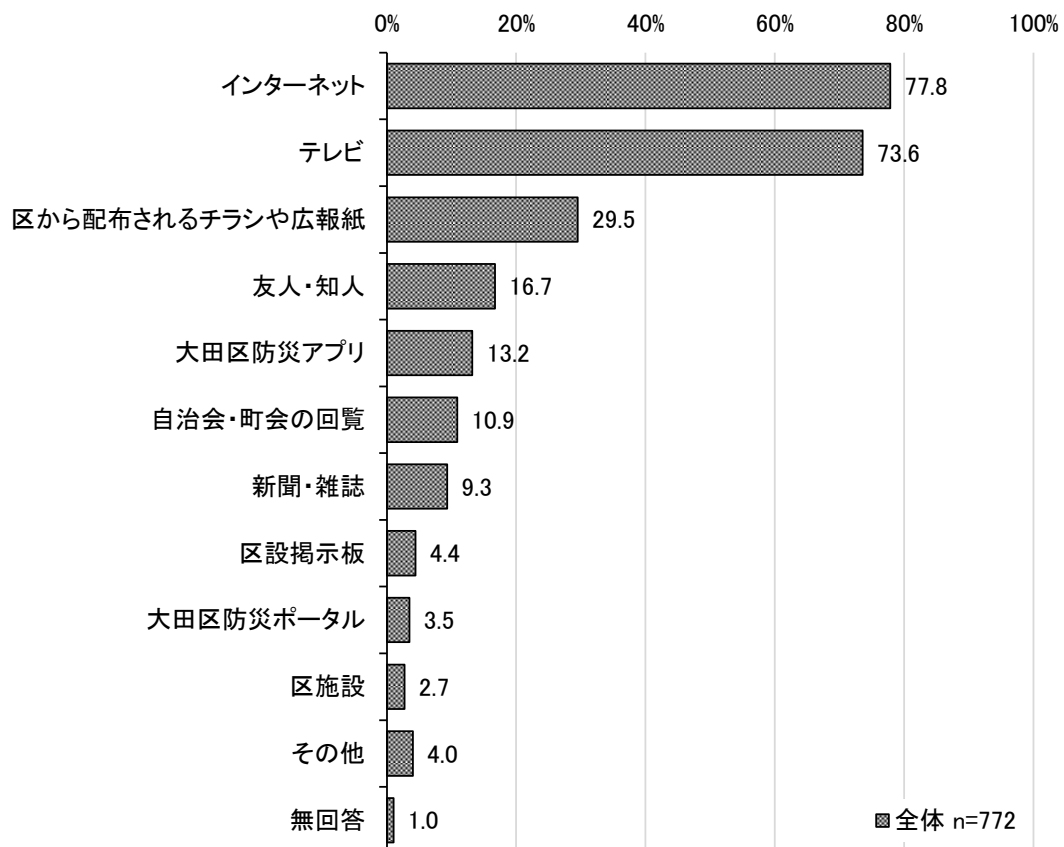


(6) 防災に関する情報の収集方法

◇「インターネット」が7割後半で最も高くなっている

問 11 防災に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)

防災に関する情報の収集方法については、「インターネット」が77.8%で最も高く、次いで「テレビ」が73.6%、「区から配布されるチラシや広報紙」が29.5%となっている。

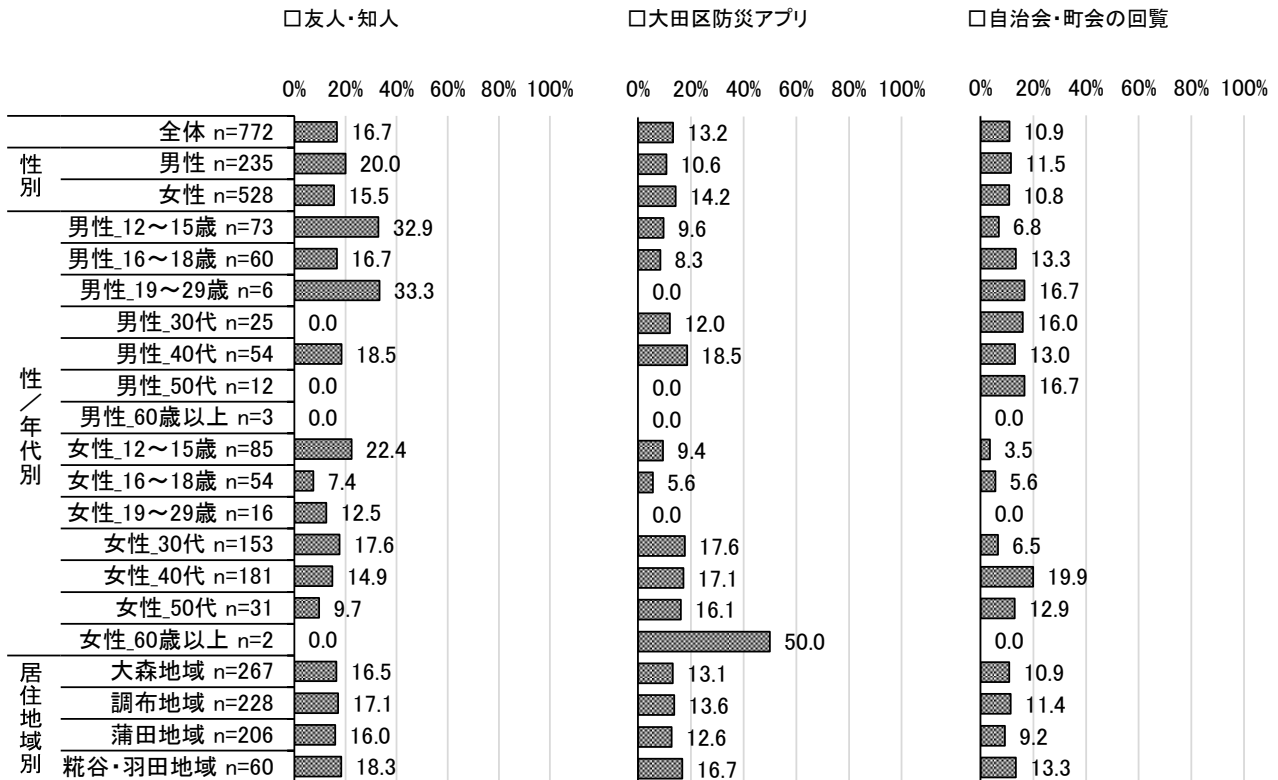
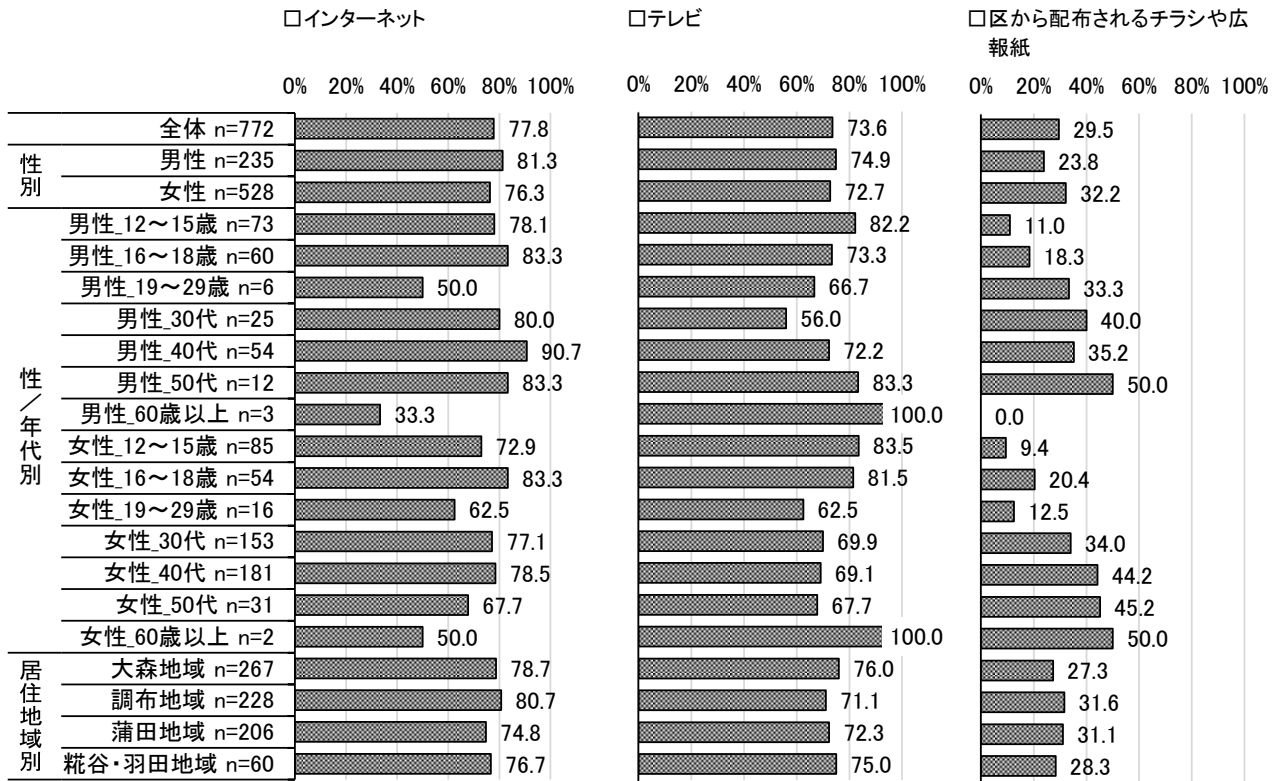


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「インターネット」が最も高く、男性が81.3%、女性が76.3%と、男性が5.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「インターネット」は男性40代で約9割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「インターネット」が最も高く、調布地域で約8割となっている。

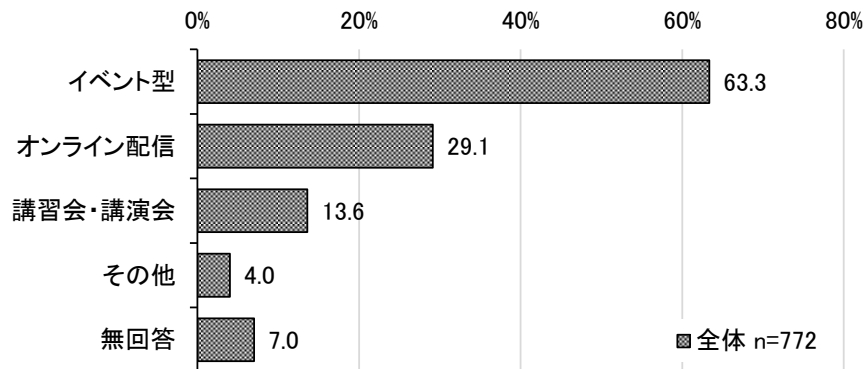


(7) 参加したいと思う防災訓練の形式

◇「イベント型」が6割前半で最も高くなっている

問 12 どのような防災訓練等に参加したいですか。(いくつでも)

参加したいと思う防災訓練の形式については、「イベント型」が63.3%で最も高く、次いで「オンライン配信」が29.1%、「講習会・講演会」が13.6%となっている。

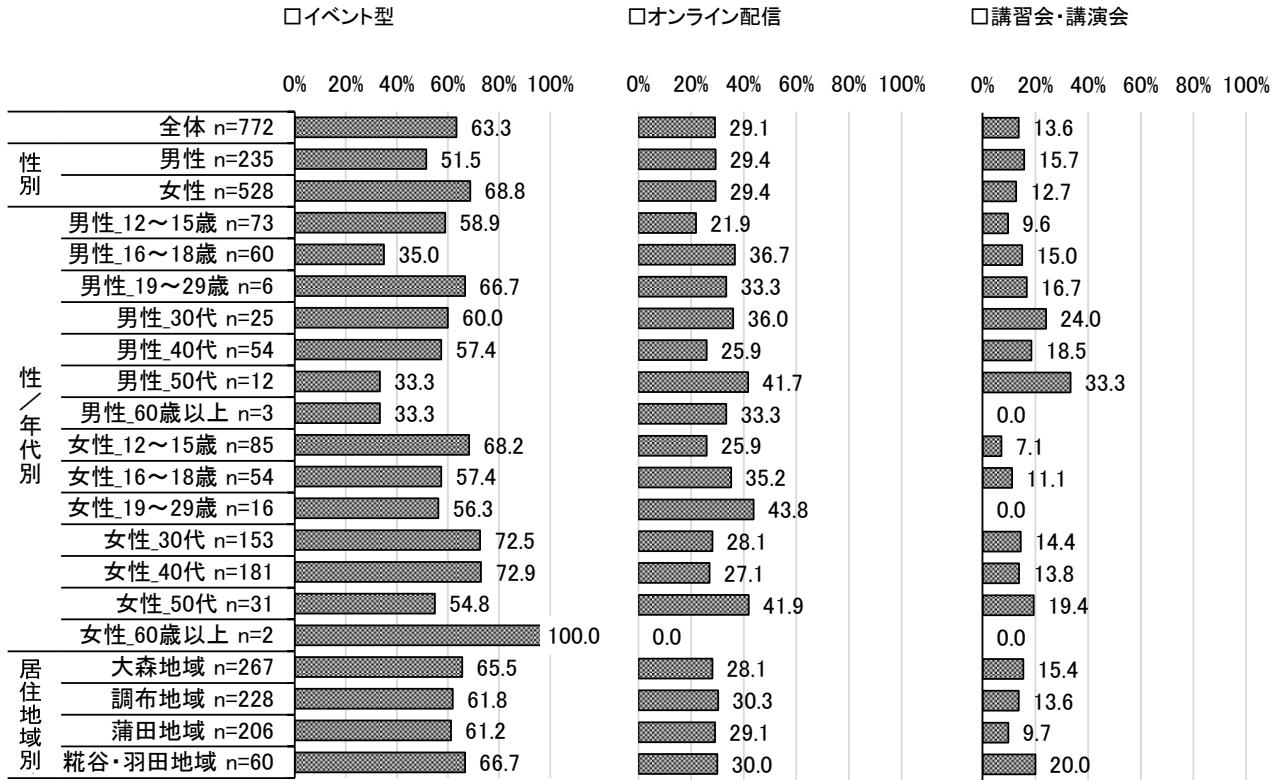


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「イベント型」が最も高く、男性が51.5%、女性が68.8%と、女性が17.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「イベント型」は女性30代、女性40代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「イベント型」が最も高く、糀谷・羽田地域で6割後半となっている。



5 自転車の利用について

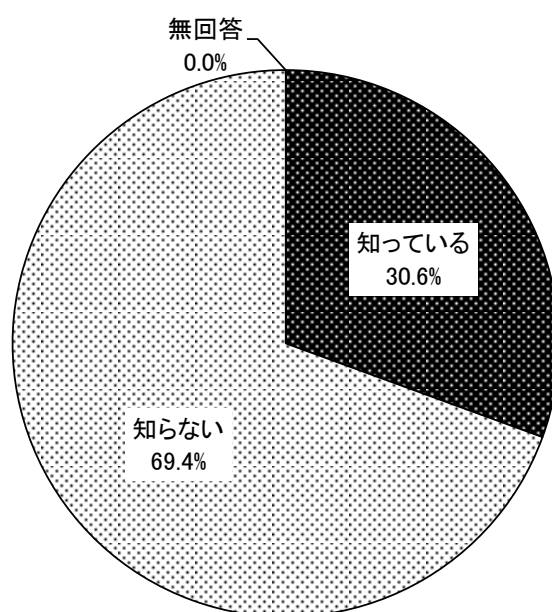
(1) 「コミュニティサイクル」の認知度

◇「知っている」は約3割となっている

**問 13 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。
(1つのみ)**

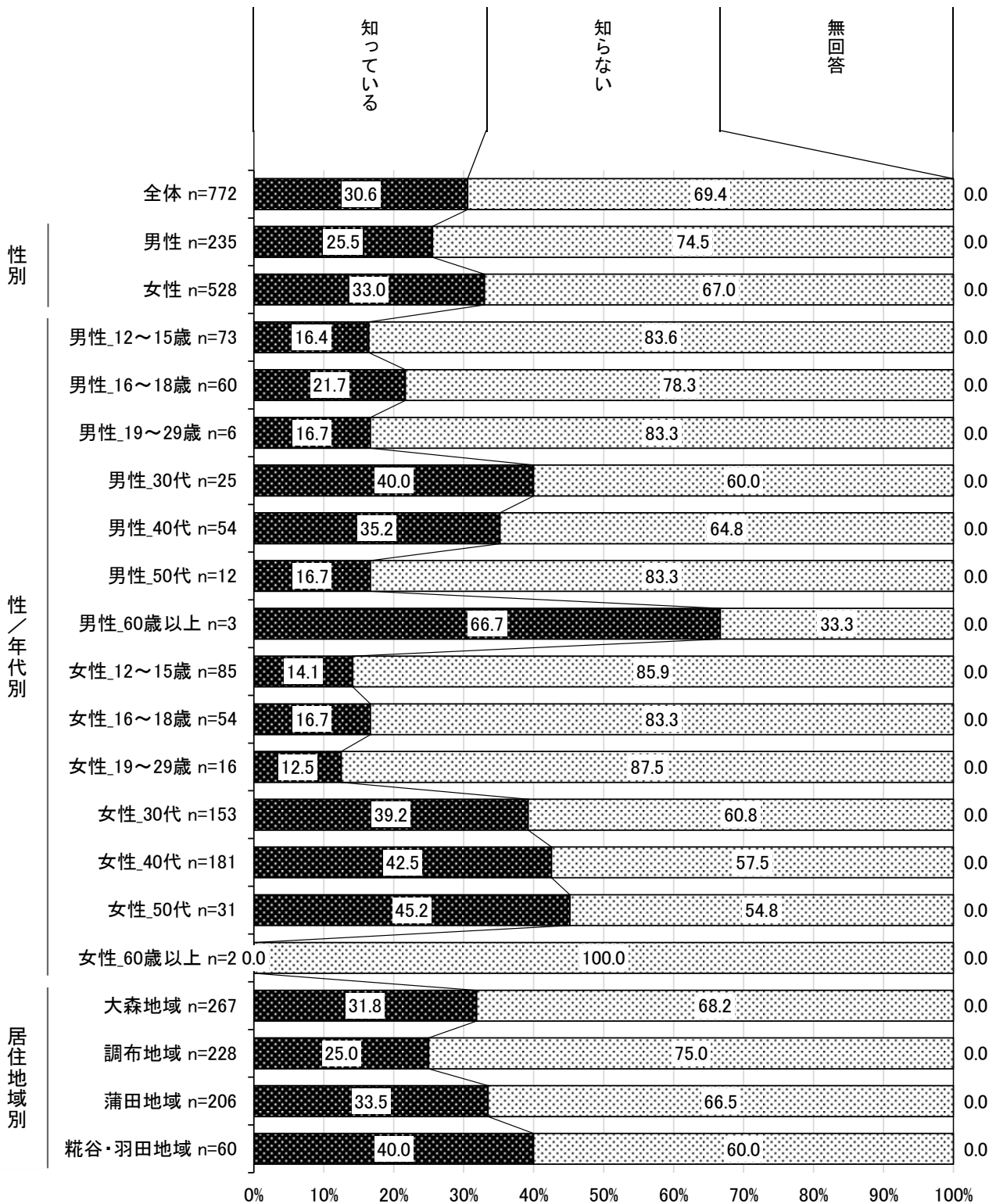
“コミュニティサイクル”の認知度については、「知っている」が30.6%、「知らない」が69.4%と、「知らない」が38.8ポイント上回っている。

全体 n=772



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が25.5%、女性が33.0%と、女性が7.5ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、「知っている」は女性50代で4割半ばと高くなっている。
 居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で4割と高くなっている。



(2) コミュニティサイクルの利用状況

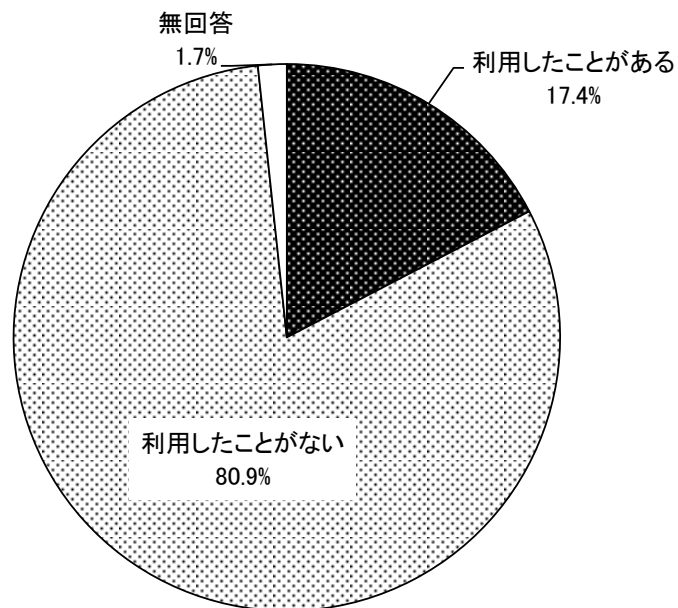
◇「利用したことがある」は1割後半となっている

【問 13 で「知っている」と回答した方に伺います。】

問 13-1 コミュニティサイクルを利用したことはありますか。(1つのみ)

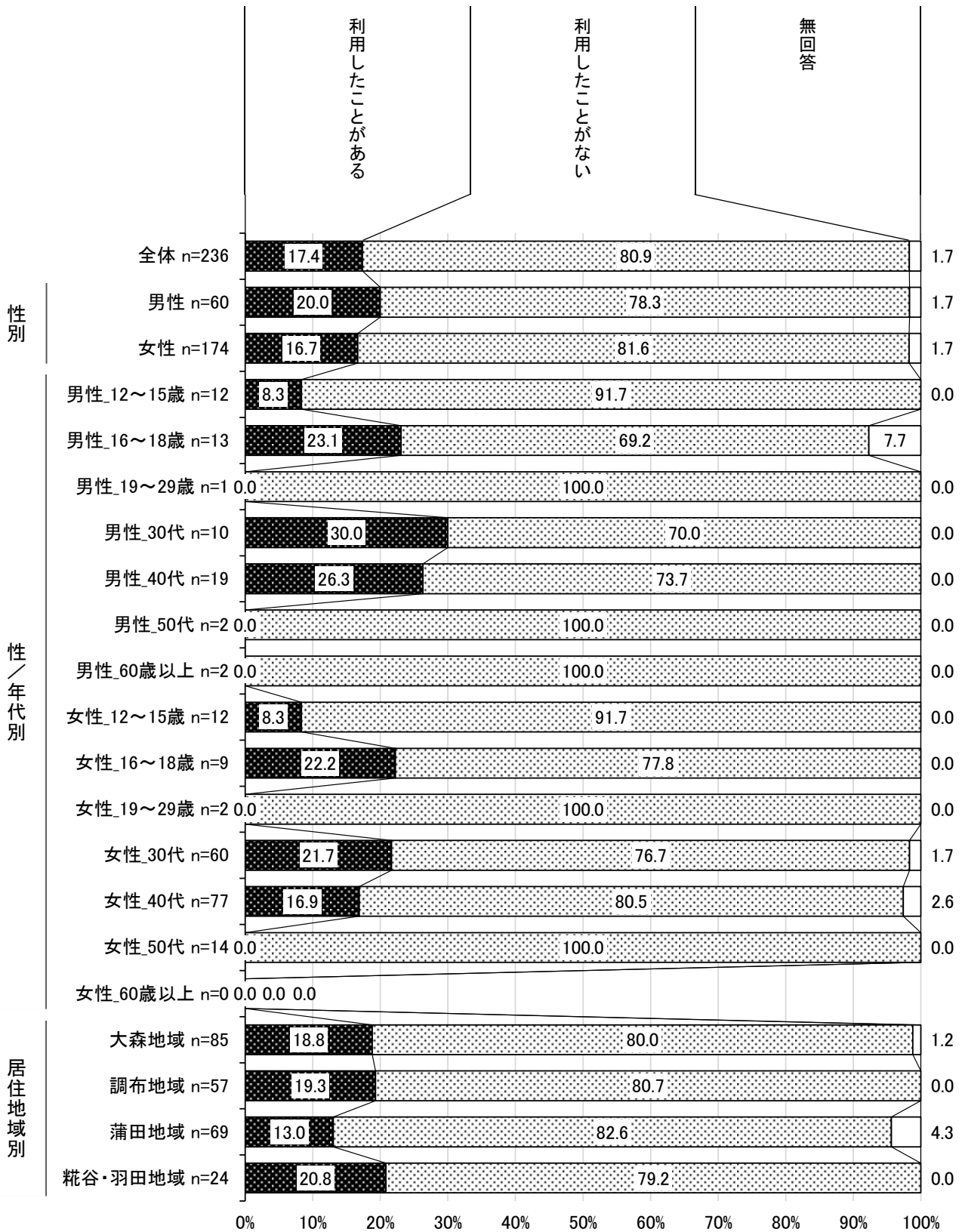
“コミュニティサイクル”の利用状況については、「利用したことがある」が17.4%、「利用したことがない」が80.9%と、「利用したことがない」が63.5ポイント上回っている。

全体 n=236



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「利用したことがある」は男性が20.0%、女性が16.7%と、男性が3.3ポイント上回っている。



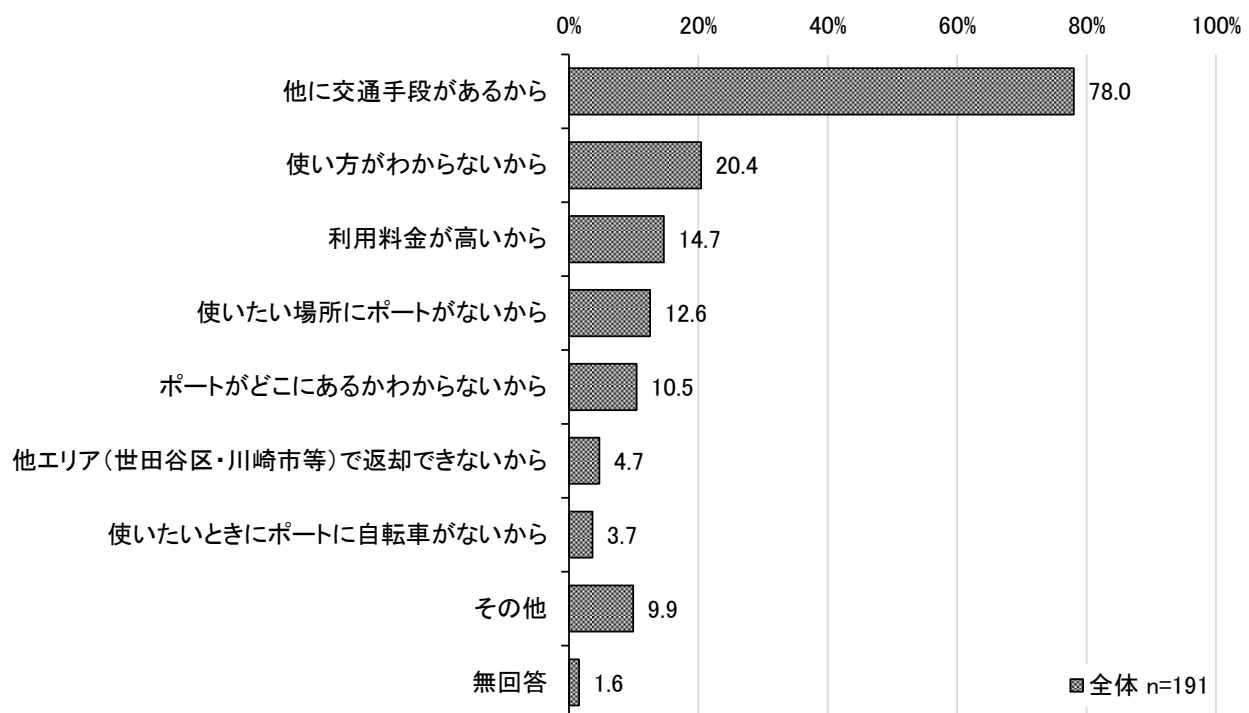
(3) コミュニティサイクルを利用したことがない理由

◇「他に交通手段があるから」が7割後半で最も高くなっている

【問 13-1で「利用したことがない」と回答した方に伺います。】

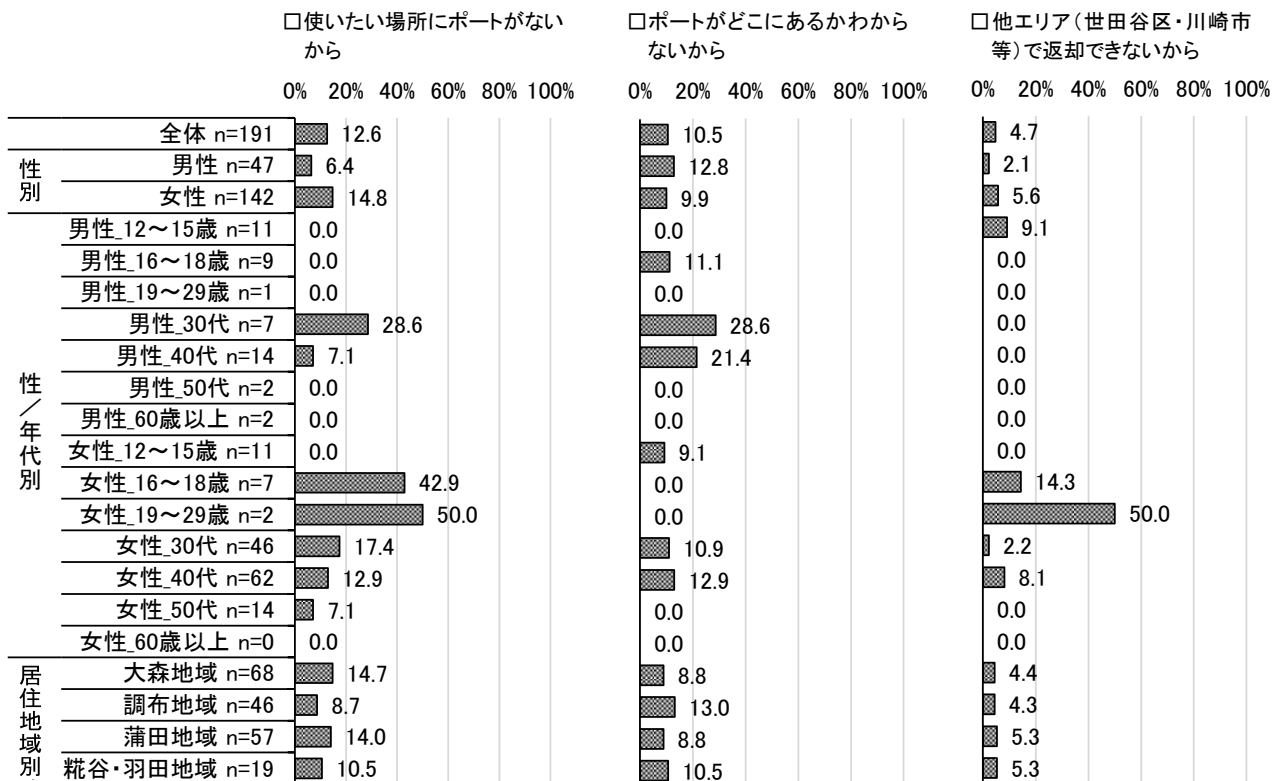
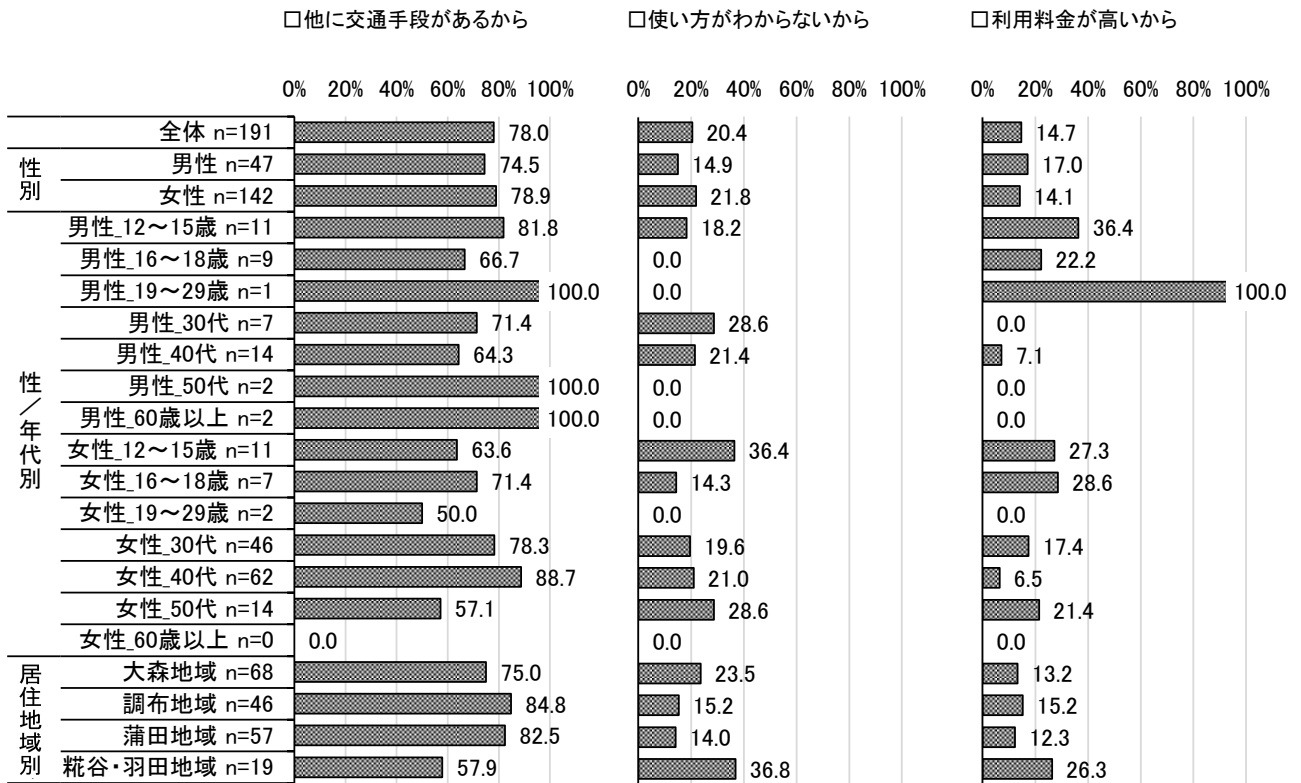
問 13-2 利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

コミュニティサイクルを利用したことがない理由については、「他に交通手段があるから」が78.0%で最も高く、次いで「使い方がわからないから」が20.4%、「利用料金が高いから」が14.7%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「他に交通手段があるから」が最も高く、男性が74.5%、女性が78.9%と、女性が4.4ポイント上回っている。

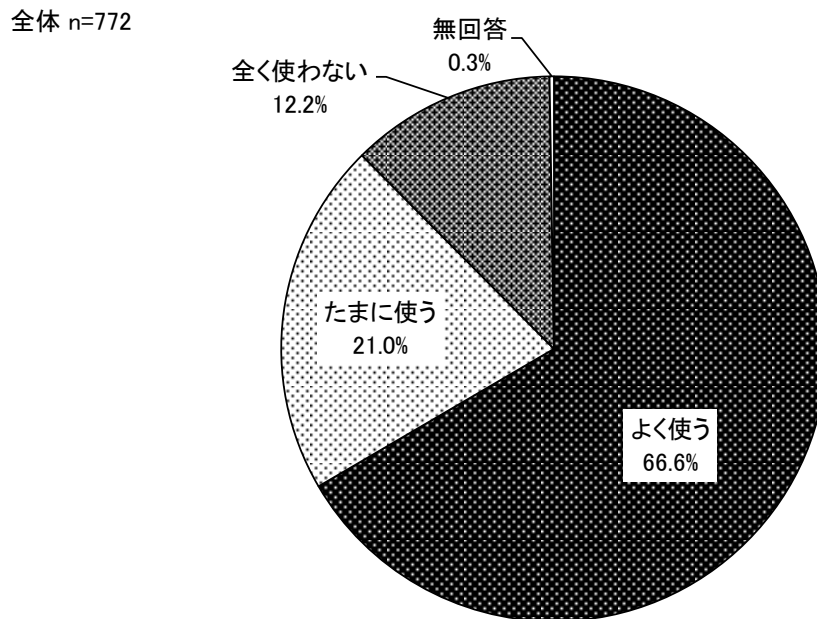


(4) 自転車の利用状況

◇「よく使う」は6割後半となっている

問 14 あなたは、普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況については、「よく使う」が66.6%で最も高く、次いで「たまに使う」が21.0%、「全く使わない」が12.2%となっている。

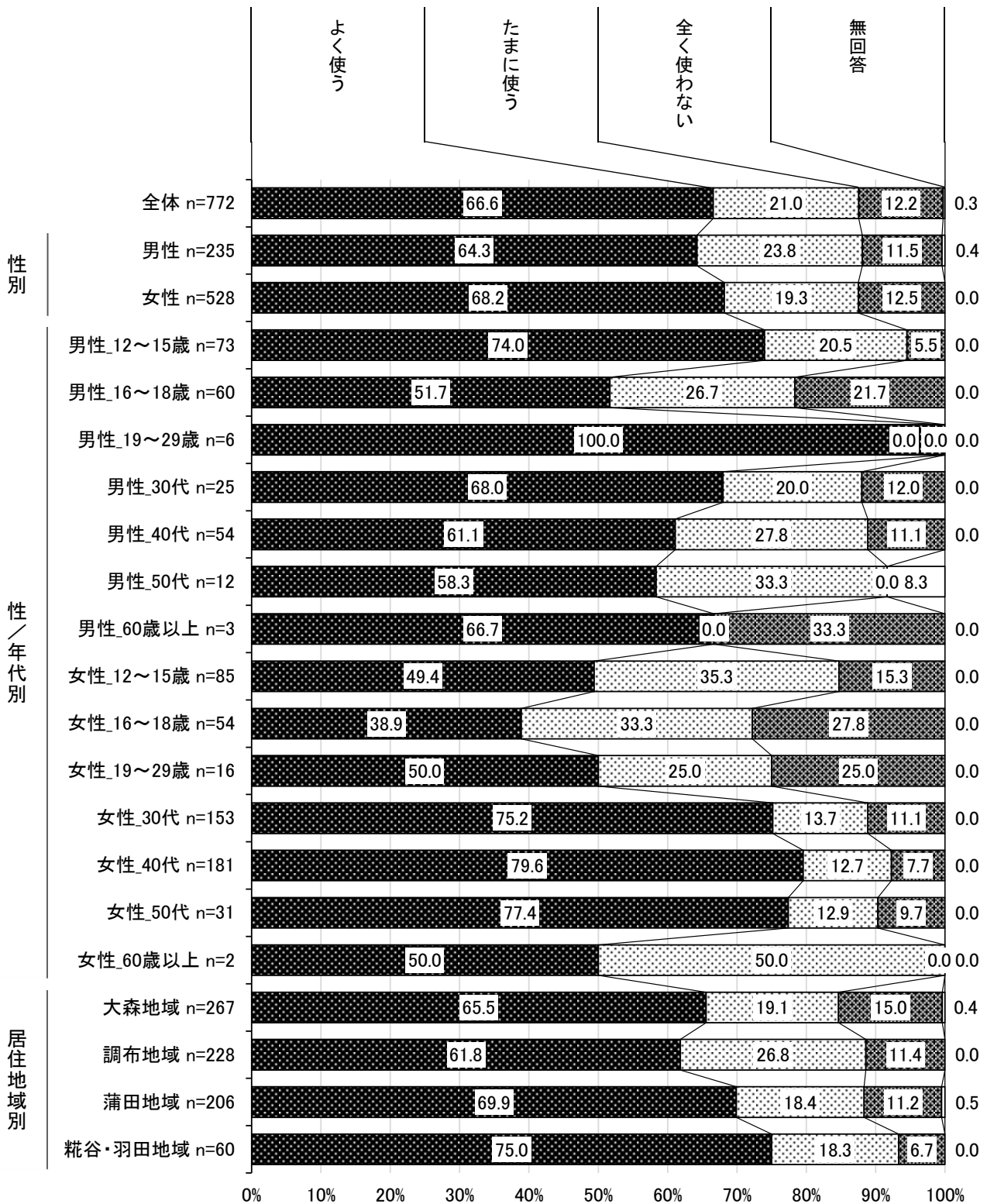


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よく使う」は男性が64.3%、女性が68.2%と、女性が3.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よく使う」は女性40代で約8割と高くなっている。

居住地域別でみると、「よく使う」は糀谷・羽田地域で7割半ばと高くなっている。



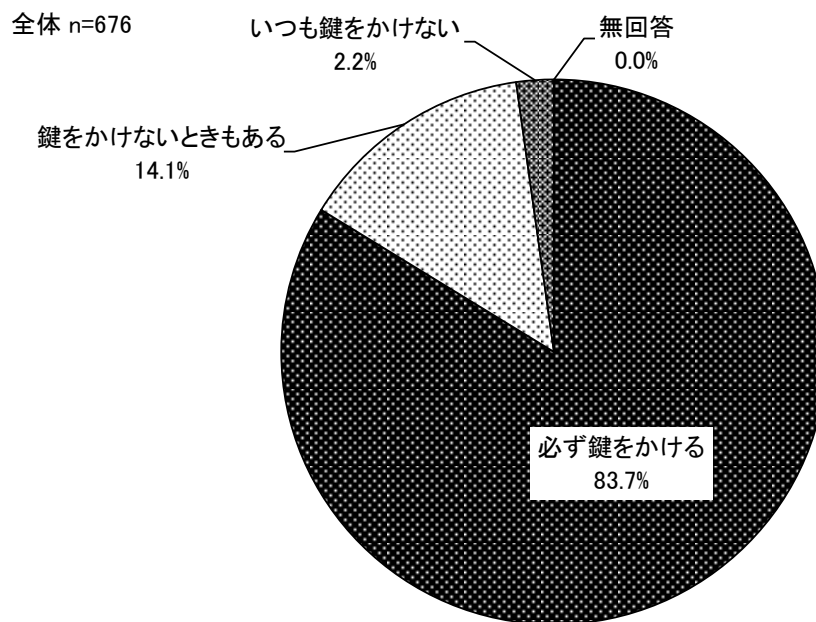
(5) 自転車の施錠状況

◇「必ず鍵をかける」は8割前半となっている

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-1 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(1つのみ)

自転車の施錠状況については、「必ず鍵をかける」が83.7%で最も高く、次いで「鍵をかけないときもある」が14.1%、「いつも鍵をかけない」が2.2%となっている。

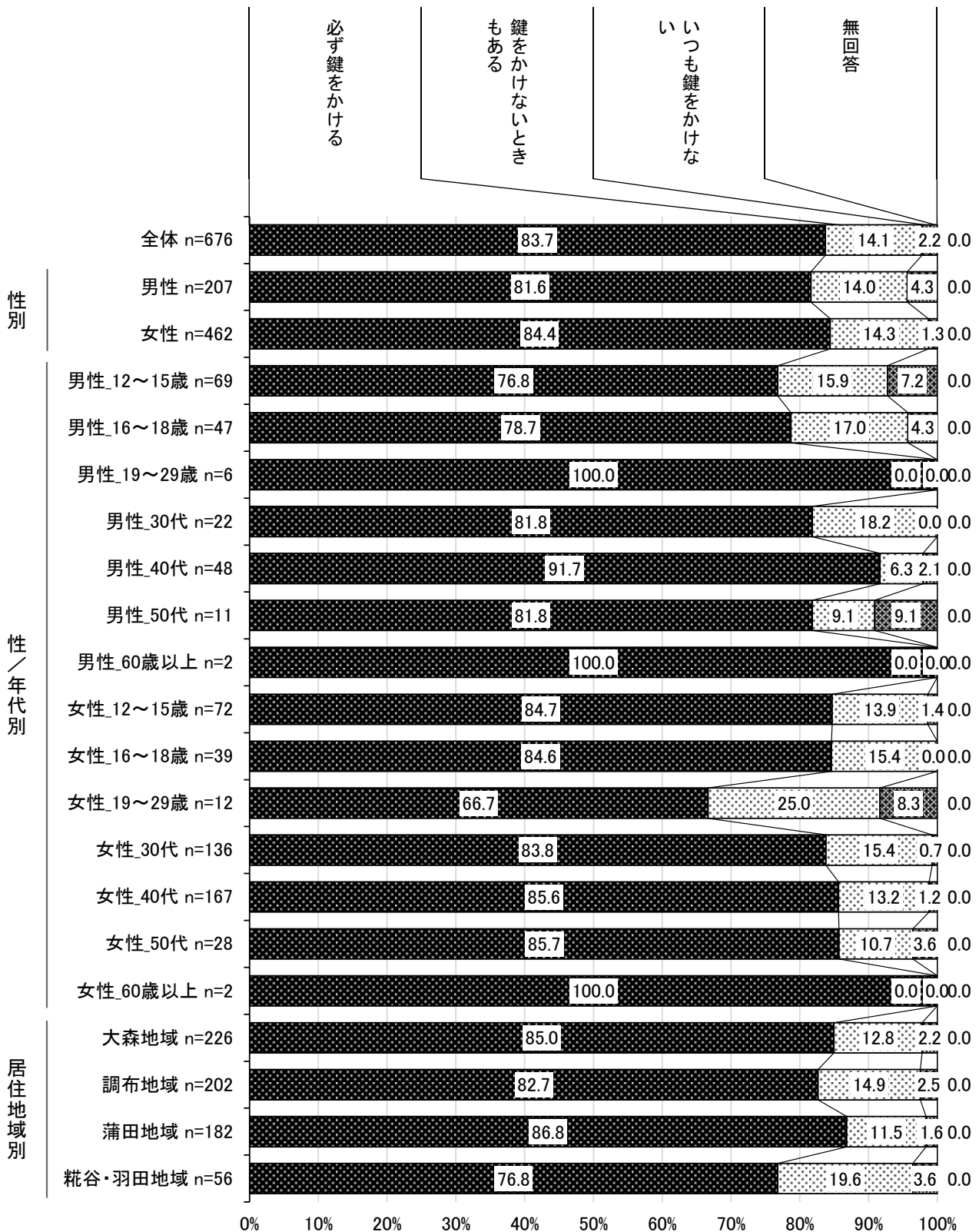


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「必ず鍵をかける」は男性 40 代で 9 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「必ず鍵をかける」は蒲田地域で 8 割後半と高くなっている。



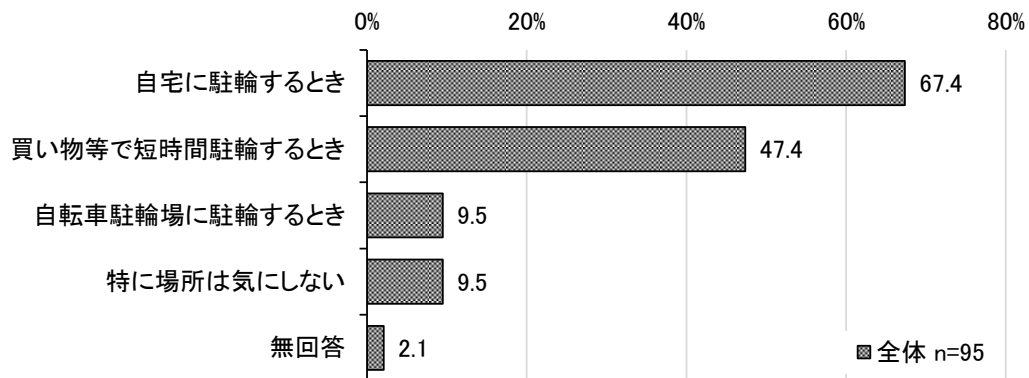
(6) 自転車を施錠しないときの状況

◇「自宅に駐輪するとき」が6割後半で最も高くなっている

【問 14-1 で「鍵をかけないときもある」と回答した方に伺います。】

問 14-2 あなたが自転車の鍵をかけないのはどのようなときですか。(いくつでも)

自転車を施錠しないときの状況については、「自宅に駐輪するとき」が67.4%で最も高く、次いで「買い物等で短時間駐輪するとき」が47.4%、「自転車駐輪場に駐輪するとき」、「特に場所は気にしない」がともに9.5%となっている。



(7) 区営駐輪場で不便に感じていること

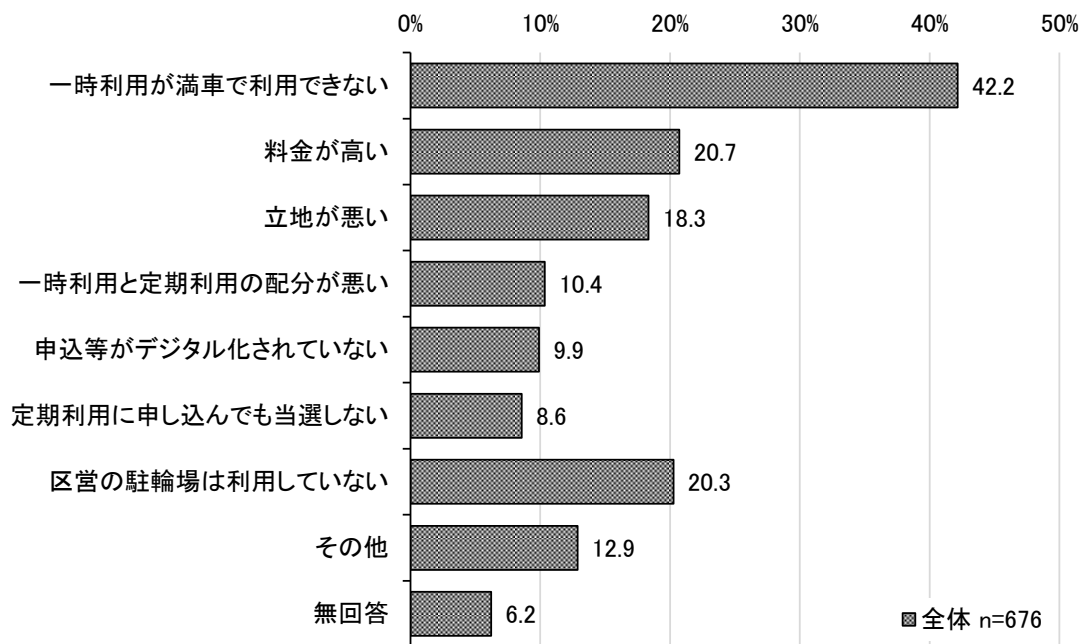
◇「一時利用が満車で利用できない」が4割前半で最も高くなっている

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

**問 14-3 あなたが区営の駐輪場を利用する際に不便に感じていることは何ですか。
(いくつでも)**

区営駐輪場で不便に感じていることについては、「一時利用が満車で利用できない」が42.2%で最も高く、次いで「料金が低い」が20.7%、「立地が悪い」が18.3%となっている。

なお、「区営の駐輪場は利用していない」は20.3%となっている。

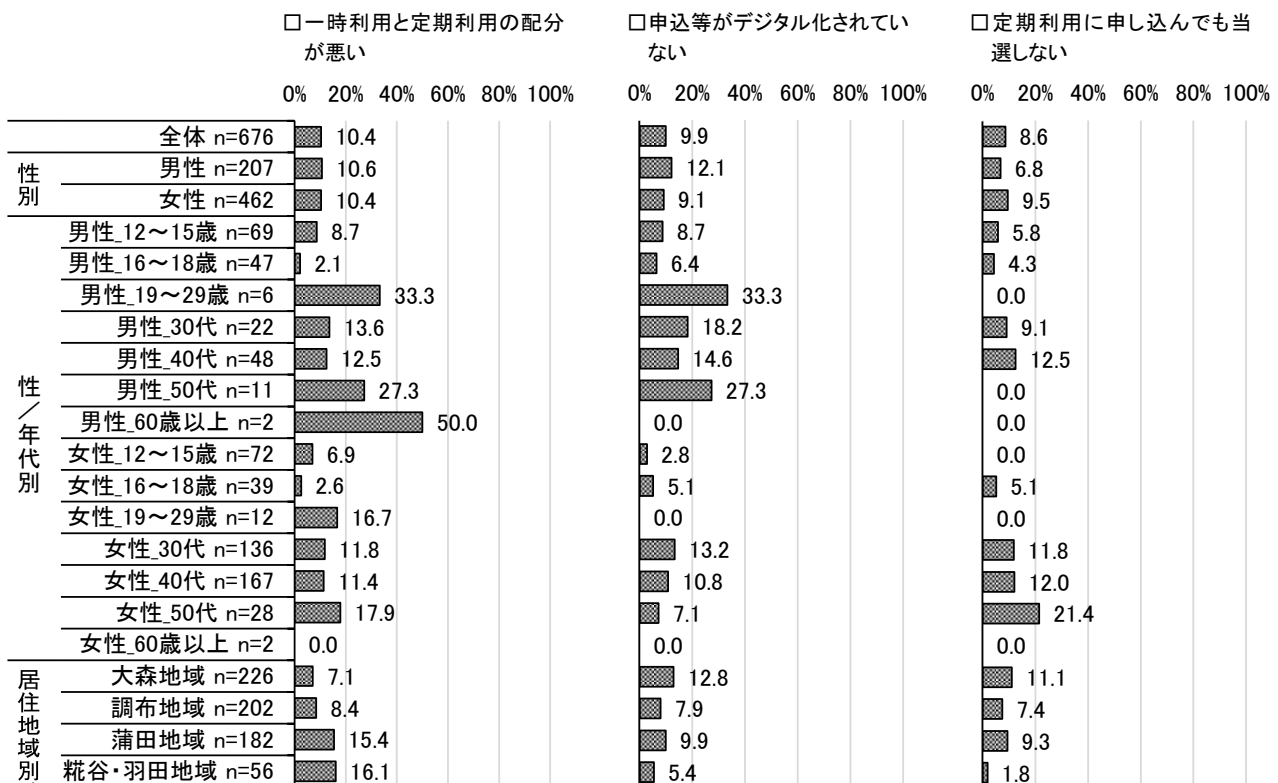
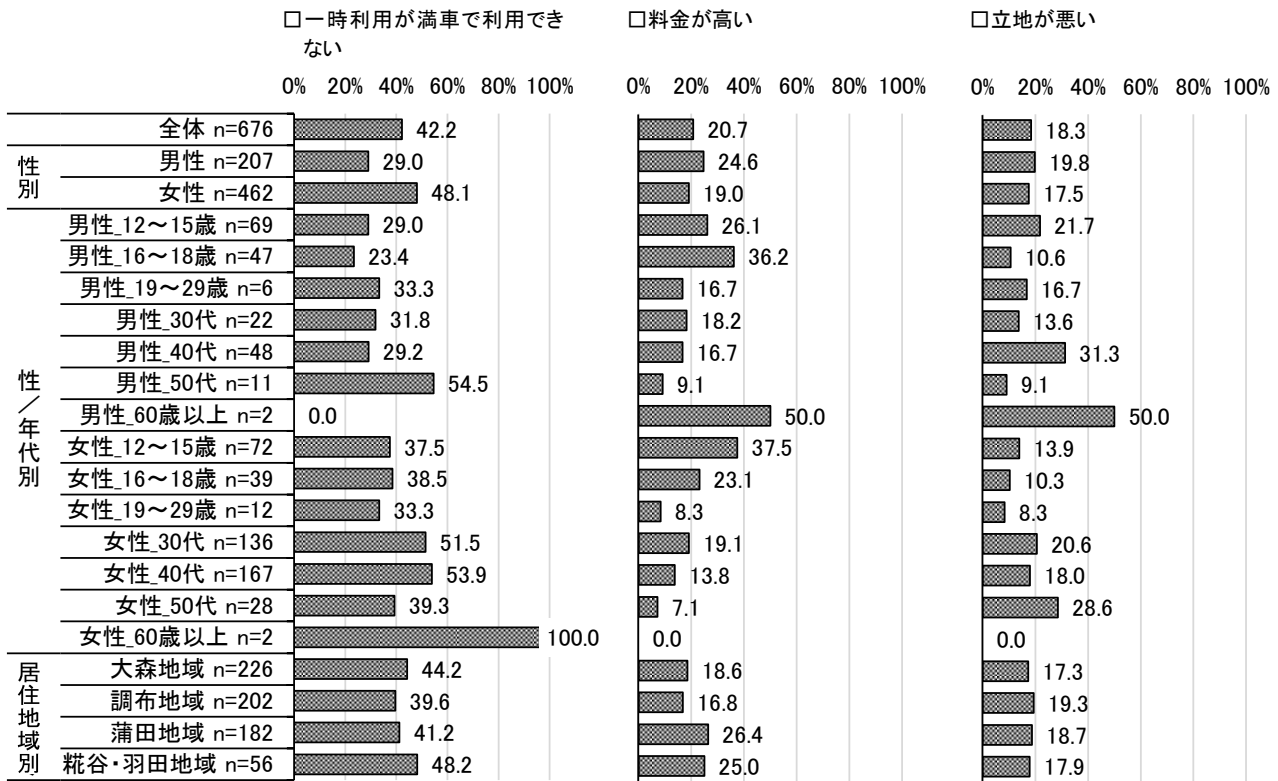


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、男性が 29.0%、女性が 48.1%と、女性が 19.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「一時利用が満車で利用できない」は女性 30 代、女性 40 代で 5 割前半と高くなっている。「料金が低い」は男性 16～18 歳、女性 12～15 歳で 3 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、糀谷・羽田地域で 4 割後半となっている。



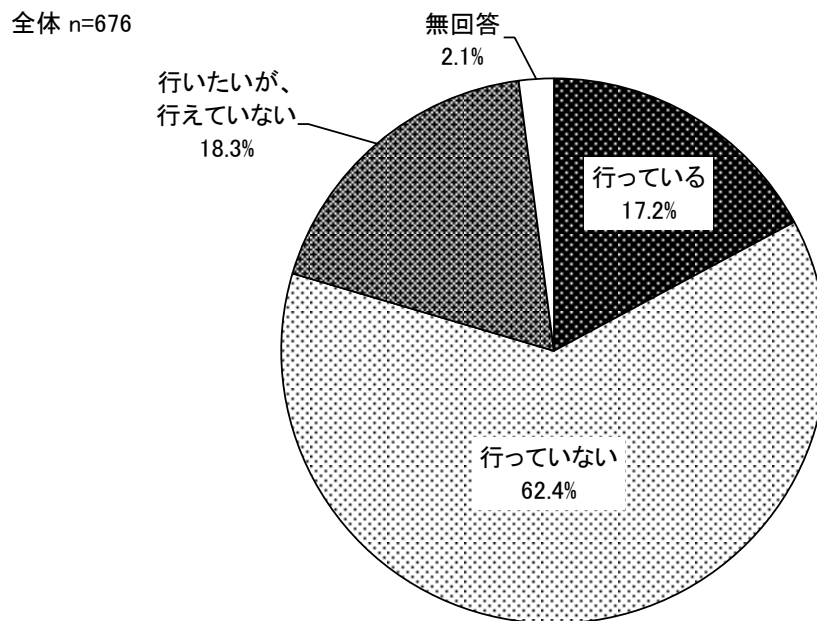
(8) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

◇「行っている」は1割後半となっている

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

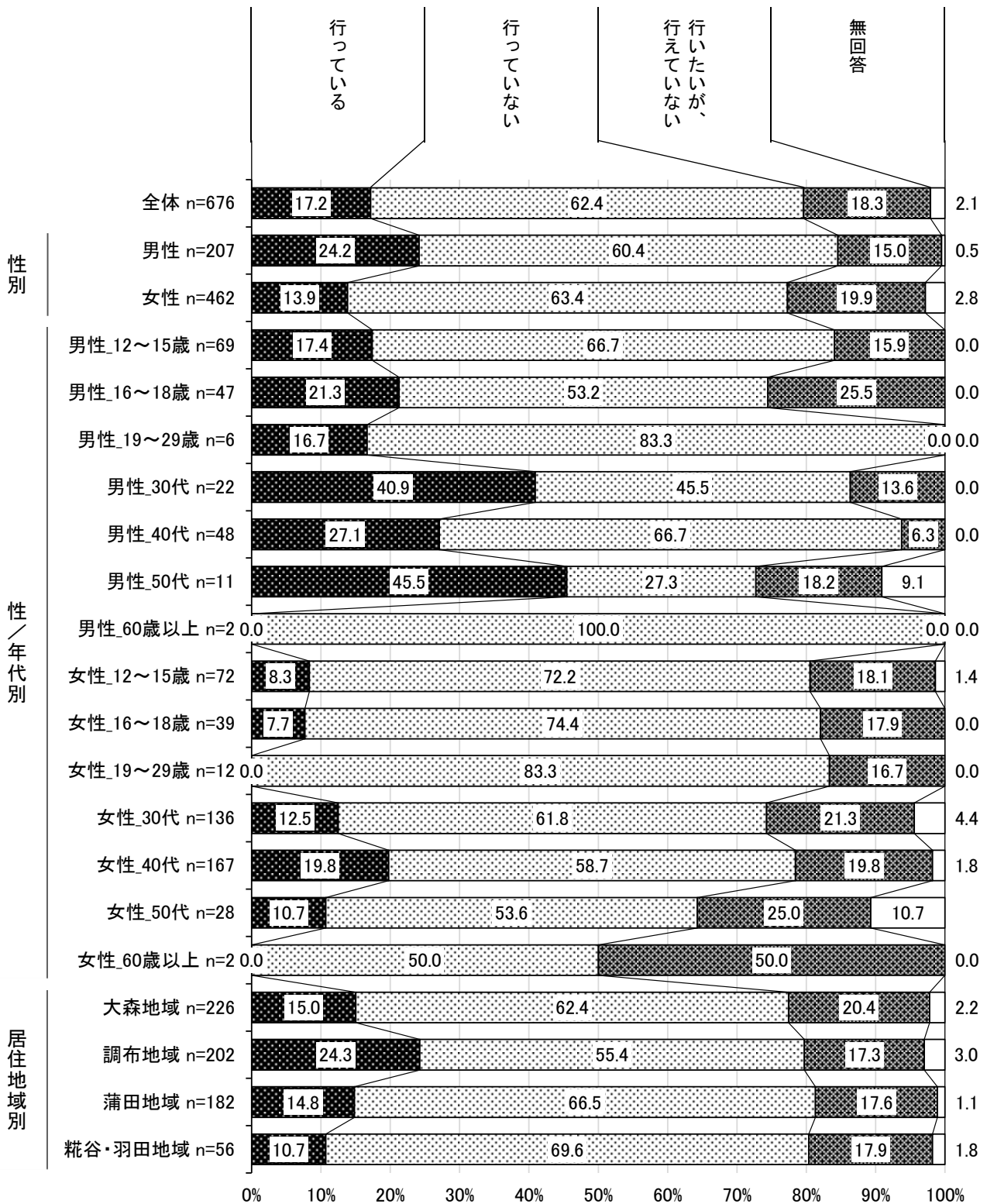
**問 14-4 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。
(1つのみ)**

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が62.4%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が18.3%、「行っている」が17.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行っている」は男性が24.2%、女性が13.9%と、男性が10.3ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、「行っている」は男性40代で2割後半と高くなっている。
 居住地域別でみると、「行っている」は調布地域で2割半ばと高くなっている。



(9) 守れていないと思う交通ルール

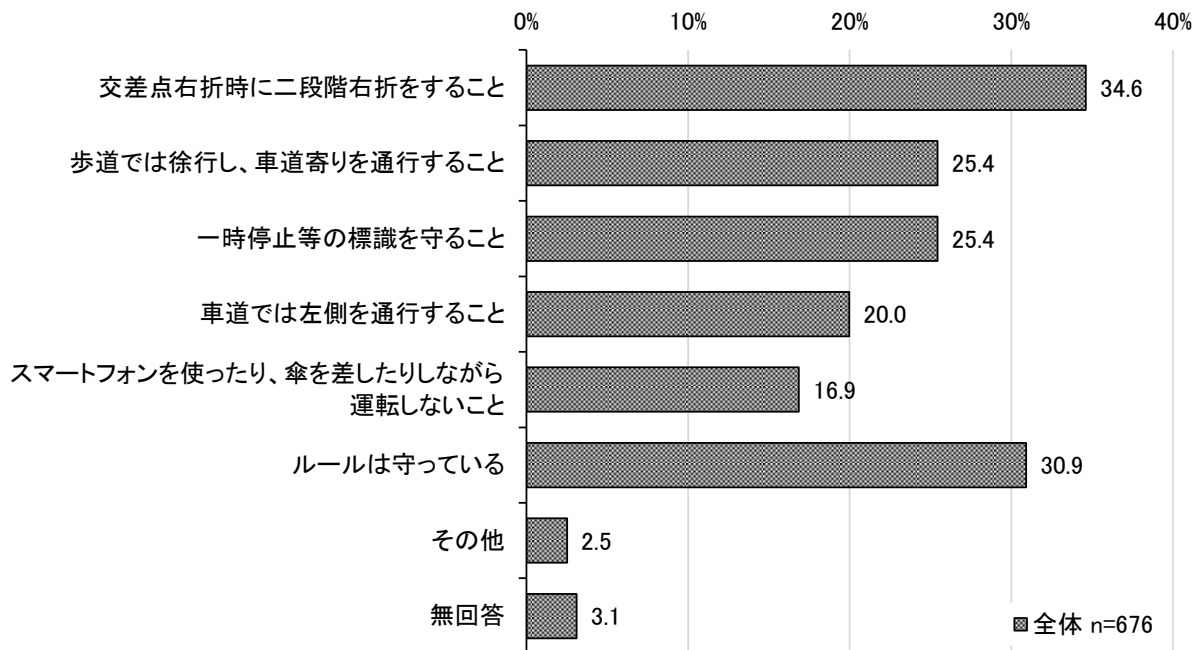
- ◇「交差点右折時に二段階右折をすること」が3割半ばで最も高くなっている
- ◇「ルールは守っている」は約3割となっている

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-5 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(いくつでも)

守れていないと思う交通ルールについては、「交差点右折時に二段階右折をすること」が34.6%で最も高く、次いで「歩道では徐行し、車道寄りを通行すること」、「一時停止等の標識を守ること」がともに25.4%、「車道では左側を通行すること」が20.0%となっている。

なお、「ルールは守っている」は30.9%となっている。

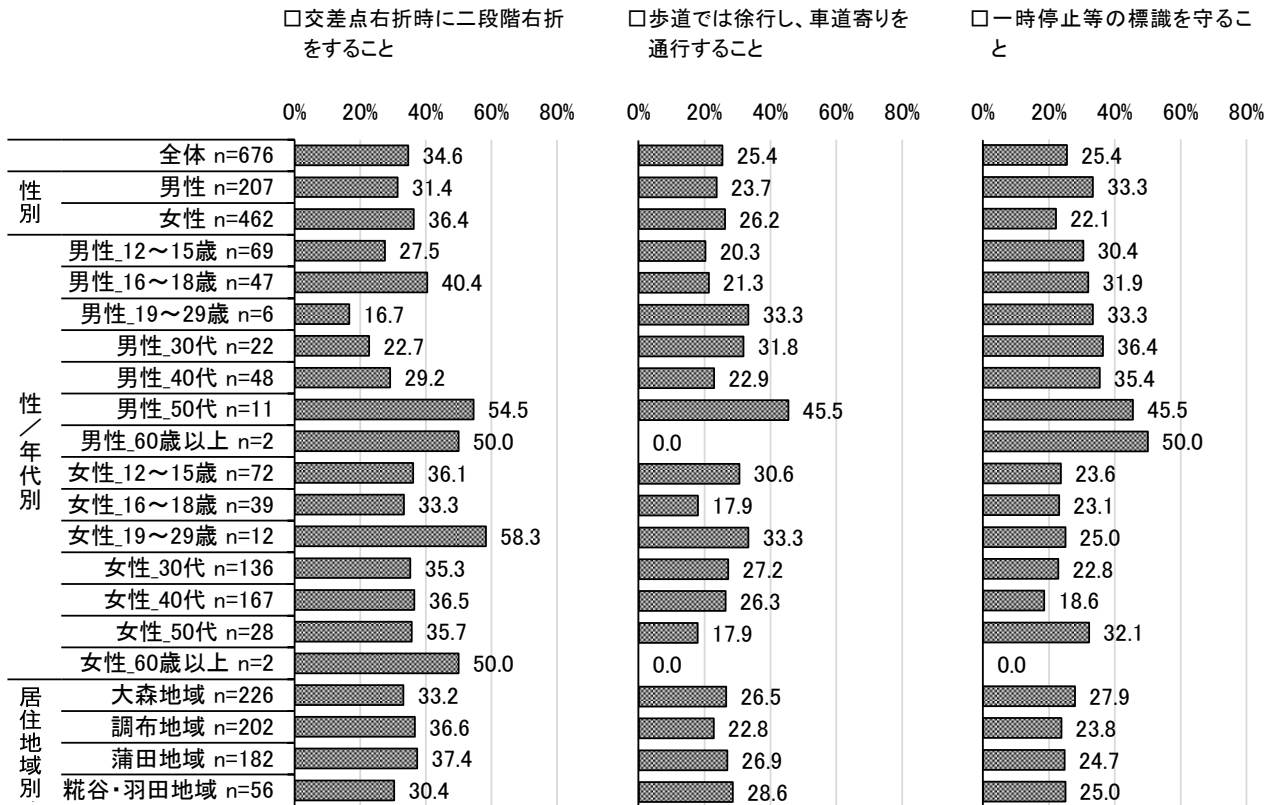


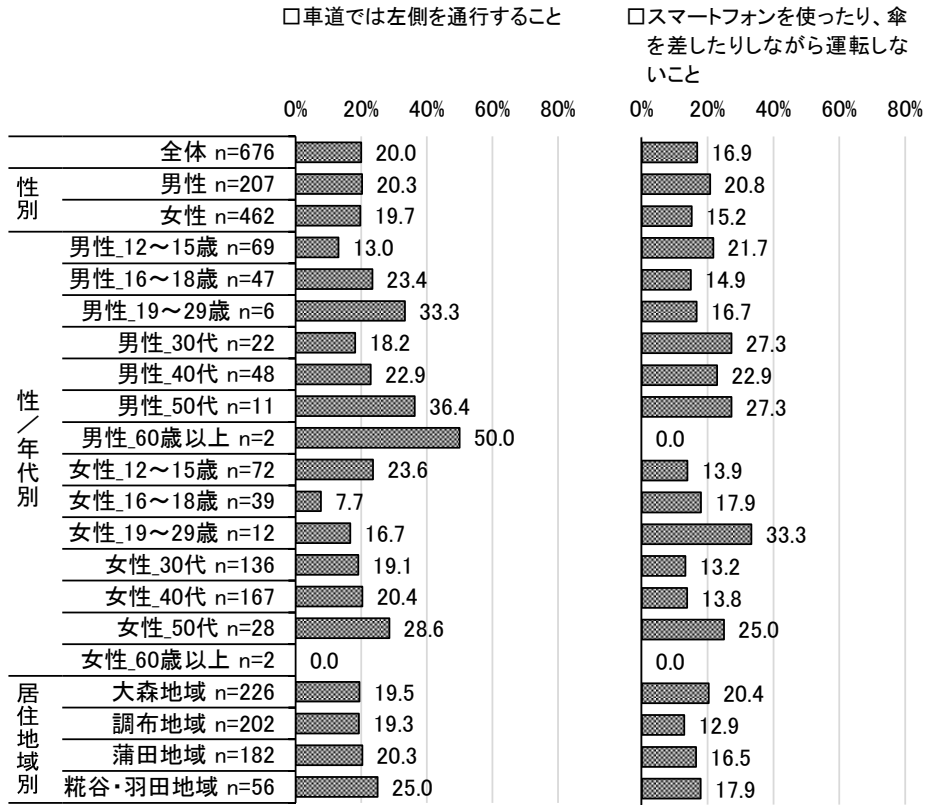
■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「一時停止等の標識を守ること」が、女性では「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高くなっている。「一時停止等の標識を守ること」は男性が33.3%、女性が22.1%と、男性が11.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「交差点右折時に二段階右折をすること」は男性16～18歳で約4割と高くなっている。「一時停止等の標識を守ること」はすべての年代で男性が女性の割合を上回っている。

居住地域別でみると、すべての地域で「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高く、調布地域、蒲田地域で3割後半となっている。





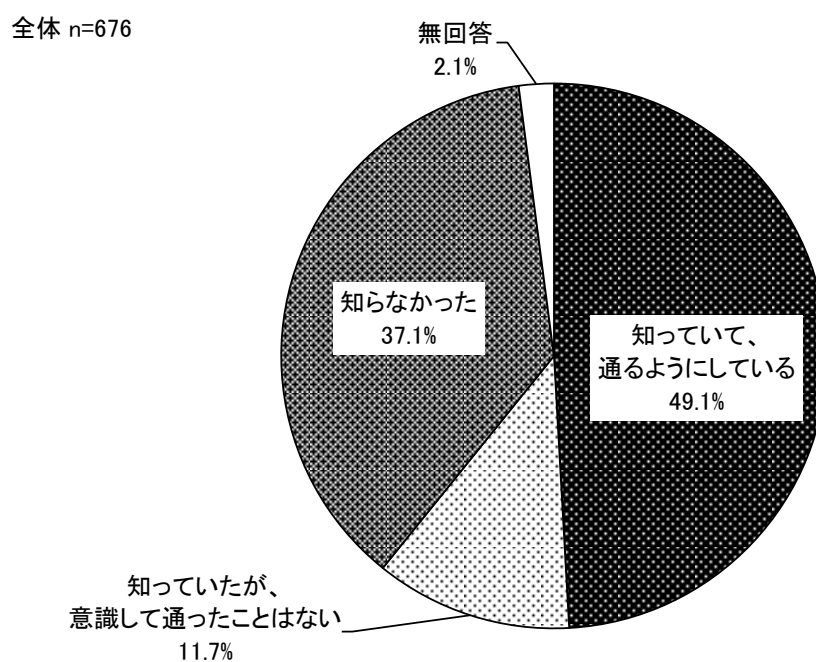
(10) 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度

◇「知っていて、通るようにしている」は約5割となっている

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-6 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン（矢羽根型路面表示）」を知っていますか。（1つのみ）

“自転車ナビマーク・ナビライン”の認知度については、「知っていて、通るようにしている」が49.1%で最も高く、次いで「知らなかった」が37.1%、「知っていたが、意識して通ったことはない」が11.7%となっている。

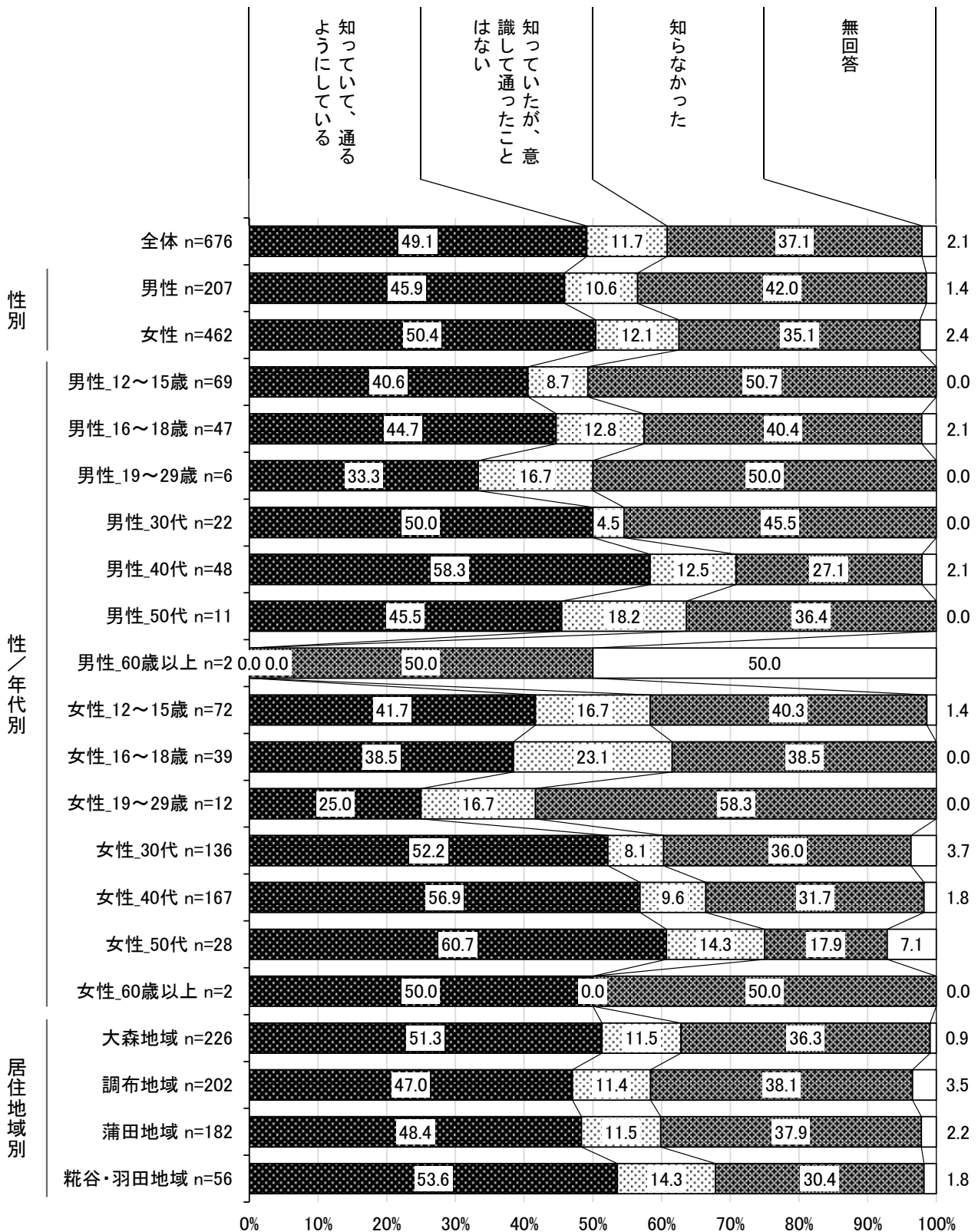


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「知っていて、通るようにしている」は男性が45.9%、女性が50.4%と、男性が4.5ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「知っていて、通るようにしている」は男性40代、女性40代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っていて、通るようにしている」は大森地域、糞谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



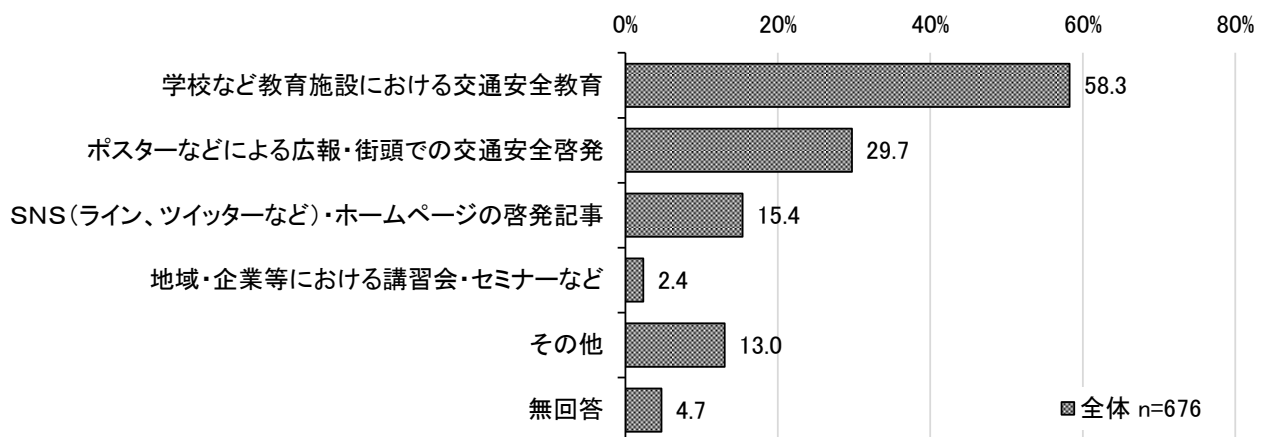
(11) 自転車の運転マナーを知る機会

◇「学校など教育施設における交通安全教育」が5割後半で最も高くなっている

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-7 あなたは自転車の運転マナーについて、どこで知りましたか。(いくつでも)

自転車の運転マナーを知る機会については、「学校など教育施設における交通安全教育」が 58.3%で最も高く、次いで「ポスターなどによる広報・街頭での交通安全啓発」が 29.7%、「SNS（ライン、ツイッターなど）・ホームページの啓発記事」が 15.4%となっている。

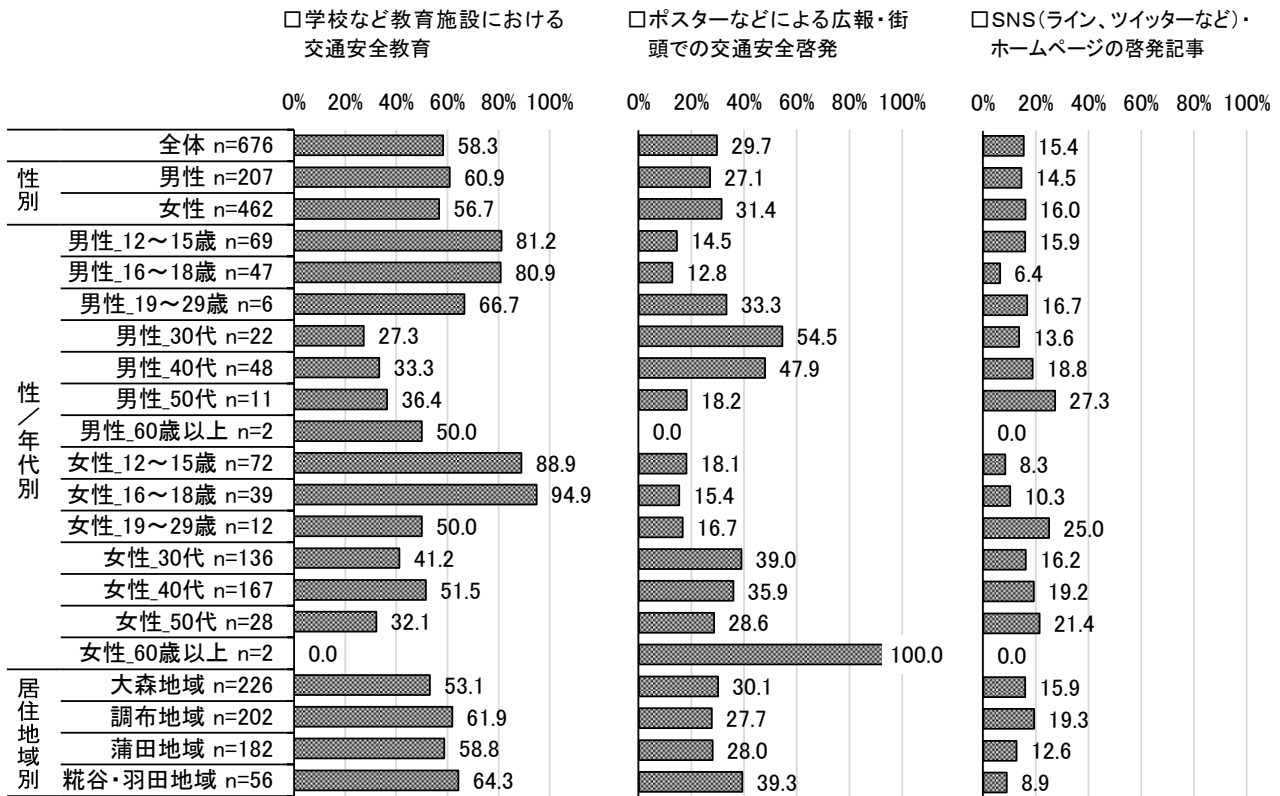


■性別・性／年代別・居住地域別

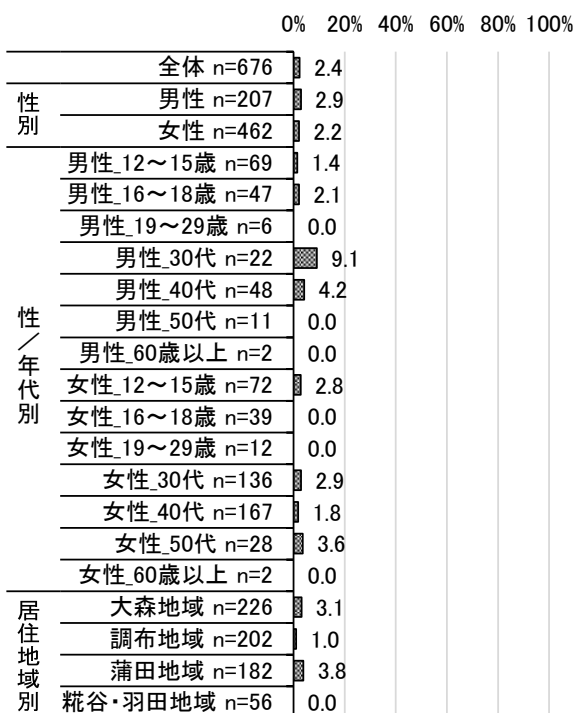
性別でみると、男性、女性ともに「学校など教育施設における交通安全教育」が最も高く、男性が60.9%、女性が56.7%と、男性が4.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「学校など教育施設における交通安全教育」は女性16～18歳で9割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「学校など教育施設における交通安全教育」が最も高く、糀谷・羽田地域で6割半ばとなっている。



□地域・企業等における講習会・セミナーなど



(12) 損害賠償保険への加入状況

◇ 《加入している》（「自転車事故専用の保険」、「TSマーク付帯保険」、「傷害保険等とセット」、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」、「その他の保険」の合計値）は約6割となっている

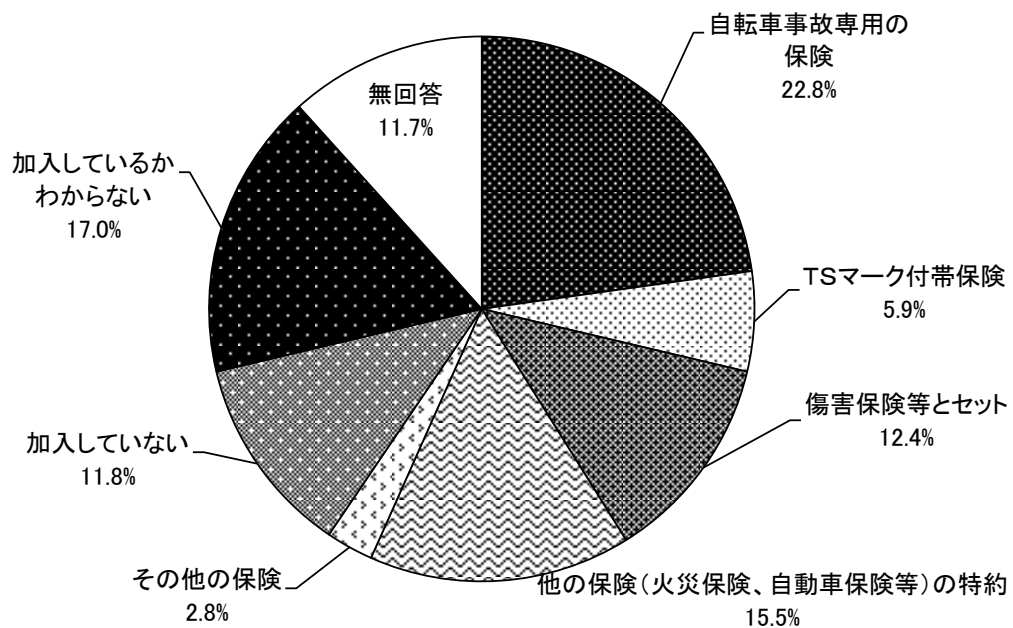
【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-8 あなたは、自転車事故に係る損害賠償保険に加入していますか。（1つのみ）

損害賠償保険への加入状況については、「自転車事故専用の保険」、「TSマーク付帯保険」、「傷害保険等とセット」、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」、「その他の保険」の合計値《加入している》が 59.4%である一方で、「加入していない」は 11.8%と、《加入している》が 47.6 ポイント上回っている。

なお、《加入している》の内、「自転車事故専用の保険」が 22.8%で最も高く、次いで「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」が 15.5%、「傷害保険等とセット」が 12.4%となっている。

全体 n=676

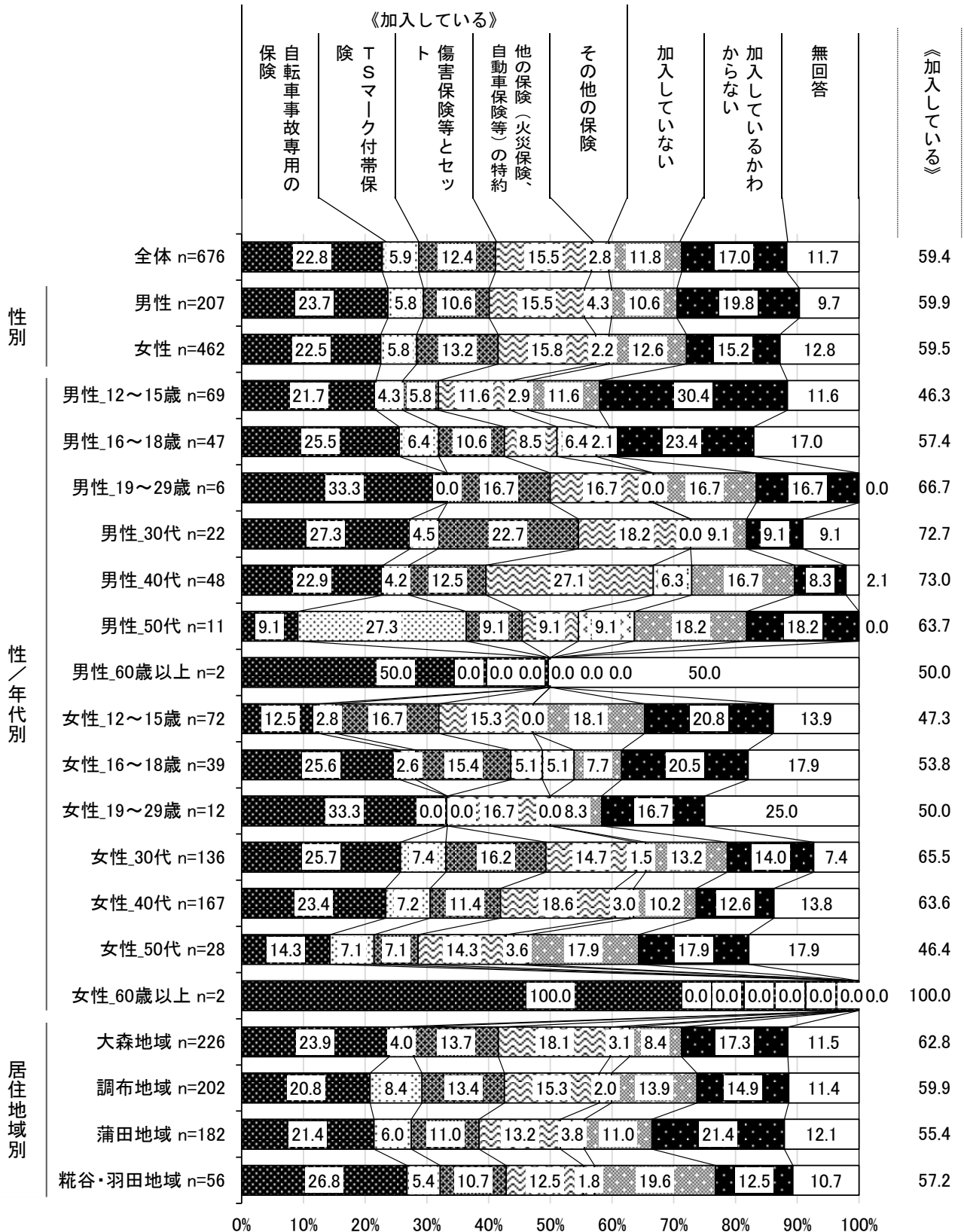


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《加入している》は大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《加入している》は男性 40 代で 7 割前半と高くなっている。一方で、「加入していない」は男性 40 代、女性 12～15 歳で 1 割後半と高くなっている。また、「加入しているかわからない」は男性 12～15 歳で約 3 割と高くなっている。

居住地域別でみると、《加入している》は大森地域で 6 割前半と高くなっている。一方で、「加入していない」は糞谷・羽田地域で約 2 割と高くなっている。



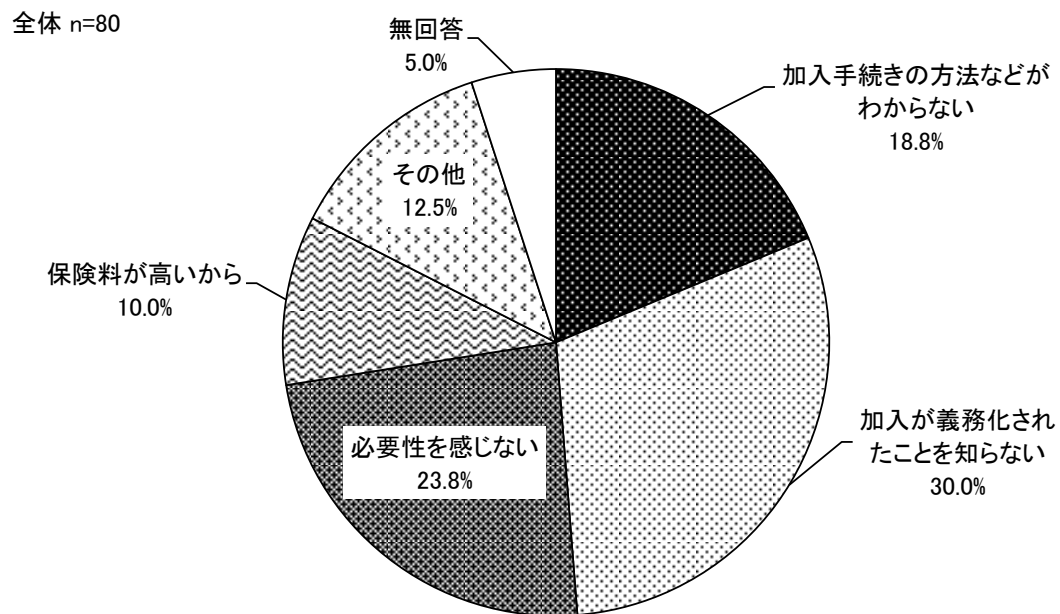
(13) 損害賠償保険に加入していない理由

◇「加入が義務化されたことを知らない」が3割となっている

【問 14-8で「加入していない」と回答した方に伺います。】

問 14-9 あなたが保険に加入していない理由は何ですか。(1つのみ)

損害賠償保険に加入していない理由については、「加入が義務化されたことを知らない」が30.0%で最も高く、次いで「必要性を感じない」が23.8%、「加入手続きの方法などがわからない」が18.8%となっている。

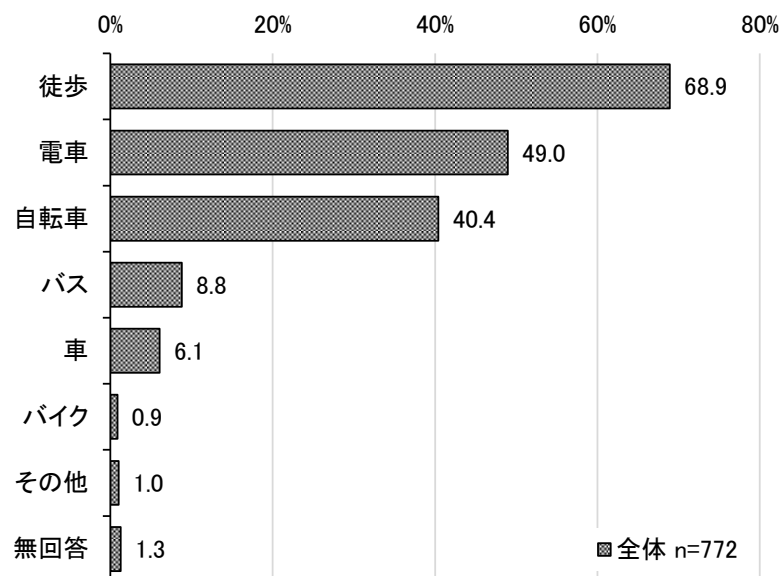


(14) 通勤・通学の移動手段

◇「徒歩」が6割後半で最も高くなっている

問 15 通勤や通学の移動手段は、何を使っていますか。(いくつでも)

通勤・通学の移動手段については、「徒歩」が68.9%で最も高く、次いで「電車」が49.0%、「自転車」が40.4%となっている。

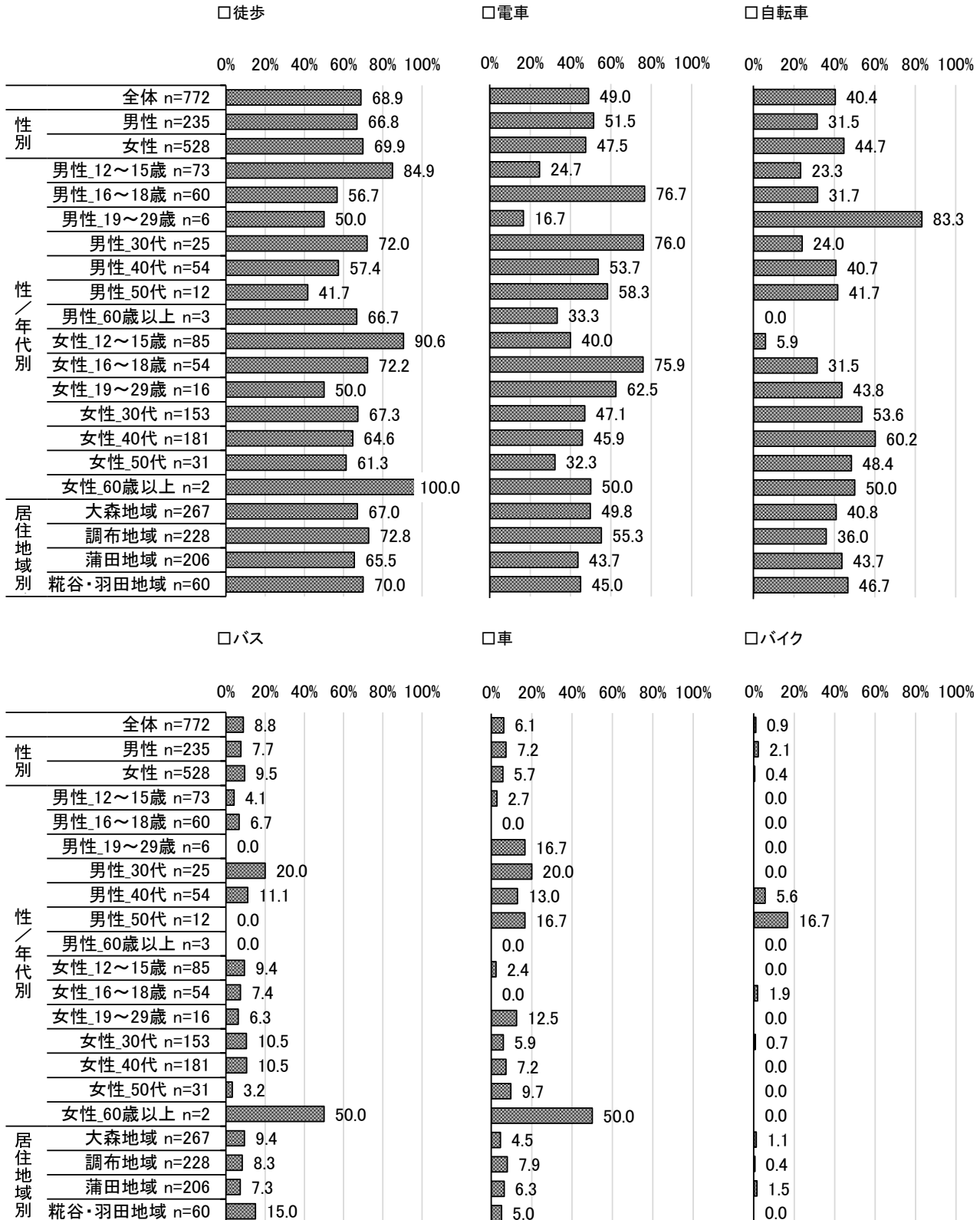


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「徒歩」が最も高くなっている。「自転車」は男性が31.5%、女性が44.7%と、女性が13.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、男性12～15歳、女性12～15歳では「徒歩」が、男性16～18歳、女性16～18歳では「電車」が最も高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「徒歩」が最も高く、調布地域で7割前半となっている。



6 子どもの学習について

(1) 将来への希望をもちながらの学びや成長

◇ 《思う》（「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計値）は3割前半となっている

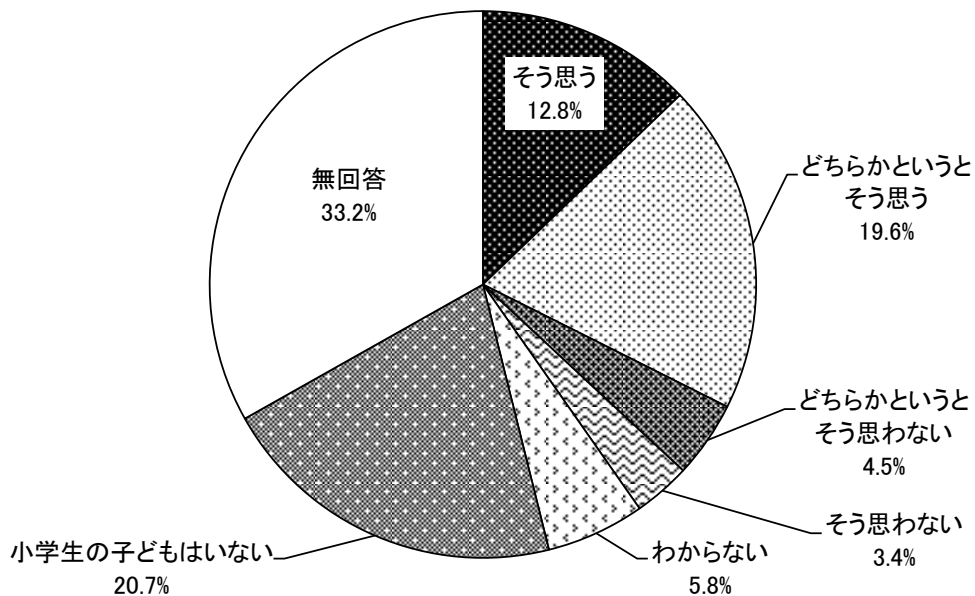
問 16 小学生のお子さんをお持ちの方に伺います。

ご自身のお子さんが、将来への希望をもって、学び、成長することができていると思いますか。（1つのみ）

将来への希望をもちながらの学びや成長については、「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計値《思う》が32.4%である一方で、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が7.9%と、《思う》が24.5ポイント上回っている。

なお、「小学生の子どもはいない」は20.7%となっている。

全体 n=772

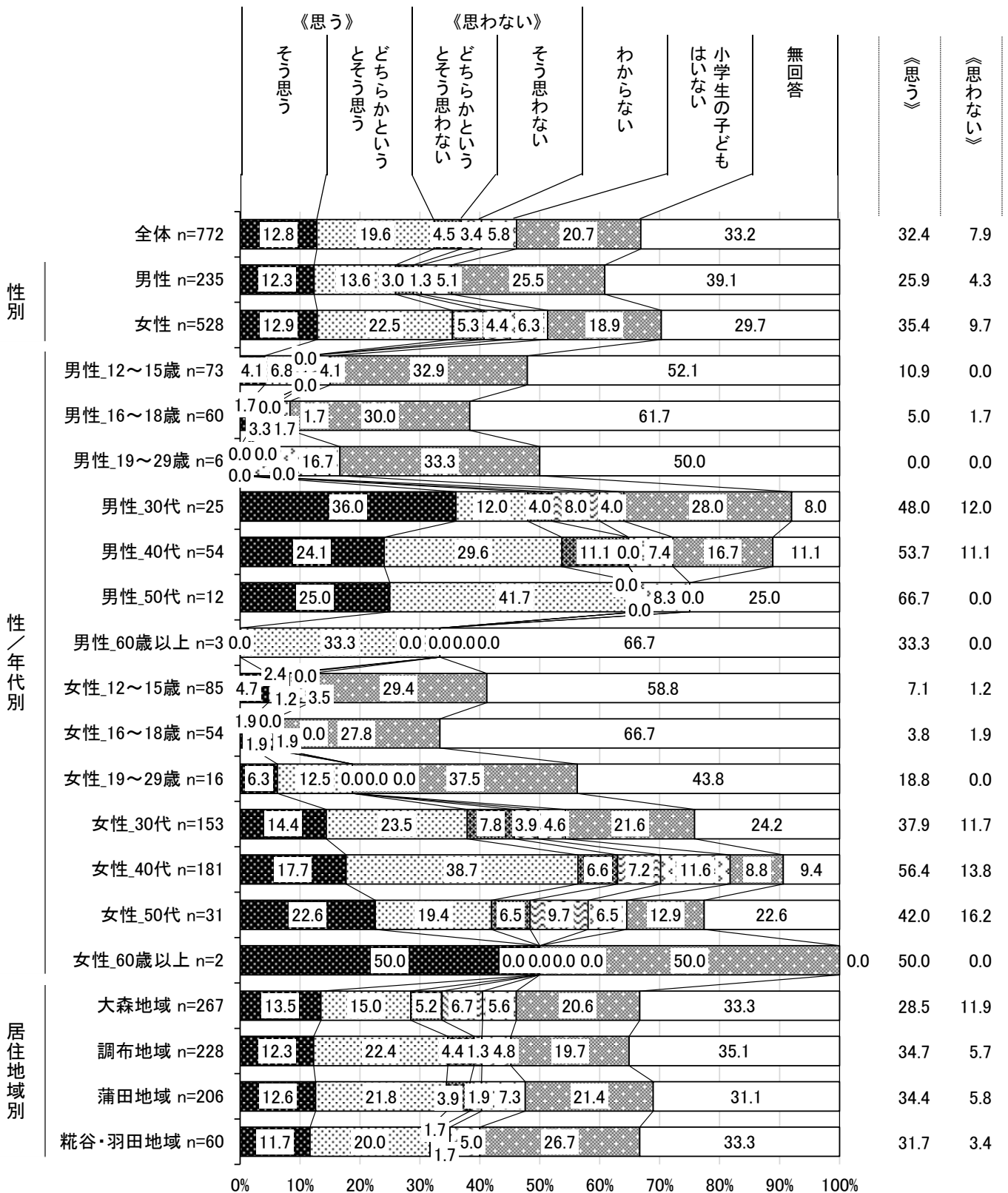


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》は男性が25.9%、女性が35.4%と、女性が9.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は女性40代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域、蒲田地域で3割半ばと高くなっている。



V 資料編

～ 使用した調査票 ～

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

(18歳以上の区民の方_暮らし・保健・環境の分野など)

～ ご協力のお願ひ ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

■申請者 ID

■パスワード

2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいても結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えに「 (し点)」をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を()内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和4年11月30日(水)までにお近くの郵便ポストに投函してください。**

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答に「 (レ点)」をつけてください。

1. 各種認知度について

問1 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、あなたは
この言葉を知っていますか。(1つのみ)

- 内容まで知っている
- 内容は知らないが言葉は聞いたことがある
- 知らない

問2 「SDGs (持続可能な開発目標)」を知っていますか。(1つのみ)

- 内容まで知っており、個人的にも取り組んでいる
- 内容まで知っているが、取り組んではない
- 内容は知らないが言葉は聞いたことがある
- 知らない

問3 「ヘルプカード (たすけてねカード)」を知っていますか。(1つのみ)

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード
(大田区が作成)。

- 知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

問4 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施し
ています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を
知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない

問5 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぼぼ相談」で女性の様々な
悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない

問6 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障がい・精神障がいなどによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、
法律的に支援する制度。

- 内容まで知っている
- 内容は知らないが言葉は聞いたことがある
- 知らない

問7 「ゆいっつ (大田区青少年交流センター)」を知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
 - 知っているが、利用したことはない
 - 知らない ⇒ 問8へ
- } 問7-1へ

【問7で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」と回答した方に伺います。】

**問7-1 今後、「ゆいっつ (大田区青少年交流センター)」で利用したい施設はありますか。
(いくつでも)**

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 洋室 (宿泊利用) | <input type="checkbox"/> 和室 (日帰り利用) | <input type="checkbox"/> 調理室 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 和室 (宿泊利用) | <input type="checkbox"/> 研修室 | <input type="checkbox"/> 体育室 | <input type="checkbox"/> 特になし |

問8 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力 (ドメスティック・バイオレンス=DV) に関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

- 利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない

問9 「大田区立消費者生活センター」を知っていますか。(1つのみ)

- 相談したことがある
- 各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている
- 業務内容はわからないが、名前は知っている
- 知らない

**問10 障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行されました。
この法律を知っていますか。(1つのみ)**

- 内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある
- 内容まで知っているが、合理的配慮等を行った経験はない
- 聞いたことはあるが、内容までは知らない
- 知らない

問 11 大田区では、子どもたちを誰一人取り残さないよう、子どもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべての子どもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。

「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

- 考え方を知っている
- 考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある
- 考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない

2. 生涯学習について

問 12 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

- ある ⇒ 問 12-1～問 12-5へ
- ない ⇒ 問 13へ

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-1 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。(いくつでも)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 音楽、美術、文芸等、文化に関するもの | <input type="checkbox"/> 子育てに関するもの |
| <input type="checkbox"/> スポーツ(武道、ダンス等を含む) | <input type="checkbox"/> 教育に関するもの |
| <input type="checkbox"/> 文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの | <input type="checkbox"/> 福祉に関するもの |
| <input type="checkbox"/> 住んでいる地域に関すること(地域学) | <input type="checkbox"/> 防災・防犯に関するもの |
| <input type="checkbox"/> パソコン、スマートフォンの知識や技術 | <input type="checkbox"/> ものづくり、観光等、産業に関するもの |
| <input type="checkbox"/> Web 会議・動画配信等の活用方法 | <input type="checkbox"/> 国際理解・交流に関するもの |
| <input type="checkbox"/> 仕事・働くために必要な知識や技能 | <input type="checkbox"/> 人権や環境問題等社会問題に関するもの |
| <input type="checkbox"/> 健康に関するもの | <input type="checkbox"/> その他() |

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-2 あなたが生涯学習を行っている場所はどこですか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 区立図書館 | <input type="checkbox"/> 区立小・中学校 |
| <input type="checkbox"/> 区内の博物館・記念館 | <input type="checkbox"/> 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅 |
| <input type="checkbox"/> 文化センター | <input type="checkbox"/> 区内の高校・大学・専門学校 |
| <input type="checkbox"/> 区民センター・集会所 | <input type="checkbox"/> 民間施設(カルチャースクール等) |
| <input type="checkbox"/> 区民活動(支援)施設 | <input type="checkbox"/> 自宅 |
| <input type="checkbox"/> 青少年交流センター | <input type="checkbox"/> 区外施設(具体的:) |
| <input type="checkbox"/> 区内のスポーツ施設・公園 | <input type="checkbox"/> その他() |

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-3 あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

- ある
- ない

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-4 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。
(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 人生がより豊かになっている	<input type="checkbox"/> 地域や社会での活動に活かしている
<input type="checkbox"/> 家庭・日常の生活に活かしている	<input type="checkbox"/> 知人や仲間ができています
<input type="checkbox"/> 心身の健康を維持・増進している	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 仕事や学業に活かしている	<input type="checkbox"/> 活かしていない

【問 12 で「ある」と回答した方に伺います。】

問 12-5 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 学んだことを活かす機会が充実している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 学びに関する情報が分かりやすく提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 学びや活動を充実させる施設が整っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 13 今後、行いたい生涯学習は何ですか。(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 音楽、美術、文芸等、文化に関するもの	<input type="checkbox"/> 教育に関するもの
<input type="checkbox"/> スポーツ(武道、ダンス等を含む)	<input type="checkbox"/> 福祉に関するもの
<input type="checkbox"/> 文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの	<input type="checkbox"/> 防災・防犯に関するもの
<input type="checkbox"/> 住んでいる地域に関すること(地域学)	<input type="checkbox"/> ものづくり、観光等、産業に関するもの
<input type="checkbox"/> パソコン、スマートフォンの知識や技術	<input type="checkbox"/> 国際理解・交流に関するもの
<input type="checkbox"/> Web 会議・動画配信等の活用方法	<input type="checkbox"/> 人権や環境問題等社会問題に関するもの
<input type="checkbox"/> 仕事・働くために必要な知識や技能	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 健康に関するもの	<input type="checkbox"/> 特になし
<input type="checkbox"/> 子育てに関するもの	

3. スポーツ・運動について

問 14 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべてお選びください。(いくつでも)

- ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）
 - ランニング、ジョギング
 - サイクリング、モータースポーツ
 - 体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む）
 - ダンス、民謡踊り
 - 室内運動器具（ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動）
 - 水泳（水中歩行も含む）
 - 軽い球技（キャッチボール、親子での卓球等）
 - 競技的球技（野球、サッカー、卓球、テニス等）
 - ボッチャ
 - ボウリング
 - ゲートボール、グランドゴルフ
 - スポーツ吹矢などニュースポーツ
 - ゴルフ
 - ハイキング、登山
 - スキー、スノーボード
 - スケートボード、ローラースケート
 - 釣り
 - キャンプ、オートキャンプ
 - ヨット、ボート、(スキン)ダイビング、サーフィン等
 - 柔道、剣道、空手、弓道等武道
 - ボクシング等格闘技
 - その他競技スポーツ
 - その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動
- スポーツや身体活動は実施しなかった ⇒ 問 14-2 へ ➡ 問 14-1 へ

【問 14 で「スポーツや身体活動は実施しなかった」“以外”を回答した方に伺います。】

問 14-1 この1年間にスポーツ・運動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。
(週での換算日数) (1つのみ)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 週に3日以上（年 151 日以上） <input type="checkbox"/> 週に2日（年 101～150 日） <input type="checkbox"/> 週に1日（年 51～100 日） | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 月に1～3回（年 12～50 日） <input type="checkbox"/> 3か月に1～2回（年 4～11 日） <input type="checkbox"/> 年に1～3回 <input type="checkbox"/> わからない |
|---|--|

➡ 問 15 へ

➡ 問 14-2 へ

【問 14 で「スポーツや身体活動は実施しなかった」、問 14-1 で“週に 1 日以上実施していない”と回答した方に伺います。】

問 14-2 直近 1 年間に運動をしなかった、または、週に 1 日以上実施できなかった理由は何ですか。
(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 仕事や家事が忙しいから	<input type="checkbox"/> 病気やけがをしているから
<input type="checkbox"/> 面倒くさいから	<input type="checkbox"/> 生活や仕事で体を動かしているから
<input type="checkbox"/> お金に余裕がないから	<input type="checkbox"/> 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから
<input type="checkbox"/> 年をとったから	<input type="checkbox"/> 指導者がいないから
<input type="checkbox"/> 運動・スポーツが嫌いだから	<input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/> 仲間がいないから	<input type="checkbox"/> 特に理由はない
<input type="checkbox"/> 場所や施設がないから	<input type="checkbox"/> わからない
<input type="checkbox"/> 子どもに手がかかるから	

4. 文化・芸術について

問 15 他の都市から訪れた人にとって、区の文化（歴史、伝統、芸術、風習等）に接する機会は多いと思いますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> そう思う	<input type="checkbox"/> そう思わない
<input type="checkbox"/> ややそう思う	<input type="checkbox"/> わからない
<input type="checkbox"/> あまりそう思わない	

5. 普段の生活について

問 16 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

項目	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない	どちらともいえない
1. 心身共に健やかな生活を送っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 自分らしく生きている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 充実した生活を送っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 住んでいる地域に愛着を感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 孤立感や孤独感がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. 地域活動について

問 17 あなたが近所の方への手助けとして、できると思うことを教えてください。(いくつでも)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 日々の見守りのための声かけ | <input type="checkbox"/> 掃除の手伝い |
| <input type="checkbox"/> 相談相手 | <input type="checkbox"/> ごみ出しなどのちょっとした作業 |
| <input type="checkbox"/> 短時間での子どもの預かり | <input type="checkbox"/> 郵便・宅配物の一時預かり |
| <input type="checkbox"/> 外出（買い物や通院など）の手伝い | <input type="checkbox"/> 手助けできることはない |

7. 健康づくりについて

問 18 大田区の健康づくりポイント事業「はねびよん健康ポイント」を知っていますか。
(1つのみ)

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 知っており、アプリで参加している |
| <input type="checkbox"/> 知っており、台紙で参加している |
| <input type="checkbox"/> 知っているが、参加していない |
| <input type="checkbox"/> 知らない |

8. 喫煙について

問 19 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)

- | | |
|--|-----------|
| <input type="checkbox"/> 毎日吸っている | } 問 19-1へ |
| <input type="checkbox"/> ときどき吸う日がある | |
| <input type="checkbox"/> 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない | } 問 20へ |
| <input type="checkbox"/> 吸わない | |

【問 19 で「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」と回答した方に伺います。】

問 19-1 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 指定の喫煙所以外では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 禁煙場所では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 子どもや妊産婦、病人がいる場所では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 混雑している場所では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 公共の場所では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 周囲に食事中の人がいる場合は吸わない |
| <input type="checkbox"/> 屋内では吸わない |
| <input type="checkbox"/> 周囲の了解を得てから吸う |
| <input type="checkbox"/> 気をつけていることはない |
| <input type="checkbox"/> その他 () |

問 20 1年以内に、受動喫煙を経験された場所があれば教えてください。(いくつでも)

- 路上及び事業所の敷地内屋外
- 飲食店内
- 自身が勤務する事業所内
- 学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎の敷地内
- その他 ()
- ない

問 21 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(いくつでも)

- 飲食店に対する喫煙状況の店頭表示義務の徹底
- 施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及
- 区報やホームページによる受動喫煙の健康影響についての情報提供
- 効果的な受動喫煙防止対策についての情報提供
- 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく施設管理者の義務についてのPR
- 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく指導、勧告、命令(罰則の適用を含む)
- 屋内の喫煙室の設置等に関する相談
- 施設利用者に対する屋内の喫煙ルールのPR
- 公衆喫煙所の設置
- 屋外の喫煙マナーのPR
- 禁煙を希望する喫煙者の禁煙支援
- 道路等の屋外における喫煙ルールづくり
- その他 ()
- 特になし

9. 医療について**問 22 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(いくつでも)**

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> かかりつけ医はいる | <input type="checkbox"/> かかりつけ薬局はある |
| <input type="checkbox"/> かかりつけ歯科医はいる | <input type="checkbox"/> いずれもない |

問 23 在宅医療の制度や仕組みについて知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 知っている | <input type="checkbox"/> 知らない |
| <input type="checkbox"/> 言葉は聞いたことがある | |

10. 災害時の対応について

問 24 区内で震度 6 弱以上の地震が発生した場合、地域のクリニックや診療所は休診となり、災害発生後から概ね 72 時間、病院や学校の近接地に緊急医療救護所・軽症者救護所が開設されることを知っていますか。(1つのみ)

- 知っている 知らない

11. 教育について

問 25 「教育の充実」に向けて、大田区はどのような課題に対して重点的に取り組むべきだと思いますか。(3つまで)

- 英語教育の充実
 ICTを活用した教育の充実
 自ら考え、表現する力を伸ばす教育の充実
 文章を読み解く力を伸ばす教育の充実
 教師の質的な向上
 不登校児童・生徒に対する支援強化
 障がいのある児童・生徒に対する支援強化
 地域とのかかわりを深めた特色ある学校づくり
 自然体験や職業体験など体験型学習の充実
 国際感覚を養う海外文化との交流機会の提供
 学校施設等の学習環境の整備
 体力向上の取り組み強化
 習熟度別少人数指導の拡充
 放課後の学習機会の提供
 その他 ()
 特になし

12. 結婚について

問 26 あなたの婚姻状況を教えてください。(1つのみ)

- 現在結婚している ⇒ 問 26-2 へ
 未婚
 離別もしくは死別している } 問 26-1 へ

【問 26 で「未婚」「離別もしくは死別している」と回答した方に伺います。】

問 26-1 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えを教えてください。(1つのみ)

- いずれ結婚するつもり ⇒ 問 26-2 へ 一生結婚するつもりはない ⇒ 問 27 へ

問 26-2 問 26 で「現在結婚している」と回答した方は①と②についてお答えいただき、問 26-1 で「いずれ結婚するつもり」と回答した方は③についてお答えください。
(それぞれ1つのみ)

①理想的な子どもの数は何人ですか。

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1人 | <input type="checkbox"/> 3人 | <input type="checkbox"/> 5人以上(_____)人 |
| <input type="checkbox"/> 2人 | <input type="checkbox"/> 4人 | <input type="checkbox"/> 子どもは持たない予定 |

②全部で何人の子どもを持つつもりですか。

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1人 | <input type="checkbox"/> 3人 | <input type="checkbox"/> 5人以上(_____)人 |
| <input type="checkbox"/> 2人 | <input type="checkbox"/> 4人 | <input type="checkbox"/> 子どもは持たない予定 |

③今後結婚した場合、子どもは何人くらいほしいですか。

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1人 | <input type="checkbox"/> 3人 | <input type="checkbox"/> 5人以上(_____)人 |
| <input type="checkbox"/> 2人 | <input type="checkbox"/> 4人 | <input type="checkbox"/> 子どもは持たない予定 |

13. 食品ロス・フードドライブについて

問 27 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする |
| <input type="checkbox"/> 賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する |
| <input type="checkbox"/> 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する |
| <input type="checkbox"/> 出された料理を残さず食べきる |
| <input type="checkbox"/> 食べきれなかったものを他の料理に作り替える |
| <input type="checkbox"/> 料理を作り過ぎない |
| <input type="checkbox"/> 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材を無駄なく使う |
| <input type="checkbox"/> 飲食店等で注文し過ぎない |
| <input type="checkbox"/> その他(_____) |
| <input type="checkbox"/> 特にない |

問 28 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。

あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。(1つのみ)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 提供したいと思います ⇒ 問 29 へ | <input type="checkbox"/> 提供したいと思わない ⇒ 問 28-1 へ |
|--|--|

フードドライブに提供できる食品

主に米などの穀類、調味料、缶詰、インスタント食品など

【問 28 で「提供したいと思わない」と回答した方に伺います。】

問 28-1 提供したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 近くに場所がないため | <input type="checkbox"/> 食材のため他の人に渡すのが不安 |
| <input type="checkbox"/> やっている場所がわからないため | <input type="checkbox"/> ごみとして捨てた方が楽なため |
| <input type="checkbox"/> 区が実施している期間が限られているため | <input type="checkbox"/> 特に関心がない |

14. 地球環境について

問 29 あなたのご家庭で実践している省エネなどの環境配慮行動を教えてください。(いくつでも)

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> エコバッグ・マイボトルを利用する |
| <input type="checkbox"/> 白熱電球をLED電球に交換する |
| <input type="checkbox"/> 電気便座の設定温度を低めに設定する |
| <input type="checkbox"/> 家電を買い替える時には、省エネ性能の高いものを購入する |
| <input type="checkbox"/> 食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する |
| <input type="checkbox"/> 冷蔵庫は、季節に合わせて設定温度を調整する |
| <input type="checkbox"/> 食器洗いのお湯の量を減らす |
| <input type="checkbox"/> テレビの画面は明るすぎないように設定する |
| <input type="checkbox"/> 冷房時の室温を 28℃目安に設定する |
| <input type="checkbox"/> 暖房時の室温を 20℃目安に設定する |
| <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 特になし |

問 30 地球温暖化防止のためには、温室効果ガス削減が有効となります。

関心のある実践行動や、学んでみたいと思われる内容を教えてください。(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 省エネ性能の高い住宅や太陽光発電設備の設置など |
| <input type="checkbox"/> 省エネ家電へ切替え。その選び方や知識 |
| <input type="checkbox"/> 自動車のEV化（メリット等） |
| <input type="checkbox"/> ごみ削減（食品ロス削減） |
| <input type="checkbox"/> ごみ削減（プラスチック製品削減） |
| <input type="checkbox"/> 節水など電力以外のエネルギー削減 |
| <input type="checkbox"/> 関連する補助金・助成制度 |
| <input type="checkbox"/> 特にテーマを定めず、温室効果ガス削減の全般 |
| <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 特になし |

16. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- 男性 女性 その他

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|-------|----------------------------------|---|-------|
| <input type="checkbox"/> 18～19 歳 | } | F 4 へ | <input type="checkbox"/> 65～69 歳 | } | F 3 へ |
| <input type="checkbox"/> 20～29 歳 | | | <input type="checkbox"/> 70～74 歳 | | |
| <input type="checkbox"/> 30～34 歳 | <input type="checkbox"/> 75 歳以上 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 35～39 歳 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 40～49 歳 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 50～59 歳 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 60～64 歳 | | | | | |

【65 歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- 受けていない 受けている（要支援含む）

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- 日本国籍 それ以外（国籍名： ）

F 5 あなたのお住まい（管轄特別出張所）を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大森東 | <input type="checkbox"/> 馬込 | <input type="checkbox"/> 嶺町 | <input type="checkbox"/> 久が原 | <input type="checkbox"/> 六郷 | <input type="checkbox"/> 蒲田東 |
| <input type="checkbox"/> 大森西 | <input type="checkbox"/> 池上 | <input type="checkbox"/> 田園調布 | <input type="checkbox"/> 雪谷 | <input type="checkbox"/> 矢口 | <input type="checkbox"/> 糀谷 |
| <input type="checkbox"/> 入新井 | <input type="checkbox"/> 新井宿 | <input type="checkbox"/> 鵜の木 | <input type="checkbox"/> 千束 | <input type="checkbox"/> 蒲田西 | <input type="checkbox"/> 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ひとり暮らし | <input type="checkbox"/> 三世帯世帯（親と子と孫） |
| <input type="checkbox"/> 夫婦のみ | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 二世帯世帯（親と子） | |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 持ち家（一戸建て） | <input type="checkbox"/> 賃貸住宅（集合住宅） |
| <input type="checkbox"/> 持ち家（集合住宅） | <input type="checkbox"/> 寮・社宅・宿舍 |
| <input type="checkbox"/> 賃貸住宅（一戸建て） | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	<input type="checkbox"/> 商工サービス業 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	<input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> 専門技術職 <input type="checkbox"/> 事務職 <input type="checkbox"/> 労務職・サービス業
その他	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> その他(高齢者含む)

} F 8-1へ
 } F 9へ

【F 8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

F 8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 大田区内(自宅)	<input type="checkbox"/> それ以外の東京都内
<input type="checkbox"/> 大田区内(自宅以外)	<input type="checkbox"/> 神奈川県内
<input type="checkbox"/> 品川・目黒・新宿・渋谷区内	<input type="checkbox"/> それ以外(具体的:)
<input type="checkbox"/> 千代田・中央・港区内	

F 9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 小学校入学前の子ども	<input type="checkbox"/> 寝たきりの方や身体の不自由な方
<input type="checkbox"/> 小学生	<input type="checkbox"/> いない
<input type="checkbox"/> 65歳以上の方	

F 10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> いる(同居・別居含む) ⇒ F 10-1へ	
<input type="checkbox"/> いない(離婚・死別)	} F 11へ
<input type="checkbox"/> いない(未婚)	

【F 10で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない
-------------------------------	--------------------------------

F11 子どもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小学校入学前 | <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが学校卒業 |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小・中学生 | <input type="checkbox"/> 子どもはいない |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが高校・大学生 | |

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1年未満 | <input type="checkbox"/> 10年以上 20年未満 |
| <input type="checkbox"/> 1年以上 3年未満 | <input type="checkbox"/> 20年以上 30年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3年以上 5年未満 | <input type="checkbox"/> 30年以上 |
| <input type="checkbox"/> 5年以上 10年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 (18歳以上の区民の方_買い物・まちづくり・住まいの分野など) ～ ご協力をお願い ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

■申請者 ID

■パスワード

2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいても結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えに「 (シ点)」をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を()内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
令和4年11月30日(水)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答に「 (レ点)」をつけてください。

1. 商店街について

問1 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する「①業態」と、「②その理由」を、選択肢の中からそれぞれ1つを選んで、四角の中に数字とアルファベットを記入してください。(それぞれ1つのみ)

項目	① 業態	② 理由
(記入例)	1	C
1. 食料品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 衣類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 日用雑貨	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

①業態：選択肢

1. 商店街のお店
2. 近所のスーパーマーケット
3. 大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗
4. コンビニエンスストア
5. インターネット等の通販や生協等の配達

②理由：選択肢

- A. 自宅の近くにあるから
- B. 品揃えが豊富だから
- C. 仕事帰りに立ち寄れるから
- D. 価格が安いから
- E. 出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから
- F. 少ない量でも買えるから
- G. その他

問2 平日に食料品や日用品の買い物をする主な時間帯はどれですか。(1つのみ)

- | | |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 午前中 | <input type="checkbox"/> 午後8時以降 |
| <input type="checkbox"/> 午後1時から4時台 | <input type="checkbox"/> 平日はほとんど買い物をしない |
| <input type="checkbox"/> 午後5時から7時台 | |

3. まちづくりについて

問8 大田区では、活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない | |

活力・国際性のある都市の例

- ・来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめる
- ・日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できる
- ・国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している
- ・人が集まる交流・滞在空間が充実している
- ・区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している
- ・大田区内外への移動が便利である など

問9 大田区では、暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない | |

暮らしやすい都市の例

- ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい
- ・良好なまちなみ・景色が整っている
- ・商店街に人が集まりにぎわっている
- ・住む場所と働く場所がバランス良くある
- ・区内を移動するための公共交通が充実している
- ・快適で歩きたくなる空間がある など

問10 大田区では、安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない | |

安全・安心な都市の例

- ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている
- ・災害時に救助や避難できる道路や施設が整備されている
- ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている
- ・地域の防災・防犯活動が充実している
- ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など

問 11 大田区では、環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> ややそう思う | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> あまりそう思わない | |

環境に配慮した都市の例

- ・豊かな水と緑が守られている
- ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している
- ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる
- ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている
- ・省エネ建築物や緑化などによる二酸化炭素の削減がなされている など

問 12 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。

※「1」～「3」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

項目	満足している	ほぼ満足している	少し不満である	不満である	わからない
1. 緑の多さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 公園や子どもの遊び場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 屋外空間、街路の清潔さ(ごみが落ちていない等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

- | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感じている | <input type="checkbox"/> あまり感じていない | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| <input type="checkbox"/> やや感じている | <input type="checkbox"/> 感じていない | |

4. 公共交通機関について

問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> とても利用しやすい | <input type="checkbox"/> あまり利用しやすすくない |
| <input type="checkbox"/> まあまあ利用しやすい | <input type="checkbox"/> 不便である |

問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> とても満足している | <input type="checkbox"/> あまり満足していない |
| <input type="checkbox"/> まあまあ満足している | <input type="checkbox"/> 満足していない |

問 16 アfterコロナにおいて、大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む） |
| <input type="checkbox"/> 地域交通（既存バス路線やデマンド交通等）の充実 |
| <input type="checkbox"/> 踏切対策 |
| <input type="checkbox"/> 公共交通機関のバリアフリー化 |
| <input type="checkbox"/> 端末交通（タクシー等）の充実 |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 特にない |

問 17 区は鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。この取組による地域の魅力向上や活性化に期待していますか。(1つのみ)

- | |
|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> とても期待している |
| <input type="checkbox"/> まあまあ期待している |
| <input type="checkbox"/> あまり期待していない |
| <input type="checkbox"/> 期待していない |
| <input type="checkbox"/> わからない |

5. 空港臨海部について

問 18 バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。（1つのみ）

- | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感じる | <input type="checkbox"/> あまり感じない | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| <input type="checkbox"/> やや感じる | <input type="checkbox"/> 感じない | |

問 19 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。（1つのみ）

- | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感じる | <input type="checkbox"/> あまり感じない | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| <input type="checkbox"/> やや感じる | <input type="checkbox"/> 感じない | |

6. 羽田空港跡地について

問 20 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。（いくつでも）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 大田区ホームページ | |
| <input type="checkbox"/> 「HANEDA INNOVATION CITY」公式ホームページ | |
| <input type="checkbox"/> 大田区のイベント | |
| <input type="checkbox"/> SNS、インターネットのニュースやブログ等 | |
| <input type="checkbox"/> パンフレット・リーフレット等の刊行物 | |
| <input type="checkbox"/> テレビのニュース | |
| <input type="checkbox"/> 新聞、雑誌の記事 | |
| <input type="checkbox"/> 家族や友人、知人など | |
| <input type="checkbox"/> その他（ | ） |
| <input type="checkbox"/> 本事業を知らない | |

問 21 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」に開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。（1つのみ）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 知っている | <input type="checkbox"/> 知らない |
|--------------------------------|-------------------------------|

問 22 羽田イノベーションシティ・HICityの取組のうち、期待するものはありますか。（いくつでも）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 自動運転やロボットなど近未来の取組 | <input type="checkbox"/> 地域と連携した賑わいづくり |
| <input type="checkbox"/> 医工連携や企業間のビジネスマッチング | <input type="checkbox"/> 防災に関する普及活動 |
| <input type="checkbox"/> 子どもへのものづくり体験やSTEAM教育 | <input type="checkbox"/> 脱炭素やSDGsなどの推進 |
| <input type="checkbox"/> 日本全国の製品の集積 | <input type="checkbox"/> その他（ |
| <input type="checkbox"/> 伝統文化・音楽・芸術等の文化体験 | <input type="checkbox"/> 特にない |
| <input type="checkbox"/> 羽田の歴史伝承 | |

問 23 羽田空港跡地第1ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。(1つのみ)

- 公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている
 公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない
 両方とも知らない

問 24 整備される予定の公園で、したいことはありますか。(いくつでも)

- 運動 休憩・リラックス
 遊び 地域活動
 飲食 その他 ()

問 25 羽田空港跡地の多摩川沿い(第2ゾーン)に整備された「ソラムナード羽田緑地」(1,100m×15m程度)に行ったことはありますか。(1つのみ)

- 行ったことがある 行ったことがない 知らない

問 26 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(いくつでも)

- 運動 休憩・リラックス
 遊び 地域活動
 飲食 その他 ()

7. 公園について

問 27 普段利用している公園がありますか。(1つのみ)
 ※利用している場合は、公園名をご記入ください。

- 利用している ⇒ 問 27-1～問 27-4へ
 【平日に利用している公園】
 公園名〔 〕
 【休日に利用している公園】
 公園名〔 〕
 利用していない ⇒ 問 27-5へ

【問 27で「利用している」と回答した方に伺います。】

問 27-1 公園の利用頻度はどのくらいですか。(1つのみ)

- ほぼ毎日 週3～4日 週1～2日 月1～2日 数か月に1日

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

問 27-2 公園を利用する主な時間帯はいつですか。(2つまで)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 早朝(～9時頃) | <input type="checkbox"/> 昼休み(12～13時頃) | <input type="checkbox"/> 夕方(15～17時頃) |
| <input type="checkbox"/> 午前(9～12時頃) | <input type="checkbox"/> 午後(13～15時頃) | <input type="checkbox"/> 夜間(17時以降) |

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

問 27-3 公園のトイレを利用していますか。(1つのみ)

- | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ほぼ毎日利用する | <input type="checkbox"/> 月に1、2回程度利用する | <input type="checkbox"/> 全く利用しない |
| <input type="checkbox"/> 週に1、2回程度利用する | <input type="checkbox"/> 数か月に1回程度利用する | |

【問 27 で「利用している」と回答した方に伺います。】

問 27-4 公園をどのような目的で利用していますか。(いくつでも)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 子どもと遊ぶ | <input type="checkbox"/> 趣味(写真、植物鑑賞、バードウォッチング等) |
| <input type="checkbox"/> 休憩・休息 | <input type="checkbox"/> 仕事(テレワークなど) |
| <input type="checkbox"/> 散歩、ウォーキング | <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> スポーツ(野球、サッカー、水泳など) | |

【問 27 で「利用していない」と回答した方に伺います。】

問 27-5 どのような公園であれば利用したいと思いますか。(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 魅力的な遊具が設置されている |
| <input type="checkbox"/> ベンチなど休憩施設が充実している |
| <input type="checkbox"/> 歩いてすぐに行ける範囲に公園がある |
| <input type="checkbox"/> 禁止事項が少なく、ボール遊びやスケートボードなどが楽しめる |
| <input type="checkbox"/> 治安が良く、安心して利用できる |
| <input type="checkbox"/> 園内やトイレが清潔で、気持ちよく利用できる |
| <input type="checkbox"/> その他() |

問 28 大田区の公園行政に期待することは何ですか。(いくつでも)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新しい公園の整備(公園をもっと増やす) |
| <input type="checkbox"/> 全面リニューアル工事を行い公園の魅力を向上する |
| <input type="checkbox"/> 子どもが楽しく安全に遊べる遊具の充実 |
| <input type="checkbox"/> 美しい花や新緑・紅葉などを楽しめる公園づくり |
| <input type="checkbox"/> 公園の景観や文化的・歴史的価値の向上 |
| <input type="checkbox"/> 民間企業と連携して、魅力あるイベントや施設整備を行う |
| <input type="checkbox"/> 公園の利用ルールを緩和し、より自由に利用できるようにする |
| <input type="checkbox"/> ベビーカーや車いすなど、すべての人が利用しやすい公園づくり |
| <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> 特になし |

8. 図書館について

問 29 あなたは、大田区立図書館又は大田文化の森情報館をどのくらい利用していますか。

(1つのみ)

- | | | |
|---|---|---------|
| <input type="checkbox"/> 週1回以上 | } | 問 29-1へ |
| <input type="checkbox"/> 月2回程度 | | |
| <input type="checkbox"/> 月1回程度 | | |
| <input type="checkbox"/> ほとんど利用しない(年1~2回程度) | } | 問 29-2へ |
| <input type="checkbox"/> 利用しない | | |

【問 29 で「週1回以上」「月2回程度」「月1回程度」と回答した方に伺います。】

問 29-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(いくつでも)

- 図書・視聴覚資料の貸出
- 館内での閲覧・調べもの
- 個人学習
- 調べものの相談(レファレンス)
- おはなし会
- 朗読会
- 講座・講演会
- 映画会
- 蔵書の展示
- 障害者サービス(宅配、郵送、対面朗読・録音図書の作製・貸出、大型活字本の貸出)
- ボランティア養成講座
- 休憩・くつろぐ
- 多目的室又は集会室の利用
- その他()

【問 29 で「ほとんど利用しない(年1~2回程度)」「利用しない」と回答した方に伺います。】

問 29-2 図書館を利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

- 図書・雑誌を読まない
- 図書・雑誌は自分で購入したい
- 読みたい本がすぐに借りられない
- 近くに図書館がない
- 開館時間中に利用できない
- 施設が使いづらい又は快適でない
- その他()

**問 30 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。
(いくつでも)**

- 電子書籍貸出サービス
- デジタル化された地域資料等の閲覧
- 音楽・音声情報配信サービス
- 憩い・くつろぐためのスペース
- グループ学習スペース
- 個人学習スペース
- 地域コミュニティ参加のきっかけとなるイベント・講座等
- 大田区への理解を深めるコーナー
- 国際都市らしい蔵書・資料構成
- その他 ()

9. 相談窓口について

問 31 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）をはじめとした区立施設（公園含む）について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障がい者、外国人などに配慮されていると思いますか。（1つのみ）

- 十分配慮されている
- 配慮されている
- あまり配慮されていない
- 全く配慮されていない
- わからない、最近利用していない

10. バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

問 32 「バリアフリー」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方。

- 定義までよく理解している
- 定義はなんとなく理解している
- 聞いたことはあるが定義がよくわからない
- 初めて聞いた言葉である

問 33 「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの人々が利用しやすいように生活環境を構築する考え方。

- 定義までよく理解している
- 定義はなんとなく理解している
- 聞いたことはあるが定義がよくわからない
- 初めて聞いた言葉である

11. 災害時の避難等について

問 34 「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|---|------------|
| <input type="checkbox"/> すでにダウンロードしている | } 問 34-1 へ |
| <input type="checkbox"/> 知っているがダウンロードはしていない | |
| <input type="checkbox"/> 知らない ⇒ 問 35 へ | |

【問 34 で「すでにダウンロードしている」「知っているがダウンロードはしていない」と回答した方に伺います。】

問 34-1 「大田区防災アプリ」をどこで知りましたか。(いくつでも)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 区のホームページ | <input type="checkbox"/> 家族や友人、知人など |
| <input type="checkbox"/> 区報 | <input type="checkbox"/> YouTube |
| <input type="checkbox"/> パンフレット・リーフレット等の刊行物 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> SNS (Twitter など) | |

12. 耐震改修について

問 35 あなたは、現在のお住まいや区内に所有している建物の耐震改修を行いましたか。(1つのみ)

- | | |
|--|---------|
| <input type="checkbox"/> 行った | } F 1 へ |
| <input type="checkbox"/> 現在改修中又は今後改修する予定 | |
| <input type="checkbox"/> 行っていない ⇒ 問 35-1 へ | |

【問 35 で「行っていない」と回答した方に伺います。】

問 35-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 改修工事を行う費用がない | } |
| <input type="checkbox"/> 方法、手段がわからない | |
| <input type="checkbox"/> 工法や費用が適切かわからない | |
| <input type="checkbox"/> 工事を行うと生活に支障が生じる | |
| <input type="checkbox"/> 所有者が複数いるため、合意を得るのが難しい | |
| <input type="checkbox"/> 助成金申請の手続きが煩雑である | |
| <input type="checkbox"/> 耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している | |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

13. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- 男性 女性 その他

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | | |
|----------------------------------|---------|----------------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 18～19 歳 | } F 4 へ | <input type="checkbox"/> 65～69 歳 | } F 3 へ |
| <input type="checkbox"/> 20～29 歳 | | <input type="checkbox"/> 70～74 歳 | |
| <input type="checkbox"/> 30～39 歳 | | <input type="checkbox"/> 75 歳以上 | |
| <input type="checkbox"/> 40～49 歳 | | | |
| <input type="checkbox"/> 50～59 歳 | | | |
| <input type="checkbox"/> 60～64 歳 | | | |

【65 歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- 受けていない 受けている（要支援含む）

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- 日本国籍 それ以外（国籍名： ）

F 5 あなたのお住まい（管轄特別出張所）を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大森東 | <input type="checkbox"/> 馬込 | <input type="checkbox"/> 嶺町 | <input type="checkbox"/> 久が原 | <input type="checkbox"/> 六郷 | <input type="checkbox"/> 蒲田東 |
| <input type="checkbox"/> 大森西 | <input type="checkbox"/> 池上 | <input type="checkbox"/> 田園調布 | <input type="checkbox"/> 雪谷 | <input type="checkbox"/> 矢口 | <input type="checkbox"/> 糀谷 |
| <input type="checkbox"/> 入新井 | <input type="checkbox"/> 新井宿 | <input type="checkbox"/> 鷺の木 | <input type="checkbox"/> 千束 | <input type="checkbox"/> 蒲田西 | <input type="checkbox"/> 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ひとり暮らし | <input type="checkbox"/> 三世帯世帯（親と子と孫） |
| <input type="checkbox"/> 夫婦のみ | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 二世帯世帯（親と子） | |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 持ち家（一戸建て） | <input type="checkbox"/> 賃貸住宅（集合住宅） |
| <input type="checkbox"/> 持ち家（集合住宅） | <input type="checkbox"/> 寮・社宅・宿舎 |
| <input type="checkbox"/> 賃貸住宅（一戸建て） | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	<input type="checkbox"/> 商工サービス業 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	<input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> 専門技術職 <input type="checkbox"/> 事務職 <input type="checkbox"/> 労務職・サービス業
その他	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> その他(高齢者含む)

} F 8-1へ
 } F 9へ

【F 8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

F 8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 大田区内(自宅)	<input type="checkbox"/> それ以外の東京都内
<input type="checkbox"/> 大田区内(自宅以外)	<input type="checkbox"/> 神奈川県内
<input type="checkbox"/> 品川・目黒・新宿・渋谷区内	<input type="checkbox"/> それ以外(具体的:)
<input type="checkbox"/> 千代田・中央・港区内	

F 9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 小学校入学前の子ども	<input type="checkbox"/> 寝たきりの方や身体の不自由な方
<input type="checkbox"/> 小学生	<input type="checkbox"/> いない
<input type="checkbox"/> 65歳以上の方	

F 10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> いる(同居・別居含む) ⇒ F 10-1へ	
<input type="checkbox"/> いない(離婚・死別)	} F 11へ
<input type="checkbox"/> いない(未婚)	

【F 10で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない
-------------------------------	--------------------------------

F11 子どもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小学校入学前 | <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが学校卒業 |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが小・中学生 | <input type="checkbox"/> 子どもはいない |
| <input type="checkbox"/> 一番上の子どもが高校・大学生 | |

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1年未満 | <input type="checkbox"/> 10年以上 20年未満 |
| <input type="checkbox"/> 1年以上 3年未満 | <input type="checkbox"/> 20年以上 30年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3年以上 5年未満 | <input type="checkbox"/> 30年以上 |
| <input type="checkbox"/> 5年以上 10年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

(未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方_居場所・自転車の利用についてなど)

～ ご協力をお願い ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

■申請者 ID

■パスワード

2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えに「 (シ点)」をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を()内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和4年11月30日(水)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答に「 (レ点)」をつけてください。

1. 居場所について

問1 友達との交流、読書や学習、音楽スタジオによる文化活動など、各々が自由に過ごすことのできる中高生世代（12～18歳）の居場所として、「中高生ひろば」を羽田と蒲田の2か所で設置しています。

あなたは、この施設を知っていますか。（1つのみ）

- 場所や内容まで知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、場所や内容までは知らない
- 知らない

問2 「中高生ひろば」を利用したこと（中高生世代のご家族が利用されたこと）はありますか。また、自分の近くにあったら、利用したい（ご家族に利用させたい）と思いますか。

（1つのみ）

- 利用したことがある（家族含む）
- 利用したことはないが、利用してみたい（させたい）
- 利用したい（させたい）と思わない

問3 中高生世代の時に、こんな施設があつたら利用してみたい（利用してみたかった）と思うことを教えてください。（3つまで）

- 静かな空間で勉強できる場所
- 音楽やダンスなど、音を気にせずに練習できる場所
- 学校とは別に共通の趣味の友達と気軽に過ごせる場所
- のびのびと身体を動かせる場所（スポーツなど）
- 悩み事など、気軽に相談できる場所
- 「やってみたいこと」を自主企画し、実施できる場所
- その他（）

2. 家庭生活について

問4 コロナ禍で家事や育児の負担感は変わりましたか。（1つのみ）

- 負担感は変わった
変わった場合は具体的に記載〔〕
- 負担感は変わらない

問5 子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。(1つのみ)

- 相談できる人(機関)がいる(ある)
 いる(ある)場合は具体的に記載〔 〕
- 相談できる人(機関)がいない(ない)

問6 あなたは、「子ども家庭支援センター」を知っていますか。(1つのみ)

- 知っていて、相談や事業に参加したことがある } 問6-1、問6-2へ
- 知っているが、相談や事業に参加したことはない }
- 知らない ⇒ 問7へ

【問6で「知っていて、相談や事業に参加したことがある」「知っているが、相談や事業に参加したことはない」と回答した方に伺います。】

問6-1 子ども家庭支援センターでは、子どもからの相談も受けていることを知っていますか。(1つのみ)

- 知っていて、相談したことがある
- 知っているが、相談したことはない
- 知らない

【問6で「知っていて、相談や事業に参加したことがある」「知っているが、相談や事業に参加したことはない」と回答した方に伺います。】

問6-2 子ども家庭支援センターでは、さまざまな相談の実施や窓口の案内を行っています。あなたが知っている子ども家庭支援センターの事業を教えてください。(いくつでも)

- 直接面談による相談
- メールによる相談
- その他〔 〕
- 子ども家庭支援センターの事業を知らない

問7 機会があれば子育てする家庭や親子を支援したいと思いますか。(1つのみ)

- 思う
- 思わない
 思わない理由を具体的に記載〔 〕

3. 災害時の避難等について

問8 災害時の避難先は決まっていますか。(1つのみ)

- 決まっている ⇒ 問8-1へ
- 決まっていない ⇒ 問9へ

【問8で「決まっている」と回答した方に伺います。】

問8-1 避難先はどこですか。(1つのみ)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自宅(在宅避難) | <input type="checkbox"/> 親戚の家 |
| <input type="checkbox"/> 指定避難所 | <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> 友人・知人宅 | |

問9 あなたは「マイ・タイムライン」を知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|--|--------|
| <input type="checkbox"/> 知っていて、作成したことがある ⇒ 問9-1へ | |
| <input type="checkbox"/> 知っているが、作成したことはない | } 問10へ |
| <input type="checkbox"/> 知らない | |

【問9で「知っていて、作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問9-1 どのように作成しましたか。(1つのみ)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> マイ・タイムライン講習会に参加して作成 | |
| <input type="checkbox"/> マイ・タイムラインの作成支援動画を観て作成 | |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

問10 災害から自身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 家具等の転倒防止 | <input type="checkbox"/> 家庭内備蓄 |
| <input type="checkbox"/> ハザードマップの確認 | <input type="checkbox"/> 情報の収集方法の確認・検討 |
| <input type="checkbox"/> マイ・タイムラインの作成 | <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> 避難方法の確認・検討 | <input type="checkbox"/> 特に何もしていない |
| <input type="checkbox"/> 防災訓練への参加 | |

問11 防災に関する情報をどのように収集していますか。(いくつでも)

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> テレビ | <input type="checkbox"/> 自治会・町会の回覧 |
| <input type="checkbox"/> 区から配布されるチラシや広報紙 | <input type="checkbox"/> 区設掲示板 |
| <input type="checkbox"/> インターネット | <input type="checkbox"/> 大田区防災アプリ |
| <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 | <input type="checkbox"/> 大田区防災ポータル |
| <input type="checkbox"/> 区施設 | <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> 友人・知人 | |

問12 どのような防災訓練等に参加したいですか。(いくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> イベント型 | <input type="checkbox"/> 講習会・講演会 |
| <input type="checkbox"/> オンライン配信 | <input type="checkbox"/> その他() |

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-3 あなたが区営の駐輪場を利用する際に不便に感じていることは何ですか。(いくつでも)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 立地が悪い | <input type="checkbox"/> 定期利用に申し込んでも当選しない |
| <input type="checkbox"/> 料金が安い | <input type="checkbox"/> 一時利用が満車で利用できない |
| <input type="checkbox"/> 申込等がデジタル化されていない | <input type="checkbox"/> 区営の駐輪場は利用していない |
| <input type="checkbox"/> 一時利用と定期利用の配分が悪い | <input type="checkbox"/> その他 () |

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-4 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。
(1つのみ)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 行っている | <input type="checkbox"/> 行いたい、行えていない |
| <input type="checkbox"/> 行っていない | |

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-5 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(いくつでも)

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 歩道では徐行し、車道寄りを通行すること |
| <input type="checkbox"/> 車道では左側を通行すること |
| <input type="checkbox"/> 交差点右折時に二段階右折をすること |
| <input type="checkbox"/> 一時停止等の標識を守ること |
| <input type="checkbox"/> スマートフォンを使ったり、傘を差したりしながら運転しないこと |
| <input type="checkbox"/> ルールは守っている |
| <input type="checkbox"/> その他 () |

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-6 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン(矢羽根型路面表示)」を知っていますか。(1つのみ)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 知っていて、通るようにしている |
| <input type="checkbox"/> 知っていたが、意識して通ったことはない |
| <input type="checkbox"/> 知らなかった |

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-7 あなたは自転車の運転マナーについて、どこで知りましたか。(いくつでも)

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> ポスターなどによる広報・街頭での交通安全啓発 |
| <input type="checkbox"/> SNS(ライン、ツイッターなど)・ホームページの啓発記事 |
| <input type="checkbox"/> 地域・企業等における講習会・セミナーなど |
| <input type="checkbox"/> 学校など教育施設における交通安全教育 |
| <input type="checkbox"/> その他 () |

【問 14 で「よく使う」「たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 14-8 あなたは、自転車事故に係る損害賠償保険に加入していますか。(1つのみ)

- | | | |
|--|---|--------|
| <input type="checkbox"/> 自転車事故専用の保険
<input type="checkbox"/> TSマーク付帯保険
<input type="checkbox"/> 傷害保険等とセット
<input type="checkbox"/> 他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約
<input type="checkbox"/> その他の保険
<input type="checkbox"/> 加入していない ⇒ 問 14-9 へ
<input type="checkbox"/> 加入しているかわからない ⇒ 問 15 へ | } | 問 15 へ |
|--|---|--------|

【問 14-8 で「加入していない」と回答した方に伺います。】

問 14-9 あなたが保険に加入していない理由は何ですか。(1つのみ)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 加入手続きの方法などがわからない | <input type="checkbox"/> 保険料が高いから |
| <input type="checkbox"/> 加入が義務化されたことを知らない | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 必要性を感じない | |

問 15 通勤や通学の移動手段は、何を使っていますか。(いくつでも)

- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 徒歩 | <input type="checkbox"/> バイク | <input type="checkbox"/> バス | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 自転車 | <input type="checkbox"/> 車 | <input type="checkbox"/> 電車 | |

5. 子どもの学習について

問 16 小学生のお子さんをお持ちの方に伺います。

ご自身のお子さんが、将来への希望をもって、学び、成長することができていると思いますか。

(1つのみ)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| <input type="checkbox"/> どちらかというそう思う | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> どちらかというそう思わない | <input type="checkbox"/> 小学生の子どもはいない |

6. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 男性 | <input type="checkbox"/> 女性 | <input type="checkbox"/> その他 |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 12~15 歳 | <input type="checkbox"/> 19~20 歳 | <input type="checkbox"/> 30~39 歳 | <input type="checkbox"/> 50~59 歳 |
| <input type="checkbox"/> 16~18 歳 | <input type="checkbox"/> 21~29 歳 | <input type="checkbox"/> 40~49 歳 | <input type="checkbox"/> 60 歳以上 |

F 3 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 日本国籍	<input type="checkbox"/> それ以外 (国籍名: _____)
-------------------------------	--

F 4 あなたのお住まい(管轄特別出張所)を教えてください。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 大森東	<input type="checkbox"/> 馬込	<input type="checkbox"/> 嶺町	<input type="checkbox"/> 久が原	<input type="checkbox"/> 六郷	<input type="checkbox"/> 蒲田東
<input type="checkbox"/> 大森西	<input type="checkbox"/> 池上	<input type="checkbox"/> 田園調布	<input type="checkbox"/> 雪谷	<input type="checkbox"/> 矢口	<input type="checkbox"/> 糀谷
<input type="checkbox"/> 入新井	<input type="checkbox"/> 新井宿	<input type="checkbox"/> 鷺の木	<input type="checkbox"/> 千束	<input type="checkbox"/> 蒲田西	<input type="checkbox"/> 羽田

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 二世帯世帯(親と子)	<input type="checkbox"/> ひとり暮らし
<input type="checkbox"/> 三世帯世帯(親と子と孫)	<input type="checkbox"/> その他(_____)

F 6 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 持ち家(一戸建て)	<input type="checkbox"/> 賃貸住宅(集合住宅)
<input type="checkbox"/> 持ち家(集合住宅)	<input type="checkbox"/> 寮・社宅・宿舎
<input type="checkbox"/> 賃貸住宅(一戸建て)	<input type="checkbox"/> その他(_____)

F 7 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	<input type="checkbox"/> 商工サービス業 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	<input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> 専門技術職 <input type="checkbox"/> 事務職 <input type="checkbox"/> 労務職・サービス業
その他	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> その他(高齢者含む)

F 7-1へ (管理職, 専門技術職, 事務職, 労務職・サービス業)
 F 8へ (学生, 主婦・主夫, その他(高齢者含む))

【F 7で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

F 7-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

<input type="checkbox"/> 大田区内(自宅)	<input type="checkbox"/> それ以外の東京都内
<input type="checkbox"/> 大田区内(自宅以外)	<input type="checkbox"/> 神奈川県内
<input type="checkbox"/> 品川・目黒・新宿・渋谷区内	<input type="checkbox"/> それ以外(具体的: _____)
<input type="checkbox"/> 千代田・中央・港区内	

**F 8 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。
あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(いくつでも)**

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 小学校入学前の子ども | <input type="checkbox"/> 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| <input type="checkbox"/> 小学生 | <input type="checkbox"/> いない |
| <input type="checkbox"/> 65 歳以上の方 | |

F 9 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> いる(同居・別居含む) | ⇒ F 9 - 1 へ |
| <input type="checkbox"/> いない(離婚・死別) | } F 10 へ |
| <input type="checkbox"/> いない(未婚) | |

【F 9で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 9 - 1 共働きをしていますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> している | <input type="checkbox"/> していない |
|-------------------------------|--------------------------------|

F 10 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(1つのみ)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1 年未満 | <input type="checkbox"/> 10 年以上 20 年未満 |
| <input type="checkbox"/> 1 年以上 3 年未満 | <input type="checkbox"/> 20 年以上 30 年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3 年以上 5 年未満 | <input type="checkbox"/> 30 年以上 |
| <input type="checkbox"/> 5 年以上 10 年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

**令和4年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
【報告書】**

令和5年2月

発行：大田区企画経営部企画課
〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1444（直通）
FAX：03-5744-1502